クルアーン やさしい和訳

First published 2020

Goodword Books
1, Nizamuddin West Market, New Delhi-110013
Tel. +9111-45651770
Mob. +91-8588822672
email: info@goodwordbooks.com
www.goodwordbooks.com

Center for Peace and Spirituality
1, Nizamuddin West Market, New Delhi-110 013
Mob. +91-9999944119
email: info@cpsglobal.org
www.cpsglobal.org

Center for Peace and Spirituality USA
2665 Byberry Road, Bensalem, PA 19020
Cell: (617) 960-7156
email: kkaleemuddin@gmail.com

Printed in India

Contents

はじめに

クルアーンは神の言葉です。これまでその言葉は変わることなく、完全に保存されてきました。元々はアラビア語で書かれていますが、翻訳者のおかげで、アラビア語を知らない人にもアクセスできるようになりました。翻訳は、アラビア語の原文に代わるものではありませんが、アラビア語を話す人口よりも、はるかに広い人口に、神の言葉を広めるという重要な役割を果たしています。

クルアーンはアラビア語ですが、実際には、自然の言語、つまり創造のときに神がすべての人間に直接語った言語といえます。神の呼びかけは、すべての人間の意識の中に常に存在します。そのため、顕在意識において、または潜在意識において、クルアーンは誰にでも親しみが持てるものです。この現実は、クルアーンの中では「知識を与えられた人びとの胸の中において（保持される）明らかな印」と言われ「不正な人びとを除いて（誰も）われらの印を否定しません」と説明されています（29章49節）

これは、クルアーンによって、顕在意識的に説明されている神の現実が、人間の潜在意識のレベルですでに存在していることを意味します。つまり、クルアーンのメッセージは人間にとって異質なものではないということです。クルアーンは神の現実の言語表現ですが、人間自身の本性と調和していて、人間がすでに親しんでいるものになります。なぜならアーダムが創造された時に、その後に生まれる人びとも、魂的にはすでに生まれていて、そのとき神はこれらすべての人間の魂に直接語りかけたとクルアーンは説明しているからです。

「あなた（ムハンマド）の主が、アーダムの子孫の腰からかれらの子孫を取り出し、かれら自身について証言させたときのこと。（アッラーは言いました）わたしは、あなた方の主ではないのですか。かれらは言いました。はい、まさしくわたしたちは証言しますと。これは復活の日、わた

したち（アーダムの子孫の腰から出た子孫）はこのことに留意していませんでした、とあなた方が言わないためです」（7章172節）

さらにクルアーンには、以下のような、神と人間との対話が記されています。

「実は、われらは諸天と大地と山々に信託（命令と禁忌の遵守）を申しつけました。でも、それらはそれ（信託）を担うことを辞退し、またそれについて恐れました。一方、人間はそれを担ったのです。実に、かれ（人間）は不適格で軽はずみでした」（33章72節）

この意味で、クルアーンは人間にとって、全くの未知の存在ではなく、本質的にはすでに知っているもので、人間の心を解放するものです。

後天的な条件から自分自身が守られていれば、人間らしさを持ってクルアーンを読むと、神から与えられた最初の言葉が保存された脳細胞は活性化されます。このことを心に留めておけば、クルアーンの翻訳は、それを理解するための有効な手段となることが分かってくるでしょう。

魂が生まれたとき受けた神の言葉が第一の契約なら、クルアーンは第二の契約です。それぞれが他方の真実を証明しています。アラビア語をほとんど、あるいは全く理解できない人も、翻訳でしかクルアーンを読むことができなくても、クルアーンを理解するのにイライラしてはいけません。なぜなら、神の言葉が本質的に組み込まれているというクルアーンの人間観が、現代では現実のものとなっているからです。遺伝学と人類学の知見の両方が、この見解を完全に支持しています。

神の創造計画

すべての書物には目的があります。クルアーンの目的は、人間に神の創造計画を気づかせることです。つまり、なぜ神がこの世界を創造されたのか、人間を地上に定着させた目的は何か、死前に人間に求められる

ことは何か、そして死後に直面することは何か、を人間に伝えることです。人間は永遠の生き物として誕生しました。神は人間を創造したとき、人間の寿命を、試練の期間としての死前と、死前に自分の行ないがもたらした、報いや罰を受け取る期間としての死後に分けました。これらは永遠の楽園と永遠の地獄の形をとっています。クルアーンの目的は、人間にこの現実を気づかせることです。これがこの書物のテーマで、人間を死後の世界へと導く役割を果たしているのです。

人間は生まれながらにして求道者と言った方が正しいかもしれません。なぜなら、誰もが一度は次のような疑問を抱いたことがあるからです。私は誰なのか？私の人生の目的は何か？生と死の現実とは何か？人間の成功と失敗の秘密は何か？　など。クルアーンによると、これらの質問に対する答えは、現世が試練の場で、人間が死前に与えられたものはすべて試練の一部ということです。来世は試練の結果が全能の神によって考慮される場所であり、来世で人が報いや罰として受け取るものは何であれ、現世での行ないに見合ったものになるのです。人間が現世で成功する秘訣は、神の創造計画を理解し、それに応じて人生を計画することです。

訓戒の書

クルアーンは神の訓戒の書です。諭しと戒めを組み合わせれば、それはより適切に英知の書と呼ぶことができるでしょう。 クルアーンは、これまでの道徳本のパターンに従っていません。一般的な読者がクルアーンを手に取ったとき、これは断片的な発言の集まりにしか見えないかもしれません。確かに、この感覚は現実からかけ離れているものではないでしょう。しかし、このようなクルアーンの言葉の配列は、１度に１頁もしくは１節１行だけを読む読者に、正しい訓戒を伝える目的を達成するため、

原型そのものを現在まで維持するというクルアーンの計画と適合するもので、何か欠点があるわけではないのです。

クルアーンの重要な側面の1つは、最もよく与える神による恩恵を、人間に思い出させることです。これらの中で最も重要なのは、神が人間を創造したときに人間に授けた特別な資質です。もう1つの大きな恩恵は、人間を地球に定住させたことです。人間の利益のためにあらゆる種類の支援システムが存在しています。クルアーンの目的は、これらの自然の恵みを享受しながら、人間に神の恩恵をちゃんと心に留めさせることです。人間は創造主の寛大さを認めなければなりません。そうすることで、人間は永遠の楽園に入ることができます。一方、恩恵を無視すると、人間は地獄へと直行します。クルアーンは確かに、この避けられない真実を思い起こさせるのです。

内なる精神と神の実現

クルアーンの重要な特質の1つは、基本的とは言え、本質的な原則を私たちに与えてくれることです。啓典ではそれらを何度も繰り返し、強調しています。一方、基本的でないことや形式に関することは、啓典のごく限定された部分にすぎません。これはクルアーンの枠組みと適合していて、形式的なことの重要性は完全に二次的なものです。クルアーンにおいては、原理的なガイドラインを形成する表象が重要性を持ちます。クルアーンのこの側面は非常にクリアで、読者はそれを認めざるを得ません。

イスラームの人格を形成するにおいて、最も重要なのが内なる精神です。一旦、内なる精神が発達すれば、正しい形式は自然に形成されます。しかし形式自体が内なる精神を生み出すことはありません。だからクルアーンの目的は、人間の内にある知的革命を起こし、実を結ぶこと

にあるのです。この知的革命をクルアーンでは、マアリファ（真理の実現）と表現されます（5章83節）

クルアーンは、悟りという人間による真理の発見の重要性を強調しています。神に対する真の信仰とは、このようなレベルで到達されるものです。悟りがないところには、信仰もないのです。

神の言葉

クルアーンを読むと、それが神の言葉であると繰り返し述べられているのがわかります。これは明らかな事実です。しかし、この主張は驚くべきことなのです。世の中には、神聖なものと信じられている本がたくさんあります。しかし、クルアーンを除けば、言葉自体が神の言葉を反映する宗教書は見当たりません。このような主張は、クルアーンの中に独特に出現し、読者にある出発点を与えます。それは人間が書いた一般的な書物としてではなく、例外的な書物としてそれを読み始めるということです。クルアーンの中には、多かれ少なかれ次のような言葉が繰り返し出てきます。「人間よ、あなたに話かけるのはあなたの主である。彼の言葉に耳を傾け、彼に従いなさい」このスタイルの言葉は非常に珍しいものです。このような直接的な神の言葉は他のどの書物にも存在しません。それは人間に永続的な印象を残します。人間は自分の主が、直接自分に話しかけていると感じるのです。このような感覚は、クルアーンの主張を、人間が普通の書物の中の日常的な記述のように扱うのではなく、極めて深刻に受け止めるようにさせます。クルアーンの編纂のスタイルもまた独特です。人間が書いた書物は、通常、テーマに応じてAからZまで順番に章立ててあります。一方、クルアーンはこの種のパターンに従っていないので、普通の人には内容がバラバラのように見えます。しかし、実際に見てみると、まとまりのある整然とした書物で、その文体はとても荘厳であることがわかります。クルアーンを読んでいると、その作者が非常

に高い台座の上にいて、彼が見下ろして、彼の特別な関心事の人類全体に向けて話しかけているように感じられます。この言葉は、人類のさまざまなグループに焦点を当てていますが、彼らすべてを包含しているのです。

クルアーンの特別な側面の一つは、読者がいつでもその作者に相談し、質問を投げかけ、答えを得ることができることです。彼は生きている神で、彼は人間の呼びかけに直接耳を傾け、それに答えるのです。

平和的なイデオロギー闘争

マスメディアを通してのみクルアーンを紹介されている人は、一般的にクルアーンはジハードの書で、暴力によって目的を達成しようとするものという印象を持っています。しかし、この考えは誤解に基づいています。自分のためにクルアーンを読めば、そのメッセージが暴力とは何の関係もないことは誰でも容易に理解できるでしょう。クルアーンは最初から最後まで、平和を伝える書物であり、暴力を容認するものではありません。ジハードがクルアーンの教えの一つであることは事実です。しかし、正しい意味でのジハードとは、暴力的な行為ではなく、平和的な奮闘努力のことです。ジハードに関するクルアーンの概念は「かれら（非信者）に対し、これ（クルアーン）をもって大いに奮闘努力しなさい」（25章52節）と表現されています。明らかに、クルアーンは武器ではなく、神から授かった平和的な奮闘努力のイデオロギーを紹介してくれる書物です。そのような奮闘努力の方法は、クルアーンによれば「かれらに対して心に響く言葉で呼びかけなさい」（4章63節）なのです。

したがって、望ましいアプローチは、人の心と頭を動かすものです。すなわち、人々の心に働きかけることで、人々を満足させ、クルアーンの真実性を納得させ、人々の中に知的革命をもたらすのです。これがクルアーンのミッションで、これは理性的な議論によってのみ実行することが

できます。この目標は、暴力や武力行使によっては決して達成できません。クルアーンの中には「かれら（信者を攻撃する人）に出会えば、どこでもかれらを殺しなさい」（2章191節）という命令を伝える節があるのは事実です。

　このような節に言及して、イスラームが戦争と暴力の宗教であるという印象を与えようとする人たちがいます。これは真実ではありません。このような節は、ムスリムを一方的に攻撃した人たちに、限定的に向けられているのです。つまり上記の節は一般的な命令ではないのです。

　実は、現存するクルアーンは、最初から完全な形で明らかにされたわけではありませんでした。23年間かけて、徐々に明らかにされてきたものです。この期間を戦時と平時に分けると、平時は20年間、戦時は3年間にすぎません。この20年間の平和の間に下された啓示は、神の実現、崇拝、道徳、正義などイスラームの平和に関する節なのです。

　神の命令が各カテゴリーに分けられることは自然なことで、すべての宗教書に見られる傾向です。例えば、ヒンズー教徒が神聖視する書物ギータは、知恵と道徳的価値に関係しています。しかし、そこではクリシュナがアルジュナに戦争を勧めているのです（バガヴァッド・ギータ3：30）これは、ギータの信者が常に戦争をしなければならないという意味ではありません。マハトマ・ガンジーは、非暴力の哲学を同じギータから導き出しました。ギータの中の戦争をするようにとの命令は、状況が選択の余地を残していない例外的な場合にのみ適用されます。しかし、一般的な日常生活の中では、マハトマ・ガンディーがギータから導き出したのと同じように、ギータは平和的な命令を与えているのです。

　同様にイエスも「地上に平和をもたらすために、わたしがきたと思うな。平和ではなく、剣を投げ込むためにきたのである」（マタイ10：34）と言いました。だからと言って、キリストが説いた宗教が戦争や暴力のものであったと結論づけるのは正しくありません。これは特定の状況にお

ける発言です。一般的な生活に関しては、キリストは、善良な人格を築くこと、お互いを愛し合うこと、貧しい人や困っている人を助けることなど、平和的な価値を教えました。

クルアーンも同じです。預言者ムハンマドがマッカからマディーナに移住したとき、偶像崇拝していた部族は、彼に対して好戦的な態度を示しました。しかし預言者は、常に忍耐と回避の戦略によって、彼らの攻撃を回避しました。もちろんある状況では、他の選択肢がなかったので、彼は戦わなければなりませんでした。でもまさにこのような状況において、戦争に関連するこれらの啓示があったのです。これらの命令は、特定の状況に限定されたものなので、一般的には適用されません。将来に渡って常に有効な命令ではありません。しかも預言者は「全人類への慈悲」(21章107節)と呼ばれているのです。

イスラームは、最も広い意味で言えば、平和の宗教です。クルアーンはその道を「平和の道」と呼んでいます(5章16節)コーランは和解を最良の方針とし(4章128節)神は平和を乱す腐敗を嫌うと述べています(2章205節)イスラームと暴力は相反するものであると言っても過言ではないのです。

啓典

クルアーンは預言者ムハンマドに啓示された神の啓典です。それは初めから完全な啓典の形ではなく、23年の期間にわたって徐々にもたらされました。最初の部分は西暦610年、預言者ムハンマドがマッカにいた時に明らかにされました。その後も定期的に異なる部分が明らかにされ続け、最後の部分は預言者ムハンマドがマディーナにいた632年に明らかにされました。

クルアーンには、長い章と短い章あわせて114章あります。節の数は約6600です。読誦の便宜性のため、クルアーンは30の部分に分割され

ました。これらの部分は、神がクルアーンを啓示した天使ガブリエルの指導の下で、最終的に順番に設定されました。

7世紀はじめの四半期にクルアーンが啓示されたとき、すでに紙は発明されていました。パピルスと呼ばれたこの紙は、ある木の繊維から手で作られていました。クルアーンが啓示されるたびに、それはパピルスや羊皮紙などに書き留められ、アラビア語ではキルタースと呼ばれていました（6章7節）この過程で、人々は章節を記憶に留めるようになりました。そしてクルアーンは礼拝の中で読誦され、宣教の目的のために読み上げられる唯一のイスラーム文献となったのです。このようにして、クルアーンは書き留められると同時に記憶され続けたのです。この保存方法は、預言者ムハンマドが生きている間も続いていました。このようにして、クルアーンは預言者の存命中に完全に保存されたのです。

第三代カリフのウスマーン・ビン・アッファーンは、いくつかのクルアーン写本を用意しました。彼はこれらを様々な都市に送り、大きなモスクに保管しました。そして人々は、これらの写本から暗唱するだけでなく、さらに多くの写本を作成したのです。

クルアーンの手書きは、印刷機が発明され、産業革命のおかげで紙が大量に製造されるようになるまで続きました。その後、クルアーンは印刷されるようになりました。印刷方法が改善されたため、クルアーンの印刷も改善されました。今では、印刷されたクルアーンのコピーは、どの家庭、モスク、図書館、本屋でも見つけることができます。今日では誰でも、世界中のどこにいても、クルアーンの美しいコピーを見つけることができるのです。

どのようにクルアーンを読むのか？

クルアーンは「ゆっくりと明瞭にクルアーンを読みなさい」(73章4節)と述べています。これは、ゆっくりとしたリズムでクルアーンを読みなさい、

という意味です。つまり、内容の重要性に十分に注意を払って読みなさいということです。このように読むとき、クルアーンと読者との間に双方向のプロセスが生じます。彼にとってクルアーンは神の言葉で、彼の心は節ごとにこの言葉に答え始めます。クルアーンの中で神の威厳について言及されている箇所では、読者の全存在が神の偉大さを実感することによって強く影響を受けます。クルアーンの中で神の祝福が列挙されているとき、読者の心は感謝の気持ちで溢れ、神の報いがクルアーンの中で記述されているとき、読者はそれを読んで震え、クルアーンの中で命令が定められているとき、その命令を実行することによって、自分は主に従順な者となるべきという気持ちが読者の中で強まるのです。

この和訳は、日本のイスラーム研究者である水谷周先生と杉本恭一郎先生のお二人によって行なわれたもので、もともと2019年に株式会社国書刊行会（東京）から『クルアーン　やさしい和訳』として出版されました。やさしい現代語で和訳され、一般の読者にも適した翻訳になっています。インドのニューデリーにあるグッドワードブックスが、このように優れた翻訳を皆さまに無料で配布できることを幸いに思います。

ワヒウッディン・カーン
ニューデリー
skhan@goodwordbooks.com

1. 開巻章

al-Fatiha

1. 慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において。

2. すべての世界の主であるアッラーに、すべての称賛を捧げます。3.（アッラーは）慈悲あまねく、慈悲深いお方で、4. 最後の審判の日をつかさどる方です。5.（わたしたちは）あなただけに仕え、あなただけに助けを求めます。 6. わたしたちをまっすぐな道に導いてください。 7. その道とは、あなたが恵みを与えた人びとの道であり、（それは）怒りをかうこともなく、迷ってもいない人びとの道です。

2. 雌牛章

al-Baqara

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1. アリフ・ラーム・ミーム。

2. この啓典（クルアーン）には全く疑わしいものはなく、（アッラーを）意識する人（信者）たちにとっての導きです。3.（信者は）目に見えないもの（アッラー、天使、復活、天命など）を信じ、礼拝を行ない、われらが与えたものから施す人たち、4. あなた（ムハンマド）に啓示されたものと、あなた以前に啓示されたものを信じ、そして来世のあることを確信する人たちです。5. かれらは主に導かれた人たちで、（究極の）成功者です。

6.不当にも信じようとしない人たち（非信者）は、あなた（ムハンマド）が警告しても警告しなくても同じで、信仰することはないでしょう。7.アッラーは、かれらの心や耳を封じ、目には覆いをかぶせた上で、重大な苦痛を与えるのです。

8.人びとの中には、わたしたちはアッラーを信じ、また最後の日を信じると口先だけで言う人（偽信者）がいますが、かれらは本当のところ信者ではありません。9.かれらはアッラーと信者たちをだましているようでも、自分自身をだましていることに気づいていないのです。10.かれらの心には病が宿っているので、アッラーはその病をさらに重くされます。嘘をついてきた報いとして、かれらには厳しい苦痛が与えられます。11.地上に悪をはびこらせてはならないと言われると、かれらは、わたしたちは正しているだけだと言います。12.いいえ、本当にかれらこそ、悪をもたらす人たちです。でもかれらは気づいていません。13.人びとが信仰するように、信仰しなさいと言われると、かれらは、愚かな人が信仰するように、信仰できるものかと言います。いいえ。本当にかれらこそ愚かな人です。でもそれがかれらには分からないのです。14.かれら（偽信者）は信者に会えば、わたしたちは信仰すると言います。でも悪魔たちと一緒になると、わたしたちはあなた方の仲間で、（信者のふりをして）軽くあしらっていたにすぎないと言うのです。15.アッラーはこのような人たちを軽くあしらわれ、乱心のままに放っておかれるので、かれらはさまよい続けることでしょう。16.これらの人たちは導きと引き換えに迷いを買い込んだ人たちで、このかれらの取引はうまく行かず、また決して正しく導かれません。

17.かれらを例えれば火を点ける人のようなもので、せっかく火が辺りを照らしたのに、アッラーがかれらの光を取りあげて、暗闇の中に置き去りにしたので、何一つ見ることができないのです。18.かれらは耳が聞こえず、ものが言えず、目が見えないので、（アッラーの所へ反省のために）引き返すこともままなりません。19.あるいは暗黒と雷と稲妻が立ち込める空から降ってくる豪雨（に見舞われた人）のように、雷鳴により死を恐れるあまり、耳に指を突っ込むけれど、アッラーは不信心な人たちを完全に囲い込んでしまうのです。20.稲妻はかれらの視力を奪うば

かりで、パッと光るたびにその中で歩みを進めるけれど、暗闇になれば立ち止まってしまいます。アッラーが望むときは、かれらの聴力も視力も必ず取り上げてしまうでしょう。本当にアッラーは、全能をお持ちなのです。

21.人びとよ。あなた方とあなた方以前の人びとを創造された主に仕えなさい。きっとあなた方は、（アッラーを強く）意識するでしょう。22.（アッラーとは）あなた方のために大地を寝床のように広げ、空を高く建て、空から雨を降らせ、あなた方の糧としていろいろな果物を実らせる方です。（このことが）分かったのであれば、アッラーの他に同類のものを作ってはならないのです。23.もしわれらの僕（ムハンマド）に啓示したものを、あなた方が疑うのであれば、それに似たものを一章でもいいから作って、アッラーの他にあなた方の証人を呼んでみるとよいでしょう。あなた方が本当にそう思うのであれば。24.あなた方に（それが）できなければ、いいえ、できるはずもないでしょうから、人間と石を燃料とする（地獄の）火のことを知るべきです。それは不信心な人たちに用意されているのです。25.一方、信仰して善行に励む人たちには、川が下を流れる楽園が、かれらのためにあるという吉報を伝えなさい。そこでかれらは食べ物として果物を与えられるたびに、これはわたしたちが以前に与えられた物だと言うでしょう。かれらには、似たものが与えられるのです。また清純な配偶者を与えられ、永遠にそこに住むでしょう。

26.アッラーは、蚊やさらに大きなものを例えに挙げることをいとわれません。信者はそれが主から啓示された真理であることを知っています。でも不信心な人たちは、アッラーはこの例えで何を伝えたいのだろうかと言います。かれは、このように多くの人たちを迷わせ、また多くの人たちを導くのです。かれが迷わせるのは、不服従の人たちだけです。27.確約の後からアッラーとの約束を破る人や、アッラーが結束を命じられたもの（家族や共同体など）から離れて地上を汚す人、これらの

人は損失者となります。28.あなた方は、どうやってアッラーを否定できるのでしょうか。かれは、生のないあなた方に生を与えました。それからかれは、あなた方に死を与え、さらに生を与えて、その後かれの御元にあなた方は帰るのです。29.かれこそが、あなた方のために地にあるすべてを創り、さらに天に向かい、七つの天を創造した方です。かれは、すべてを知り尽くしておられるのです。

30.あなた（ムハンマド）の主が天使たちに、わたしは地上に代理者（人間）を置くといわれたとき、かれらは言いました。あなたは、悪を犯し、血を流す者を地上に（代理者として）置くのですか。わたしたちは、あなたを称賛（の言葉）で賛美し、（格別の）清浄さをたたえているのに。かれは言いました。本当にわたしはあなた方が知らないことを知っているのです。

31.かれはアーダム（アダム）にあらゆる名前を教え、次にそれらを天使たちに示して言われました。もしあなた方が言うとおり（代理者としてより適役）なら、これらの名前をわたしに言ってみなさい。32.そこでかれら（天使）は言いました。あなたに栄光あれ。あなたがわたしたちに教えたもの以外、わたしたちに知識はありません。本当にあなたは、すべてをご存知で、賢明な方です。33.かれは言いました。アーダムよ、かれら（天使）にそれらの名前を告げなさい。そしてアーダムがそれらの名前をかれらに告げると、かれは（天使に）言いました。わたしが諸天と地にあって見えない物事を知っており、またあなた方が見せることも隠すことも知っていることを、あなた方に言いませんでしたか。

34.われらが天使たちに向かって、アーダムに平伏しなさいと言ったとき、イブリース（ジンで悪魔）を除いて、かれら（天使）は平伏しました。かれ（イブリース）は拒否し、高慢で不信心な者となったのです。35.われらは言いました。アーダムよ、あなたとあなたの妻とはこの楽園に住み、好きなだけたくさん食べなさい。ただし、この木に近寄ってはいけま

せん。そうすれば不正な人になってしまうでしょう。36.ところが、悪魔は二人をつまずかせ（木に近寄らせたので）、かれらがいた場所から追い出しました。われらは言いました。落ちて行きなさい。あなた方には地上に一時的な住まいと食糧があるでしょう。あなた方（アーダムとその妻ハウワーとその子孫）は互いに敵です。37.その後、アーダムは、かれの主から（導きの）言葉をいただき、主はかれを赦されたのです。本当にかれは、よく改心を受け入れる慈悲深いお方です。38.われらは言いました。あなた方は一人残らずそこから落ちて行きなさい。その後、わたしからの導きが届きます。そのとき、わたしの導きに従う人たちには、恐怖や悲嘆はないでしょう。39.でも、信仰を拒否し、われらの印を嘘呼ばわりする人たちは、（地獄の）火の仲間であって、永遠にその中に住むのです。

40.イスラーイールの子孫よ、あなた方に恵んだわたしの恩寵を思い出し、わたしとの約束を果たしなさい。わたしはあなた方との約束を果たすでしょう。そして、わたしだけを畏れなさい。41.あなた方が持っているもの（律法）の確証として、わたしが下した啓示（クルアーン）を信じ、それを最初に拒否する人となってはいけません。また、わたしの印をわずかな対価と引き換えてはいけません。そして、わたしだけを意識しなさい。42.また知っていながら、真実を虚偽で覆い、また真実を隠してはいけません。43.礼拝の務めを守り、定めの施しをして、屈折礼をする人たちと共に屈折礼をしなさい。44.あなた方は人びとに善行を命じながら、自分では忘れ、あなた方は啓典を読みながら、理解しないのでしょうか。45.忍耐と礼拝によって、（アッラーの）助けを請いなさい。それは謙虚な人の他には、実に容易でないことです。46.（謙虚な人とは）主にやがて会うこと、そしてかれの御元にいずれ戻り行くことを知っている人たちです。

47.イスラーイールの子孫よ、あなた方へのわたしの恩寵と、わたし

がどの民よりもあなた方を優遇したことを思い出しなさい。48.そして誰も他人のために身代りになれず、誰の執り成しも受け入れられず、償いも受け取ってもらえず、助けられることもない（最後の）日に対して身を守りなさい。49.われらがフィルアウン（エジプトのファラオ）の一党からあなた方を救ったときを思い出しなさい。かれらはあなた方に身の毛のよだつ拷問を与え、あなた方の男児を虐殺し、あなた方の女児を生かしておきました。それはあなた方の主からの大きな試練でした。50.また、われらがあなた方のために海を分けて、あなた方を救い、あなた方が見ている前で、フィルアウンの一党を溺れさせたときのことを思い出しなさい。51.また、われらがムーサー（モーゼ）に、40夜の約束をしたときのことです。あなた方はかれ（ムーサー）のいない間に、子牛を（神として）崇拝するという悪事を働きました。52.その後、われらはあなた方を赦しました。あなた方は（きっと）感謝するでしょう。53.あなた方が正しく導かれるよう、われらが、ムーサーに啓典（律法）と（善悪の）識別を与えたときのことです。54.ムーサーはかれの民に言いました。わたしの民よ、あなた方は子牛を崇拝することで、自分自身を悪に陥れました。だから創造する主に改心して戻り、あなた方自身（の中の罪人）を殺しなさい。創造する主の御元では、それがあなた方にとって善いことでしょう。かれは、あなた方の改心を受け入れられました。実にかれはよく改心を受け入れる方で、慈悲深いお方なのです。55.またあなた方は言いました。ムーサーよ、アッラーをはっきりと見るまでは、あなたを信じないと。するとあなた方が見ている前で、落雷があなた方を襲いました。56.そしてわれらはあなた方が死んだ後、あなた方を蘇らせたのです。あなた方は感謝することでしょう。57.またわれらは雲であなた方の頭上に陰を創り、マンナとウズラを与えました。われらが与えた良きものを食べなさい。（命に従わなかった）かれらはわれらを損なったのではなく、自分自身を悪に陥れたのです。

58.またわれらがこう言った（ときを思い出しなさい）。あなた方は、この町（エルサレム）に入り、望むままにそこで存分に食べなさい。頭を低くして門を入り、お赦しくださいと言いなさい。われらはあなた方の過ちを赦し、また善行の人たちには（報酬を）増し加えることでしょう。59.ところが不正を行なう人たちは、かれらに命じられた言葉を入れ替えてしまいました。不正を働く人たちは反抗的で服従しないので、われらはかれらの上に天から災厄を下しました。60.ムーサーがかれの民のために、水乞いをしたときを思い出しなさい。われらは、あなた（ムーサー）の杖で岩を打ちなさいと言いました。するとそこから12の泉が涌き出て、全員自分の水場を知ったのです。アッラーからいただいた糧を食べ、そして飲みなさい。堕落して地上で悪を犯してはいけません。61.またあなた方がこう言ったときを思い出しなさい。ムーサーよ、わたしたちは、一つの食物だけでは耐えられないから、葉野菜、きゅうり、にんにく、レンズ豆、玉ねぎのような大地に育つものを授けてくださるように、あなた（ムーサー）の主に祈ってください。かれ（ムーサー）は言いました。あなた方はつまらないものをより良いものの代わりに求めるのでしょうか。（それなら）町へ出て行きなさい。あなた方にはあなた方の望むものがあるでしょう。するとかれらには屈辱と悲惨さが襲いかかり、アッラーの怒りを招きました。なぜなら、かれらはアッラーの印を拒否し、不当に預言者たちを殺害したからです。かれらはアッラーに服従せず、規範を犯していたからです。

62.真に信仰した人（ムスリム）たち（の他）、ユダヤ教徒たち、キリスト教徒たち、サービア教徒たちで、アッラーと最後の日を信じ、善を行なった人、かれらへの報奨はかれらの主の御元にあり、またかれらには恐怖もなく悲哀もありません。

63.また、われらがあなた方と約束（律法）を結び、あなた方の上に（シナイ）山を盛り上げたときを思い出しなさい。われらがあなた方に

与えたものをしっかり受け取り、その中にあるものを考えなさい。きっとあなた方は意識するでしょう。64.その後、あなた方は背き去りました。もしあなた方にアッラーの寵愛と慈悲がなかったなら、あなた方は損失者たち（の仲間）となったでしょう。65.また、あなた方はあなた方の中で安息日を破った人を確かに知っていました。そこで、われらはかれらに猿になれ、排斥されてしまえと言いました。66.（こうして）それをわれらはあなた方の時代と後の時代の人たちへの見せしめとし、（アッラーを）意識する人へ諭したのです。

67.ムーサーがかれの民に、アッラーはあなた方に一頭の雌牛を犠牲に捧げることを命じました、と言ったときのことです。かれらは言いました。あなた（ムーサー）は、（殺人犯を問うているのに）わたしたちを馬鹿にするのか。かれは言いました。（いやいや）わたしがアッラーに無知な人たち（の一人）になることなど、とんでもないことです。68.かれらは言いました。それがどんなものか、わたしたちにはっきりさせてもらうよう、あなたの主に祈ってください。かれ（ムーサー）は言いました。それは老いもせず、若くもなく、その間でちょうどよい雌牛である、とかれは言われます。だから、あなた方は命じられたことをしなさい。69.かれらは言いました。それがどんな色か、わたしたちにはっきりさせてもらうよう、あなたの主に祈ってください。かれ（ムーサー）は言いました。それは見る人を喜ばせる色鮮やかな、黄金の雌牛であるとかれは言います。70.かれらは言いました。それがどのようなものか、わたしたちにはっきりさせてもらうよう、あなたの主に祈ってください。雌牛であるだけでは、わたしたちにはどれも同じに思える。アッラーが御望みなら、わたしたちも正しく導かれた人になるでしょう。71.かれ（ムーサー）は言いました。それは土地を耕すような家畜にはされておらず、耕地に水を撒くこともない、健康で欠点のない雌牛であるとかれは言われます。かれらは言いました。あなたは今ようやく真実を伝えてくれました。こうしてかれ

らは犠牲を捧げたのですが、（条件を細かく聞いたので、その実現が難しくなり）あやうくそれができずじまいになるところでした。72.また、あなた方が一人の人間を殺したとき、それについて互いに争いました。でもアッラーは、あなた方が隠していたことを明るみに出されたのです。73.われらは言いました。かれ（死者）をその（雌牛の）一片で打ちなさい。こうしてアッラーは死者を甦らせ、かれの印をあなた方に示されます。きっとあなた方は悟ることでしょう。

74.その後、あなた方の心は岩か、岩よりも固くなりました。確かに岩には、その間から川が涌き出るものもあれば、割れてその中から水が出てくるものもあり、アッラーを畏れるあまり、崩れ落ちるものもあります。アッラーは、あなた方の行なうことを決して見落としません。

75.あなた方（信者）は、かれら（ユダヤ教徒の偽信者）があなた方を信じることを期待するのでしょうか。かれらの一派はアッラーの言葉を聞き、それを理解した後、わかっているにもかかわらず、それを改変してしまうのです。76.かれらは、信者たちに会えば、わたしたちは信じましたと言います。しかし、かれら同士だけになると、次のように（真実を隠しておくようにと）言うのです。（以前受け取った）アッラーの啓示をかれら（信者）に語れば、あなた方の主の目前で（来世で）、（預言者ムハンマドの正しさが）あなた方の意に反して論証されてしまいます。あなた方は（このような事情が）分からないのでしょうかと。77.（しかし）かれら（ユダヤ教徒）は、アッラーがかれらの隠すことも、現すこともご存知であることを知らないのでしょうか。

78.また、かれらの中には、啓典を知らない非識字者がいます。かれらは虚しい願望を持って臆測するだけです。79.自分の手で啓典を書き、わずかな対価を得るため、これはアッラーから啓示されたものです、と言う人には災いがあるでしょう。かれら（ユダヤ教徒）の手で書いたものに災いがあり、かれらが稼いだものに災いがあるのです。80.かれら（ユ

ダヤ教徒）は、（地獄）の火がわたしたちに触れるのは数日にすぎないと言います。（かれらに）言いなさい。あなた方はアッラーから確約を得たのでしょうか。アッラーは決して約束を破りません。それとも、アッラーに反して、あなた方は知らないことを暴言しているにすぎないのでしょうか。81.そうです。悪事を稼ぎ、自分の過ちに取り囲まれた人たちは、（地獄の）火の仲間で、そこにかれらは永遠に住むのです。82.一方、信仰して善行をした人たちは、楽園の仲間で、そこにかれらは永遠に住むのです。

83.わたしがイスラーイールの子孫と約束を結んだときのことを思い出しなさい。アッラー以外に信仰しないこと、両親、近親者、孤児たち、貧しい人たちに善くすること、人びとに善い言葉で話し、礼拝の務めを守り、定めの施しをすることです。（しかし）その後、あなた方のわずかな人たちを除いて、背を向けて拒否しました。

84.わたしが、あなた方と約束を結んだときのことを思い出しなさい。あなた方は互いの血を流さないこと、また互いにその土地から追い出さないことを、自ら証人として了解しました。85.その後、あなた方は自ら殺し合い、一部の人たちをかれらの土地から追い出し、かれらに対して罪悪と侵害をもって共謀しました。また（同じユダヤ人である場合は、）かれらがあなた方の捕虜となれば、あなた方は身代金を支払う（釈放する）のです。（でもそもそも）かれらを追い出すことが禁止されているというのに。何とあなた方は啓典の一部を信じて、一部を拒否するのでしょうか。そのようなことをする人たちへの報いは、現世においては屈辱以外にないのです。審判の日には、最も激しい苦痛に処せられるでしょう。アッラーはあなた方の行なうことを見逃されません。86.これらの人たちは、来世と引き換えに現世の生活を買い込んだ人たちです。かれらの苦痛は軽減されず、また助けられることもないでしょう。

87.　われらはムーサーに啓典を授け、かれの後に引き続き使徒たち

を遣わしました。われらはマルヤムの子イーサー（イエス）に、明らかな印を授け、清魂（天使ジブリール）によってかれを強めました。あなた方（ユダヤ教徒）は、使徒があなた方の望まないものをもたらすたびに高慢になり、一部の者たちを拒否し、一部の者たちを殺害するのです。88. かれら（ユダヤ教徒）は、自分たちの心は（ムハンマドの言うことに対して）覆われていると言いました。いいえ。かれらは不信心なので、アッラーがかれらを拒否したのです。かれらはわずかしか信じません。

89.かれら（ユダヤ教徒）が持っているもの（律法）を確証する啓典（クルアーン）がアッラーの御元からきたとき、以前は不信心な人たちに対する勝利を願っていたのに、かれら（ユダヤ教徒）が知っているもの（真理）が来てしまったら、かれらはそれを拒否したのです。アッラーは不信心な人たちを受け入れません。90. かれら（ユダヤ教徒）がアッラーの下されたものを信じないで、自らの魂を売ったことこそ悪なのです。かれらはアッラーが御望みの僕（ムハンマド）に、かれの寵愛を授けられたことを妬んだのです。かれらは、（アッラーの）怒りの上にも怒りを買いました。不信心な人たちには、恥ずべき苦痛があるでしょう。

91.かれら（ユダヤ教徒）に、あなた方はアッラーが啓示されたものを信じなさいと言うと、かれらは、わたしたち（ユダヤ教徒）はわたしたちに啓示されたものを信じます、と言うのです。たとえかれらが持っているものを立証する真実であっても、かれらに啓示された以降のものは信じないのです。（ユダヤ教徒に）言いなさい。あなた方（ユダヤ教徒）が真の信者なら、なぜ以前にアッラーの預言者たち（マルヤムの保護者ザカリーヤーとその息子のヤフヤーなど）を殺害したのでしょうか。92. 本当にムーサーは、明らかな印を持ってやって来ました。ところが、あなた方はかれ（ムーサー）のいないとき子牛を信仰し、不正を働く人となりました。93.われらが、あなた方（イスラーイールの子孫）の上に（シナイ）山を持ち上げて、約束を結んだときのことを思い出しなさい。われらがあ

なた方に啓示したものをしっかり受け取り、従いなさいと言うと、かれらは、わたしたちは聞きますが、従いませんと言いました。かれらは不信心のために、子牛を心の底から受け入れたのです。言いなさい。もしあなた方が信者なら、あなた方の信心が命じることは、何と悪いことでしょう。94.言いなさい。アッラーの御元の来世における住まいが、他の人たちを除いてあなた方（ユダヤ教徒）だけのものだというのが真実というのであれば、死を望みなさいと。95.でもかれら（ユダヤ教徒）は、その手が犯したことのために、決して死を望まないでしょう。アッラーは、不正を行なう人たちをすべてご存知なのです。96.あなた（ムハンマド）は多神教徒たちよりも、かれら（ユダヤ教徒）が最も生に執着する人たちであることを知るでしょう。かれらの誰もが1,000年の寿命を望んでいます。しかし長生きしても、苦痛から免れることはできません。アッラーはかれらの行ないをすべてお見通しなのです。

97.言いなさい。ジブリール（天使ガブリエル）の敵は誰でしょうか。アッラーのお許しの下、あなた（ムハンマド）の心に信者への導きと吉報として、（また）以前にあったもの（啓典）の確証として、それ（クルアーン）を啓示したのです。98.アッラー、かれの天使たち、かれの使徒たち、ジブリール、そしてミーカール（天使ミカエル）の敵は誰でしょうか。アッラーの敵は不信心な人たちなのです。99.われらは明らかな印をあなた（ムハンマド）に啓示しました。これを拒否するのは（アッラーに）反抗する人たち以外に決していないのです。100.かれら（ユダヤ教徒）は約束を結ぶたびに、その中の一派はそれを捨て去ります。本当にかれらの多くは信じないのです。101.アッラーが、かれら（ユダヤ教徒）の持つ啓典を確証するため使徒を遣わすと、啓典を以前に受け取った一派は、アッラーの啓典をまるで知らなかったかのように、肩越しに捨てたのです。

102.かれら（ユダヤ教徒）は、スライマーン（ソロモン）の治世について、嘘を語る悪魔たちに従いました。スライマーン自身は不信心な人で

はなく、悪魔たちが非信者でした。悪魔たちは人びとに魔術を教え、バービル（バビロン）の両天使ハールートとマールートに授けられたものを教えました。でも両天使は、われら二人は挑発して試すだけで、それで不信心になってはならないと、最初に警告することなくしては、誰にも教えませんでした。かれら（ユダヤ教徒）は両天使から、夫と妻の間を不和にする術を学びました。ただし、かれら（悪魔）はアッラーのお許しがない限り、それで誰も害することはできません。かれら（ユダヤ教徒）はかれら自身の害になる、益のないことを学んだのです。そして誰であれ、それ（その術）を買った人は来世における福分はないことを知ったのです。かれら（ユダヤ教徒）が引き換えに自らの魂を売ったもの（魔術）こそ、何と邪悪なことでしょうか。かれらにそれが分かっていればよかったのに。103.もしかれら（ユダヤ教徒）が信仰して（アッラー）を意識していたなら、アッラーの御元から善い褒美を得ていたことでしょう。かれらにそれが分かっていたらよかったのに。

104.あなた方信者よ、（ムハンマドに）ラーイナー（わたしたちを見てください）と言ってはいけません。ウンズルナー（わたしたちを見てください）と言いなさい。そして（ムハンマドに）耳を傾けなさい。（アッラーの言葉を）軽視する人たちには激しい苦痛があるでしょう。105.不信仰に陥った啓典の民や多神教徒は、主からあなた方に良いものが与えられることを望みません。でも、アッラーは御望みの人たちに、かれの寵愛をかけられます。アッラーは大いなる恵みをお持ちなのです。106.どの啓示を取り換えても、また忘れさせても、われらはそれに優るか、または同様のものを授けます。アッラーは全能をお持ちであることを、あなた（ムハンマド）は知らないのでしょうか。107.諸天と地の大権は、アッラーのものであることを、あなたは知らないのでしょうか。あなた方（信者）にはアッラー以外に守護者も援助者もありません。108.あるいは、あなた方は以前、ムーサーが求められたように、あなた方の使徒（ムハンマド）

に求めようとするのでしょうか。誰でも信心の代わりに不信心を選ぶ人たちは、正しい道から迷い去った人たちです。

109.真理がかれらに明らかにされた後でも、啓典の民の多くは自分自身の嫉妬心から、信仰を受け入れたあなた方を不信心に戻そうと望んでいます。アッラーの命令が下るまでかれらを赦し、見逃がしておきなさい。本当にアッラーは全能をお持ちなのです。110.礼拝の務めを守り、定めの施しをしなさい。あなた方が自分のためになるよう行なったどんな善も、アッラーの御元で見出すことができるでしょう。誠にアッラーは、あなた方の行なうことをすべてお見通しなのです。111.かれら（啓典の民）は、ユダヤ教徒とキリスト教徒以外は誰も楽園に入れないと言います。それはかれらの勝手な思い込みです。（かれらに）言いなさい。あなた方が言うことが本当なら、証拠を出してみなさい。112.これに反し、アッラーに自分の誠をつくして服従し、善行に勤しむ人たちは、主の御元から報奨が与えられます。かれらには恐怖や悲嘆はないでしょう。

113.ユダヤ教徒はキリスト教徒には根拠がないと言います。キリスト教徒もユダヤ教徒には根拠がないと言います。かれらは啓典を読誦しているのに。知識のない人たちはこれと同じことを口にします。アッラーは、復活の日にかれらの口論を裁かれるでしょう。114.アッラーの（各地の）礼拝所において、かれの御名を唱えるのを禁じ、そこを廃墟にしようとする人よりも、不正な人たちがいるでしょうか。これらの人たちは、（アッラーを）畏れる心なくして、そこに足を踏み入れるべきではありません。かれらは現世で屈辱を受け、来世で重大な苦痛を受けるでしょう。115.東も西もアッラーのものです。あなた方がどこに向いても、アッラーの尊顔はあります。アッラーは広大にして、すべてをご存知なのです。116.かれら（啓典の民）は、アッラーは子をもうけると言います。かれに賛美あれ。そうではなく（子はないが）、諸天と地にあるすべてのものは、かれのものであり、（だから）かれに心から従うのです。117.アッラー

は天と地のはじまりです。かれが万事を定めるとき、有れと言えば即ち有るのです。

118.知識のない人たちは、なぜアッラーはわたしたちに話しかけず、奇跡の印をもたらさないのでしょうか、と言います。以前にも、かれらのように言う人たちがいました。かれらの心は似ています。確かな信仰心を持つ人たちには、われらは明らかな印を示してきました。119.本当にわれらは、あなた(ムハンマド)を吉報と警告の伝達者として、真理と共に遣わしました。あなたは地獄の火の住人について、責めを問われることはありません。120.ユダヤ教徒やキリスト教徒は、あなた(ムハンマド)がかれらの宗教に従わない限り満足しないでしょう。(かれらに)言いなさい。アッラーの導きだけが(真の)導きなのですと。知識があなたに啓示されているにもかかわらず、かれら(ユダヤ教徒とキリスト教徒)の妄欲に従うなら、アッラー(の罰など)からあなたを守る者も助ける者もいないでしょう。121.われらが啓典を授け、それ(啓典)を正しく読誦する人たちは、それを誠実に信じている人たちです。その(啓典の)真理を否定する人たちは損失者なのです。

122.イスラーイールの子孫よ、あなた方に恵んだわたしの恩寵と、どの民よりも優遇したというわたしの寵愛を思い出しなさい。123.そして誰も他人のために身代りになれず、どんな償いも取ってもらえず、誰の執り成しも受け入れられず、助けられることもない日について、自覚しなさい。124.イブラーヒームの主がある戒めの言葉で試みられ、それが達成されたとき、かれは言いました。わたしは、あなた(イブラーヒーム)を人びとの導師としましょう。かれは尋ねました。わたしの子孫までも導師とするのでしょうか。主は言いました。わたしの約束は、悪行をした人たちにはおよびません。

125.われらが人びとのために、集まり場所であり、安全な場所としてこの家(カアバ殿)を建立したとき、イブラーヒームが立った場所をあな

た方の礼拝の場所としなさいと（言いました）。またわれらは、イブラーヒームとイスマーイールに命じました。ここで回巡（タワーフ）し、籠り、屈折礼し、平伏礼する人たちのために、わたしの家（カアバ殿）を清めなさいと。126.イブラーヒームは言いました。わたしの主よ。この場所を平安にしてください。アッラーと最後の日を信じる人びとに、果実を授けてください。かれは言いました。信仰を拒否する人たちに、わずかの間楽しみを与えましょう。その後、かれらを（地獄の）火の苦痛に追いやります。何と悪い行き先なのでしょう。

127.それからイブラーヒームとイスマーイールがその家（カアバ殿）の礎を定めたとき、（祈りました。）主よ、わたしたちから（この奉仕を）受け入れてください。誠にあなたは、全聴にして全知であります。128.主よ、わたしたち二人をあなたに服従する人（ムスリム）にしてください。わたしたちの子孫も、あなたに服従する共同体（ウンマ）にしてください。わたしたちに（帰依の）儀礼を示し、わたしたちの改心を受け入れてください。本当にあなたは改心を受け入れる方で、慈悲深いお方です。129.主よ、あなたの印をかれら（イブラーヒームの子孫）に読誦して、啓典と英知を教え清めるため、使徒をかれらの中から（選んで）かれらに向けて遣わしてください。誠にあなたは、偉力大にして英明であられます。

130.自らを笑い草にしない限り、誰がイブラーヒームの宗教を捨てるでしょうか。まさにわれらは現世において、かれを選びました。そして来世において、かれは善行者の一人となるのです。131.主が、かれに向かって、服従しなさいと言うと、かれは言いました。わたしはすべての世界の主に服従しました。132.イブラーヒームは、同じこと（アッラーへの服従）をかれの息子たち（イスマーイールとイスハーク）とヤアクーブに命じました。わたしの子孫よ、アッラーはあなた方のためにこの宗教を選ばれました。だからムスリム（アッラーへの服従者）としてでなければ

死んではいけません。133.またあなた方（ユダヤ教徒）は、ヤアクーブの死に立ち会いましたか。かれはかれの子孫に向かって言いました。わたしが亡き後、あなた方は何を信仰するのでしょうかと。かれらは言いました。わたしたちはあなたの神であり、あなたの父祖であるイブラーヒーム、イスマーイール、イスハークたちの神である唯一の神（アッラー）を信仰します。そしてわたしたちは、かれに服従しますと。134.これはすでに過ぎ去った共同体のことです。かれらが稼いだことはかれらのものであり、あなた方が稼いだことはあなた方のもので、かれらの行なったことについて、あなた方が責めを問われることはありません。

135.かれら（啓典の民）は言います。ユダヤ教徒かキリスト教徒になりなさい。そうすればあなた方は正しく導かれるでしょう。（あなた方信者はかれらに）言いなさい。いいえ。わたしたちは、イブラーヒ―ムのまっすぐな宗教を信仰します。かれは多神教徒ではありませんでした。136.（かれらに）言いなさい。わたしたちはアッラーを信じ、わたしたちに啓示されたものを信じます。主から、イブラーヒーム、イスマーイール、イスハーク、ヤアクーブと各支族（ヤアクーブの12支族）に啓示されたもの、ムーサーとイーサーに与えられたもの、そしてすべての預言者たちに与えられたものを信じます。かれらの間に区別をつけません。わたしたちはかれに服従します。137.かれら（啓典の民）があなた方のように信仰するのであれば、かれらは正しく導かれることでしょう。背き去るのであれば、かれらは分裂するだけです。アッラーはあなた方を守ってくれるでしょう。かれは全聴にして全知なのです。138.（わたしたちの人生は）アッラーの色染め（宗教）であり、どの色染め（宗教）がアッラー（の宗教）よりも良いでしょうか。かれに、わたしたちは仕えるのです。139.（ユダヤ教徒とキリスト教徒に）言いなさい。かれはわたしたちの主であり、またあなた方の主であるのに、あなた方はアッラーについてわたしたちと議論するのでしょうか。わたしたちにはわたしたちの行ない

があり、あなた方にはあなた方の行ないがあります。わたしたちは、かれに至誠を尽くします。140.あるいはまた、あなた方（ユダヤ教徒とキリスト教徒）は、イブラーヒーム、イスマーイール、イスハーク、ヤアクーブと各支族らが、（すべてムスリムなのに）ユダヤ教徒またはキリスト教徒であったと言うのでしょうか。（かれらに）言いなさい。よく知る者はあなた方なのでしょうか、それともアッラーでしょうか。アッラーからの証言を隠すよりもひどい不正をする者がいるでしょうか。アッラーは、あなた方の行なうことを見過ごす方ではありません。141.これはすでに過ぎ去った共同体のことです。かれらが稼いだことはかれらのものであり、あなた方が稼いだことはあなた方のもので、かれらの行なったことについて、あなた方が責めを問われることはありません。

142.◆2部◆愚かな人たちは言うでしょう。何がかれら（ムスリム）のキブラ（礼拝の方向）を変えさせたのでしょうかと。（預言者よ、愚かな人に）言いなさい。東も西もアッラーのものです。かれは、心にかなう人たちを正しい道に導かれるのです。143.われらがあなた方（信者）を中庸で正しい共同体（ウンマ）としたのは、あなた方が人類の（信仰の）証人であり、使徒（ムハンマド）をあなた方の（信仰の）証人とするためです。あなた（ムハンマド）が向けてきたキブラにわれらが定めた（理由）は、使徒に従う人たちを（使徒に）踵を返す（従わない）人たちから、見分けるためでした。アッラーに導かれた人たちを除けば、これは大変なことだったのです。（キブラ変更後も）アッラーはあなた方の信仰心（それまでのエルサレムに向けた礼拝）を無駄にはしません。確かにアッラーは人間に対して、憐みも慈悲も深い方なのです。

144.われらはあなた(ムハンマド)が顔を天に巡らすのを見ていますが、（そこで）あなたが喜ぶ方のキブラ（礼拝の方向）に、われらはあなたを向けさせます。（だから）あなたの顔を禁忌のあるマスジド（マッカ）の方向に向けなさい。あなた方はどこにいても、（礼拝のときには）あなた

方の顔をそこ（マッカ）に向けるのです。啓典を与えられた民（ユダヤ教徒やキリスト教徒）は、それがかれらの主からの真理であることをよく知っています。アッラーはあなた方の行なうことを、見過ごす方では決してありません。145.またあなた（ムハンマド）がすべての印を啓典の民に提示しても、かれらはあなたのキブラに従わないでしょう。あなたもかれら（啓典の民）のキブラに従いません。ですから、誰も互いに相手のキブラに従わないのです。あなた（ムハンマド）に知識が授けられた後、かれらの望みに従うなら、まさしくあなたは不正を行なう人たちの仲間になります。146.われらが啓典を授けた人たちは、自分の子を認めるようにそれを認めます。（しかし）かれらのうち一部の人たちは、知りながらも真理を隠すのです。147.真理は主から来ます。だから疑う人たちの一人となってはいけません。

148.誰でもそれぞれ向かう方向があるのです。そこで善行を競いなさい。あなた方がどこにいても、アッラーはあなた方を一同に集められます。誠にアッラーは、何事についても全能な方なのです。149.あなた（ムハンマド）はどこから出てきても、（礼拝のときは）禁忌のあるマスジドの方向に顔を向けなさい。これは真にあなたの主からの真理です。アッラーは、あなた方の行なうことを、見過ごす方では決してありません。150.あなた方はどこから出てきても、（礼拝のときは）禁忌のあるマスジドの方向に顔を向けなさい。また、あなた方がどこにいても、（礼拝のときは）顔をそこに向けなさい。そうすれば、あなた方に対して人びとが議論することはないでしょう。不正を行なう人たちは例外ですが、かれらをこわがらず、わたしをこわがるように。（マッカへのキブラを守ることは）わたしの恵みを全うするためなのです。あなた方は正しく導かれることでしょう。151.同様に（アッラーの恵みとして）われらはあなた方に対して使徒をあなた方の中から遣わし、われらの印をあなた方に読誦させて、あなた方を清め、啓典（クルアーン）と英知（ムハンマドの言行）、

そしてあなた方の知らなかったことを教えました。152.だからわたしを想いなさい。そうすれば、わたしもあなた方を想うでしょう。わたしに感謝し、（アッラーを）忘れてはいけません。

153.信仰する人たちよ、忍耐と礼拝によって（アッラーの）助けを求めなさい。アッラーは忍耐ある人たちと共におられます。154.アッラーの道のために殺害された人たちを、死んだと言ってはいけません。いいえ。かれらは生きているのです。でもあなた方は知らないだけなのです。155.われらは恐怖や飢え、財産や生命や収穫物の損失で、必ずあなた方を試みるでしょう。でも耐え忍ぶ人たちには、吉報を伝えなさい。156.災難に遭うと、かれらは言います。確かにわたしたちは、アッラーのもの。わたしたちはかれの御元に帰ります。157.かれらには主からの祝福と慈悲があるでしょう。かれらは正しく導かれる人たちなのです。

158.サファーとマルワ（の丘）は、アッラーの儀礼の一部です。だからカアバ殿に大巡礼（ハッジ）する人たち、または小巡礼（ウムラ）する人たちは（以前偶像があった）両丘を往復しても責められることはありません。自発的に善行をする人たち、（かれらには）アッラーは報酬を与えられる方であり、すべてをご存知な方なのです。159.啓典（クルアーン）の中で人びとに（真理を）明らかにした後、われらが啓示した明確な証拠と導きを隠す人たちは、アッラーに拒否され、（真理を隠すことを）拒否するものたちにも拒否されるでしょう。160.（ただし）悔悟し、その身を正し、（真理を）表明する人たちは別です。かれらに対してわたしは、悔い改めを認めるためかれらの側に戻るでしょう。わたしは改心を受け入れ、慈悲深いのです。161.信仰を持たず非信者として死ぬ人たちは、アッラーが拒否し、天使たちと全人類が拒否するでしょう。162.かれら（非信者）は（拒否の）中に永遠にとどまるでしょう。その苦痛は軽減されず、また猶予されることもありません。

163.あなた方の神は唯一の神（アッラー）です。かれの他に神はなく、

慈悲あまねく慈悲深いお方なのです。164.諸天と地の創造、夜と昼の交替、人に役立つものを運んで航海する船、不毛になった大地にアッラーが空から降らせて命を与える雨、その大地に散らばったすべての生き物、空と地の間で風や雲の定められた変化の中にこそ、知性ある人たちへの印があります。

165.（しかし）人びとの中には、アッラーの他に同位者を置いて信仰し、アッラーを愛すべきなのに、その同位者を愛する人たちもいます。でも信者たちのアッラーへの愛は、かれらのよりも大きいものです。不正を行なう人たちは、苦痛を前にして知ることになるでしょう、権能はすべてアッラーのものであり、アッラーは激しい苦痛を与えるということを。166.そのとき追従された人たちは、（盲目的に）追従した人たちとの関係を否認し、苦痛を目の前にして、かれらの絆は断絶されるのです。167.すると追従した人たちは言います。わたしたちがひき返すことができるなら、かれら（追従された人）がわたしたちとの関係を切ったように、かれらとの関係を切るでしょう。このようにアッラーはかれら（追従した人）自身の行ないを、痛恨の種として明示されます。（そして）かれらは（地獄の）火から出ることは決してないのです。

168. 人びとよ、地上にあるものの中、合法で良いものを食べなさい。そして悪魔の歩みに従ってはいけません。本当にかれ（悪魔）は、あなた方にとって公然の敵です。169.かれ（悪魔）はあなた方に、悪行と醜行と、アッラーについてあなた方の知らないことを命じるのです。170.かれら（盲目的に追従する人）に、アッラーが啓示されたことに従いなさいと言えば、かれらは、いいえ、わたしたちは先祖が則った道に従うと言います。しかし、かれらの先祖は全く理解せず、（正しく）導かれなかったではありませんか。171.信仰を拒む人たち（に呼びかけること）を例えれば、呼び声と叫び声の他は聞きとれないもの（家畜の類）に呼びかける人

のようです。かれら（非信者）は耳が聞こえず、ものが言えず、目が見えないので理解することができません。
172.信仰する人たちよ、われらがあなた方に与えた良いものを食べなさい。そしてアッラーに感謝しなさい。もしあなた方がかれに仕えるなら。173.かれは、あなた方に死肉、血、豚肉、そしてアッラー以外の名を唱えられ（屠畜された）ものだけを禁忌としました。ただし（生存の）必要に迫られ、（また）故意でもなく過剰でもない場合は、罪にはなりません。アッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。174.アッラーが啓示した啓典を隠し、それをわずかな値段で売る人たちは、かれら（自身）の腹を火で満たしているだけです。復活の日、アッラーがかれらに話しかけることはなく、かれらを清めることもありません。かれらには激しい苦痛があるでしょう。175.これらの人たちは導きと引き換えに迷いを、赦しと引き換えに苦痛を買い込んだ人たちです。何がかれらを（地獄の）火（の苦痛）に耐えさせてくれるでしょう。176.なぜなら、アッラーは啓典を真理と共に下されたからです。この啓典について異論がある人たちは、（真理から）遠く離れ去った人たちなのです。
177.（アッラーに）正しく仕えるということは、あなた方の顔を東または西に向けることではありません。正しく仕える（人びと）とは、アッラーと最後の日、天使たち、諸啓典、預言者たちを信じ、愛着あるとしてもその財産を、近親者、孤児、貧者、旅人、物乞い、奴隷の解放のために費やし、礼拝の務めを守り、定めの施しを行ない、約束したときは約束を果たし、また、不運や逆境、そして危機に際してよく耐え忍ぶ人びとです。これらの人びとこそ真実（に従うところ）の人びとであり、これらの人びとこそアッラーを注意深く意識するのです。
178.信仰する人たちよ、殺人に対する（公平な）同害報復（キサース）があなた方に定められました。自由人（の殺害）には自由人、奴隷（の殺害）には奴隷、女性（の殺害）には女性となります。でも（被害者の）兄弟

が殺人者を赦すなら、(殺人者は)誠意をもって適正に弁償しなさい。これはあなた方の主からの(報復の)軽減かつ慈悲なのです。その(弁償)後これに違反する(殺人者を殺害する)人たちには、激しい苦痛があるでしょう。179.この同害報復は、あなた方の命を救うため(殺人の抑止)にあります。思慮ある人たちよ、あなた方は(それにより、悪行から)身を守ることでしょう。180.あなた方の誰かが死を迎えるとき、財産を残すなら、両親と近親者たちに向けて公正な遺言をすることがあなた方に定められました。これは(アッラー)を意識する人たちの義務です。181.それを聞いた後、その遺財を変更する人たちがいれば、罪は変更した人たちの上にあります。誠にアッラーは全聴にして全知であります。182.ただし、遺言者(自身)が不正し、罪を犯したことを知ったなら、関係者の間を調停するのは罪ではありません。アッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。

183.信仰する人たちよ、あなた方以前の人たちに定められたように、あなた方に斎戒(断食)が定められました。あなた方は(アッラーを)意識することでしょう。184.(斎戒は)日数が定められています。ただし、あなた方の中で病気や旅路にある人は、別の日に(できなかった)日数を(斎戒)することができます。また可能ではあっても(高齢や健康上などの理由で実施困難な人は、斎戒できなかった日数分)貧者に食べ物を施す償い(フィドヤ)をします。誰でも自発的に善行をすれば、かれら自身のためになるでしょう。もしあなた方が理解するなら、斎戒はあなた方のために良いのです。185.ラマダーン月は人類の導きとして、また導きと(善悪の)識別の明証としてクルアーンが啓示された月です。だからあなた方の中、(家に)いる人はこの(ラマダーン)月の間、斎戒(断食)しなければなりません。病気や旅路にある人は、別の日に(できなかった)日数を(斎戒)することができます。アッラーはあなた方に容易を望み、困難を望みません。(こうすることで)あなた方は定められた期間(の斎

戒）を全うでき、かれの導きに対し、アッラーを賛美することができ、また感謝することができるのです。

186.わたしの僕たちが、わたしについてあなた（ムハンマド）に問うなら、わたしは本当に近くにいる（すべてを見て聞いていると伝えなさい）。わたしに祈りを捧げる人たちにわたしは応えます。だからわたしに応えさせ、わたしを信仰させなさい。そうすればかれらは正しく導かれるでしょう。 187.斎戒（断食）の夜、あなた方（信者）には、あなた方の妻たちとの交わりが許されます。かの女らはあなた方の衣で、あなた方はかの女らの衣（のように近いの）です。アッラーは自らをごまかした（斎戒の夜に交わった）人があなた方の中にいることを知って、あなた方に考慮し、あなた方を赦されました。だから、今は（斎戒の夜であれば罪なく）かの女ら（妻）と交わり、アッラーが定めたことに従いなさい。また白糸と黒糸が見分けられる黎明まで食べて飲みなさい。そして日の入りまで斎戒を全うしなさい。ただし、マスジドに籠っているときは、かの女ら（妻）と交わってはいけません。これらはアッラーが定めた（斎戒の）法規定なので、それに近づいてはいけないのです。このようにアッラーは、人びとにかれの印を明らかにされます。そしてかれらは、間違いをしないよう身を守るでしょう。188.不当にあなた方の財産を浪費し、またそれを裁定者に贈賄し、（また）罪であると知りながら、人びとの財産の一部を食いつぶしてはいけません。

189.かれらは新月について、あなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。それは人類と巡礼者に時期を示すためのものです。そして、（アッラーに）正しく仕えるということは、あなた方が（巡礼から帰るとき）裏口から家に入ることではありません。正しく仕えるということは、（アッラーを）意識することです。だから、（巡礼から帰るときは）表口から家に入りなさい。アッラーを意識することで、あなた方は成功するでしょう。190.あなた方（信者）を攻撃する人たちに対し、アッラーの道にお

いて戦いなさい。しかし限度を犯してはいけません。本当にアッラーは、限度を犯す人たちを愛されません。191.（たとえ巡礼のときであっても）かれら（信者を攻撃する人）に出会えば、どこでもかれらを殺しなさい。そして、かれらがあなた方を追い出したところから、かれらを追い出しなさい。本当に迫害（イスラームへの敵対行為）は殺害よりも深刻で、禁忌のあるマスジド近くでは、かれらがあなた方を攻撃するまでは殺してはいけません。そしてかれらがあなた方を攻撃するなら、かれらを殺しなさい。これは非信者に対する報いです。192.ただし、かれらが止めるなら、アッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。193.迫害がなくなり、アッラーに信奉できるようになるまで、かれらに対して戦いなさい。ただし、かれらが止めるなら、不正を行なう者以外には敵意を持ってはいけません。

194.禁忌のある月には、禁忌月を。禁忌を破る（禁忌のある月に戦争する）人たちには、同害報復があります。だから、誰でも、あなた方に対して禁忌を破る人たちには、同様にかれらに対して禁忌を破りなさい。アッラーを意識し、アッラーがかれを意識する人たちと共にいることを知りなさい。195.アッラーの道のために（戦費の）施しをしなさい。そしてあなた方の手で（戦費を出し惜しんで）あなた方自身を破滅に陥れてはいけません。善を実践しなさい。本当にアッラーは、善を行なう人たちを愛されます。

196.アッラーのために、大巡礼（ハッジ）と小巡礼（ウムラ）を全うしなさい。もしあなた方が（治安や健康上の理由で）妨げられるなら、可能な（動物の犠牲の）捧げ物を供出しなさい。そして捧げ物が犠牲屠畜の地に届くまで、あなたの頭を剃ってはいけません。あなた方の中で病気の人たちや頭部に疾患のある人たちは、斎戒（断食）、施し、もしくは犠牲供出による償いをしなさい。（また）あなた方が安全なときに、小巡礼と大巡礼の間に休止する人たちは、可能な捧げ物を（しなければ

いけません）。ただし（捧げ物が）できない人たちは、大巡礼の期間中に３日間の斎戒をし、大巡礼から帰った後に７日間の斎戒をしなければいけません。合計で10日間ですが、それは禁忌のあるマスジド（の近く）に家族がいない（ので動物を入手できない）人たちのためです。アッラーを意識しなさい。そしてアッラーは、懲罰に厳しいことを知りなさい。197.大巡礼は、周知の（規定された）月々です。その期間に大巡礼を行なう人は、男女の交わり、そして非道徳な行為や口論が禁じられます。あなた方の行なう善いことは、アッラーがご存知です。（だから）旅の準備をしなさい。確かに最も優れた準備は（篤信でアッラーを）意識することです。思慮ある人たちよ、わたしを意識しなさい。

198.あなた方が主の恵みを求めること（巡礼期間中に商売すること）は罪ではありません。そしてアラファートから出発し、ムズダリファ（の野原）でアッラーを想いなさい。そしてかれが、以前迷いにあったあなた方を導いたことを想い出しなさい。199.人びとが出発したところから出発し、アッラーの赦しを乞いなさい。誠にアッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。200.あなた方が（巡礼の）儀礼を果たしたなら、あなた方が自分たちの父祖を想うように、またはそれ以上に精魂を込めてアッラーを想いなさい。人びとの中には、わたしたちの主よ、現世でわたしたちに与えてください、と言う人びとがいます。でもかれらには来世における分け前はないでしょう。201.一方、人びとの中には、わたしたちの主よ、現世でわたしたちに良いものを与え、来世においても良いものを与えてください。そして（地獄の）火の苦痛から、わたしたちを守ってください、と言う人びとがいます。202.かれらには（現世と来世において）稼いだものの分け前があるでしょう。誠にアッラーは、速やかに清算されるのです。203.（犠牲を捧げた後）定められた数日間、アッラーを想いなさい。（帰りを）急ぐ人たちがいれば（犠牲後の）滞在を２日間に短くしても罪はありません。（アッラーを）意識している限り、（滞在を）遅

らしても罪はありません。アッラーを意識しなさい。そして（最後には）かれの所に集められることを知りなさい。

204.人びとの中には、現世の生活に関する話であなた（ムハンマド）を惑わす人がいます。かれは心から誠実であるとアッラーに誓いを立てるけれど、かれこそ最も手ごわい敵対者なのです。 205.かれは（マディーナを）立ち去ると、地上に邪悪を広めることにつとめ、収穫物や家畜に損害を与えます。アッラーは腐敗を好まれません。206.アッラーを意識しなさいと言われると、高慢さがかれを罪に走らせます。かれにふさわしいのは地獄です。そこは劣悪な休息所です。207.一方、人びとの中には、アッラーの喜びを求めて自分を売る（財産を放棄しても信心を守る）人がいます。アッラーはかれの僕に憐れみ深いのです。

208.信仰する人たちよ、完全にイスラームに入りなさい。そして悪魔の歩みに従ってはいけません。本当にかれ（悪魔）はあなた方にとって明確な敵なのです。209.明証が啓示された後、あなた方が（改宗前の宗教に）戻るなら、アッラーは偉力大かつ英明であることを悟りなさい。210.かれらは雲の影から、アッラーが天使たちとともに降臨してくるのを待っているのでしょうか。しかしそれまでに万事は決定される（改心するには手遅れ）かもしれません。すべてはアッラーに帰属するのです。211.（ムハンマドよ）イスラーイールの子孫に問いなさい。われらはどれほど多くの明らかな印をかれらに与えたことでしょうか。アッラーが恵み（印）を与えた後、それを変える人がいれば、誠にアッラーは懲罰に厳しいのです。212.現世の生活は、非信者たちにとって魅惑的に見えます。かれらは信者たちを馬鹿にするけれど、（アッラーを）意識する信者たちは、復活の日に非信者よりも上位になるでしょう。アッラーは御望みの人たちに限りなく与えます。

213.人類は一つの共同体でした。そしてアッラーは、（楽園の）吉報と（地獄の）警告を伝える預言者たちを遣されました。かれは、人びとが

意見を異にしていたことを裁定するため、かれら（預言者たち）と共に、真理の啓典を下されたのです。ところが、明証が届いたにもかかわらず、すでに（以前の啓典を）与えられている人たちは、競争心によって意見を異にしました。かれらの異論を巡り、アッラーは、かれの命の下、信じる人たちを真理に導かれます。本当にアッラーは御望みの人たちを正しい道に導かれるのです。214.あなた方は先に過ぎ去った人たちが出会ったようなもの（試み）が訪れる前に、あなた方が楽園に入れると考えるのでしょうか。かれら（先人）は災難や困窮に見舞われ、使徒や一緒の信者たちも、アッラーの助けはいつでしょうか、と言うほどまでに動揺させられました。本当にアッラーの助けは近いのです。

215.かれらは何を施すべきかについて、あなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。両親、近親者、孤児、貧者や旅人のためであれば、何でも善いものを施すことです。本当にアッラーはあなた方が行なう善いことを、すべてご存知です。216.戦いがあなた方に定められました。これはあなた方にとって憎むべきことです。ただし、あなた方は自分たちのために善いことを嫌い、自分のために悪いことを好むかもしれません。あなた方が知らなくてもアッラーはご存知なのです。

217.かれらは禁忌のある月の戦いについて、あなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。禁忌のある月の戦いは大きな罪です。ただし、アッラーの道から人びとを遠ざけること、かれを信じないこと、禁忌のあるマスジド（への出入りを妨げること）、そこから人びとを追放することは、アッラーの御元ではより大きな罪なのです。迫害（イスラームへの敵対行為）は殺害よりも悪いのです。かれらは可能であれば、あなた方の信教をやめさせるまで戦いを止めないでしょう。あなた方の中で信教に背き、不信心なままで死ぬ人は、誰でも、その行ないは現世と来世において水の泡となります。かれらは（地獄の）火の住人で、永遠にその中に住むでしょう。218.誠に信仰する人、（信仰のために）移住する人、そして

アッラーの道において奮闘努力する人、これらの人たちは、アッラーの慈悲を望めるでしょう。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

219.かれらは酔わせるもの（酒）と賭け事について、あなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。両方とも大きな罪です。これらは人間のために便益もあるけれど、便益よりも罪の方が大きいのです。またかれらは何を施すべきかについて、あなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。何でも必要分を除いた残りを（施しなさい）。このようにアッラーは、あなた方がじっくりと考えるため（様々な）印を明示するのです。220.現世と来世について（じっくりと考えるために）。また孤児（の財産）についても、かれらはあなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。かれら（孤児）の状況を改善することは善いことです。もしかれらと（財産を）共有することがあれば、かれらはあなた方の兄弟姉妹です。アッラーは（孤児の財産を）不正に扱う人を、公正に扱う人たちから見分けます。アッラーが望めば、あなた方を（導かないままに）困らせておくこともできました。誠にアッラーは偉力大で英明なのです。

221.多神教の女性たちとは、かの女たちが信者になるまで結婚してはいけません。多神教の女性があなた方をとりこにするかもしれませんが、信仰のある奴隷の女性の方が（多神教の女性よりも）善いのです。また多神教の男性たちが信者になるまで、あなた方（信者）の女性たちをかれら（多神教の男性）に嫁がせてはいけません。多神教の男性があなた方をとりこにするかもしれませんが、信仰のある奴隷の男性の方が（多神教の男性よりも）善いのです。これらの人たちは、信者を（地獄の）火へと招くことでしょう。一方、アッラーは（信者を）楽園と赦しへとかれの許可により招くのです。かれはかれら（人びと）が深く想いに留めるように、かれの印を明らかにします。222.かれらは月経について、あなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。それは苦痛を伴うもので

す。だから月経のときには妻たちから離れて、かの女たちが清まる（月経終了後の全身沐浴）まで近づいてはいけません。清まったときには、あなた方へのアッラーの命に従い、かの女たちに近づいてもかまいません。誠にアッラーは悔いて戻り来る人たちを愛し、清浄な人たちを愛します。223.あなた方の妻たちは、あなた方にとって耕地（のようなもの）です。だからあなた方が望むように耕地へ行きなさい。その前にあなた方のためになる（善行を）しなさい。アッラーを意識しなさい。かれに会うことをあなた方は知りなさい。そして（楽園の）吉報を信者たちに伝えなさい。

224.あなた方は善をなし、（アッラーを）意識し、人びとの間を取り持つという誓約に対する（責任逃れの）口実として、アッラー（の名）を使ってはいけません。アッラーは全聴にして全知なのです。225.アッラーは、あなた方の誓いにおける不用意な言葉を責めることはありません。でもあなた方の心が（意図的に）稼いだことは責められます。誠にアッラーはよく赦すお方で、寛大なお方です。226.かれらの妻たちから（離婚を想定して）距離を置くことを誓う人たちには、4ヵ月間の待機期間があります。もし（この間に）よりを戻すなら（それは善いことであり）、誠にアッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方です。227.（逆に）かれらが離婚を決意したなら、アッラーは全聴にして全知なのです。228.離婚された女性たちは、再婚するまで3回の月経を待ちます。かの女たちがアッラーと最後の日を信じるなら、アッラーがかの女たちの子宮に創られたもの（妊娠）を隠すことは合法ではありません。もし（離婚した）夫たちがちゃんと正そうとするなら、かの女（元妻）たちと復縁する権利があります。（しかし離婚されても）かの女たちの権利は、良識に従い、かの女たちの義務と同様（維持するの）です。ただし男性は、女性よりも（家長として婚資や生活費負担をしたので、権利として）ひとつ上位にあります。誠にアッラーは偉力大で英明なのです。

229.離婚は2回（まで取り消し可能）です。（各離婚後は）適正な待遇で復縁するか、もしくは丁重に別れなさい。二人がアッラーの法規定（夫婦間の権利義務など）を守れない恐れがある場合を除いて、あなた方（元夫）がかの女たちに与えたもの（婚資）を取り戻すことは合法ではありません。もし二人がアッラーの法規定を守れないとあなた方（仲介者）が恐れるなら、かの女が支払っても（婚資の返却をして夫を離婚しても）二人とも罪になりません。これはアッラーの法規定なので、これに背いてはいけません。アッラーの法規定に背く人たちは、誰でも不正な人たちです。230.もしかれが（3回目の）離婚をしたら、かの女が他の（次の）夫と結婚するまで、かの女はかれ（初めの夫）にとって合法ではありません。かれ（2度目の夫）がかの女を離婚した後、（初めの夫と元妻の双方が）アッラーの法規定を守れると思うなら、（かれらの復縁は）罪になりません。これはアッラーの法規定です。かれは理解ある人たちに、これを明らかにするのです。231.あなた方が妻たちを離婚し、かの女たちに定められた待婚期間が満了したなら、適正な待遇で復縁するか、または適正に別れなさい。かの女たちを傷つけ攻め立てるため、むりやり引き止めてはいけません。そのようなことをする人は誰でも、確かに自分自身を損なう人たちです。アッラーの印を軽々しく見てはいけません。あなた方へのアッラーの恵みを想い、諭すために、あなた方に下された啓典と英知を想いなさい。アッラーを意識しなさい。そしてアッラーが全知であることを知りなさい。

232.あなた方が妻たちを離婚し、一定の期間（3回の月経）が満了した後に双方の合意の下、適正に話がまとまるのであれば、かの女らの（元の夫との）再婚を妨げてはいけません。あなた方の中で、アッラーと最後の日を信じる人たちは、そのように諭されているのです。そのようであることはあなた方にとって、（心身とも）清純かつ清浄なのです。あなた方は知らなくても、アッラーはご存知です。233.母親たちは乳児たち

に満2年間の授乳をします。誰でも授乳を全うすることを望む人であれば。（この間）父親は、かの女たちの生計や衣服を適正に負担しなければなりません。（ただし）誰にも能力以上の負担は強いられません。母親はかの女の子供のために不当に労苦を与えられることはなく、父親もかれの子供のために不当に労苦を与えられることはありません。（父親の死後）相続人も（父親と義務は）同じです。また両親が合意と協議の上、（2年満期前の）離乳を望んでも罪はありません。あなた方が乳児を乳母に託しても適正な支払いをするなら、あなた方に罪はありません。アッラーを意識しなさい。アッラーはあなた方の行ないを、すべてお見通しになっていることを知りなさい。

234.あなた方の中で死後、妻たちを残す者がいれば、かの女たち（未亡人）は（再婚まで）4ヵ月と10夜を待たなければいけません。かの女たちが（再婚までの）定められた期間を満了すれば、かの女たちが自身に関して適切に行なうことについて、あなた方に責任はありません。アッラーはあなた方の行なうことを熟知しています。235.あなた方がかの女（未亡人）たちに結婚の気持ちをほのめかしても、（その想いを）自分の胸にしまっておいても責められることはありません。アッラーはかの女（未亡人）たちに、（やがて）あなた方が求婚することを知っています。ただし、適正に話すのであって、秘密に婚約してはいけません。また定められた期限が来るまでは、婚姻の契りを固めてはいけません。アッラーがあなた方自身（心）の中にあるものを、ご存知であることを知りなさい。かれに留意し、アッラーは赦すお方であり、寛大なお方であることを知りなさい。236.もしあなた方（男性の信者）が未だ触れず、婚資も定めていない女性たちを離別しても責められません。そしてかの女らに供出（ムトゥア）しなさい。富める人はその分に応じ、貧しい人もその分に応じて適正に与えなさい。（これは）正しい行ないをする人の義務です。237.あなた方がかの女たちのために婚資を定めたけれど、かの女ら

に触れる前に離別するなら、定めた婚資の半分を与えなさい。かの女ら側が（婚資の受け取りを）免じるか、結婚の契りを握る人（夫）が（婚資の半分の返納を）免じるなら別です。そしてあなた方が免じることが最も篤信に近いのです。あなた方は互いに（気前よい）友誼を忘れてはいけません。アッラーはあなた方の行なうことをすべてお見通しです。

238.各礼拝（の時間）とその最善の礼拝をしっかりと守りなさい。そしてアッラーの前に従順に立ちなさい。239.あなた方が身に危険を感じるときは、徒歩または騎乗のまま礼拝しなさい。そして安全になったときはアッラーを想いなさい。（このように）あなた方が知らなかったことを、かれは教えられたのです。240.あなた方の中、妻たちを残して他界する人たちは、かの女たちを（家から）追い出すことなく、かの女たちのために1年分の生計支援（遺産贈与）の遺書をつくらなければなりません。しかし、かの女らが（夫の家から）出て行くのであれば、かの女たちが適正に自ら取った行動について、あなた方に罪はありません。アッラーは偉力大で英明なのです。241.離婚された女たちにも（元夫たちからの）適正な支援の供出があります。これ（供出）は（アッラーを）意識する人たちの義務です。242.このようにアッラーは、あなた方にかれの印を明示するのです。（それにより）あなた方は理解することでしょう。

243.あなたは住いの土地から（疫病などのため）逃げた人たちを見ませんでしたか。かれらは何千、何万人にのぼり、死の恐怖を抱いていましたが、アッラーは、かれらに向かって死を受け入れなさいと言いました。（しかし）その後かれらに命を与えました。誠にアッラーは人間に恩寵を与えるお方です。でも多くの人びとは感謝しません。244.アッラーの道のために戦いなさい。アッラーは全聴にして全知であることを知りなさい。245.アッラーに善の貸付をする人は誰でしょうか。かれはそれを何倍にもされます。アッラーは（人間に恵みを）与えないでおくことも、限

りなく与えることもできるのです。そしてあなた方はかれの御元に帰るのです。

246.あなた（ムハンマド）はムーサーの後の、イスラーイールの子孫の指導者たちを見ませんでしたか。かれらはかれらの預言者のひとり（シャムウィール）に言いました。わたしたちのために、ひとりの王を任命しなさい。（そうすれば）わたしたちはアッラーの道において戦うでしょう。かれは言いました。あなた方に戦いが定められたところで、戦わないのではないですか。かれらは言いました。自分たちの家から追い出され、子供たちとも引き離されたわたしたちが、アッラーの道においてどうして戦わないでいられるでしょうか。ところが、かれらに戦いが命じられると、かれらは少数の人を除いて背き去ったのです。アッラーは不正を行なう人たちをすべてご存知です。247.かれらの預言者（シャムウィール）は言いました。誠にアッラーはタールート（サウル）をあなた方の上に、王として任命しました。かれらは言いました。かれ（タールート）がどうしてわたしたちの王になれるでしょうか。わたしたちの方が、かれよりも王にふさわしいのです。またかれは富に恵まれていません。かれ（シャムウィール）は言いました。アッラーはあなた方の上に、かれ（タールート）を選び、かれの知力と体力を増強しました。アッラーは御望みの人たちに王権を授けます。アッラーは広大にして、すべてをご存知なのです。248.かれらの預言者（シャムウィール）は言いました。かれ（タールート）の王権の印は、（契約の）箱があなた方にやってくることです。その中にはあなた方の主からの静穏（サキーナ）があり、ムーサー家とハールーン家の遺品があります。それ（遺品）を天使たちが運んできます。あなた方が信仰する人なら、本当にその中にはあなた方への確かな印があります。

249.タールートが軍隊を率いて出征したとき、かれは言いました。本当にアッラーは川であなた方を試みるでしょう。川の水を飲む人は、誰

でもわたしの民ではありません。手の平で一すくい飲む人は別として、それを味わおうとしない人は誰でも、わたしの民です。するとかれらの数名を除き、かれらはそれを飲んでしまいました。かれ（タールート）が川を渡ったとき、かれと信仰を共にする人たちは言いました。今日わたしたちはジャールート（ゴリアテ）とその軍勢に対峙する力はありません。アッラーに会うことを悟っている人たちは言いました。たとえ少ない兵力でも、アッラーの許しの下に、大軍に打ち勝った（戦いがあった）のです。アッラーは耐え忍ぶ人と共にあるのです。250.それからジャールートとかれの軍隊に合いまみえんと進軍したとき、かれらは言いました。わたしたちの主よ、わたしたちに忍耐の心を注ぎ込んでください。不信心な民に対し、わたしたちの足場を固め、わたしたちを助けてください。251.するとかれら（タールート軍）は、アッラーの許しの下、かれら（ジャールート軍）を打ち破り、（タールート軍にいた）ダーウードはジャ―ルートを殺害し、アッラーはかれ（ダーウード）に王権と英知を授け、かれが御望みになることについてかれに教えました。アッラーによってある人たちが他の人たちを抑止しなければ、この地上は確実に腐敗していたことでしょう。でもアッラーは、すべてのものに恩寵を与える方なのです。

252.これはアッラーの啓示で、われらは真理を持ってあなた（ムハンマド）に読み聞かせます。本当にあなたは使徒たちのひとりなのです。253.◆3部◆われらは、ある使徒たちを他の人（使徒）たち以上に寵愛しました。かれらの中、ある人たちにはアッラーが（直接）言葉をかけました。またある人たちの地位を高めました。われらはマルヤムの子イーサーに明証を与え、清魂によってかれを強めました。もしアッラーが御望みであったなら、明証が届いた後、かれらの後継者たちが互いに争うことはなかったでしょう。でもかれらは論争しました。かれらの中のある人は信仰し、ある人は信仰を拒否したのです。もしアッラーが御望み

であったなら、かれらが互いに争うことはなかったでしょう。しかしアッラーは御心のまま行なうのです。

254.信仰する人たちよ、われらがあなた方に与えた糧を施しなさい。取引も友情も執り成しもない（最後の）日が来る前に。そして不信心な人、かれらこそ不正を行なう者なのです。255.アッラーこそはかれの他に神はなく、かれは永生にして（全存在を）扶養する方です。眠気も睡眠もかれをとらえることはありません。諸天にあるものや、地にあるものは（すべて）かれのものです。かれの許しなく、誰がかれの御元で執り成すことができるでしょうか。かれは、かれら（人びと）のこれからとこれまでをご存知なのです。そしてかれの御心にかなったこと以外、かれの知識からかれらが得ることは何もありません。かれの玉座は諸天と地に果てしなく広がり、またそれら（天と地）を護持することで、かれが疲れることはありません。かれは至高なお方、偉大なお方なのです。256.この宗教（イスラーム）に、強制はありません。誠に正しい導きは誤りからはっきりと分かれています。そして邪神（ターグート）を拒否しアッラーを信仰する人は、決して壊れることのない最強の取ってを握りしめたのです。アッラーは全聴にして全知です。257.アッラーは、信仰する人びとの守護者なのです。かれはかれらを暗黒から光明へと導き入れます。そして信仰しない人びとの守護者たちは邪神たちで、かれらを光明から暗黒へと誘い入れます。これらは（地獄の）火の人びとで、かれらはそこに永遠に止まるのです。

258.あなたは主について、イブラーヒームと議論した人を見ませんでしたか。アッラーがかれに王権を与えたために（議論しました）。イブラーヒームが、わたしの主は生と死を与える方ですと言ったとき、（議論する）かれは、わたしも生と死を与えますと言いました。イブラーヒームは言いました。アッラーは太陽を東から昇らせます。だからあなたはそれ

を西から昇らせなさい。するとその不信心な人は言葉に詰まってしまいました。アッラーは不正を行なう民を導きません。

259.また屋根がひっくり返るほど壊滅した町を通り過ぎた人は、廃墟となったこれ（町）をアッラーがどのように甦らされるのでしょうかと言いました。するとアッラーはかれを100年間死なせ、それから甦らせたのです。かれは言いました。あなたはどれくらい死んだ状態であったのか、分かっていますか。かれは言いました。わたしは１日か１日の一部の間、死んだ状態でした。かれは言いました。そうではありません、あなたは100年間も死んだ状態だったのです。（一方）あなたの食べ物と飲み物を見なさい。それらは（保存されて）腐敗していません。またあなたのロバを見なさい。われらはあなた（の例え）を人びとへの印とするのです。その（ロバの）骨を見なさい。われらがそれらを再起し、肉を被せます。（これが）かれに明示されたとき、かれは言いました。わたしは、アッラーがすべてに対して全能であることを知っていますと。260.イブラーヒームが、わたしの主よ、あなたが死者にどのように命（魂）を与えるのか、わたしに見せてくださいと言ったとき、主は言いました。あなたは信じていないのですか。かれは言いました。いいえ、ただわたしの心を安らげたいのです。かれは言いました。それでは４羽の鳥をとって、それらを（呼ぶと）あなたに戻ってくるよう訓練し、１羽ずつをそれぞれの丘の上に置いてそれらを呼びなさい。それらは急いであなたのもとに来るでしょう（同様に魂も死者に戻る）。誠にアッラーは偉力大で英明なのです。

261.アッラーの道において自分の財産を施す人たちの例えは、１粒が７穂に育ち１穂が100粒を付ける（穀物の）ようです。アッラーは御望みの人に多く与えるのです。アッラーは広大にして、すべてをご存知なのです。262.アッラーの道において自分の財産を施した人で、（施した相手に）恩着せがましくせず、また（心情を）傷つけない人、かれらにはかれらの主の報酬があります。かれらには、恐怖もなく悲哀もありません。

263.親切な言葉と赦しは、傷つけるような施しに優ります。アッラーは豊かに満ち足りている方で、寛大な方です。264.信仰する人たちよ、あなた方は恩着せがましくし、傷つけるようなことで施しを無益にしてはいけません。（それが無意味なことは）人に見せびらかすために財産を施す人のようです。またアッラーと最後の審判の日を信じない人のようです。かれ（このような人）の例えは、土砂を被った滑らかな岩のようで、大雨が降れば裸になってしまいます。かれらは（施しによって）稼いだものから何も得られないでしょう。アッラーは不信心な人たちをお導きにならないのです。

265.（以上に対して）アッラーの喜びを求め、（また）自らの信心を確かめるため、財産を施す人たちは、丘の上にある果樹園のようです。大雨が注げばその収穫は倍加し、また大雨が降らなくても霧雨で（育ちます）。アッラーはあなた方の行なうことは、すべてお見通しです。266.あなた方の中でナツメヤシやブドウの果樹園を持ち、そこの下には川が流れてあらゆる（種類の）果実がありながら、老齢がかれを襲ってかれの子供たちが幼弱でいるところに、猛火を伴う旋風が襲って（果樹園が）焼け焦げてしまうようなことを、望む人がいるでしょうか。このようにアッラーは、あなた方のために、かれの印を明確に示すのです。あなた方は熟考することでしょう。

267.信仰する人たちよ。あなた方が稼いだ善いものや、またわれらがあなた方のために大地から生産したものの中から施しなさい。目をつむらずにはあなた自身受け取らないような、悪いものを狙って施してはいけません。アッラーは豊かに満ち足りている方であり、称賛されるべき方であることを知りなさい。268.悪魔はあなた方に貧困を約束し、卑劣な行ないを命じます。アッラーは、かれからの赦しと恵みを、あなた方に約束します。アッラーは広大にして、すべてをご存知なのです。269.かれは、御心にかなう人に英知を与えます。英知を与えられた人

は、本当に善いものを多く与えられた人です。思慮ある人の他は、誰も留意しないでしょう。

270.あなた方が施し物のうち何を施しても、(また)誓約として(いかなる)誓いをしても、本当にアッラーはそれをご存知なのです。不正を行なう人に援助者はいません。271.もしあなた方が施しを公に表明するなら、それは善いことです。またもしあなた方がそれ(施し)を隠して、貧しい人に与えるなら、それはあなた方にとって、さらに善いことです。(そうすれば)かれはあなた方の悪行(の一部)を帳消しにするでしょう。アッラーはあなた方の行なうことを熟知しているのです。272.かれらに対する導き(の責任)は、あなた(ムハンマド)の上にはありません。アッラーは御心にかなう人を導きます。あなた方が施す善いものは何であれ、あなた方自身(の魂)のためです。(また)あなた方が施すものは何であれ、アッラーの尊顔を願うものです。(そして)あなた方が施す善いものは何であれ、あなた方にすべて返されるでしょう。あなた方は不当に扱われることはありません。273.アッラーの道に専心し、(商売の目的で)大地を巡ることができない貧しい人たちのため(に施しなさい)。知らない人は(かれらの)自制心のために、かれらを富裕者とみなすでしょう。あなたはかれらがしつこく人びとに(施しを)求めないという、かれらの風体からそう思うのです。あなた方が施す善いものは何であれ、アッラーはすべてご存知なのです。274.自分の財産を夜となく昼となく、隠れながら、または公に施す人は、かれらの主の御元から報酬があるでしょう。かれらには恐怖もなく悲哀もありません。

275.利子(リバー)をとる人は、悪魔がとりついて混乱した人のようにしか、(復活の日には)立ち上がることができません。なぜならかれらは、商売は利子のようなものにすぎないと言うからです。アッラーは商売を許し、利子を禁じました。かれの主から警告が届いた人で(利子)を止めた人は、かれにとって過去のことはアッラー(の判断)にあります。

そして誰でも（利子を取り）続けた人は（地獄の）火の住人で、かれらは永遠にその中に住むのです。276.アッラーは利子（による取引）を破滅させ、施し（による利益）を増加させます。アッラーは感謝をしない罪深い人を愛されません。277.本当に信仰して善行し、礼拝を守り、施しをする人には、かれらの主からの報酬があります。かれらには恐怖もなく、悲哀もありません。

278.信仰する人たちよ、アッラーを意識し、利子の残額を帳消しにしなさい。もしあなた方が信者であるなら。279.もしあなた方が（帳消しに）しないなら、アッラーとかれの使徒から戦いが宣告されるでしょう。もしあなた方が改心するなら、あなた方には財産の元本があります。あなた方は（人を）不当に扱わず、あなた方も不当に扱われません。280.もし債務者が（元本返済の）困難にあるなら、容易になるまで延期することです。もしあなた方が（元本を）施しとして与えるなら、あなた方に善いことでしょう。もしあなた方が理解するなら。281.あなた方はアッラーに帰される日を意識しなさい。そのときすべての魂は稼いだことに対し完全に清算され、かれらが不当に扱われることはないでしょう。

282.信仰する人たちよ、あなた方が一定期間互いに貸借契約を交わすときは、それを書き留めなさい。また代書人に、あなた方の間のことを正しく書き留めさせなさい。代書人は、アッラーが教えたように書記することを拒否してはいけません。そしてかれに書き留めさせ、債務がある人に口述させなさい。かれ（債務がある人）に自分の主、アッラーを意識するようにさせ、それ（債務）をわずかでも少なく言ってはいけません。もし債務者が精神薄弱か、虚弱か、口述できないなら、後見人に正しく口述させなさい。あなた方男性から２名の証人を立てなさい。もし２名の男性がいなければ、あなた方が証人として認めた１名の男性と２名の女性を立てるのです。もし（女性）二人の中一人が間違えても、他方一人が正すことができるのです。かれらは証言に呼ばれたとき、断るこ

とはできません。あなた方はそれ（債務額）が小さくても大きくても、（返済）期限も書き留めることを軽視してはいけません。それはアッラーの御元ではより公正で、証言として確かであり、あなた方が疑いを持たないために適しています。ただし、あなた方の間で受け渡しする直接の取引は別で、それを書き留めなくても、あなた方に罪はありません。でもあなた方の商取引のときは、証人を立てなさい。そして代書人と証人が、損害を被ることがあってはいけません。もしそうすれば、本当にそれはあなた方にとって掟破りです。アッラーを意識しなさい。アッラーはあなた方に教示するのです。アッラーはすべてご存知なのです。283.あなた方が旅行中で代書人を見つけられないなら、担保を入手することです。もしあなた方が互いに信頼しているなら（無担保）、信頼された人（債務者）には、託されたもの（債務）を履行させなさい。かれの主、アッラーを意識しなさい。そして証言を隠してはいけません。誰でもそれ（証言）を隠す人は、心が罪深いのです。アッラーはあなた方の行なうことをすべてご存知です。

284.諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーのものです。あなた方自身の（心の）中にあるものを、現してもまた隠しても、アッラーはあなた方をそれによって清算します。アッラーは御望みの人を赦し、御望みの人を罰するのです。アッラーは全能をお持ちなのです。285.使徒（ムハンマド）は、かれの主からかれに下されたものを信じました。信者たちも同じく（信じました）。かれらは誰しも、アッラー、天使たち、諸啓典、使徒たちを信じました。わたしたちはかれの使徒たちの間に差をつけません。かれらは言いました。わたしたちは聞き従いました。あなたの赦しを願います。わたしたちの主よ、帰り所はあなたの御元にあります。286.アッラーはいかなる魂（人）にも、能力以上の重荷を与えません。それ（魂）が稼いだ（善い）ものはそれのためとなり、それ（魂）が稼いだ（悪い）ものはそれに責めが回ります。わたしたちの主よ、わたした

ちがもし忘れ、あるいは過ちを犯すことがあっても、責めないでください。わたしたちの主よ、わたしたち以前の人たちに負わせたような重荷を、わたしたちに負わせないでください。わたしたちの主よ、わたしたちの能力が及ばないことを負わせないでください。わたしたちから罪を消し、わたしたちを赦し、わたしたちに慈悲を与えてください。あなたはわたしたちの守護者です。だから不信心な人たちに対し、わたしたちをお助けください。

3. イムラーン家章

Al ‘Imran

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ミーム。

2.アッラー、かれの他に神はなく、かれは永生にして、自存するお方です。3.かれはあなた（ムハンマド）に、真理をもって啓典を少しずつ啓示しました。それ（クルアーン）以前にあったものを確証するため。（つまりクルアーン以前に）かれは律法と福音を啓示しました。4. それ（クルアーン）以前からの人びとの導きであり、そして（さらに今は）善悪の識別を下されたのです。アッラーの印を拒否する人たちには、厳しい苦痛があるでしょう。アッラーは偉力大で応報の主なのです。5.本当にアッラーに隠す何ものもありません。地においても天においても。6.かれは御心のままにあなた方を胎内に形作る方です。かれの他に神はなく、偉力大で英明なのです。

7.かれはその啓典（クルアーン）をあなた（ムハンマド）に啓示した方です。その中のある節は明解で、それらは啓典の基礎をなします。他の節はあいまいです。そうすると心の中に歪みがある人は、意見の不一致を探し求め、（自ら都合の良い）解釈をするため、あいまいなことに従う

のです。でもその本当の意味を知るのはアッラーの他にいません。確かな知識を持つ人たちは言います。わたしたちはこれ（クルアーン）を信じます。すべては主からのものですと。でも思慮ある人の他は、誰も留意しないでしょう。8.わたしたちの主よ、あなたがわたしたちを導いた後、わたしたちの心をそらさないでください。あなたの御元から、わたしたちに慈悲を与えてください。誠にあなたこそ、限りなく与える方です。9.わたしたちの主よ、本当にあなたは（最後の審判の）日に人びとを集める方です。それに疑いの余地はありません。アッラーは、約束を破ることはありません。

10.不信心な人たちの財産もかれらの子供たちも、アッラーに対しては全く役に立たないでしょう。かれらは（地獄の）火の薪となるのです。11.フィルアウンの一族や、かれら以前の人たちのように、かれらはわたしの印を拒否しました。アッラーはかれらの罪のために、かれらを捕えられました。アッラーは懲罰に厳しいのです。12.信仰を拒否した人たちに言いなさい。あなた方は打ち負かされて、地獄に追い集められるでしょう。（そこは）何と悪い寝床なのでしょう。13.両軍が合いまみえたときに、はっきりとあなた方への印がありました。一方はアッラーの道において戦う軍で、他方は不信心な人たちでした。かれら（前者）の目には、かれら（後者）が、かれら（前者）の２倍に見えたのです。アッラーは御心にかなう人を救護されるのです。誠にその中には、見る目のある人への教訓があります。

14.さまざまな欲しいものへの愛着は、人間を夢中にさせます。（それらは）女性たち、子供たち、大量に蓄積された金銀、血統の優れた馬、家畜、（肥沃な）農地です。これらは現世の生活の享楽です。でもアッラーの御元は、最善の帰り所なのです。15.言いなさい。わたし（ムハンマド）がこれらよりも善いものを、あなた方に知らせましょうか。（アッラー）を意識する人たちには、かれらの主の御元における諸楽園があり、川がそ

れらの下を流れています。（かれらは）その中に永遠に住み、清純な配偶者とアッラーからのご満悦があるのです。アッラーは僕たちをよくお見通しなのです。16.かれら（僕）は言います。主よ、本当にわたしたちは信じました。それでわたしたちの罪を赦し、（地獄の）火の苦痛から救ってください。17.（かれらは）よく耐え忍ぶ人たちで、誠実な人たちで、敬虔な人たちで、（アッラーの道において）施す人たちで、また暁に赦しを請いつつ祈る人たちなのです。

18.アッラーは、かれの他に神がないことを立証しました。天使たちも知識を持つ人たちも（証言しました）。かれは正義を守ります。かれの他に神はなく、かれは偉力大で英明なのです。19.本当にアッラーの御元の教えは、イスラームです。啓典を与えられた人びとは、強欲のために知識が来た後に反目するようになりました。アッラーの印を拒否する人には、アッラーは清算に迅速なのです。20.だからもしかれらが、あなたと議論するなら言いなさい。わたし（の顔）はアッラーにのみ服従しました。またわたしに従う人も（服従しました）。そして啓典を与えられた人びとや非識字者（啓典を与えられなかった人びと）に言いなさい。あなた方は服従しましたか。もし服従したのなら、確かに正しく導かれたのです。もしかれらが背き去るなら、あなたに課されたことは（啓示を）かれらに伝えることだけです。アッラーは僕たちをよくお見通しされているのです。21.本当にアッラーの印を信じない人たちや、正当性なく預言者たちを殺害す人たち、（そして）正義を命じる人びとを殺す人たちには、厳しい苦痛があることを告げなさい。22.このような人たちの行ないは、現世でも来世でも無益となり、かれらには援助者もいないのです。

23.あなたは啓典の一部を与えられていた人たちを見ませんでしたか。かれらはその間（の議論）を調停するためアッラーの啓典（クルアーン）に招かれていながら、かれらの一部は背き去ります。かれらは離反する人たちなのです。24.なぜならかれらは言ったのです。（地獄の）火がわ

たしたちを襲うのは数日だけだろうと。かれらは、その宗教において自分たちが捏造してきたものに迷わされたのです。25.われらがかれらを集める、全く疑いのないその（最後の審判の）日は、どのようなものでしょう。（その日は）各人が稼いだことが報われ、誰も不当に扱われることがないのです。26.言いなさい。アッラーよ、王権をつかさどるお方よ。あなたは御心のまま人に王権を与え、あなたは御心のまま人から王権を取り上げられます。またあなたは御心のまま人に名誉を与え、あなたは御心のまま人に恥辱を与えます。善いことはあなたの手中にあります。本当にあなたは、すべてに対して全能なのです。27.あなたは夜を昼の中に入らせ、昼を夜の中に入らせるのです。あなたは、死から生をもたらし、生から死をもたらします。あなたは御心にかなう人に、限りなく糧を与えるのです。

28.信者たちは、信者の代わりに不信心な人を擁護者にしてはいけません。誰でもそうする人たちは、アッラーとは何の関係もなくなるということなのです。（ただし）あなた方がかれら（非信者）から（の危害を）恐れて用心する場合は除きます。アッラーは御自分を（意識するように）、あなた方に注意を喚起します。そしてアッラーが最後の帰り所なのです。29.言いなさい。あなた方が胸の中にあることを隠しても、また現しても、アッラーはそれをご存知です。かれは諸天の中にあるものも、地の中にあるものもご存知です。アッラーはすべてに対して全能なのです。30.その（最後の審判の）日に、誰であれ、自分が行なった善いことを目前にし、（一方）悪いことも目にするとき、自分はそれ（悪事）との間に、遠い隔たりがあることを望むでしょう。そしてアッラーは御自らについて（意識するよう）、あなた方に警告します。アッラーはかれの僕たちにとても親切なお方です。31.言いなさい。あなた方がもしアッラーを敬愛するなら、わたし（預言者ムハンマド）に従いなさい。そうすればアッラーはあなた方を愛され、あなた方の罪を赦されるでしょう。アッラーはよ

く赦すお方で、慈悲深いお方なのです。32.言いなさい。アッラーと使徒に従いなさい。でもかれらが背き去るなら、誠にアッラーは、信仰を拒否する人たちを愛さないのです。

33.本当にアッラーは、アーダム、ヌーフ、イブラーヒーム家、イムラーン家を世界中の人びとの上に選びました。34.かれら（アーダムからイムラーン家まで）は一系の子々孫々です。アッラーは全聴にして全知なのです。35.イムラーンの妻が言ったとき（を思い出しなさい）。わたしの主よ、わたしはこの胎内のものを献身的にあなたに捧げます。わたしから（それを）受け入れてください。本当にあなたは全聴にして全知なのです。36.それから、かの女が女児を出産したとき、かの女は言いました。わたしの主よ、わたしは女児を生みました。アッラーはかの女が生んだものを、最もよくご存知です。男児は女児のようではありません。わたし（イムラーンの妻）はかの女（女児）をマルヤムと名付けました。そこでわたしはかの女（マルヤム）とかの女の子孫のため、あなたに拒否された悪魔からの加護を求めます。37.かの女（マルヤム）の主は、かの女を快く受け入れ、かの女を善良に成長させ、ザカリーヤーがかの女の養育をしました。ザカリーヤーは、かの女の礼拝室（ミフラーブ）に入ったときは、いつでも、かの女の前に食物を見つけました。かれ（ザカリーヤー）は言いました。マルヤムよ、どこからあなたにこれが（来たのですか）。かの女は言いました。これはアッラーの御元からです。本当にアッラーは、御心にかなう人に限りなく与えるのです。38.そこでザカリーヤーはかれの主に嘆願しました。かれは言いました。わたしの主よ、あなたから善良な子孫を、わたしに与えてください。誠にあなたは祈りを聞き入れるお方なのです。39.それからかれ（ザカリーヤー）が礼拝室で立礼していたとき、天使たちがかれに呼びかけました。誠にアッラーはヤフヤー（出産の意味）の吉報を、あなた（ザカリーヤー）に授けます。（ヤフヤーは）アッラーからの言葉を実証する人であり、高貴で純潔で、正しい人びとの一

人として預言者となるでしょう。40.かれ（ザカリーヤー）は言いました。わたしの主よ、どうしてわたしに男児があり得るでしょうか。わたしはもう老齢になり、妻は不妊です。かれ（天使）は言いました。このように、アッラーは御望みのことを行なうのです。41.かれ（ザカリーヤー）は言いました。わたしの主よ、わたしに印を示してください。かれ（天使）は言いました。あなたは３日間、身振りの他は人びとと話すことができないでしょう。だからあなたの主をたくさん唱念し、朝な夕なに（アッラーを）賛美しなさい。42.天使たちが言いました。マルヤムよ、誠にアッラーはあなた（マルヤム）を選び、あなたを清め、世界中の女性の上にあなたを選んだのです。43.マルヤムよ、あなた（マルヤム）の主に従順でありなさい。そして屈折礼をしなさい。平伏礼するものと一緒に平伏礼をしなさい。44.これはあなた（ムハンマド）には見えない消息の一部であり、われらはこれをあなたに啓示します。あなたは誰がマルヤムを養育するかについて（知るため）、かれら（祭司）が筆を投げたとき、あなたはかれらの中にいませんでした。またかれらが議論したときも、あなたはかれらと一緒ではありませんでした。

45.天使たちが言いました。マルヤムよ、誠にアッラーはあなた（マルヤム）にかれの言葉（イーサーの意味）の吉報を与えます。その名はマスィーフ・イーサーで、マルヤムの子です。（イーサーは）現世でも来世でも栄誉を得て、（アッラーの）側近のひとりとなるでしょう。46.かれは揺りかごの中でも、成人してからも、人びとに語りかける正しい者の一人なのです。47.かの女は言いました。わたしの主よ、どうしてわたしに子ができるでしょうか。誰もわたしに触れたことがないのに。かれ（天使）は言いました。このようにアッラーは御心にかなうものを創ります。かれが万事を定めるとき、有れと言えば即ち有るのです。48.かれは書と英知と律法と福音とをかれ（イーサー）に教えます。49.そしてかれを、イスラーイールの子孫への使徒としました。確かにわたし（イーサー）は、あなた方の

主からの印です。わたしはあなた方のために、泥から鳥の形を造り、それに息を吹き込めば、アッラーのお許しによって、それは鳥になります。またアッラーのお許しによって、わたしは盲目の人や癩患者を治し、死者を生き返らせるのです。またわたしはあなた方が何を食べ、何を家に蓄えているかを知らせることもできます。本当にその中には、あなた方への確かな印があるのです。もしあなた方が信者なら。50.わたし（イーサー）は、わたしより以前に下された律法を実証し、あなた方に禁じられていたことの一部を許すために、あなた方の主からの印を持って来ました。だからアッラーを意識し、わたしに従いなさい。51.本当に、わたしの主とあなた方の主は、アッラーです。かれを崇拝しなさい。それこそがまっすぐな道なのです。

52.イーサーはかれらの中に非信者がいることに気がついて、言いました。アッラーのためにわたしを助ける人は誰ですか。弟子たちは言いました。わたしたちはアッラーの支持者です。わたしたちはアッラーを信じました。わたしたちが服従する者（ムスリム）であることを証言してください。53.わたしたちの主よ、わたしたちはあなたが下されたものを信じ、あなたの使徒に従いました。それでわたしたちを、（真実の）証人たちと一緒に書き留めてください。54.（一方）かれら（不信心な人）はたくらみ、またアッラーも策略しました。そしてアッラーこそが、最も優れた策略者なのです。55.アッラーが言いました。イーサーよ、確かにわたしはあなたを召し、あなたをわたしの御元に上げ、信仰を拒否した人たちからあなたを清めるでしょう。またわたしはあなたに従った人たちを、復活の日に向けて信仰を拒否した人たちの上位に置くでしょう。そしてわたしこそがあなた方の帰り所なのです。またわたしはあなた方が議論していたことについて、あなた方の間を裁くのです。56.信仰を拒否した人びとには、わたしは厳しい苦痛を現世においても来世においても与えるでしょう。かれらには援助者はいないのです。57.そして信仰して善行し

た人びとには、かれはその報奨を完全に与えるのです。アッラーは不正を行なう人たちを愛しません。58.これはわれらがあなた（ムハンマド）に印（啓示）として、また決定的な言葉として読み上げるものです。

59.本当にイーサーは、アッラーの御元ではアーダムと同じです。かれが土埃からかれ（アーダム）を創り、それからかれはかれに有れと言いました。するとかれは存在したのです。60.真理はあなたの主からです。だから疑う人たちの一人となってはいけません。61.誰でもそれについて、知識があなた（ムハンマド）に下された後、あなたと議論する人がいれば、言いなさい。こちらに来なさい。わたしたちの子供たちとあなた方の子供たち、わたしたちの女性たちとあなた方の女性たち、わたしたちとあなた方を一緒に呼びましょう。そして謙虚に祈りましょう。わたしたちはアッラーの拒絶が、嘘つき者の上に降りるように願うのです。62.誠にこれは真実の物語です。アッラーの他に神はありません。本当にアッラーは偉力大で、決定力あるお方です。63.そしてかれらがもし背き去るなら、アッラーは腐敗をもたらす人たちをご存知です。

64.（ムハンマドよ）言いなさい。啓典の民（ユダヤ教徒とキリスト教徒）よ、わたしたちとあなた方との間の（次のような）共通の教え（の下）に来なさい。わたしたちはアッラーにのみ仕え、何ものをもかれに並置いたしません。またわたしたちはアッラー以外に、自分自身を互いに主として奉ることはしません。それで、もしかれらが背き去るなら、言いなさい。わたしたちはムスリム（アッラーに従う人）であることを実見しなさいと。65.啓典の民よ、なぜあなた方はイブラーヒームのことで議論するのか。律法と福音はかれの後に下されたのです。あなた方には分からないのか。66.本当にあなた方は、あなた方にとって知識あること（さえ）も議論し続けてきた人。そこでなぜあなた方は、知識のないことについて議論するのか。アッラーは知っていますが、あなた方は知らない。67.イブラーヒームは、ユダヤ教徒でもキリスト教徒でもありませんでし

た。しかしかれはまっすぐなムスリム（アッラーに従う人）であり、多神教徒（の一人）ではなかったのです。68.確かにイブラーヒームに最も近い人びとは、本当にかれに従う人たちであり、そしてこの預言者（ムハンマド）と信仰する人たちです。アッラーは信仰する人たちに近いのです。69.啓典の民の一派は、あなた方を迷わせようと望みました。でもかれらは自分自身を迷わすだけで、自らはそれに気づかないのです。70.啓典の民よ、なぜあなた方はアッラーの印を拒否するのか、あなた方はそれを実見しているのに。71.啓典の民よ、あなた方はなぜ真理と虚偽を混ぜ、真理を知りながら隠すのか。

72.啓典の民の一派は言いました。1日の始めに信者たち（ムスリム）に下されたものを信じろ。（そしてその日の）終りには拒否しろ。そうすればかれらは戻って来る（棄教する）かも知れない。73.（したがって啓典の民は）あなた方の教え（ユダヤ教とキリスト教）に従う人の他は、信じてはいけないと。（でもムハンマドよ）言いなさい。真の導きはアッラーの導きです。（続けて啓典の民の一派は言います）あなた方（啓典の民）に与えられたと同じものが、他の誰か（ムスリム）にも与えられるとは信じないように。なぜなら、あなた方の主の御元で（それを使って）かれらが反論するからですと。（そこでムハンマドよ）言いなさい。誠に寵愛はアッラーの手中にあります。かれは御心にかなう人に、それを与えます。アッラーは広大にして、すべてをご存知なのです。74. かれは、御心にかなう人に慈悲を与えます。アッラーは、大いなる寵愛をお持ちなのです。75.啓典の民（ユダヤ教徒）の中には、あなた（ムハンマド）が山のような財産を託しても、これを返す人もあれば、あなたが一枚の金貨を託しても、あなたが常にそばに立って（督促して）いない限り、返さない人もあります。なぜなら、かれらは文字を知らない人（アラブ人）について、わたしたちに責めはないと言うからです。かれらは知っていながら、アッラーについて虚偽を語るのです。76.そうではありません。自分の約束を

全うし(アッラーを)意識するとき、誠にアッラーは、誰であってもかれを意識する人たちを愛されます。

77.(そして)誰でも、アッラーの約束とかれらの誓いとを、わずかな値段で売る人たちには、来世において分け前はないでしょう。復活の日に、アッラーはかれらに言葉をかけず、かれらを見ることもなく、かれらを清めることもないのです。かれらには厳しい苦痛があるでしょう。78.かれらの中には、ある一派がいます。かれらはかれらの舌で啓典をゆがめ、それが啓典からのものであると、あなた方が思うようにするのです。でもそれは啓典からではありません。そしてかれらは、これはアッラーの御元からだと言います。でもそれはアッラーの御元からではありません。かれらは知っていながら、アッラーについて虚偽を語るのです。79.アッラーが啓典と英知と預言を与えた人で、アッラーの他にわたしを崇拝しなさいと人びとに言う人はいません。むしろ(アッラーは言います。)あなた方は主の専従識者となりなさい。なぜならあなた方は、啓典を教え(それを)学んできたからです。80.かれが、天使たちや預言者たちを主としなさい、と命じることはありません。かれはあなた方がムスリムになった後、(どうして)不信心をあなた方に命じるでしょうか。

81.アッラーが預言者たちと約束したとき(言いました)。わたしは啓典と英知とをあなた方に与えました。それから一人の使徒が、あなた方のもとに来ました。あなた方が持つもの(啓典)を確証するために。あなた方はかれを信じ、かれを助けなければいけません。かれは言いました。あなた方はこれを確認しましたか。そしてわたしとの固い約束を引き受けますか。かれらは言いました。確認しましたと。かれは言いました。それならあなた方は証言しなさい。わたしもあなた方と共に立証しましょう。82.そしてその後、背いた人は誰でも掟破りの人たちです。83.かれらはアッラーの他に、従うものを求めるのでしょうか。諸天の中にあり、地の中にあるものは、好むと好まざるとに関わらず、かれにのみ

服従するのです。かれらはかれに帰されるのです。84.言いなさい(ムハンマドよ)。わたしたちはアッラーを信じ、わたしたちに啓示されたものを信じ、またイブラーヒーム、イスマーイール、イスハーク、ヤアクーブおよび各支族に啓示されたものを信じ、またムーサーとイーサーと(アッラーのその他の)預言者たちに主から与えられたものを信じます。わたしたちはかれらの間を差別しません。わたしたちはかれにのみ服従します。85.イスラーム以外の宗教を求める人は受け入れられません。またかれらは来世において損失者なのです。86.アッラーはどうして、一度信仰を受け入れ、使徒が真実であることを証言し、かれらのもとに確証が来た後、不信心になる人びとを導くでしょうか。誠にアッラーは不正の人びとを導きません。87.かれらの報いはアッラー、天使たち、そして全人類の拒絶が、かれらに降りかかることです。88.かれらは永遠にその中に住むでしょう。かれらの苦痛は軽減されないし、かれら(の罪)は猶予されません。89.でもその後に改心して、身を正す人は別です。アッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。90.信仰した後、不信心になり、不信心を増長した人は、改心しても決して受け入れられないでしょう。かれらは遠く迷い去った人です。91.信仰を拒否し、不信心な人として死んだ人は、たとえ大地いっぱいの黄金でそれ(不信心)を償おうとしても、決して受け入れられません。これらの人には厳しい苦痛があり、助ける人もいません。

92.あなた方は、あなた方が愛するものから施すまでは、正しく仕えたことにはなりません。あなた方が施すものは、何でもアッラーはご存知なのです。93.　◆4部◆律法が啓示される以前は、イスラーイールの子孫には全ての食物が許されていました。イスラーイール(イブラーヒームの孫であるヤアクーブ)が、かれ自身に禁じてしまったもの以外は。言いなさい。律法をもってきてそれを読誦しなさい。もしあなた方が言うことが本当なら。94.この(読誦)後から、アッラーに関して虚偽を語る

人は、不正を行なう人たちです。95.言いなさい。アッラーは真実を語りました。まっすぐなイブラーヒームの教えに従いなさい。かれは、多神教徒（の一人）ではありませんでした。96.本当に人類のために最初に建立された（崇拝のための）家はバッカ（マッカ）で、（それは）全世界に対する祝福であり導きです。 97.その中には明らかな印があり、イブラーヒームが立たれた場所があります。また誰でもその中に入る人には、平安があります。そしてアッラーは、誰でもそこに赴ける人びとに、この家への巡礼を課しました。誰かが信仰しなかったとしても、アッラーは全世界から何も必要とせずに、豊かに満ち足りている方なのです。98.言いなさい。啓典の民よ、あなた方はアッラーの印を拒否するのですか。アッラーはあなた方の行なうことの立証者なのです。99.言いなさい。啓典の民よ、なぜあなた方は信仰した人たちをアッラーの道から妨げ、歪曲させようとするのですか。一方あなた方自身が（真実の）実見者なのに。アッラーはあなた方の行なうことを、見過ごす方では決してありません。

100.信仰する人たちよ、もしあなた方が啓典を与えられた（中の）一派（ファリーク）に従うなら、かれらはあなた方が信仰した後、あなた方を不信心な人に引き戻すでしょう。101.どうしてあなた方は信仰を拒否することができるでしょうか。アッラーの印（啓示）があなた方に読誦され、あなた方の間にかれの使徒がいるのに。アッラーにしっかりとつながっている人は、本当にまっすぐな道に導かれたのです。102.信仰する人たちよ、アッラーを意識しなさい。当然意識されるべきかれの権利として。あなた方はムスリム（アッラーに従う人）としてでなければ死んではいけません。103.あなた方はアッラーの絆にしっかりと一緒につながり、分裂してはいけません。あなた方へのアッラーの恩寵を想いなさい。あなた方が敵であったとき、かれはあなた方の心を結び付け、かれの恩寵により、あなた方は兄弟となったのでした。あなた方が（地獄の）火の穴のがけっぷちにいたのを、かれがそこから救い出したのです。このよう

にアッラーはあなた方のために、かれの印を明示されます。あなた方は正しく導かれるでしょう。

104.あなた方は共同体となり（人びとを）善に招き、適正を命じ、邪悪を禁じるようにしなさい。かれらは成功する人なのです。105.明証がかれらに来た後、分裂し議論する人のようであってはなりません。これらの人は、重大な苦痛を受けるでしょう。106.その日ある顔は白くなり、またある顔は黒くなります。顔が黒くなった人は（言われます）、あなた方は信仰した後、不信心となったのですか。あなた方は不信仰であったので、苦痛を味わいなさい。107.一方顔が白くなった人は、アッラーの慈悲の中で永遠に住むのです。108.これらはアッラーの印です。われらは真理をもって、これをあなた（ムハンマド）に読み聞かせます。アッラーはすべての世界に不公正を望みません。109.諸天にあり地にあるものは、アッラーのものです。万物はアッラーに帰されるのです。

110.あなた方は、人類にもたらされた最善の共同体です。あなた方は正しいことを命じ、邪悪なことを禁じ、アッラーを信仰します。啓典の民も信仰していたなら、かれらのためによかったことでしょう。かれらの中には信者もいるけれど、ほとんどの人は掟破りなのです。111.かれらは、あなた方をほとんど害することはできないでしょう。かれらがあなた方と戦うとしても、かれらはあなた方に背を向け（敗走し）誰にも助けられないでしょう。112.かれらはどこにいたとしても、屈辱に打ちのめされるでしょう。アッラーからの絆と人びととの絆がない限りは。そしてかれらはアッラーの怒りを受け、貧困に打ちのめされたのです。なぜならかれらがアッラーの印を信じようとせず、不当に預言者たちを殺害したからです。なぜならかれらは不服従で掟を破ってきたからです。

113.かれら全員が同じではありません。啓典の民の中にも夜間立礼し、アッラーの印（啓示）を読誦し、アッラーに平伏礼する一団がいます。114.かれらはアッラーと最後の日を信じ、正しいことを命じ、邪悪

なことを禁じ、互いに善事を急ぐのです。かれらは正しい人たちなのです。115.かれらの行なう善が否定されることは決してないでしょう。アッラーは（アッラーを）意識する人びとを、すべてご存知なのです。116.まさに信仰を拒否した人たちの財産や子供たちは、アッラーに対しては全く役に立たないでしょう。かれらは（互いに）永遠に住む地獄の火における伴侶なのです。117.かれらが現世において費やすものを例えれば、霜風のようです。それ（霜風）は自らに不正を働く人たちの収穫を襲い、それ（収穫）をだめにしました。アッラーはかれらを損ないませんでした。でもかれらが自分自身を損なったのです。

118.信仰する人たちよ、あなた方以外の人と親密にしてはいけません。（なぜなら）かれらはあなた方の破滅を惜しみません。かれらはあなた方の苦難を望んでいるのです。かれらの口から出る憎悪は明らかです。そしてかれらが胸に隠すもの（憎悪）はさらに大きいでしょう。本当にわれらは印をあなた方に明確にしました。もしあなた方が頭を働かせれば（理解するでしょう）。119.何と、あなた方（ムスリム）はかれらを愛しているけれど、かれらはあなた方を愛してはいません。あなた方はすべての啓典を信じています。そしてかれらはあなた方と会うと、わたしたちは信じましたと言います。でもかれらだけのときは、あなた方に憤怒して、指先を噛んでいるのです。言いなさい。憤死しなさいと。誠にアッラーは、人が胸の中に抱くことを知っているのです。120.もしあなた方に善いことが訪れれば、かれらは悲しみます。もし不幸があなた方を襲えば、かれらはそれを喜ぶのです。もしあなた方が忍耐して、（アッラーを）意識するなら、かれらのたくらみは全く、あなた方を害しないでしょう。誠にアッラーは、かれらの行なうことすべてを把握しているのです。

121.あなた（ムハンマド）が早朝に家を出て、信者たちを戦いの配置につかせたとき（を思い出しなさい）。アッラーは全聴にして全知なのです。122.あなた方の中の二派が戦意を失ったが、アッラーがかれら（信

者）を援護したときがありました。だから信者はアッラーを信頼すべきなのです。123.アッラーはあなた方が劣勢だったとき、あなた方をバドル（の戦い）において助けました。だからアッラーを意識しなさい。あなた方は感謝するでしょう。124.あなたが信者たちにこう言ったとき（を思い出しなさい）、あなた方の主が3,000の天使たちを遣わすことで、あなた方を増強しても、まだ足りないでしょうかと。125.いえ、とんでもない（それで十分なはずです）。もしあなた方が耐え忍んで、（アッラーを）意識するなら、（たとえ）敵が今直ちに襲ってきたとしても、あなた方の主は、急降下する5,000の天使たちであなた方を援助するでしょう。126.アッラーがあなた方にそのようにされたのは吉報であり、（まさしく）あなた方の心を安堵させるためなのです。偉力大にして英明なアッラーの御元からの他には、助けはありません。127. かれが一部の非信者を切り崩し、かれらを卑しめるので、非信者は失意のうちに退却するのです。128. かれが非信者に優しくするか、かれらを苦しめるかは、あなた（ムハンマド）が決めることではありません。確かにかれらは不正を行なう人たちです。129.諸天の中にあるものも地の中にあるものも、アッラーのものです。かれは御望みの人を赦し、また御望みの人を苦しめます。アッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。

130.信仰する人たちよ、（元本の）何倍、さらに何倍にした高利を食い荒らしてはいけません。アッラーを意識しなさい。そうすればあなた方は成功するでしょう。131.そして信仰を拒否した人たちのために用意されている、（地獄の）火を意識しなさい。132.アッラーと使徒に従いなさい。そうすればあなた方は慈悲を授かるでしょう。133.あなた方の主からの赦しを得るために、また（アッラーを）意識する人たちのために用意されている、諸天と地ほどある広さの楽園のために、急ぎなさい。134.順境においても逆境にあっても施す人たち、怒りを押えて人びとを許す人たち、アッラーは（こういった）善行する人たちを愛するので

す。135.また不道徳や不正を犯したとき、かれらはアッラーを念じ、かれらの罪の赦しを願います。アッラーの他に誰が罪を赦すことができるでしょうか。そしてかれらは（罪を）知りながら繰り返すことはありません。136.こういった人たちへの報いは、かれらの主からの赦しと川が下を流れる楽園で、かれらはその中に永遠に住むでしょう。善行者への報酬はすばらしいのです。137.あなた方以前にも（アッラーの示された）実例がありました。あなた方は地上を旅して、真理を嘘であるとした人たちの末路がどのようであったかを見なさい。138.これは人びとに対する明証であり、（アッラーを）意識する人たちへの導きと諭しです。

139.気力を喪失し、絶望してはいけません。もしあなた方が信者なら、あなた方は優位にあるのです。140.（ウフドの戦いの）傷があなた方を痛めているとしても、同じように（バドルの戦いの）傷はその人びと（マッカの異教徒）を痛めているのです。われらはこれらの（敗戦と戦勝）日を交互に人びとの間に設けます。（そうすることで）アッラーは信仰する人びとを知り、またあなた方から殉教者を選ぶのです。アッラーは不正する人びとを愛しません。141.（またそうすることで）アッラーは信仰した人たちを清め、信仰を拒否する人たちを滅ぼすのです。142.それともあなた方は、楽園に入ると考えたのでしょうか。アッラーがあなた方の中、奮闘努力する人たちと忍耐する人たちを、明らかにしないままに。143.確かにあなた方は（戦いでの）死を望んでいました。死に直面する前からずっと。そしてあなた方は眼前にそれ（死）を見たのです。

144.ムハンマドは一人の使徒にすぎません。そしてかれの前に（他の）使徒たちは亡くなりました。もしかれが死ぬか殺されるかしたら、あなた方は踵を返すのでしょうか。誰が踵を返しても、アッラーを害することはまったくできません。アッラーは感謝する人たちに報いるのです。145.アッラーが期限を定めて記した許しでなければ、誰も死ぬことはできません。誰でも現世の褒美を求める人には、われらはそこから与

えます。また来世の褒美を求める人には、われらはそこから与えます。そしてわれらは、感謝する人たちに報いるのです。146.どれほど多くの預言者とともに、（これまで）幾多の篤信の人たちが戦ったことでしょうか。かれらはアッラーの道において、かれらに降りかかったことに落胆せず、弱気にならず、降伏しなかったのです。そしてアッラーは忍耐強い人たちを愛するのです。147.かれらの言葉とはただ（次のようでした）、かれらは言いました。わたしたちの主よ、わたしたちの罪や行き過ぎを赦してください。わたしたちの足場を固め、不信心な人たちに対抗して勝利を与えてください。148.するとアッラーは、かれらに現世の褒美と来世のすばらしい褒美を与えました。アッラーは、善い行ないをする人を愛するのです。

149.信仰する人たちよ、もしあなた方が不信心な人たちに従うなら、かれらはあなた方の踵を返させ、あなた方は損失者たちとして後戻りするでしょう。150.いいえ。アッラーこそがあなた方の擁護者であり、究極の援助者なのです。151.　われらは不信心な人たちの胸の中に、戦慄を投げ込みます。なぜならかれらは、何の権威も与えられていないものを、アッラーと同位に置いたからです。かれらの住み家は（地獄の）火です。不正を行なう人たちの住まいは、何と惨めなものでしょう。152.本当にアッラーは、かれの約束を果たしました。かれの許しの下にあなた方が敵を撃破したときに。（でも）かれがあなた方の好むもの（戦利品）を見せた後から、あなた方は失敗し、（ムハンマドの）命令について互いに論争し、（ついに）背きました。あなた方の中には、現世を欲する人たちもいるし、また来世を欲する人たちもいます。かれはあなた方を試みるため、かれはあなた方を敵から退却させたのです。かれはあなた方を赦しました。アッラーは信者たちに対する寵愛の所有者なのです。153.あなた方が丘を登り、誰も顧みようとしなかったとき、使徒はあなた方の後方からあなた方を呼んでいたのです。だからかれは悲痛につぐ悲痛

で、あなた方に応報しました。(しかし今やアッラーはあなた方を赦しました。なぜなら)あなた方が失ったものを悲しまず、あなた方に降りかかったことを悲しまないために。アッラーは、あなた方の行なうことを熟知しています。

154. かれはあなた方に悲痛の後、安らぎをもたらし、あなた方の一派は眠りにつきました。一方(別の)一派はかれら自身のことに心を奪われて、アッラーについて正しくない(イスラーム以前の)ジャーヒリーヤ時代の無知な考えを言います。わたしたちに何かできることはあったのでしょうかと。(ムハンマドよ)言いなさい。これに関するすべてのことはアッラーに属します。かれらはあなた(ムハンマド)に言えないことを、かれらの中に隠すのです。かれらは言います。もしわたしたちにすること(選択)があれば、誰もここで殺されなかったでしょう。(かれらに)言いなさい。もしあなた方が家の中にいたとしても、死が定められたなら、必ずその人の死に所に出て行ったでしょう。これはアッラーがあなた方の胸の中にあるものを試み、かれがあなた方の心の中にあるものを清めるためです。アッラーは、あなた方の胸の中にあるものを知っています。155.本当に両軍の会戦日、あなた方の中で背を向けた人たちは、かれらが稼いだこと(罪)のせいで、悪魔がかれらをしくじらせたのです。アッラーはかれら(の罪)を赦されました。誠にアッラーは赦すお方であり、寛大なお方なのです。

156.信仰する人たちよ、不信心な人たちのようであってはいけません。かれらはかれらの兄弟たちについて(次のように)言ったのです。かれらが地上を旅し、または戦争に遠征していたとき、もしかれら(兄弟)がわたしたちと一緒に(家に)いたなら、かれらは死ぬこともなく、また殺されなかったでしょうと。アッラーはかれらの心の中に苦悶を残します。アッラーは生を授け、また死を与えます。アッラーはあなた方の行なうことを、すべてお見通しなのです。157.もしあなた方がアッラーの道に

おいて殺されても、または死んでも、アッラーからの赦しと慈悲の方が、かれらが蓄えたものよりも善いのです。158.もしあなた方が死んでも、または殺されても、あなた方は必ずやアッラーの御元に集められるでしょう。159.アッラーからの慈悲のおかげで、あなた（ムハンマド）はかれらに優しく接しました。もしあなたが非礼で心が荒々しかったなら、かれらはあなたから離れ去ったでしょう。だからかれらを勘弁し、かれらのために（アッラーの）赦しを請いなさい。諸事においてかれらと協議しなさい。そして決めたときはアッラーを信頼しなさい。本当にアッラーは、かれを信頼する人たちを愛します。160.もしアッラーがあなた方を助けるなら、あなた方に打ち勝つ人はいないのです。もしかれがあなた方を見捨てるなら、かれの他に誰があなた方を助けることができるでしょうか。だから信者たちは、アッラーに全幅の信頼を寄せなさい。

161.預言者が（戦利品を）だまし取ることはあり得ません。誰でもだまし取る人は復活の日に、そのだまし取ったものを持ち出すでしょう。そのとき誰であれ、稼いだことに対し完全に清算され、かれらが不当に扱われることはないのです。162.アッラーのご満悦を求める人は、アッラーから激怒を被る人と同様なのでしょうか。かれ（後者）の住まいは地獄です。何と悪い行き先なのでしょう。163.アッラーの御元では、かれらは（さまざまな）位階にいるのです。アッラーは、あなた方の行なうことをすべてお見通しなのです。164.確かにアッラーは信者たちに恵みを与えました。（その恵みとは）かれがかれらの中から一人の使徒を出し、かれの印（啓示）を読誦し、かれらを清め、啓典と英知を教えたのです。それまではかれらは、明らかに迷いの中にいたのです。

165.災難があなた（ムハンマド）を襲うとき、あなた方はその2倍に相当する打撃をかれら（敵）に与えたのに（もかかわらず）、あなた方は言いました。これ（災難）はどこから来るのでしょうか。言いなさい。それはあなた方自身から来るものです。本当にアッラーは、すべてに対して

全能なのです。166.両軍の会戦日に、あなた方を襲ったものはアッラーの許しによるもので、かれが信仰する人たちを知るためです。167.（これによって）かれは偽信者たちを明らかにするのです。そしてかれらに言いました。アッラーの道において戦いなさい。もしくは（自分を）守りなさいと。かれらは言いました。もしわたしたち（非信者）が戦うことを知っていたなら、あなた方（信者）に従ったのにと。その日かれらは、信仰よりも不信仰に近かったのです。かれらは心にもないことを、口先で言うのです。でもアッラーは、かれらが隠すことをすべて知っているのです。168.（自らは戦わず）居残っていた人たちは、かれらの同胞について言いました。もしかれらがわたしたちに従っていたなら、殺されなかったでしょうと。言いなさい。あなた方自身から死（そのもの）を追い払ってみなさい。もしあなた方が言うことが本当なら。

169.アッラーの道において殺された人たちを、死んだと思ってはいけません。いいえ。かれらの命は主の御元で扶養されています。170.（かれら殉教者は）アッラーがかれらに与えた恵みに歓喜しています。またかれらにまだ加わっていない（戦いに）生き残った人たちについては、かれら（生き残った人）には恐怖もなく悲哀もないことを（殉教者は）喜んでいます。171.（さらにそれは）アッラーからの恩寵と寵愛として、喜んでいます。アッラーは信者たちへの報酬を失念したりはしません。172.かれらに（敗戦の）痛手が襲った後、アッラーと使徒に応えた人たち、（特に）かれらの中でも善行をした人たちや（アッラーを）意識した人たちには、偉大な報酬があります。173.人びとがかれらに向かって言いました。人びとがあなた方（信者）に対抗するため集結しました。だからかれらを恐れなさい。でもこれがかれら（信者）の信仰を深めました。かれらは言いました。アッラーがいれば十分です。かれは究極の保護者なのですと。174.だから、かれらはアッラーの恩寵と寵愛と共に帰還しました。災厄がかれ

らを襲うこともありませんでした。そしてかれらは、アッラーのご満悦を追求しました。アッラーは偉大な寵愛の所有者なのです。175. かれ(悪魔)を支持する者たち(マッカの多神教徒)のことを怖がらせているのは、悪魔なのです。だからかれらを恐れず、わたしを恐れなさい。もしあなた方が信者なら。

176.不信心に向かって急ぐ人たちが、あなた(ムハンマド)を悲しませることがあってはいけません。かれらは少しもアッラーを害することができないのです。アッラーは来世において、かれらのためにいかなる取り分も用意しないでしょう。かれらには重大な苦痛があるのです。177.信仰と引き換えに不信仰を買い込んだ人たちは、少しもアッラーを害することができません。かれらには厳しい苦痛があるでしょう。178.信仰しない人たちに、われらがかれらに猶予を与えることが、かれらにとって良いと思わせてはいけません。われらが、かれらに猶予を与えているのは、ただかれらが罪を増やすためなのです。かれらには恥ずべき苦痛があるのです。179.アッラーのお考えとしては、信者の善し悪しを区別するまで、かれらを今のままでは放っておかれないでしょう。(また)アッラーは目に見えない世界のことを、あなた方に現す考えでもありません。でもアッラーは御心にかなう人たちを使徒に選ぶのです。だからアッラーとかれの使徒たちを信じなさい。もしあなた方が(アッラーを)信じて意識するなら、あなた方に偉大な報奨があるでしょう。

180.アッラーがかれの寵愛によってかれらに与えたものを施さないでいる人たちに、それが自分のために良いと思わせてはいけません。いいえ。それはかれらにとって悪なのです。復活の日、かれらの首には彼らが保留したそれ(施し)が巻かれるでしょう。諸天と地の遺産は、アッラーに属します。アッラーはあなた方の行なうことを熟知しておられます。181.アッラーは確かに聞きました。本当にアッラーは貧しく、わたしたちは富んでいると言った人たち(ユダヤ教徒)の言葉を。われらはかれ

らの言ったことや、正当な理由なく預言者たちを殺したことを記録するのです。われらは言います。灼熱の苦痛を味わいなさいと。182.これはあなた方の手が犯したことのせいです。アッラーは僕たちに、決して不正を行ないません。183.かれらは言いました。アッラーは、どんな使徒も信じないようわたしたちに命じました。火が食べつくす（犠牲の）供物をかれ（使徒）が持って来ない限りは。（ムハンマドよ）言いなさい。わたし以前から、使徒たちは明らかな証拠とあなた方が話していたものを持って、あなた方（のもと）にやってきました。もしあなた方が言うことが本当なら、なぜあなた方（ユダヤ教徒）は、かれら（使徒たち）を殺したのでしょうか。184.もしかれらがあなた（ムハンマド）を拒否したなら、あなた以前に、明証と（知恵の）書巻（ズブル）と啓蒙の書を持ってきた使徒たちも、確かに拒否されたのです。185.誰であれ、死を味わうのです。復活の日には、あなた方は完全に報われるでしょう。誰でも（地獄の）火から遠ざけられ、楽園に入れられた人は、真に成功をおさめたのです。この世の生活は、ただ虚偽の享楽にすぎません。

186.あなた方は財産やあなた方の人柄について、必ず試めされるでしょう。そしてあなた方以前に啓典を与えられた人からも、多神教徒からも、たくさんの毒舌を聞くでしょう。もしあなた方が忍耐し（アッラーを）意識するなら、そうすることが最善の方途なのです。187.アッラーが、啓典を与えられた人びとと約束（ミーサーク）したときのことです。あなた方は人びとに向けて（啓典を）明らかにし、隠してはなりません（と約束しました）。（ところが）かれらはこれ（啓典）を背後に捨て、わずかな対価を得るために、これと引き換えたのです。何と悪い買い取りなのでしょう。188.　かれら（自ら）がもたらしたものを喜ぶ人たちや、また（自ら）行なわないのに称賛されるのを好む人たちのことを考えてはいけません。かれらが苦痛を免れると考えてはいけません。かれらには厳しい

苦痛があるのです。189.諸天と地の大権はアッラーに属します。アッラーは全存在に対して全能なのです。

190.本当に諸天と地の創造の中には、また夜と昼の交代の中には、思慮ある人たちへの印があります。191.かれら（思慮ある人）とは、立ちながら、または座りながら、または横たわってアッラーを唱念する人たちです。そしてかれらは諸天と地の創造について想いを巡らせるのです。（かれらは言います）わたしたちの主よ、あなたは無目的にこれ（天地）を創ったのではないでしょう。あなたに栄光あれ。そしてわたしたちを（地獄の）火の苦痛からお守りください。192.わたしたちの主よ、あなたは（地獄の）火に投げ込まれる人を必ず辱めます。不正を行なう人たちには援助者はないのです。193.わたしたちの主よ、確かにわたしたちは、あなた方の主を信じなさいと、信仰を呼びかける人の声を聞きました。そこでわたしたちは信仰に入ったのです。だからわたしたちの主よ、わたしたちのために、わたしたちの罪を赦し、わたしたちからすべての悪行を消し、信心正しい人たち（アブラール）と一緒に、あなたに召してください。194.わたしたちの主よ、あなたの使徒たちを通じてわたしたちに約束されたものを与え、また復活の日にわたしたちを辱めないでください。あなたが約束を破ることは決してありません。

195.するとかれらの主は答えました。本当にわたしは、あなた方の中、男でも女でも（善を）行なう人の行ないを無駄にしないでしょう。あなた方は互いに（扱いは）平等です。そして移住した人たち、かれらの故郷から追放された人たち、わたしの道において迫害された人たち、また戦い殺された人たちには、わたしはかれらからその悪行を消去し、川が下を流れる楽園に入れるのです。これはアッラーの御元からの褒美です。アッラーの御元にこそ、最高の褒美があるのです。196.あなた（ムハンマド）は非信者が、地上をあちこち歩き回わって（良い商売をして）いるのに、惑わされてはなりません。197.これはわずかな享楽で、かれら

の住まいは地獄となります。何と悪い寝床なのでしょう。198.でもかれらの主を意識する人たちには、川が下を流れる楽園があり、かれらは永遠にその中に住むでしょう。アッラーの御元からの褒美として。そしてアッラーの御元にあるものが、信心正しい人たちのために最も善いのです。199.啓典の民の中には、アッラーを信仰し、またあなた方に啓示されたもの（クルアーン）と、かれらに啓示されたものを信じ、アッラーに謙虚に服従し、わずかな代価でアッラーの印（啓示）を売らない人たちがいます。かれらのために、かれらの報奨がアッラーの御元にあるのです。実にアッラーは清算に迅速なのです。200.信仰する人たちよ、耐え忍びなさい、また他の人よりも、さらに耐え忍びなさい、また互いに（礼拝や戦いに）備えなさい、そして（アッラーを）意識しなさい。そうすればあなた方は成功するでしょう。

4. 女性章

al-Nisa'

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.人びとよ、あなた方の主を意識しなさい。かれはひとつの魂からあなた方を創り、それから配偶者を創り、二人から多くの男性と女性を増やし広めたお方です。またその御名において、あなた方が互いに頼みごとをし合うアッラー及び血縁の絆を意識しなさい。アッラーはあなた方をいつも見守っているお方です。2.孤児たちに、かれらの財産を返しなさい。（自分の）悪いものを（かれらの）良いものと、取り替えてはいけません。またかれらの財産を、あなた方の財産として、食い荒らしてはいけません。誠にそれは大きな罪なのです。 3.もしあなた方が孤児の女性たちに対して、公正にできない恐れがあるなら、あなた方にとって適当と思われる女性たちから二人、三人または四人と結婚しなさい。でも、あ

なた方が（結婚する相手のかの女たちを）公平にできない恐れがあるなら、一人だけにしておくか、またはあなた方の右手が所有する人（奴隷の女性）にしなさい。これはあなた方が道を誤らないために、最も近い道なのです。4.そして（結婚相手の）女性には、かの女たちの結納品を気前よく与えなさい。でも、もし、かの女らがそのいくらかを快くあなた方に戻すなら、気兼ねなく受け入れなさい。

5.またあなた方は、自分の財産を精神薄弱者に渡してはいけません。それはアッラーが、あなた方（後見人）のために作った（孤児への）支援の手段なのです。だからあなた方がそれを使って、かれらに衣食を与え、やさしい言葉で話しかけなさい。6.かれらが結婚年齢に達するまで、孤児たちを試しなさい。もしかれらに立派な分別があると、あなた方が認めるなら、かれらの財産を渡しなさい。かれらが成人になるまでは、それを過度に急いで、食い荒らしてはいけません。誰でも豊かなら自制し、誰でも貧しいなら（孤児の財産を）適正に使いなさい。あなた方がかれらに財産を返すときは、かれらのために証人を立てなさい。アッラーは清算者として十分なのです。7.男（の孤児）たちには両親と近親たちが残した（遺産の）一部が、女（の孤児）たちには両親と近親たちが残した一部が、多少を問わず（相続の対象として）定められました。8.（遠くても）親族たち、孤児たち、貧しい人たちが相続にいあわせたときは、かれらにもそれから分け与え、親切な言葉でかれらに話しなさい。9.かれら（信者）が、死後に残す（自らの）脆弱な子孫について案じるときには、（他の孤児のことも同様に）かれらに心配させなさい。かれらにアッラーを意識させ、正しい言葉を語らせなさい。10.孤児たちの財産を不正に食い荒らす人たちは、腹の中に火を溜め込んでいるにすぎません。そしてかれらは灼熱の火に焼かれるでしょう。

11.アッラーはあなた方に、自分の子供たち（への遺産相続）について命じます。男児には女児の二人分と同額を。でも女児のみ二人以上

なら、かれが残したものの３分の２が、かの女たちのためです。もし女児一人のみなら、かの女には２分の１（配分します）。またかれに（一人でも）子供がいれば、かれの両親それぞれには、かれが残したものの６分の。一方、かれに子供がなく、かれの両親がその相続者なら、かれの母親には３分の１（残りは父親のもので、兄弟姉妹にはない）。もしかれに兄弟（姉妹を含む）がいれば、かれの母親には６分の。（いずれも）残された遺贈または債務（を差し引いた）後から（配分します）。あなた方は自分の両親のいずれや、子供たちのいずれが、あなた方にとってより利得があるかは分かりません。（これは）アッラーが定めることです。誠にアッラーは全知にして英明なのです。12.あなた方（夫たち）には、かの女（妻）たちに子供がいなければ、あなた方の妻たちが残したものの半分（が相続分）です。もし子供がいれば、あなた方には、かの女たちが残したものの４分の。（いずれも）残された遺贈もしくは債務（を差し引いた）後から（配分します）。一方、かの女たちに、もし子供がいなければ、あなた方（夫たち）が残したものの４分の。もし子供がいれば、かの女たちには、あなた方が残したものの８分の。（いずれも）残された遺贈または債務（を差し引いた）後から（配分します）。もし財産を残して亡くなった男性または女性に、父母も子供もなく91、兄弟または姉妹それぞれ一人ずつだけなら、６分の１（配分します）92。もしかれら（兄弟姉妹）がそれ以上（の数）なら、かれらには全員で３分の。（誰にも）損害はないようにして、（いずれも）残された遺贈または債務（を差し引いた）後からです。（これは）アッラーの命令であり、アッラーは全知にして寛大なお方なのです。13.これらはアッラーが定めた法です。また誰でもアッラーとかれの使徒に服従する人は、かれがその人を川が下を流れる楽園に入れ、永遠にその中に住むのです。そしてこれこそが至上の成功なのです。14.でも、アッラーとかれの使徒に従わず、かれの法に背く人は、かれ

がその人を（地獄の）火に入れ、永遠にその中に住まわせます。その人には恥ずべき苦痛があるのです。

15.あなた方の女性たちの中でわいせつ行為（不倫）をする人がいれば、かの女たちに対して、あなた方の中から4名の証人を求めなさい。もしかれら（証人）が証言したなら、かの女たちに死が訪れるまで、またアッラーがかの女らのために（別の）道を作るまで、かの女らを家の中に監禁しなさい。16.あなた方の中二人でそれ（わいせつ行為）をする人は、二人とも罰しなさい。でもかれらが改心して身を正すなら、かれらを放免しなさい。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。17.アッラーが赦されるのは、悪を知らずに行ない、その直後に改心する人だけです。そういう人たちは、アッラーが赦されるでしょう。アッラーは全知にして英明なお方なのです。18.死が迫るまで悪を行ない、今（死の間際になって）わたしは改心しましたという人に赦しはないでしょう。また不信心のまま死ぬ人たちにも赦しはないでしょう。かれらに、われらは厳しい苦痛を準備しました。

19.信仰する人たちよ、無理やり女性（未亡人）たちを相続することは、あなた方にとって合法ではありません。またあなた方は、かの女たちに与えたもの（婚資）の一部を取り戻そうとして、（離婚を誘発できるように）かの女たちに手荒くすることも合法ではありません。明らかにかの女たちが不倫を犯していない限り。適正にかの女たちと暮らしなさい。たとえあなた方が、かの女たちを嫌っても、あなた方が嫌いなことの中に、アッラーはたくさんの善をもたらすかもしれません。20.たとえあなた方が（自分の）妻を別の女と取りかえたいと思ったとき、かの女に山のような財産を（婚資として）与えていたとしても、そこから何も取ってはいけません。あなた方は中傷と明らかな罪を犯すつもりでしょうか。21.どうしてあなた方がそれ（婚資）を取り戻せるでしょうか。もうお互いに床を共にして、かの女らは堅い約束をあなた方から得たので

す。22.あなた方の父が結婚したことのある女性たちと、結婚してはいけません。すでに済んだことは別として。それは恥ずべきこと、忌まわしいこと、邪悪の道です。

23.あなた方に（妻として）禁じられたのは、あなた方の母、娘、姉妹、父方のおば、母方のおば、兄弟の娘、姉妹の娘、授乳した乳母、乳姉妹、妻の母、あなた方の保護下にある、あなた方が交わった女性たちの連れ娘、（しかし）もしあなた方がかの女たちと交わっていないなら（その連れ娘と結婚しても）あなた方に罪はありません。あなた方自身の息子の妻、そして姉妹二人と同時に結婚すること（も禁止）です。すでに済んだことは別として。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。24.◆5部◆また既婚している女性たちとも（結婚禁止です）。あなた方の右手が所有する人（奴隷の女性）は別です。これはあなた方に向けたアッラーの掟です。これら以外（の女性たち）はすべてあなた方に合法なので、あなた方の財産をもって、私通のようでなく、結婚を求めなさい。それで、かの女たちと結婚を楽しむときは、定めた婚資をかの女たちに与えなさい。でも婚資（を定めた）後、互いにそれについて（変更の）合意をしてもあなた方に罪はありません。誠にアッラーは全知にして英明なお方なのです。25.あなた方の中、信仰ある自由な女性と結婚する財力のない人は、あなた方の右手が所有する信仰ある（奴隷の）女性と結婚しなさい。アッラーはあなた方の信仰心を最もよくご存知です。（奴隷の女性と）あなた方は互いに（人類家族の）一部なのです。だからかの女たちの家族に認められてから、かの女たちと結婚しなさい。また私通の相手でも隠れた愛人としてでもなく、結婚する妻として適正な婚資をかの女らに贈りなさい。もし結婚のあと、かの女たちが不倫をすれば、自由な女性信者に対する半分の苦痛がかの女たち（奴隷の女性）にあります。これはあなた方の中、罪を犯すことを恐れる人への（戒めの）た

めです。（自分を抑えて）忍耐することがあなた方にとって良いでしょう。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

26.アッラーはあなた方に（掟を）明らかにし、あなた方以前の人の慣行にあなた方を導き、あなた方から改心を受け入れることを望まれます。アッラーは全知にして英明な方なのです。27.アッラーはあなた方から改心を受け入れたいのです。（一方）自らの欲望に従う人たちは、あなた方が大きく逸脱するように望んでいます。28.アッラーは、あなた方の負担を軽くするよう望まれます。人間は弱いものに創られたのです。

29.信仰する人たちよ、あなた方の財産を、自分たちの間で不正に浪費してはいけません。ただし互いの合意による商売上の場合は別です。またあなた方自身を殺してはいけません。誠にアッラーは、あなた方にとって慈悲深いお方なのです。30.誰でも敵意や不正でそうする人は、やがてわれらはかれを（地獄の）火に投げ込むでしょう。それはアッラーにとってとても易しいことです。31.もしあなた方が禁じられた大罪を避けるなら、われらはあなた方の悪行を消去させ、栄誉の門にあなた方を入れるでしょう。32.アッラーがある人に、他よりも多く与えたものをうらやんではいけません。男性たちにはかれらが稼いだものの分け前があり、女性たちにもかの女たちが稼いだものの分け前があります。アッラーの寵愛を請いなさい。アッラーはすべてのことをご存知なのです。33.われらは、あらゆる人のために両親や親戚が残したものの相続者を決めました。あなた方の右手が約束した人（奴隷の女性）にも、その分け前を与えなさい。アッラーは、すべてのことを立証するお方なのです。

34.夫は妻の面倒を見るものです。なぜならアッラーはある人びとに他よりも多く恵まれたからであり、かれらが自分の財産から（生計費を）出すからです。正しい妻とは敬虔で、（夫の）不在中はアッラーが守る（ように命じた）ことを守る人たちです。言うことを聞かない心配がある妻たちには、あなた方が（アッラーの教えを）諭しなさい。また寝所では相

手にせず、そして（最終の手段として）かの女たちを打ちなさい。もしかの女たちがあなた方に従うなら、かの女たちに追いうちをかけてはいけません100。本当にアッラーは至高なお方であり、偉大なお方なのです。35.もしあなた方（信者）が夫婦の離婚を心配するなら、夫の親族から一人の調停者を、また妻の親族からも一人の調停者を出しなさい。もし二人がやり直そうと望むなら、アッラーはかれらに和解をもたらすでしょう。アッラーはすべてをご存知であり、すべてにお気づきなのです。

36.アッラーを信仰し、何ものをもかれに並置してはいけません。親孝行し、近親たち、孤児たち、貧しい人たち、近くの隣人、遠くの隣人、親しい連れ、旅行者、あなた方の右手が所有する人（奴隷）に親切にしなさい。誠にアッラーは高慢な人や自慢する人を愛しません。37.（そういった人たちは）けちで、人にもけちを勧める人たちです。またかれらは、アッラーがかれらに与えた寵愛を隠そうとします。われらは信仰を拒む人たちのために、恥ずべき苦痛を準備したのです。38.またかれらは人びとに見せびらかすためにかれらの財産を施す人たちで、アッラーも、最後の日も、信じていません。誰でも悪魔を仲間とする人は、悪い仲間を持つことでしょう。39.もしかれらがアッラーと最後の日を信じ、アッラーがかれらに与えたものから施しても、かれらにとって何の負担になるでしょうか。アッラーはかれらをよくご存知なのです。40.本当にアッラーはわずかな塵の重ささえも間違えません。もし一善あれば、かれはこれを倍にし、かれの御元から偉大な報酬を与えるでしょう。

41.われらがすべての共同体から一人ずつ証人（預言者）を連れ出し、あなた（ムハンマド）をこれら（マッカの人びと）に対する証人とするとき、どうなるでしょうか。42.その（最後の）日、信仰を拒否して使徒に従わなかった人たちは、大地が平らになってくれれば（飲み込まれて姿を消すことができるのに）と願うでしょう。かれらは何ひとつ、アッラーから隠すことはできないのです。43.信仰する人たちよ、あなた方が酔ったと

きは、自分の言うことが理解できるようになるまで礼拝に近づいてはいけません。また大汚（ジュヌバ）のときも、外を通行しているときを除き、全身を沐浴するまで（礼拝に近づいてはいけません）。もしあなた方が病気か、旅行か、便所を使うか、または性交したとき、水を見つけられないなら、清い土に触れ（タヤンママ）、あなた方の顔と両手を軽くぬぐいなさい。アッラーは悪行を消される方であり、よく赦すお方なのです。

44.あなたは啓典の一部を与えられた人たちを、見なかったのでしょうか。かれらは迷いを買い込み、（さらに）あなた方が道から迷うことを望んでいます。45.アッラーは、あなた方の敵をよくご存知です。アッラーは擁護者としても、援助者としても、十分なのです。46.ユダヤ教徒たちの中には（啓典の）言葉の位置を歪めて言う人がいます。わたしたちは聞いても従わない、（あなたは）聞かされていないことを聞け、ラーイナー（わたしたちを見ろ）と、かれらの舌を歪め、宗教を鼻で笑うのです。もしかれらが、わたしたちは聞き従います、（あなたは）聞きなさい、ウンズルナー（わたしたちを見てください）と言うなら、かれらにとってより善く正しいのです。かれらは不信心なので、アッラーがかれらを拒否したのです。かれらはわずかしか信仰しません。

47.啓典を与えられた民よ、われらが少しずつ啓示したもの（クルアーン）を信じなさい。（それは）あなた方と共にあるもの（律法）の確証です。われらが（啓典の民の）方向感覚を消し、かれらを後ろ向きにひっくり返し、もしくは安息日を破った人たちを拒否したように、われらがかれらを拒絶する（前に、信じなさい）。アッラーの命令は必ず成し遂げられるのです。48.本当にアッラーは、かれに並置されることは赦しません。でもそれ以外のことについては、御心にかなう人を赦されるのです。アッラーに並置する人は、誰でも大罪を犯しているのです。49.あなた（ムハンマド）は自らを清浄とする人たちを見ないのですか。（そう言うことは）とんでもないことで、アッラーは御心にかなう人たちを清めますが、

かれらはナツメヤシの種皮の一筋ほども(少しも)、不当に扱われない(罪が軽減されない)のです。50.どのようにかれらがアッラーについて、嘘を捏造するかを見なさい。これ自体十分に明らかな罪なのです。

51.あなたは啓典の一部を与えられた人たちを見ないのですか。かれらは偶像(ジブト)と邪神(ターグート)を信じ、不信心な人たちに向けて、これら(非信者)は信者たちよりも正しく導かれていると言うのです。52.これらはアッラーが拒否した人たちです。誰でもアッラーが拒否した人には、あなた(ムハンマド)は一人の援助者も見つけられないでしょう。53.または、かれらに大権の一部があるというのでしょうか。(たとえ)そうであっても、かれらはナツメヤシの種にある細い溝ほども(少しも)人びとに譲らないでしょう。54.または、アッラーがかれの寵愛から人びとに与えたものを、かれらは(不当にも)うらやむのでしょうか。確かにわれらは、イブラーヒームの一族に啓典と英知を与え、偉大な王国を与えました。55.ある人たちはかれを信じたけれど、ある人たちはかれから背き去りました。(かれらには)燃え盛る地獄の火をもってすれば十分です。56.本当にわれらの印を信じない人たちは、やがて(地獄の)火で焼かれるでしょう。かれらの皮膚が焼け尽くされるたびに、われらがかれらの皮膚を他の皮膚で替えるのは、かれらが苦痛を味わい続けるためです。誠にアッラーは偉力大であり、英明です。57.信仰して善行する人たちにおいては、われらは川が下を流れる楽園にかれらを入れ、かれらはその中に永遠に住むのです。かれらにはそこに清らかな配偶者がいて、われらは涼しい影にかれらを入れるでしょう。

58.確かにアッラーは、あなた方に信託されたものを、元の所有者へ返すことを命じています。そしてあなた方が人の間を裁くときは、公正に裁くことを命じています。誠にアッラーは、あなた方に見事に諭すのです。アッラーは全聴にして、すべてお見通しなのです。59.信仰する人たちよ、アッラーに従いなさい。また使徒と、あなた方の中の権能をもつ人

たちに従いなさい。あなた方の間で異論があれば、アッラーと使徒にそれ（事案）を戻しなさい。もしアッラーと最後の日を信じるのなら。そうすることは（結局）最も善く、最も妥当なのです。60.あなた（ムハンマド）はあなたに啓示されたもの（クルアーン）と、また、あなた以前に啓示されたものを信じる、と主張する人たちを見ないのですか。かれらは邪神（暴君）に裁きを求めようと望むのでしょうか。本当は、かれらは邪神を拒むよう命じられたのです。また悪魔たちは、かれらを遠く迷い去るようにしようと望んでいます。61.かれらに向かって、（裁きにおいては）アッラーが啓示したものと使徒（のところ）に来なさいと言われたとき、偽信者たちは嫌って、あなたから背き去るのを見るでしょう。62.ではかれらに、かれら自身の手がもたらした（結果の）災厄が降りかかったときは、どうでしょうか。そのとき、かれらはあなたの方に来て、アッラーにかけて、わたしたちは善行と和解をこそ望んだのです、と誓うでしょう。63.これらの人たち（偽信者）に関して、アッラーはその心の中にあるものを知っています。だからこれ（かれらの言うこと）を無視して諭し、かれらに対して心に響く言葉で呼びかけなさい。

64.われらが使徒を遣わしたのは、アッラーの許しの下に、服従させるためだけです。もしかれら（偽信者）が自ら誤ったとき、あなたのところに来て、アッラーの赦しを願い、使徒がかれらのために赦しを祈るなら、アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方であることに気づくはずです。65.でもあなた方の主にかけて、かれらは信仰しないでしょう。かれらの間で起こった論争について、あなたに決めさせ、その決めたことに不満を感じず、心の底から従おうと思うまでは。66.あなた方自身（の悪）を殺しなさい104、家から（信仰のために）出て行きなさいと、われらが命じても、かれらのわずかな人を除いては、そうしませんでした。しかし、かれらが諭されるようにしていたなら、かれらのために善く、もっと信仰がしっかりしていたはずです。67.そしてわれらは自ら偉大な報奨を

与えていたことでしょう。68.またわれらは正しい道に、かれらを導いたことでしょう。69.アッラーと使徒に従う人は誰でも、アッラーが恵みを与えられた預言者たち、誠実な人たち、真実の証人たち、そして正道にある人たちと一緒になるでしょう。かれらは何とすばらしい仲間でしょう。70.これはアッラーからの寵愛です。アッラーは、すべてをご存知なのです。

71.信仰する人たちよ、あなた方は用心して、分隊あるいは全隊で出動しなさい。72.確かにあなた方の中には、（出動に）遅れをとる人がいます。もし災厄があなた方（先陣）に下ると、自分たちが一緒に犠牲にならなかったのは、本当にアッラーからの恵みだと言うのです。73.でもアッラーからの寵愛が、あなた方（先陣）に下るときは、まるであなた方とかれら（遅れた人）との間に、友誼がなかったかのように、きっと言うでしょう。ああ、自分がかれら（先陣）と一緒であったなら、わたしは大成功をなし遂げていたのにと。74.だから来世のために、現世の生活を売る人には、アッラーの道において戦わせなさい。アッラーの道のために戦う人は、殺されても勝利しても、われらはかれに必ず偉大な報奨を与えるでしょう。75.あなた方がアッラーのために、そして男性、女性、子供たちの中にいる脆弱な人たちのために戦わないのは、なぜでしょうか。かれら（脆弱な人）は言います。主よ、この不正をなす人びとの町から、わたしたちを救い出してください。そしてあなたの方から、わたしたちのために、ひとりの保護者を立て、あなたの方から、わたしたちのために、ひとりの援助者を立ててください。76.信仰する人たちはアッラーの道において戦い、信仰しない人たちは邪神の道において戦います。だから悪魔の友に対して戦いなさい。本当に悪魔のたくらみは弱いものです。

77.あなた（ムハンマド）は見ませんでしたか。あなた方の手を（戦いから）引っ込めて礼拝に立ち、定めの施しをしなさいと言われた人びとを。次いでかれらに戦いが命じられると、かれらの一派はアッラーを恐

れるように、あるいはもっと、人間を恐れるのです。そしてかれらは言いました。主よ。あなたは、なぜわたしたちに戦いを命じるのですか。なぜ少しの間、わたしたちを猶予しないのでしょうか。（かれらに）言いなさい。現世の享楽は微細なもので、来世が（アッラーを）意識する人たちにとって、はるかに善いのです。あなた方は、ナツメヤシの種皮の一筋ほども（少しも）、不当に扱われないでしょう。78.あなた方がどこにいても、たとえ高くそびえ立つ建物にいても、死はやってきます。かれらはもし幸せなことが起これば、これはアッラーの御元からだと言い、もし不幸にあえば、これはあなた（ムハンマド）からだと言います。言いなさい。すべてはアッラーの御元からですと。一体この人たちはどうしたのでしょうか。話をほとんど理解しないかのようです。79.あなた（ムハンマド）に起こるどんな幸せも、アッラーからであり、あなたに起こるどんな不幸も、（つまるところは）あなた自身からなのです。われらはあなたを使徒として、人びとのために遣わしました。実にアッラーは証人として十分です。

80.使徒に従う人はアッラーに従った人です。（だから）背き去る人のために、われらはあなた（ムハンマド）を、見張役として遣わしたのではありません。81.かれらは服従を（誓います）と言います。でもあなたから立ち去ると、かれらの一派はあなたが言うこととは違うことを、夜までたくらみます。アッラーは、かれらが夜までたくらんだことを記録します。だからあなたは、かれらから遠ざかり、アッラーを信頼しなさい。本当にアッラーは保護者として十分なのです。82.かれらはクルアーンを、よく考えてみないのでしょうか。もしそれがアッラー以外のものから来たとすれば、かれらはその中に、きっと多くの矛盾を見つけることでしょう。83.かれらは安全や脅威の知らせが届いたとき、それを言いふらします。もしそれ（知らせ）を、使徒またはかれらの中の権能者たちに尋ねれば、かれらの中で知りたがっていた人には判明したでしょう。アッラーの寵愛

と慈悲が、あなた方にもたらされなかったなら、わずかの人を除き、あなた方はきっと悪魔に従ったでしょう。

84.だからアッラーの道において戦いなさい。あなた（ムハンマド）は自分自身に対してだけ、責任を持てばいいのです。信者たちを激励しなさい。きっとアッラーは、信仰しない人たちの戦力を抑えるでしょう。アッラーにはより戦力があり、もっと罰に厳しいのです。85.善きことを勧める人には、その分け前があり、悪しきことを勧める人には、その重荷があるでしょう。アッラーはすべてを養っています。86.あなた方が（戦場でも）挨拶されたときは、それよりもさらに丁重な挨拶をするか、同じような挨拶を返しなさい。誠にアッラーは、すべてのことを清算なされます。87.アッラー、かれの他に神はいません。かれは復活の日にあなた方を集められます。それに疑いの余地はありません。アッラーよりも真実を語る人がいるでしょうか。

88.あなた方（信者）は偽信者たちのことで、どうして二派に分かれたのですか。アッラーはかれらが稼いだことのために、かれらを（すでに）拒否したのです。あなた方は、アッラーが迷わせた人を導こうと望むのですか。本当にアッラーが迷わせた人は、決して道を見いだせないでしょう。89.かれらはかれら自身がしたように、あなた方が信仰を拒否することを望んでいます。だからアッラーの道において（マディーナ）に移住するまでは、かれらの中から同盟者を得てはいけません。もしかれらが背を向けるなら、かれらを見つけ次第、どこでも捕えて殺しなさい。かれらの中から、決して同盟者や援助者を得てはなりません。90.（ただし）あなた方と盟約した一派に仲間入りした人、あるいはあなた方とも自分の味方とも戦うことを控えて、あなた（ムハンマド）のところへやって来る（軍門に下る）人は別です。もしアッラーが望んだなら、かれは、あなた方よりもかれらに力を与え、あなた方と戦っていたでしょう。それで、もしかれらが身を引いて、あなた方と戦わないで、和平を申

し出るなら、アッラーはあなた方に、かれらと（戦う）道を与えないということです。91.（一方）あなた方は別の人たち（偽信者）を見つけるでしょう。かれらはあなた方から安全を望み、自分の味方からも安全を望む人たちではあっても、誘惑へと戻されるたびに、それに転落するのです。（だから）もしかれらが退かず、和平も求めず、（攻撃の）手を抑えないなら、かれらを見つけ次第、どこでも捕えて殺しなさい。われらはあなた方に、かれらに対抗する明らかな権能を授けたのです。

92.信者は信者を殺害してはなりません。過失は別として。誰でも過失で信者を殺した人は1名の信仰する奴隷を解放し、さらに遺族に対し代償を払いなさい。ただし、かれら（遺族）が施しと（して免除）する場合は別として。もしかれ（被害者）があなた方の敵に属する人であっても、（本当は）信者であったなら、一人の信仰する奴隷を解放しなさい。そしてかれ（被害者）が、あなた方と同盟関係にある人びとに属する人なら、遺族に対し代償を払い、また一人の信仰する奴隷を解放しなさい。それができない人は誰でも、アッラーからの赦しを願うため、続けて2ヵ月間の断食をしなさい。アッラーは全知にして英明なのです。93.ただし、信者を意図的に殺す人の報いは地獄で、かれは永遠にその中に住むでしょう。アッラーは怒り、かれを拒否し、重大な苦痛を準備したのです。

94.信仰する人たちよ、あなた方がアッラーの道において出動するときは、事態を見きわめ、あなた方に平安の挨拶をする人に向かって、あなたは信者ではないと言ってはいけません。（そうするのは）あなた方は現世のはかない財貨を求めるためだけれど、アッラーの御元にはあり余るほどの戦利品があります。以前あなた方も同じ（信仰しない）状態であったけれど、アッラーは恵みを与えられるのです。だから事態を見きわめなさい。誠にアッラーは、あなた方の行なうことをすべてご存知です。95.信者の中で、障害もないのに（家に）とどまっている人と、自らの財産と命を捧げて、アッラーの道において奮闘する人とは、同じで

はありません。アッラーは財産と命を捧げて奮闘する人に、とどまっている人よりも、一段と高い位階を与えました。（こうして）アッラーはすべて（の信者）に最善の報奨を約束しましたが、（他方）アッラーは奮闘する人には、とどまっている人よりも、巨大な報奨を与えられるのです。96.位階も赦しも慈悲も。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

97.本当に自分自身を損なっている人たちを、天使たちが召したとき、かれら（天使）は言いました。あなた方はどうしていたのですかと。かれらは言いました。わたしたちは地上で抑圧されていましたと。するとかれら（天使）は言いました。アッラーの大地は広大ではないのですか。あなた方はそこに移り住めたではないのですかと。これらの人たちの住まいは地獄でしょう。何と悪い帰り所でしょうか。98.（しかし）脆弱な男性と女性と子供たちは別で、かれらは手段もなく、また（移住の）道へも導かれなかったのです。99.これらの人をアッラーは免じられるかもしれません。アッラーはよく免じられるお方であり、よく赦すお方なのです。100.アッラーの道において移住する人は、地上に多くの避難所と、豊かなものを見つけるでしょう。アッラーとかれの使徒のところに、移住者として郷里から離れる人は、死に至っても、かれの報奨はアッラーが必ず請け負われるのです。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

101.あなた方が大地を旅するとき、もし非信者たちに害を加えられる恐れのあるときは、礼拝を短くしても責めはありません。誠に非信者は、あなた方の明らかな敵です。102.あなた（ムハンマド）がかれら（信者）と一緒にいて、礼拝を導くときは、その一団をあなたと共に立たせ、武器を持たせなさい。かれらが平伏礼を終えたとき、あなた方の後ろに行かせ、そしてまだ礼拝していない他の一団に、警戒心と武器を持たせつつ、あなたと共に礼拝させなさい。信仰を拒否する人たちは、一撃で

あなた方を襲えるよう、あなた方が武器や荷物に注意を払わないことを望んでいます。もし大雨、または、あなた方が病気なら、武器を手離しても責めはありません。でも用心しなさい。アッラーは非信者に恥ずべき苦痛を準備しました。103.あなた方は礼拝を終えたなら、立ったまま、あるいは座ったまま、または横になってでも、アッラーを唱念しなさい。そして安全になったときは、(通常通り)礼拝の務めを守りなさい。確かに礼拝は、信者に向けて定時に命じられたのです。104.あなた方は敵を追うことに、弱気になってはいけません。あなた方が苦しいなら、かれらもまた同じように苦しんでいるのです。あなた方は、アッラーから何かが得られるという希望があります。しかしかれらには(その)希望もないのです。誠にアッラーは、全知にして英明なのです。

105.われらは真理をもってあなたに啓典を下しました。これはアッラーが示したことによって、あなた方が人びとの間を裁くためです。だから裏切り者に対して、弁護する人になってはいけません。106.アッラーの赦しを請いなさい。誠にアッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。107.自分自身を欺く人たちと議論してはいけません。本当にアッラーは罪深い、裏切りの常習犯を愛しません。108.かれらは人びとから、自らを隠すことができるけれど、アッラーから隠れることはできません。かれが喜ばない言葉でもって、夜中にかれら(裏切り者)がたくらむときも、かれは共にあるのです。本当にアッラーは、かれらのすべての行ないをご存知なのです。

109.ここでは現世の生活について、あなた方(信者)がかれらのために議論しています。でも復活の日には、誰がかれらのために、アッラーと議論できるでしょうか。もしくは誰がかれらに対する保護者となるでしょうか。110.(一方)誰でも悪を行ない、または自分自身に不正をしても、アッラーの赦しをすぐに願えば、アッラーがよく赦すお方であり、慈悲深いお方であることがわかるでしょう。111.誰でも罪を稼ぐ人は、自

分自身に対して稼ぐだけです。アッラーは全知にして英明なお方なのです。112.誰でも（自ら）過失または罪を犯して、これを（他の）無罪の人のせいにする人は、中傷と明らかな罪を自分自身に背負わせる人なのです。113.あなた方にアッラーの寵愛と慈悲がなかったなら、かれらの一派はあなた（ムハンマド）を迷わせたことでしょう。でもかれらは自分自身を迷わせただけで、少しもあなたを害することはできません。アッラーはあなたに啓典と英知を啓示し、あなたがまったく知らなかったことを教えたのです。あなたへのアッラーの寵愛こそ偉大なのです。

114.かれらの密談において、善いことはまずありません。（ただし）施しや善良なことを勧め、人びとの間を執り成すことは別として。アッラーの喜びを求めてこれを行なう人には、やがてわれらは、偉大な報奨を与えるでしょう。115.かれに導きが明らかになった後、使徒に反抗し、信者の道以外の道に従う人は、われらはかれが従ったもの（誤道）に放置し、かれを地獄で焼くでしょう。何と悪い帰り所でしょうか。

116.真にアッラーは、かれに並置することを赦しません。でもその他のことは、御心にかなえば赦すでしょう。誰でもアッラーに並置する人は、確かに遠く迷い去った人なのです。117.かれらはかれを差し置いて、女性の偶像に祈るのみです。かれらはただ反逆的な悪魔に祈っているにすぎません。118.かれ（悪魔）はアッラーに拒否されました。かれは言いました。わたし（悪魔）は当然の分け前をあなたの僕から必ず取るでしょう。119.わたし（悪魔）はかれらを迷わせ、欲望に目覚めさせます。そしてかれらに家畜の耳を切るよう命じます。またかれらにアッラーの創造を変形させるように（命じます）。 誰でもアッラーではなく悪魔を友とする人は、必ず明らかな損失を被るのです。120.(悪魔は)かれらと約束を結び、虚しい欲望に陥らせるでしょう。でも悪魔が約束することは欺瞞にすぎません。121.かれらの住まいは地獄で、かれらがそこから逃れる術はありません。122.そして信仰して善行に励む人には、われらは川が

下を流れる楽園に入らせ、かれらは永遠にその中に住むのです。アッラーの約束は真実です。誰の言葉がアッラーよりも真実でありえるでしょうか。

123.これはあなた方の夢想によるものではなく、また啓典の民の夢想でもありません。誰でも悪を行なう人は、その報いを受けます。かれはアッラーの他に、擁護者も援助者も見いだせません。124.（一方）誰でも正しい行ないをする人は、男性でも女性でも信者です。かれらは楽園に入り、ナツメヤシの種にある細い溝ほども（少しも）不当に扱われません。125.アッラーに自分の顔ごと服従して善行する人で、イブラーヒームのまっすぐな信仰に従う人より、信仰において優れた人がいるでしょうか。アッラーはイブラーヒームを、親しい友とされました。126.諸天と地にあるすべてのものは、アッラーのものであり、本当にアッラーは、かれらのすべての行ないをご存知なのです。

127.かれらは女性たちについての規定を、あなた（ムハンマド）に求めています。言いなさい。アッラーが、かの女たちについての規定を、あなた方に与えるのです。啓典の中で読誦されたのは、あなた方が定められた相続分を与えないで結婚しようと望む女性の孤児、そして脆弱な子供たちについてであるけれども、孤児のためには公正にすべきことが命じられました。あなた方が行なうどんな善いことも、アッラーはすべてご存知なのです。128.もし妻が、夫からの虐待または遺棄を恐れるなら、二人の間を調停するのは罪ではありません。和解は最もよいことです。（ただし）人間の心は利己的になりやすいのです。もしあなた方が善行し（アッラーを）意識するなら、アッラーはあなた方の行なうことを熟知しておられます。129.あなた方は妻たちの間を公平にしようと望んでも、到底できないでしょう。偏愛に傾き、妻の一人をあいまいに（結婚と離婚の間で）放置してはいけません。あなた方が和解し（アッラーを）意識するなら、アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なので

す。130.たとえかれらが離別しても、アッラーは無限の富から、かれらそれぞれを豊かにするのです。アッラーは広大にして、英明なのです。

131.諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーのものです。確かにわれらはあなた方以前に啓典を与えられた人と、あなた方自身にも、アッラーを意識しなさいと命じました。あなた方が信じなくても、諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーのものです。アッラーは豊かに満ち足りているお方で、称賛されるべきお方です。132.諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーのものです。アッラーがいれば十分です。かれは究極の保護者なのです。133.人びとよ、もしかれが望めば、あなた方を追い出し（新たな）他の民に置き換えるでしょう。アッラーは全能なのです。134.現世の報奨を欲する人もあるけれど、アッラーの御元には、現世と来世の報奨があります。アッラーは全聴にして、すべてをお見通しなのです。

135.信仰する人たちよ、正義を守り、アッラーに向けて証言をしなさい。たとえあなた方自身や両親、そして近親者に不利な場合でも。たとえ富者でも貧者でも、アッラーは二人に最適なのです。だから欲望に従わず、公正にしなさい。たとえあなた方が（正義を）曲げ、または無視しても、アッラーはあなた方の行なうことを熟知しておられます。

136.信仰する人たちよ、アッラーとかれの使徒を信じなさい。またかれがその使徒（ムハンマド）に啓示した啓典（クルアーン）と、以前に啓示された啓典を信じなさい。誰でもアッラー、かれの天使たち、かれの諸啓典、かれの使徒たちと最後の日を信じない人は、確かに遠く迷い去った人です。137.信仰した後に不信心になり、それからまた信仰して、また不信仰になって、不信心を増長させた人たちといえば、アッラーはかれらを決して赦さないし、かれらを（正しい）道に導くことはありません。138.（だから）偽信者に厳しい苦痛があることを伝えなさい。139.信者たちを差し置いて、不信心な人たちを友達とする人たちがいます。か

れら（偽信者）は、かれら（非信者）を通じて、権勢を求めているのでしょうか。でもすべての権勢はアッラーに属します。

140.確かにかれは啓典（クルアーン）の中で、あなた方（信者）に諭しました。アッラーの印が拒否され、または笑い草にされるのを、あなた方が耳にするとき、かれらが他の話をするまで、かれら（偽信者）と同席してはいけません。（そうしないと）あなた方は、かれらと同類になるのです。本当にアッラーは偽信者と非信者を、ひとり残らず地獄の中に集めます。141.かれら（偽信者）はあなた方（信者）をじっと待っている人たちです。もしアッラーによって、あなた方が勝利を得たとき、かれらは言います。わたしたち（偽信者）も、あなた方と一緒だったではありませんかと。でも、非信者に有利になるとかれらは言うのです。わたしたち（偽信者）は、あなた方（非信者）より優勢だったけれども、わたしたちは信者からあなた方を守ってあげたではありませんかと。アッラーは復活の日に、あなた方（全員）の間を裁きます。アッラーは非信者（偽信者を含む）たちが、信者たちより優勢になる道を決して作りません。

142.偽信者はアッラーを欺こうとするけれど、本当はかれが、かれらを欺くのです。かれらは礼拝に立つとき、のらりくらりと立ち、人に見せるためにして、ほとんどアッラーを念じていません。143.あれやこれやと心が揺れ動いて、こちら（信者）でもなく、あちら（非信者）でもないのです。アッラーが迷わせた人には、あなた（ムハンマド）はその人のために、決して道を見いすことはできないでしょう。144.信仰する人たちよ、信者の代わりに、不信心な人を友としてはいけません。あなた方は自らに不利ではっきりとした証拠を、アッラーに差し出すことを望むのですか。145.本当に偽信者たちは、（地獄の）火のどん底に入るのです。あなたはかれらのために援助者を見いだせません。146.ただし改心して身を正し、アッラーにしっかりとつながって、アッラーのために信仰の誠を尽くす人は別として。かれらは信者たちと共にいる人です。アッラーは、やが

て信者に偉大な報奨を与えるでしょう。147.もしあなた方が感謝して信仰するなら、どうしてアッラーがあなた方に苦痛を与えるでしょうか。アッラーは報酬を与えられる方で、すべてをご存知のお方なのです。

148.◆6部◆アッラーは悪い言葉（中傷など）を声に上げても、喜びません。ただし不当な目にあった人は別として。アッラーは全聴にして全知なのです。149.あなた方が善い行ないを公にしても、隠れてしても、または（被害の）悪を許しても、アッラーはよく免じるお方であり、よく赦すお方なのです。150.アッラーとかれの使徒たちを信じず、アッラーとかれの使徒たちの間を分けようと望んで、かれらは言います。わたしたちはあるものを信じるけれど、あるものは信じませんと。またかれらはその中間に、一つの道を得ようと望むのです。151.これらの人たちが真に非信者です。われらは非信者に恥ずべき苦痛を準備しました。152.でもアッラーとその使徒たちを信じ、かれらの間の誰も差別をしない者には、わたしはやがて報奨を与えるでしょう。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

153.啓典の民は求めます。あなた（ムハンマド）がかれらに向けて天から啓典をもたらすように。確かにかれらはムーサーに、それよりも大それたことを求めて言いました。わたしたちの目の前にアッラーを見せてくれと。するとかれらの悪行のために、落雷がかれらを打ちのめしたのです。さらに多くの明らかな印が届いたあとでも、かれらは子牛を崇めました。われらはこれを赦して、ムーサーに明らかな権威を与えました。154.そしてわれらは（シナイ）山をかれらの上に高くそびえ立たせて、かれらと約束するため言いました。頭を低くしてこの門（約束の地）に入りなさいと。また安息日の戒めに背いてはいけませんと。われらは固い約束をしました。

155.するとかれらは約束を破り、アッラーの印を信じないで、権利なく預言者たちを殺し、わたしたちの心は覆われていると言うのでし

た。いいえ、（本当は）不信心のためにアッラーはかれらの心を封じたのでした。かれらはわずかな人を除いて信じていないのです。156.そしてかれらの不信心のために、またマルヤムに対する激しい中傷のために、157.（さらに）アッラーの使徒、マルヤムの息子マスィーフ・イーサーを殺したと言うために（心を封じました）。でも、かれ（イーサー）を殺したのでもなく、かれを十字架のはりつけ刑にしたのでもなく、かれらにそう見えたまででした。これに異論を唱える人は、実に疑い深いのです。かれらはそれについて知識はなく、ただ臆測するだけです。本当のところは、かれを殺さなかったのです。158.いや、アッラーはかれ（イーサー）を御元に召されたのです。アッラーは偉力大であり、英明です。

159.死ぬ前に、かれ（イーサー）をしっかり信じない啓典の民は一人もいないでしょう。復活の日、かれ（イーサー）は、かれらに対して（不利に）証言するでしょう。160.ユダヤ教徒の不正のせいで、以前は認められていた良いものを、われらはかれらに禁じました。（例えば）かれらは、アッラーの道から（人びとを）妨げ、161.禁じられた利子をとり、不正に人の財産を食い荒らしたのです。われらはかれらの中の不信心な人たちのために、厳しい苦痛を準備しました。162.ただしかれらの中、しっかりとした知識があり、あなた（ムハンマド）に啓示されたものと、あなた以前に啓示されたものを信じ、礼拝の務めを守り、定めの施しをし、アッラーと最後の日を信じる人たちには、われらは偉大な報奨を与えるのです。

163.われらはヌーフと、かれ以後の預言者たちに啓示したように、あなた（ムハンマド）に啓示しました。またイブラーヒーム、イスマーイール、イスハーク、ヤアクーブ、その諸支族、イ―サー、アイユーブ、ユーヌス、ハールーン、スライマーンにも啓示しました。そしてわれらはダーウードに詩篇（ザブール）を与えました。164.また（他にも）われらがあなた（ムハンマド）に語った使徒たちもいれば、あなたに語っていない使徒

たちもいます。そしてアッラーはムーサーに語りかけました。165.吉報をもたらし警告する使徒たちがいるのは、かれらの後、人びとがアッラーに反する議論をしないようにするためです。アッラーは偉力大で、英明なのです。

166.実はアッラーが、あなた（ムハンマド）に啓示されたものを立証するのです。またかれは自らの知識によって啓示したことを立証し、天使たちも立証します。アッラーは立証者として十分なのです。167.信仰を拒否して（人びとを）アッラーの道から妨げる人たちは、実に遠く迷い去った人です。168.アッラーは信仰を拒んで不正する人たちを決して赦さず、また（正しい）道に導きません。169.ただ地獄への道の他になく、永遠にその中に住むのです。（そうすることは）アッラーにとっては、本当にたやすいことなのです。170.人びとよ、主からの真理を伝えに使徒は、確かにあなた方のもとに来ました。だから信じなさい。あなた方のためになるのです。たとえ信じなくても、諸天と地のすべては、アッラーのものです。確かにアッラーは全知にして英明なのです。

171.啓典の民よ、信仰で行き過ぎてはいけません。またアッラーについて、真実以外を語ってはいけません。マルヤムの子マスィーフ・イーサーは、ただアッラーの使徒であり、かれからマルヤムに授けられた言葉と魂なのです。だから、アッラーとその使徒たちを信じなさい。三位（一体）などと言ってはなりません。言わないことがあなた方のためです。アッラーのみが唯一の神なのです。かれは、子の有無といったことからは、超越しています。天にあり地にあるすべてはアッラーのもので、アッラーは保護者として十分なのです。172.マスィーフも（アッラー）の側にいる天使たちも、アッラーの僕であることを決して軽んじません。またかれに仕えることを軽く見る高慢な人を、かれは一人残らずかれの御元に集めるのです。173.信仰して善行に励む人には、かれは十分な報奨を与え、さらにかれの寵愛から多くを与えるのです。でも信仰を軽く見る高慢

な人には、厳しい苦痛を与えるでしょう。かれらはアッラーの他に、どんな保護者も援助者も見いだすことはできないのです。174.人びとよ、あなた方の主から疑いのない証拠が来ました。われらはあなた方に鮮やかな光明を届けたのです。175.だからアッラーを信仰し、かれにしっかりつかまる人を、われらは自らの慈悲と寵愛の中に入れ、かれに向かうまっすぐな道へと導くのです。176.かれらは規定についてあなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。アッラーが、父母も子供もない人についての規定を与えます。男性が亡くなり、もしかれに子がなく一人の姉妹があるときは、かの女（姉妹）にかれが残した遺産の半分を、また女性が亡くなり、もし子がなければ、かれ（兄弟）がかの女から（全て）相続します。一方、二人の姉妹があれば、二人にかれが残した遺産の3分の2を、もし兄弟姉妹があれば、男性（兄弟）は女性（姉妹）の二人分の遺産を得るのです。アッラーはあなた方が間違えないように、はっきりと示します。アッラーはすべてのことをご存知なのです。

5. 食卓章

al-Ma’ida

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.信仰する人たちよ、（アッラーとの）契約を守りなさい。そしてこれから読みあげるものを除いた家畜は、あなた方に許されました。ただし巡礼衣（イフラーム）のままで狩猟は許されません。誠にアッラーは御心のままを命じられるのです。2.信仰する人たちよ、アッラーの儀礼に背いてはいけません。禁忌のある月、（犠牲の）捧げ物、（犠牲用の動物に付ける）首飾り、主の寵愛やご満悦を求めて禁忌のある家（カアバ殿）に参じた人（の安全）も犯してはいけません。でも（巡礼衣を）脱いだなら狩猟しなさい。あなた方を禁忌のあるマスジドから追い出した人たちを憎むあま

り、限度を犯してはいけません。敬虔さと篤信のために助け合い、罪と敵対行為のために助け合ってはいけません。アッラーを意識しなさい。実にアッラーは懲罰に厳しいのです。

3.あなた方に禁じられたものは、死肉、（流れ出る）血、豚肉、アッラー以外の名を唱えられ（屠畜された）もの、絞め殺されたもの、打ち殺されたもの、墜死したもの、角で突き殺されたもの、あなたが正しくとどめをささなかったもので野獣が食い残したもの、（偶像崇拝用の）供物台で犠牲にされたもの、忌まわしいことに占い矢で（屠畜された肉が）分配されたものです。今日、あなた方の教えを拒否した人たちは、（あなた方信者が棄教することを）断念しました。だからかれらを恐れないで、わたしを恐れなさい。今日、わたしはあなた方のために、あなた方の宗教を完成し、またあなた方へのわたしの恩寵を全うし、あなた方の宗教として、イスラームを選んだのです。ただし罪を犯す意図はなく、飢えに迫られ（て、違法な肉を食べ）たときは、アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。実にアッラーは、寛大にして慈悲深くあられます。

4.かれらはあなた（ムハンマド）に、何が合法なのかについて問います。言いなさい。善いものはあなた方に合法です。またアッラーが教えたように、あなた方が調教した、狩猟用の動物たちのもの（獲物）も合法です。だからその動物たちが、あなた方のために捕えたものを食べなさい。ただし（獲物には）アッラーの御名を唱え、アッラーを意識しなさい。誠にアッラーは清算に迅速です。5.今日、善いものがあなた方に合法とされました。啓典を与えられた人びとの食べ物は、あなた方（ムスリム）に合法であり、あなた方の食べ物は、かれらに合法です。また私通でもなく、隠れた愛人関係でもなく、あなた方が婚資を与えるとき、信仰する貞節な女性や、あなた方以前に啓典を与えられた人びとの中の、貞節な女性も（結婚が）合法です。誰でも、信仰を拒否する人たちの行ないは徒労となり、来世において失敗者となるのです。

6.信仰する人たちよ、あなた方が礼拝に立つときは、顔と両手を肘まで洗い、頭を拭いて、両足を踝まで洗いなさい。ただしあなた方が大汚（ジュヌバ）のときは、全身の沐浴（グスル）をしなさい。もしあなた方が病気か、旅行か、便所を使うか、または性交したとき、水を見つけられないなら、清い土に触れ（タヤンママ）、あなた方の顔と両手を軽くぬぐいなさい。アッラーはあなた方に難題を課されません。しかしあなた方を清め、あなた方へのかれの恩寵を全うすることを望まれます。あなた方は感謝するでしょう。

7.そして、わたしたちは聞き従いましたと言うときには、アッラーの恩寵と、かれがあなた方と結んだ約束を思い出しなさい。アッラーを意識しなさい。アッラーはあなた方の胸の中にあるものを知っています。8.信仰する人たちよ、アッラーに（信仰上）堅固にして、公正に証言しなさい。人びとを憎むあまり、公正さを失ってはいけません。公正であることが、（アッラーを）意識することに近いのです。アッラーを意識しなさい。アッラーは、あなた方の行なうことを熟知しておられます。9.信仰して善行に励む人たちには、アッラーは赦しと偉大な報奨を約束されました。10.でも信仰を拒否して、われらの印を偽りであるとする人たちは、地獄の火の住人なのです。11.信仰する人たちよ、あなた方へのアッラーの恩寵を思い出しなさい。人びと（マッカの異教徒）があなた方に手を上げようとしたとき、かれはその手を抑えました。だからアッラーを意識しなさい。そして信者たちをアッラーに頼らせなさい。

12.アッラーは以前、イスラーイールの子孫と約束をしました。われらはかれらの中から12人の首長を立て言いました。確かにわたしはあなた方と一緒にいるのです。もしあなた方が礼拝の務めを守り、定めの施しをなし、わたしの使徒たちを信じて援助し、アッラーに善い貸付をするなら、わたしは必ずあなた方の悪行を消去させ、川が下を流れる楽園に入れるでしょう。その後あなた方の中で信仰を拒否した人は、正しい

道から迷い去ったのです。13.かれらは約束を破ったので、われらはかれらを拒否し、かれらの心を頑なにしました。かれらは(啓典の)言葉の配置を変更(歪曲)し、教訓の一部を忘れたのです。わずかな人たちを除いて、かれらは裏切りを止めないでしょう。それでもかれらを許して見逃しなさい。誠にアッラーは善い行ないをする人を愛されます。

14.また、わたしたちはキリスト教徒です、と言う人たちとも、われらは約束を結びました。しかし、かれらも教訓の一部分を忘れてしまいました。復活の日まで、われらはかれらの間に、敵意と憎悪を引き起こしたのです。遠くないうちにアッラーは、かれらがしてきたことを本人たちに告げるでしょう。

15.啓典の民よ、われらの使徒(ムハンマド)があなた方のところへ来ました。(かれは)あなた方が啓典から多く隠してきたことを、あなた方に明らかにし、また多くのことをそのままにしました。確かにアッラーから光と明らかな啓典が、あなた方に届いたのです。16.アッラーはそれ(啓典)によって、かれのご満悦を求める人を平安の道に導き、御心のままにかれらを暗黒から光明へと連れ出し、まっすぐな道に導きます。17.アッラー、かれこそはマルヤムの子マスィーフであると言う人は、明らかに真理に反しました。言いなさい。もしかれが、マルヤムの子マスィーフや、その母(マルヤム)と地上のすべてのものを滅ぼそうとしたら、誰がアッラーにわずかでも抵抗できるでしょうか。諸天と地およびその間にあるすべてのものの大権は、アッラーに属します。かれは御心のものを創造するのです。アッラーはすべてに対して全能なのです。

18.ユダヤ教徒やキリスト教徒は言いました。わたしたちはアッラーの子であり、かれに愛される人です。言いなさい。ではなぜかれはあなた方の罪を罰するのでしょうか。いいえ、あなた方はかれが創造した人間です。かれは御心の人を赦し、御心の人を罰します。諸天と地およびその間にあるすべてのものの大権は、アッラーに属し、かれこそが最後の

帰り所なのです。19.啓典の民よ、われらの使徒（ムハンマド）があなた方のところへ来ました。使徒たち（の後継）が中断された後、かれ（ムハンマド）はあなた方に（真理を）明らかにします。これは、わたしたちには吉報の伝達者も警告者も来なかったと、あなた方に言わせないためです。そしてまさに、吉報の伝達者と警告者があなた方のところに来ました。誠にアッラーはすべてに対して全能なのです。

20.またムーサーは、自分の人びとに言いました。人びとよ、あなた方が授かったアッラーの恩寵を思い出しなさい。かれはあなた方の中から預言者たちを起こし、あなた方を王となされ、他のどの民にも与えなかったものを、あなた方に与えたのです。21.人びとよ、アッラーがあなた方のために書き記した清い土地に入りなさい。あなた方は踵を返してはいけません。そうしたらあなた方は失敗者になるでしょう。22.かれらは言いました。ムーサーよ、そこには巨大で恐ろしい民がいます。かれらがそこから出て行かない限り、決して入りたくありません。もしかれらがそこから出て行くなら、必ず入るでしょうと。23. 恐れる人たちの中で、アッラーの恵みがあった二人が（人びとに）言いました。門から入りなさい。一度入れば、必ずやあなた方は勝利するでしょう。あなた方が信者なら、アッラーに信頼を寄せなさい。24.かれら（人びと）は言いました。ムーサーよ、かれら（巨大で恐ろしい民）がそこにいる限り、わたしたちは決してそこに入りません。だからあなたとあなたの主だけで戦ってください。わたしたちはここに座っています。

25.かれ（ムーサー）は言いました。主よ、本当にわたしは自分と兄弟の他は制御できません。だから、わたしたちを不服従の民から引き離してください。26.（アッラーは）言いました。ではこの土地を40年の間かれらに禁じましょう。かれらは地上をさ迷うでしょう。だからあなた方は不服従の民のことで悲しんではいけません。

27.（ムハンマドよ）アーダムの二人の息子の物語に関する事実を、か

れらに語りなさい。二人が（犠牲の）供物を捧げたとき、一人（弟ハービール）は受け入られ、他（兄カービール）は受け入れられませんでした。（兄は）言いました。お前を必ず殺してやると。（弟は）言いました。アッラーは、ただ主を意識する人だけから、受け入れるのです。28.たとえ、あなたがわたしを殺そうと、その手を伸ばしても、わたしはあなたを殺すために、手を伸ばしません。わたしはすべての世界の主を恐れます。29.本当にわたし（弟）は、あなた（兄）がわたしの罪とあなたの罪を担って、あなたが地獄の火の住人になることを望みます。そしてこれが不正を行なう人への報いなのです。

30.それを聞いてかれの心には、その弟を殺す気持ちが高まり、かれ（弟）を殺して失敗者の一人となりました。31.アッラーは１羽の大カラスを送り、地表をひっかいて、かれの弟の死体をどのように覆うべきかを、かれ（兄）に示しました。かれは言いました。なんと情けない、わたしはこのカラスのように弟の死体を葬ることさえできないのか。こうしてかれは悔悟する人となったのです。

32.このとき以来、われらはイスラーイールの子孫のために書き記しました。人を殺し地上に腐敗を広めたという理由なく、人一人を殺す者は、全人類を殺したのに等しい、また人一人の命を救う者は、全人類の命を救ったのに等しいと。そして確かにわれらの使徒たちは、かれらに明らかな証拠を持って来ました。でもかれらの多くは、その後も地上において過剰なことをしています。33.アッラーとかれの使徒に対して戦い、地上に腐敗を広めようとする人たちの報いは、殺されるか、十字架にはりつけられるか、両手両足を互い違いに切断されるか、土地から追放されるかにほかなりません。これらはかれらにとって、現世での恥辱であり、来世において重大な苦痛があるのです。34.ただし、あなた方が取り押さえる前に悔悟した人は別です。アッラーはよく赦され、慈悲深いことを知りなさい。

35.信仰する人たちよ、アッラーを意識し、かれに近づく方法を求め、かれの道において奮闘努力しなさい。そうすればあなた方は成功するでしょう。36.本当に信仰を拒否する人は、たとえ地上にあるすべてのもの、さらにそれに等しいものを合わせて、復活の日の苦痛を償おうとしても、決して受け入れられず、激しい苦痛をこうむるのです。37.かれらは地獄の火から出ることを望むけれど、そこから出ることはできないでしょう。かれらには永久の苦痛があるのみです。38.男性の盗人も女性の盗人も、アッラーからの見せしめとして、またかれらが稼いだことへの報いとして、両手を切断しなさい。アッラーは偉力大で英明なのです。39.しかし悪を行なった後、悔悟して行ないを正す人は、アッラーがその悔悟を受け入れます。アッラーはよく赦され、慈悲深いのです。40.あなた（ムハンマド）は、諸天と地の大権が、アッラーに属することを知らないのですか。かれは御心の人を罰し、御心の人を赦します。アッラーはすべてに対して全能なのです。

41.使徒よ、不信仰を急ぐ人が、あなたの心を痛めることがあってはいけません。かれらは口で、わたしたちは信仰すると言うけれど、心では信じてはいません。またユダヤ教徒の中には虚偽に耳を傾け、あなたに会ったこともない人の言うことを、聞いてばかりいる人がいます。かれらは（啓典の）言葉の配置を変更（歪曲）し、もしこれ（歪曲された言葉）があなた方に与えられたもの（律法と同一）なら、受け入れなさい、でもあなた方に与えられたものでないなら、用心しなさいと言います。アッラーが（信仰を）試すことを望まれれば、あなた（ムハンマド）はアッラーに対して、その人のために何もできません。これらの人は、アッラーがその心を清めることを、望まない人たちです。かれらには現世において屈辱があり、来世においても重大な苦痛があるでしょう。

42.（かれらは）虚偽（の解釈）を聞き、禁じられたもの（賄賂など）をいつも大食いします。だから、もしかれらがあなた（ムハンマド）のもと

に来たなら、かれらの間を裁くか、それとも背を向けなさい。もしあなたが背を向けても、かれらは少しも、あなたを害することはできないでしょう。またもし裁くなら、かれらの間を公正に裁きなさい。アッラーは公正な人を愛されます。43.でもかれらにはアッラーの裁きを含む律法があるのに、どうしてあなた（ムハンマド）に裁きを求めるでしょうか。かれらはその（裁きの）後もなお背き去ります。（要するに）これらの人は信者ではないということなのです。

44.誠にわれらは、導きと光ある律法を啓示しました。（アッラーに）服従した預言者たちは、それによってユダヤ教徒を裁いたのです。また聖職者たちや律法学者たちも、かれらはアッラーの啓典を保存すべく信託され、それにより裁くと共に、それに対する証人でもありました。だから人間を恐れず、わたしだけを恐れなさい。わずかな代価でわたしの印を売ってはいけません。誰でもアッラーが啓示したもので裁かない人は、非信者たちなのです。45.われらはかれらのために律法の中に書きました。命には命、目には目、鼻には鼻、耳には耳、歯には歯、傷害には同害報復をと。ただしその報復を（しないで、相手への）施しとすれば、自分の罪滅ぼしになります。アッラーが啓示されたもので裁かない人は、不正を行なう人たちなのです。46.われらはかれら（預言者たち）に続いて、マルヤムの子イーサーを遣わし、かれ以前の律法を確証し、導きと光ある福音をかれに与えました。これはかれ以前の律法への確証であり、また主を意識する人への導きであり教訓です。47.だから福音の信者（キリスト教徒）には、その中でアッラーが啓示したものによって裁かせなさい。誰でもアッラーが啓示したもので裁かない人は、掟破りなのです。

48.われらは以前の啓典を確証し守護するため、あなた（ムハンマド）に真理をもって啓典（クルアーン）を啓示しました。だからアッラーが啓示されたもので、かれらの間を裁きなさい。あなたに示された真理から

離れて、かれらの妄欲に従ってはいけません。われらはあなた方各自のために、法と道を定めました。もしアッラーの御心なら、あなた方を一つの共同体にしていたことでしょう。でも（そうしなかったのは）、かれがあなた方に与えたものによって試みるためです。だから善行を競い合いなさい。あなた方は一人残らずアッラーに帰るのです。そのときかれは、あなた方が論争していたことについて告げるでしょう。

49.そしてアッラーの啓示したものでかれらの間を裁き、かれらの妄欲に従ってはいけません。アッラーがあなた（ムハンマド）に啓示した、どの部分についても惑わされないよう、かれらに用心しなさい。たとえ、かれらが背き去っても、アッラーがかれらの犯した、いくつかの罪を懲しめようとしていることを知りなさい。本当に多くの人びとは掟破りなのです。50.かれらが求めているのは、無明（ジャヒリーヤ時代）の裁きなのでしょうか。また確かな信仰心を持つ人たちにとって、アッラーに優る裁判者はおられるのでしょうか。

51.信仰する人たちよ、ユダヤ教徒やキリスト教徒を擁護者としてはなりません。かれらは互いに擁護者です。あなた方の中、誰でもかれらを擁護者とする人は、かれらと同類です。アッラーは決して不正の民を導きません。52.あなた（ムハンマド）は、心に病ある人（偽信者）が、かれら（啓典の民）の元に急ぐのを見るでしょう。かれら（偽信者）は言います。自分たちに不運が襲うのではないか恐れますと。しかしアッラーは勝利か、またはかれの御元からの命令をもたらすことでしょう。だからかれらは、自分たちが心に隠したことを後悔する人になるでしょう。53.信仰する人は言います。これらの人はあなた方（信者）と一緒にいると、確信を込めてアッラーに誓った人ではなかったのですかと。かれら（偽信者）の行ないは無益で、かれらは失敗者となったのです。

54.信仰する人たちよ、あなた方の中、かれの宗教に背き去る人がいれば、やがてアッラーはかれが愛し、かれを愛する人びとを（代わりに）

連れてくるでしょう。その人びとは信者たちには控えめで、非信者たちには揺るがず、アッラーの道において奮闘努力し、中傷者の中傷を恐れません。これはアッラーの寵愛で、かれはそれを御望みの人に与えます。アッラーは広大にして、すべてをご存知です。55.あなた方の擁護者は、アッラーとその使徒および信仰する人たちで、礼拝を守り、定めの施しをし、恭しく屈折礼をする人たちだけです。56.アッラーとその使徒と信仰する人たちを擁護者とする人は、アッラーの一党（ヒズブ・アッラー）で必ず勝利を得る人たちなのです。

57.信仰する人たちよ、先に啓典を与えられた人たちや、また信仰を拒否する人たちで、あなた方の宗教を笑い草にし、戯れごとにする人を擁護者としてはいけません。もしあなた方が信者なら、アッラーを意識しなさい。58.あなた方が礼拝を呼びかけると、かれらはそれを笑い草にし、戯れごとにします。それはかれらが理解しない人びとだからです。59.言いなさい。啓典の民よ、あなた方がわたしたちを不快に思うのは、ただわたしたちが、アッラーとわたしたちに啓示されたもの（クルアーン）と以前に啓示されたものを信じるのに、（一方で）あなた方の多くが掟破りの人たちであるからなのですか。60.言いなさい。アッラーの御元の報いとして、それ（わたしたちに啓典の民が望んでいること）よりも、（誰がもっと）悪い（ものを授かる）かについて、あなた方に伝えましょうか。それはアッラーが拒否した人、かれが怒った人、また猿や豚のようにされた人、そして邪神を崇めた人です。かれらは（来世において）最悪の境地（地獄の火）において、（この世において）正しい道から遠く迷い去った人たちなのです。

61.かれら（マディーナのユダヤ教徒）は、あなた方のところに来て、わたしたちは信仰しますと言いました。ところが、かれらは実のところ、不信心のまま入ったのであり、不信心のまま出て行ったのです。アッラーはかれらの隠すことをすべてご存知なのです。62.あなた（ムハンマド）

は、かれらの多くが罪と敵対行為に急ぎ、禁じられたもの（賄賂など）を大食するのを見るでしょう。かれらが行なってきたことの何と悪いことか。63.なぜユダヤ教の聖職者や律法学者は、かれらの罪深い言葉や、禁じられたものを大食することを禁じないのでしょうか。かれらが行なってきたことの何と悪いことか。

64.ユダヤ教徒は、アッラーの御手は縛られている（けちである）と言います。縛られたのは（けちなのは）かれらの手で、そう言ったことによって、かれらは拒否されたのです。逆に、かれの御手は広く開かれて、御心のままに与えます。でもかれらの多くは、主からあなた（ムハンマド）に啓示されたことに、反抗心と不信心を増長させます。そこでわれらは復活の日まで、かれらの間に敵意と憎悪を投げ込みました。かれらが戦火を燃やすたびに、アッラーはそれを消します。またかれらは地上において、悪を広めようと努めます。でもアッラーは腐敗をもたらす人を愛しません。

65.もし啓典の民が信仰して（アッラーを）意識するなら、われらはかれらから悪を取り除き、きっと安楽の楽園に入れるのです。66.もしかれらが律法と、福音と主からかれらに啓示されたものを遵守するなら、かれらは上からも足元からも、糧を得るでしょう。かれらの中には穏当な人たちもいるのです。でもかれらの多くは、行なうことが邪悪なのです。

67.使徒よ、主からあなた（ムハンマド）に啓示されたものを、（余すところなく）伝えなさい。そうしないなら、かれの啓示を伝えたことにはならないでしょう。アッラーは人びと（の危害）からあなた（ムハンマド）を守ります。アッラーは決して不信心の人びとを導きません。

68.言いなさい。啓典の民よ、律法と福音と主から啓示されたものを遵守するまでは、あなた方が立つ所（宗教の土台）はないのです。そしてかれらの多くは、主からあなた（ムハンマド）に啓示されたことに、反抗心と不信心を増長させます。だからあなたは不信心の人たちについて、

心を悩ましてはいけません。69.（クルアーンを）信じる人（ムスリム）、ユダヤ教徒、サ―ビア教徒、キリスト教徒で、アッラーと最後の日を信じて善行に励む者には、恐怖もなく悲哀もないでしょう。

70.われらはイスラーイールの子孫と約束を結び、使徒たちをかれらに遣わしました。かれらの心が望まないものを持って使徒が来るたびに、ある一派は（使徒を）拒否し、ある一派は（使徒を）殺しました。71.かれらは試練に会うとは考えておらず、目が見えず、耳も聞こえない（使徒を受け入れない）人になったのです。129その後アッラーはかれらを赦されました。それでもかれらの多くは目が見えず、耳も聞こえない（使徒を受け入れない）人になりました。アッラーはあなた方の行なうことをすべてお見通しです。

72.アッラーがマルヤムの子マスィーフであると言う人は、間違いなく信仰を拒否しました。一方で、マスィーフは言いました。イスラーイールの子孫よ、わたしの主でありあなた方の主であるアッラーを信仰しなさい。およそアッラーに何ものかを並置する人には、アッラーは楽園を禁じられ、その人の住まいは地獄の火です。不正を行なう人には援助者はないのです。73.アッラーは三位（一体）の3番目であると言う人は、確かに信仰を拒否したのです。唯―の神の他に神はいません。もしかれらが言うことを止めないなら、かれら非信者には必ず激しい苦痛があるでしょう。74.なぜ、かれらはアッラーに悔悟して、かれの赦しを求めようとしないのでしょうか。アッラーはよく赦され、慈悲深いのです。75.マルヤムの子マスィーフは、一人の使徒にすぎません。かれ以前にも使徒たちがいて、去っていったのです。かれの母は誠実な女性でした。そして、かれら二人とも（普通の人間と同じく）食べ物を食べていました。見なさい、いかにわれらが印をかれらに解き明かしたことか。また見なさい、いかにかれら（非信者）が思い違いをしているのか。76.言いなさい。あなた方

はアッラーの他、あなた方に害も益も与える力のないものを、信仰するのですか。アッラーは全聴にして全知なのです。

77.言いなさい。啓典の民よ、あなたの宗教において、真理に反して則を越えてはいけません。人びとの妄欲に従ってはいけません。先に迷い去った人たちは、多くを迷わせ、（自らも）正しい道から迷った人たちなのです。

78.イスラーイールの子孫の中で不信心な人（一部の啓典の民）は、ダーウードやマルヤムの子イーサーの舌（言葉）で拒否されました。なぜなら、かれらは不服従で、掟破りの人たちばかりであるからです。79.かれらはその行なった悪事を互いに禁じませんでした。かれらの行なったことの何と悪いことか。80.見なさい、かれらの多くは非信者（多神教徒）を擁護者にしています。かれら自身がしてきたことの何と悪いことか。アッラーは怒り、かれらは苦痛の中に永遠に住むのです。81.もしかれらが、アッラーと預言者（ムハンマド）とかれらに啓示されたものを信じたなら、かれら（多神教徒）を擁護者にはしなかったでしょう。しかしかれらの多くは掟破りの人たちなのです。

82.◆7部◆あなた（ムハンマド）は、信仰する人たちに最も敵意を持つ人は、ユダヤ教徒と多神教徒であることを知るでしょう。そしてあなた（ムハンマド）は、信仰する人たちに最も親近感を抱く人が、キリスト教徒であることを知るでしょう。これはかれらの間に学識者と禁欲者がいて、高慢でないためです。83.あなた（ムハンマド）は、かれら（キリスト教徒）が使徒に啓示されたものを聞くとき、自分が認めた真理のために、目が涙でいっぱいに溢れるのを見るでしょう。かれらは言います。主よ、わたしたちは信仰します。だからわたしたちを、（イスラームの信仰を）誓約する者と共に書き留めてください。84.わたしたちはアッラーと自分たちに届いた真理を、どうして信じないでいられるでしょうか。わたしたちは主が、自分たちを敬虔な人たちの中に入れてくれるよう望みま

す。85.このようにかれら（キリスト教徒）が言ったことに対して、アッラーは川が下を流れる楽園で報い、かれらは永遠にそこに住むのです。それは善行をなす人への報いです。86.しかし信仰せず、われらの印を拒否した人は、地獄の火の住人なのです。

87.信仰する人たちよ、アッラーがあなた方に許される善いものを禁じてはいけません。そして度を越してはいけません。誠にアッラーは、度を超す人を好まれません。88.アッラーがあなた方に与えた合法（ハラール）で善いものを食べなさい。あなた方が信仰するアッラーを意識しなさい。89.アッラーはあなた方の誓いにおける不用意な言葉を、責めることはありません。でもあなた方が交わした（拘束力ある）誓約は別です。その償いは、あなた方の家族を養う普通の食事で10名の貧者に食べさせるか、衣類を与えるか、奴隷1名を解放することです。それができない人は三日間の斎戒（断食）をしなさい。これはあなた方の誓い（を破ったこと）への償いです。だから自分の誓いを守りなさい。このようにアッラーは、あなた方が感謝するように、（さまざまな）印を明らかにするのです。

90.信仰する人たちよ、誠に酔わせるもの（酒）と賭け事、偶像や占い矢は不浄な悪魔の行為です。だからそれを避けなさい。そうすればあなた方は成功するでしょう。91.悪魔は酒と賭け事を通じて、あなた方の間に敵意と憎悪を引き起こすことを望んでいるだけです。そして（悪魔は）アッラーを唱念することや礼拝から、あなた方を妨げるだけです。それでもあなた方は、（酒や賭け事などを）止めないのですか。92.アッラーに従い、そして使徒に従って（悪魔に）用心しなさい。たとえあなた方が背き去っても、われらの使徒（の責務）は、はっきりと（啓示を）伝えることだけだと知りなさい。93.信仰して善行に励む人が、（すでに）食べたものについて罪を問われることはありません。（とにかくアッラーを）意識し信仰して善行に励み、それから（アッラーを）意識して信仰し、さらに

（アッラーを）意識して善い行動を取る限りは。アッラーは善行者を愛されます。

94.信仰する人たちよ、アッラーはあなた方の手または槍による狩りを通じて、必ずあなた方を試みます。それは見ることのできないかれを恐れる人が、誰であるかを、アッラーが知るためです。その後に掟を破る人は、厳しい苦痛を受けるでしょう。95.信仰する人たちよ、巡礼衣（イフラーム）のままで、狩猟してはいけません。誰でも意図的にそれ（鳥獣）を殺した人は、あなた方の中の公正な２名が、その殺したものと等価と判定した家畜が償いで、（その家畜は）犠牲用にカアバ殿へと運ばれます。もしくは償いとして貧者に食べさせるか、それに相当する斎戒（断食）をすることです。こうすることで、かれは自らの行ないに責任を感じるでしょう。アッラーは過去のことは赦しました。でも（掟破りを）繰り返す人にアッラーは応報します。アッラーは偉力大で、応報の主なのです。

96.海のものを捕まえて食べることは、あなた方にも旅人にも許されました。しかし巡礼衣のまま陸上で狩猟をすることは禁じられました。アッラーを意識しなさい。あなた方はかれの御元に集められるのです。97.アッラーは、禁忌のある家であるカアバ殿を人びとの拠り所として、禁忌のある月、（犠牲の）捧げ物、（犠牲用の動物に付ける）首飾りを作りました。これはアッラーが諸天にあるものと地にあるものを把握し、アッラーがすべてのことをご存知であることをあなた方が知るためです。98.アッラーは懲罰に激しく、アッラーはよく赦され、慈悲深いことを知りなさい。99.あなたに課されたことは（啓示を）伝えることだけです。アッラーは、あなた方が現すことも隠すことも知っています。100.言いなさい。どれだけ悪があなたを魅了しても、悪と善は同じにはなりません。だから思慮ある人よ、アッラーを意識しなさい。あなた方は成功するでしょう。

101.信仰する人たちよ、あなた方に明らかにされたことを、問い正し

てはいけません。（逆に）あなた方を悩ますかもしれません。一方、クルアーンが啓示されているときにそれを問えば、あなた方に明らかにされるでしょう。アッラーはそれを赦しました。アッラーはよく赦すお方、慈悲深いお方です。102.あなた方以前の人びとも、問い正しました。そしてそのことのために、かれらは非信者となったのです。103.アッラーはバヒーラやサーイバ、またワスィーラやハーミーを（偶像への捧げ物として）作ったのではなく、非信者がアッラーに対して虚構したものです。かれらの多くは理性を使いません。104.アッラーが啓示したものに来なさい、とかれらに向かって言えば、わたしたちには、先祖が伝えたもので十分です、とかれらは言います。かれらの先祖は何も知らず、導かれなかったではないですか。105.信仰する人たちよ、あなた方（を守る責任）は自分自身にあるのです。あなた方が導かれていれば、誰もあなた方を害することはできません。ひとり残らずあなた方は、アッラーに帰るのです。そのときかれはあなた方がしてきたことを知らせるでしょう。

106.信仰する人たちよ、あなた方の一人に死が近付いたときは、あなた方の間で証言を取りなさい。遺贈のときは、公正な二人の証人をあなた方の中から立てなさい。もしあなた方が旅していて死の不幸があなた方に降りかかったなら、あなた方以外から二人（の証人）を立てなさい。信用できないときは、礼拝の後に引き止めて、アッラーにかけてかれらに誓わせなさい。わたしたちは近親であっても、どんな対価でも（証言を）売らず、アッラー（にかけて誓った）証言を隠しませんと。（もしそうしたら）本当にわたしたちは罪深い人なのです。107.もし二人の証人に偽証の罪が発覚したら、相続権者で（死者に）縁の最も近い人たちの中から、かれらに代わる別の二人を証人として立て、アッラーにかけて誓わせなさい。（そのときに言うのは）誠にわたしたちの証言は、以前の二人の証言よりも真実です。わたしたちは掟を破ったことはありません。さもなければ、本当にわたしたちは不正な者です。108.こうすることで、か

れらは真実の形で証言する可能性が高くなり、あるいはまたは、かれらの誓約の後で、誓約がくつがえされることを恐れるようになるでしょう。アッラーを意識し、聞きなさい。アッラーは掟破り（な者）を導きません。

109.アッラーが使徒たちを召集する日、かれは言います。（教化の結果）あなた方はどのような反応を（人びとから）得たのかと。かれらは言いました。わたしたちには知識がなく、あなたこそが見えないことも（すべて）ご存知です。110.アッラーがこう言いました。マルヤムの子イーサーよ、あなたとあなたの母に与えたわたしの恩寵を思い起こしなさい。わたしがあなたを清魂によって強めたので、あなたはゆりかごの中でも成人してからも、人びとに語りかけることができました。またわたしが啓典と英知と律法と福音をあなたに教えました。またわたしの許しの下、あなたが泥から鳥のような形を作り、わたしの許しの下、これに息を吹いて鳥となりました。またわたしの許しの下、あなたは生まれつきの盲人と癩患者を治しました。またわたしの許しの下、あなたは死者を甦らせました。またわたしは、あなたに対するイスラーイールの子孫（の害）を抑えました。そしてあなた（イーサー）が、かれらに明らかな証拠をもって行くと、かれらの中の不信心な人は、これはただの魔術に他なりませんと言いました。

111.そのときわたしは（イーサーの）弟子たちに、わたしとわたしの使徒（イーサー）を信じるように啓示しました。するとかれらは言ったのです。わたしたちは信じます。わたしたちは、ムスリム（アッラーに従う人）であることを証言しますと。112.弟子たちがこう言いました。マルヤムの子イーサーよ、あなたの主は、天からわたしたちに立派な食卓（晩餐）をもたらすことできますかと。かれ（イーサー）は言いました。もしあなた方が信者なら、アッラーを意識しなさい。113.かれらは言いました。わたしたちはそれ（立派な食卓）から食べて、自分たちの心を安らげたいのです。またあなた（イーサー）がわたしたちに確かな真実を語った

ことを知り、その証人になるためでもあります。114.マルヤムの子イーサーは言いました。アッラー、わたしたちの主よ、わたしたちのために立派な食卓を天からもたらし、わたしたちの最初の人から最後の人までの祝宴とし、あなたからの印としてください。わたしたちに授けてください。本当にあなたは最善の授与者です。115.アッラーは言いました。確かにわたしは、それをあなた方にもたらすでしょう。その後にあなた方の中で不信心となる人には、これまで世界の誰にも加えなかった苦痛をもってわたしは罰します。

116.アッラーはこうも言いました。マルヤムの子イーサーよ、あなたはアッラーの他に、わたし（イーサー）とわたしの母（マルヤム）とを2神としなさい、と人びとに伝えたのですか。かれ（イーサー）は言いました。あなたに栄光あれ。わたしは自分に権利のないことを言うはずがありません。もしわたしがそう言ったなら、もちろんあなたはご承知のはずです。あなたはわたし自身の中をご存知ですが、わたしはあなたの御心を知りません。あなたこそが見えないことも（すべて）知っておられるのです。117.わたしの主であり、あなた方の主であるアッラーを信仰しなさい、とあなたが命じられた以外は、わたしはかれらに伝えませんでした。そしてわたしがかれらと共にいた間は、わたしはかれらの証人でした。あなたがわたしを（天に）召した後は、あなたがかれらの監視者であり、あなたはすべてのことの立証者であります。118.たとえあなたがかれらに苦痛を与えても、かれらは実にあなたの僕です。またあなたがかれらを赦すなら、あなたは誠に偉力大かつ英明です。

119.アッラーは言いました。この（審判の）日は、正直者が正直ゆえに得をする日です。かれらには川が下を流れる楽園があり、永遠にその中に住むのです。アッラーはかれらに満悦し、かれらもまた、かれに喜悦します。これこそが大勝利なのです。120.諸天と地およびその間にある

すべてのものの大権は、アッラーに属します。かれはすべてに対して全能なのです。

6. 家畜章

al-'An'am

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.　諸天と地を創り、暗黒と光明をもたらすアッラーに、すべての称賛を捧げます。一方、かれら（マッカの異教徒）の主を信じない人たちは、かれに同位を並置します。2.かれは泥からあなた方を創った方で、さらにかれは（人生の）期間と（復活の日までの）期間を決めました。でもあなた方は疑っています。3.諸天においても地上においても、かれはアッラーです。かれはあなた方の隠すことも、現すことも知っています。またかれはあなた方が行なうことを知っています。4.（しかし）かれらは主から印がもたらされるたびに、それから背を向けてしまいます。5.それがもたらされると、かれらは真理を虚偽であるとしました。そこでかれらが笑い草にしていた知らせは、（いずれ）かれらに（返って）来るのです。6.われらが、多くの世代をかれら（マッカの異教徒）以前に滅ぼしてきたことを、かれらは見ていないのでしょうか。われらは地上でかれら（多くの世代）を、あなた方以上にしっかり定住させたものです。われらはかれらの空に雲を送り、雨を降らせ、かれらの下に川を流れさせました。しかし自らの罪のためにかれらを滅ぼし、その後別の世代を育てたのです。

7.たとえわれらがあなたに羊皮紙の書板を啓示し、かれら（マッカの異教徒）が自分の手でそれに触れたとしても、これはただの魔術だと不信心な人たちは言うのです。8.またかれらは言います。なぜ天使がかれに遣わされないのですかと。もしわれらが天使を遣わしたなら、物事はすぐに決着して、かれらはまったく猶予されなかったでしょう。9.たとえわ

れらがかれ（使徒）を天使にしても、かれには人の姿をさせるので、かれらをますます惑わせるだけでしょう。10.あなた（ムハンマド）以前の使徒たちも、確かに笑い草にされました。でも笑い草にしていた人たちは、笑い草にしていたことに取り囲まれ（処罰され）るのです。11.言いなさい。地上を旅して、真理を拒否した人がどのような最後を遂げたのかを見なさい。

12.言いなさい。諸天と地にあるすべてのものは、誰のものなのか。言いなさい。アッラーのものですと。かれは慈悲を（務めとして）自らに書き記しました。審判の日に、かれはあなた方を召集されます。それに疑いの余地はありません。でも自分自身を欺いた人たちは、信じないでしょう。13.夜であれ昼であれ、安住するすべては、かれのものです。かれは全聴にして全知なのです。14.言いなさい。アッラーの他に、わたしは擁護者を持つでしょうか。（アッラーは）諸天と地の創造者であり養うお方で、誰からも養われません。言いなさい。わたしは（アッラーに）従う人の先駆けとなり、多神教徒となってはならないと命じられました。15.言いなさい。もしわたしの主に背くなら、わたしはとてつもない（最後の）日の苦痛を恐れます。16.その日、誰でもそれ（苦痛）を免れる人は、かれが慈悲を与えたのです。それは明らかな勝利なのです。

17.もしアッラーがあなたを災厄で触れれば、かれの他にこれを取り除く者はいません。もしかれがあなたを善で触れれば、本当にかれはすべてに対して全能なのです。18.かれはその僕たちの上にいる圧倒的な支配者であり、かれは英明にして全知です。19.言いなさい。立証において最も重要なことは何かと。言いなさい。アッラーが、わたし（ムハンマド）とあなた方との間で実証なされるということです。このクルアーンがわたしに啓示されたのは、あなた方、そして届く限りの人びとに、それ（クルアーン）によって警告するためです。あなた方は、アッラーに他の神がいることを本当に立証できるのですか。言いなさい。わたしは立証

できませんと。言いなさい。本当にかれは唯一の神です。わたし（ムハンマド）は、あなた方が並置するものとは無関係です。

20.われらが啓典を与えた人たちは、自分の子を認めるようにそれを認めます。自分自身を見失った人は信じないのです。21.アッラーに対して嘘を作り上げ、またはかれの印を拒否する以上の不正をする人がいるでしょうか。実に不正をする人は成功しないのです。22.われらがかれらを一人残らず召集する日、われらはアッラーに他の神を並置していた人たちに言うでしょう。あなた方が主張してきた多神は、どこにいるのですか。23.そのときかれらは、こう言う他に言い訳はないでしょう。わたしたちの主、アッラーにかけて誓います。わたしたちは他の神を並置した者ではありません。24.いかにかれらは自らに嘘をついたか、またいかにかれらの虚構したものが、自らを迷わせたのかを見なさい。

25.かれらの中には、あなた（ムハンマド）に耳を傾ける人もいます。しかしわれらは、かれらの心に覆いを被せ、耳に重荷を入れた（鈍くした）ので、かれらはそれ（クルアーン）を理解しません。だから（いずれにしても）あらゆる印を目にしても、かれらはそれを信じません。そしてついにかれらがあなたのところへやって来て、議論するときには、不信心の人たちは言います。これは昔の物語にすぎないと。26.かれらは（他の人を）それ（クルアーン）から遠ざけ、また自分たちもそれを避けるのです。かれらは自分自身を傷つけるだけで、かれらはそれに気付いていないのです。27.あなたは、かれらが地獄の火の上に立たされる姿を見るでしょう。そのとき、かれらは言います。ああ、わたしたちがもし送り帰されるなら、わたしたちの主の印を嘘呼ばわりせず、信者となっていたことでしょう。28.いいえ、かれらが今まで隠してきたものが、自分たちの前に明らかにされるだけです。かれらがたとえ送り帰されるとしても、かれらは禁じられたことを繰り返すでしょう。かれらは本当に嘘つきです。

29.かれらは言います。この世の生活があるだけで、復活することは

ありませんと。30.あなたは、かれらが自らの主と向かい合って、立たされるのを見るでしょう。かれは言います。これは真理ではないか。かれらは言います。はい、わたしたちの主にかけて。かれは言います。あなた方は信仰を拒否してきたので、苦痛を味わいなさい。

31.アッラーとの面会を嘘であるとする人こそ、失敗者です。その（最後の日の）時が突然来ると、かれらは言います。ああ、わたしたちはそのこと（面会）に注意を払いませんでしたと。かれらは自らの背に重荷を負うでしょう。かれらが負うものの何と悪いことか。32.現世の生活は、遊びや戯れにすぎません。しかし（アッラーを）意識する人には、来世の住まいが最善です。あなた方は理解しないのですか。

33.われらはかれらの言葉が、あなた（ムハンマド）を悲しませることを知っています。かれらはあなたを嘘つき呼ばわりしているのではなく、不正な者たちはアッラーの印を拒否しているのです。34.あなた以前にも、使徒たちは嘘つき呼ばわりされました。でも、われらの救助が来るまで、かれらは否定され、迫害を受けることを耐え忍んだのです。誰もアッラーの言葉を変えることはできません。確かに使徒たちの知らせは、あなたに届きました。35.もしかれらの反抗が、あなた（ムハンマド）にとって耐え難いものであるなら、地下にトンネルを掘り、または空に梯子をかけ（たような遠い場所から）、かれらに印を示しなさい。アッラーの御心なら、導きの上にかれらを集められることでしょう。だからあなた（ムハンマド）は、無知の人の仲間になってはいけません。36.耳を傾ける人だけが応えるでしょう。（一方）死人たちは、アッラーがかれらを甦らせ、それからかれの元に戻されるのです。

37.かれらは言います。なぜ、かれ（ムハンマド）の主から印が啓示されないのでしょうか。言いなさい。もちろんアッラーは印を啓示することができるのだが、かれらの多くが理解しないだけです。38.地上の動物も双翼で飛ぶ鳥も、あなた方のような共同体でないものはありません。行

状記録の中でわれらが見落としたものは、なにひとつありません。かれらの主の元に、かれらは召されるのです。39.われらの印を拒否する人は、暗黒の中で耳が聞こえない人であり、口がきけない人です。アッラーは御心の人を迷うに任せ、御心の人をまっすぐな道に導かれるのです。

40.言いなさい。あなた方は考えてみなさい。もしあなた方が正直であるなら、アッラーの懲罰や（最後の日の）時があなた方に来るとき、アッラー以外の者を呼ぶでしょうか。41.いいえ、あなた方はかれだけを呼ぶのです。もしかれの御心なら、あなた方がかれを呼んだ原因（懲罰や苦痛など）を取り除くでしょう。そしてあなた方は、（アッラーに）同位として配置していたものを忘れるのです。

42.われらはあなた以前の諸民族にも（使徒たちを）遣わし、謙虚になるよう不幸と苦難で人びとを捕えました。43.でもなぜ、われらの災厄がもたらされたとき、かれらは謙虚でなかったのでしょうか。かれらの心は頑固になり、悪魔はかれらに自分たちの行なってきたことを、立派であると思わせました。44.それでかれらが諭された原因を忘れたとき、われらはすべての（恵みの）扉を、かれらのために開きました。そしてかれらが与えられたものを楽しんでいたとき、われらが突然かれらを捕えると、かれらは茫然となりました。45.このように不正を行なった民の子孫は絶えてしまったのです。すべての世界の主であるアッラーにこそ、すべての称賛あれ。

46.（ムハンマドよ）言いなさい。もしアッラーがあなた方の視覚や聴覚を奪い、心を封じたなら、アッラーの他にどの神があなた方にそれを戻すのか考えてみなさいと。われらがいかに印を説くかを見なさい。それでもかれらは背き去るのです。47.言いなさい。アッラーの懲罰があなた方を突然、またはあからさまに襲うなら、不正の民の他に、誰が滅ぼされるのかを考えてみなさいと。48.われらは吉報の伝達者か警告者としてしか、使徒を遣わしません。そして信仰して善行に努める人には、

恐怖もなく悲哀もないでしょう。49.でもわれらの印を嘘であるとした人は、服従しないことに対する苦痛を味わうことになるのです。50.言いなさい。わたし（ムハンマド）はアッラーの宝物を持っているとは、あなた方に言いません。また、わたしは見えない世界については知りません。さらに、わたしは天使ではありません。わたしは自分に啓示されたことに、ただ従うだけです。言いなさい。目が見えない人と見える人は、同じでしょうか。あなた方はよく考えないのですか。

51.（ムハンマドよ）かれらの主に召されることを恐れる人たちに、それ（クルアーン）によって警告しなさい。かれの他にかれらを擁護する者も、執り成す者もいません。かれらは（アッラーを）意識するでしょう。52.かれのご尊顔を求めて、朝な夕なにかれを呼ぶ人を追放してはいけません。かれらの清算はあなた（ムハンマド）の責任ではなく、あなたの清算はかれらの責任ではありません。それでもかれらを追放するなら、あなたは不正をする人となるのです。53.このようにわれらは、かれらのある人たちを他の人たちで試みました。そしてかれら（非信者）はこう言います。わたしたちの中で、アッラーが恩恵を与えた人びとは、このような（身分の低い）人びとなのですかと。アッラーは感謝する人を、最もよく知る方ではないのでしょうか。

54.われらの印を信じる人があなた（ムハンマド）のところに来たなら、言いなさい。あなた方に平安あれ。あなた方の主は、慈悲を（務めとして）自らに書き記しました。あなた方の中、無知のため悪行を行なった人も、改心して身を正すなら、誠にかれはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。55.このようにわれらは、罪深い人の道を明らかにするため印を説明するのです。

56.言いなさい。わたし（ムハンマド）は、あなた方がアッラー以外に呼んでいるものを信仰することを、禁じられました。言いなさい。わたしはあなた方の妄欲に従いません。そうすれば、わたしは迷い去り、導か

れた人とはなりません。57.言いなさい。わたしは主からの明証の上にありますが、あなた方はそれを嘘であるとしました。あなた方が急ぐこと（裁き）は、わたしにできることではありません。裁きはアッラーだけにあるのです。かれは真理を説く、至高の裁決者なのです。58.言いなさい。もしあなた方の急ぐこと（裁き）がわたしの手にあるなら、わたしとあなた方との間だけで、物事は決定されるでしょう。しかしアッラーは、不正を行なう人を最もよく知っています。59.目に見えない世界の鍵はかれの元にあり、かれの他に誰もこれらを知りません。かれは陸の中と海の中にあるすべてのものを知っています。かれが知らないままに一枚の木の葉が落ちることはなく、大地の暗闇の中にある一粒の穀物でも、生きているのか、枯れているのか、明らかな記録の中に留められていないものはないのです。

60.かれは夜あなた方の魂を召され、あなた方が昼間行なったことをご存知です。またかれは、昼間あなた方を目覚めさせ、定められた（人生の）期間を完了させます。それからかれにあなた方は帰るのです。そのときかれは、あなた方が行なってきたことを（すべて）あなた方に知らせるでしょう。61.かれは自らの僕たちの上に権能をもつお方で、あなた方に記録者（天使）たちを遣わします。あなた方に死が訪れるとき、われらの遣わした者（天使）たちは、それ（魂）を取り上げます。かれら（天使）は決して間違いません。62.それからかれらは、真の擁護者であるアッラーに帰ります。かれに裁決（の権能）は属し、かれは清算に最も迅速なお方です。

63.言いなさい。陸と海の暗闇から、あなた方を救うのは誰ですか。あなた方は、謙虚に心の中でかれを呼ぶのです。もしかれがそこ（暗闇）からわたしたちを救うなら、わたしたちは感謝するでしょうと。64.言いなさい。アッラーがそこ（暗闇）から、またすべての苦悩から、あなた方を救い出しますと。しかしあなた方は、多神を信仰するのです。65.言いな

さい。かれはあなた方の頭上からも足下からも、苦痛を与えることができます。またあなた方を分派させて混乱させ、互いに暴力を振るわせることもできます。（そこで）われらがいかに印を示すかを見なさい。そうすれば、かれらは理解するでしょう。66.ところが、あなた（ムハンマド）の民は、それが真理であるのに、虚偽であるとしました。言いなさい。わたし（ムハンマド）は、あなた方の保護者ではありません。67.それぞれの知らせ（啓示による警告）には、（その実施まで一定の）期限があります。間もなくあなた方はそれを知るでしょう。

68.われらの啓示について、悪口をたたく人を見たときは、かれらが他の話題に変えるまで、遠ざかりなさい。たとえ悪魔があなたに忘れさせても、気付いた後は、不正の民と同席してはなりません。69.（アッラーを）意識する人たちの責務は、かれら（不正の民）を清算することではなく、諭すことにあります。いずれ、かれらも（アッラーを）意識するでしょう。70.自分自身の宗教を遊びや戯れとする人たちと、現世の生活に欺かれている人たちは、放っておきなさい。そしてそれ（クルアーン）によって、自分がしたことで自らを破滅に陥れることを諭しなさい。アッラーの他に、かれらを擁護する者も、執り成す者もいないのです。たとえいかなる償いをしても、受け入れられないでしょう。（こうして）これらの人びとは、自分の行なったことによって破滅するのであり、信仰を拒否してきたので、かれらには煮えたぎった飲みものと、厳しい苦痛があるのです。

71.言いなさい。わたしたちはアッラーの他に、自らに益もなく害もないものを呼ぶでしょうか。アッラーがわたしたちを導いた後、地上で悪魔にそそのかされて道に迷う人のように、わたしたちは踵を返すでしょうか。（一方）かれには、わたしたちの元に来なさいと、正しい導きに招く仲間たちがいます。言いなさい。アッラーの導きこそ、真の導きです。わたしたちは、すべての世界の主に服従するように命じられました。72.また礼拝の務めを守り、かれを意識しなさい。あなた方はかれの御元に集めら

れるのです。73.またかれこそは真理をもって、諸天と地を創造なされた方です。その（創造の）日は、かれが有れと言えば有るのです。かれの言葉は真理です。（そして最後の日）ラッパが吹かれる日、大権はかれに属します。かれは目に見えない世界も目に見える世界も、すべてご存知です。あなた方はかれの御元に集められるのです。かれは英明かつ全知です。74.イブラーヒームがその父アーザルに言ったときのこと（を思い出しなさい）。あなたは偶像を神々とするのでしょうか。あなたとあなたの民は、明らかに誤っています。

75.このように、われらはイブラーヒームを、確固たる信者の一人とするため、かれに諸天と地の王国を示しました。76.夜がかれ（イブラーヒーム）を覆ったとき、かれは一つの星を見ました。かれは言いました。これがわたしの主です。でも、星が沈むと、かれは言いました。わたしは沈むものを好みません。77.かれは月が出るのを見て言いました。これがわたしの主です。でもそれが沈むと、かれは言いました。わたしの主が自分を導かなかったら、わたしは迷える民の仲間になったでしょう。78.かれは太陽が昇るのを見て言いました。これがわたしの主です。これはさらに偉大です。でもそれが沈むと、かれ（イブラーヒーム）は言いました。わたしの民よ、わたしは、あなた方が（アッラーに）同位に配置していたものと関係ありません。79.わたしは諸天と地を創ったお方に、純正な信者としてわたしの顔を向けます。わたしは多神教徒の仲間ではないのです。　80.でもかれ（イブラーヒーム）の民は反論しました。かれは言いました。あなた方はアッラーについて、わたしと議論するのですか。かれは確かにわたしを導きました。わたしはあなた方が、かれに同位に配置するものを恐れません。わたしの主の御心でない限りは（何も起こりません）。わたしの主はすべてを（アッラーの）知識の中に内包なされます。あなた方は留意しないのですか。81.わたしがどうして、あなた方が同位として配置するものを恐れるでしょうか。一方あなた方は、かれが

何の権能を授けていないものを、アッラーと同位に並置することを恐れません。もしあなた方がわかるなら、両派（一神教と多神教）のどちらがより平安に値するか、教えてください。82.信仰して自らの信心に不正（多神教信仰）を混ぜない人たち、かれらは平安であり、正しく導かれた人たちです。83.これがイブラーヒームに与えた、かれの民に対するわれらの議論です。われらは御心のままに、人の位階を高めます。あなた（ムハンマド）の主は、英明にして全知なのです。84.われらはかれ（イブラーヒーム）に、イスハークとヤアクーブを授けて、ひとり残らず導きました。以前にヌーフも導きました。かれ（イブラーヒーム）の子孫であるダーウード、スライマーン、アイユーブ、ユースフ、ムーサー、そしてハールーンも（導きました）。われらは、善行をする人たちに報います。

85.ザカリーヤー、ヤヒヤー、イーサー、イルヤースも皆、正しい者でした。86.またイスマーイール、アルヤサア、ユーヌス、ルートには皆、われらはどの民族よりも寵愛を与えました。87.そしてかれらの先祖と子孫と兄弟の中から、われらはかれらを選び、われらはかれらを導きました。88.これはアッラーの導きであり、かれはその導きによってかれの僕の中から、御心の人たちを導かれます。しかしかれらが（アッラーに多神を）同位に配置するなら、かれらがしてきたことは、すべて無駄となるでしょう。89.これらの人はわれらが、啓典と英知と預言を与えた人です。でもかれらがそれ（預言）を信じないなら、われらはそれを拒否しない人たちに任せたでしょう。90.これらの者（預言者たち）はアッラーが導いた人たちなので、かれらの導きに従いなさい。言いなさい。わたし（イブラーヒーム）はこの（導きの）ために、どんな報酬もあなた方に求めません。まさしくこれは、全人類への教訓なのです。91.かれら（ユダヤ教徒）が、アッラーは人間に何も啓示してこなかったと言ったとき、かれらはアッラーの本当の力を把握しきれていなかったのです。言いなさい。誰が人間に対する光明と導きとして、啓典をムーサーにもたらしたのです

か。あなた方はそれ（啓典）を何枚もの羊皮紙に書いて（部分的に）示すけれど、大部分を隠します。あなた方は、自分たちとその先祖が知らなかったことを教えられたのです。言いなさい。（それは）アッラー（から教えられたの）です。だからかれらを、戯れのむだ話に放っておきなさい。

92.これ（クルアーン）は、われらが啓示した祝福された啓典です。以前手元に来たものを確証し、あなた（ムハンマド）が諸都市の母（マッカ）と、その周辺に警告するためです。来世を信じる人は、それ（クルアーン）を信じ、かれらの礼拝を守ります。93.アッラーについて嘘を作り上げる以上に、不正を行なう人がいるでしょうか。または何も啓示を受けていないのに、わたしに啓示されたと言う人、あるいは、アッラーが啓示したものと同様なものを、わたしは啓示すると言う人（以上に不正を行なう人がいるでしょうか）。あなた（ムハンマド）は不正を行なう人が死の苦痛の中にあるとき、天使たちが手を伸ばして（言うのを）見るでしょう。あなた方の魂を渡しなさい。あなた方は今日、不名誉な苦痛をもって報われるのです。なぜならアッラーについて真実ではないことを語り、かれの印に対して高慢であったからですと。

94.そしてわれらが最初にあなた方を創ったように、あなた方は一人でわれらのところに戻ってきました。われらがあなた方に与えたものをすべて背後（現世）に残して。われらはあなた方が、（アッラーと）同位にしてきた執り成す者たちをそばに見ることはありません。あなた方の間の絆は完全に断たれ、（絆があると）主張していたものは、あなた方から迷い去ったのです。95.種子やナツメヤシの核を裂き開くのは、実にアッラーなのです。かれは死から生をもたらし、また生から死をもたらします。それがアッラーなのです。それなのにどうして、あなた方は（事実から）背き去るのでしょうか。

96.かれは夜明けを裂き開くお方であり、休息のために夜を定め、太陽と月を計測のために作りました。それが、偉力大かつ全知であるお

方の摂理です。97.かれこそは、あなた方のためにたくさんの星を作ったお方で、あなた方はそれによって、陸と海の暗黒の中でも自らを導くことができるのです。われらは知識ある人びとに、印を明らかにしました。98.かれこそは、一人の者(アーダム)からあなた方を創られたお方で、(生きる)安住の場所と(死後の)泊り所を与えました。われらは理解する人びとに、印を明らかにしました。

99.かれこそは、空から雨を降らすお方で、われらはそれ(雨)をもってすべての植生をもたらし、緑の植物を発生させ、豊穣な穀物群を実らせます。またナツメヤシには垂れ下がった房があり、ブドウ、オリーブ、ザクロなどの、似たり異なったりする果樹園をもたらします。その果実が実を結び、成熟するのを見なさい。その中にこそ、真に信仰する人たちへの印があるのです。100.かれら(多神教徒)はジン(幽精)たちを、アッラーと同位に置きます。でもかれがかれら(ジン)を創ったのです。またかれらは知識もなく、不当にもかれに息子や娘があるとします。かれに称賛あれ。かれはかれらが同位にするものの上に、高くあるのです。101.(アッラーは)諸天と地の創始者です。かれには配偶者もないのに、かれにどうして子があるでしょうか。かれはすべてを創りました。アッラーは、すべてのことをご存知なのです。102.それがアッラーであり、あなた方の主です。かれの他に神はいません。すべての創造者です。だからかれに従いなさい。かれはすべてのことを管理なされるのです。103.視覚はかれを捉えることはできません。でもかれが視覚を捉えるのです。そしてかれはすべてについて明敏であり、すべてにお気づきなのです。104.正に明証が、あなた方の主から来たのです。だからそれを見る人は自分のためになり、見ない人は自分のためにならないのです。わたし(ムハンマド)はあなた方の見張りではありません。105.われらがこのように印を説明するのは、かれら(多神教徒)はあなた(ムハンマド)が

（啓典の民からクルアーンを）学んだと言うかもしれないけれど、（いずれにしても）知識ある人びとにそれ（印）を明らかにするためです。

106.主からあなた（ムハンマド）に啓示されたものに従いなさい。かれの他に神はいません。だから多神教徒から遠ざかりなさい。107.もしアッラーの御心であれば、かれらは、かれに同位を配しなかったでしょう。われらはあなた（ムハンマド）をかれらの見張りとしていません。またあなたは、かれらの保護者でもありません。108.あなた方（信者）は、かれら（多神教徒）がアッラーの他に呼ぶものを悪く言ってはいけません。さもないと、かれらは知識もなく、敵意をもってアッラーを悪く言うからです。このようにわれらは、それぞれの共同体に自分の行ないを、うわべだけ立派だと思わせたのです。やがてかれら（多神教徒）の主に、かれらは帰るのです。そのときかれは、自分のしてきたことをかれらに知らせるでしょう。109.かれらはアッラーにかけて固く誓いました。もしかれらに印が来たなら、必ずそれを信仰するでしょうと。言いなさい。誠に印は、アッラーの御元だけにあります。たとえ印が来てもかれらが信じないことを、あなた方に分からせるものは何でしょうか。

110.かれらが最初からこれ（印）を信じないように、われらはかれらの心と視覚を反転させ、反抗心のままに放っておきます。だからかれらは、さ迷い続けることでしょう。111.◆8部◆たとえわれらが、かれら（多神教徒）に天使たちを遣わし、また死人がかれらに語りかけ、またすべてのものをかれらの目の前に集めても、アッラーの御心でない限り、かれらは信仰しないでしょう。かれらの多くは無知なのです。112.このようにわれらは、各預言者に一つの敵を作りました。それ（敵）は、悪魔的な人間とジン（幽精）で、互いにきれいごとを並べてだますのです。もしあなた（ムハンマド）の主の御心であれば、かれらはそうしなかったでしょう。だからかれらと、その嘘を放っておきなさい。113.そうすれば、来世を信じない人の心がそれ（嘘）に傾き、そしてかれらはそれに喜び、かれら

が犯してきたこと（罪）を続けるのです。114.わたし（ムハンマド）が、アッラーの他に裁きを求めるでしょうか。かれこそが、詳細に解明された啓典を、あなた方（啓典の民）に啓示されたお方ではないですか。われらが啓典を与えた人たちは、それがあなた（ムハンマド）の主から、真理をもって啓示されたことを知っています。だからあなたは、疑う人の仲間になってはいけないのです。

115.あなたの主の言葉は、真実と公正で完結しています。かれの言葉を変えることは、誰にもできません。かれは全聴にして全知なのです。116.もしあなた（ムハンマド）が地上の多くの人に従うなら、かれらはあなたをアッラーの道から迷わすでしょう。かれらはただ憶測に従い、（勝手に）推測するだけです。117.本当にあなたの主は、かれの道から迷い去った人を最もよくご存知です。またかれは、正しく導かれた人を最もよくご存知です。118.もしあなた方がアッラーの啓示を信じる人たちなら、かれの御名が唱えられたものを食べなさい。

119.あなた方は、アッラーの御名が唱えられたものを、どうして食べないのですか。かれはあなた方に禁じられるものを、詳しく明らかにしたではありませんか。ただし（生存の）必要に迫られる場合は別として。本当に多くの人は知識もなく、妄欲によって（他の人びとを）迷わせます。あなたの主は、限度を犯す人たちを最もよく知っておられます。120.外面的な罪も内面的な（心の）罪も、避けなさい。本当に罪を犯した人は、かれらが稼いできたことのために、報いを受けるでしょう。121.また、アッラーの御名が唱えられなかったものを、食べてはなりません。それは実に忌わしいことです。しかし悪魔は、かれらの友をかき立て、あなた方と（禁忌について）議論させます。もしあなた方がかれらに従うなら、本当にあなた方は多神教徒です。122.死んでいた者に、われらが（信者として）生命を授け、光明を与え、それ（光明）によって人びとの間を歩く人は、（不信心の）暗闇の中から出られないような人と、同じ

でしょうか。このように非信者には、かれらがしてきたことを、うわべは立派だと思わせました。

123.このようにわれらは、それぞれの町に罪深い有力者を置き、そこでかれらに策謀させるのです。でもかれらは自分自身に対して策謀するだけで、自らはそれに気づいていないのです。124.かれらに一つの印が来ると、かれらは言います。アッラーの使徒たちに与えられたようなものが、わたしたちにも与えられるまでは信じませんと。アッラーは、かれの啓示をもたらすべき所を最もご存知です。罪を犯した人たちは、かれらが策謀してきたことに対して、アッラーからの屈辱と激しい苦痛が降りかかるでしょう。125.アッラーが導くことを望む人は、イスラームのために、かれがその（人の）胸を開きます。でもかれが迷うに任せる人は、空高くに登ろうとするときのように、その胸をきつく締めつけます。このようにアッラーは、信仰を拒否する人に罰を加えるのです。

126.これがあなた（ムハンマド）の主の正しい道です。われらは留意する人たちのために、印を詳細に示しました。127.かれらは、自らの主の御元に平安の住まいを得ます。かれはかれらのしてきたこと（善行）のために、かれらの援護者となるのです。128.かれが一斉にかれらをすべて召集する日、ジン（幽精）よ、実にあなた方は多くの人間を惑わせました（と、アッラーは言います）。人間の中にいるかれら（ジン）の友は言います。主よ、わたしたちは互いに利用し合いましたが、あなたがわたしたちに定めた（人生の）期限が来ました。かれは言います。地獄の火があなた方の住まいです。アッラーの御心であれば、永遠にその中に住むでしょう。真にあなた（ムハンマド）の主は英明にして全知です。

129.このようにわれらは、かれらが稼いできたことにより、不正な者に上下差を付けるのです。130.ジン（幽精）と人間たちよ、あなた方のためにわたしの印を説き、この（審判の）日の会見について警告する使徒たちが、あなた方の中から来たのではないですか。かれらは言います。

わたしたちは自分自身（の利益）に反し証言しますと。（つまり）現世の生活がかれらを惑わせ、自分が非信者であったことを、かれらは自らに反し証言するのです。131.これ（使徒たちが来た理由）はあなた（ムハンマド）の主が、その民が気づかないうちに、かれらの不正をもって町を滅ぼさないためです。132.誰にでも、その人が行なったことに応じた（来世での）位階があります。あなた（ムハンマド）の主は、その行ないを見逃しません。

133.あなたの主は、豊かに満ち足りているお方で、慈悲の所有者なのです。もしかれの御心なら、あなた方を立ち去らせて、その後かれが望む人を後継者とすることもできます。（ちょうど）かれがあなた方を、他の民の子孫から生育されたように。134.誠にあなた方に約束されたことは、必ず果たされます。あなた方は（約束を）逃がれることはできません。135.言いなさい。わたし（ムハンマド）の人びとよ、わたしがそう（信者）であるように、あなた方もその立場（多神教徒）を続けなさい。やがてあなた方は、誰が最後に（平安の）住まいを得るかを知るでしょう。不正を行なう人たちは、決して成功しないのです。136.かれら（多神教徒）は、かれが創った穀物と家畜の一部をアッラーに割り当てて言います。これはアッラーのためで、他方それ以外は、多神のためにと言いはります。でも多神のものはアッラーに届きませんが、アッラーのものは多神に届くのです。（だから）かれらの判断こそ悪なのです。

137.同じようにかれらの多神は、大勢の多神教徒に、自らの子女を殺すことを立派であると思い込ませました。そうすることで（多神は）かれらを滅ぼし、かれらの信仰を混乱させるのです。もしアッラーの御心なら、かれら（多神教徒）はそうしなかったでしょう。だからかれらとその虚偽を放っておきなさい。138.またかれらは言います。これらの家畜や穀物は禁じられているので、わたしたちが認めない限り、誰も食べることはできませんと。これはかれらの思い込みです。また背中が禁忌にな

っている家畜であるとか、（非ムスリムである）かれらがアッラーの御名を唱えていない家畜（だから、禁じられているというの）は、かれに対する虚偽です。かれは、かれらがしてきた虚偽に報いるでしょう。

139.またかれらは言います。この家畜の子宮にあるものは、わたしたち男性に限られ、配偶者たちには禁じられます。でも（禁じられているが、）死産なら、誰にでもその分け前がありますと。かれはかれらの（このような嘘の）発言に報いるでしょう。本当にかれは英明にして全知です。140.（教えに）無知で愚かにもその子女を殺し、アッラーがかれらに恵まれたものを禁じて、アッラーに対し嘘を捏造する人たちは、本当に失敗者です。確かにかれらは迷い去り、かれらは正しく導かれなかったのです。141.かれこそは、つる棚を組んだり組まなかったりした果樹園、ナツメヤシ、様々な味の作物、またオリーブやザクロなどで、似たり異なったりするものを作ったお方です。（だから）実がなったときはそれを食べなさい。収穫日には、定めの施しを行ない、浪費してはいけません。誠にかれは、浪費する人を好まれません。

142.また家畜のあるものは運搬用で、あるものは食肉用です。アッラーがあなた方に与えたものを食べなさい。そして悪魔の歩みに従ってはいけません。かれ（悪魔）はあなた方にとって、明らかな敵なのです。143.（アッラーは）８頭の動物を対（雄雌）にしました。（例えば）羊一対と山羊一対です。言いなさい。かれは２頭（羊と山羊）の雄または２頭の雌、または２頭の雌の胎内にあるもの（胎児）を禁じましたか。もしあなた方が誠実なら、知識を持ってわたし（ムハンマド）に知らせなさい。

144.またラクダ一対と牛一対（も同じです）。言いなさい。かれは２頭（ラクダと牛）の雄または２頭の雌、または２頭の雌の胎内にあるもの（胎児）を禁じましたか。あなた方は、アッラーがあなた方に、これ（禁忌）を命じたときの証言ができるのですか。知識もなく人を迷わせるために、アッラーに対して嘘を捏造するよりも不正な人がいるでしょうか。

誠にアッラーは、不正を行なう人を導きません。145.言いなさい。わたし（ムハンマド）に啓示されたものの中には、食べる人に食用が禁じられたものはありません。ただし、死肉、流れ出る血、豚肉は実に不浄なもの、またはアッラー以外の名を唱えられ（屠畜された）非法なものは別として（禁じました）。ただし（生存の）必要に迫られ、（また）故意でもなく過剰でもない場合は、誠にあなたの主はよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。146.ユダヤ教徒には、われらはかぎ爪のあるすべての動物を禁じ、また牛と羊はその脂を禁じました。ただし、背部と内臓部に付着し、または骨についた脂は別として。これはかれらの不服従に対する報いで、われらは言葉に誠実な者です。

147.それでもかれらが、あなた（ムハンマド）を嘘つき呼ばわりするなら、言いなさい。あなた方の主は広大な慈悲の持ち主です。一方、罪深い人から、かれの懲罰が撤回されることはありません。148.（アッラーに）同位を並置する人は言います。もしアッラーの御心なら、わたしたちとその先祖も（多神を）信仰せず、また何も禁じなかったでしょう。同じようにかれら以前の人びとも、われらの懲罰を味わうまでは、嘘呼ばわりしてきたのです。言いなさい。あなた方に知識があるのですか。あるなら、わたしたちにもたらしなさい。あなた方はただ憶測に従い、（勝手に）推測するだけです。

149.言いなさい。徹底した論証はアッラーのものです。かれの御心なら、あなた方を一人残らず導いたことでしょう。150.言いなさい。アッラーがこれ（8頭の動物など）を禁じたと証言できる、あなた方の証人を連れて来なさい。たとえかれらが証言しても、あなた（ムハンマド）はかれらと一緒に証言してはいけません。またわれらの印を嘘呼ばわりし、来世を信じず、かれらの主に同位を配する人たちの乱心に、従ってはいけません。151.言いなさい。（わたしの方に）来なさい。わたし（ムハンマド）は、あなた方の主が、あなた方に禁じたことを読み聞かせましょう。かれ

に何ものも同位を配してはいけません。また親孝行しなさい。そして貧しいからといって、自分の子供を殺してはいけません。われらが、あなた方とかれらを養うからです。表に現れようが現れまいが、わいせつな恥ずべき行為に近づいてはいけません。アッラーが侵してはならないとされた生命を、正当な権利（死刑や戦闘など）なくしては殺してはいけません。このようにあなた方が理性を働かせるよう、かれは命じたのです。

152.より適正でない限り、孤児が成人に達するまでは、その財産に近づいてはいけません。また公正に計量しなさい。われらは誰にも能力以上の重荷を与えません。あなた方が話すときは、近親でも公正でありなさい。そしてアッラーとの約束を果たしなさい。このようにあなた方が深く思いに留めるよう、かれは命じたのです。

153.これこそは、わたしの正しい道なので、それに従い（他の）道に従ってはいけません。それら（他の道）は、あなた方をかれの道から遠ざけるでしょう。このようにあなた方が（アッラーを）意識するよう、かれは命じたのです。154.さらに、われらはムーサーに啓典を授け、善行の人に対して（恩寵を）全うし、（啓典を）すべてのことの解明、また導きと慈悲としました。かれらはその主との会見を信じるでしょう。

155.これ（クルアーン）も、われらが啓示した祝福された啓典です。だからこれに従い、（アッラーを）意識しなさい。そうすれば、あなた方は慈悲を授かるでしょう。156.（それによって）あなた方は、こう言わないためです。啓典はわたしたち（マッカの多神教徒）以前の二派（ユダヤ教徒とキリスト教徒）に対してのみ啓示されたので、本当のところ、わたしたちはかれらが何を学んだかは知りませんでしたと。157.また（それによって）あなた方がこう言わないためです。啓典がわたしたちに啓示されていたなら、かれら（ユダヤ教徒とキリスト教徒）よりもよく導かれたのだと。そこで正にあなた方の主からの明証と導きと慈悲が来ました。だからアッラーの印を嘘であるとし、それから背き去るよりも不正な人

がいるでしょうか。われらはその印から背き去った人に、背き去ってきたということで、ひどい苦痛で報いるでしょう。158.かれらは、天使たちが来るのを待っているのか、またはあなた方の主が来るのを待っているのか、またはあなた方の主の印の一部が来るのを待っているのか。あなた方の主の何らかの印が来る（最後の）日、以前から信仰し、または信仰により善を稼いでいない限り、かれらを信仰が益することはないでしょう。言いなさい。あなた方は待ちなさい。わたしたちも待つ者なのです。159.自分の信仰を分裂させ、分派をなす人たちについて、あなた（ムハンマド）は何の関わりもありません。かれらのことは、アッラー次第です。ときが来れば、かれは自分たちがしてきたことを、かれらに知らせるでしょう。

160.（審判の日）、誰でも善行を持って来た人には、それと同じようなものの10倍（の報奨）があります。でも悪を持って来た人には、それと同じようなものが、報いとしてあるだけです。かれらが不当に扱われることはありません。161.言いなさい。誠にわたしの主は自分を、純正なイブラーヒームの信仰である、正しい道と真実の教えに導きます。かれは、多神教徒の仲間ではありませんでした。

162.言いなさい。わたしの礼拝と犠牲、（そして）わたしの生と死は、すべての世界の主、アッラーのためです。163.かれに同位者はないと、わたしはそのように命じられました。そしてわたし（ムハンマド）はムスリムの先駆けなのです。164.言いなさい。かれはすべての主なのに、わたしがアッラー以外に主を求めるでしょうか。各人は自らの稼ぐことだけに責任を負うのであって、他人の重荷は負いません。最後には、あなた方は主の所に帰るのです。そのときかれは、あなた方が意見を異にしてきたことについて、知らせるでしょう。165.かれこそは、あなた方を地上の代理者とし、ある人の（物的精神的な）位階を他の人よりも高める方です。それはかれがあなた方に与えたものによって、あなた方を試みる

ためです。あなた（ムハンマド）の主は懲罰に極めて早く、そしてかれは実によく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

7. 高壁章

al-'A'raf

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1. アリフ・ラーム・ミーム・サード。

2.（これは）あなた（ムハンマド）に啓示した、啓典（クルアーン）です。だからあなたはそれについては、心配いりません。それは（人びとに）警告するためであり、信者たちを諭すためにあるのです。3.あなた方（非信者）は主から啓示されたものに従い、かれ以外の保護者に従ってはいけません。（しかし）あなた方は、ほとんど留意しません。4.それでどれだけ多くの町をわれらが滅し、われらの懲罰が夜の間に、またかれらが昼寝をしている間に、襲いかかったことでしょうか。5.われらの懲罰がかれらを襲ったとき、かれらの叫びはただ、わたしたちは本当に不正をしてきましたと言うだけでした。6.それからわれらは、使徒が遣わされた人びとに質問し、また使徒たちにも質問します。7.それからわれらは、（確かな）知識を持ってかれらに（その所業について）話します。われらが知らないことはないのです。8.その（審判の）日の計量は正真正銘です。そして（善行の）秤の重い人は成功者です。9.また秤の軽い人は、自分自身を欺いた人です。なぜならわれらの印に、不正を犯してきたからです。

　10.われらはあなた方を、地上においてしっかり定住させ、生計の道を授けました。ところがあなた方は、ほとんど感謝しません。11.確かにわれらはあなた方を創造し、さらに形作ったのです。それからわれらは、天使たちに向かって、アーダムに平伏しなさいと言いました。するとかれらは平伏しました。ただしイブリース（ジンで悪魔）は別として。かれは

平伏しませんでした。12.かれは言いました。わたしがあなたに命じたとき、あなたが平伏しなかったのはどうしてですか。かれ（イブリース）は言いました。わたしはかれ（アーダム）よりも優れている。あなたはわたしを火から創造したが、かれは土から創造した。13.かれは言いました。ここ（楽園）から落ちて行け。あなたはここで高慢であってはならない。だから出て行け。本当にあなたは恥ずべき者だ。14.かれ（イブリース）は言いました。かれら（人びと）が復活する日まで、わたしに時間をくれ。15.かれは言いました。では、あなたは猶予された。16.かれ（イブリース）は言いました。あなたがわたしを迷わせたので、わたしはあなたの正しい道の上でかれら（人びと）を待ち伏せるのだ。17.そしてわたしは、かれらの前後左右から襲う。するとあなたは、かれらの多くが感謝しないことに気付くでしょう。18.かれは言いました。恥をさらし拒否され、ここから出て行け。確かにあなたとあなたに従う人全員で、地獄を満たすでしょう。

19.アーダムよ、あなたとあなたの妻は楽園に住みなさい。そしてあなた方は何でも好きに食べるのです。ただし（二人とも）この木に近付いてはいけません。さもなければ不正を犯す者となるでしょう。20.すると悪魔は、隠れていた恥ずかしいところを二人にあらわにするため、ささやきました。かれ（悪魔）は言いました。あなた方の主が、この木に近付くことを禁じたのは、あなた方を天使や不死の者にならせないためなのだ。21.そしてかれ（悪魔）はかれらに誓ったのです。本当にわたしは、あなた方の誠実な助言者であると。

22.このようにかれ（悪魔）は二人を欺瞞によって堕落させました。そしてかれらがこの木（の実）を味わうと、かれらの恥ずかしいところが二人にあらわになり、かれらは楽園の葉でかれら自身を覆い始めたのです。かれらの主は、二人に呼びかけました。わたしはこの木をあなた方に、禁じませんでしたか。またわたしは言いませんでしたか。悪魔はあな

た方二人の、明らかな敵ですと。23.かれら二人は言いました。わたしたちの主よ、わたしたちは自分自身を欺いたのです。もしあなたがわたしたちをお赦しにならず、慈悲を与えてくださらなければ、わたしたちは本当に失敗者になってしまいます。24.かれは言いました。落ちて行きなさい、あなた方(人間と悪魔)は、互いに敵となるでしょう。あなた方には、地上における住まいと生計が一時的にあるでしょう。25.かれは言いました。そこであなた方は生き、そこで死に、またそこから(復活の時、地中から)外へ出されるでしょう。

26.アーダムの子孫よ、われらは、あなた方の恥ずかしいところを覆い、また装飾として、衣装をあなた方にもたらしました。しかし(アッラーを)意識するという衣装こそ最善です。これはアッラーの印のひとつで、(アッラーを)留意するためにあるのです。27.アーダムの子孫よ、あなた方の両親(アーダムとハウワー)が楽園から追い出されたように、あなた方は悪魔に惑わされてはいけません。(悪魔は)かれらの恥ずかしいところをあらわにするため、かれらから衣装を剥ぎ取ったのです。実にかれ(悪魔)は、あなた方を見ています。かれとその一味は、あなた方の見えない所からあなた方を見ています。確かにわれらは、悪魔たちを、信仰しない人たちの友としました。

28.かれらはわいせつな行為をするとき、言うのです。わたしたちは先祖がこれを行なうのを見ました、またアッラーが、これをわたしたちに命じましたと。言いなさい。アッラーはわいせつな行為を命じません。あなた方は、アッラーについて(不実で)知らないことを口にするのですか。29.言いなさい。わたしの主は、公正を命じました。そしてどこのマスジドでもあなた方の顔を(アッラーへの信仰に)向け、かれを呼び、かれに至誠の信心を尽くしますと。かれがあなた方を最初に創ったと同様に、あなた方は戻る(復活する)のです。30.かれはある一団を導き、またある一団には迷いを当然としました。(なぜなら後者の)かれらはアッラ

ーではなく、悪魔を擁護者としたにも関わらず、自分たちを正しく導かれた人と考えたからです。

31.アーダムの子孫よ、どこのマスジドでもちゃんとした衣装を身につけなさい。そして飲食するにしても、度を越してはいけません。真にかれは過度な人たちを好まれません。32.言いなさい。アッラーが、僕たちにもたらした衣装と善い糧を禁じたのは誰ですか。言いなさい。これらは、現世において信仰する人たちのためのものであり、復活の日には（信者が）専有するものです。このようにわれらは、印を理解ある人びとに解明するのです。33.言いなさい。わたし（ムハンマド）の主が禁じたことは、表に現れていようが隠れていようが、わいせつな行為であり、また罪、不当な迫害、アッラーが何の権威も授けていないものを同位に配すること、そしてアッラーについて、（啓示に関する）知識もないのに、あなた方が口にすることです。

34.各共同体には期限があります。だからその期限が来れば、一刻も遅らすこともできず、早めることもできないのです。35.アーダムの子孫よ、あなた方の間から使徒たちが来て、あなた方にわたしの印を語っても、アッラーを意識して善行に努める人には、恐怖もなく悲哀もないでしょう。36.一方、われらの印を嘘呼ばわりし、それら（印）に対して高慢な人は地獄の火の人びとで、かれらはその中に永遠に住むのです。37.アッラーに対して嘘を捏造し、かれの印を拒否することよりも、不正な人がいるでしょうか。かれらは、書板にある（現世での）分け前を受け取り、やがてわれらの使徒（天使）たちがその元に来て魂を召すのです。（そして来世で）かれら（天使）は言います。アッラーの他にあなた方が呼んでいたもの（多神）はどこにいますか。非信者は言います。かれら（多神）は、わたしたちを置いてきぼりにした。（こうして）非信者であったと、自らに対して証言するのです。

38.かれは言います。地獄の火の中で、あなた方以前に去ったジンと

人間の一団に加わりなさい。毎回ある一団が地獄の火に入るたびに、仲間の一団を呪います。そして全員その中で追いつくと、最後の一団は最初の一団について言います。わたしたちの主よ、かれらがわたしたちを迷わせたので、倍の地獄の火の苦痛を与えてください。かれは言います。それぞれに倍（の苦痛が）あるけれど、あなた方はそれを知らないだけです。39.また最初の一団は、最後の一団について言います。あなた方に、わたしたちよりも善いところはないのだ。だから、自らが稼いできたことに対する苦痛を味わえと。

40.われらの印を嘘呼ばわりし、それ（印）に対して高慢であった人たちには、天の門は開かれません。ラクダが針の穴を通ったとしても、かれらは楽園に入れません。このようにわれらは罪深い人に報いるのです。41.地獄がかれらの寝床であり、上には幾重にも重なる（火の）覆いがあります。われらはこのように不正な人たちに報います。42.でも信仰して善行に励む人は、われらは誰にも能力以上の重荷を与えません。かれらは楽園の人びとで、その中に永遠に住むのです。43.われらは、かれらの心の中にある怨恨を取り除きます。川がかれらの足元を流れます。かれらは言います。わたしたちをここに導いたアッラーに、すべての称賛を捧げます。もしアッラーの導きがなければ、わたしたちは正しい道を見つけられなかったでしょう。確かにわたしたちの主の使徒たちが、真理をもたらしましたと。そしてかれら（信者）に対する声が聞こえます。これが楽園です。あなた方がしてきたこと（善行）のために、それはあなた方のものなのですと。

44.また楽園の人びとは、地獄の火の人びとに向かって呼びかけます。わたしたちは、主が自分たちに約束したことが真実であると分かりました。あなた方も、主が約束したことが真実であると分かりましたかと。（すると）かれらは、はいと言うでしょう。そのとき両者（楽園と地獄の火の人びと）の間から、こう告げられます。アッラーは不正の人びとを拒

絶するのです。45.これらの(地獄の火の)人びとは、アッラーの道を妨げ、(その道を)歪めようとし、また来世を信じない人たちなのです。

46.両者の間には仕切り壁(ヒジャーブ)があり、その高壁の上に人びとがいて、かれらは特徴によってすべての人を認知します。かれらは楽園の人びとに向けて、あなた方に平安あれ、と挨拶します。(でも)かれら(高壁の人びと)はそこ(楽園)に入ることなく、ただ望むだけです。47.またかれらの目が地獄の火の人びとの方に向くと、かれらは言います。主よ、わたしたちを不正の人びとと一緒にしないでくださいと。48.高壁の人びとは、特徴によって認知できる人びとに呼びかけ言います。あなた方(地獄の火の人びと)の蓄財と、高慢であったことは役に立ちませんでした。49.(一方)これらの(別の一団で身分が低く恵まれなかった)人びとは、アッラーが慈悲を与えないとあなた方が誓言した人びとではないでしょうか。(これらの恵まれなかった人びとよ)楽園に入りなさい。あなた方には、恐怖もなく悲哀もありません。

50.地獄の火の人びとは、楽園の人びとを大声で呼び出します。わたしたちの上から水を注いでください。もしくはアッラーがあなた方に恵まれたものを(注いでください)と。かれらは言います。アッラーは、そのどちらも非信者に禁じました。51.(非信者は)自分自身の宗教を遊びや戯れとする人びとです。結局、現世の生活がかれらを欺いたのでした。だから今日(審判の日)、われらはかれらを無視します。まるでかれらがこの日の会見を無視し、われらの印を拒否してきたように。

52.われらは、信仰する人びとへの導きと慈悲として、啓典をもたらし、正しい知識を持って、それを解明しました。53.(だから)かれら(非信者)は、その解明を待つだけなのでしょうか。解明される日が来ると、以前これを無視していた人は言います。わたしたちの主の使徒たちは、確かに真理を持って来ました。そこで(審判の日)わたしたちのために執り成してくれる人はいるのですか。もしくは、わたしたちがしてこなかった

こと（善行）をするため、（現世の生活に）送り返されないのですかと。結局かれらは自らを滅ぼし、捏造してきたもの（多神）は、かれら（非信者）を置き去りにしてしまったのです。

54.誠にあなた方の主は、アッラーです。かれは諸天と地を6日で創り、それから玉座に着かれます。かれは昼でもって、遅れることなく夜を覆い、また太陽、月、群星をかれの命令に服させます。かれにこそ創造と統括権があるのです。すべての世界の主、アッラーにこそ称賛あれ。55.謙虚にそしてそっと、あなた方の主を呼びなさい。かれは限度を越す人たちを好みません。56.（啓示によって）正された後、地上で腐敗を引き起こしてはいけません。（アッラーへの）恐れと希望をもって、かれを呼びなさい。本当にアッラーの慈悲は、善行する人たちの近くにあります。

57.かれこそは、その慈悲によって吉報としての風を送るお方です。それら（風）は重い雲を運び、われらがそれら（雲）を死んでいる地に送って雨を降らせ、様々な実りをもたらします。同様に、われらは死から甦らせるのです。そうすればあなた方は、留意するでしょう。58.良い土地には、主の許しによって、植物がよく育ちます。悪い土地には、貧弱なものしか育ちません。このようにわれらは感謝する人のために、印を明らかにするのです。

59.確かにわれらは、ヌーフをかれの民に遣わしました。かれ（ヌーフ）は言いました。わたしの民よ、アッラーに仕えなさい。かれの他に神はいません。真にわたしは、あなた方に降りかかる絶大な日の苦痛を恐れます。60.かれの民の指導者たちは言いました。本当にわたしたちは、あなたが明らかに間違っていると思います。61.かれ（ヌーフ）は言いました。わたしの民よ、わたしに間違いはありません。わたしはすべての世界の主の使徒です。62.わたしはあなた方に、主のお告げを伝え、助言をします。わたしはあなた方が知らないことを、アッラーから知っているものです。63.あなた方は自分たちの中にいるひとり（ヌーフ）を通して、あな

た方の主から戒めが来たことに驚くのですか。（戒めは）かれがあなた方に警告するためであり、あなた方が（アッラーを）意識するためです。そうすることであなた方は慈悲に授かるのです。64.ところがかれらはかれを拒否しました。だからわれらは、かれ（ヌーフ）と方舟の中でかれと一緒であった人たちを救い、われらの印を嘘呼ばわりした人たちを溺れさせました。実にかれらは盲目の民でした。

65.またアードの民に、かれらの同胞のフードを（遣わしました）。かれ（フード）は言いました。わたしの民よ、アッラーに仕えなさい。かれの他に神はいません。あなた方は（アッラーを）意識しないのでしょうか。66.かれの民の中にいる非信者の指導者たちは言いました。わたしたちが思うに、あなたは本当に愚かで嘘つきだ。67.かれは言いました。わたしの民よ、わたしは愚かではありません。しかし、わたしはすべての世界の主からの使徒です。68.わたしはあなた方に主のお告げを伝えます。またわたしは、あなた方への信頼できる助言者なのです。69.あなた方は驚くのですか。自分たちの中にいるひとり（フード）を通して、警告のために、あなた方の主から戒めが来たことに。かれが、あなた方（アードの民）をヌーフの民の後継ぎとし、またあなた方の身体を強大にされたことを想いなさい。だからアッラーの恩恵を想いなさい。（そうすれば）あなた方は成功するでしょう。

70.かれらは言いました。あなたがやって来たのは、わたしたちがアッラーだけに仕え、自分の先祖が仕えてきたものを捨てる（よう伝える）ためなのだ、もしあなたが誠実な人なら、あなたが約束するものをわたしたちにもたらしてみなさいと。71.かれ（フード）は言いました。あなた方の主の懲罰と怒りは、もうあなた方に降りかかりました。（それで）あなた方は先祖が命名した（多神の）名前については、アッラーが何の権威も授けていないのに、わたしと議論するのですか。それなら待ちなさい。確かにわたしも、あなた方と共に待ちましょう。72.そしてわれらは慈悲

をもって、かれ（フード）とかれと一緒にいる人たちを救い、われらの印を拒否した人たちと信仰しなかった人たちを根絶したのです。

73.またサムードの民に、かれらの同胞サーリフを（遣わしました）。かれは言いました。わたしの民よ、アッラーに仕えなさい。かれの他に神はいません。あなた方の主から明証が来ました。このアッラーの雌ラクダが、あなた方への印です。それでそれ（雌ラクダ）に食べさせるため、アッラーの大地に放牧しなさい。そしてそれに害を加えてはいけません。そうしないと、厳しい苦痛があなた方を襲うでしょう。74.またかれが、あなた方（サムードの民）をアードの民の後継ぎとし、その地に定住させたときのことを想いなさい。あなた方は平原に宮殿を設け、また岩山に家を彫りました。だからアッラーの恵みを想いなさい。地上で悪を犯し、腐敗を広げてはいけません。75.かれ（サーリフ）の民の中の高慢な指導者たちは、そこで虐げられていた信者たちに言いました。あなた方はサーリフが、かれの主から遣わされたことを知っているのですか。かれら（信者）は言いました。確かにわたしたちは、かれが遣わされたことを信じる者です。76.高慢な人たちは言いました。確かにわたしたちは、あなた方が信じることを信じてはいない。77.そこでかれらは、その雌ラクダの膝の腱を切って、かれらの主の命令に逆らって言いました。サーリフよ、もしあなたが使徒たちの一人であるなら、あなたがわたしたちに約束したもの（懲罰）をもたらしてみろと。78.すると大地震がかれらを襲い、朝までにかれらはその家の中に平伏していました。79.それで（サーリフは）かれらから去って言いました。わたしの民よ、確かにわたしは、主のお告げをあなた方に伝え、助言をしました。でもあなた方は（誠実な）助言者たちを好まないのです。

80.またルートを（遣わしました）。かれ（ルート）はその民に言いました。あなた方は、このようなわいせつな行為を犯すのですか。あなた方以前、どの民族も行なったことがないのに。81.あなた方は情欲のため

に女性でなくて、男性に向かいます。本当にあなた方は過度な人びとですと。82.かれの民は答えて、こう言うだけでした。かれら（ルートたち）を、あなた方の町から追い出そう、（というのも）かれらは本当に清純ぶった人たちなのだから。83.こうしてわれらは、かれとその家族を救いました。ただしその妻は別として。かの女は後方に残された民の仲間でした。84.われらはかれらの上に（破壊の）雨を降らせました。見なさい。罪を犯す人の最後がどんなものであったかを。

85.またマドヤンの民に、かれらの同胞シュアイブを（遣わしました）。かれ（シュアイブ）は言いました。わたしの民よ、アッラーに仕えなさい。かれの他に神はいません。あなた方の主から明証が来ました。だからきちんと寸法をとり計量し、人のものを安く値を踏んではいけません。また（啓示によって）正された後、地上で腐敗を引き起こしてはいけません。もしあなた方が信者なら、これはあなた方のために最も善いことです。86.あなた方は路上で待伏せして、信仰する人たちを脅迫したり、アッラーの道を妨害したり、それ（道）を歪曲させようとしてはいけません。あなた方は少数であったけれど、かれがあなた方を大勢にしたことを思い出しなさい。腐敗をもたらす人の最後が、どうであったかを見なさい。87.もしあなた方の中に、わたしの使命を信じる一団と、信じない一団とがあるときは、アッラーがわたしたちの間を裁くまで待ちなさい。かれは最も優れた裁決者なのです。

88.◆9部◆かれ（シュアイブ）の民の中の、高慢な指導者たちは言いました。シュアイブよ、わたしたちは、あなたとあなたを信じた人たちを、わたしたちの町から必ず追い出すぞ。そうさせたくなければ、わたしたちの宗教に返るべきだ。かれは言いました。たとえわたしたちが、それを嫌いでもですか。89.アッラーがわたしたちを助けた後、もしわたしたちがあなた方の宗教に戻ったなら、アッラーに対して嘘をついたことになります。そしてわたしたちの主、アッラーが御望みにならない限り、それ

（あなた方の宗教）に戻ることは、わたしたちにはできないのです。本当に主の知識は、あらゆる事物に及ぶのです。アッラーをわたしたちは信頼します。わたしたちの主よ、わたしたちと人びとの間を、真理によってお裁きください。あなたは最も優れた裁決者であります。90.かれ（シュアイブ）の民の中にいる非信者の指導者たちは言いました。もしあなた方がシュアイブに従うなら、失敗者になるだろう。91.すると大地震がかれらを襲い、翌朝までにかれらはその家の中にひれ伏しました。92.シュアイブを嘘呼ばわりした人たちは、そこに住んでいなかったかのようでした。シュアイブを嘘呼ばわりした人たちは、確かに失敗者でした。93.そしてかれはその民から立ち去って、言いました。わたしの民よ、確かにわたしは、あなた方に主のお告げを伝え、助言をしました。だから信仰しない人びとのために、どうしてわたしが嘆くことがあるでしょうか。

94.われらがある町に預言者を遣わしたのは、その民が謙虚になるようわれらが不幸と苦難で、かれらを捕える以外に（目的は）ありませんでした。95.その後、われらが悪いものを善いものに代えて、繁栄するようになると、かれらは言い出したのです。本当にわたしたちの先祖も、順境と逆境に会いましたと。だからわれらはかれらが気づかない間に、突然かれらを襲いました。96.もし、これらの町の人びとが信仰して主を意識したなら、われらは天地の祝福を、かれらに潤沢に与えるため、きっと（その扉を）開いたでしょう。でもかれらは（預言者たちを）嘘つき呼ばわりしました。だからわれらは、かれらが稼いできたことのために捕らえたのです。97.これらの町の人びとは、夜かれらが眠っている間に、われらの懲罰が来ないと安心できるのでしょうか。98.またこれらの町の人びとは、昼にかれらが戯れている間に、われらの懲罰が来ないと安心できるのでしょうか。99.かれらはアッラーの深謀に安心できるのでしょうか。（できないはずなのに、）アッラーの深謀に安心できるのは、失敗者だけなのです。

100.その（滅びた）民の後、この地を継いだ（マッカの）人びとに対しては、（以前の非信者の末路は前例として）導きにならなかったのでしょうか。われらが望めば、われらはその罪のためにかれらを苦しめ、その心を封じて聞こえなくしてしまうのに。101.われらはあなた（ムハンマド）に、さまざまな町の人びとの物語を話しました。確かに使徒たちは明証を持って、かれら（非信者）のところに来たのです。でもかれらは、以前（の民が）拒否したように、信じようとしませんでした。このようにアッラーは、非信者の心を封じました。102.われらは、かれらの多くが（アッラーとの）約束を守らず、掟破りの人たちであることを知っているのです。

103.それでかれらの後に、われらは印と共に、ムーサーをフィルアウンとその指導者たちに対して遣わしました。ところがかれらは、それらを拒否しました。腐敗を広げる者の末路が、どんなものかを見なさい。104.ムーサーは言いました。フィルアウンよ、誠にわたしは、すべての世界の主から遣わされた使徒です。105.間違いなく、真理の他にわたしがアッラーについて言うことはありません。確かにわたしは、主からの明証を持って、あなた方のところに来ました。だからイスラーイールの子孫を、わたしと一緒に（約束の地へ）行かせてください。106.かれ（フィルアウン）は言いました。もしあなたが印を持って来たのであれば、そしてあなたが正直者なら、（まずは）それを示しなさい。107.そこでかれは、自分の杖を投げました。するとそれは明らかに大蛇になったのでした。108.次にかれがその手を伸ばしました。するとそれは、白く見えました。109.フィルアウンの民の指導者たちは言ました。かれは確かに熟練の魔術師です。110.かれはこの土地から、あなた（フィルアウン）を追出すつもりです。（そこでフィルアウンが言いました）ではあなた方は、どうしようというのか。111.かれらは言いました。かれ（ムーサー）とその兄弟を（ここに）留めさせ、町々から（魔術師を）召集する者を遣わし、

112.（競演のため）腕の立つ魔術師全員をあなたのところに呼び出しましょう。

113.それから魔術師たちは、フィルアウンのところに来て言いました。わたしたちが勝者となれば、わたしたちには報酬があるでしょう。114.かれ（フィルアウン）は言いました。そうだ。あなた方は、わたしの側近となるでしょう。115.かれらは言いました。ムーサーよ、あなたが投げるのか、それともわたしたちが（先に）投げるのか。116.かれ（ムーサー）は言いました。（あなた方が先に）投げなさい。そこでかれらが投げると、人びとの目を惑わし恐れさせ、大魔術を見せました。117.そこでわれらは、ムーサーに申し渡しました。あなたの杖を投げなさいと。すると突然、それはかれらが偽造していたものを飲み込んでしまいました。118.こうして真理は確認されて、かれらがしたことは無意味になったのです。119.かれらは打ち負かされ、すっかり恥さらしとなりました。120.魔術師たちは身を投げ出して平伏し、121.言いました。わたしたちは、すべての世界の主を信仰します。122.ムーサーとハールーンの主を。

123.フィルアウンは言いました。あなた方は、わたしが許していないのにかれを信じるのか。これはここの民を追い出すために、あなた方がこの町で企んだ共謀に違いない。だがあなた方は、すぐに思い知るだろう。124.わたしはあなた方の両手両足を互い違いに切断し、さらに一人残らず十字架にはりつけよう。125.かれらは言いました。結局わたしたちは主の元に帰ります。126.あなた（フィルアウン）は、主の印が届くと、わたしたちがそれらを信じるというだけで、復讐しようとします。主よ、わたしたちに忍耐を与え、ムスリムとして死なせてください。

127.フィルアウンの民の指導者たちは言いました。あなたはムーサーとその民が地上で腐敗を広げ、あなたとあなたの神々を捨てるのを放っておくのですか。かれ（フィルアウン）は言いました。わたしたちは、

かれらの男児を殺して、女児を生かしておくことにする。真にわたしたちは、かれらを支配するのです。128.ムーサーはその民に言いました。アッラーの助けを祈り、耐え忍びなさい。本当に大地はアッラーのものです。かれは御心の僕たちにこれを継がせます。最後（の勝利）は、アッラーを意識する人たちにあるのです。129.かれら（信者）は言いました。わたしたちは、あなた（ムーサー）が来る前も来た後も、迫害を受けてきました。かれ（ムーサー）は言いました。おそらく主は、あなた方の敵を滅ぼし、あなた方をこの地上の後継者とし、どのようにあなた方が行なうかをご覧になるでしょう。

130.実にわれらは、フィルアウンの一族が戒めを受け入れるように、長年の飢饉と不作で懲らしめました。131.でもかれらは良いことがあれば、これはわたしたちの成果であると言い、悪いことがあれば、ムーサーとかれの人びとによる悪運だとします。かれらの悪運は、アッラーの御元から来ているのですが、かれらの多くは理解していません。132.かれらは言いました。あなた（ムーサー）がどんな印をもたらして誘惑しても、わたしたちは決してあなたを信じません。

133.そこでわれらはかれらに明らかな印として、洪水、（大量の）イナゴ、シラミ、カエルや血などを送りました。しかしかれらは高慢な態度を続ける、罪深い人びとでした。134.（例えば）懲罰がかれらに降りかかると、かれらは言いました。ムーサーよ、（この懲罰は）かれがあなたに約束したことだが、わたしたちのために主に救いを求めてくれ。もしあなた（ムーサー）がわたしたちからこの懲罰を除けば、わたしたちはあなたを信じ、イスラーイールの子孫をあなたと一緒に（約束の地へ）行かせるでしょうと。135.でもわれらがかれらから懲罰を除いて、（約束を実行するために）一定の期間を与えると、かれらは（それまでに約束を）破るのです。

136.それでわれらは報復として、かれらを海に溺れさせました。かれ

らはわれらの印を嘘呼ばわりして、無視したからです。137.（それから）われらは虐げられていた人びとを、われらが祝福した東西の大地における後継者としました。（こうして）あなたの主の最善の言葉は、イスラーイールの子孫が耐え忍んだことにより、現実のものとなりました。そしてわれらは、フィルアウンとその民が造り、築き上げてきたものを壊滅したのです。

138.われらはイスラーイールの子孫に海を渡らせました。するとかれらは、偶像に仕えている、とある民のところに、やって来ました。かれらは言いました。ムーサーよ、かれらが持っている神々のような神を、わたしたちのためにも、造ってくれませんか。かれは言いました。実にあなた方は、無知の民です。139.真にこれら（の多神教徒）のしていることは滅びるでしょうし、かれらがしてきたことは無意味です。140.かれ（ムーサー）は言いました。アッラーの他に、わたしはあなた方のために神を求めるでしょうか。かれはどの民族よりも優遇して、あなた方を寵愛されているのに。141.われらがフィルアウンの一族から、あなた方を救ったとき（を、思い出しなさい）。かれらは、あなた方をひどい苦痛で悩まし、あなた方の男児を殺し、女児を生かしておきました。実にその中には、あなたの主からの、偉大な試練があったのです。

142.またわれらは、ムーサーのために30夜を約束し、さらに10（夜）追加して（律法）を完成しました。だからかれの主の定めた（啓示）期間は、40夜（のお籠り）で完了しました。ムーサーは兄のハールーンに言いました。（自分が不在中）人びとの間でわたしの代理をしてください、そして正しい行動を取り、腐敗を広める人の道に従わないように。143.ムーサーがわれらとの約束通りに来ると、主はかれに語りかけました。かれ（ムーサー）は言いました。主よ、御姿を現してください。そしてわたしにあなたを拝顔させてください。かれは言いました。あなたは決してわたしを見ることはできない。だがあの山を見なさい。もしそれがその場

所にしっかりあれば、あなたはそこにわたしを見るでしょう。（しかし）かれの主はその山に御光を現わして、山を粉みじんにしたので、ムーサーは意識を失い倒れました。そして意識が回復すると、かれは言いました。あなたに賛美あれ。わたしはあなたに帰ります。そして信仰する者の、先駆けであります。

144.かれは言いました。ムーサーよ、実にわたしは、わたしの啓示とわたしが話しかけたことによって、あなたを万人の上に選びました。だからわたしが授けたものを肌身離さずに、感謝する者の一人となりなさい。145.またわれらはかれ(ムーサー)のために、すべてのことに関する戒めと解釈とを石版の上に書き記しました。これをしっかり守りなさい。またあなたの人びとに、その中の最も優れたものを守るよう命じなさい。わたしは掟破りの人びとの行き着く先を、あなた方に示すでしょう。146.また地上で不当に高慢である人びとを、わたしは啓示から背き去らせるでしょう。かれらはすべての印を見ても、それを信じません。またかれらは正しい道を見ても、それを（自分の）道としません。ところが邪悪な道を見れば、それを道であるとします。というのも、かれらはわれらの印を嘘呼ばわりし、それを無視するからです。147.われらの印と来世における会見を、虚偽であるとした人びとの行ないは、無意味となります。（果たして）自分の行なってきたこと以外のことで、かれらが応報されることがあるでしょうか。

148.ムーサーの民は、かれの（去った）後、自分たちの装飾品を使って、鳴き声の出る子牛の像を造りました。かれらにはそれがものを言わず、また道案内もできないことが、分らなかったのでしょうか。かれらはそれを（神として）取り扱い、不正を行なう人びととなりました。149.（事態は）自分たちの手に落ちた（後悔した）ので、かれらは迷い去ったことに気づいて言いました。もし、わたしたちの主が慈悲を与えず、また赦さなかったなら、わたしたちは間違いなく失敗者の仲間になったことでし

ょう。150.（その後）ムーサーがその民のところに帰ったとき、怒り悲しんで言いました。わたしの（去った）後、あなた方がここでしたことは、何と悪質でしょう。あなた方は主の命令を待てないのですか。かれ（ムーサー）は石版を投げ、かれの兄弟の頭を掴んで、引き寄せました。かれ（ハールーン）は言いました。わたしの母の子よ、この民はわたしを見下した上、もう少しでわたしを殺すところでした。だからわたしと対立することで、敵を喜ばせてはいけません。そしてわたしを、不正の民と一緒に見なさないでほしい。151.かれ（ムーサー）は言いました。主よ、わたしとわたしの兄弟を赦し、あなたの慈悲の中に入れてください。あなたは慈悲ある者の中で、最も慈悲深いお方です。

152.本当に子牛を（神として）取り扱った人たちは、かれらの主から怒りが届き、現世の生活においても屈辱があるでしょう。このようにわれらは、嘘を捏造する人びとに報いるのです。153.しかし悪行をした人びとでも、その後に改心して信仰するなら、あなたの主は実によく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

154.ムーサーは怒りが静まると、石板を取り上げました。その中には、かれらの主を畏怖する人たちへの、導きと慈悲が記されていました。155.またムーサーは、われらとの（会見の）約束のために、自分の民を70人選びました。そして大地震がかれらを襲うと、かれ（ムーサー）は言いました。主よ、あなたが御望みなら、以前にすでにかれらとわたしを滅ぼしていたでしょう。（それにも関わらず、今）あなたはわたしたちの中の愚かな者が犯したことのために、わたしたち全員を滅ぼすのですか。（しかし）これはあなたの（わたしたちへの）試練に他なりません。（だからそれにより）あなたは御心の人を迷わせ、また御心の人を導きます。あなたはわたしたちの擁護者です。だからわたしたちを赦し、わたしたちに慈悲を与えてください。あなたは、最もよく赦すお方なのです。156.またわたしたちのために、現世でも来世でも、善いものを書き記し

てください。本当にわたしたちは、あなたに帰りました。かれは言いました。わたしは御心の人をわたしの苦痛で悩まします。またわたしの慈悲は、すべてのものにあまねく及びます。だからわたしは（アッラーを）意識し、定めの施しをなし、われらの印を信じる人たちに、それ（慈悲）を書き記すのです。157.かれらは文字を知らない預言者で、使徒である人（ムハンマド）に追従する人たちです。かれ（ムハンマド）は、かれら（啓典の民）の持っている律法と福音の中に記されて、（そこに）見出される人です。かれは良識をかれらに命じ、邪悪をかれらに禁じます。またかれらに善いものを合法（ハラール）とし、醜悪なものを禁忌（ハラーム）とします。こうすることで、かれらの重荷を除き、かれらに対する束縛を解きます。だからかれ（ムハンマド）を信じ、かれを尊敬し、かれを助けて、かれと共に降ろされた御光に従う人びとは、成功する人たちなのです。

158.（ムハンマドよ）言いなさい。人びとよ、わたしはあなた方全人類のための、アッラーの使徒です。かれに諸天と地の大権はあります。かれの他に神はなく、かれは生を授け、死を与えるお方です。だからアッラーと、かれの使徒であり、アッラーとかれの言葉（クルアーン）を信じているが、文字を知らない預言者（ムハンマド）を信じなさい。そしてかれに従いなさい。そうすれば、あなた方は導かれるでしょう。159.ムーサーの民（イスラーイールの子孫）の中には、真理によって（人びとを）導き、またそれによって正義を行なう一団がいます。

160.われらはかれらを共同体として、12支族に分けました。そしてかれ（ムーサー）の民が水を求めたとき、われらはムーサーに啓示しました。あなたの杖で岩を打ちなさいと。するとそこから12の泉が涌き出て、全員自分の水場を知ったのです。またわれらは雲であなた方の頭上に陰を創り、マンナとウズラを与えました161。われらが与えた良きものを食べなさい（と啓示しました）。だから（命令に従わなかった）連中は、われらを損なったのではなく、自分自身を悪に陥れたのです。161.かれら

（イスラーイールの子孫）は、またこう命じられました。この町に住み、あなた方の好きなように食べなさい。ただし、お赦しくださいと言い、頭を低くして門を入りなさい。われらはあなた方の過ちを赦し、また善行の人たちには（報酬を）増し加えることでしょう。162.ところがかれらの間で不正を行なう人たちは、命じられた言葉を入れ替えてしまいました。そして不正を繰り返してきたので、かれらの上にわれらは天から災厄を下しました。

163.（ムハンマドよ）とある海岸の町について、かれら（イスラーイールの子孫）に問いなさい。かれらが安息日に背いたときのことです。魚はかれらの安息日に水面に現れましたが、かれらが安息しない日（平日）には、それらはやって来なくなりました（仕事の日に漁獲がなくなった）。このようにわれらがかれらを試みるのは、かれらが掟に背いてきたためです。164.かれらの中の一団がこう言いました。なぜあなた方（説教師）は、アッラーが滅ぼし、激しい苦痛を与えようとする人びとに諭すのですかと。答えて言いました。あなた方の主に罪の赦しを願うためです。こうすることで、かれら（安息日を守らない人びと）は（アッラーを）意識するでしょう。

165.それでかれらが諭されていることを無視したとき、われらは悪を禁じた人びとを救い、不正を働いた人びとをこの上ない苦痛で襲いました。なぜなら、かれらは掟に背いてきたからです。166.だからかれらが禁じられていることについて則を越えるので、われらはかれらに言ったのです。あなた方は猿になって、軽蔑されるがよいと。

167.あなた（ムハンマド）の主が、復活の日まで、かれら（イスラーイールの子孫）に対して、激しい苦痛を負わせる人びと（征服者）を遣わすと、宣告したときのこと。実にあなた（ムハンマド）の主は、懲罰に迅速ですが、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。168.われらはかれらを、地上で（多くの）集団に散り散りにしました。かれらの中、ある人びと

は正しい人びとで、ある人びとはそうではありませんでした。かれらが（アッラーに）戻って来るかも知れないと思い、われらは順境と逆境で、かれらを試みました。

169.そこでかれら（ムーサーの民）の後に啓典を継承した人びと（ユダヤ教指導者など）は、この低俗な現世の物品（賄賂など）を受け取って、わたしたちは赦されるだろうと言っています。またそれと同じような物品が届けば、さらにそれを受け取るのです。（しかし）真理の他に、かれらがアッラーについて言ってはならないことは、啓典での約束ではなかったのですか。かれらは、その（啓典の）中にあることを、学んでいたのではなかったのですか。（アッラーを）意識する人たちにとっては、来世の住まいこそ最善です。あなた方は理解しないのですか。170.われらは、啓典を遵守し、礼拝の務めを守る人たち、このように身を正す人たちへの報奨を、失念はしません。171.われらがかれらの上を覆うように山を持ち上げ、自分たちの上にそれが落ちて来るとかれらが恐れたとき、（アッラーは言いました。）われらがあなた方に確かに授けたもの（啓典）を遵守し、その中にあることに留意しなさい。そうすればあなた方は（アッラーを）意識するでしょう。

172.あなた（ムハンマド）の主が、アーダムの子孫の腰からかれらの子孫を取り出し、かれら自身について証言させたときのこと。（アッラーは言いました）わたしは、あなた方の主ではないのですか。かれらは言いました。はい、まさしくわたしたちは証言しますと。これは復活の日、わたしたち（アーダムの子孫の腰から出た子孫）はこのことに留意していませんでした、とあなた方が言わないためです。173.もしくは、あなたに同位者を配していたのはわたしたちの先祖で、わたしたちはその後の子孫にすぎません。それであなたは、虚偽に従う人たち（先祖）が行なったことのために、わたしたちを滅ぼすのでしょうか、とあなた方が言わな

いためです。174.このようにわれらは印を解明するのです。かれらが（アッラーに）戻って来るかも知れないと思って。

175.（ムハンマドよ）、われらが印を与えた人の話を、かれらに告げなさい。かれがそれ（印）から離れると、悪魔はかれを従わせたので、(その人は)迷い去った人の一人となったのです。176.もしわれらが望んだなら、われらはそれ（印）によって、かれを引き立てたでしょう。でもかれは地上（現世）に執着し、自分の妄欲に従いました。かれは犬のようなもので、たとえあなたが、それを叱り付けても、放って置いても、舌を垂れています。これはわれらの印を嘘呼ばわりした人の例です。だから、かれらが熟考するために、この物語を告げなさい。177.悪いのは（この）例のように、われらの印を嘘呼ばわりし、自分自身を損なってきた人たちです。178.誰でもアッラーが導いた人は真に導かれた人であり、かれが迷わせた人は損失者なのです。

179.確かにわれらは地獄行きとなる、多くのジン（幽精）と人間を創りました。かれらは、心はあっても悟らず、目はあっても見ず、また耳はあっても聞かないのです。かれらは家畜のようです。いいえ、それよりも迷っています。かれらこそは留意しない人たちなのです。180.アッラーに最もすばらしい美称は属します。だからこれら（美称）で、かれを呼びなさい。そしてかれの美称を冒瀆する人たちは放っておきなさい。かれらは、自分の行なってきたことに報いられるのです。181.またわれらが創った人びとには、真理によって導き、またそれに基づき公正に行なう共同体があります。182.しかしわれらの印を嘘呼ばわりする人たちは、かれらの気づかないところから、われらが少しずつ（破滅を）もたらすでしょう。183.わたしはかれらに猶予を与えます。実にわれらの深謀は確かなのです。

184.かれらは熟考しないのでしょうか。かれらの仲間（ムハンマド）は気が狂ったのではありません。かれは一人の明らかな警告者に他なり

ません。185.かれらは諸天と地の大権について、またアッラーが創造したすべてのものについて、そしてかれらの期限が近くに迫っているかもしれないことについて、考察しないのでしょうか。それでこの後、どんな教えをかれらは信じようとするのでしょうか。186.アッラーが迷わせた人に、導きはありません。かれは、このような人たちが乱心のまま、さまようのを放っておかれます。187.かれらは（審判の）ときについて、到来のときがいつかと、あなたに問うでしょう。言いなさい。その知識は、わたしの主だけに属します。その時を明らかにするのは、かれの他にいません。それは、諸天でも地でも重大なことです。それは突然あなた方にやって来ます。かれらは、あなた（ムハンマド）がそれについて、よく熟知しているかのように考えて、たずねるでしょう。言いなさい。その知識はただアッラーの御元だけにあります。しかし大半の人びとには、（これが）わかりません。188.言いなさい。アッラーが御望みにならない限り、わたし（ムハンマド）自身を益しまたは害する力もありません。もしわたしが見えない世界を知っていたなら、わたしは善を増幅させていただろうし、悪がわたしに触れることもなかったでしょう。わたしはひとりの警告者であり、信仰する人びとのために吉報を伝える、一人の使者にすぎません。

189.かれこそは、一人の者（アーダム）からあなた方を創り、安らぎを得るために、そこからその配偶者を創られたお方です。かれがかの女と交わると、かの女は少し荷を感じた（妊娠した）けれど、それ（胎児）と共に生活していました。しかしかの女が重くなるにつれて、二人は、かれらの主、アッラーを呼びました。もしあなたが良い子をわたしたちにお授けになれば、わたしたちは感謝を捧げる者となりますと。190.ところがかれが二人に良い子を授けると、かれらはかれが授けたものでもって、かれに同位者を並置したのです165。しかしアッラーは、かれら（多神教徒）が同位を配するものの上に、高くおられます。191.かれらは（自

ら）何も創造できないものや、（自らが）創造されたというものを、同位に配するのでしょうか。192.それら（被造物）はかれらを助けられず、（さらには）自分自身も助けられません。193.たとえあなた方（信者）が導きへと、かれら（多神教徒）を呼んでも、あなた方に従わないでしょう。あなた方が呼びかけても、黙っていても、あなた方にとっては同じことです。194.確かにアッラーの他にあなた方（多神教徒）が呼んでいたもの（被造物）も、あなた方のように（アッラーの）僕です。だから（そう言うのなら）それらを呼びなさい。そしてあなた方に返答させなさい。もしあなた方が言うことが本当なら。

195.それら（被造物）には歩く足があるのか。持つ手があるのか。見る目があるのか。聞く耳があるのか。（ムハンマドよ）言いなさい。あなた方（多神教徒）の多神を呼びなさい。さらにわたし（ムハンマド）に対して策謀してみなさい。躊躇することはありません。196.（ひるがえって）誠にわたしの擁護者はアッラーで、啓典を啓示されたお方です。かれは正しい人たちを擁護します。197.そしてアッラーの他にあなた方が呼んでいたもの（被造物）は、あなた方を助けることができず、自分自身さえも助けることができません。198.たとえあなた方（信者）が、かれら（多神教徒）を導きに招いても、かれらは聞きません。あなた（ムハンマド）はかれらが、あなたを傍観しているのを見ますが、かれらは見えていないのです。

199.（ムハンマドよ）寛大さを持ち、正しいことを命じ、無知の人たちから遠ざかりなさい。200.そしてあなた（ムハンマド）を悪魔が誘惑に来たときは、アッラーの庇護を求めなさい。誠にかれは全聴にして全知なのです。201.実に（アッラーを）意識する人たちは、悪魔からの誘惑がかれらに触れるとき、（アッラーを）想起します。だからかれらは、正しく見る人たちなのです。202.でもかれら（悪魔）はその兄弟たち（不信心な連中）を、邪悪に引き込もうとして、手を緩めません。

203. あなた（ムハンマド）が印を一つもかれらにもたらさないでいると、なぜあなたはそれ（印）をお願いしないのですかと、かれらは言いました。言いなさい。わたし（ムハンマド）は、ただ自分の主がわたしに啓示されるものを繰り返すだけです。これは、あなた方の主からの洞察であり、また信じる人たちへの導きであり、慈悲です。204.それでクルアーンが読誦されるときは、それを傾聴し、また静粛にしなさい。そうすれば、あなた方は慈悲を授かるでしょう。205.そしてあなた（ムハンマド）の主を、自分の心の中で畏れ謹み、大声を控え、朝な夕なに唱えなさい。不注意な人たちの仲間となってはいけません。206.本当にあなたの主の御元にいる人たち（でさえ）、かれに服従することで高慢にならずに、（ひたすら）かれを称賛し、かれに平伏（サジダ）しているのです。

8. 戦利品章

al-'Anfal

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.かれらは戦利品について、あなた（ムハンマド）に問います。言いなさい。戦利品はアッラーと使徒のものです。だからあなた方が信者ならば、アッラーを意識し、あなた方の間を正して167、アッラーとかれの使徒（ムハンマド）に従いなさい。2.信者とは、アッラー（の御名）が唱えられるとその心が畏れおののき、かれらに印が読誦されると、信心を深め（そのとき）主に頼りきる人たちです。3.礼拝の務めを守り、われらが授けたものを施す人たち、4.かれらこそ真の信者です。かれらにはアッラーの御元で、（高い）位階と赦しと最善の糧があります。

5.あなたの主が、真理（の戦いの目的）をもって、あなた（ムハンマド）をその家から出て行かせたのです。しかし信者の一派は（戦いを）好みませんでした。6.かれらは真理について、それが明らかにされた後でも、あ

なたと議論します。まるで戦死に向かって追い立てられる姿を、かれらが見ているかのように。7.そしてアッラーが、2隊（敵側のマッカの隊商とマッカの軍隊）の中、1隊はあなた方が負かしてしまうと約束したときのこと。あなた方は武装しない1隊（隊商）が、あなた方のものとなるようにと望みました。しかしアッラーはかれの言葉通り、真理を立証し、非信者を根絶しようとの考えです。8.かれは真理を真理とし、虚偽を虚偽として立証するのですが、たとえ罪を犯す人たちが嫌ってもそうするのです。

9.あなた方が主の援助を求めたとき、かれはあなた方に応えられました。わたしは、次ぎ次ぎに来る1,000の天使たちであなた方を増強するでしょうと。10.アッラーは、ただこれをあなた方への吉報とし、あなた方の心はそれによって安らぐのです。助けはアッラーからだけ（来ます）。アッラーは誠に偉力大かつ英明です。11.（戦いの前夜を思い出しなさい）かれからの安堵として、かれはあなた方を睡眠で包み、空から雨を降らせて、それであなた方を清めて、悪魔の汚れを洗い流し、それであなた方の心を強くして、足場を固めました。12.あなたの主が、天使たちに啓示したとき（アッラーは言いました）、わたしはあなた方と共にいます。だから信仰する人たちを堅固にしなさい。わたしは不信心な人たちの心の中に、恐怖を投げ込みます。そしてあなた方はかれらの首の上を打ち、またそれぞれの指先を打ちなさい。13.なぜならかれらが、アッラーとかれの使徒に反抗したためです。アッラーとかれの使徒に反抗する人には、本当にアッラーは懲罰に厳しいのです。14.（応報とは）こういうもの。だからそれを味わいなさい。そして非信者には（地獄の）火の懲罰があります。

15.信仰する人たちよ、攻撃してくる非信者に会ったとき、あなた方はかれらに背を向けてはいけません。16.その日、かれらに背を向ける人は、作戦として、または（味方の）軍に合流するため以外は、アッラーの

怒りを被り、かれの住まいは地獄となります。何と悪い行き先なのでしょう。

17.あなた方が、かれらを殺したのではありません。アッラーがかれらを殺しました。あなたが投げたとき、あなたが投げたので（敵は敗北したので）はなく、アッラーが投げたのでした。これはかれからの恩寵であり、かれが信者たちを試みたのです。本当にアッラーは全聴にして、全知なのです。18.これがあなた方（非信者）が得るもので、アッラーは非信者の計略を無力にします。19.（非信者よ）もしあなた方が決着を求めるならば、実にその決着は判明しました。あなた方が（反抗を）止めるならば、それはあなた方のために最も善い。しかしあなた方が（攻撃に）戻るならば、われらも戻るだろう。たとえ、あなた方の軍勢が大勢いても役に立ちません。誠にアッラーは、信者たちと共におられるのです。

20.信仰する人たちよ、アッラーとかれの使徒に従いなさい。聞いておきながら、かれ（ムハンマド）に背いてはいけません。21.またわたしたちは聞いた、と言っておきながら、聞かない人のようであってはいけません。22.本当にアッラーの御元での極悪人とは、聞かず、物言わず、そして頭も使わない人たちです。23.もしアッラーが、かれらにわずかでも善いところを認めたならば、かれはかれらに聞かせます。ところが、確かにかれは聞かせたとしても、それでもかれらは反抗して背き去るのです。

24.信仰する人たちよ、アッラーとかれの使徒の呼びかけに応えなさい。かれ（ムハンマド）が、あなた方に生を与えるもの（真理）へと呼びかけるときは。アッラーは、人とその心の間に入ることを知りなさい。そして（死後）かれへと召集されることを知りなさい。25.また反目に注意しなさい。それはあなた方の中、特に不正な人たちだけを害するのではありません。アッラーは、懲罰に厳しいことを知りなさい。

26.あなた方が地上において少数で、抑圧されていたときを思い出しなさい。あなた方は人びと（マッカの多神教徒）が、あなた方を滅ぼして

しまうことを恐れていました。でもかれは、あなた方に避難所を与え、かれの助けによってあなた方を強くされ、またさまざまな善いものを与えました。あなた方は、感謝するでしょう。27.信仰する人たちよ、アッラーとかれの使徒を裏切ってはいけません。また故意に、あなた方への（他の人の）信頼も裏切ってはいけません。28.あなた方の財産と子女は一つの試練であり、またアッラーにこそ、そしてかれの御元にこそ絶大な報奨があることを知りなさい。

29.信仰する人たちよ、もしあなた方がアッラーを意識するならば、かれはあなた方に識別を与え、あなた方の悪行を取り消し、赦すのです。アッラーは偉大な寵愛の持ち主なのです。30.また不信心な人たちが、あなた（ムハンマド）を捕虜にし、または殺害し、または追放しようと策謀したときのことです。かれらは策謀したけれど、アッラーも計略しました。そしてアッラーは最も優れた計略者なのです。

31.われらの印が、かれらに読誦されるとき、かれらは言いました。確かにこれまでに聞いたことがあります。もしわたしたちが望むならば、これと同じようなことが言えます。本当にこれは、昔の物語にすぎませんと。32.またかれらがこう言ったときのこと。アッラーよ、もしこれが本当にあなたからの真理であるならば、わたしたちの上に空から石の雨を降らせるか、またはわたしたちに激しい苦痛をもたらせと。33.でもアッラーは、あなた（ムハンマド）がかれらの中にいる間は、かれらを処罰しませんでした。またかれらが赦しを請うている間は、処罰しませんでした。34.一方禁忌のあるマスジドの差配人でもないのに、かれらがそこ（マスジド）から（人びとを）妨げたことに対しては、アッラーがかれらを処罰せずにはいません。その差配人は（アッラーを）意識する人に限られます。でもかれらの多くはそれが分かりません。35.（アッラーの）家におけるかれらの礼拝ぶりは、ただ口笛を吹いて拍手しているだけです。だからあなた方が不信心であったことに対する、苦痛を味わいなさい。

36.信じない人たちは、アッラーの道から（人びとを）妨げるために、その財産を費やします。そしてそれを費やし続けるでしょう。すぐにそれ（費やした財産）はかれらの後悔の種となり、間もなくかれらは負かされます。不信心な人たちは、地獄に集められるのです。37.これはアッラーが悪人を善人から区別するためで、かれは悪人を次々と積み重ね、かれらを山積みにして地獄に投げ込みます。これらの人、かれらこそ失敗者なのです。

38.不信心な人たちに言いなさい。あなた方が（敵対と不信心を）止めるならば、過去のことは赦されるでしょう。しかしかれらが繰り返すならば、以前の人びとの事例がすでにあるのです。39.だから迫害がなくなるまで、また（禁忌のあるマスジドにおける）儀礼のすべてが、アッラーのためとなるまで、かれらと戦いなさい。もしかれらが止めるならば、確かにアッラーは、あなた方の行なうことすべてを見ておられます。40.そしてもしかれらが背き去るとすれば、アッラーがあなた方の擁護者、つまり最善の擁護者であり、最善の援助者であることを知りなさい。

41.◆10部◆あなた方（信者）が戦いで得たどんな戦利品もその5分の1は、アッラー、使徒（ムハンマド）、近親者たち、孤児たち、貧者たち、旅人たちに属することを知りなさい。もしあなた方がアッラーを信じ、また両軍が会戦した（正邪）識別の日に、われらが僕に啓示したものを信じるならば。本当にアッラーは、すべてに対して全能なのです。

42.あなた方が谷に近い側にいて、かれら（敵側のマッカの軍隊）がその遠方にいて、隊商があなた方よりも低いところにいたときのことです。たとえあなた方が互いに（決戦の）約束をしていたとしても、それは果たせなかったでしょう。しかしアッラーは定めた命令を必ず成し遂げられるので、滅びる人は明らかな証拠に従って滅び、生きる人は明らかな証拠に従って生きるのです。誠にアッラーは、全聴にして全知です。43.アッラーがあなた（ムハンマド）に、夢の中でかれら（敵側）を少数に

見せたとき、かれらを多数に見せていたならば、あなた方（信者）は戦意を失い、決戦について互いに言い争ったでしょう。でもアッラーは（信者を）救いました。本当にかれは、胸の中にあるものを知っています。44.あなた方が、かれらと出会ったとき、かれはあなた方の目にかれらを少数に見せ、またかれらの目にあなた方を少数に見せました。こうしてアッラーは、定めた命令が必ず成し遂げられるようにします。アッラーにこそ、すべてのことは帰着するのです。

45.信仰する人たちよ、敵軍と出会ったときは、堅固にして、ひたすらアッラーを唱念しなさい。そうすればあなた方は勝利するでしょう。46.またアッラーとかれの使徒に従いなさい。そして互いに言い争ってはいけません。さもないとあなた方は戦意を失い、自らの追い風が去ってしまうでしょう。だから耐えなさい。アッラーは耐える人たちと共にいるのです。47.高慢になって、人びとへの見栄のために家を出て（出陣して）、アッラーの道から（人びとを）阻む人（マッカの多神教徒）のようであってはいけません。アッラーはかれらの行なうこと、すべてを把握しているのです。

48.また悪魔が、かれら（多神教徒）にその行ないをうわべは立派であると思わせたとき、かれ（悪魔）は言いました。今日は誰もあなた方（多神教徒）に打ち勝つことはできない。本当にわたしはあなた方の側にいるのですと。しかし両軍が互いに出会ったとき、かれ（悪魔）は踵を返して言いました。実のところ、わたしはあなた方と無関係です。わたしはあなた方が見えないもの（ムスリム側の天使たち）を見ています。わたしは本当にアッラーを恐れます。アッラーは懲罰に厳しいのです。49.偽信者と心に病のある人たちが、信仰（イスラーム）がかれら（信者）を欺いたと言ったときのことです。しかしアッラーを信頼する人にとっては、誠にアッラーは偉力大かつ英明なのです。

50.あなた（ムハンマド）は天使たちが非信者たちの魂を抜き取ると

き、かれらの顔や背中を打つのを見るでしょう。(地獄の)火の苦痛を味わいなさい(と言いながら)。51.これはあなた方の手がもたらしたことなのです。確かにアッラーは、かれの僕たちに不正をしません。52.かれら(非信者)はフィルアウン一族や、かれら以前の人びとと同じように、アッラーの印を信じませんでした。だからアッラーは、その罪のためにかれらを捕らえました。本当にアッラーは、強力で懲罰に厳しいのです。53.このようにアッラーが人びとに与えた(定めの)恩寵については、かれら自身で(心の中にある)自らのものを変えない限り、変えることはありません。誠にアッラーは、全聴にして全知なのです。54.かれら(非信者)は、フィルアウン一族やそれ以前の人びとと同類です。かれらは主の印を嘘呼ばわりしたので、われらはその罪のためにかれらを滅ぼし、フィルアウン一族を溺れさせました。かれらは一人残らず不正を行なう人びとでした。

55.本当にアッラーの御元での極悪の連中とは非信者たちで、かれらは信仰しないのです。56.これらの人は、あなたが約束を結んでも、その度に約束を破ります。かれらは(アッラーを)意識しないからです。57.だからあなた方が、戦場でかれら(ユダヤ教徒)に遭遇するときは、かれらを圧倒することによって、かれらの背後にいる人(マッカの非信者)たちを蹴散らしなさい。そうすれば、かれらは留意するでしょう。58.またあなたが人びと(非信者)の中から裏切りを恐れるならば、同じようにかれらに(約束を)投げ返しなさい。本当にアッラーは、裏切り者を愛しません。

59.非信者たちに、勝ち抜けたと思わせてはいけません。かれらは逃げ切ることはできないのです。60.アッラーの敵であり、あなた方の敵、そしてあなた方は知らないが、アッラーはご存知のかれら側の他の人に恐怖心を与えるため、かれらに対して、あなたにできる限りの戦力と軍馬を備えなさい。あなた方がアッラーの道のために施すものは、あなた

方に完全に払い戻され、不当に扱われることはありません。61.もしかれらが和平に傾いたならば、あなたもそれに傾き、アッラーを信頼しなさい。誠にかれは全聴にして全知です。62.たとえかれらがあなたを欺こうとしても、あなたにはアッラーがいれば十分です。かれこそは、かれの援助と信者たちによって、あなたを手助けする方です。63.またかれは、かれら（信者）の心を結び付けます。たとえあなたが、地上のすべてのものを施しても、かれらの心を結び付けることはできません。しかしアッラーが、かれらの心を結び付けるのです。真にアッラーは偉力大かつ英明な方です。

64.預言者（ムハンマド）よ、あなたと信者たちであなたに従う人には、アッラーがいれば十分なのです。65.使徒（ムハンマド）よ、戦闘において信者たちを鼓舞しなさい。あなた方の中、20人の忍耐強い人がいれば、200人を打ち負かすでしょう。あなた方の中、もし100人（の忍耐強い人）がいるならば、1,000人の非信者を打ち負かすでしょう。なぜならかれら（非信者）は、理解しない人びとだからです。66.今アッラーはあなた方（の負担）を軽減しました。かれはあなた方に、弱みのあることをご存知です。だからあなた方に100人の忍耐強い人がいれば、200人を打ち負かすでしょう。もし1,000人ならば、アッラーの許しの下に、2,000人を打ち負かすでしょう。確かにアッラーは、忍耐強い人たちと共におられます。

67.その地を制圧するまでは、捕虜を捕えることは、使徒（ムハンマド）にとってふさわしくありません。あなた方（信者）は現世の低俗な物品を望むけれど、アッラーは（あなた方に）来世を望みます。アッラーは偉力大かつ英明な方です。68.もし前もってアッラーが書き定めていなかったならば、あなた方はその受け取ったもののために、重大な苦痛に見舞われたことでしょう。69.だからあなた方が、戦利品として得た合法

かつ良いものを享受し、アッラーを意識しなさい。本当にアッラーは、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

70.使徒(ムハンマド)よ、あなた方の手中にある捕虜たちに言いなさい。もしアッラーが、あなた方(捕虜)の心の中に善いもの(誠意)を認めるならば、あなた方が奪われたもの(身代金)よりも善いもの(イスラーム)を与え、かれはあなた方を赦されます。アッラーは、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。71.かれらは以前からアッラーを裏切ってきたが、たとえあなた(ムハンマド)を裏切ろうとしても、かれはあなたに、かれらを制圧させます。アッラーは、全知かつ英明です。

72.信仰して移住し、アッラーの道のために、財産と生命を捧げて奮闘努力した人たちと、かれらに避難所を提供し援助した人たち、これらの人は互いに擁護者です。一方、信仰しても、移住しなかった人たちについては、かれらが移住するまであなた方に保護する義務はありません。でもかれらが宗教(の迫害)に関してあなた方に援助を求めるならば、かれらを助けるのはあなた方の義務です。(ただし)あなた方と盟約のある間柄の人びとに逆らわない限りは。アッラーはあなた方の行なうことを、すべてお見通しです。73.不信心な人たちも、互いに擁護者です。(だから)あなた方(信者)もそう(互いに擁護)しないならば、地上の治安は乱れて、大変な退廃が起こるでしょう。

74.信仰して移住し、アッラーの道のために財産と生命を捧げて奮闘努力した人たちと、かれらに避難所を提供し援助した人たち、これらの人たちは真の信者なのです。かれらには(アッラーからの)赦しと、最善の糧があるでしょう。75.遅れて信仰に入り、移住してあなた方と共に奮闘努力した人たちは、あなた方の仲間です。ただしアッラーの書板では、血縁関係者は(相続において)互いにもっと近いのです。誠にアッラーは、すべてのことをご存知なのです。

9. 悔悟章

al-Tauba

1.アッラーとかれの使徒（ムハンマド）から、あなた方（信者）が盟約を結んだ多神教徒たちへ、解約が告げられたのです。2.（多神教徒よ）４ヵ月間は領土内を（自由に）移動しなさい。でもあなた方はアッラーから逃げられないということ、またアッラーは、信仰を拒否する人たちに恥辱を与えるお方であることを知りなさい。3.そして大巡礼の日に、アッラーとかれの使徒から人びとへの宣言があるのです。アッラーは多神教徒（との盟約）を解約し、かれの使徒も同様にするというのです。だからあなた方（多神教徒）が改心するならば、あなた方のために最も善いのです。しかし背き去るならば、アッラーから逃げられないということを知りなさい。（預言者よ）信仰を拒否する人たちには、激しい苦痛の知らせを伝えなさい。4.ただし、あなた方（信者）が盟約した多神教徒たちで盟約を何一つ破らず、あなた方に敵対する人たちを助けなかった人は別です。だから期間満了まで、かれらとの盟約を果たしなさい。誠にアッラーは、（アッラーを）意識する人たちを愛するのです。

5.禁忌の（４ヵ）月がすぎたならば、あなた方はどこであれ（盟約破りの）多神教徒を見つけ次第殺し、またかれらを捕虜にし、包囲し、あらゆる見張り場所で待ち伏せしなさい。でもかれらが改心し、礼拝の務めを守り、定めの施しをするならば、かれらの道を行かせなさい。誠にアッラーは、よく赦すお方であり、慈悲深いお方です。6.もし多神教徒たちの中に、あなた（ムハンマド）に保護を求める人があれば、かれがアッラーの言葉を聞くことができるよう保護し、さらにかれを安全な所へ護送しなさい。なぜならかれらは、（アッラーの言葉を）知らない人びとだからです。

7.どうして多神教徒たちは、アッラーやかれの使徒と盟約ができるで

しょうか。あなた方（信者）が禁忌のあるマスジドで盟約した人たちは別として。かれらがあなた方に正直である限り、あなた方もかれらに正直でありなさい。誠にアッラーは、（アッラーを）意識する人たちを愛するのです。8.どうして（盟約）できるでしょうか。かれらはあなた方に対し優位に立てば、血縁であれ盟約であれ、あなた方を顧みないのです。かれらは口先ではあなた方を喜ばせているが、心では拒否しています。かれらの多くは掟破りの人びとなのです。9.かれらはわずかな対価でアッラーの印を売り、かれの道から（人びとを）阻みました。実にかれらの行ないは凶悪です。10.かれらは信者に関する血縁も盟約も顧みません。かれらこそは、侵略者なのです。11.でもかれらが改心し、礼拝の務めを守り、定めの施しをするならば、かれらはあなた方の信仰における兄弟です。われらは印を知る人びとに、詳しく解明するのです。

12.しかしかれらの盟約の後にその誓いを破り、あなた方の信仰を罵るならば、非信者の指導者たちと戦いなさい。かれらには、（本当の）誓いというものがないが、（戦うことで）多分かれらは（罵りを）止めるでしょう。13.あなた方(信者)は自らの誓いを破り、使徒（ムハンマド）を追放しようと企て、最初にあなた方を攻撃した人たち（多神教徒）と戦わないのですか。あなた方は、かれらを恐れるのですか。しかしアッラーこそ、最も恐れるべきです。あなた方が信者であるならば。14.かれらと戦いなさい。アッラーはあなた方の手によって、かれらに苦痛を与え、恥辱を与え、かれらに対して勝利を与え、信仰する人たちの胸を癒され、15.またかれらの心の怒りを取り除きます。アッラーは、御心にかなう人を赦します（慈悲をもって改心を受け入れる）。アッラーは全知にして英明なのです。

16.それともあなた方は、放っておかれると思うのですか。アッラーが、あなた方の中、誰が奮闘努力する人たちかを知らないままで、そして誰がアッラーとかれの使徒（ムハンマド）と信者たち以外に、親しい友

を持たない人たちかを知らないままで。アッラーは、あなた方の行なうことをすべてお気づきなのです。

17.多神教徒たちは、アッラーのマスジドを差配すべきではありません。かれらは自分に対して、不信心をもって証言しているのです。これらの人たちの行ないは無益であり、かれらは（地獄の）火の中に永遠に住むでしょう。18.アッラーのマスジドを差配する人たちとは、アッラーと最後の日を信じ、礼拝の務めを守り、定めの施しをなし、アッラー以外の何ものも恐れない人たちだけです。これらの人たちは、導かれた人となるでしょう。19.あなた方は、（非信者が）巡礼者に水を飲ませることや、禁忌のあるマスジドを差配することを、アッラーと最後の日を信じ、アッラーの道のために奮闘努力する人たちの行ないと同じにするのですか。かれらはアッラーの御元において、同じではありません。アッラーは不正の民は導きません。20.信仰して移住し、アッラーの道のために財産と生命を捧げて、奮闘努力した人たちには、アッラーの御元において最高の位階があります。これらの人こそ（究極の）成功者です。21.かれらの主は、かれらにかれの慈悲と満悦、永遠の快適さのある楽園という吉報を与えます。22.かれらはその中に永遠に住みます。アッラーの御元には偉大な報酬があるのです。

23.信仰する人たちよ、もしあなた方の父と兄弟が、信仰より不信仰を好むならば、かれらを同盟者としてはなりません。もしあなた方の中、かれらを同盟者とする人があれば、これらの人は不正を犯す人たちです。24.言いなさい。あなた方の父たち、息子たち、兄弟たち、あなた方の妻たち、近親者たち、あなた方の手に入れた財産、あなた方が不景気になることを恐れる商売、あなた方が好む住まいが、もしもアッラー、かれの使徒（ムハンマド）、そしてかれの道のために奮闘努力することよりも、あなた方にとって好ましいならば、アッラーがかれの命令（懲罰）をもたらすまで待ちなさい。アッラーは掟破りの民を導きません。

25.確かにアッラーは多くの戦場や、さらにフナインの（戦いの）日183においても、あなた方を助けました。そのとき、あなた方が自分の多勢（の軍隊）に満足していたけれど、それは何も役に立たず、大地はこのように広いのに、あなた方には狭くなって、遂にあなた方は背を向けて退却しました。26.それからアッラーは、かれの使徒と信者たちの上に、かれの静穏（サキーナ）184をもたらし、またあなた方には見えない軍勢を遣わして、不信心な人たちを処罰されました。これが非信者への報いなのです。27.しかしその後、アッラーは御心にかなう人の改心を受け入れます。アッラーは、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。28.信仰する人たちよ、実に多神教徒は不浄です。だからこの年以後185、かれらを禁忌のあるマスジドに近づかせてはいけません。たとえあなた方が貧困を恐れても、アッラーが御望みになれば、かれの寵愛によって、すぐにあなた方を富ませるでしょう。誠にアッラーは、全知にして英明です。

29.アッラーと最後の日を信じない人たちや、アッラーとかれの使徒が禁じたことを禁じない人たちと、戦いなさい。また啓典を授けられた人の中で、真理の信仰を認めない人たちとは、かれらが自ら進んで税（ジズヤ）を納め、屈服するまで戦いなさい。30.ユダヤ教徒はウザイルをアッラーの子であると言い、キリスト教徒はマスィーフをアッラーの子であると言います。これはかれらが口先で言うことであり、以前の非信者の言葉をまねているだけです。アッラーが、かれらを撲滅するように願います。かれらの思い違いは、何と甚だしいことか。

31.かれらは、アッラーの他に律法学者や僧職者を、またマルヤムの子マスィーフも主としています。しかしかれらは、唯一神に仕える他は命じられませんでした。かれの他に神はなく、かれを賛美します。かれは、かれらが同位を配するものの上に、高くおられます。

32.かれらは口（の息）で、アッラーの御光（クルアーン）を消そうとし

ますが、たとえ非信者たちが嫌っても、アッラーはかれの御光を全うされるのです。33.かれこそは、導き（クルアーン）と真実の教え（イスラーム）をもって、かれの使徒（ムハンマド）を遣わし、たとえ多神教徒たちが嫌っても、すべての宗教の上にそれ（イスラーム）を表す方です。

34.信仰する人たちよ、律法学者や僧職者の多くは、不正に人びとの財産を大食いし、アッラーの道から（人びとを）妨げています。（預言者よ）かれらは金銀を蓄えて、それをアッラーの道のために施しません。だからかれらに、激しい苦痛の知らせを伝えなさい。35.その日、それ（金銀）は地獄の火で熱せられて、かれらの額やわき腹や背に、焼印が押されるでしょう。（そして告げられるでしょう）これはあなた方が自分のために蓄積したものです。だから自らが蓄積してきたものを味わいなさい。

36.確かにアッラーの御元で（1年の）月数は12ヵ月です。アッラーが諸天と地を創造した日に、アッラーの書板の中で定められ、その中4（ヵ月）は禁忌です。これが正しい教え（計算法）です。だからその（禁忌）期間、あなた方は自らの精神に不正をしてはいけません。そして多神教徒が皆であなた方と戦うように、（あなた方も）皆で戦いなさい。アッラーは、（アッラーを）意識する人たちと共にいることを知りなさい。37.本当に（禁忌月を）延期することは不信心を増長させ、それによって非信者は（さらに）迷い去るのです。かれらはある年は（禁忌月を）合法とし、ある（別の）年は禁忌とします。かれらはアッラーが禁忌としたもの（月）の数と合せるためにするけれど、そうすることで、かれらはアッラーが禁忌としたもの（月）を合法としてしまうのです。かれらの悪い行ないは、かれらにとってうわべは立派に見えるのです。しかしアッラーは、不信仰の民を導きません。

38.信仰する人たちよ、アッラーの道のために出征せよと言われたとき、あなた方は地面に重く張り付いているとは、どうしたことでしょうか。あなた方は来世よりも、現世の生活を喜ぶのですか。しかし現世の生活

の楽しみは、来世に比べればわずかなものにすぎません。39.もしあなた方が出征しないならば、かれは激しい苦痛をもってあなた方を罰し、他の民をもって、あなた方の代わりにするでしょう。あなた方は少しもかれを害することはできません。本当にアッラーは、すべてに対して全能なのです。40.たとえあなた方が、かれ（ムハンマド）を助けなくても、確かにアッラーはかれを助けたのです。非信者たちに追い出されて、一人の友と二人（ムハンマドと教友のアブー・バクル）で洞窟にいたとき、かれ（ムハンマド）はその教友に向かって言いました。悲しんではいけません。アッラーは確かにわたしたちと共におられます。すると、アッラーはかれの静穏（サキーナ）を、かれ（ムハンマド）に降ろされ、あなた方には見えないけれど、（天使の）軍勢でかれを強めました。そして非信者たちの言葉を最も低くし、アッラーの言葉を最も高めたのです。誠にアッラーは偉力大にして英明です。

41.あなた方は軽装備または重装備で出征しなさい。そしてあなた方の財産と生命を捧げて、アッラーの道のために奮闘努力しなさい。もしあなた方が理解するならば、それがあなた方のために最も善いのです。42.もし物品（戦利品）が近くにあり、出征の道のりが容易ならば、かれらはあなたに従ったことでしょう。でもかれらにとっては、その道のりが遠くきつかったのです。そしてかれらはアッラーにかけて誓うでしょう。わたしたちにできることなら、あなた方と一緒に出征していましたと。かれらは自分自身を滅ぼしているのです。アッラーはかれらが、嘘つきであることをご存知です。

43.アッラーが、あなた（ムハンマド）を赦されるように。なぜあなたは、誰が真実を言う人たちであり、誰が嘘つきの人たちかが分かる前に、かれら（偽信者）が（家に）留まることを許したのですか。44.アッラーと最後の日を信じる人たちは、自分の財産と生命を捧げて奮闘努力することを免除するように、あなたに求めたりはしません。アッラーは、（ア

ッラーを）意識する人たちをよくご存知なのです。45.アッラーと最後の日を信じない人たちだけが、あなたに免除を求めます。かれらは心で疑い、それでかれらは疑いの中に揺れ動くのです。46.もしかれらに出征する意志があったならば、そのために準備をしていたはずです。でもアッラーは、かれらを出征させることを嫌われて、動かさずに言われました。あなた方は、（家に）留まる人と共に留まりなさいと。

47.たとえかれらがあなた方と出征しても、ただ足手まといになるだけです。かれらはあなた方の間に不和を求めて探し回るので、その中には、かれらに耳を傾ける人も出てくるでしょう。しかしアッラーは、不正を行なう人びとをよくご存知です。48.確かにかれらは、以前にも不和を求めました。そしてかれらが嫌がる真理が到来し、アッラーの命令が明らかになるまで、かれらはあなた（ムハンマド）に対して策略を巡らせました。

49.かれら（偽信者）の中には、こう言った人がいました。わたしを（家に）留まることを許してください。試練に会わせないでくださいと。かれらはすでに試練の中にいるのです。本当に地獄は、非信者たちを取り囲むのです。50.もしあなたに善いことがもたらされると、かれらは悲しみます。でも災厄があなたを襲うと、かれらは言います。わたしたちは以前から用心していたのだと。そして喜んで背き去るのです。51.言いなさい。アッラーがわたしたちに書き記されたことの他には、何もわたしたちにふりかかりません。かれは、わたしたちの擁護者です。信者たちにアッラーを信頼させなさい。52.言いなさい。あなた方（家に留まった偽信者）は、二つの善の一つ（戦勝または殉教）の他に、何を待っているのでしょうか。わたしたちは、アッラーからの苦痛が、御自身によるか、もしくはわたしたちの手によって、（あなた方に）もたらされることを待ちましょう。だからあなた方は（わたしたちの結果を）待ちなさい。わたしたちもあなた方と共に、（あなた方の結果を）待ちます。

53.言いなさい。たとえあなた方が、本意または不本意に施しをしても、決して受け入れられません。実にあなた方は、掟破りの人たちなのです。54.かれらの施しが受け入れられてもらえないのは、ただかれらがアッラーとかれの使徒を信じないためで、礼拝に来ても、のらりくらりとするだけであり、また施しをしても嫌がりながらするだけだからです。55.だからあなたは、かれらの財産や子女に惑わされてはいけません。アッラーはそれによって、かれらを現世の生活で懲罰し、かれらの魂は不信心のままで離れ去るようにと望まれているのです。56.かれら（偽信者）は、アッラーに誓って、本当にあなた方の仲間ですと言います。しかしかれらは、あなた方の仲間ではありません。かれらは臆病な人びとです。57.もしかれらが、避難所か、洞窟か、逃げ込む所を見出せば、そこに大急ぎで行くでしょう。

58.かれらの中には、施しについてあなた（ムハンマド）を批判する人がいます。もしそれ（施し）を分け与えられるならば、かれらは喜ぶが、分け与えられないならば、怒り出します。59.もしかれらが、アッラーとかれの使徒（ムハンマド）が、自分たちに与えたものに満足していたならば、こう言ったでしょう。わたしたちにはアッラーがいれば十分です。アッラーとかれの使徒は、かれの寵愛からわたしたちに与えるでしょう。わたしたちはアッラーだけに、望みを託します。60.（定めの）施しは、貧乏人、困窮の人、これ（施し）を管理する人、心が（イスラームに）傾いてきた人、奴隷（の解放）、債務者（の救済）、アッラーの道のため（に努める人）、旅人のためのものです。これはアッラーの掟です。アッラーは全知にして英明なのです。

61.またかれら（偽信者）の中には、預言者（ムハンマド）を侮辱して、かれは（何でも聞き入れる）耳ですと言う人がいます。言いなさい。（ムハンマドは）あなた方にとって良いことの聞き手なのです。かれはアッラーを信仰し、信者たちを信頼します。そしてあなた方の中の信仰する人の

ための慈悲ですと。アッラーの使徒を侮辱する人には、激しい苦痛があります。62.かれら(偽信者)は、あなた方(信者)を喜ばせるため、アッラーにかけて誓います。でもかれらが(真の)信者ならば、アッラーとかれの使徒を喜ばせることが正しいのです。63.かれらは知らないのでしょうか、アッラーとかれの使徒に反抗する人には、地獄の火があり、その中に永遠に住むことを。それは大きな屈辱です。

64.偽信者は、かれらが心の中に抱くことを知らせる章が、啓示されることを警戒しています。言いなさい。笑い草にしていなさい。本当にアッラーは、あなた方が警戒しているものをもたらすでしょう。65.もしあなた(ムハンマド)がかれらに問えば、かれらは言うでしょう。わたしたちは無駄話をして、たわむれていただけですと。言いなさい。あなた方は、アッラーとかれの印とかれの使徒を、笑い草にしていたではないですか。66.言い訳をしてはいけません。確かにあなた方は信仰した後、不信心になったのです。もしわれらが、あなた方のある一団を赦しても、他の一団は罰するでしょう。なぜなら、かれらが罪を犯す人びとだったからです。

67.男性の偽信者も女性の偽信者も同じです。かれらは邪悪を命じ、良識を禁じ、その手を握りしめるのです。かれらがアッラーを無視したので、かれもかれらを無視しました。本当に偽信者、かれらは掟破りなのです。68.アッラーは約束しました。男性の偽信者と女性の偽信者、それから非信者が地獄の火の中に永遠に住むことを。かれらにはこれで十分です。アッラーはかれらを拒否し、かれらには永遠の苦痛があるでしょう。69.あなた以前の人びとのように、かれらは、あなた方よりも力強く、財産と子女でも上回っていました。かれら(以前の人びと)はその分け前を享楽し、あなた方(偽信者)も、あなた方以前の人びとがその分け前を享楽したように、その分け前を享楽しました。そしてかれらが(無駄話に)ふけったように、あなた方もふけりました。かれらの行ないは、現

世でも来世でも無益となったのです。これらの人たち、かれらこそ損失者なのです。70.かれらには、かれら以前にいたヌーフ、アード、サムード、イブラーヒームらの民や、マドヤンそして破滅した諸都市の人びとの知らせが、届かなかったのでしょうか。かれらには、自分の使徒たちが明らかな証拠を持って来たのです。アッラーはかれらを害しませんでした。でもかれらは自分自身を害したのです。

71.男性の信者も女性の信者も、互いに仲間です。かれらは良識を命じ、邪悪を禁じます。また礼拝の務めを守り、定めの施しをし、アッラーとかれの使徒に従います。これらの人たちに、アッラーは慈悲を与えます。真にアッラーは、偉力大にして英明なのです。72.アッラーは、男性の信者と女性の信者に、川が下を流れる楽園の中に永遠に住むことを、約束しました。また永遠の楽園の中の、すばらしい住まいを約束しました。でも最高のものは、アッラーのご満悦です。これこそが偉大な勝利なのです。

73.預言者（ムハンマド）よ、非信者と偽信者に対して奮闘努力し、かれらに厳しく対処しなさい。かれらの住まいは地獄です。何と悪い行き先なのでしょう。74.かれらはアッラーにかけて、何も（不信の言葉を）言わなかったと誓います。でも確かにかれらは不信心な言葉を口にし、イスラームを受け入れた後、不信心になり、実現できないことを企てました。（というのも）アッラーとかれの使徒が、かれの寵愛によって、かれら（信者）を豊かにしたことを、不快に思ったからに他なりません。だからもし改心するならば、かれらのために最も善いでしょう。でも背き去るならば、アッラーは現世でも来世でも、激しい苦痛でかれらを罰するのです。かれらには地上において、擁護者も援助者もありません。

75.かれら（偽信者）の中には、アッラーと約束をした人がいて（こう言います。）もしかれが、わたしたちにかれの寵愛を与えるならば、わたしたちは施しを与え、正しい人の仲間になるでしょう。76.でもかれが、

かれの寵愛から与えると、かれらはけちになって、反抗して背き去りました。77.だからかれは、かれらがかれに会う日まで、その心の中に偽善を抱かせました。なぜならかれらが、アッラーとの約束を破り、嘘をついてきたからです。78.かれらは知らないのでしょうか。アッラーが、かれらの秘密も、内密の相談もご存知であることを。またアッラーが、見えないこともすべて把握していることを。

79.信者たちの中で進んで施しを与える人たちを批判し、自分の労働力の他に施すものがない人たちを、笑い草にする人たち（こそ、偽信者）なのです。アッラーはかれら（偽信者）を笑い草にします。かれらには激しい苦痛があるでしょう。80.あなた（ムハンマド）がかれらのために赦しを願っても願わなくても（違いはない）。（さらに）あなたが70回、かれらのために赦しを嘆願しても、アッラーはかれらを赦しません。なぜならかれらが、アッラーとかれの使徒を信じなかったためです。アッラーは掟破りを導きません。

81.アッラーの使徒が（タブークの戦いに出征）後、（家に）留まった人たちは、残留していることを喜び、財産と生命を捧げて、アッラーの道のために奮闘努力することを嫌って（互いに）言いました。この炎暑の中に出征するなと。言いなさい。地獄の火は、もっと激しい熱さです。もしかれらが理解するならば。82.だからかれらを少し笑わせ、かれらが稼いできたことへの報いとして、多く泣かせなさい。83.もしアッラーが、あなた（ムハンマド）をかれら（偽信者）の一団に帰したならば、かれらは出征する許可をあなたに求めるでしょう。そのときかれらに言いなさい。あなた方はわたし（ムハンマド）と共に出征しません。またわたしと共に敵と戦いません。確かにあなた方は、最初（家に）留まることに満足していました。だから留まる人たちと、一緒に座っていなさい。84.あなた（ムハンマド）は、かれら（偽信者）の仲間で死んだ人のために、礼拝をしてはい

けません。またその墓の側に立ってはいけません。本当にかれらは、アッラーとかれの使徒を信じないまま、掟破りとして死んだのです。

85.だからあなたは、かれらの財産や子女に惑わされてはいけません。アッラーはそれらによって、かれらを現世において懲罰し、かれらの魂は不信心のままで離れ去るようにと、望まれているのです。86.アッラーを信じ、かれの使徒と共に奮闘努力しなさい、との章が啓示されたとき、かれらの中で豊かな人たちは、あなた（ムハンマド）に免除を求めて言いました。（家に）留まる人と一緒にいることを許してくださいと。87.かれらは居残る人たちと一緒にいることを喜び、その心は封じられました。だからかれらは理解しないのです。88.一方、使徒（ムハンマド）とかれと共に信仰する人たちは、かれらの財産と生命を捧げて奮闘努力しました。かれらには多くの善いことがあり、かれらこそ成功する人たちです。89.アッラーはかれらのために、川が下を流れる楽園を準備し、かれらはその中に永遠に住みます。これこそが、偉大な勝利なのです。

90.またアラブ遊牧民の中からも、許しを与えてもらうため、（出征免除の）言い訳をする人たちが来ました。そしてアッラーとかれの使徒について嘘をついた人たちは、（家に）留まったのです。かれらの中で信仰しなかった人には、激しい苦痛が襲いかかるでしょう。91.虚弱な人、病人と（アッラーの道のために）施しをするもののない人は、アッラーとかれの使徒に対して忠実である限り、かれらに非難はありません。善行する人たちに対しても、非難される筋はありません。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。92.またあなた（ムハンマド）に乗用の動物を求めて来た人たちにも、非難される筋はありません。あなたは言いました。わたしには、あなた方を乗せる動物を見つけられませんと。（すると）かれらは自ら（購入）資金もないことについて（不甲斐なく思い）、その両目に悲しみの涙をたたえて帰っていったのです。93.◆11部◆非難されるべき筋は、富裕にもかからず、あなたに（出征の）免除を願

い出る人たちだけです。かれらは背後に留まる人たちと一緒にいることを喜びます。アッラーはかれらの心を封じたので、理解しないのです。

94.あなた方（信者）が（出征から）帰ると、かれらは言い訳をします。言いなさい。言い訳はいりません。わたしたちはあなた方を信じません。アッラーは、わたしたちにあなた方（偽信者）の末路を知らせました。アッラーとかれの使徒は、あなた方の行ないを観察します。それからあなた方は、目に見えない世界と目に見える世界を、すべてご存知の方に帰るのです。そのときかれは、あなた方が行なってきたことを知らせるでしょう。95.あなた方（信者）が、（出征から）かれらの元へと帰ってくると、自分たちを（非難せず）放っておいてもらうため、かれらはアッラーにかけて誓いを立てます。それなら放っておきなさい。かれらは実に忌まわしく、地獄がかれらの住まいです。（これが）かれらが稼いできたことに対する報いなのです。96.かれら（偽信者）はあなた方を喜ばせようと、あなた方に誓います。しかしあなた方がかれらについて喜んでも、真にアッラーは、掟破りを喜ばないのです。

97.アラブ遊牧民の不信心と偽信仰は根強く、かれらはアッラーが、かれの使徒に啓示された掟について知ることもないでしょう。でもアッラーは、全知にして英明なのです。98.アラブ遊牧民には、（アッラーの道のため）かれらが施すものを科金のように感じ、あなた方（信者）に不運を待ち望んでいる人もいます。かれらの上にこそ、不運があるでしょう。アッラーは全聴にして全知です。

99.一方、アラブ遊牧民の中で、アッラーと最後の日を信じる人たちは、かれらの施しをアッラーに近づくための手段として、また使徒（ムハンマド）への祝福としてとらえます。見なさい。確かにそれはかれらを（アッラーに）近づける手段であり、アッラーはかれらを、かれの慈悲に浴させるでしょう。実にアッラーは、よく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。

100.最初の先達は（マッカからの）移住者と（マディーナの）援助者

と、かれらの善行に従った人びとです。アッラーはかれらに満悦され、かれらもまたかれに喜悦します。かれは、かれらのために川が下を流れる楽園を準備し、その中にかれらは永遠に住むのです。これこそが偉大な勝利なのです。101.あなた方の周囲のアラブ遊牧民やマディーナの民の中にも、偽信者がいます。かれらは偽信仰に固執しています。あなた（ムハンマド）はかれらを知らないけれど、われらは知っています。（だから）われらは、かれらに二度（現世と墓中で）苦痛を与え、その後かれらは（来世で）重大な苦痛へと追いやるのです。

102.また他にも、自分の罪を認めた人びとがいます。かれらは善行と悪行をしました。ただしアッラーは、かれらを赦されるかもしれません。実にアッラーは、よく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。103.（ムハンマドよ）かれらを浄化して清めるため、かれらの財産から施しを受け取り、かれらのために祈りなさい。確かにあなたの祈りは、かれらにとって安らぎなのです。アッラーは全聴にして全知です。104.アッラー、かれこそが、かれの僕たちの改心を受け入れ、施しを受け取ることを、かれら（偽信者）は知らないのでしょうか。アッラー、かれこそは、いつもよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。105.言いなさい。（善を）行ないなさい。アッラーとかれの使徒と信者たちは、あなた方の行ないを見ていますと。あなた方は、目に見えない世界と目に見える世界を、すべてご存知の方に帰るのです。そのときかれは、あなた方が行なってきたことを知らせるでしょう。106.その他にも、アッラーが苦痛を与えるか、または改心を受け入れるかの裁決を待つ人たちがいます。アッラーは全知にして、英明なのです。

107.また害と不信仰をもたらし、その間に分裂を起こし、また以前にアッラーとかれの使徒に対して戦った人びとの居場所として、マスジドを建立した人たちがいます。かれらは誓います。わたしたちは、ただ善いことを祈願するだけですと。でもアッラーは、かれらが確かに嘘つき

であることを立証します。108.あなた（ムハンマド）は、その（マスジド）中で（礼拝に）立ってはいけません。最初の日から（アッラーを）意識して建立されたマスジドこそが、あなたがそこに立つにふさわしいのです。その中には、自ら清めることを愛する人びとがいます。そしてアッラーは、その身を清める人を愛します。109.それでアッラーを意識し、かれのご満悦を求めてその建物を建立した人が善いのか、それとも崩れそうな崖のふちにその建物を建立した人で、それと共にその地獄の火の中に砕け落ちる人が善いのか。アッラーは不正の人びとは、導きません。110.かれら（偽信者）の心が細かく砕かれない限り、かれらが建立した建物が、かれらの心中の疑念の種でなくなることはありません。アッラーは、全知にして英明なのです。

111.確かにアッラーは、楽園と引き換えに、信者たちからかれらの生命と財産を買い入れました。かれらはアッラーの道のために戦い、殺し、殺されます。それは律法と福音とクルアーンの中にある、かれに対する真実の約束なのです。そして誰がアッラー以上に、約束に忠実でしょうか。だからあなた方は（アッラーとの）取引を喜びなさい。それこそが偉大な勝利なのです。112.改心する人、仕える人、称える人、（アッラーのために）行き来する人、屈折礼する人、平伏礼する人、良識を命じる人、邪悪を禁じる人、そしてアッラーが定めた掟を守る人。これらの信者たちに、吉報を伝えなさい。

113.預言者（ムハンマド）と信者たちが、多神教徒のために、赦しを求めて祈ることは、たとえ近親であっても、かれらが地獄の火の人びとであることが明らかになった後は、適切ではありません。114.イブラーヒームが自分の父のために、赦しを求めて祈ったのは、ただかれ（父）と約束があったからです。それでかれ（父）が、アッラーの敵であることが明からになったとき、かれ（イブラーヒーム）はかれ（父）との関係を断ちました。本当にイブラーヒームは、柔和で辛抱強い人でした。115.アッラー

は人びとを導いた後、かれらが避けるべきこと199を明らかにするまでは、かれらを迷わせません。誠にアッラーは、すべてのことをご存知なのです。116.諸天と地の大権はアッラーに属します。かれは生を授け、死を与えます。あなた方はアッラーの他に、どんな保護者も援助者も見いだすことはできません。

117.確かにアッラーは、預言者（ムハンマド）と移住者たち（ムハージルーン）と援助者たち（アンサール）を、慈悲によって赦しました。かれらは、その一派の心がくじけそうになった後、苦難（タブークの戦い）のときも、かれ（ムハンマド）に従った人たちです。そしてかれはかれらを赦しました。誠にかれこそは、かれらに親切であり、慈悲深いお方です。118.（出征せずにアッラーの赦しから）取り残された3人も（赦されました）。かれら（3人）には広大な大地が狭く感じられ、自分の心も狭く感じられ、そこでかれらはアッラーの他に、かれから逃がれる術はないと確信したのです。すると（アッラーは）かれらが改心できるよう赦しました。実にアッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

119.信仰する人たちよ、アッラーを意識し、誠実な人と一緒にいなさい。120.マディーナの人びとも周辺のアラブ遊牧民も、アッラーの使徒（ムハンマド）の後に居残って、自分の生命をかれ（使徒）の生命より大切にすべきではありません。なぜならかれらが、アッラーの道のために渇き、疲れ、餓え、非信者たちを怒らせる手段を講じて、敵に苦しみを与えることは、ただかれらに善行として記録されるだけだからです。誠にアッラーは、善行する人たちへの報奨を忘れません。121.かれらが大なり小なり施すものや、ひとつの谷を越えること（など）は、ただかれらのために（善行として）記録されるだけです。アッラーは、かれらが行なってきた最善に対して報います。

122.（ただし）信者は一斉に出陣すべきではありません。全員が一斉に出陣するのではなく、いずれの一団からも一部が残り、かれら（残り

組）は宗教について理解を深め、かれら（出陣した連中）が帰ったとき、その人びとに教え伝えるのです。そうすれば、かれらは（悪に対して）用心できるでしょう。

123.信仰する人たちよ、あなた方に近い（アラブ人の）非信者たちと戦いなさい。あなた方が（悪に対して）意志堅固であることを、かれらに知らせなさい。そしてアッラーは、（アッラーを）意識する人たちと共にいることを知りなさい。124.かれらの間に（クルアーンの）章が啓示されると、いつも（偽信者で、こう）言う人がいます。これによってあなた方の誰が信心を深めたでしょうかと。信仰する人たちは、これによって信心を深め喜びます。125.でも心に病の宿る人は、これによってかれらの汚れの上に汚れを加え、非信者として死ぬのです。126.かれらは毎年一度や二度、試みられていることに気づかないのでしょうか。それでもかれらは改心せず、留意もしないのです。127.また章が啓示されるたびに（偽信者は）互いを見合って、誰かがあなた方を監視しているのですかと（言います）。そしてかれらは背き去りました。かれらは理解しない人びとなので、アッラーがかれらの心を背かせたのです。

128.確かにあなた方の間から、あなた方の元に使徒（ムハンマド）がやって来ました。かれは、あなた方が悩んでいることに心を痛め、あなた方のために、とても心配しています。かれは信者たちに優しく慈悲深いのです。129.でもかれらが背き去るならば、言いなさい。わたしにはアッラーがいれば十分です。かれの他に、神はいません。わたしは、かれを信頼します。かれこそ、偉大な玉座の主なのですと。

10. ユーヌス章

Yunus

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ラー。

これらは英知に満ちた啓典の印（クルアーンの言葉）です。 2. われらがかれら（マッカの民）の一人（ムハンマド）に（こう）啓示したことを、人びとは驚くのでしょうか。あなたは人びとに警告し、信仰する人たちには、かれらの主の御元で確固たる足場（栄誉ある地位）がある、との吉報を伝えなさいと。非信者たちは、この男は明らかに魔術師だと言いました。

3.確かにあなた方の主は、アッラーです。かれは６日の間に諸天と地を創造し、それから玉座につき万物を統御するのです。かれの許しの後でなければ、執り成す者はいません。これがアッラー、あなた方の主です。だからかれに仕えなさい。あなた方は留意しないのですか。4.かれがあなた方全員の帰り所であり、このアッラーの約束は真実です。本当にかれは（人間の）創造を始め、それを繰り返します（死後の復活）。これは信仰して善行をした人たちに、公正に報いるためです。でもかれを信じない人には、煮えたぎる飲物と激しい苦痛があります。なぜならかれらは信仰を拒否してきたからです。

5.かれこそは、太陽を発光させ、月を輝かせ、その周期を定め、年数と（時間の）計算をあなた方に教えたお方です。アッラーは真理（目的）を持って、これらを創造しました。かれは、知性ある人びとに印を解明するのです。6.確かに夜と昼との交代や、アッラーが諸天と地に創ったものは、（アッラーを）意識する人たちへの印です。7.本当にわれらとの会見を期待しない人たち、現世の生活を楽しみ満足している人たち、われら

の印に留意しない人たち、8.これらの人たちは、自分が稼いできたことのために、その住まいは（地獄の）火です。9.真に信仰して善行に励む人を、かれらの主は、その信心ゆえに導きます。安楽の楽園の中で、川がかれらの足元を流れます。10.その中でのかれらの祈りは、アッラーよ、あなたに賛美あれ。その中でのかれらの挨拶は、平安あれ。そして祈りの結びは、すべての世界の主であるアッラーに、すべての称賛あれ、です。

11.もし人びとが善を急ぐように、アッラーが、かれらの悪いこと（への願いの実現）も急がれるならば、かれらの（猶予の）期限は終わっていたことでしょう。われらは、われらとの会見を望まない人を、乱心のまま、さ迷うままに放っておきます。12.災厄が人を襲うとき、かれは横たわっていても、座っていても、立っていても、われらを呼びます。でもわれらが、かれから苦難を除くと、かれを襲った災厄のためわれらを呼んだことがなかったかのように振舞います。このように則を越える人には、かれらが行なってきたことのうわべは、立派に見えさせたのです。

13.確かにわれらは、あなた方以前にも、多くの世代が不正を行なったとき、かれらを滅ぼしました。使徒たちが明らかな証拠を持ってかれらの元に来たけれど、かれらは信じませんでした。このようにわれらは、罪深い人びとに報います。14.それからわれらは、かれらの後に、あなた方をこの地における後継ぎとしました。（そうすることで）われらは、あなた方がどのように行なうかを見るのです。

15.でもわれらの明らかな証拠である印がかれらに読誦されたとき、われらとの会見を望まない人たちは言いました。これとは別のクルアーンを持って来なさい、あるいはこれを改変しなさいと。（使徒よ）言いなさい。わたし（ムハンマド）は自分の裁量でこれを改変することはできません。ただわたしに啓示されたものに従うだけです。わたしが、主に背くならば、絶大な日の苦痛を本当に恐れます。16.言いなさい。アッラーが御望みであったならば、わたしはあなた方にそれ（クルアーン）を読誦

せず、またかれがあなた方にそれを教えることもなかったでしょう。それ（啓示）の前、確かにわたしは、あなた方の間で（一緒に）人生をすごしました。それなのにあなた方は、理性を働かせないのですか。17.アッラーについて嘘を捏造し、かれの啓示を拒否する人よりも不正をする人がいるでしょうか。実に罪深い人たちは、栄えません。

18.かれらはアッラーの他に、かれらを害せず、また益ももたらさないもの（多神）に仕えて言うのです。これらはアッラーの御元における、わたしたちの執り成しなのですと。言いなさい。あなた方は、諸天と地についてアッラーはご存じないとして、かれに告げようとするのか。かれを賛美しなさい。かれはかれらが配するものの上に高くおられるのです。19.人類は元来一つの共同体でした。それから仲たがいしたのです。もし以前にあなたの主から啓示された（猶予の）言葉がなかったならば、かれらの間で仲たがいしていることについて、（すでに）裁決されていたでしょう。

20.かれらは言います。なぜかれの主から、一つの印もかれに啓示されないのでしょうかと。言いなさい。目に見えない世界は、アッラーだけのものです。だから待ちなさい。わたし（ムハンマド）もあなた方と一緒に（裁決を）待っているのです。21.苦難が人びとを襲った後、われらが慈悲を与えると、見なさい、かれらはわれらの印に対して策謀を巡らすのです。言いなさい。アッラーは最も迅速に策謀すると。われらの使徒（天使）たちは、あなた方が策謀することを記録しています。

22.かれこそは、陸と海におけるあなた方の旅を可能とする方です。あなた方が船に乗るとき、それら（船）が順風に乗って航海すれば、かれらはそれ（順風）を喜びます。暴風が来ると、大波が四方八方から押し寄せ、かれらは逃げ場がないと観念し、アッラーを呼び、かれに至誠の信心を尽くすのです。（かれらは祈って言います）もしあなたが、わたしたちをこれ（大波）から救えば、感謝を捧げる人になりますと。23.でもかれ

が救助すれば、見なさい、かれらは不当にも地上で欲をたくましくします。人びとよ、あなた方の野望は、ただ自分自身を害するだけ。（せいぜい）現世の生活を楽しみなさい。それからわれらに、あなた方の帰り所はあります。そのときわれらは、あなた方が行なってきたことを知らせるでしょう。

24.現世の生活を例えれば、われらが空から降らせる水（雨）のようなもので、地上の植物がそれ（水）を吸収し、そこから人間や家畜は食べます。そのとき大地は美しく彩られ、そこの人びとは、自分たちがそれ（大地）を差配する力を持っていると思い込むのです。（ところが）われらの命令が夜でも昼でも届けば、われらはそれを刈り取られたものにするでしょう。昨日まで（何一つ）育っていなかったかのように。このようにわれらは、熟考する人びとのために印を解明するのです。

25.アッラーは（人びとを）平安の住まいに招き、かれが望む人をまっすぐな道に導きます。26.善行をした人には最高の報奨があり、また追加もあります。暗さや恥辱がかれらの顔を覆うことはありません。これらの人びとは楽園の住人で、かれらはその中に永遠に住むでしょう。27.でも悪を稼いできた人びとには、同等の悪の報いがあります。そして屈辱がかれらを覆うでしょう。アッラー（の懲罰）から、かれらを守るものは何もありません。かれらの顔は、まるで闇夜の（黒い）切れ端に覆われたかのようです。これらの人びとは（地獄の）火の住人で、かれらはその中に永遠に住むでしょう。

28.その日、われらは一人残らずかれらを召集し、そのときわれらは、多神を配していた人たちにこう言います。あなた方とその多神は、あなた方の場所に留まれと。それからわれらがかれらの間を引き離すと、かれらの多神は（こう）言うのです。あなた方（多神教徒）は、わたしたち（多神）に仕えてきませんでした。29.アッラーは、わたしたちとあなた方との間の立証者として十分です。わたしたち（多神）はあなた方の崇拝

行為に気がつきませんでした。30.そのとき各人は、過去にしてきたことを問われ、かれらの真の擁護者である、アッラーへと帰ります。そしてかれらが捏造してきたもの(多神)は、かれらを捨て去るのです。

31.(ムハンマドよ)言いなさい。空と地から、あなた方に糧を供給するのは誰なのか。聴覚や視覚を支配するのは誰なのか。死んだものから生命をもたらし、生命から死をもたらすのは誰なのか。そして万物を統御するのは誰なのか。かれらは、アッラーと言うでしょう。ならば(預言者よ)言いなさい、なぜあなた方は、(アッラーを)意識しないのですか。32.これが、あなた方の真の主、アッラーです。この真理から離れては、誤ちの他に何があるでしょう。それであなた方は、どうして背き去るのか。33.このように、掟破りの人たちは信仰しない、というあなたの主の言葉が、真実であることがかれらに証明されました。

34.言いなさい。あなた方の多神の中、誰が創造し、それを繰り返すのですかと。言いなさい。アッラーが創造し、それを繰り返すと。あなた方は、どうして思い違いをしているのでしょうか。35.言いなさい。あなた方の多神の中、誰が真理に導くのですかと。言いなさい。アッラーは真理に導きますと。それでは真理に導く方に従う価値があるのか、または導かれない限り道を見出せない者の方(に従う価値があるの)か。あなた方はどうかしましたか。あなた方はどう判断するのですか。36.かれらの多くは臆測に従うだけです。本当に臆測は、少しも真理に取って代わることはできません。誠にアッラーは、かれらの行なうことをよくご存知です。

37.このクルアーンは、アッラーでない者によって捏造されたものではありません。他方これは、それ以前にあった啓示の確証であり、すべての世界の主からの疑いの余地のない啓典の解明です。38.かれらは言います。かれ(ムハンマド)がそれを(本当に)捏造したのですかと。言いなさい、それなら、それ(クルアーン)に似た章を持ってきなさい、それで

あなた方の言うことが本当なら、アッラーの他にできる者を呼びなさいと。39.いいえ、かれらは理解できないものや、かれらに解明されていないものを嘘だというのです。このようにかれら以前の人たちも、嘘であるとしました。だから見なさい、不正を行なう人たちの末路がどのようであったかを。

40.かれらの中、ある人はそれ（クルアーン）を信じ、ある人はそれを信じません。あなたの主は、腐敗を広める人たちをご存知なのです。41.もしかれら（多神教徒）があなた（ムハンマド）を嘘つき呼ばわりするなら、言いなさい。わたしには自分の行ないがあり、あなた方にはあなた方の行ないがあります。あなた方はわたしが行なうことに関係なく、わたしはあなた方が行なうことに関係ない。42.ただし、かれらの中には、あなた（ムハンマド）に耳を傾ける人がいるでしょう。でもかれらが考えなければ、あなたは耳が聞こえない人たちに聞かせることができるでしょうか。43.またかれらの中には、あなたを見ている人がいるでしょう。でもかれらが見ようとしなければ、あなたは見えない人たちを導くことができるでしょうか。44.確かにアッラーは決して人間を損ないません。でも人間は自らを損なうのです。

45.かれが、かれらを召集する（審判の）日、かれらは昼間の1時間も、（現世や墓の中に）留まらなかったかのように（短く感じつつ）、互いに認識するでしょう。本当にアッラーとの会見を嘘だとした人たちは損失者で、導かれなかった人たちです。46.われらがあなた（ムハンマド）に、かれらに約束した（末路の）一部を示すにしても、または（まず）われらがあなたを召すにしても、われらにかれらの帰り所はあります。そしてアッラーは、かれらが行なっていることの立証者なのです。

47.それぞれの共同体には使徒がいます。だからかれらの使徒がやって来るとき、かれらの間は公正に裁決されます。そしてかれらは不当に扱われません。

48.かれらは言います。それであなた（ムハンマド）の言うことが本当なら、いつこの約束が果たされるのかと。49.言いなさい。アッラーが御望みにならない限り、わたしは自分を害し、または益する力もありません。それぞれの共同体には定められた（猶予の）期限があるのです。その期限が来れば、一瞬も先延ばしすることはできないし、また早めることもできません。50.言いなさい。あなた方は考えないのか、もしかれの苦痛が夜でも昼でも、あなた方にやって来るならば、罪深い人たちはどうしてそれ急ぐのでしょうか。51.それが実際に起きたら、あなた方は信じるのか。今（頃になって信じるの）か。確かにあなた方は、それ（苦痛）を急いで望んでいた。52.それで不正をした人には、こう言われるのです。永遠の苦痛を味わいなさい。あなたは、自分が稼いできたこと以外に、報われる（と考える）のですかと。

53.かれら（多神教徒）はあなたに問います。それは真実なのかと。言いなさい。その通り、わたしの主にかけて、誠にそれが真実で、あなた方は逃げられないと。54.不正を行なったすべての人が、地上のすべてのものを所有しているならば、それをもって罪を償おうとするでしょう。かれらが苦痛を見るとき、かれらは悔悟の念を打ち明けるのです。（しかし）かれらの間は公正に裁定され、不当に扱われることはありません。55.確かに諸天と地にあるものは、アッラーのものです。本当にアッラーの約束は真実です。でもかれらの多くは知りません。56.かれは生命を与え、また死を与えます。そしてかれにあなた方は帰されるのです。

57.（信者も非信者も）人びとよ、確かにあなた方の主から戒めが届きました。これは胸の中にあるものを癒し、信者たちへの導きであり、慈悲なのです。58.（ムハンマドよ）言いなさい。アッラーの寵愛とかれの慈悲によって、かれら（信者）に喜ばせておこう。それはかれらが（現世で）蓄積しているものに勝るのです。59.言いなさい。アッラーが、あなた方のためにもたらした糧を見てみなさい。あなた方はそれを、非合法（ハ

ラーム）と合法（ハラール）とに（分け）たのです。言いなさい。アッラーがあなた方（信者）に許したのですか、またはアッラーについてあなた方（非信者）が捏造したのですか。60.アッラーについて嘘を捏造した人たちは、復活の日、何を考えるのでしょうか。真にアッラーは、人間に対して偉大な寵愛の持ち主なのです。でもかれらの多くは感謝しません。

61.あなた（ムハンマド）がどのような状況にあっても、あなたがクルアーンの（どこを）読誦していても、あなた方（信者も非信者も）がどんな行ないをしていても、あなた方がそれに取り組んでいるとき、われらはあなた方の立証者なのです。地と諸天のわずかな塵の重さも、あなたの主から逃れられません。またそれよりも小さいものでも、大きいものでも、はっきりと書板の中に（記されて）いないものはないのです。62.見なさい。誠にアッラーの友（篤信の人）には、恐怖もなく悲哀もないでしょう。63.かれら（信者）は信仰し、（アッラーを）意識してきた人たちです。64.かれらには現世でも、来世においても吉報があります。アッラーの言葉に変更はありません。それこそは偉大な勝利です。65.かれらの言葉が、あなた（ムハンマド）を悲しませてはいけません。真に権勢は、すべてアッラーのものです。かれは全聴にして全知です。66.見なさい。誠に諸天と地のすべてのものは、アッラーのものです。アッラーを差し置いて祈りを捧げる人たちは、多神に従うわけではありません。かれら（非信者）はただ憶測に従い、（勝手に）推測するだけです。67.かれこそは、あなた方が休息できるように夜を定め、また見るために昼間を明るくする方です。本当にその中には、聞く耳を持つ人たちへの印があります。

68.かれら（多神教徒）は言います。アッラーはひとりの子をもうけられたと。かれに至高の賛美あれ。かれは自ら満ち足りている方です。諸天と地のすべては、かれのものです。あなた方はこれ（ひとりの子などと言うこと）に対して、権威はありません。あなた方はアッラーについて、自分の知らないことを語るのですか。69.言いなさい。誠にアッラーについ

て嘘を捏造する人は、決して成功しないでしょう。70.現世の生活の楽しみがあっても、それからわれらにかれらの帰り所はあるのです。その後、われらは激しい苦痛を与えるでしょう。なぜなら、かれらが信仰を拒否してきたからです。

71.かれらにヌーフの物語を読誦しなさい。かれ（ヌーフ）が自分の民にこう言ったときのことです。わたしの民よ、たとえわたしが居ることや、アッラーの印を思い起こさせることがあなた方にとって負担でも、わたしはアッラーを信頼します。だからあなた方は自分の計画を、あなた方の多神と共に決めなさい。それであなた方の計画に、半信半疑ではいけません。わたしに対してその計画を実施し、（それを）先送りにしないように。72.たとえあなた方が背き去っても、わたしはあなた方に報酬を求めなかった。わたしの報酬は、ただアッラーからあるだけで、そしてわたしは、ムスリムであるよう命じられた。73.でもかれらはかれ（ヌーフ）を拒否したので、われらはかれとかれの方舟で共にいる人たちを救い、かれら（方舟の人たち）を（地上の）後継者とし、われらの印を拒否した人たちを溺れさせました。見なさい。警告された人たちの末路がどんなものであったかを。

74.それからかれ（ヌーフ）の後、われらは使徒たちをかれら（子孫）のそれぞれの民に遣わし、かれらは明らかな証拠と共にやって来ました。でもかれら（人びと）は、以前に嘘つき呼ばわりしたものを信じようとしませんでした。このようにわれらは、敵対する人たちの心を封じるのです。

75.それからわれらは、かれらの後ムーサーとハ―ルーンを、フィルアウンとその指導者たちに、われらの印と共に遣わしました。しかしかれらは高慢で罪深い人びとでした。76.それでわれらから真理がかれらにもたらされたとき、かれらは言いました。確かにこれは明らかに魔術ですと。77.ムーサーは言いました。あなた方は、あなた方にもたらされた

真理について、そんなことを言うのですか。これが魔術なのでしょうか。魔術師たちは成功しません。78.かれらは言いました。あなたは、わたしたちの先祖が見出したもの（伝統）から背かせるために、わたしたちのところに来たのですか。あなた方二人は、この地で偉くなろうとするのですか。わたしたちはあなた方二人を信じる者ではありません。

79.（そこで）フィルアウンは言いました。すべての熟達の魔術師を、ここに連れて来なさい。80.魔術師たちが来ると、ムーサーはかれらに言いました。あなた方が投げたいものを投げなさい。81.かれらが投げたとき、ムーサーは言いました。あなた方がもたらしたものは魔術です。実にアッラーはそれを無にします。確かにアッラーは、不正の人たちの行為を正しません。82.そしてアッラーは、かれの言葉をもって、真理を樹立するのです。たとえ罪深い人たちが嫌がっても。

83.しかしかれの民の子孫の他は、誰もムーサーを信じませんでした。フィルアウンやかれらの指導者たちが、かれらを迫害するかもしれないという恐怖のために。本当にフィルアウンは地上において暴君で、則を越える者でした。84.ムーサーは言いました。わたしの民よ、もしあなた方がアッラーを信仰するならば、そしてもしあなた方がムスリム（服従する人）ならば、かれに帰依して信頼しなさい。85.するとかれらは言いました。わたしたちはアッラーを信頼します。わたしたちの主よ、わたしたちを不正の民にとっての試練（迫害の対象）としないでください。86.あなたの慈悲をもって、わたしたちを不信心の民から救い出してくださいと。

87.われらはムーサーとかれの兄弟（ハールーン）に啓示しました。あなた方の民のためにエジプトを居所とし、それを崇拝の場とし、礼拝の務めを守りなさい。また信者たちに、吉報を伝えなさい。

88.ムーサーは言いました。わたしたちの主よ、確かにあなたはフィルアウンとかれの指導者たちに、現世の生活の栄華と財産を授けまし

た。わたしたちの主よ、(このように)かれらは(人びとを)あなたの道から迷い去らせています。わたしたちの主よ、かれらの財産を破壊し、かれらの心を頑固にしてください。そうすることでかれらが、激しい苦痛を見るまで信じないままでいますように。

89.かれは言いました。あなた方二人の祈りは受け入れられました。だから二人はまっすぐな道に従い、無知な人たちの道に従ってはいけません。

90.われらは、イスラーイールの子孫に海を渡らせ、フィルアウンとかれの軍勢は、傲慢な心と敵意を持ってかれらを追跡しました。溺死がかれ(フィルアウン)を捉えたとき、かれは言いました。わたしは信じます。イスラーイールの子孫が信じるかれの他に、神はありません。わたしはムスリムですと。91.今(頃になって信じるの)か。確かにあなたはこれまでは、不服従で腐った人でした。92.でも今日、われらはあなたの後を継ぐ人びとへの印とするため、あなたの(遺)体を残そう。ただし多くの人びとは、われらの印に留意しません。

93.誠にわれらは、イスラーイールの子孫を良好な地に定住させ、かれらに善いものを授けました。それでかれらは知識(律法)が来るまで、仲たがいしなかったのです。誠にあなたの主は、復活の日にかれらが仲たがいしていたことについて、かれらの間を裁決するでしょう。

94.われらがあなた(ムハンマド)に啓示したものを、もしあなたが疑うならば、あなた以前から啓典を読んでいる人(ユダヤ教徒やキリスト教徒)たちに聞きなさい。確かに真理は、あなたの主からあなたに届いたのです。だからあなたは、疑いを抱く人の仲間になってはいけません。95.またあなたは、アッラーの印を嘘である、とする人の仲間になってはいけません。さもないと損失者となってしまうでしょう。

96.確かにあなたの主の言葉(懲罰)が現実となった人は、97.たとえ、かれらにすべての印が届いても、激しい苦痛を見るまでは信仰しま

せん。98.それで信仰し、その信仰心が役に立ったという町が、なぜユーヌスの民の他にはいなかったのでしょうか。かれら（ユーヌスの民）が信仰に入ったとき、われらは、現世の生活における屈辱的な苦痛をかれらから取り払い、しばらく（現世を）享受させたのです。

99.もしあなたの主の御心ならば、地上のすべての人は一人残らず信仰に入っていたことでしょう。それなのにあなた（ムハンマド）は、かれら（多神教徒）が信者になるまで（イスラームを）強制するのですか。100.アッラーの許しがなければ、信仰する人はいないのです。また理性を使わない人たちには、かれは懲罰をもたらします。

101.言いなさい。諸天と地にあるものを観察しなさい。ただし信仰しない人びとには、印も警告も役に立たないのです。102.それでかれら（多神教徒）は、かれら以前に過ぎ去った人びとと同じような（懲罰の）日々を、待っているのでしょうか。言いなさい。それなら待ちなさい、わたしもあなた方と共に待つ者です。103.われらは、われらの使徒たちと信仰する人たちを救うでしょう。このように信者を救うのは、われらに課された義務なのです。

104.言いなさい。人びとよ、たとえあなた方（多神教徒）がわたしの信仰について疑っても、わたしは、あなた方がアッラーを差し置いて仕えているもの（多神）に、仕えません。でもわたしは、あなた方を召されるアッラーに仕えます。そしてわたしは信者であるよう命じられているのですと。105.（だから）あなたの顔を、純正な信仰に向けなさい。そして多神教徒の仲間であってはいけません。106.またアッラーを差し置いて、あなたを害せず、また益ももたらさないもの（多神）に祈ってはいけません。もしこれをしたならば、あなたは本当に不正を行なう者の仲間となるでしょう。107.もしアッラーがあなたを災厄で襲えば、かれの他にそれを除く者はいません。またかれがあなたに幸福を望まれれば、かれの寵

愛を押し返す者はいません。かれはその僕の中、御望みの者に、それを与えます。誠にかれはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

108.言いないさい。人びとよ、あなたの主から、あなた方に真理が届きました。だから正しい道を歩む人は、ただ自分のために正しい道を歩み、迷う人はただ自分を害して迷うのです。わたし（ムハンマド）は、あなた方の保護者ではありません。109.それであなたに啓示されたものに従い、アッラーが裁決するまで耐えなさい。かれは最も優れた裁決者なのです。

11. フード章

Hud

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ラー。

（これは）英明かつ、すべてを見抜くお方（アッラー）からの（啓典で）、その印は完成され、解き明かされた啓典（クルアーン）です。2.アッラーの他、誰にも仕えてはいけません。確かにわたし（ムハンマド）は、かれから（遣わされた）あなた方への警告者であり、吉報の伝達者です。3.それであなた方の主の赦しを請い願いなさい。あなた方は、かれへと改心して帰りなさい。（そうすれば）定められた（死の）期限まで、かれは生活の楽しさを与えます。また寵愛を受けるべきすべての人に、かれはかれの寵愛を与えます。でもあなた方が背き去るのであれば、本当にわたしはあなた方のために、絶大な（審判の）日の苦痛を恐れます。4.アッラーにあなた方の帰り所はあります。かれはすべてに対して全能なのです。

5.見なさい。かれら（マッカの多神教徒）は自分たちの胸をたたみ込んで、かれから（不信心を）隠そうとします。本当に、かれらが自分の衣服を着こんでも、かれはかれらの隠すことも、現すこともご存知です。確か

にかれは、胸の中にあるものをよく知っています。6.◆12部◆アッラーにその糧をもらっていない地上の生き物はいません。かれはそれら（すべての生き物）の居場所と（死体の）安置場所をご存知で、すべてはっきりと書板に（記録が）あるのです。

7.かれこそは、6日の間に諸天と地を創造した方で、（それ以前に）かれの玉座は水の上を覆っていました。それ（諸天と地の創造）は、かれがあなた方の中で、誰が最も行ないに優れているかを見分けるためにあります。でもあなた（ムハンマド）が、あなた方は死後復活するのですと言えば、非信者たちは、それは明らかに魔術にすぎないと言うでしょう。8.もし定められた（死の）期限まで、われらがかれらへの苦痛を遅らせれば、かれらは（こう）言うでしょう。一体何がそれ（苦痛）を引き留めているのですかと。（ところが何と）それ（苦痛）が到来する日、かれらから（苦痛）は逸らされず、かれらは笑い草にしていたものによって取り囲まれます。

9.もしわれらが、人間にわれらからの慈悲を与え、その後それ（慈悲）をかれから取り上げれば、絶望して不信心になるのです。10.でも苦難がかれを襲った後、われらが恩寵を与えると、かれは（こう）言うでしょう。不幸はわたしから去ってしまったと。それでかれは大喜びして自慢げになります。11.ただし忍耐して、善行をする人たちといえば、かれらには（アッラーからの）赦しと偉大な報奨があるのです。

12.あなた（ムハンマド）はきっと、あなたに啓示されたものの一部を、放棄したいかもしれません。またそれによって、あなたの胸は締め付けられているかもしれません。なぜならかれら（非信者）が（こう）言うからです。どうしてかれ（ムハンマド）には財宝がもたらされないのか。どうして一人の天使も、かれと一緒に来なかったのかと。実にあなたは一人の警告者にすぎません。そしてアッラーがすべてに対する保護者なのです。13.またかれらはこう言います。かれ（ムハンマド）がそれ（クルアー

ン）を捏造したのですと。言いなさい。そうならば、それ（クルアーン）のような10章を捏造してでも持って来なさい。またもしあなた方（非信者）の言葉が本物であれば、誰でもアッラー以外の者を呼ぶがいい。14.もしかれら（多神）があなた方（の呼びかけ）に答えないならば、それ（クルアーン）がアッラーの知識だけから啓示されたものであること、またかれの他に神はないことを知るでしょう。そうすれば、あなた方はムスリム（アッラーに従う人）になるのですか。

15.現世の生活とその栄華を望む人には、われらはそこ（現世）でのかれらの行ないに対し、十分に報います。かれらはそこ（現世）で、少しも減らされることはないのです。16.これらの人は、来世において（地獄の）火の他に何もない人たちです。そこ（現世）でかれらが作り上げたことは実を結ばず、その行なってきたことは無意味になります。

17.（そんな人たちと比べて）一体誰にかれの主からの明証（クルアーン）があり、かれからの証言者（天使ジブリール）がそれを読み上げ、それ以前の導きであり慈悲であるムーサーの啓典（律法）があるというのか。これらの人たちはそれを信じますが、（他方）それを信じない連中にとっては、（地獄の）火がかれらの約束された場所なのです。だからあなたは、それについて疑ってはいけません。本当にそれはあなたの主からの真理です。でも人びとの多くは信じないのです。

18.アッラーについて嘘を捏造する人よりも、不正を行なう人がいるでしょうか。かれらは主の前に連れ出され、その証言者（天使）たちは言います。これらは、主に対して嘘をついた人たちですと。まさしく、アッラーの拒否は不正を行なう人たちに向けられ、19.かれらはアッラーの道から（人びとを）妨げ、（その道を）曲げようとする人たちで、来世を否定する人たちです。20.これらの人たちは、地上において（罰を）逃れることができず、またかれらには、アッラーの他に擁護者もないのです。かれらに対する苦痛は倍加されるでしょう。かれら（の心）は聞くことができず、

また見ることもできないのです。21.これらの人は、自分自身を滅ぼす人たちで、かれらが捏造するもの（多神）が、かれらを捨て去るのです。22.疑うことなくこれらの人は、来世において最大の損失者となるのです。

23.真に信仰して善行に励み、また主の前で謙虚な人たち、これらの人は楽園の住人で、永遠にそこに住むでしょう。24.この二人を例えるならば、目が見えず耳が聞こえない人と、目も見えれば耳も聞える人のようです。かれらは同じでしょうか。それであなた方は留意しないのでしょうか。

25.われらはヌーフを、かれの民に遣わしました。（そして人びとに告げるように命じました）確かにわたし（ヌーフ）はあなた方に対する明らかな警告者です。26.あなた方はアッラーの他に仕えてはいけません。本当にわたしは、あなた方に対する、その（審判の）日の激しい苦痛を恐れます。27.すると、かれの民の中にいる不信心な指導者たちは言いました。あなたはわたしたちと同じ人間にすぎないと思う。しかも、あなたに従うのは、未熟でわたしたちの間の低俗な人たち以外にいないと思える。またあなた方（ヌーフたち）には、わたしたちよりも優れたところはないでしょう。それどころか、わたしたちは、あなた方を嘘つきであると思う。

28.かれ（ヌーフ）は言いました。わたしの人びとよ、考えてみなさい。たとえわたしが、主からの明証（啓示）の上に立ち、かれがかれの御元からわたしに慈悲を与えたとしても、あなた方にそれ（明証）が隠されているならば、わたし（ヌーフ）たちはあなた方の意に反して、それを強いることができるでしょうか。29.わたしの人びとよ、わたしはこれ（教化）に対して、あなた方に財貨を求めません。わたしの報奨は、ただアッラーからをいただくだけです。またわたしは（社会的地位の低い）信者たちを追い返そうとはしません。確かにかれらは、かれらの主に会うので

す。他方わたしは、あなた方が無知の民だと思うのです。30.わたしの人びとよ、もしわたしが、かれら（信者）を追い返そうものならば、誰がアッラー（の懲罰）からわたしを助けられるでしょうか。それでもあなた方は留意しないのですか。31.わたし（ヌーフ）はあなた方に向かって、アッラーの宝物がわたしの手元にあるとも、わたしが見えない世界を知っているとも、わたしが天使であるとも言いません。またわたしは、あなた方の目が見下す人たちに向かって、アッラーがかれらに良いものを与えないとも言いません。アッラーは、かれらの心の中を、最もよくご存知なのです。確かにわたしは（そのようなことを言えば）不正を行なう人になってしまうのです。

32.かれらは言いました。ヌーフよ、あなたはわたしたちと長々と議論しました。もしあなたの言葉が真実ならば、あなたが脅かすもの（懲罰）を、わたしたちにもたらしなさい。33.かれ（ヌーフ）は言いました。アッラーだけがあなた方にそれをもたらします。かれが御望みならば。あなた方は（懲罰から）逃げられないのです。34.（だから）たとえわたしが、あなた方に助言したくても、アッラーが、あなた方を迷うに任せるお気持ちならば、わたしの助言は役に立たちません。かれこそがあなた方の主なのです。そしてあなた方はかれの御元に帰るのです。

35.またかれら（マッカの多神教徒）は、かれ（ムハンマド）がそれ（クルアーン）を捏造したと言っています。言いなさい。もしわたしがそれを捏造したならば、罪はわたしにあります。でもわたしは、あなた方が犯している罪には、かかわりありません。

36.ヌーフにはこう啓示されました。すでに信仰した人の他は、もうあなたの民は信仰しないでしょう。だからかれらがしてきたことについて悩んではいけません。37.そしてわれらの目（監督）の下で、われらの啓示に従って方舟を作りなさい。また不正を行なう人について、わたしに陳情してはいけません。確かに、かれらは溺れ死ぬ人たちなのです。38.そ

こでかれ（ヌーフ）は方舟を作り始めました。かれの民の指導者たちは、かれの側を通りすぎるたびに、かれを笑い草にしました。かれは言いました。たとえ（今）あなた方がわたしたちを笑い草にしても、あなた方が笑い草にするように、いずれわたしたちが、あなた方を笑い草にするでしょう。39.すぐにあなた方は、恥辱の苦痛が誰に訪れるか、永遠の苦痛が誰の上に降りかかるかを知るでしょう。

40.われらの命令が来て、かまど（をひっくり返すように大地）の水があふれ出たとき、われらは言いました。（ヌーフよ）すべての生き物の各一対（雌雄）と、あなたの家族―ただし（すでに溺死宣告の）言葉が出された人を除いて―、また信者たちを乗せなさい。でもかれ（ヌーフ）と共に信仰した人はわずかでした。41.かれは言いました。これ（方舟）に乗りなさい。アッラーの御名によって。航海においても停泊においても。本当にわたしの主は、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。42.それ（方舟）はかれらを乗せて、山々のような波の上に動き出しました。そのときヌーフは、（方舟から）離れていたかれの息子に叫んで言いました。息子よ、わたしと一緒に乗りなさい。非信者たちと一緒にいてはいけない。43.かれ（息子）は言いました。わたしは山に避難します。それは（洪）水からわたしを救うでしょう。かれ（ヌーフ）は言いました。今日は、かれの慈悲に浴する人の他は、アッラーの命令から逃れる術はないと。すると二人の間に波が来てかれらを分け離し、かれ（息子）は溺れる一人となりました。44.そしてこう（アッラーから）言われました。大地よ、あなたの水を飲み込め。空よ、（雨を）止めなさい。すると水は引いて、その命令は成し遂げられ、それ（方舟）はジューディー山上に乗り上げました。次いでこう言われました。不正を行なう人びとを追い払いなさい。

45.ヌーフはかれの主を呼んで言いました。わたしの主よ、わたしの息子は、わたしの家族です。あなたの約束は確かに真実で、あなたは裁決に最も公正な方です。46.かれは言いました。ヌーフよ、実はかれ（息

子）はあなたの家族ではありません。かれの行ないは正しくありません。だからあなた（ヌーフ）が知らないこと（息子の行ない）について、わたしに問い正してはいけません。わたしはあなたが無知な人とならないよう諭すのです。47.かれ（ヌーフ）は言いました。わたしの主よ、わたしが知らないことについてあなたに問い正すこと（の過ち）から、あなたにご加護を祈ります。あなたがわたしを赦し、わたしに慈悲を与えなければ、わたしはきっと、損失者の仲間になるでしょう。

48.（アッラーは）こう言いました。ヌーフよ、われらからの平安によって、（方舟を）降りなさい。あなたに祝福あれ、またあなたと共にいる人びとにも（祝福あれ）。ただし（他の）人びとには、われらは（束の間の）享楽を与えるが、その後われらからの激しい苦痛が襲いかかるでしょう。49.これはわれらがあなた（ムハンマド）に啓示した、見えない世界についての物語です。あなたもあなたの人びとも、これ以前はそれを知りませんでした。だから耐え忍びなさい。最後（の成功）は（アッラーを）意識する人たちに与えられるのです。

50.またアード（の民）には、かれらの同胞フードを（遣わしました）。かれは言いました。わたしの人びとよ、アッラーに仕えなさい。あなた方には、かれの他に神はいないのです。あなた方は（多神を）捏造しているにすぎません。51.人びとよ、わたしはこれ（教化）に対して、報酬をあなた方に求めません。わたしの報酬は、わたしを創造したかれからのものだけです。あなた方は、それでも悟らないのですか。52.わたしの人びとよ、あなた方の主に赦しを求め、改心してかれに帰りなさい。かれはあなた方の上に、空から豊かに（雨）を降らせ、あなた方の力に、さらに力を与えるのです。だからあなた方は、罪深い人として背き去ってはいけません。

53.かれらは言いました。フードよ、あなたはわたしたちに一つの明証すらもたらしません。だからあなたの言葉のために、わたしたちが自

らの多神を捨てたりしません。またあなたの信者にもなりません。54.わたしたちのある多神が、あなた（フード）を惑わせたにすぎない、と言えるだけです。（それに対して）かれは言いました。わたしはアッラーに立証を願います。またかれの他に多神を配することについて、わたしが無罪であることを証言してください。55.それで皆でわたしに対して策謀しなさい。そしてわたしに猶予を与えてはいけません。56.誠にわたしは、わたしの主であり、あなた方の主であるアッラーを信頼します。すべての生き物で、かれがその前髪をつかまない（統御しない）ものはありません。実にわたしの主は、正しい道の上にいます。

57.たとえあなた方が背き去っても、わたしはあなた方に、与えられたもの（啓示）を伝えました。そしてわたしの主は、あなた方ではない人びとに（後を）継がせます。だからあなた方は少しも、かれを害することができません。本当にわたしの主は、すべてを護持されているのです。58.そしてわれらの命令が来たとき、われらは、われらの慈悲によって、フードとかれと共に、信仰する人たちを救いました。われらは酷い苦痛からかれらを救ったのです。59.これはアード（の民の話）でした。かれらは主の印を拒否し、かれの使徒たちに従わず、頑迷な反逆者の命令に従いました。60.だからかれらは、現世でも、復活の日でも、拒否されたのです。実にアード（の民）は、かれらの主を信仰しませんでした。だからフードの人びとであるアード（の民）は、滅び去れ。

61.またサムード（の民）には、かれらの同胞サーリフを（遣わしました）。かれは言いました。わたしの人びとよ、アッラーに仕えなさい。あなた方には、かれの他に神はいないのです。かれは大地からあなた方を生み出し、そこに住まわせました。それでかれの赦しを願い、改心してかれに帰りなさい。確かにわたしの主は、すぐ近くにいる方で、応える方なのです。62.かれらは言いました。サーリフよ、あなたはわたしたちの中で、これ以前に望みをかけた人でした。（今）あなたは、わたしたちの先

祖が仕えたものに、わたしたちが仕えることを禁じるのですか。でもあなたが呼びかける教えについて、わたしたちは本当に疑いをもっています。63.かれ（サーリフ）は言いました。わたしの人びとよ、考えてみなさい。もしわたしが主からの明証の上にいて、かれがわたしに、かれの慈悲を与えるのに、わたしがかれに従わないならば、誰がアッラー（の怒り）からわたしを守ることができるでしょうか。あなた方はわたしの損失を増やしてしまうだけなのです。

64.わたしの人びとよ、これはアッラーの雌ラクダで、あなた方に対する一つの印です。それをアッラーの大地で放牧し、これに害を加えてはいけません。（さもないと）すぐに苦痛があなた方を襲うでしょう。65.ところがかれらは、その膝の腱を切りました。だからかれ（サーリフ）は言いました。3日間（だけ）あなた方の家で（生を）楽しみなさい。それ（懲罰）は偽りのない約束です。66.そしてわれらの命令が来たとき、われらは、われらの慈悲によって、サーリフとかれと共に信仰する人たちを救い、またその（審判の）日の恥辱からも（救いました）。実にあなたの主は、強力かつ偉力大です。67.大規模な爆風が不正を行なった人びとを襲うと、かれらは自分の家の中にひれ伏しました。68.まるでかれらがそこに住んで、栄えていなかったかのように。実にサムード（の民）は、かれらの主を信じませんでした。だからサムード（の民）よ、滅び去れ。

69.また、確かにわれらの使徒（天使）たちが、イブラーヒームのところに吉報を持って来ました。かれらは平安あれと言い、かれも平安あれと答え、待たせることなく、焼いた子牛で（使徒である天使たちを）もてなしました。70.しかしかれらの手がそれに伸びないのを見て、かれは不安に感じ、かれらに恐れを抱きました。かれらは言いました。恐れてはならない、実はわたしたちは、ルートの民に遣わされた者です。71.そのとき、かれの妻（サラ）が立っていて、笑いました。そこでわれらはかの女にイスハークの吉報と、イスハークの後のヤアクーブ（の産まれる吉報）

を伝えました。72.かの女は言いました。まさか、わたしは老婦人で、わたしの夫も老人なのに子が産めましょうか。本当にこれは驚くべきことです。73.かれらは言いました。あなた方はアッラーの命令に驚くのですか。この家の人びとよ、アッラーの慈悲と祝福があなた方の上にあるように。本当にかれは称賛すべき方であり、栄光に満ちた方です。

74.するとイブラーヒームから恐れの気持ちが消え、吉報がかれに伝えられたとき、かれはルートの民のために、われらに嘆願し始めました。75.本当にイブラーヒームは寛大で、心優しく、改心して（アッラーに）帰る人でした。76.（アッラーは言いました）イブラーヒームよ、これ（ルートの民のための嘆願）から離れなさい。あなたの主の命令は届きました。そしてかれらには、戻せない苦痛が来るのです。

77.わたしの使徒（天使）たちがルートのところに来たとき、かれ（ルート）は使徒たちのために、とても心を悩まし、かれ自身、かれら（使徒である天使たち）を守れないことを悲しんで、これは苦難の日であると言いました。78.かれ（ルート）の人びとは急いでかれのところに来ました。これまでかれらは、汚らわしい行ない（男色行為）をしていたのです。かれ（ルート）は言いました。わたしの人びとよ、ここにわたしの娘たちがいます。あなた方にはかの女たち（との結婚）が清浄です。アッラーを意識しなさい。わたしの来客（使徒である天使）たちに関して、わたしに恥をかかせないでほしい。あなた方の中には、正しい心の人がいないのですか。79.かれらは言いました。わたしたちには、あなたの娘たちとの（結婚が）適当でないことを、あなたは知っているはずです。またわたしたちが望むものを、あなたは分かっているのです。

80.かれ（ルート）は言いました。わたしに、あなた方を押える（武）力がありますように。または力強い支持に頼ることができますように。81.かれら（使徒である天使たち）は言いました。ルートよ、確かにわたしたちは、あなたの主の使徒です。かれらは決して、あなたに手を触れる

ことはできません。だから夜の間に、あなたの家族を連れて旅に出なさい。そしてあなた方の中、ひとりでも後ろを振り向いてはいけません。ただしあなたの妻は別です。かれら(ルートの民)に襲いかかることが、かの女にも襲いかかるでしょう。かれらの予定された時間は、朝です。朝は近いのではないでしょうか。82.それでわれらの命令が来たとき、われらはそれ(町)を転覆させ、その上にわれらは幾重にも焼いた泥の石を降らせました。83.(その石には)あなたの主の御元における記号が付けられていました。それら(の破壊された町)は不正を行なう人(マッカの多神教徒)からも、遠いものではありません。

84.またマドヤン(の民)には、かれらの同胞シュアイブを(遣わしました)。かれは言いました。わたしの人びとよ、アッラーに仕えなさい。あなた方には、かれの他に神はいないのです。また寸法や計量を少なくしてはいけません。見たところあなた方は栄えているが、わたしはあなた方が味わうだろう、すべてを取り巻く苦痛の日を恐れます。85.わたしの人びとよ、きちんと寸法をとり計量し、人のものを安く値を踏んではいけません。また地上で悪事を行なって腐敗をもたらしてはなりません。86.もしあなた方が信者ならば、アッラーの残されたもの(公正に計られた後に残るもの)こそ、あなた方のために善いのです。わたし(シュアイブ)はあなた方に対する見張り人ではありません。

87.かれらは言いました。シュアイブよ、あなたは、わたしたちの先祖が崇拝してきたものを捨てるようにと祈るのですか。または、わたしたちの金銭に関し、望み通りに処理してはいけないと(命じるのですか)。本当にあなたは寛大で、正しい道に導く人なのですね。

88.かれ(シュアイブ)は言いました。わたしの人びとよ、考えてみなさい。もしわたしが、わたしの主からの明証(啓示)の上に立っていたならば(あなたなら)どうするのか。またかれはかれ自身から、わたし(シュアイブ)に良い糧を与えました。わたしはあなた方に禁じたことを、自ら

行なうことを望みません。わたしが望むことは、ただできる限り（世の中を）是正することであり、わたしの成功は、アッラーと共にあるのみです。わたしはかれを信頼し、かれに改心して帰ります。89.わたしの人びとよ、わたしと分裂を引き起こす罪を犯してはいけません。さもないとヌーフの民、またはフードの民、またはサーリフの民に襲いかかったようなこと（懲罰）が、あなた方（シュアイブの民）にも襲いかかるでしょう。またルートの民は、あなた方（のマッカ）から遠くはないのです。90.だからあなた方の主の赦しを求め、改心してかれに帰りなさい。誠にわたしの主は慈悲深く、温情に篤いお方です。

91.かれらは言いました。シュアイブよ、わたしたちは、あなたの言うことをほとんど理解できない。本当にわたしたちは、あなたは弱くて取るに足らない人だと思う。あなたの一族（への配慮）でなかったならば、わたしたちはきっと、あなたを石打ちにしたでしょう。あなたは、わたしたちに対して無力なのです。92.かれ（シュアイブ）は言いました。わたしの人びとよ、あなた方にとってアッラーよりも、わたしの一族の方が強力なのですか。あなた方は、かれをあなた方の背後に捨てるのですか。本当にわたしの主は、あなた方の行なうことを（完全に）取り囲みます。93.わたしの人びとよ、あなた方は自分の（好きな）立場で行ないなさい。わたしも（自分の務めを）行なう。すぐにあなた方は知るでしょう。誰に恥ずべき苦痛が訪れるのか、また誰が嘘つきなのかを。そしてあなた方は（わたしを）見張りなさい、わたしもあなた方と一緒に見張る者です。

94.それでわれらの命令が来たとき、われらはわれらの慈悲によって、シュアイブと、かれと共に信仰した人たちを救いました。大規模な爆風が不正を行なった人びとを襲うと、朝までに、かれらは自分の家の中にひれ伏しました。95.まるでかれらが、そこで栄えていなかったかのように。だからマドヤン（の民）よ、滅び去れ。サムード（の民）が滅びたように。

96.また確かにわれらは、われらの印と明らかな権威と共に、ムーサーを遣わしました。97.フィルアウンとかれの指導者たちへと（遣わしました）。でもかれら（人びと）はフィルアウンの命令に従いました。ところがフィルアウンの命令は、正しくありませんでした。98.復活の日には、かれ（フィルアウン）は、かれらを（地獄の）火へと先導します。かれらが連れて行かれる（地獄の）飲み場の何と悪いことか。99.かれらは現世と復活の日において、（アッラーの）拒否に見舞われます。何と悪い贈物を与えられることでしょうか。

100.これらはわれらがあなた（ムハンマド）に話す町々の物語です。あるもの（町）は（今も）残存するけれど、あるものは消滅しました。101.われらがかれらを損なったのではありません。かれらが自分自身を損なったのです。アッラーの他に、かれらが祈っていたかれらの神々は、あなたの主の命令が来たとき、かれらに何も役に立ちませんでした。そしてかれらは、ただ破滅を助長するだけでした。

102.このようにかれらが悪を行なっている間に、かれが町々を襲うというのが、あなたの主の襲い方なのです。かれの襲い方は、実に厳しく激しいものです。103.確かにこの中には、来世の苦痛を恐れる人への印があります。それは人類が一斉に召集される日であり、（アッラーによる）天覧の日です。104.定められた（猶予の）期限のために、われらはそれを遅らせているだけです。105.その日が来れば、誰もかれの許しがなければ、口はきけません。かれらの中には惨めな人と、幸せな人がいます。

106.惨めな人たちは（地獄の）火の中です。その中でかれらには、ため息とうめき声があるだけです。107.諸天と地の続く限り、（かれらは）その（地獄の）中に永遠に住むでしょう。あなたの主が望む限り。確かにあなたの主は、御望みのことを成し遂げます。108.幸せな人たちは楽園に入り、諸天と地の続く限り、その（楽園の）中に永遠に住むでしょう。あなたの主が望む限り。絶えることのない賜物なのです。109.だからこれ

らの人びと（多神教徒）が仕えるものについて、あなたは半信半疑にな
ってはいけません。かれらは、かれらの先祖が以前仕えたものに、仕え
ているにすぎないのです。実にわれらは、かれらの分け前（懲罰）を減ら
すことなく完全に与えます。

110.確かにわれらはムーサーに啓典（律法）を授けました。ところが
それについて（イスラーイールの民の間で）異論がありました。そしてあ
なたの主からの（猶予の）言葉が、前もって下されていなかったならば、
かれらの間は（すでに）裁決されていたことでしょう。そしてかれらはそれ
（啓典）について、根深い疑いを抱いているのです。111.あなたの主は、
かれらのすべての言動に対して、十分に報います。実にかれはあなた方
の行ないを熟知しています。

112.だからあなたは命じられたように、あなたと共に改心した人と
一緒に、まっすぐ歩みなさい。ただし度を越してはいけません。かれはあ
なた方の行ないをすべてお見通しなのです。113.あなた方は不正を行
なう人を頼りにしてはいけません。さもないと（地獄の）火があなた方に
触れるでしょう。あなた方にはアッラーの他に保護者はなく、助けられる
こともないのです。114.昼間の両端と夜間の初めに、礼拝の務めを守り
なさい。本当に善行は、悪行を消去させます。これは（アッラーを）意識す
る人たちに対する諭しとなります。115.（ムハンマドよ）忍耐強くありなさ
い。本当にアッラーは、善行者への報奨を無駄にはしません。

116.なぜ、あなた方より以前の世代には、われらが救ったかれらの
中の数少ない人たちを除いては、地上の腐敗を禁じる人たちが、ほとん
どいなかったのでしょうか。（一方）不正を行なう人たちは、贅沢に溺れ
た罪深い人たちでした。117.ただしあなた方の主は、その人びとが身を
正す人びとである限り、不当に町々を滅ぼしません。

118.あなたの主の御心にかなえば、かれは人びとをひとつの共同体
（ウンマ）にしたでしょう。でもかれらは反目し続けるのです。119.他方

あなたの主が慈悲をかけた人は別です。その（慈悲）ために、かれはかれら（人びと）を創りました。そして、わたしは必ずジン（幽精）と人間たちで地獄を一杯にする、というあなたの主の言葉は、全うされるのです。

120.われらがあなた（ムハンマド）に話す使徒たちの物語は、すべてわれらが、あなたの心をそれで堅固にするためです。この中にこそ、真理と教訓、そして信仰する人たちへの諭しがあるのです。121.だから非信者に言いなさい。あなた方は自分の（好きな）立場で行ないなさい。わたしたちも（自分の務めを）行なう。122.あなた方は待ちなさい。わたしたちも待っているのです。123.諸天と地の見えない世界はアッラーのものであり、アッラーにすべてのことは帰着するのです。だからかれに仕え、かれに帰依しなさい。あなたの主は、あなた方の行ないを見逃しません。

12. ユースフ章

Yusuf

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ラー。

これら（以下の諸節）は、明瞭な啓典（で、アッラー）の印です。2.確かにわれらは、アラビア語のクルアーンを啓示しました。あなた方が了解できるように。3.われらは、あなた（ムハンマド）に啓示したこのクルアーンの中でも、最良の物語をあなたに語ろう。これ以前はあなたも（この物語を）知らない人でした。

4.ユースフがかれの父（ヤアクーブ）にこう言ったときのことです。わたしの父よ、わたしは（夢で）11の星と太陽と月を見ました。わたしはそれらが、わたしに頭を下げているのを見ました。5.かれ（ヤアクーブ）は言いました。わたしの息子よ、あなたの夢を、あなたの兄弟に話しては

いけません。さもないと、かれらはあなたに対して策謀を図るでしょう。本当に悪魔たちは、人間にとって公然の敵なのです。6.実はあなたの主はあなたを選び、その出来事（夢）の解釈を教えることとなります。またかれは、あなたとヤアクーブの子孫へのかれの恩寵を全うします。かれが以前、あなたの二人の先祖のイブラーヒームとイスハークに、それ（恩寵）を全うしたように。誠にあなたの主は、全知かつ英明なのです、と。

7.確かにユースフとかれの兄弟の（物語の）中には、（教訓を）求める人への印があります。8.かれら（兄たち）は、（互いに）こう言いました。ユースフとかれの弟は、わたしたちよりも父に愛されているけれど、わたしたちの方が多数だ。わたしたちの父は、明らかに間違っている。9.（また一人が言いました）ユースフを殺すか、またはかれを（他の）土地に追放すべきだ。そうすれば、父の顔は、あなた方に向くだろう。それから後は、あなた方は正しい人間になるのだ。10.かれらの一人がこう言いました。ユースフを殺してはいけない。（むしろ）するのであれば、かれを井戸の底に投げ込むべきだ。（後から）どこかの隊商がかれを引き上げるだろう。

11.かれらは言いました。わたしたちの父よ、なぜあなたは、わたしたちにユースフのことを任せてくれないのですか。本当にわたしたちは、かれの幸せを願う者です。12.明日楽しく遊ぶために、わたしたちと一緒にかれ（ユースフ）を送り出してください。わたしたちはかれをしっかりと守ります。13.かれ（ヤアクーブ）は言いました。あなた方がかれを連れて行くとなると、わたしは非常に心配です。あなた方がかれに注意を払わない間に、狼がかれを食べはしないかと恐れるのです。14.かれらは言いました。わたしたちは多数なのに、もし狼がかれを食べるならば、本当にわたしたちは、失敗者です。

15.こうしてかれらは、かれ（ユースフ）を連れ出し、かれを井戸の底に投げ込むことに決めたとき、われらはかれに啓示しました。あなた

（ユースフ）はこういった（悪）事を、かれらに（あなたがユースフだと）気づかれないままに、かれらに告げ知らせる（日が来る）でしょうと。16.日が暮れて、かれらは泣きながら、かれらの父のところに（帰って）来ました。17.かれらは言いました。わたしたちの父よ、わたしたちが競争に出かけ、ユースフをわたしたちの持ち物と一緒にそのままにしておいたら、狼が（来て）かれを食べました。もちろんわたしたちが正直に報告しても、あなたはわたしたちを信じないでしょう。18.そしてかれらは、偽の血のついたかれ（ユースフ）のシャツを持って来ました。かれ(ヤアクーブ)は言いました。いやはや、あなた方自身の心が誤って自分にそうさせたのでしょう。忍耐こそが美徳です。あなた方が話すことに対しては、わたしはただアッラーに助けを求めるだけです。

19.（しばらくして）隊商が来ると、かれらは井戸の水をくむ人を（その中に）送り、かれは釣瓶を降ろしました。かれは言いました。なんという吉報でしょうか。これは少年ですと。そこでかれらは、かれ（ユースフ）を商品のようにして隠しました。ただしアッラーは、かれらの行なうことをよくご存知です。20.かれらはわずかの銀貨で、安価にかれを売り飛ばしました。かれらはかれに価値を見出さない人たちだったのです。

21.かれ（ユースフ）を買ったエジプト人は、その妻に言いました。かれの滞在を快適にしなさい。かれはわたしたちの役に立つでしょう。または、かれをわたしたちの子としてもよいでしょうと。こうしてわれらはユースフをあの国（エジプト）に落ち着かせ、やがてわれらはかれに出来事（夢）の解釈を教えるのです。アッラーは万事に対して全能な方です。でも人びとの多くは知りません。22.かれ（ユースフ）が成年に達したとき、われらは英知と知識をかれに授けました。そしてこのように、われらは正しい行ないをする人たちに報いるのです。

23.（ある日）かれが住む家の女主人（ズライハー）は、かれの心を誘惑しようとしました。かの女は次々と戸を閉めて、言いました。あなた

（ユースフ）、こちらにおいでなさい。かれは言いました。わたしはアッラーに加護を祈ります。かれ（夫君）は、わたしのご主人様で、わたしの住まいを快適にしてくれました。本当に不正を行なう人たちは、成功しません。24.確かにかの女はかれ（ユースフ）を求めました。もし、かれがかれの主の証拠を見なかったならば、かれもかの女を求めていたでしょう。このようにして、われらは、かれから悪とみだらな行為を遠ざけました。誠にかれは、われらの選ばれた僕の一人なのです。

25.二人が戸口へと競い、かの女が後ろからかれのシャツを引き裂くと、二人は戸口でかの女の夫に出くわしました。かの女は言いました。あなたの家族（妻）に悪事をしようとした人には、投獄されるか激しい苦痛の他にどんな報いがあるでしょうか。26.かれ（ユースフ）は言いました。かの女がわたしの心を誘惑したのです。するとかの女の家族の（男性の）一人が証言しました。もし、かれのシャツが前から裂けていれば、かの女は正直で、かれが嘘つきです。27.でも、かれのシャツが後ろから裂けていれば、かの女が嘘をついたことになります。そしてかれは正直者です。28.主人は、かれのシャツが後ろから裂かれているのを見ると、言いました。これはまたまた、あなた方（女性たち）の策謀です。本当にあなた方の策謀は一大事です。29.ユースフよ、これを気にしないでおくれ。そして（妻よ）、あなたの罪の赦しを願いなさい。本当にあなたは罪深い人です。

30.（しばらくすると）町の女性たちは言いました。あの有力者の奥様が、かの女の奴隷の青年（ユースフ）の心を誘惑しようとしたそうよ。きっとかれが、かの女を愛のとりこにしたのです。本当にかの女は、明白な迷いの中にいると思います。31.かの女はこれら女性たちの悪巧みを聞くと、使者を遣わし、かの女たちのために背もたれ（会席）を準備して、各人にナイフを渡してから言いました。（ユースフよ）かの女たちの前に出て行きなさいと。それでかの女たちがかれを見ると、かれ（の美男子

振り）に驚歎の声を上げました。何とアッラーの（創造の）完璧なことよ、これは人間ではない、かれは高貴な天使に他なりませんと、かの女たちは自分の手を切っても言いました。32.かの女は言いました。この人なの、あなた方はかれをめぐってわたしを謗ったの。確かにわたしはかれの心を誘惑したわ。でもかれは貞操を守ったの。それでかれが、わたしの命令に今従わないのなら、かれは投獄され、恥辱を被るだけでしょう。33.かれ（ユースフ）は言いました。わたしの主よ、わたしは、かの女たちが誘惑するものよりも、牢獄を好みます。もしあなたが、かの女たちの下心を、わたしから遠ざけなければ、わたしはかの女たちに傾いて、無道な人になります。34.それでかれの主はかれに応えて、かの女たちの下心を、かれから遠ざけました。誠にかれは全聴にして全知な方なのです。

35.そしてかれら（有力者夫妻）は、（ユースフが無罪である）印を見ていながら、しばらくかれを投獄しようと考えました。36.そのとき二人の若者がかれ（ユースフ）と共に牢獄に入りました。その一人が言いました。わたしは酒を絞ること（夢）を見ました。また他の人は言いました。わたしは自分の頭の上にパンを乗せて運んでいると、鳥がそれを食べること（夢）を見ました。（なので）わたしたちにその解釈を教えてください。わたしたちは、あなたが（善良で）知識豊かな人と見受けました。

37.かれ（ユースフ）は言いました。あなた方二人に支給される食事が来る前に、わたしはそれらの解釈をあなた方に告げましょう。それらはわたしの主がわたしに教えたことです。わたしは、アッラーを信ぜず来世を否定する非信者たちの宗旨を、捨てました。38.そしてわたしの先祖、イブラーヒームとイスハークとヤアクーブの信仰に従います。わたしたちは、アッラーにどんな同位者も一切配しません。これはわたしたちと全人類への、アッラーからの寵愛です。でも人びとの多くは感謝しません。39.牢獄の二人の友よ。多種多様の神々がよいのか、それとも唯一

の征服者アッラーのほうがよいのか。40.かれの他にあなた方が仕えるものは、あなた方とその先祖が名付けた名称にすぎません。アッラーはそれに対して何の権能も与えていません。大権はアッラーにだけ属し、かれは、あなた方がかれの他に何ものにも仕えてはならないと命じています。これこそ正しい信仰です。でも多くの人びとは知らないのです。

41.牢獄の二人の友よ、あなた方の一人（の夢）についていえば、かれはかれの主人（エジプト王）のために酒を給仕する（人になる）でしょう。また他（の一人）については、かれは十字架処刑されて、鳥がかれの頭から（かれを）食べるでしょう。あなた方二人が質問したことは、こう判断できます。42.そしてかれ（ユースフ）は二人の中で、命が救われると思われた方（酒の給仕人）に言いました。あなたの主人にわたしのことを伝えてください。ところが悪魔は、かれが（ユースフのことを）その主人に伝えることを忘れさせました。それでかれ（ユースフ）は、なおも数年間、獄中に留まったのでした。

43.（エジプトの）王は言いました。わたしは７頭の肥えた雌牛が、７頭のやせた雌牛に食べられ、また穀物の7穂が緑で、他（の７穂）が枯れている夢を見ました。指導者たちよ、もしあなた方が夢を解釈できるならば、わたしの夢について説明してください。44.かれらは言いました。混み入った夢です。わたしたちは夢の解釈は不得手です。45.ところが（牢獄から）釈放された二人の中の一人が、しばらくして（ユースフのことを）思い出して言いました。わたしがその解釈をあなた方に知らせることができます。だからわたしを（ユースフを連れてくるために）行かせてください。

46.ユースフよ、誠実な人よ、わたしたちに説明してください。７頭の肥えた雌牛が、７頭のやせた雌牛に食べれられ、また穀物の７穂が緑で、他（の７穂）が枯れている夢について。それでわたしは（エジプトの）人びとのところに帰り、かれらは知ることができるでしょう。47.かれ（ユ

ースフ）は言いました。あなた方は（豊作の）7年間、いつものように種をまきます。そしてあなた方は（収穫を）刈り取り、あなた方が食べる少量を除いて、（残りを毎年）稲穂のまま貯蔵します。48.それから、その後7年間の厳しさ（凶年）が来て、あなた方は（翌年の収穫のために）貯蔵する少量（の稲穂）を除いて、それら（凶年）のため前に残しておいたものを消費するのです。49.それからその後に来る1年間には、人びとに豊かな雨があり、たっぷり（ブドウやオリーブを）しぼるでしょう。

50.王は言いました。かれ（ユースフ）をわたしの元に連れてきなさい。それで使者が、かれ（ユースフ）の所（牢獄）に来たとき、かれは言いました。あなたの主人（エジプト王）の所に戻って、あの手を傷つけた女性たちについて、かれに質問しなさい。わたしの主は、かの女たちの下心をすべてご存知です。51.かれ（王）は（女性たちに）言いました。あなた方がユースフの心を誘惑しようとしたとき、何があったのですか。かの女たちは言いました。何とアッラーの（創造の）完璧なことよ、わたしたちは、かれに何も悪いことがないことを知っています。その有力者の妻は言いました。今、真実が明らかになりました。わたしがかれの心を誘惑したのです。確かにかれは正直な人です。

52.かれ（ユースフ）は言いました。これによって（ご主人様の）不在中に、わたしがかれを裏切らなかったこと、またアッラーが裏切り者の下心を導くことはないことを、かれは知るでしょう。53.◆13部◆またわたし自身、完璧ではありません。真に、わたしの主が慈悲をかけない限り、人間の心は悪に傾きやすいものです。本当にわたしの主はよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。

54.王は言いました。わたしの元にかれ（ユースフ）を連れてきなさい。わたしはかれを召し上げよう。そこでかれ（王）は、かれと話した後、言いました。今日あなたは、わたしの所で権能を持ち、信任されよう。55.かれは言いました。わたしにこの国の貯蔵庫をお任せください。わた

しは真に慎重で、見識もあります。56.このようにわれらは、あの国においてユースフが、どこでも望むところに住めるようにしました。われらは望む人に、われらの慈悲を与え、（決して）善行者への報奨に漏れはありません。57.信仰して（アッラーを）意識する人にとっては、来世の報奨こそ最高なのです。

58.（凶年のある日）ユースフの兄たちが来て、かれの前にまかり出ました。かれはかれらを認めたけれど、かれらはかれに気づきませんでした。59.かれはかれらに食糧を与えて言いました。（11人目の食糧の証拠として）あなた方の父から、もう一人の兄弟（ビン・ヤーミン）を、わたしの所に連れてきなさい。あなた方は、わたしが目一杯に計量したのを、そしてまた、わたしは最良のもてなしをする者であることを見ませんでしたか。60.でもあなた方が、かれを連れてこないならば、あなた方はわたしの所で、（もう）計ってもらえず、わたしに近づくこともできません。61.かれらは言いました。わたしたちはかれ（ビン・ヤーミン）のために、かれの父を説得します。必ずやります。

62.それからかれ（ユースフ）は、かれの部下たちに言いました。かれらの（10人分の食糧交換のために提供した）商品を、（再び）かれらの袋に入れて置きなさい。そうすることで、かれらは自分の家に帰ったとき、それ（自分の商品）に気づいて戻ってくるでしょう。63.それでかれらは、父のところに帰ると言いました。わたしたちの父よ、わたしたちは（これ以上食糧を得るための）計量を拒否されました。だから、わたしたちの弟（ビン・ヤーミン）を、わたしたちと一緒に送り出してください。そうすれば計量してもらえます。わたしたちはしっかりかれを守ります。64.かれ（ヤアクーブ）は言いました。わたしは以前、かれの兄（ユースフ）についてあなた方を信用したように、かれ（弟）についてあなた方を信用できるでしょうか。他方、アッラーは最高の守護者です。かれこそは、慈悲ある方の中で最も慈悲深いお方なのです。

65.かれらが荷物を開くと、商品がかれらに返されているのを見つけました。かれらは言いました。わたしたちの父よ、わたしたちは（この上）何を望みましょう。わたしたちの商品が自分たちに戻されています。わたしたちの家族に（もっと）食糧がもらえます。さらにわたしたちは弟を守り、ラクダ1頭（積載）分の増量を得るでしょう。そのくらいの計量は容易でしょう。66.かれ（ヤアクーブ）は言いました。（死あるいは敵兵などに）取り囲まれる以外は、あなた方がかれを連れて戻ると、アッラーにかけて約束しない限り、わたしはかれを、あなた方と一緒に送り出しはしないでしょう。こうしてかれらがかれ（ヤアクーブ）に誓ったとき、かれは言いました。アッラーは、わたしたちの言うことについて保護者です。

67.またかれ（ヤアクーブ）は言いました。わたしの息子たちよ、1つの門から（町に）入ってはいけません。そして別々の門から入りなさい。ただしアッラーに対しては、わたしはあなた方にとって何の役にも立たない。裁定は、ただアッラーにのみあり、わたしはかれを信頼しました。信頼する人は、かれにこそ頼りなさい。68.かれらは父の命じたところから入りました。（ただし）それはアッラーに対して何の役にも立ちませんでした。それはヤアクーブが心に浮かべた思い付きにすぎなかったのです。（こうして）われらが教えたので、かれは大変な知識を持っていたが、人びとの多くは知りませんでした。

69.さてかれらがユースフの前にまかり出たとき、かれ（ユースフ）はその弟（ビン・ヤーミン）を、かれの方へと（他の兄たちと分けて）迎えて言いました。わたしはあなたの兄です。だから今までかれらがしてきたことに、心を悩ませてはいけません。70.かれ（ユースフ）が、かれらに荷物（食糧）を与えてから、かれはかれ（弟）の荷物袋の中に、（王の）盃を（そっと）入れました。その後（一行の追手の）男が呼びかけました。隊商よ、あなた方は泥棒です。71.かれら（兄たち）は振り向いて言いました。あなた方は何をなくしましたか。72.かれら（追手たち）は言いました。わた

したちは、王の盃をなくしました。それを持って来た人には1頭のラクダ（積載分）の荷物（食糧）が与えられるだろう。わたしが保証する。73.かれらは言いました。アッラーにかけて誓います。わたしたちは、この国で悪事を働くために来たのではないことは、あなた方がご存知です。わたしたちは泥棒ではありません。74.かれら（追手）は言いました。あなた方が嘘つきであったら、その（盗みの）応報は何としようか。75.かれら（兄たち）は言いました。その応報は、誰でも荷物袋の中から、それ（王の盃）が発見された人（を奴隷として提供するの）です。つまりその人が、応報なのです。このように、わたしたち（ユダヤ教徒）は不正を行なう人を応報とします。76.（一行がユースフの所に戻ったので）それでかれ（ユースフ）は、弟の荷物袋（の検査）の前に、かれら（兄たち）の荷物袋を（調べ）始めました。そして（結局）弟の荷物袋から、それ（王の盃）を取り出したのです。このようにわれらは、ユースフに策略を授けました。アッラーが（そのように）御望みにならなければ、かれはその弟（ビン・ヤーミン）を（エジプト国）王の法律の下で、（罰としてでも）抑留することができなかったのです。われらは望む人の位階を高めます。知識あるすべての人の上には、全知なる方がいるのです。

77.かれら（兄たち）は言いました。もしかれ（弟）が盗んだとすれば、かれの兄（ユースフ）も以前、確かに盗みました。しかしユースフは、それを自分の心に秘めて、かれらにそれ（秘密）を漏しませんでした。かれ（ユースフ）は言いました。状況はあなた方に不利です。アッラーは、あなた方の語ることを最もよくご存知です。78.かれらは言いました。大臣よ。かれ（弟）にはとても高齢の父がいます。それでかれ（弟）の代わりに、わたしたちの一人を拘留してください。わたしたちはあなたが（理解ある）善良な方とお見受けいたします。79.かれ（ユースフ）は言いました。アッラーは、手元にわたしたちの所有物を取り出した人（弟）の他

に、わたしたちが拘留することを禁じます。（もしそうしないと）本当にわたしたちは、不正を行なう人になるでしょう。

80.そこでかれら（兄たち）は、かれ（弟の身柄釈放）をあきらめて、かれらの間だけで密談しました。かれらの中の最年長の人（ルービール）が言いました。あなた方の父がアッラーの（御名の）下に（弟を守るという）約束を結び、また以前、あなた方はユースフのことについても、誤りを犯したことを知らない（とでも言う）のですか。だから父がわたしを許すまで、わたしはこの国を離れないでしょう。またはアッラーがわたしたちを裁決するまで（離れません）。かれは至高の裁決者なのです。81.あなた方（弟たち）は父の元に帰って言いなさい。わたしたちの父よ、あなたの息子（ビン・ヤーミン）は、本当に盗みをしました。わたしたちは、知っていることの他に証言できません。また、わたしたちは目に見えないことについて、擁護はできません。82.それで（疑うならば）、わたしたちがいた町（の人びと）とわたしたちが一緒に旅した隊商に、質問してください。わたしたちは正直なのですと。

83.かれ（ヤアクーブ）は言いました。いいえ（それは嘘だ）、あなた方の（邪悪な）心が自ら事件を引き寄せたのです。しかし忍耐こそ美徳です。アッラーが、かれら（ユースフ、ビン・ヤーミーン、ルービール）をわたしに送り返されるように。かれは誠に全知かつ英明な方なのです。84.かれ（ヤアクーブ）は、かれら（ユースフの兄たち）から離れて言いました。ああ何と、ユースフの可愛そうなことよ。するとかれの両目は、悲痛のあまり白く（見えなく）なりました。かれは苦悩の底にいたのです。85.かれらは言いました。アッラーにかけて（誓います）、あなた（ヤアクーブ）はユースフを思うことを止めないならば、重態になるか死んでしまうでしょう。86.かれ（ヤアクーブ）は言いました。わたしはアッラーに対して、自らの苦痛と悲痛を訴えているだけです。わたしはあなた方が知らないことを、アッラーから（教えられ）知っています。87.わたしの息子たちよ、ユー

スフとかれの弟を探しに出かけなさい。アッラーの慈悲に絶望してはいけません。非信者の他は、アッラーの慈悲に絶望しません。

88.それでかれらが、かれ（ユースフ）の元にやって来て言いました。大臣よ、災難（飢饉）がわたしたちと一族を襲ったので、粗末な作物を持って参りましたが、どうか十分に（食糧を）計量して、わたしたちに（慈悲ある）施しをしてください。誠にアッラーは施しを与える人に報います。89.かれ（ユースフ）は言いました。あなた方が無知だったとき、ユースフとかれの弟に何をしたか、分かりましたか。90.かれらは言いました。もしかしてあなたは、ユースフなのですか。かれは言いました。わたしはユースフです。そしてこれはわたしの弟です。確かにアッラーはわたしたちに恩恵を与えました。誠に（アッラーを）意識し、耐え忍ぶ人には、アッラーは善行者への報奨を拒否しません。

91.かれらは言いました。アッラーにかけて（誓います）、確かにアッラーはわたしたちの上に、あなたを引き立てました。わたしたちは本当に罪深い者です。92.かれ（ユースフ）は言いました。今となっては、あなた方に咎めはありません。アッラーはあなた方をお赦しになるでしょう。かれは慈悲ある方の中で、最も慈悲深いお方なのです。93.わたし（ユースフ）のこのシャツを持って行きなさい。そしてそれをわたしの父の顔に投げかけなさい。かれは視力を回復するでしょう。それからあなた方の家族全員で、わたしのところに来なさい。

94.隊商が（エジプトからパレスチナへと）出発したが、かれらの父は言いました。たとえあなた方がわたし（ヤアクーブ）を老いぼれと思おうが、確かにわたしはユースフの匂いをかぎました。95.かれらは言いました。アッラーにかけて（誓います）、それは昔からのあなたの勘違いです。96.その後、吉報を伝える人が（帰って）来て、（シャツを）かれ（ヤアクーブ）の顔に投げかけると、すぐにかれは視力を回復しました。かれは言いました。わたしはあなた方に言いませんでしたか。あなた方が知らな

いことを、わたしはアッラーから（の啓示で）知っているのです。97.かれらは言いました。わたしたちの父よ、わたしたちの罪が赦されるよう祈願してください。わたしたちは本当に罪深い者です。98.かれ（ヤアクーブ）は言いました。すぐにわたしはあなた方のため、わたしの主に赦しを願いましょう。誠にかれこそは、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

99.その後、かれらがユースフの元に来たとき、かれは両親を迎えて言いました。ようこそ、アッラーが御望みならば、エジプトではご無事に（おすごしください）。100.かれは両親を高座に上らせました。すると一同はかれに頭を下げました。そしてかれは言いました。わたしの父よ、これが以前のわたしの夢（11の星と太陽と月）の解釈です。わたしの主は、それを正夢にしました。確かにかれは、わたしを厚遇してくれました。牢獄からわたしを出し、悪魔がわたしとその兄弟との間に不和を引き起こした後、砂漠からあなた方を（エジプトに）連れてきたのです。真にわたしの主は、お望みの人に限りなく親切な方です。かれこそは全知かつ英明なお方なのです。

101.わたしの主よ、あなたはわたしに権能を授けられ、出来事（夢）の解釈を教えてくれました。諸天と地の創造主よ、あなたは現世と来世でのわたしの擁護者です。わたしをムスリム（アッラーに従う人）として死なせて、また正しい人の仲間に入れてください。

102.これ（物語）はわれらが、あなた（ムハンマド）に啓示した、目に見えないお告げです。かれら（ユースフの兄たち）がその悪巧みを策謀したとき、あなたはかれらと（その場に）いませんでした。103.たとえ、あなたがどれだけ望んでも、人びとの多くは信心を持たないでしょう。104.あなたはそれ（教化）に対し、どんな報酬もかれらに求めません。これは全世界の人たちへの諭しに他なりません。

105.諸天と地の間には、実に多くの印があるが、かれらはそれ（印）

を見過ごしては、（結局）それらに背を向けるのです。106.かれらの多くは、アッラーに多神を配することでしか、かれに帰依しません。107.かれらは、アッラーの苦痛に襲われないと、または気づかない間に突然その時（最後の日）が来ないと、安心していられるのでしょうか。108.言いなさい。これがわたしの道なのです。わたしとわたしに従う人たちよ、明らかな証拠の上に立って、アッラーへと（人びとを）招きなさい。アッラーに称賛あれ。わたしは多神教徒ではありません。

109.われらがあなた以前に遣わし、われらが啓示を授けた人たち（使徒）は、すべてその町に住む同胞でした。かれら（マッカの民）は地上を旅して、かれら以前の人たちの末路が、どのようであったかを見なかったのでしょうか。（アッラーを）意識する人には、確かに来世の住まいこそ最善です。あなた方は悟らないのですか。110.使徒たちが希望を失って、かれらが（人びとに）拒否されたと思い込んだとき、われらの助けがかれらに届き、われらが望む人だけが救われました。だから罪深い人が、われらの懲罰から逃れることはないのです。

111.確かにかれらの物語の中には、思慮ある人びとへの教訓があるのです。これは捏造された物語ではなく、それ以前の（啓典）の確証であり、万事の詳細な解明であり、また信仰する人たちへの導きと慈悲なのです。

13. 雷章

al-Ra‘d

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ミーム・ラー。

これは啓典の印です。あなたの主からあなたに啓示されたものは真理です。しかし人びとの多くは信仰に入りません。2.アッラーこそは、あな

た方の眼に映る柱もないまま、諸天を高く上げた方です。それからかれは玉座につき、太陽や月を従わさせて、定められた期限まで（定められたコースを）運行するようさせました。かれは万物を統御し、種々の印を詳しく述べます。そうすることであなた方は、自分の主と会うことを確信するでしょう。3.かれこそは大地を広げ、そこにしっかりと山々や河川を配置した方です。またかれは、そこのすべての果実を一対（雌雄）にしました。また夜でもって昼を覆います。実にこの中には、熟考する人びとのための印があります。

4.また地上には、隣り合う地域、ブドウの園、穀物の畑、一つの根から二つの幹が出たナツメヤシや、そうでないものがあります。同じ水が引かれても、われらはあるものを、他のものよりも良い味にします。本当にこの中には、理性ある人びとへの印があるのです。

5.もしあなた（ムハンマド）が驚くとすれば、かれらの（こう）言うことこそ驚きです。わたしたちが土となったとき、わたしたちは本当に新しく創造されるであろうかと。これらはかれらの主を信じない人たちです。かれらはその首に鉄の首輪をつける（地獄の）火の仲間で、その中に永遠に住むのです。

6.かれらはあなたに善いことよりも前に、悪いことを急いで求めます。確かに以前にも、同じような例がたくさんありました。ただしあなたの主は、人間の不正に対し誠によく赦すお方であり、またあなたの主は、懲罰に激しいお方です。

7.不信心な人たちはこう言います。なぜかれの主から、かれに一つの印（奇跡）も啓示されないのかと。あなたは一人の警告者にすぎません。各々の民には一人の導き手があるのです。

8.アッラーは、各々の女性が妊娠するもの（胎児）を知っており、またその子宮のものが短く終わる（流産）か、また（生き）延びるかを知っています。すべてのものは、かれの御元において、一定の分量があるのです。9.

（アッラーは）目に見えない世界も、目に見える世界も知っているお方で、偉大にして至高のお方なのです。10.あなた方の中では言葉を隠しても、それを声に出しても、夜間に隠れても昼間公然と出かけても、（アッラーからすれば）同じことです。

11.かれ（各人）には、かれの前からも後ろからも、次から次に守護に当たる（天使）が付いていて、アッラーの命令によってかれ（各人）を監視しています。真にアッラーは、人が自ら変えない限り、決して人びとの状況を変えることはありません。そしてアッラーがある民に災難を望めば、それを避けることはできません。かれらには、かれの他に擁護者はないのです。

12.かれこそはあなた方に稲妻を現わして、恐れと（雨の）希望を抱かせ、重い雨雲を上に持ってくる方です。13.雷はかれを称えて賛美し、天使たちもかれへの畏怖から（アッラーを賛美します）。かれは落雷を送り、かれらがアッラーについて議論している間にも、かれが望む人をこれで撃ちます。かれは極めて剛勇な方なのです。

14.かれにこそ、真実の祈りはあるのです。かれらがかれの他に祈るものといえば、それは少しもかれらに応えません。まるで両手を水に差し伸べるけれど、それ（水）が自分の口に届かない人のように。非信者の祈りは、ただ迷いの中にあるだけです。

15.諸天と地にあるすべてのものは、好むと好まざるとにかかわらず、アッラーのみにひれ伏すのです。また（同様に）かれらの影も、朝な夕な（休むことなく）アッラーに（祈るのです）。16.言いなさい。諸天と地の主は誰なのですか。言いなさい。アッラーです。言いなさい。あなた方（多神教徒）はかれの他に、自分自身にさえ益も害ももたらせないものを、保護者とするのですか。言いなさい。目が見えない人と見える人は同じなのですか。または暗黒と光明とは同じなのですか。かれら（多神教徒）はかれの創造と同じくらいの創造をする（と考えるのですか）、同列者を

アッラーに配するのですか。言いなさい。アッラーはすべてのものの創造者であり、かれは唯一の征服者なのです。

17.かれが空から水（雨）を降らせば、その量に応じて谷川が流れ、急流が膨らんだ浮き泡を運びます。それと同じような浮き泡は、装飾品または家庭用具を作るために、火の中で熱するものからも（できます）。このようにアッラーは、真実と虚偽とをもたらします。つまり浮き泡は、塵のように消え去るが、人類を益するものは地上に残るのです。このようにアッラーは、数々の例えをもたらします。

18.かれらの主に応える人には祝福があります。一方でかれに応えない人は、地上にあるものをすべて所有し、さらにそれに似たものをもって、（不信心を）償おうとしても（受け入れられません）。かれらにとっては何と悪い清算でしょうか。かれらの住まいは地獄で、悪い寝床なのです。

19.あなたの主からあなたに啓示されたもの（クルアーン）が、真理であることを知る人が、盲人のようでしょうか。確かに思慮ある人だけが、留意するのです。20.これらの人たちは、アッラーとの約束を全うし、契約に違反せず、21.またアッラーが、結ばれるよう命じたもの（家族や共同体など）と結ばれ、かれらの主を畏怖し、（審判の日の）悪い清算を恐れる人たちです。22.またかれらは、主の尊顔を求めて耐え忍び、礼拝の務めを守り、われらが与えた糧の中からそっと、また公然と（善に）支出し、善によって悪を退けるのです。これらの人は、究極の報奨として、（平安の）住まいを得るのです。23.永遠の楽園にかれらは入り、またかれらの先祖、配偶者、子孫の中で善い人たちは誰でも（楽園に入るのです）。そして天使たちは（楽園の）かれらの方に各門から入ります。24.（天使たちは言います）あなた方の上に平安あれ、あなた方はよく耐え忍んだことに鑑みて。究極の報奨として、この住まいは何とすばらしいことでしょうかと。

25.他方、アッラーの約束を契約した後で破り、アッラーが結ばれなさいと命じたものとの関係を断ち、地上で腐敗を広げた人には（アッラーの）拒否があり、劣悪な住まいがあるのです。26.アッラーは御心にかなう人に豊かに糧を拡げ、また制限もできるのです。（かれらは）現世の生活に耽るけれど、現世の生活は、来世に比べれば一時の快楽にすぎません。

27.不信心な人たちはこう言います。なぜかれの主から、かれに一つの印（奇跡）も啓示されないのかと。言いなさい。真にアッラーは、御心次第で人を迷わせ、改心してかれに帰る人をかれへと導くのです。28.そのような信仰する人たちは、アッラーを唱念することで、心は安らぐのです。実際、アッラーを唱念することにこそ、かれらの心の安らぎがあるのです。29.信仰して、善行に励む人たちにとっては、至福（トゥーバー）がかれらのものとなり229、（そこは）善美な帰り所なのです。

30.このようにわれらは、多くの民が以前に滅び去ったが、そういう一つの民の中に、あなた（ムハンマド）を遣わしました。それは慈悲深きお方を信じないでいるかれらに、われらがあなたに啓示するものを、あなたが読誦するためです。言いなさい。かれはわたしの主であり、かれの他に神はいないのです。かれにわたし（ムハンマド）は依拠し、かれにこそ、わたしの拠り所はあるのです。

31.もし何か読まれるものがあって、それにより山々が動かされ、大地が裂かれ、死者が語らせられるとしたら（それはこのクルアーンです）。そしてアッラーにこそ、すべての命令はあります。信仰する人たちは、もしアッラーが御望みになれば、全人類を一人残らず導いていたことを知らないのですか。でも不信心な人たちには、かれらがしてきたこと（悪行）のために災厄が絶えることはなく、もしくはアッラーの約束が実現するまで、それ（災厄）は、かれらの住まいの付近に留まるのです。アッラーが約束を破ることは決してありません。32.確かに（多くの）使徒たちは、

あなた（ムハンマド）以前に笑い草にされました。でもわたしは不信心な人たちに猶予を与え、それからわたしはかれらを（地獄の）務めにつかせました。わたしの懲罰はどうだったのか。

33.かれこそは、各人が稼いだことを監督する方ではありませんか。でもかれらはアッラーに同列者を配します。言いなさい。かれら（同列者）の名を挙げなさい。あるいは、あなた方はかれが地上で知らないことを、かれに告げられるというのですか。それとも空疎な言葉にすぎないのですか。いいえ。不信心な人たちにとって、かれらの企みがうわべは魅惑的に見えただけです。それでかれらは（正しい）道から閉め出されたのです。アッラーが迷わせた人には、導き手はいません。34.かれらに対しては、現世の生活に苦痛があり、来世の苦痛はさらに激しいのです。かれらには、アッラーに対する防護者はいません。

35.（アッラーを）意識する人たちに約束される楽園の姿は、川が下を流れ、永続的な食べ物と日陰があります。これが（アッラーを）意識する人たちの最後です。でも非信者の最後は（地獄の）火です。

36.われらが啓典を与えた人たちは、あなた(ムハンマド)に啓示されたものについて喜びます。でも諸党派の中には、その一部を拒否する人たちがいます。言いなさい。わたしは、アッラーに仕え、何ものもかれと同列に並べてはならないと命じられました。わたしはかれへと（人びとに）呼びかけ、またかれにわたしの帰り所はあるのです。37.このようにわれらは、裁定のためにアラビア語でそれ（クルアーン）を啓示しました。もしあなたが、知識が来た後、かれらの（悪い）欲望に従うならば、あなたにはアッラーに対しては援助者もなく、また防護者もないでしょう。38.確かにわれらはあなた以前にも使徒たちを遣わし、かれらのために妻と子孫を授けました。ただしアッラーの許しなく、使徒が印を持って来ることはありませんでした。各時代には一つの書（啓典）がありま

す。39.アッラーは御望みのものを取り消し、確定し、そしてかれの御元に啓典の母体があります。

40.またわれらが、かれらを脅かしたことの一部（地獄の懲罰）を、あなた（ムハンマド）に示しても、もしくは（その前に）われらがあなたを死なせても、あなたの任務は（啓示を）伝えるだけであり、（一方）われらに清算はあるのです。41.かれらは、われらがこの土地（アラビア半島）に来て、端々からそれ（非信者の土地）を切り崩しているのを見ないのですか。結局アッラーが裁きます。そのときかれの裁きを妨げるものは何もありません。かれは清算に迅速なのです。42.かれら（マッカの多神教徒）以前の民も、（使徒に対して）企てをしました。でもすべての（本当の）企ては、アッラーに属します。かれは各人が稼ぐものをすべて知っています。非信者は、究極の報奨である住まいが、誰のもの（楽園は信者のもの）であるかを知るでしょう。

43.信仰しない人たちは言います。あなたは遣わせられた者ではないと。言いなさい。わたし（ムハンマド）とあなた方との間の立証者としては、アッラーで十分です。そして啓典の知識を持つものも（立証します）。

14. イブラーヒーム章

’Ibrahim

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ラー。

（これは）われらがあなた（ムハンマド）に降ろした啓典で、あなたが主のお許しによって、人びとを暗黒から光明へ、（また）偉力大で称賛すべき方の道へと導き出すためのものです。 2.アッラーにこそ、諸天にあり、また地にあるすべてのものは属します。非信者に激しい苦痛の災いあ

れ。3.かれらは来世よりも現世の生活を好み、アッラーの道から(人びとを)妨げたり、(それを)曲げようとします。これらは遠く迷い去った人たちなのです。

4.かれらに、はっきりと(啓示を)説くため、われらはその民の言葉を使う人しか、使徒として遣わしたことはありません。それでいてアッラーは、御望みの人を迷うに任せ、また御望みの人を導きます。かれは偉力大で英明な方です。

5.確かにわれらは印(奇跡)と共にムーサーを遣わし、自分の民を暗黒から光明に導き出し、またアッラーの日々をかれらに思い出させなさいと(命じました)。真にこの中には、耐え忍び感謝する、すべての人たちへの印があります。

6.そしてムーサーが、その民にこう言ったときのことです。あなた方に対するアッラーの恩寵を思い出しなさい。かれがあなた方をフィルアウンの一族から救ったとき、かれらはあなた方をひどい拷問で苦しめ、あなた方の男児を殺し、女児を生かしていました。確かにその中には、あなた方の主からの、甚大な試練があったのです。7.そのときあなた方の主は宣告しました。もしあなた方が感謝するならば、わたしは必ずあなた方にもっと(報奨を)与えるでしょう、しかしあなた方が恩を忘れるならば、わたしの苦痛は本当に激しいのですと。8.またムーサーは言いました。たとえあなた方と地上のすべての人が恩を忘れても、誠にアッラーは豊かに満ち足りているお方で、称賛されるべきお方です。

9.あなた方以前の人たち、(つまり)ヌーフの民、アードの民、サムードの民、またかれら以後の人たちについての知らせが、あなた方に届きませんでしたか。(もちろん)アッラーのみが、かれらをご存知です。明証を持って使徒たちがかれらの元に来ましたが、かれら(非信者)はその手をかれら(使徒たち)の口に突っ込んで言いました。わたしたちは、あなた方が遣わされて持ってきたもの(明証)を絶対に信じない。わたしたち

は、あなた方がそれへと誘うことについても、強い疑念を持っていますと。

10.かれらの使徒たちは言いました。あなた方は諸天と地を創造した方であるアッラーについて疑念があるのか。かれがあなた方を（アッラーへと）招いたのは、あなた方の罪を赦し、定められた期限まであなた方を猶予するためですと。かれらは言いました。あなた方（使徒たち）は、わたしたちと同じ人間にすぎない。あなた方は、わたしたちの先祖が仕えてきたものから、わたしたちを背かせようと望んでいるのでしょう。それなら、わたしたちに明らかな確証を持って来なさいと。

11.使徒たちはかれらに言いました。わたしたちは、あなた方と同じ人間にすぎません。ただしアッラーは、かれの僕の中で、御心にかなう人に恩恵を与えます。アッラーのお許しがない限り、わたしたち（使徒たち）があなた方に確証をもたらすことは一切できない。だからアッラーにこそ、信者の全幅の信頼を寄せさせなさい。12.かれが（従うべき）道にわたしたちを導いたのに、どうしてわたしたちは、アッラーを信頼しないでいられるでしょうか。わたしたちは、あなた方が引き起こす、あらゆる害にも耐え忍ぶつもりです。およそ信頼する人たちには、アッラーにこそ頼らせなさいと。

13.すると不信心な人たちは、かれらの使徒たちに言いました。わたしたちは、必ずあなた方を、わたしたちの土地から追放するでしょう。さもなければ、わたしたちの宗旨に戻るべきです。そこでかれらの主は、かれら（使徒たち）に啓示しました。われらは不正の人たちを滅ぼし、14.かれらの後、あなた方をこの土地に住まわせます。これら（応報）は、わたしの前に立つこと（審判の日）を畏れる人、また（アッラーとの）約束を畏れる人のためです。

15.かれら（使徒たち）は裁定を（アッラーに）求め、すべての頑固で横暴な者は滅びました。16.かれ（横暴な者）の背後には地獄があり、腐っ

た水が与えられる。17.かれがそれを飲みこもうとしても、なかなか喉を通らない。また死がすべての方向から迫るが、かれは死にもしない。かれの背後には、ひどい苦痛があるのです。

18.かれらの主を信じない人を例えれば、かれらの行ないは、ちょうど暴風が吹き荒れる日の灰のようなものです。(つまり)かれらが(この世で)稼いできたことは、何の役にも立たちません。これこそが(正道から)遠く離れ去っているということなのです。19.あなた方はアッラーが、真理によって諸天と地を創造したことを見ないのですか。もしかれが御望みならば、かれはあなた方を追放して、新しい被創造物を(代わりに)連れて来るでしょう。20.それはアッラーにとって、難しいことではありません。

21.(審判の日)かれらは全員、アッラーの御前に出ていきます。そのとき弱者たちは、高慢であった人たちに向かって、(こう)言うのです。わたしたちは(現世で)あなた方に従う人でした。だから(来世で)あなた方は、アッラーの苦痛からわたしたちを守る人たちとなるのですか。かれらは言います。もしアッラーがわたしたちをお導きになっていたら、あなた方(弱者)を導いていたことでしょう。(だから今さら)ジタバタしても、耐え忍んでも、わたしたちにとっては同じことで、もはや逃げられないのです。

22.万事が裁決されたとき、悪魔は言いました。確かに真実の約束を、あなた方に約束したのはアッラーでした。わたしもあなた方に約束したのですが、あなた方を裏切りました。そしてわたしは、あなた方に対する権能を持ちませんでした。ただあなた方を招き入れ、あなた方がわたしに従っただけです。だからわたしを非難してはいけません。むしろ自分自身を非難しなさい。わたし(悪魔)はあなた方を助ける者ではなく、あなた方もわたしを助ける者ではないのです。実のところわたしは、あ

なた方が以前、わたしを（アッラーと）同列に配することを拒否していたのです。本当に不正の人たちであるかれらには、激しい苦痛があります。

23.信仰して善行に励んだ人たちは、かれらの主のお許しのもとに、川が下を流れる楽園に入り、永遠にその中に住むのです。そこでのかれらの挨拶は、平安あれ（サラーム）でしょう。

24.あなた（ムハンマド）はアッラーが、いかに例えをもたらすのかを見ないのですか。（例えば）良い言葉234とは、良い木（ナツメヤシ）のようなもので、その根はしっかりと安定し、その枝は空の方に向いて、25.主の命令により、すべての季節に実を結びます。アッラーは人びとのため、かれらが心に留めておけるように、多くの例えをもたらすのです。26.悪い（不信心の）言葉の例えとは、悪い（腐った）木のようなもので、地面から根が抜けて、それ（根）には安定性がありません。

27.アッラーは、堅固な（良い）言葉をもって信仰する人たちを、現世の生活と来世において、しっかり立たせます。他方アッラーは、不正を行なう者を迷うに任せ、またアッラーは御心のままになされるのです。

28.あなた（ムハンマド）は、アッラーの恩寵を忘恩に換え、自分たちの人びとを破滅の住まいに落とし入れた人たちを見ないのですか。29.（そこは）地獄で、かれらはその中で焼かれます。（何と）悪い住み所でしょう。30.かれらは（人びとを）かれの道から迷わせるために、アッラーに同位者を配しました。言いなさい。（この世の生活を）楽しみなさい。確かにあなた方の行き着く先は（地獄の）火です。

31.信仰するわたしの僕たちに言いなさい。取引も友情も果たせない日が来る前に、礼拝の務めを守り、われらが授けたものから、隠れて、また公然と施しなさい。

32.アッラーこそは、諸天と地を創造し、空から水（雨）を降らせ、それ（水）からあなた方の糧として果実をもたらした方です。またかれの命令によって海上を航行できるよう、かれはあなた方のために船を有益に

させました。そして（同じく）かれはあなた方のために、川を有益にさせたのです。33.またかれは、あなた方のために太陽と月の軌道運行を有益にさせ、またあなた方のために、夜と昼を有益にさせました。34.かれはあなた方が求めた、あらゆるものを授けました。だからアッラーの恩寵を数え上げても、あなた方はそれを数えきることはできません。実に人間は不公正かつ忘恩なのです。

35.イブラーヒームがこう言ったときのことです。わたしの主よ、この町を平安にしてください。そしてわたしとその子孫を、偶像崇拝から遠ざけてください。36.わたしの主よ、かれらは人びとの多くを迷わせました。だからわたしに従う人は、確かにわたしの身内です。他方わたしに従わない人については、あなたは実によく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。

37.わたしたちの主よ、わたし（イブラーヒム）は自分の子孫の何人かを、あなたの禁忌のある家（カアバ殿）近くの、耕してない谷間に住まわせました。わたしたちの主よ、そうすることで、かれらが礼拝の務めを守り、人びとの心をかれら（の宗教）に引き付けてください。またかれらが（アッラーに）感謝するよう、かれらに果実を与えてください。

38.わたしたちの主よ、確かにあなたは、わたしたちが隠すことも現すこともご存知なのです。地においても天においても、アッラーから隠れられるものは何もありません。39.すべての称賛はアッラーにあり、かれは老齢のわたし（イブラーヒム）にイスマーイールとイスハークを授けた方です。誠にわたしの主は、祈願を聞き入れてくださる方です。40.わたしの主よ、わたしとわたしの子孫たちを、礼拝の務めを守る人にしてください。わたしたちの主よ、わたしの祈願を受け入れてください。41.わたしたちの主よ、清算が確定する日には、わたしとその両親と信者たちを、お赦しください。

42.アッラーが不正を行なう（不信心な）人たちを見逃すとあなた

（ムハンマド）は考えてはいけません。かれはかれらが（地獄の恐怖のために）思わず目がすわってしまう日まで、かれらに猶予を与えるだけです。43.（その日、首輪につながれた）かれらは、首を上げながら前方に走り、かれらの視線は宙を舞い、心は空ろです。

44.だから苦痛がやって来る日を、人びとに警告しなさい。そのとき不正を行なった（不信心な）人は言います。わたしたちの主よ、短期間の猶予を願います。わたしたちはあなたの呼び掛けに応え、使徒たちに従いますと。（するとアッラーは言われます）以前あなた方は、自分たちに陰り（あの世行き）はないと宣告していませんでしたか。45.あなた方は、自分自身を損なっていた人びとの住まいに住みます。そしてあなた方のために、われらがいかにかれらを処分したかを明らかにし、あなた方のために、諸事例を述べたのです。46.確かにかれらは悪巧みを企てました。でもかれらの企てはアッラーの御元にあります。たとえかれらの企てが、山々を動かすほどのものであったとしても。

47.だからアッラーが、かれの使徒たちとの約束を破ると、あなた（ムハンマド）は考えてはいけません。実にアッラーは、偉力大であり、かつ報復の主です。48.大地が大地ではないものに変えられ、諸天も変えられる日、かれらは唯一の征服者アッラー（の御前）に出ます。49.その日あなたは、罪深い人たちが鎖で一緒につながれているのを見るでしょう。50.かれらの衣服は（真黒い）タールで、かれらの顔は火で覆われます。51.このようにアッラーは各人が稼いだことに報います。誠にアッラーは清算に迅速なのです。52.これは全人類への（啓示の）宣言です。これによってかれらは警告され、かれのみが唯一の神であることを知り、思慮ある人たちは留意できるのです。

15. アル・ヒジュル章

al-Hijr

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆14部◆アリフ・ラーム・ラー。

これは、(物事を)明らかにする啓典クルアーンの印です。2.おそらく(審判の日に)不信心な人たちは、自分たちがムスリムであったならば、と望むことでしょう。3.(しかし)かれらを放っておきなさい。かれらは食べて楽しみ、(現世の)妄欲がかれらを惑わせるでしょう。それで間もなく、かれらは悟るのです。4.われらは(天の)書板で知らされたそれ(猶予の期限)のない町を、滅ぼしたことはありませんでした。5.いかなる共同体もその期限を早め、また遅らすことはできません。

6.そしてかれら(マッカの多神教徒)は言います。この諭し(クルアーン)が啓示された人(ムハンマド)よ、本当にあなたは気狂いです。7.もしあなたが真実ならば、なぜ天使たちを連れて来ないのか。8.われらが天使たちを遣わしたのは、この正義(懲罰の履行など)のために他なりません。そうなれば、かれらはもう猶予されないのです。

9.確かにわれらは、この諭しを啓示しました。そしてわれらは、それをしっかりと守護する者なのです。

10.われらはあなた以前の、先祖の諸集団にも確かに(使徒たちを)遣わしました。11.そして使徒がかれらの元へとやって来ると、かれらはかれ(使徒)を笑い草にするのでした。12.このようにわれらは、罪深い人の心にそれ(諭し)を忍び込ませました。13.(それでも)かれらはそれを信じません。確かに(これが)先祖の人たちの慣行でした。14.たとえわれらが、かれらのために天の門を開いて、かれらがその中を通って(天界を)登り続けても、15.かれらはきっと、(こう)言うでしょう。わたしたちの

目は眩みました。実にわたしたちは、（ムハンマドによって）魔術にかけられた人たちなのですと。

16.われらは諸天に星座を配置して、観察する人たちのために美しく飾り、17.われらは拒否されたすべての悪魔から、それら（星座）を守ります。18.ただし盗み聞きする者（悪魔）は別で、明瞭な炎がかれを追いかけます。

19.またわれらは大地を伸べ広げて、山々をしっかりとその中に据えつけました。その中ですべてのものを均衡良く生長させます。20.われらはあなた方のために、生きていく糧を与えました。またあなた方が扶養者となりえないものにも。

21.われらの御元には何でもその貯蔵庫があり、われらは一定の分量の他には何ももたらしません。22.またわれらは豊沃にする風を送り、空から水（雨）を降らせて、あなた方が飲むようにそれ（水）を与えます。ただしあなた方はその（貯蔵庫の）管理者ではありません。

23.確かにわれらはあなた方を生かし、また死なせます。われらが（究極の）相続者なのです。24.われらはあなた方の中で、先んじる人たちを知っています。また遅れをとる人たちも知っています。25.確かにあなたの主は、かれら全員を（審判の日に）召集します。真にかれは英明かつ全知なのです。

26.確かにわれらは人間を、乾いた黒い泥の陶土から創りました。27.そしてジン（幽精）は（人間よりも）先に、われらは燃え盛る火から創りました。

28.あなたの主が、天使たちにこう言ったときです。わたしはかれ（人間）を乾いた黒い泥の陶土から創る、29.だからわたしがかれを（完全に）形作り、かれにわたしの霊魂を吹き込んだら、かれにひれ伏しなさいと。30.それで天使たちは全員ひれ伏しました。ただしイブリースを除いて。31.かれ（イブリース）はひれ伏すことを拒否したのでした。32.かれ

は言いました。イブリースよ、ひれ伏すことを拒否するとは、あなたは一体どうしたのか。33.かれ（イブリース）は言いました。わたしは、あなたが乾いた黒い泥の陶土から創った人間に、ひれ伏すつもりはないのです。

34.かれは言いました。それならば、あなたはそこ（天国）から出て行きなさい。誠にあなたは、石もて追われる者です。35.あなたは、審判の日まで（わたしに）拒否されるのです。36.かれ（イブリース）は言いました。わたしの主よ、かれら（人間）が復活する日まで、わたしに猶予を与えてください。37.かれは言いました。確かにあなたは猶予されました。38.（ただし）定められた時の（審判の）日まで。

39.かれ（イブリース）は言いました。わたしの主よ、あなたはわたしを迷わせたので、わたしは地上でかれら（人間）に（迷いを）飾りつけて（幻惑して）、かれらを一人残らず迷わせましょう。40.ただし、かれらの中で至誠なあなたの僕たちは別です。

41.かれは言いました。これ（至誠）こそ、わたしへのまっすぐな道なのです。42.真にあなた（イブリース）は、あなたに従う迷った者を除いては、わたしの僕たちに対して何の権能も持ちません。43.確かに地獄こそ、かれら（イブリースに従った）全員に約束された所です。44.それ（地獄）には七つの門があり、各門にかれらの一団が割り当てられます。

45.一方（アッラーを）意識する人たちは、泉のある楽園に入り、46.平安に安全に、ここに入りなさい（と言われます）。47.そしてわれらは、かれらの胸中のわだかまりを取り除き、（かれらは）兄弟として寝椅子の上に向かい合って横たわります。48.そこ（楽園）では、疲労がかれらを襲うことはなく、そこから追い出されることもありません。49.（ムハンマドよ）わたしの僕たちに、わたしがよく赦す者であり、慈悲深い者であることを知らせなさい。50.しかしわたしの苦痛は最も厳しいものであると（知らせなさい）。

51.また（ムハンマドよ）かれらに、イブラーヒームの客（天使たち）について知らせなさい。52.かれらが、かれの所（イブラーヒームの家）に入り、平安あれと言ったとき、かれ（イブラーヒーム）は言いました。わたしたちは、あなた方（天使たち）に恐れを抱きます。53.かれらは言いました。恐れてはならない。わたしたちは賢明な一人の息子（イスハーク236）の吉報を、あなたに持って来たのです。54.かれは言いました。わたしは老齢に達しているのに、あなた方はわたしに（息子の）吉報をくれるのか。何という吉報をあなた方はもたらすのでしょう。55.かれらは言いました。わたしたちは、真理によって吉報をあなたに伝える。だから失望してはいけません。56.かれは言いました。迷い去った人の他、誰がかれの主の慈悲に絶望するでしょうか。

57.かれは（また）言いました。使徒（天使）たちよ、あなた方のご用件は何でしょうか。58.かれらは言いました。わたしたちは罪深い人びと（ルートの民）へ遣わされたのです。59.ただしルートの家族は別です。わたしたちは、かれら（ルートの家族）全員を救います。ただかれ（ルート）の妻は除外して。60.かの女は背後に残る人びとの一人であると、われらは定めました。

61.それから使徒（天使）たちが、ルートの家族の所にやって来たとき、62.かれは言いました。あなた方は、見なれない人びとです。63.かれら（天使たち）は言いました。実はわたしたちは、かれら（人びと）が疑いを抱いていること（懲罰）を持って、あなたの元に来ました。64.つまり、わたしたちは真実を持って来たのです。本当にわたしたちは真実を語る者です。65.そこで夜間に、あなたの家族と一緒に旅立ちなさい。あなたはかれらの背後からついて行き、あなた方（家族）の誰にも後ろを振り向かせてはいけません。そしてただ命じられた所に行きなさい。66.（こうして）われらは、（翌日）早朝に、これらの（罪深い）者たちを根絶やしにするという決定について、かれに知らせました。

67.町の人たちは、喜色満面でやって来ました。68.かれ（ルート）は言いました。これら（天使たち）は、わたしの客人です。だから（男色など破廉恥なことで）わたしに恥をかかせないでくれ。69.アッラーを畏れ、わたしの面を汚さないでくれ。70.かれらは言いました。わたしたちは、この（男色）世界（への横槍）をあなたに禁じませんでしたか。71.かれは言いました。もしあなた方が（性欲の充足を）しなければならないなら、わたしの娘たちがいます。

72.（アッラーのムハンマドへの誓い）あなたの生命にかけて。何と、かれらは泥酔し、当てもなくさ迷う。73.日の出になり、叫び声（懲罰）が一発、かれらを襲いました。74.われらはその（町を）上下逆さまに転覆させ、幾重にも焼いた泥の石を降らせました。75.実にこの中には判読する人への数々の印があります。76.それ（遺跡）は、今なお存続する沿道にあります。77.この中には、信者への一つの印があるのです。

78.また森（アイカ）の人びとも不正を行なう人びとでした。 79.そこでわれらはかれらに報復しました。確かにこれら（二つの遺跡）は、沿道に（今も）明らかなのです。80.また実にヒジュルの住人も、使徒たちを嘘つき呼ばわりしました。81.われらはかれらにも、われらの数々の印を与えましたが、かれらはそれら（印）に背を向けました。82.かれらは（岩）山に家を彫って、安住していました。83.でもある早朝、一つの叫び声（懲罰）が、かれらを襲いました。84.それでかれらが稼いできたことは、かれらに何の役にも立ちませんでした。

85.われらは諸天と地、またその間にあるすべてのものを、ただ真理をもって創造しました。確かに（審判の）時はやって来るのです。だからあなた（ムハンマド）は（敵対した人びとに）十分寛大にしてやりなさい。86.真に、あなたの主、かれこそは一大創造の主であり、全知の方なのです。

87.われらはあなたに、しばしば繰り返される七つ（の節）と、偉大

なクルアーンを授けました。88.（だから）われらがかれら（マッカの多神教徒）の何人かに与えたもの（現世の享楽）へと、あなたの両目を（物欲しげに）向けてはいけません。またかれら（の不信心）に、悲しんではいけません。（それよりも）信者たちに、あなたの翼を低くし（謙虚であり）なさい。89.そして言いなさい。確かにわたしは明らかな警告者ですと。90.われらは分裂した人たちに対しても、（同様に）啓示しました。91.（しかし）かれらはクルアーンをののしったのです。92.だからあなたの主に誓って、われらはかれら全員を尋問します。93.かれらがしてきたこと（すべて）について。

94.だからあなた（ムハンマド）は、命じられたことを宣告しなさい。そして多神教徒たちから顔を背けなさい。95.（ムハンマドのもたらす啓示を）笑い草にする人たちに対しては、真にわれらがいれば十分です。96.かれらは、アッラーに別の神を配するけれども、間もなく知るのです。97.われらは、かれらが口にすることによって、あなた（ムハンマド）の胸が締めつけられるのを知っています。98.だからあなたの主を称賛（の言葉）をもって賛美し、ひれ伏す者となりなさい。99.そして確かなこと（死）が来るまで、あなたの主に仕えなさい。

16. 蜜蜂章

al-Nahl

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アッラーの命令（審判の日）は、（やがて）来る。だからそれを急いで求めてはいけません。かれに賛美あれ。かれは、かれら（多神教徒）が同位に配するものの上に、高くおられます。2.かれの命令により警告するために、魂（啓示）と共に、かれの僕の中でもかれが望む人（ムハンマド）に、かれは天使たちを遣わします。つまり（警告とは）わたしの他に神はな

く、わたしを意識しなさいということです。3.かれは真理をもって、諸天と地を創造しました。かれは、かれらが同位に配するものの上に、高くおられます。

4.かれは一滴（の精液）から人間を創りました。でも見なさい。かれ（人間）は公然と異論を唱えます。5.またかれは、家畜をあなた方（人間）のために創りました。それら（家畜）の中には、暖まる物（毛皮など）やさまざまな便益があります。そしてそれら（便益）から、あなた方は食べる（栄養を摂る）のです。6.またそれら（家畜）を（家へ）連れ戻すとき、また（牧地へ）駆り出すとき、それは、あなた方にとって美観です。7.またかれら（家畜）は、あなた方が自ら苦労しないと辿り着けない土地へ、あなた方の重荷を運びます。実にあなた方の主は、親切かつ慈悲深いのです。8.馬とラバとロバは、あなた方の乗用と（人に見せる）飾りのためです。さらにかれはあなた方の知らないもの（すべて）を創りました。

9.（正しい）道の方向づけは、アッラーの務めです。（なぜならば）曲った道もあるからです。もしかれが望むなら、かれはあなた方全員を導いたでしょう。

10.かれこそは、あなた方のために、空から水（雨）を降らす方です。（つまり）それ（水）から飲料（ができ）、それから草木（が生育し）、それ（草木）であなた方は牧畜します。11.かれはあなた方のために、それ（水）をもって穀物とオリーブとナツメヤシとブドウと各種の果物を生育させます。確かにこの中には、熟考する人びとへの数々の印があります。

12.かれの命令によって、かれは夜と昼、太陽と月、また群星もあなた方のために有益にさせました。確かにこの中には、理性ある人びとへの数々の印があります。13.またかれはあなた方のために、地上にあるすべての物を多様な色彩に増殖されます。確かにこの中には、留意する人びとへの数々の印があります。

14.またかれこそは、海を有益にさせる方です。（つまり）それ（海）から鮮魚を食べ、それ（海）からあなた方が飾りに用いるものを採ります。またかれの恵みを求めて、その中に波を切って進む船を見ます。きっとあなた方は感謝するでしょう。

15.またかれは、地上にしっかりと山々を配置しました。あなた方を揺り動かさないように。さらに川や道も（配置しました）。あなた方が導かれるように。16.また陸標と星によって、かれら（人びと）は導かれます。

17.それで創造する方（アッラー）が、創造しない者と同じなのですか。それでもあなた方は留意しないのですか。18.たとえあなた方が、アッラーの恩寵を数えても、それらを数え上げることはできません。誠にアッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。19.アッラーはあなた方が隠すことも、現すこともご存知です。

20.かれら（非信者）が、アッラーの他に祈るものたちは、何も創造しません。しかもかれら（偶像）自身は創られたのです。21.（偶像は）死んでおり、生命はありません。だから、いつかれら、（非信者）が復活されるかを知るはずもありません。22.あなた方の神は、唯一の神（アッラー）です。でも来世を信じない人たちは、その心が（真理を）拒否し、高慢なのです。23.疑いもなく、アッラーはあなた方が隠すことも、現すこともご存知です。かれは高慢な人たちを愛しません。

24.あなた方の主は（ムハンマドに）何を啓示したのですかと、かれら（非信者）に尋ねられると、かれらは（それは）昔の物語ですと言います。25.かれらは復活の日、自分の重荷（罪）をすべて背負います。またかれらは、知識なく迷わせた人びとの重荷も負います。かれらの背負うものこそ、最悪なのです。

26.かれら以前の人びとも悪巧みをしました。でもアッラー（の懲罰）は、かれらの建物の基礎から襲いました。屋根が上から落ち、想定外の方向からも苦痛が襲ったのです。27.それで復活の日、かれはかれらに

恥辱を与えて言います。あなた方が（わたしに）対立するために持ち出してきた、わたしの同位者たちは、どこにいるのですか。知識を授けられた人たちは言います。この（審判の）日、恥辱と災厄は非信者たちの上にあります。

28.かれら（非信者）は自分自身に不正をしている間に、天使たちが（生命を）召した人たちですが、かれらは（アッラーへの）服従を表明して、わたしたちは悪を行ないませんでしたと（言います）。いいえ（とんでもない）、アッラーは、あなた方がしてきたことをすべてご存知です。29.だから地獄の門を入り、その中に永遠に住みなさい。高慢な人たちの住まいは、何と哀れなことでしょうか。

30.（アッラーを）意識する人たちは尋ねられました。あなた方の主は、何を啓示したのですか。かれらは言います。（あらゆる）最善のものですと。現世で善行をする人たちには良いことがあり、来世の住まいはさらに良いのです。（アッラーを）意識する人の住まいの、何とすばらしいことか。31.かれらは、川が下を流れる永遠の楽園に入ります。その中で、かれらには何でも欲しいものがあるのです。このようにアッラーは（アッラーを）意識する人たちを報います。32.天使たちが善良な人たちを召すとき、こう言います。あなた方に平安あれ、あなた方がしてきたことのために、楽園に入りなさいと。

33.（一方）かれら（非信者）は、天使たちがやって来るか、またはあなたの主の命令（懲罰）が下るまで、待っているだけです。このように、かれら以前の人びとも（同様に不正を）しました。アッラーがかれらに不正したのではなく、かれらは自分自身に不正をしたのでした。34.かれらがしてきたことの悪がかれらを襲い、笑い草にしてきたことがかれらを取り囲んだのでした。

35.（アッラーに）同位者を配する人たちは言います。もしアッラーが望むなら、わたしたちはかれの他に何ものも崇拝しませんでした。わた

したちも、わたしたちの先祖も（しませんでした）。またわたしたちは、かれ（の命令）なくしては、何も禁じなかったでしょう。このようにかれら以前の人びとも、言いました。使徒たち（の責務）は、はっきりと（啓示を）伝えることだけです。

36.確かにわれらは、すべての共同体に使徒を遣わし、アッラーに仕えて、邪神を避けなさいと（命じました）。それでかれらの中には、アッラーが導いた人もあり、また、迷誤が当然の人もありました。だから地上を旅して、（真理を）拒否した人の最後がどのようであったかを見なさい。37.たとえあなた（ムハンマド）が、かれらの導きを望んでも、かれが迷うに任せた人たちを、アッラーは導きません。かれらに援助者はありません。

38.かれらはアッラーにかけて強く誓います。アッラーは死者を復活させないと。いいえ。これはかれが果たすべき真実の約束です。でも人びとの多くは知りません。39.かれはかれらが（現世で）仲たがいしていたことを、かれらにはっきりさせます。また不信心の人たちは、自分が嘘つきであったことを知ります。40.われらがある事を望むとき、われらの言葉としては、われらがそれに有れと言うだけで、その通りになるのです。

41.迫害を受けた後、アッラーの（道の）ために移住した人たちには、われらは現世で良い住みかを与えます。そして実に、来世での報奨は、はるかに大きいのです。もしかれらに分かるならば（よかったのに）。42.かれら（移住者）は忍耐強く、かれらの主に頼りきる人たちなのです。

43.われらがあなた（ムハンマド）以前に遣わしたのは、（天使でなくて）人間にほかなりません。われらはかれらに啓示したのです。だからあなた方がもし（そのことを）知らないなら、教え（啓典）を与えられている民（ユダヤ教徒とキリスト教徒）に聞きなさい。44.明証と書巻とを持って、われらがあなたに教えを啓示したのは、（以前）かれらに啓示されたものを、人類に解明するためです。かれらはきっと熟考するでしょう。

45.悪を企てる人たちは、アッラーが、かれらを大地に飲み込ませたり、かれらが想定しない方向から苦痛で襲わないと、(確かに) 安心できるのでしょうか。46.または、かれらがあちこち往来する間に、かれが (突然) かれらを捕まえないと、(安心できるのでしょうか。) かれらは (アッラーから) 逃れられません。47.もしくはかれは、徐々に (非信者の運勢を) 衰弱させて、かれらを捕まえます。実にあなた方の主は親切なお方で、慈悲深いお方です。

48.かれらはアッラーが創造したものを見なかったのでしょうか。その影は右や左に動いて、アッラーに謙虚にひれ伏します。49.諸天と地にあるすべての生き物や天使たちは、アッラーにひれ伏し、かれらは高慢ではありません。50.かれらは、自分の (遥か) 上におられるかれらの主を畏怖し、命じられることをかれらは実行するのです。

51.アッラーは言いました。二神をとってはいけません。確かにかれは、唯一神です。だからあなた方はわたしだけを畏れなさいと。52.かれに諸天と地にあるものは属し、かれに対し永遠の服従があります。それなのにあなた方は、アッラー以外を意識するのですか。

53.あなた方にあるどんな恩恵も、アッラーからなのです。それで逆境があなた方を襲うと、あなた方はかれに助けを願います。54.そしてかれがあなた方から逆境を除くと、見なさい、あなた方の中のある一派は、かれらの主に同位者を配し、55.われらがかれらに与えたもの (恩恵) を忘れてしまうのです。それで (現世を) 楽しんでいなさい。でもすぐにあなた方は知るのです。56.またかれらは、われらが与えた糧の一部を、自分たちが知らないもの (偶像) に供えます。アッラーに誓って (言います) 。あなた方は、自分たちが捏造してきたものに関し、詰問されるでしょう。

57.かれらは、アッラーに娘を配します。アッラーに賛美あれ。かれら自身には、息子を望むのに。58.かれらの一人が女児との知らせが届く

と、かれの顔は暗くなり、悲しみに沈みます。59.かれに与えられた知らせが悪いために、かれは人目を避けるのです。恥辱を忍んでそれ（女児）をかかえこむか、それとも土の中にそれを埋めるか。かれらの判断こそ、悪です。60.来世を信じない人たちは、悪の様相で、アッラーこそは、最高の姿なのです。実にかれは、偉力大で英明な方です。

61.もしアッラーが、かれらの不正のために人間を罰するなら、かれは地上に一切の生き物を残さなかったでしょう。でもかれは定められた期限まで、かれらを猶予するのです。だから、かれらの期限が来るときは、一刻も遅らせたり、早めたりはできません。

62.かれらは自分の好まないもの（娘）をアッラーに割り当て、最善（息子）は自分のためにあると、かれらの舌は虚言を吐くのです。疑いもなく、かれらには（地獄の）火があります。(その中に)かれらは見捨てられるでしょう。

63.アッラー（自ら）に誓って（言います）。われらはあなた（ムハンマド）以前にも、諸民族に（使徒たちを）遣わしました。ところが悪魔は、かれら（諸民族の中の非信者）の行ないを立派に思わせ、今も、かれ（悪魔）はかれらの擁護者です。かれらには厳しい苦痛があります。64.われらがあなたに啓典を啓示したのは、ただかれらが仲たがいしていたことについて解明するためであり、信者への導きと慈悲としてだけです。

65.アッラーは空から雨を降らせ、それで大地が死に果てているときには、命を与えます。確かにその中には、耳を傾ける人びとへの印があります。

66.また家畜の中にも、あなた方への教訓があります。われらはそれらの腹の中の消化物（栄養素）と血液の間から、あなた方に飲料（ミルク）を与えます。ミルクは飲む人たちにとって、清潔でおいしいのです。67.またナツメヤシやブドウの果実から、あなた方は果汁や良い糧を得ます。確かにその中には、理性ある人びとへの印があります。

68.またあなたの主は、蜜蜂に啓示しました。山や樹木、かれら（人びと）の建造物に巣を作りなさい。69.それで各種の果実から（蜜を）吸い、あなた（メス蜂）の主が容易にした道に従いなさい。かの女（メス蜂）たちの腹の中からは、種々の色合いの飲料（蜂蜜）が出て、その中には人間を癒すものがあります245。確かにこの中には、熟考する人びとへの印があります。

70.アッラーはあなた方を創り、それからあなた方を死なせます。またあなた方の中には、知識を得た後、何も知らなく（記憶がなく）なるほど弱体化する年齢に戻される人もいます。真にアッラーは、全知かつ全能です。

71.またアッラーは、あなた方の中のある人には、他の人以上に糧を与えます。ところが寵愛を受けた人たちは、それ（糧）において平等となるように、自分たちの糧をその右手が所有する人（奴隷）に、分け与えようとしません。かれらはアッラーの恩寵を否定するのでしょうか。

72.またアッラーはあなた方のために、あなた方の間から配偶者を用意し、あなた方のために、配偶者から子供や孫をもうけます。そして良いものから（先にして）、あなた方に授けます。それでもかれらは虚偽（偶像）を信じ、アッラーの恩寵を忘れるのです。73.かれらはアッラー以外のものに仕えるが、それらは諸天と地の間で、かれらのために何の糧も所有せず、またそのような能力も持ち得ません。74.だからアッラーに対して、類例を作り出してはいけません。確かにアッラーはすべてご存知です。でもあなた方は知らないのです。

75.アッラーは次の例えを示しました。主人のいるある奴隷がいて、かれは何の力も持っていません。（他方）われらが良い糧を授けた人がいて、かれはこっそりとまた公然とそれ（糧）から施します。かれらは同じでしょうか。アッラーにこそすべての称賛あれ。しかしかれら（人びと）の多くは分からないのです。

76.またアッラーは、二人の例えを示しました。一人は物言えない人で、かれには何の力もなく、その主人にとっては重荷です。どこに差し向けても善いことをもたらさない。（かれと比べて）正義を勧め、まっすぐな道を踏む人とは同じでしょうか。

77.諸天と地の、見えない世界は、アッラーに属します。（審判の）時の命令（の到来）は、目の瞬きのようなものです。またはもっと早いでしょう。確かにアッラーは、すべてに対して全能なのです。

78.アッラーはあなた方が何も知らないとき、あなた方を母の胎内から生まれさせ、聴覚や視覚や心を授けました。あなた方は、感謝するでしょう。

79.かれらは、空中ですいすいと飛ぶ鳥を見ないのでしょうか。アッラーの他に、それらを支えるものはないのです。確かにこの中には、信者への数々の印があります。80.アッラーがあなた方のために、家に安住の所を設け、あなた方のために家畜の皮で造った家を設けました。そして自分の旅のとき、また野営のとき、それを（持ち運びに）軽便にしました。羊、ラクダや山羊の毛は、（現世の）一時的な家具類と快楽のためです。

81.またアッラーは、あなた方のためにかれの被創造物で日陰を設け、あなた方のために避難所としての山々を設け、またあなた方のために灼熱から自分を守る衣服と、攻撃から自分を守る衣服を作りました。こうして、あなた方が（アッラーに）服従するよう、かれはあなた方に対し恩寵を全うするのです。82.だから、たとえかれらが背き去っても、あなた（の責務）は、はっきりと（啓示を）伝えることだけです。83.かれらはアッラーの恩寵を知ったうえで、なおそれを拒否しています。（結局）かれらの多くは忘恩の人たちなのです。

84.その（審判の）日、われらはすべての共同体から、一人の証人を復活させます。そのとき、不信心な人たち（の言い訳）は許されず、また行な

いを改めることも認められません。85.不正を行なった人たちが苦痛を目前にしても、かれらのためにそれは軽減されず、また猶予もされません。

86.そこで多神教徒たちが、かれらの多神（邪神）に会うと、（次のように）言います。わたしたちの主よ、これらが、わたしたちがあなたの他に祈っていた多神です。でもかれら（多神）は、かれら（多神教徒）に言葉を投げ返して言います。あなた方は本当に嘘つきですと。87.その日、かれらが捏造していたもの（多神）は、アッラーに帰依を申し出て、（一方）かれら（多神教徒）を捨て去るでしょう。88.不信心かつアッラーの道から（人びとを）妨げた人たちに、われらは苦痛の上に苦痛を加えるでしょう。なぜなら、かれらは腐敗を広げていたからです。

89.その（審判の）日、われらはすべての共同体から、かれらに対する一人の証人を同胞から復活させます。またわれらは、あなたをこれら（マッカの人びと）に対する証人とします。そのためにわれらは、あなたにすべての事物の識別として、またムスリム（アッラーに従う人）たちへの導きと慈悲と吉報として、啓典を啓示したのです。

90.真にアッラーは公正と善行、そして近親者への供与を命じ、またあらゆるみだらな行為と違法行為、そして横暴な行為を禁じます。あなた方が留意するように、かれは諭すのです。

91.あなた方がアッラーと約束を結んだときは、約束を果たしなさい。誓った後から、それを破ってはいけません。確かにあなた方は、アッラーを保証に立てたのです。真にアッラーは、あなた方の行なうことをご存知です。92.固く紡いだ紡績糸をばらばらにする女のように、あなた方の間で、一族が（他の）一族よりも多数であるからといって、自分たちの誓約を悪用して（裏切って）はいけません。ただアッラーは、それであなた方を試みるだけなのです。かれは復活の日、あなた方が仲たがいしてきたことを明らかにするでしょう。

93.もしアッラーが望むなら、かれはあなた方をひとつの共同体にしたでしょう。でもかれは望む人を迷うに任せ、またかれが望む人を導きます。あなた方は、自分たちがしてきたことについて問われます。

94.あなた方の間で、自分の誓いを悪用してはいけません。さもないと踏み締めた足場は滑り、あなた方は、アッラーの道から（人びとを）妨げたために、苦難を味わうことになります。あなた方には酷い苦痛があるのです。95.わずかな代価でアッラーの印（啓示）を売ってはいけません。もしあなた方が理解するなら、アッラーの御元にあるもの（報奨）こそ、あなた方のために最良なのです。

96.あなた方の持つものは、すべて消滅します。でもアッラーの御元のものは残ります。われらは耐え忍ぶ人に、かれらがしてきた最も優れた行ないによって、報奨を与えます。97.誰でも善行の信者ならば、男でも女でも、われらは善い生活を与えます。われらは、かれらがしてきた最も優れた行ないによって報奨を与えます。

98.あなた（ムハンマド）がクルアーンを読誦するときは、アッラーに拒否された悪魔からの加護を求めなさい。99.確かにかれ（悪魔）には、信仰し、かれらの主に頼りきる人たちに対する権能はありません。100.かれ（悪魔）の権能は、ただかれを保護者とする人たち、また（悪魔のせいで）かれに同位者を配する人たちに対してだけです。

101.われらが一節を他の一節に替えるときも、アッラーはかれ（自ら）が啓示されたことをすべてご存知です。かれら（マッカの多神教徒）は、あなたが（クルアーンを）捏造したにすぎないと言います。でもかれらの多くは分からないのです。102.言いなさい。清魂（天使ジブリール）が真理をもって、あなたの主からそれ（啓示）を徐々にもたらしたのは、信仰する人たちを強固にするためであり、またムスリム（アッラーに従う人）たちへの導きであり、吉報なのです。

103.また確かにわれらは、かれらが（こう）言うのを知っています。人

間がかれ（ムハンマド）に教えているにすぎないのですと。（ムスリムになったギリシア人がムハンマドにクルアーンを教えたと中傷して）かれらの挙げた人の言語は外国語ですが、これ（啓示）は明瞭なアラビア語です。104.真にアッラーの印を信じない人たちは、アッラーは導きません。かれらには厳しい苦痛があるでしょう。105.アッラーの印を信じない人たちは、ただ嘘を捏造する人で、かれらこそ虚言の人たちです。

106.ただしアッラーを信仰した後に棄教した人でも、強制された人で、また心は信仰で安心大悟の人は別です。でも（それ以外の）不信心に胸を開く人、かれらにはアッラーの激怒があり、酷い苦痛があるでしょう。107.なぜならかれらが、来世よりも現世の生活を愛しているためで、アッラーは信仰を拒否する人びとを導きません。108.これらは、アッラーがその心や聴覚や視覚を封じた人で、かれらこそ留意しない人びとなのです。109.疑いもなく、かれらは来世における損失者です。

110.それで試練に晒された後に移住し、それから奮闘努力し、またよく耐え忍んだ人たちに対しては、確かにあなたの主はよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。111.その（審判の）日、すべての人びとは自身のために嘆願しますが、すべての人びとは、（自分が）行なったことにより十分に報われ、不当に扱われることはありません。

112.アッラーは、平穏無事でいた町の例えを示しました。その糧が四方八方から豊かに供給されても、アッラーの恩寵については忘恩でした。だからかれらがしてきたこと（忘恩）のために、アッラーは飢えと恐れを経験させたのです。113.また確かに使徒が、かれらの間から遣わされましたが、かれらはかれ（使徒）を拒否しました。それでかれらが不正を行なっている最中に、苦痛（懲罰）がかれらを襲いました。

114.だからアッラーがあなた方に授けた、合法で良いものを食べなさい。そしてアッラーの恩寵に感謝しなさい。もしあなた方はアッラーに仕えるならば。115.かれは、あなた方に死肉、血、豚肉、そしてアッラー

以外の名を唱えられ（屠畜された）ものだけを禁忌としました。ただし（生存の）必要に迫られ、（また）故意でもなく過剰でもない場合は、アッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。

116.あなた方の舌がつく嘘で、これは合法（ハラール）だ、またこれは禁忌（ハラーム）だと言ってはいけません。これはアッラーについて嘘を捏造することになります。かれらは決して成功しないのです。117.わずかな享楽だけで、（最後に）かれらには厳しい苦痛があるでしょう。

118.そしてユダヤ教徒には、われらは以前あなたに告げたものを禁じました。われらがかれらを損なったわけではありません。でもかれらが自分自身を損なったのです。119.それで無知のために悪を行なった後に改心し、その身を修める人たちに対しては、確かにあなたの主はその後、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

120.誠にイブラーヒームは、アッラーに従順で、純正な模範でした。かれは、多神教徒の仲間ではなく、121.かれの恩寵に感謝する人でした。かれがかれを選び、まっすぐな道に導きました。122.われらは現世で、かれに良い恵みを授けました。そして確かにかれは来世でも、正しい人びとの中に入るのです。123.そこでわれらは、あなた（ムハンマド）にこう啓示しました。純正なイブラーヒームの宗旨に従いなさい。かれは、多神教徒たちの仲間ではありませんでしたと。

124.安息日は、それについて異論ある人たち（ムーサーに抗するユダヤ教徒）に対し、（義務として）設けられたものにすぎません。そして確かにあなたの主は、かれらが論争していたことについて、復活の日にかれらの間を裁くのです。

125.英知と良い諭しで、（人びとを）あなたの主の道に招きなさい。最も丁重な態度でかれらと論議しなさい。確かにあなたの主、かれは、かれの道から迷う人をご存知であり、また導かれている人もご存知です。

126.もしあなた方が報復するなら、あなた方が処せられたと同じように報復しなさい。でもあなた方がもし耐え忍ぶなら、それは耐え忍ぶ人たちにとって最も善いのです。127.耐え忍びなさい。あなたの忍耐は、アッラーからのものしかないのです。かれらのために悲しんではいけません。またかれらが悪巧みすることのために、悩んではいけません。128.真にアッラーは、(かれを)意識する人たちと善行の人たちと共にいるのです。

17. 夜の旅章

al-Isra'

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆15部◆かれの僕(ムハンマド)を、禁忌のあるマスジド(マッカ)から、われらが周囲を祝福した至遠のマスジド(エルサレム)に、夜間、旅をさせた方(アッラー)に賛美あれ。これ(旅)は、われらが数々の印をかれ(ムハンマド)に見せるためのものです。確かにかれは全聴にして、すべてをお見通しなのです。

2.またわれらは、ムーサーに啓典を授け、イスラーイールの子孫への導きとしました。(だから)わたしの他に保護者を持ってはいけません。3.われらがヌーフと一緒に(方舟で)運んだ人の子孫よ。確かにかれ(ヌーフ)は感謝する僕でした。

4.またわれらは啓典(律法)の中で、イスラーイールの子孫に対して申し渡しました。あなた方は地上で二度(悪で)腐敗させ、甚だしく傲慢になると。5.それで二度の中、最初の(悪)に対する約束(懲罰の時)が来たとき、われらは、われらの僕の中、強大な力を持つ人たちをあなた方に対して遣わすと、かれらは家々を強襲しました。つまり約束は果たさ

れたのでした。6.それからわれらは、かれらに対してあなた方に勝利を与え、あなた方を財産と子孫で増強し、大勢力としました。

7.（結局）もしあなた方が善を行なうなら、自分自身のために善を行ない、悪を行なうなら、それも自分自身のためです。それでもう一方の約束（2度目の懲罰の時）が来たとき、あなた方の顔は曇り、かれら（強大な力を持った人たち）は最初の（懲罰の）ときのように（エルサレムの）マスジドに侵入し、自分が制圧したものを完全に破壊したのです。8.あなた方の主は、あなた方に慈悲を与えます。でもあなた方が（罪を）繰り返すなら、われらも（懲罰を）繰り返します。われらは非信者たちのために、牢獄としての地獄を設けたのです。

9.本当にこのクルアーンは、最も正しいもの（イスラーム）に導きます。また善行をする信者たちに吉報を与えます。かれらには偉大な報奨があります。10.また来世を信じない人たちには、われらはかれらのために、厳しい苦痛を準備しました。

11.人間は善いことのために祈るように、悪いことのために祈ります。そして人間はいつも軽率なのです。12.われらは二つの印として夜と昼を設け、夜の印を暗くしました。一方、昼の印は明るくしたので、あなた方は、自分の主からの恩恵を求め、また年数と（時間の）計算を知るのです。われらはすべてのことを詳細に説き明かしました。

13.すべての人間に、われらはその鳥（運命）を首に結び付けました。そして復活の日には、かれ（各人）のための（所業）記録を持ち出すので、かれはそれが開かれているのを見るのです。14.あなた方の（全）記録を読みなさい。今日（審判の日）は、あなた自身（の記録）が自分に対する清算者として事足ります。15.誰でも導かれた人は、ただ自分の益のために導かれ、また誰でも迷い去った人は、ただ自分を害して迷い去るのです。重荷を負う人は、他人の重荷は負いません。われらは一人の使徒を遣わすまでは、決して苦痛を与えません。

16.われらが一つの町を滅ぼそうとするとき、われらはかれらの中の裕福な人たちに（先ず信仰を）命じるが、かれらは服従しません。それで（アッラーの）言葉がそれ（町）に関して正しいと証明されると、われらはそれを徹底的に壊滅するのです。17.ヌーフの後、いかに多くの世代を、われらは滅ぼしたことでしょう。あなたの主は、その僕の罪のすべてを十分知り尽くし、すべてを十分洞察する方なのです。

18.誰でも束の間（現世の生活）を望む人には、われらはかれのために急ぎ、われらが欲するものを、われらが望む人に与えます。さらにわれらは、かれのために地獄を準備しました。かれはそこで焼かれ、恥辱を被り、（アッラーに）拒否されるでしょう。19.他方、誰でも来世を望み、信者としてそのために奮闘努力する人、これらの人たちの努力は受け入れられます。

20.われらはすべての人に、こちらの人にも、またあちらの人にも、あなたの主の賜物を広く与えます。あなたの主の賜物には、限界はありません。21.見なさい。いかにわれらがある人たちを他よりも寵愛するかを。そして来世では、もっと偉大な位階があり、もっと膨大な恩恵があるのです。

22.アッラーとは別に、神を作ってはいけません。さもないと、あなた方は恥辱を被り、見捨てられるでしょう。23.またあなたの主は、告げられました。かれの他に崇拝してはいけません。また親孝行（しなさい）。もしかれら（両親）の一方もしくは両方が、あなたの元にいながら高齢に達しても、かれらに（辛抱を切らして）舌打ちをせず、言葉を荒立てず、敬意を払って話しなさい。24.そして慈しみの心から、かれら（両親）に謙虚の翼を低く垂れて言いなさい。わたしの主よ、幼き頃、わたしを愛育してくれたように、かれらの上に慈悲をお授けくださいと。25.あなた方の主は、あなた方の心の中にあるものをよくご存知です。もしあなた方が善いなら、かれは改心する人たちをよく赦すお方です。

26.また近親者に、当然与えるべきものを与えなさい。困窮の人や旅人にも。一方（施しでも）浪費してはいけません。27.本当に浪費家は、悪魔の兄弟です。（なぜなら）悪魔はかれの主に対して忘恩だからです。28.たとえあなたが（すぐに施せず）かれらから顔を背けても、あなたの主からの慈悲をあなたは求めて期待しているので、かれらを気楽にさせる言葉をかけなさい。

29.あなたの（施しの）手を、自分の首に縛り付けて（けちであって）はいけません。また（自分の）限界を越えて手を開いてもいけません。さもないと、あなたは非難され（るか）、困窮に陥るでしょう。30.実にあなたの主は、かれが望む人に糧を広げ、また制限します。確かにかれは、かれの僕に関して、すべてを知り尽くし、十分洞察する方なのです。

31.貧困を恐れて、あなた方の子供を殺してはいけません。われらが、かれらとあなた方に糧を与えるのです。かれらを殺すことは、本当に大罪です。32.姦淫に近づいてはいけません。それはみだらな行為で、悪い道なのです。

33.アッラーが侵してはならないとされた生命を、正当な権利なくしては殺してはいけません。誰でも不当に殺害されたなら、われらはかれの相続人に権能を与えます。ただしかれ（相続人）は、殺害（同害報復）において過剰であってはいけません。（すでに）かれ（相続人）は、（アッラーに）支援されているからです。

34.また最善の意図からでない限り、孤児が成人に達するまでは、その財産に近づいてはいけません。その（アッラーとの）約束を果たしなさい。その約束は（審判の日に）尋問されます。35.それからあなた方が計量するときは、その計量を十分にしなさい。また正しい秤で計量しなさい。それは（現世において）最善で、（来世では）最高の結果となります。

36.またあなたは、自分の知識のないことに従ってはいけません。実に聴覚と視覚と心、これらすべては（審判の日に）尋問されるのです。

37.また横柄に地上を歩いてはいけません。あなたは大地を裂くこともできず、また山の高さ（ほど巨大）にもなれません。38.これらすべて（子供の殺害から横柄な態度まで）は、あなたの主の御元において悪であり、憎まれるのです。

39.（ムハンマドよ）これらはあなたの主が、あなたに啓示した英知です。アッラーに別の神を配してはいけません。さもないとあなたは地獄に投げ込まれ、恥辱を被り、（アッラーに）拒否されるでしょう。

40.あなた方の主は、あなた方（多神教徒）に男児を授け、（アッラー自らは）天使の中から女児をもうけたのか。本当にあなた方はひどい言葉を口にします。41.確かにわれらはこのクルアーンの中で、かれら（多神教徒）が留意するようにさまざまに説きました。でもそれは、かれらの離反を増すだけでした。42.言いなさい。もしかれらが言うように、アッラーの他に神々がいるなら、それら（神々）は玉座の占有者になる道を求めたはずです。43.かれに賛美あれ。かれは、かれらが唱えるものの（はるか）上に、高くおられます。44.七つの諸天と地、またそれらの間にあるものは、かれを賛美します。かれを称賛（の言葉）をもって賛美しないものは何もありません。ただしあなた方は、それらがどのように賛美しているかを理解していません。本当にかれは忍耐強く、よく赦されるお方なのです。

45.あなた（ムハンマド）がクルアーンを読誦したとき、われらはあなたと来世を信じない人たちとの間に、見えない壁を設けました。46.われらは、かれらの心に覆いを被せ、耳に重荷を入れ（て鈍くし）たので、かれらはそれ（クルアーン）を理解しません。それであなたがクルアーンの中で、あなたの主についてだけ語ると、かれらは離反して背を向けます。

47.われらは、かれらがあなたに耳を傾けるときや、またかれらが密かに話し合うときに、どうやって聞き耳を立てるかを、一番よく知っています。不正の人たちは言います。あなた方は、魔術をかけられた人（ムハ

ンマド）に従っているにすぎないと。48.見なさい、かれらは一体あなたについて、どのような例えを挙げる（何だと思っているの）か。かれらは迷い去ったので、道を見い出せません。

49.かれらは言います。わたしたちが（死んで）骨になり砕けた塵になった後、本当に新たな被造物として復活するのでしょうか。50.言いなさい。あなた方が石や鉄であっても、51.またはあなた方の胸の中にある、どんな巨大な被造物でも（復活します）。するとかれらは言います。誰がわたしたちを甦らせるのか。言いなさい。最初にあなた方を創造した方です。かれらはあなたに向かって、頭を振って言います。それはいつなのか。言いなさい。それは近いのです。52.その（審判の）日、かれはあなた方を呼び出します。するとあなた方は、かれへの称賛をもって応えます。そしてあなた方は思うのです。（現世あるいは墓の中に）とどまったのは、ほんのわずかにすぎなかったと。

53.わたしの僕に言いなさい。最善のことを言いなさいと。悪魔は、かれら（人びと）の間に不和の種を蒔きます。確かに悪魔は、人間の公然の敵なのです。

54.あなた方の主は、あなた方を最もよくご存知です。もしかれが望めば、あなた方に慈悲を与えます。もしくは、かれが望めば、あなた方に苦痛を与えます。われらは、かれら（非信者）の保護者として、あなたを遣わしたのではありません。55.あなたの主は、諸天と地にいる全員を、最もよくご存知です。確かにわれらは、預言者たちの中のある人に、他の人よりも多く与えました。われらは、ダーウードに詩篇を授けました。

56.（多神教徒に）言いなさい。かれの他にあなた方が主張していたもの（天使など）を呼びなさい。かれらはあなた方から災厄を除く力もなく、またそれを転移することもできません。57.かれらが呼ぶ（祈る）もの（天使など）は、かれらの主に最も近いものでさえ、主への方途を求めています。そしてかれらは、かれの慈悲を期待し、かれの苦痛を恐れてい

ます。あなたの主の苦痛は、真に用心すべきものです。58.復活の日の前に、われらが破壊しない町はありません。また激しい苦痛で処罰しない町もありません。それは（天の）書板に詳細に記されているのです。

59.われらが印を送るのを、止めるものはありません。ただし以前の人びとがそれ（印）を拒否したことは別として。われらは以前サムードに、明らかな印として雌ラクダを授けました。でもかれらはそれに、不正をしたのです。われらは警告する以外（の目的）で、印を送ることはありません。

60.われらがあなたに告げたときのことです。確かにあなたの主は人間を取り囲むと。われらがあなたに見せた光景（夜の旅と昇天）は、ただ人間への試練にすぎません。クルアーンの中で呪われた木（地獄のザックーム）も（試練です）。われらはかれらに恐怖心を与えるけれど、かれらは乱心を増すばかりなのです。

61.われらが天使たちに、アーダムに頭を下げなさいと告げたとき、かれらは頭を下げました。イブリース（ジンで悪魔）を除いて。かれ（イブリース）は言いました。あなたが土から創造した者に、わたしが頭を下げるのでしょうか。62.かれ（イブリース）は言いました。あなたは、わたしよりも栄誉を与えたこれ（アーダム）を見ましたか。もし復活の日まで、わたしに猶予を与えるなら、少数の人たちを除いて、かれ（アーダム）の子孫を支配するでしょう。

63.かれは言いました。去りなさい。もしかれらの中、あなたに従う人があれば、本当に地獄があなた方への十分な応報です。64.あなた（イブリース）の声で、かれら（アーダムの子孫）の中のできる限りの人を挑発し、あなたの騎兵や歩兵で、かれらを攻撃してみなさい。また（非合法な）財産や（姦淫による）子作りにおいて協力者となり、かれらと（復活や応報はないという）約束を結んでみなさいと。ただし悪魔は妄想を約束

するにすぎません。65.確かにあなたには、わたしの僕に対して何の権能もありません。一方あなたの主は、保護者として十分なのです。

66.あなた方の主は、あなた方がかれの恩恵を得る（貿易など）ことができればと、あなた方のために、船を海に航行させる方です。真にかれは、あなた方に対して慈悲深いお方なのです。67.海上で災難があなた方を襲うと、かれの他にあなた方が祈るものは立ち去ります。一方かれが陸へあなた方を運ぶと、あなた方は背き去ります。（結局）人間は忘恩なのです。

68.（陸に上がった）あなた方は、かれが大陸の一隅にあなた方を飲み込ませないなどと、安心できるのでしょうか。またはあなた方に対し、砂嵐を送らないと。しかもあなた方は、自分のために守護者を見出すこともできません。69.またはかれが別のとき、あなた方をその中（海上での災難）に戻さないと、安心できるのでしょうか。またかれが暴風を送り、忘恩のために、あなた方を溺れさせないと。そうなるとあなた方は、われらに逆らって、あなた方を支援する人を見出すこともできません。

70.真にわれらは、アーダムの子孫に栄誉を与え、またわれらは陸と海においてかれらを運び、数々の良い糧を授け、われらが創造した多くのものよりも寵愛しました。

71.その（審判の）日、われらはすべての人間を、その指導者と共に召集します。そして誰でも右手に自分の記録を渡される人は、その記録を（喜んで）読みます。かれらはナツメヤシの種皮の一筋ほども、不当に扱われないのです。72.でも現世で（真理に）盲目だった人は、来世でも盲目となるでしょう。そしてますます道から迷い去るのです。

73.かれらは、われらがあなた（ムハンマド）に啓示したものから、あなたを遠ざけて、われらに対して、それ（啓示）以外のものを、あなたに捏造させようとしたのです。そうすれば、かれらはあなたを友人としていたでしょう。74.もしわれらがあなたを強固にしていなければ、あなたは

かれらに少々傾いていたでしょう。75.そのときわれらは、あなたにこの（世の）生活で2倍、また死んでから2倍（の懲罰）を経験させていたでしょう。しかもあなたは、われらに逆らって、あなたを援助する人を見出すこともできません。

76.確かにかれら（多神教徒）は、あなたをこの地（マッカ）から脅かして立ち退かせ、追い立てようとしました。でもそうしていたら、かれらは（懲罰を受け）ほんのわずかな間しか、あなたの後に留まることはなかったでしょう。77.これはあなた以前に、われらが遣わした使徒たちの慣行でした。そしてあなたは、われらの慣行に変化を見出しません。

78.太陽が傾くとき（正午すぎ）から夜の闇まで、（定時の）礼拝の務めを守り、また暁には（クルアーンを）読誦しなさい。確かに暁の読誦には立証人（天使たち）がいます。79.また夜には、あなた自身の（義務の）追加として、深夜礼拝を務めなさい。（そうすれば）あなたの主は、あなたを栄誉ある地位に高めるでしょう。

80.そして言いなさい。わたしの主よ、わたしを正しい入り方で（マディーナに）入らせ、また正しい出方で（マッカから）出させ、あなた自身から助けとなる権能をわたしに授けてください。81.言いなさい。真理は来て、虚偽は消え去りました。確かに虚偽は滅びるものです。

82.われらはクルアーンから、信者にとって癒しであり、慈悲であるものを降ろしました。でも不正を行なう人びとにとっては、損失を増すだけです。

83.われらがある人に恩恵を授けると、かれは身を反って、（威張って）、外方を向くが、災厄が襲えば、かれは絶望してしまうのです。84.言いなさい。各人は自分の仕方で行ないます。でもあなた方の主は、誰が正しい道によく導かれているかを、最もご存知なのです。

85.またかれらは、清魂について、あなた（ムハンマド）に問います。言

いなさい。清魂はわたしの主が扱われる事柄です。そしてあなた方はわずかな知識しか授かりませんでした。

86.もしわれらが望むなら、あなたに啓示したものを取り上げることもできます。そうなればあなたは、われらに対して、あなたを守る人を見出すこともできません。87.ただし、あなたの主からの慈悲があれば別です。確かにあなたへのかれの寵愛は絶大です。88.言いなさい。たとえ人間とジンが集まって、このクルアーンと同じようなものを、もたらそうとしても、それと同じようなものを、もたらすことはできません。互いにどれほど力を合わせても、そうなのです。

89.実にわれらは人びとに、このクルアーンの中で、あらゆる例えを通して説明しました。でも人びとの多くは、ただ不信心以外は拒否するのです。90.かれらは言います。わたしたちに、あなた（ムハンマド）が地から泉を涌き出させるまでは、あなたのことは信じません。91.または、あなたがナツメヤシやブドウの果樹園を所有し、それらを通じて川を溢れ出させるまでは（信じません）。92.またはあなたが（起こると）主張したように、大空を粉々にして、わたしたちに落とすまでは。またはあなたがアッラーと天使たちを、（わたしたちの）面前に連れて来るまでは。93.またはあなたが黄金の装飾の家を持つまでは。または天に昇って、わたしたちが読む啓典を、あなたが降してくるまでは、あなたの昇天も信じません。（ムハンマドよ）言いなさい。わたしの主に賛美あれ、わたしは一人の人間の使徒にすぎないのではないか。

94.それで導きがかれらに届いたとき、人びとを信仰することから妨げたのは、かれらがこう言ったことだけでした。アッラーは（ただの）人間を使徒として遣わしたのですかと。95.言いなさい。もし天使たちがこの地上を安心して歩いているのであれば、われらは天からの使徒としての天使を、かれら（人間）に遣わしたことでしょう。96.言いなさい。アッラーは、わたしとあなた方との間の立証者として十分なのです。確かに

かれは、かれの僕に関して、すべてを知り尽くし、十分洞察する方なのです。

97.（ムハンマドよ）誰でもアッラーが導く人は、導かれた人なのです。また誰でもかれが迷うに任せた人たちには、かれの他に保護者はいません。そしてわれらは復活の日に、かれらを集めますが、その顔を（地面の）上にして、目は見えず、また口はきけず、耳は聞こえないのです。かれらの住まいは地獄です。そしてその火が弱まる度に、われらはかれらに烈火を増します。98.これはかれらの（不信仰への）応報です。なぜなら、かれらがわれらの印を拒否して、こう言ったからです。わたしたちが（死んで）骨になり、砕けた塵になった後、本当に新たな被造物として復活するのでしょうかと。

99.かれらは、諸天と地を創造したアッラーが、かれらと同じようなもの（人間）を、（再び）創造できることくらい（造作もないことが）、分からないのでしょうか。またかれは、かれらのために（猶予の）期限を設けました。それについては、疑いの余地はありません。でも不正を行なう人たちは、ただ不信心以外は拒否するのです。100.言いなさい。たとえあなた方が、わたしの主の慈悲の宝庫（糧）を持っていても、あなた方はそれを費やすことを恐れて、それにしがみつきます。つまり人間はけちなのです。

101.確かにわれらはムーサーに、明証として九つの印を授けました。だからイスラーイールの子孫に聞きなさい。かれ（ムーサー）がかれら（エジプト人）のもとに来たとき、フィルアウンはかれに言いました。ムーサーよ、わたしはあなたが魔術にかけられた人だと思う。102.かれ（ムーサー）は言いました。あなたはこれら（印）を明瞭な証拠としてもたらしたのは、諸天と地の主をおいて他にいないことをよく知っています。フィルアウンよ、あなたは必ず破滅すると、わたしは考えます。103.そこでかれ（フィルアウン）は、かれら（イスラーイールの子孫）をこの国か

ら追放しようとしました。ところがわれらは、かれとかれに従う人たちをまとめて溺れさせたのです。104.われらはかれ（フィルアウン）の死後、イスラーイールの子孫に言いました。この地に住みなさい。でも来世の約束が来るとき、われらはあなた方を（善人も悪人も）、全員の集まりに一緒に連れ出します。

105.われらがそれ（クルアーン）を真理をもって啓示したので、それは真理と共に降りました。そしてわれらは、ただ吉報の伝達者と警告者として、あなた（ムハンマド）を遣わしました。106.われらが読み上げるのを分割したのは、あなたがそれを人びとに間隔をおいて読誦するためです。だからわれらはそれを段階的に啓示したのです。

107.言いなさい。あなた方がこれ（クルアーン）を信じても、また信じなくても、それ以前に知識を与えられた人たちは、それが読誦されると、かれらは顎髭まで（地につけて）ひれ伏します。108.そしてかれらは言います。わたしたちの主の栄光を賛美します。確かに主の約束は果たされました。109.かれらはを顎髭まで（地につけて）涙を流して、謙虚な心を高めるのです。

110.言いなさい。アッラーを呼びなさい。または慈悲深いお方を呼びなさい。なんとかれを呼んでも、最善の美称はすべてかれに属します。またあなたの礼拝においては、大声で唱えてはいけません。また小さすぎてもいけません。その間のやり方を求めなさい。111.また言いなさい。アッラーにこそすべての称賛あれ。かれは子を持たず、かれにはその王権における同位者もありません。またかれには保護者を必要とする弱さもありません。だからかれの偉大さを高揚しなさい。

18. 洞窟章

al-Kahf

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アッラーに、すべての称賛を捧げます。かれは、かれの僕にこの啓典を啓示した方です。またその（啓典）中には、一切の歪みはありません。2.（啓典は）真実で、かれの御元からの激しい懲罰を警告するためであり、善行に勤しむ信者たちには、最善の報奨があるとの吉報を伝えます。3.かれらは永遠にその（報奨）中に住むでしょう。4.またそれ（啓典）は、アッラーは子を持ったと言う人たちに警告を与えます。5.かれらはそれに関する知識を持たず、またかれらの先祖にもありませんでした。かれらの口から出る言葉は、ひどいものです。かれらはただ嘘を言うだけなのです。

6.もしかれらがこの話（クルアーン）を信じないなら、きっとあなたは悲嘆にくれて、かれらの（悪い）所業に苦しめられて、かれらに続いて自分の身を滅ぼすことでしょう。7.確かにわれらは、地上の（すべての）ものを（人びとに魅力ある）装飾としました。それはかれらの中、誰が行ないに最も優れているかを試みるためです。8.しかしわれらは、この（地）上にあるすべてのものを、不毛の塵にするのです。

9.それであなたは、洞窟の仲間たちとその碑文のことを考えましたか。それらはわれらの印の中でも驚嘆すべきものでした。10.かの青年たちが、洞窟に逃れ隠れたときこう言いました。わたしたちの主よ、あなたの御元から慈悲を与え、わたしたちのために、この事態からの抜け出し方を教えてください。11.それからわれらは、洞窟の中で何年もの間、かれらの聴覚を封じました（眠らせました）。12.さらにわれらは、かれらを目覚めさせ、二団266のどちらが、かれらの（滞在）期間をよく計算できるかをはっきりさせました。

13.（ムハンマドよ）われらは、あなたに真実をもってかれらの物語を語ります。かれらは主を信じる青年たちであったので、われらは導きを増やしました。14.かれらが（目覚めて）起き上がったとき、われらはかれらの心を堅固にすると、かれらは言いました。わたしたちの主は、諸天と地の主です。わたしたちは、かれ以外の神を呼ぶことはありません。もしわたしたちがそう言ったなら、実にとんでもないことです。15.これらの、わたしたちの人びと（多神教徒）は、かれの他に神々を配しました。（それなら）なぜかれら（神々）は、かれら（多神教徒）に対して、一つも明らかな権能をもたらさないのか。アッラーについて嘘を捏造するよりも、不正を行なう人がいるでしょうか。

16.（今こうして）あなた方（周囲の青年たち）は、かれら（多神教徒）とかれらがアッラーの他に仕えるもの（神々）を避けたのだから、洞窟に逃げるのがよい。あなた方の主は、あなた方のために、かれの慈悲を広げ、この事態からの抜け出し方を教えてくださるでしょう。

17.あなた（ムハンマド）は見るでしょう。かれら（青年たち）が（洞窟の）開かれた場所にいたとき、太陽が昇り、それはかれらの洞窟（の中）から離れて右に逃れ、それが沈んだときは、かれらから離れて左に傾きます。これはアッラーからの印です。誰でもアッラーが導く人は、導かれた人なのです。一方、誰でもかれが迷うに任せた人たちについては、あなたは正しく導く保護者を見いだせません。

18.またあなたは思うでしょう。かれらが眠っていたのに、（少し目が開いているので）目覚めていたと。（確かに）洞窟の入口でかれらの犬が両前足を伸していたとき、われらはかれらを（両目を開けたまま）左右に寝返りさせました。もしあなたがかれらを見ていたら、あなたはかれらの（外見の）恐しさのせいで、飛んで逃げ去ったことでしょう。

19.それからわれらは、互いに質問させるため、かれらを目覚め（復活）させました。かれらの中のある人が言いました。あなた方は（洞窟

に）どれほどいたのですか。かれらは言いました。わたしたちは一日、もしくは一日未満留まりました。かれらは言いました。あなた方がどれだけいたかは、あなた方の主が最もよくご存知です。そこであなた方の中の一人を、あなた方のこの銀貨を携えて、その町に送り出しなさい。かれに清潔な食べ物を見つけさせて、そこからあなた方のために食糧を持って来させなさい。かれに慎重にさせて、あなた方のことを誰にも気づかせてはいけません。20.もしかれら（町の人びと）が、あなた方のことを知れば、あなた方を石打ちの刑にするか、またはあなた方をかれらの宗旨へと戻らせるでしょう。（そうなれば）あなた方は永遠に成功しません。

21.このように、アッラーの約束（復活）が真実であり、またその（最後の審判の）時についても疑いのないことを、かれら（人びと）が気づくように、われらはかれら（洞窟の青年たち）について明るみに出したのです。（しかし）かれら（人びと）は、かれらの事柄について互いに議論しました。そしてかれら（ある人たち）は言いました。かれら（洞窟の青年たち）の上に（記念の）建物を建てなさい。（ただし最後は）かれらの主が、かれらについて最もよくご存知です。かれらの場を仕切る人たちは言いました。わたしたちは、かれらの上にマスジドを建立することにしようと。

22.かれら（ある人たち）は言います。（洞窟の青年たちは）三人で、4番目はかれらの犬です。またかれら（別の人たち）は、見えないことを憶測してこう言います。五人で、かれらの6番目は犬です。またかれら（別の人たち）は言います。七人で、かれらの8番目は犬です。（ムハンマドよ）言いなさい。わたしの主が、かれらの数を最もよくご存知ですと。かれらについて（真相を）知る人はごく少数にすぎません。だからはっきりとわかる議論の他は、かれら（洞窟の青年たち）について議論してはいけません。またかれらについて、誰にも問いかけてはいけません。23.また何事でも、わたしは明日それをします、と断言してはいけません。24.ただ

し、もしアッラーが御望みなら（イン・シャー・アッラー）と（言わない限り）。あなたが忘れたときは、あなたの主を思い出しなさい。そして言いなさい。きっとわたしの主は、これよりも正しい道に近づくように、わたしを導いてくださることでしょうと。

25.それでかれらが洞窟にいたのは、300年間と（言い、また誰かが）それに9年間を追加しました。26.（ムハンマドよ）言いなさい。かれらがどれだけいたかは、アッラーが最もよくご存知です。かれに諸天と地の見えない世界は属します。かれは何とよく見る方であり、よく聞く方であることか。かれら（議論する人びと）には、かれの他には擁護者はなく、またかれは、かれの裁決に誰も参与させません。

27.あなた（ムハンマド）に啓示された、あなたの主の啓典を読み上げなさい。誰もかれの言葉を変えることはできません。またあなたには、かれの他に避難所もありません。28.そしてあなた自身、朝な夕なに、かれの尊顔を求めて、かれらの主に祈る人たちと共に、忍耐強くありなさい。また現世の生活の栄華を望むために、あなたの目を、かれら（祈る人たち）からそらせてはいけません。またわれらを思い出すことを、おろそかにさせた人の心に従ってはいけません。かれは自分の妄欲に従い、自分のことで則を越える人なのです。

29.言いなさい。（今）真実はあなた方の主から来ました。だから誰でも望みのままに信仰させ、また誰でも望みのままに拒否させなさい。確かにわれらは、（地獄の）火を不正を行なう人たちのために準備しています。その（火の）覆いは、かれらを取り囲むのです。もしかれらが助けを求めて叫べば、かれらの顔を焼く、溶けた真ちゅうのような水が与えられます。何と悪い飲み物と寝所を与えられることでしょうか。

30.（他方）信仰して善行に勤しむ人たちについて言えば、本当にわれらは善行者への報奨を、無意味にはしません。31.これらの人、かれらには川が下を流れる永遠の楽園があるのです。かれらはそこで黄金の

腕輪で身を飾り、緑色の高級絹や錦織物の衣服を着て、ソファーに寄りかかります。何とすばらしい恩寵で、良い寝所でしょうか。

32.かれら（マッカの多神教徒）のために、二人の例えを挙げなさい。われらは、かれらの一人に、二つのブドウ園を与え、ナツメヤシでそれらを囲み、二つの園の間に穀物地を設けました。33.二つの園は収穫をもたらし、少しも不作はありませんでした。またわれらは、それら（二つの園）の中に川を流れさせました。34.かれには（豊かな）実りがありました。それでかれは、かれの友人と話しているときに、こう言いました。わたしは富においてあなたに優り、また人（家族の人数）でも優勢です。35.そしてかれは自分の園に入りました。自分自身に不正をしながら、こうかれは言いました。わたしは、これが荒廃するとは絶対に思いません。36.また（審判の）時が来るとも思いません。たとえわたしの主に戻るとしても、これ（自分の楽園）よりも良いものを見つけるでしょう。

37.その友人は、かれと話しているときに、こうかれに言いました。あなたは信じないのですか。土からあなたを創り、さらに一滴（の精液）からあなたを創り、さらにあなたを人間に形作った方を。38.しかしわたしにはとっては、かれ、アッラーはわたしの主です。わたしはかれに何も同位に配しません。39.だからあなたが自分の園に入るときは、（こう）言うべきではないでしょうか。すべてはアッラーの御望みのまま（マー・シャー・アッラー）、アッラーの他には何の力もありませんと。たとえわたしがあなたよりも富と子供において劣ると、あなたが思ったとしても。40.わたしの主は、あなたの園に優るものを、わたしに与えるかも知れません。またあなたの園に、空から災害をもたらし、平らな土にする（何もかもなくなる）かも知れません。41.またはその（園内の）水が深く浸み込んで、再びそれ（園）を使うことができなくなるかもしれません。

42.その後、かれの果実は全滅しました。ブドウ棚が崩れ落ちるとかれは、それに費やした労苦を思い、手の平を握りしめました。そしてかれ

は言いました。本当に、わたしの主に同位者を配さなければよかったのにと。43.かれにはアッラーの他に援助する一団もなく、自分を守ることもできませんでした。44.こんなとき、（唯一の）救いは真の主、アッラーにあります。かれは報奨を与える最善の方であり、また最後（の成功）を与える最善の方なのです。

45.この世の生活の例えを、かれらに示しなさい。（例えば）われらが空から降らす水（雨）ようなもので、大地の植物はそれ（水）を吸収して、それから風に吹き散らされて、乾いた屑となります。アッラーはすべてに対して全能なのです。46.富と子供は、この世の生活の虚飾です。でも永遠に残る善行は、あなたの主の御元では、最善の報奨となり、また最善の希望となるのです。

47.われらが山々を動かす（粉々にする）その（最後の）日、あなた方は大地が平らになるのを見るでしょう。またわれらはかれらを召集して、誰も（現世に）残しません。48.そしてかれらは、あなたの主の御前に整列します。われらがあなた方を最初に（生命を与え）創ったように、確かに（復活させて）われらの御元に来ました。ただし、あなた方はわれらが、あなた方のために会見など設けていないと主張していました。

49.あなたは（所業記録の）書板が（前に）置かれ、その中にあるものを、恐れる罪深い人たちを見るのです。かれらは言います。ああ、情けないこと。これは何という書板でしょうか。小さなことも大きなことも、もれなく数え上げられています。かれらは自分たちが行なったことを眼前に見るのです。あなたの主は誰一人不当に扱いません。

50.われらが天使たちに、アーダムに頭を下げなさい、と言ったときのことです。かれらは頭を下げました。ただしイブリースを除いて。かれはジンの仲間で、かれの主の命令に背きました。それなのに、あなた方はわたしではなく、かれ（イブリース）とかれの子孫を擁護者とするのか。

かれらはあなた方の敵ではないか。不正を行なう人たちは、何と最悪の取り換えをするのか。

51.わたしは、諸天と地の創造、またかれら自身の創造を、かれらに目撃させませんでした。またわたしが（人びとを）迷わせる者たちを、（わたしの）支援者にすることもありません。

52.その（最後の）日、かれは言います。あなた方が主張していた、わたしの同位者たちを呼びなさい。それでかれらは、かれら（同位者たち）を呼んでも、かれらは応えないでしょう。そしてわれらはかれらの間（同位者とその崇拝者）に、深い淵を設けます。53.罪深い人たちは（地獄の）火を見て、その中に落ちると思っても、それから逃れる術のないことに気づくのです。

54.確かにこのクルアーンの中で、われらは人間のために、あらゆる例えを詳細に説明しました。でも人間は最も口論好きです。55.かれら（マッカの多神教徒）に導きが届いたとき、かれらが信仰することや、かれらが主に赦しを請うことについて、人びとを妨げるものは何もありませんでした。ただし昔の慣行が（現世での懲罰として）かれらを襲うか、または眼前に（来世の）苦痛が襲うことを除いて。

56.われらはただ吉報の伝達者として、また警告者として、使徒たちを遣わしたにすぎません。でも不信心な人たちは、真理に反論するため、虚偽をもって議論をします。そしてかれらは、わたしの印やかれらに警告したことを笑い草とするのです。57.かれの主の印を説かれた人が、それ（印）から背き去り、自分の手がもたらしたもの（罪）を忘れるよりも、不正を行なう人がいるでしょうか。確かにわれらは、かれらの心に覆いを被せ、耳に重荷を入れ（て鈍くし）たので、かれらはそれ（クルアーン）を理解しません。たとえあなたが導きへと呼びかけても、かれらは決して導かれないでしょう。

58.ただしあなたの主は、よく赦される慈悲の主なのです。もしかれが

（現世において）、かれらが稼いできたものによって審問するなら、かれはかれらへの苦痛（懲罰）を急いだことでしょう。でもかれらには定められた（猶予の）時期があります。かれらはかれの他に、避難所を見いだせません。59.（その実例が）かの町々であり、かれら（人びと）が不正を行なった（現世でも信仰拒否を明らかにした）とき、われらは滅ぼしました。（つまり）われらは、かれらの破滅の時期を設けたのです。

60.ムーサーがかれの若い従者（ユーシウ）にこう言ったときのことです。わたしは二つの海が合流する所に行き着くまでは、何年かかっても（旅を）止めません。61.ところがかれらが（気づかない間に）、それら（二つ海）の間の合流地点に辿り着いたとき、かれらは自分たちの（食用の）魚を忘れていたら、それは海に向かってさっと逃げてしまいました。62.かれらが（そこを）すぎて（さらに）行ってから、かれ（ムーサー）はかれの従者に言いました。わたしたちの昼食を出しなさい。わたしたちはこの旅で、本当に疲れ果てました。

63.かれ（従者）は言いました。あなたは、わたしたちが（合流地点の）あの岩の上で休んでいたとき、（魚が逃げたのを）見ませんでしたか。わたしがその魚に注意をはらうことを、悪魔が忘れさせたのです。それは、海に逃げたのでしょう。不思議なことでした。64.かれ（ムーサー）は言いました。あそこが、わたしたちが探し求めていた所です。かれらは、もと来た道を引き返しました。65.するとかれらは、われらのひとりの僕（アルヒドル）に出会いました。われらはかれ（アルヒドル）に、われらの御元から慈悲を与え、また知識を教えました。

66.ムーサーはかれに言いました。あなたが（アッラーから）正しい道として教えられたことを、わたしに教えてほしいので、あなたについて行かせてください。67.かれ（アルヒドル）は言いました。あなたは、わたしと一緒にいることに耐えられないでしょう。68.あなたは分からないということに関して、どのくらい辛抱がきくのでしょうか。69.かれ（ムーサー）は

言いました。もしアッラーが御望みなら、わたしが忍耐強いこと、そしてあなたの命令に背かないことを、あなたは知るでしょう。70.かれ（アルヒドル）は言いました。もしあなたがわたしについて来るのであれば、わたしがあなたに話すまでは、何事についても、わたしに尋ねて（物言うこと）はいけません。

71.そこでかれら（アルヒドルとムーサー）は出発しました。かれらが舟に乗り込むと、かれ（アルヒドル）はそれに穴を開けました。するとかれ（ムーサー）は言いました。あなたがそれに穴を開けたのは、人びとを溺れさせるためですか。本当にあなたはとんでもないことをしました。72.かれ（アルヒドル）は言いました。あなたは、わたしと一緒にいることに耐えられない、と言いませんでしたか。73.かれ（ムーサー）は言いました。わたしが忘れたことを責めないでください。また事を難しくして、わたしを悩ませないでください。74.それからかれらは（旅を）進めました。ある男の子に出会うと、かれ（アルヒドル）は、かれ（男の子）を殺してしまいました。かれ（ムーサー）は言いました。あなたは、人を殺したわけでもない人を、殺すのですか。本当にあなたはひどいことをしました。

75.◆16部◆かれ（アルヒドル）は言いました。あなたは、わたしと一緒にいることに耐えられないと言いませんでしたか。76.かれ（ムーサー）は言いました。今後わたしが、何か（あなたのすること）について、あなたに尋ねたなら、わたしを同行させないでください。確かにあなたは、わたしからの（辞退の）申し開きを受け取ったのです。77.さらにかれらは（旅を）進めました。ある町の住人の所まで来ると、かれら（二人）は、そこの人びとに食べ物を求めました。ところがかれら（人びと）は、かれらをもてなすことを拒否しました。次いでかれら（二人）は、今にも崩壊しそうな壁を見付けたので、かれ（アルヒドル）はそれを直しました。かれ（ムーサー）は言いました。もし請求したなら、それ（修理）に対する謝礼がもらえたでしょう。78.かれ（アルヒドル）は言いました。これでわたし

とあなたはお別れです。（そこで）あなたが耐えられなかったことの解釈を、あなたに伝えましょう。

79.舟については、それは海で働くある貧しい人たちのものでした。（一方）わたしがそれを役立たないようにしたのは、すべての舟を強奪する王が、かれらの背後にいたためでした。

80.男の子については、かれの両親は信者でしたが、わたしたち（アルヒドルと両親）は、かれ（男の子）の反抗と不信心が、かれら（両親）の負担になることを恐れたのでした。81.そこでわたしたち（アルヒドルと両親）は、かれら二人のために望みました。かれら二人の主が、かれ（その男の子）に代えて、より優れ純粋で情け深い子を与えますようにと。

82.あの壁については、その町の二人の孤児のものでした。その（壁の）下には、かれら（孤児たち）のための財宝がありました。（そうした遺産を残した）かれらの父親は、（信仰）正しい人物でした。そこであなたの主は、かれらが成年に達して、その財宝を掘り出すことを望まれました。（そう望まれたことは）あなたの主からの、慈悲なのです。それ（舟のこと以来の、もろもろの事柄）は、わたしが勝手に行なったことではありません。これがあなたの耐えられなかったこと（物言わないこと）の解釈です。

83.かれら（ユダヤ教徒）は、ズー・アルカルナインについて、あなた（ムハンマド）に問うでしょう。言いなさい。わたしはあなた方に、かれについてある物語を話しますと。84.確かにわれらは、地上においてかれ（の権勢）を打ち立て、かれにあらゆることについての道筋を与えました。

85.そこでかれは、ある（東西の）道筋を辿りました。86.かれが太陽の沈む（西端の）所に来ると、それ（太陽）が泥の泉（暗黒の海）に没するのを見いだしました。またその近くに、ある（多神教の）民族を見つけました。われらは言いました。ズー・アルカルナインよ、（そこに）侵入して、

あなたがかれらを懲しめてもよい。またはかれらを親切に待遇してもよい。87.かれは言いました。誰でも不正を行なう人には、わたしたちは苦痛を与え、その人はかれの主に帰らされます。かれはひどい苦痛をもって、かれを罰するでしょう。88.他方、誰でも信仰して、善行に勤しむ人には、善い報いがあります。わたしたちは、かれに容易なことを命じるでしょう。

89.それからかれは、また別の道筋を辿りました。90.かれが太陽の昇る（東端の）所に来たとき、それ（太陽）がある民族の上に昇るのを見いだしました。われらはかれらに、それから身を守るもの（屋根や衣服）を設けませんでした。91.このよう（な次第）でした。確かにわれらは、かれ（ズー・アルカルナイン）について、すべて熟知しているのです。

92.さらにかれは、また別の道筋を辿りました。93.かれが二つの山の間に来たとき、それらの山すそに、ほとんど言葉がわからない、ある民族を見出しました。94.かれらは言いました。ズー・アルカルナインよ、ヤァジュージュとマァジュージュは、この地における罪深い人びとです。そこでわたしたちは、あなたのために貢ぎ物をするので、わたしたちとかれらとの間に、防壁を築いてくれませんか。

95.かれは言いました。わたしの主が、わたしに打ち立てたもの（権勢）は優れています。それでもあなた方が、労力で助けてくれるなら、わたしはあなた方とかれらとの間に、防壁を築きましょう。96.鉄の塊をわたしの所に持って来なさい。二つの山の崖を（鉄で埋めて）平らにしたとき、かれは言いました。（鉄を火で）吹きなさい。それが（鉄が溶けて）火になるまで。かれは言いました。溶けた銅を持って来なさい。わたしはそれをその（鉄の）上に注ぎ（固め）ます。97.これでかれら（ヤァジュージュとマァジュージュ）は、それ（防壁）を乗り越えることもできず、またそれに穴を掘ることもできません。98.かれは言いました。これは、わたしの主からの慈悲です。ただし、わたしの主の約束（最後の日）が来たとき、

かれはそれ（防壁）を平らに（粉々に）します。わたしの主の約束は真実です。

99.その（最後の）日、われらは、波のように互いに押し寄せ合うかれらを放っておきます。そのときラッパが吹かれ、それでわれらはかれら全員を召集します。100.その日われらは、非信者たちの眼前に地獄を見せます。101.かれらはわれらに留意することに目が覆われ、聞くこともできなかった人たちです。

102.不信心な人たちは、わたしの他にわたしの僕を擁護者とすることができると考えるのでしょうか。確かにわれらは、非信者たちのための住みかとして、地獄を準備しました。

103.言いなさい。わたしたち（ムハンマドや信者たち）があなた方に、行ないにおける（最大の）損失者について伝えましょうかと。104.（つまり）現世の生活における、かれらの努力が（正道から）逸れているのに、かれらは自分では正しいことをしていると考えている人たちです。105.これらの人たちは、かれらの主の印とかれとの会見を信じない人たちです。だからかれらの行ないは、無益となります。そしてわれらは審判の日、かれらのために目方をまったく与えないのです。106.それがかれらの応報、つまり地獄なのです。なぜならかれらは信仰を拒否し、わたしの印やわたしの使徒たちを笑い草にしたからです。

107.確かに信仰して善行に励む人たち、かれらには住みかとして天国の楽園があります。108.かれらはそこに、永遠に住みます。かれらはそこから移動することを望まないでしょう。

109.言いなさい。たとえ海が、わたしの主の言葉を記すための墨であっても、わたしの主の言葉が尽きる前に、海は使い尽くされます。たとえわれらがそれ（海）と同じものを補充しても（足りません）。

110.言いなさい。わたしはあなた方と同じような人間にすぎません。あなた方の神は、唯一の神（アッラー）であるということが、わたしに啓

示されました。だから誰でも、かれの主との会見を願う人には、正しい行ないをさせなさい。そしてかれの主への崇拝行為において、何一つ同位のものを配してはいけません。

19. マルヤム章

Maryam

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.カーフ・ハー・ヤー・アイン・サード。

2.（これは）かれの僕ザカリーヤーについての、あなたの主の慈悲に関する想起です。3.かれが、かれの主を、人知れず呼んだときのことです。4.かれは言いました。わたしの主よ、本当にわたしの骨は弱まり、頭（髪）は白く燃え尽きましたが、あなたへのわたしの祈りが、祝福されなかったことはありませんでした。5.本当にわたしは、わたしの（死）後の近親者（後継者）たちのことを、（不信仰になるのではないかと）恐れます。そしてわたしの妻は不妊です。それであなたの御元から、後継者をわたしに授けてください。6.かれ（後継者）はわたしを継ぎ、またヤアクーブ（ユースフの父親）の家を継ぎます。わたしの主よ、かれを（アッラーにとって）喜ばしい人としてください。

7.ザカリーヤーよ、本当にわれらはあなたに、ヤヒヤーという名の息子の吉報を伝えます。われらは、かれ（ヤヒヤー）以前には（誰にもその）名は授けませんでした。8.かれは言いました。わたしの主よ、どうしてわたしに息子があるでしょうか。わたしの妻は不妊です。しかもわたしは極めて高齢になりました。

9.（天使を通して）かれは言いました。そうであっても、あなた（ザカリーヤー）の主は言いました。それはわたしにとっては容易なこと。確かにわたしはあなたが無であったときに、あなたを創造しましたと。10.かれ

は言いました。わたしの主よ、わたしに印を与えてください。かれは言いました。あなたの印とは、健康体でありながら、あなた（ザカリーヤー）が三（昼）夜、人に話せなくなることです。11.そこでかれは礼拝室を出て、かれの人びとの所に来ると、朝な夕なに（アッラーを）賛美しなさいと、かれらに合図しました。

12.（アッラーが言いました）ヤヒヤーよ、啓典をしっかりと守りなさい。われらは、幼少の頃、かれ（ヤヒヤー）に英知を授けました。13.さらにわれらの御元から温情と清純さを（授けました）。かれ（ヤヒヤー）は（アッラーを）意識し、14.かれの両親に孝行で、威張ることなく、反抗することもありませんでした。15.かれ（ヤヒヤー）が生まれた日、かれが死去する日、かれが復活する日に、かれの上に平安がありますように。

16.またこの啓典の中で、マルヤムの物語を話しなさい。かの女が家族から離れて東側に籠ったとき、17.かの女はかれらに対して幕を垂れました。するとわれらはわれらの魂（天使ジブリール）を遣わしました。そしてかれ（天使）はかの女のために、健全な人の装いをしました。18.かの女は言いました。あなた（天使）から慈悲深いお方のご加護を祈ります。もしあなたが（アッラーを）意識しているなら（近づいてはいけません）。19.かれは言いました。わたしは、あなたに清純な息子を贈る（知らせの）ために、あなたの主から遣わされた使徒にすぎません。20.かの女は言いました。どうしてわたしに息子があるでしょうか。男性がわたしに触れたことはなく、わたしは不貞でもありません。21.かれ（天使）は言いました。そうであっても、あなたの主は言いました。それはわたしにとっては容易なこと。それでわれらは、かれ（息子）を人類への印とし、われらからの慈悲とするのですと。（これは）定められた命令でした。

22.こうしてかの女は、かれ（息子）を妊娠したので、（誰にも知られないよう）遠い所に籠りました。23.それから分娩の苦痛のため、ナツメヤ

シの幹に寄りかかると、かの女は言いました。こうなる前に、わたしは死んで、忘却の彼方に忘れ去られていたらよかったのに。

24.そのときかれ（天使）が、かの女を下の方から呼びました。悲しんではいけません。確かにあなたの主は、あなたの足元に小川を流しました。25.またナツメヤシの幹を、あなたの方に揺り動かしなさい。新鮮で熟したナツメヤシの実が落ちてくるでしょう。26.食べて飲んで、あなたの目を冷やしなさい（喜びなさい）。もし誰か人を見たなら言いなさい。わたしは慈悲深いお方に、斎戒（サウム）を約束しました。だから今日は、誰とも話せませんと。

27.それからかの女は、かれ（息子）を抱いて、かの女の人びとの元に来ました。かれらは言いました。マルヤムよ、あなたは、何と大変なことをしでかしたのか。28.ハールーンの姉妹（マルヤム）よ、あなたの父は悪い人（不倫）ではありませんでした。母も不貞ではありませんでした。

29.するとかの女はかれ（息子）を指さしました。かれらは言いました。どうやって揺かごの中の赤ん坊に、わたしたちが話しかけられるでしょうか。30.かれ（息子）は言いました。わたしは、確かにアッラーの僕です。かれは、わたしに啓典を与え、わたしを預言者にしました。31. かれは、わたしがどこにいても祝福してくれます。そしてわたしが生きている限り、わたしに礼拝と定めの施しを命じました。32.またわたしの母への孝行も（命じました）。かれはわたしを、威張って（アッラーに）感謝しない人にはしませんでした。33.わたしが生まれた日、わたしが死去する日、わたしが復活する日に、わたしの上に平安がありますように。

34.それはマルヤムの子イーサーです。かれら（啓典の民）は疑念を持ちますが、（これは）真実の言葉（物語）です。35.アッラーにおいて、かれが子を持つことはありえません。かれは、はるかに至高なのです。かれが万事を定めるとき、有れと言えば即ち有るのです。

36.確かにアッラーは、わたしの主であり、またあなた方の主です。

だからかれに仕えなさい。これこそがまっすぐな道なのです。37.それなのにかれら（啓典の民）の間で、諸宗派が（イーサーに関する）意見を異にします。絶大なる日の立証こそ、不信仰な人たちにとって災いです。38.かれらがわれら（の所）に来る（審判の）日、どれほどよく聞こえ、どれほどよく見えることでしょうか。でも不正を行なう人たちは、今も明白な迷いの中にいるのです。

39.あなた（ムハンマド）は後悔の日（審判の日）について、かれらに警告しなさい。（なぜなら）かれらが不注意で、不信心である間に、万事は決定されるからです。40.確かにわれらは、大地とその上にあるすべての人たちを相続します。そしてわれらに、かれらは帰らさせられるのです。

41.またこの啓典の中で、イブラーヒームの物語を話しなさい。確かにかれは誠実な人で預言者でした。42.かれが、かれの父（アーザル）にこう言ったときのことです。わたしの父よ、なぜあなたは聞きもせず、見もせず、ご利益もないもの（偶像）に、仕えるのですか。43.わたしの父よ、あなたには来なかった知識が、確かにわたしに来ました。だからわたしに従うように。わたしはあなたを正しい道に導くでしょう。44.わたしの父よ、悪魔に仕えてはいけません。本当に悪魔は、慈悲深き方に対する反抗者です。45.わたしの父よ、真にわたしは慈悲深き方からの苦痛が、あなたを襲うことを恐れます。それであなたが、悪魔の仲間になることを心配します。

46.かれ（父）は言いました。イブラーヒームよ、あなたはわたしの神々を拒否するのか。もしそれを止めないなら、あなたを石打ちの刑にします。永久にわたしから離れ去りなさい。47.かれは言いました。あなたに平安がありますように。わたしはあなたのために、わたしの主に赦しを求めます。確かにかれは、わたしに常に寛大なのです。48.わたしは、あなた方とあなた方がアッラーの他に祈るもの（偶像）を離れ、わたし

の主に祈ります。わたしの主への祈りにおいて、わたしが（あなた方のようには）不幸になることはないでしょう。

49.それでかれが、かれらとアッラーの他にかれらが仕えるものを離れたとき、われらはかれにイスハークとヤアクーブを授けました。そしてわれらは、かれらをそれぞれ預言者にしました。50.またわれらは、かれら（3名）にわれらの慈悲を与え、崇高な真実を伝える舌を与えました。

51.またこの啓典の中で、ムーサーの物語を話しなさい。確かにかれは、選ばれた使徒であり預言者でした。52.われらは、（シナイ）山の右側からかれに呼びかけ、そっと話すため、かれを近くに招き寄せました。53.またわれらは、われらの慈悲から、かれ（ムーサー）の兄ハールーンを預言者としてかれに授けました。

54.またこの啓典の中で、イスマーイールの物語を話しなさい。確かにかれは、約束に忠実な使徒であり、預言者でした。55.かれは、その一族に礼拝と定めの施しを命じ、かれの主の御元において喜ばれていました。56.またこの啓典の中で、イドリースの物語を話しなさい。確かにかれは、誠実な預言者でした。57.そしてわれらはかれを、高い地位に上げました。

58.これらの人たちは、預言者たちの中でもアッラーが恩寵を授けた人たちで、（預言者たちとは）アーダムの子孫であり、われらがヌーフと一緒に（方舟で）運んだ人たちの子孫であり、イブラーヒームとイスラーイールの子孫であり、われらが導いて選んだ人たちです。かれらに慈悲深き方の印が読誦されるたびに、かれらはひれ伏して涙を流します。

59.すると、かれらの後の継承者たちは礼拝を怠り、妄欲に従ったので、やがて破滅（の懲罰）に会うことになるでしょう。60.ただし改心して信仰し、善行に勤しむ人は別です。これらの人たちは楽園に入り、少しも不当な扱いを受けることはありません。

61.慈悲深いお方が、かれの僕たちに、目には見えませんが約束した

永遠の楽園に。確かにかれの約束は、完遂されます。62.かれらは、そこで無駄話を聞かず、平安あれ（という言葉）だけがあります。そこでかれらには、朝な夕なに、自分たちの糧があります。63.これが楽園です。（アッラーを）意識するわれらの僕たちに、われらが相続として与えるのです。

64.われら（天使）は、あなたの主の命令による以外は降りてきません。かれにわたしたち以前のこと、わたしたち以後のこと、その間の（すべての）ことがあります。そしてあなたの主は忘れません。65.（アッラーは）諸天と地およびその間にあるすべてのものの主です。だからかれに仕え、かれへの奉仕のために堅固でいなさい。あなたはかれと同名（同等）のものを知っていますか。

66.ある人（マッカの多神教徒）は言います。わたしが死んで、甦ることなどあるのか。67.その人は思い出さないのか。われらが以前、かれが無であったときに、かれを創造したことを。68.だからあなたの主に誓って、われらは、かれら（非信者）と悪魔たちを召集します。それからわれらは、かれらを地獄の周囲に、ひざまずいた格好で連れ出します。

69.それからわれらは、すべての諸派（シーア）から、慈悲深き方に最も強く背く人たちを引きずり出します。70.真にわれらは、そこ（地獄）で焼かれるに相応しい人たちを熟知しています。71.そしてあなた方で、それ（地獄）を通り越せる人はいません。これがあなた方の主の定めた天命です。72.それでわれらは、（アッラーを）意識する人たちを救い出し、不正を行なった人たちは、ひざまずいた格好でそこに放っておくのです。

73.明瞭なわれらの印が、かれらに読誦されるとき、不信心な人たち（マッカの多神教徒）は信仰する人たちに向かって言いました。二団の中で、どちらがより良い住い（生活水準）や、優れた集い（仲間）を持っているのかと。74.　われらは、かれら以前にも、富と外見において、かれらよりも優れた世代を、いくつ滅ぼしたことか。

75.（ムハンマドよ）言いなさい。誰でも迷いにある人は、慈悲深いお方が、その人のために（命を）延ばしますように。かれらに警告された（現世の）苦痛、またはその（来世の審判の）時に、かれらが直面するときまで。やがてかれらは、誰がより悪い立場にあり、より弱い勢力であるかを知るのです。

76.導きを受け入れた人たちには、アッラーは導きを増します。また（来世に意義が）永続する善行は、あなたの主から見て報奨において最善で、また帰り所も最善（を保証するの）です。

77.あなたはわれらの印を拒否して、こう述べた人を見ましたか。確かにわたしは、（来世でも）富と子供とを与えられるでしょうと。78.かれは目に見えない世界を、目にしたのでしょうか。それとも慈悲深いお方の、確約を得たのでしょうか。79.そうではありません。われらはかれの言うことを（すべて）記録し、かれに対する苦痛（懲罰）を先延ばしにするのです。80.われらはかれの言うことを（すべて）受け止め、かれはただ一人でわれらの所に来るのです。81.かれら（非信者）は、自分たちに威力を与えるため、アッラーの他に神々をとります。82.そうではありません。かれら（神々）は、かれら（非信者）の崇拝を拒否し、かれらの敵になります。

83.あなた（ムハンマド）は、われらが非信者たちに、かれらを誘惑する悪魔たちを遣わしたことが、見えないのですか。84.だからかれらに対して、（懲罰を）急いではいけません。ただわれらは、かれらのために（猶予の日）数を、数えているだけです。85.その（審判の）日、われらは（アッラーを）意識する人たちを、慈悲深き方（の御元）に集団で召集します。86.またわれらは罪深い人たちを、喉の渇いたもの（家畜）のように、地獄へと追い立てます。87.慈悲深き方からお許しを得た人でない限り、かれら（人びと）は執り成す力を持ちません。

88.またかれらは言います。慈悲深き方は、子をもうけたと。

89.本当にあなた方は、とんでもないことを言いました。90.諸天は引き裂かれ、大地は割れて、山々は崩れ落ちるほどのことです。91.(なぜなら)それはかれらが、慈悲深き方に対して、子があると言ったからです。92.慈悲深きお方が、子を持つことはありえません。93.諸天と地においては、慈悲深き方(の御元)に僕として来ない人は一人もいません。94.確かにかれは、かれらを(すべて)把握し、かれらの数を数え上げます。95.そしてかれらは全員、審判の日に一人でかれ(の御元)に来るのです。96.信仰して善行に励む人たちには、慈悲深いお方は、かれらに慈愛を与えます。

97.われらが、それ(クルアーン)をあなた(ムハンマド)の言語で分かりやすくしたのは、あなたが、それをもって(アッラーを)意識する人たちに吉報を与え、それをもって議論好きの人びとに警告するためです。98.かれら以前にいかに多くの世代を、われらは滅ぼしたことでしょうか。あなたは、かれらの中の一人でも(今)見かけることができますか。または、かれらのつぶやく声であっても聞くことができますか。

20. ター・ハー章

Taha

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ター・ハー。

2.われらがあなたに、クルアーンを啓示したのは、あなたを悩ますためではありません。3.ただ(アッラーを)畏れる人への諭しに他なりません。4.それは大地と最も高い諸天を創造された方からの啓示です。5.慈悲深き方は、玉座に鎮座されます。6.諸天の中にあるもの、地の中にあるもの、それら(天地)の間にあるもの、土壌の下にあるもの、これらは(すべて)かれのものです。

7.たとえあなたが大声で言葉を発しても、確かにかれは、秘密にされたり、さらに隠されていることも知っているのです。8.アッラー、かれの他に神はいません。かれにこそ最上の美称があるのです。

9.ムーサーの物語が、あなたに届きましたか。10.かれが火を見たとき、かれの家族にこう言いました。ここにいなさい。わたしは火を見ました。おそらくわたしは、あそこからあなた方のために燃え木を持ち帰るか、またはあの火の所で、導きを得るかもしれません。

11.それでかれがそこに来たとき、呼ばれました。ムーサーよ、12.真にわたしはあなたの主です。だから靴を脱ぎなさい。本当にあなたは、トゥワーの聖なる谷にいるのです。13.わたしはあなたを選びました。だから啓示されることを聞きなさい。14.真にわたしは、アッラーです。わたしの他に神はいません。だからわたしに仕え、わたしを唱えるために礼拝の務めを守りなさい。15.確かに（最後の審判の）時は来ます。それ（審判の時）を隠しておきたいのは、すべての人が努力したところに応じて、報いを受けられるようにするためです。16.だから、それ（審判の時）を信じないで、自分の妄欲に従う人たちが、あなたをそれから逸らせないようにしなさい。さもないと、あなたは破滅するでしょう。

17.あなたの右手にある、それは何か、ムーサーよ。18.かれは言いました。これは杖です。わたしはこれに寄りかかり、また羊のためにこれで（木の葉を）打ち落とし、またその他の用のために使います。19.かれは言いました。ムーサーよ、それを投げなさい。20.かれがそれを投げると、それは素早く這い回る蛇となりました。21.かれは言いました。それを捕まえなさい。恐れてはいけません。われらはそれを元のよう（杖）に戻します。22.そしてあなたの手を、脇の下に入れなさい。もう一つの印として、何の病気もないのに、それは白くなります。23.これはわれらが最大の印を、あなたに示すためです。24.あなたはフィルアウンの元に行きなさい。本当にかれは極悪非道です。

25.かれは言いました。わたしの主よ、わたしの胸を広げてください。26.わたしの任務を容易にしてください。27.わたしの舌のもつれをほぐして、28.かれらがわたしの言葉を、理解できるようにしてください。29.またわたしのために、わたしの家族の中から、補佐する者を設けてください。30.わたしの兄ハールーンを。31.（そして）かれをもってわたしを強固にしてください。32.（また）わたしの任務にかれも共同させてください。33.それはわたしたちが、あなたを多く賛美し、34.あなたを多く唱念するためです。35.真にあなたは、わたしたちをすべてお見通しなのです。36.かれは言いました。ムーサーよ、確かにあなたの願いは受け入れられました。

37.確かにわれらは、別のときにもあなたに恵みを授けました。38.それはわれらが、あなたの母にこのように命じたときです。39.かれ（ムーサー）を箱の中に入れて、（ナイル）川に投げなさい。それで川がかれを岸にうち上げ、わたしに対する敵と、かれに対する敵に、かれを拾い上げさせなさい。そうしたらわたしはあなた（ムーサー）の上に、わたしの愛を注ぎ、またわたしの注視の下で育てられるのです。40.あなたの姉が歩み出て、かれを養育する人を教えましょうか、と言いました。こうしてわれらは、あなた（ムーサー）の母が自分の目を冷やし（喜び）、悲しくならないように、あなたをかの女に返しました。後になり、あなたは人を殺しました。しかしわれらは（殺人の）苦悩からあなたを救い、またあなたを（別のことで）試しました。それから長年の間、あなたはマドヤンの民の中に滞在し、その後、定めに従って（トゥワーの清い谷へと）来たのです、ムーサーよ。

41.わたしはあなたを、わたしのために選びました。42.あなたとあなたの兄弟は、わたしの印を持って行きなさい。そしてわたしを想起することを怠ってはいけません。43.あなた方二人はフィルアウンの元に行き

なさい。実にかれは極悪非道です。44.ただしかれに丁寧な言葉で話しなさい。きっとかれは留意するか、または(アッラーを)畏れるでしょう。

45.かれら二人は言いました。わたしたちの主よ、本当にわたしたちは、かれ(フィルアウン)が自分たちにすぐさま危害をなし、非道なことをするのを恐れます。46.かれは言いました。恐れることはありません。本当にわたしは、あなた方二人と共にいます。わたしは(いつでも何でも)聞いて、見ているのです。47.だからあなた方二人は出かけて、かれに言いなさい。確かにわたしたちは、あなたの主の使徒たちです、だからわたしたちと共に、イスラーイールの子孫たちを(約束の地に)送り出し、かれらを苦しめてはいけません。確かにわたしたちは、あなたの主から印を持って来ました。導きに従う人には、平安がありますように。48.確かに、拒否し背き去った人には苦痛があると、わたしたちに啓示されたのです。

49.かれ(フィルアウン)は言いました。あなた方二人の主とは誰なのか。ムーサーよ。50.かれ(ムーサー)は言いました。わたしたちの主こそは、全存在に形を与えた方で、さらにそれに導きを与えた方です。51.かれは言いました。それなら過ぎ去った世代はどうなるのか。52.かれは言いました。その知識は、アッラーの御元の書板にあります。わたしの主に誤りはなく、忘れることもありません。

53.かれはあなた方のために、大地を広げ、そこに道をつけ、また空から水(雨)を降らせた方です。それによって、われらは多種多様な対(雌雄)の植物をもたらしました。54.食べて、あなた方の家畜を放牧しなさい。実にその中には、知性ある人たちに数々の印があります。55.われらはそれ(土)からあなた方を創り、それ(土)へとあなた方を帰らせ、またそれ(土)からもう一度引き出す(復活させる)のです。

56.確かに、われらはかれ(フィルアウン)に、すべてのわれらの印を示しましたが、かれはそれらを嘘呼ばわりして拒否しました。57.かれ(フ

ィルアウン）は言いました。あなたは魔術で、わたしたちの国から、わたしたちを追い出すために来たのか。ムーサーよ。58.それならわたしたちも、それと同じくらいな魔術を、あなたにもたらそうではないか。そしてわたしたちもあなたも破ることのない（同意できる魔術競演の）中間的な場所を、わたしたちとあなたの間で約束しましょう。

59.かれ（ムーサー）は言いました。あなたとの約束は祭日で、そうして日が昇ったときに、人びとが集まれる日です。60.一旦フィルアウンは立ち去り、その後かれは自分の企み（魔術師たち）を集めて来ました。61.ムーサーはかれらに言いました。あなた方は何という災いか。アッラーに対して虚偽を捏造してはいけません。さもないと、かれが苦痛をもって、あなた方を消滅させるでしょう。嘘を捏造する人は必ず失敗します。

62.そこでかれらは互いに作戦を議論したが、かれらは密談しました。63.かれらは言いました。確かに二人は魔術師です。かれらは魔術をもって、あなた方の国から、あなた方を追い出し、あなた方の最良の（伝統的な）生活様式を根絶しようとしているのです。64.それでは、あなた方の企みを集めて、列を作り（参加し）なさい。今日勝利を得る人は、確かに繁栄するのです。

65.かれらは言いました。ムーサーよ、あなたが投げるのか、それともわたしたちが先に投げようか。66.かれは言いました。いや、あなた方が先に投げなさい。すると見なさい。かれには縄と杖が、魔術で動いているのように見えました。67.だからムーサーは、心に恐れを感じました。68.われらは言いました。恐れるに足りません。真にあなたの方が上手です。69.あなたの右手にあるものを投げつけなさい。かれらが作ったものを飲み込むでしょう。かれらは、魔術師の仕掛けを作ったにすぎません。どこに行っても魔術師は繁栄しません。70.すると魔術師たちは、

身を投げ出してひれ伏しました。かれらは言いました。わたしたちは、ハールーンとムーサーの主を信じますと。

71.かれ（フィルアウン）は言いました。わたしがあなた方に許す前に、かれを信じるのか。本当にかれは、あなた方に魔術を教えた師匠でしょう。（ならば）あなた方の両手と両足を互い違いに切断して、ナツメヤシの幹に張りつけにしよう。あなた方はわたしたちの中、誰の与える苦痛がより厳しく、より永続するかを知っているのです。

72.かれら（魔術師）は言いました。わたしたちが、自分たちに届いた明らかな印と自分たちを創造した方を差し置いて、あなたを選ぶことはありえません。だからあなたの思うままに命じてください。ただしあなたは、現世の生活について、命じるだけです。73.真にわたしたちが、わたしたちの主を信仰するのは、ただわたしたちの罪と、あなたがわたしたちに強要した魔術に対して、赦しを請うためです。アッラーは最善で、永遠に生きる方なのです。

74.本当に罪深い人として、かれの主の所に来る人、かれには地獄があります。その中でかれは死にもせず、生きもしないのです。75.他方、誰でも信者として、多くの善行をしてかれの所に来る人、かれらには高い位階があります。76.（かれらは）川が下を流れる永遠の楽園の中に、永久に住み続けます。これは、自らを清めた人への報いなのです。

77.確かにわれらはムーサーに啓示しました。わたしの僕たち（イスラーイールの民）と一緒に夜に旅立ち、かれらのために、海の中に乾いた道を（あなたの杖で）打ち開きなさい。（フィルアウンの軍勢に）追い付かれるのを恐れたり、また（海を）怖がらなくてもよい。78.それでフィルアウンは、かれの軍勢を率いて、かれら（イスラーイールの民）を追いました。ところが海水が、かれらを水中に沈め覆ってしまったのです。79.このようにフィルアウンはかれの民を迷い去らせて、正しく導きませんでした。

80.イスラーイールの子孫よ、われらはあなた方をあなた方の敵から救い、また（シナイ）山の右側で、あなた方と約束を結び、マンナとウズラ297をあなた方にもたらしました。81.われらがあなた方に糧として授けた善いものを食べ、（禁忌の）掟を越えてはいけません。さもないと、わたしの怒りがあなた方の上に落ちるでしょう。わたしの怒りが落ちる人は滅びます。82.一方でわたしは、改心して信仰し、善行に勤しみ、さらに導かれる人を、よく赦すのです。

83.ムーサーよ、なぜあなたは自分の民から離れ、（シナイ山へ）先を急いだのか。84.かれ（ムーサー）は言いました。かれらはわたしの（シナイ山への）道のりで、後から来るだけでした。だからわたしの主よ、あなたの喜びのために、わたしはあなたの元へと急ぎました。85.かれは言いました。確かにわれらはあなたのいない間に、あなたの民を試みました。するとサーミリーがかれらを迷わせたのです。

86.ムーサーは、怒り悲しんで、かれの民の元に帰り言いました。わたしの民よ、あなた方の主は、あなた方にありがたい約束を結びませんでしたか。あなた方への期間（わたしがいなかった期間）が、余りに長かったのですか。または、あなた方は自分たちの主の怒りが、自分たちの上に落ちることを望んだのですか。それであなた方は、わたしとの約束を破ったのですか。

87.かれらは言いました。わたしたちは意図的に、あなたとの約束を破ったのではありません。でもわたしたちは、（エジプトの）人びとの装飾品の重荷を負わされたので、それらを（火の中に）投げ入れたのです。サーミリーも投げ込みました。88.そこでかれは、かれら（イスラーイールの民）のために、（火で溶けた装飾品から）低い声で鳴く子牛の体（魂のない偶像）を造り、言いました。これはあなた方の神で、またムーサーの神ですが、かれは忘れたのです。89.かれらはそれが、かれらに言葉を返さず（何も答えず）、害も益も持たらさないことが分からないのか。

90.確かに以前、ハールーンはかれらに言いました。わたしの民よ。あなた方はそれによって試されているだけなのです。真にあなた方の主は、慈悲深いお方です。だからわたしに従い、わたしの命令に従いなさい。91.かれらは言いました。わたしたちはそれ（子牛の偶像）への奉仕をやめません。ムーサーがわたしたちの元に帰って来るまでは。

92.かれ（ムーサー）は言いました。ハールーンよ、かれらが迷い去るのを見たとき、何があなたを（わたしの後に付いて来ないように）妨げたのですか。93.わたしに従わないのですか。わたしの命令に背いたのですか。94.かれは言いました。わたしの母の子よ、わたしの髭や頭をつかまないでください。本当にわたしは、あなたが（こう）言うのではないかと恐れました。あなた（ハールーン）はイスラーイールの子孫の間を分裂させ、わたし（ムーサー）の言葉を守りませんでしたと。

95.かれ（ムーサー）は言いました。ではサーミリーよ、あなたの目的は何ですか。96.かれは言いました。わたしは、かれらの見なかったものを見ました。だから使徒（天使）の足跡から一握りのそれ（土）を取って、それを（子牛の偶像）に投げつけたのです。わたしの心が、そうわたしに示唆したのです。97.かれ（ムーサー）は言いました。出ていきなさい。あなたは生涯を通じて、（会う人びとが）触れてはいけない（不可触な賤民だ）と言うことになるでしょう。確かにあなたには、決して破れない約束（懲罰）があります。あなたが奉仕していた神（子牛の偶像）を見なさい。本当にわたしたちは、それを砕いて海の藻屑とするでしょう。98.（人びとよ）確かにあなた方の神はアッラーだけです。かれの他に神はいません。かれはすべてを（アッラーの）知識の中に包み込まれます。

99.（ムハンマドよ）このようにわれらは、あなたに以前起こった物語を語ります。確かにわれらは、あなたにわれらからの諭しを与えました。100.誰でもそれに背く人は、復活の日に重荷を負うのです。101.（かれらは）永遠にその（重荷の）下にいるのです。何と復活の日の重荷は、

かれらにとって最悪なのでしょう。102.ラッパが吹かれる日、この日われらは、青い目（盲目）の罪深い人たちを召集します。103.かれらは互いにつぶやいて、あなた方は10日しか（現世に）いませんでしたと言います。104.われらは、かれらが言うことを最もよく知っています。かれらの中で言動ともに最良の人は、あなた方の滞在は１日しかなかった、と言うでしょう。

105.かれらは山について、あなたに問うでしょう。言いなさい。わたしの主はそれを粉砕します。106.かれはそれを平地にし、107.そこには歪みもでこぼこも見ないでしょう。108.その（審判の）日、かれらは呼び手300に従い、そこから逃げることはできません301。慈悲深いお方の御前では、声は低くなり、あなたはかすかな音を聞くだけです。

109.その日、慈悲深いお方がお許しを与え、かれが言葉を受け入れた人を除いて、執り成しは役に立ちません。110.かれは、かれらの前にあることも、後ろにあることも（すべて）知っています。でもかれらは、かれを了解できません。111.かれらの顔は、永生にして（全存在を）扶養する方の御前でうつむきます。不正を背負った人は確かに失敗します。112.でも善行に努めた信者であれば、かれは（報奨の）不正も目減りも恐れることはありません。

113.このようにわれらは、クルアーンをアラビア語で啓示し、その中であらゆる警告を明らかにしました。そうすることで、かれらは（アッラーを）意識し、かれらにとっての戒め（想起）となるのです。114.アッラーは至高であり、かつ真の王です。それであなたへの（各々の）啓示が完了する前に、クルアーン（の復唱を）を急いではいけません。（むしろこのように）言いなさい。わたしの主よ、わたしの知識を深めてくださいと。

115.確かにわれらは、以前にアーダムと約束しました。でもかれは失念したのです。われらはかれに、固い決意を見出せませんでした。116.われらが天使たちに対し、アーダムにひれ伏しなさいと言ったとき、

かれらはひれ伏しました。ただしイブリースを除いて。かれは拒否したのです。117.それでわれらは言いました。アーダムよ、本当にこれは、あなたとあなたの妻の敵です。だからかれに、あなた方二人をこの楽園から追い出させて、あなたが苦しむようなことになってはいけません。

118.本当にここ（楽園）では、あなた方には空腹もなく、裸になることもありません。119.またここでは喉の渇きもなく、太陽の灼熱にさらされることもありません。120.でも悪魔は、かれにささやいて言いました。アーダムよ。わたしはあなたに永遠の木と、衰えることのない王権を見せましょうかと。121.それでかれら二人が（永遠の命を求めて）それから食べると、かれらの恥部があらわになり、かれら二人は楽園の木の葉で覆い始めました。こうしてアーダムはかれの主に背き、誤ちを犯したのです。122.その後、かれの主はかれを（預言者として）選んで、かれに戻って（赦し）、導きました。

123.かれは言いました。あなた方二人は一緒にそこから出て行きなさい。あなた方は互いに敵です。それで、もしあなた方（二人だけでなく、広く人びと）に、わたしから導きが来れば、誰でもわたしの導きに従う人は、迷うこともなく不幸になることもありません。124.でも、誰でもわたしの戒め（想起）に背を向ける人、かれには窮屈な生活があり、審判の日にはかれを盲目で召集する。125.かれは言います。わたしの主よ、わたしは（現世で）目が見えたのに、なぜあなたはわたしを盲目として召集するのですか。126.かれは言います。そうなっているのだ。われらの印があなたに来たとき、あなたはそれらを無視したではないか。同じようにその日、あなたは無視されるのだ。127.同様に、われらは掟破りの人と、かれの主の印を信じない人に報います。真に来世（地獄）における苦痛は、より激しく、永続するのです。

128.かれら（マッカの多神教徒）以前に、われらがいかに多くの世代を滅ぼしたかということが、かれらには導きとならなかったのでしょう

か。かれらはかれら（滅ぼされた人びと）の住んでいた所を（今）歩いています。確かにこの中には、理性ある人びとへの印があります。129.そしてあなたの主からの、（猶予の）言葉が前もって下されていなかったなら、懲罰は避けられなかったでしょう。また（各人には）定められた（猶予の）期限があるので、130.かれらの言うことを耐え忍びなさい。そして日の出前と日の入り前に、あなたの主を称賛（の言葉）をもって賛美しなさい。また夜間も、昼の端々にも賛美しなさい。あなたは、（喜悦と報奨で）満たされるでしょう。

131.われらがかれら（マッカの多神教徒）の何人かに与えた、この世の生活の栄華へと、あなたの両目を（物欲しげに）向けてはいけません。われらは、それによって、かれらを試みました。あなたの主の糧こそ、最善で永続するのです。132.またあなたの家族に礼拝を命じ、そして（あなた自身が）それを堅持しなさい。われらは、あなたに糧を求めません。われらが、あなたに糧を与えるのです。結果（楽園）は、（アッラーを）意識する人にあります。

133.かれらは言います。なぜかれ（ムハンマド）は、わたしたちにかれの主から、印をもたらさないのですかと。（では）以前の書巻にある明証が、かれらに届きませんでしたか。134.もしわれらが、かれ（ムハンマド）以前に、苦痛をもってかれらを滅ぼしていたなら、かれらはこう言ったことでしょう。わたしたちの主よ、なぜあなたはわたしたちのために、使徒を遣わさなかったのですか。そうすれば、わたしたちは軽蔑され恥辱を受ける前に、あなたの印に従っていたでしょうと。135.言いなさい。誰しも（結果を）待っています。だからあなた方も待ちなさい。やがてあなた方は、平衡の取れた道を歩む人びとは誰か、また導かれた人びとは誰かを知るのです。

21. 預言者章

al-Anbiya’

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆17部◆人類には（所業の）清算（の日）が近づいているが、かれら（非信者）は無関心に背き去ります。2.かれらの主から新しい啓示（クルアーン）が来ても、かれらはそれをふざけて聞くだけです。3.かれらの心は散漫なのです。そして不正を行なう人たちは、密談を人知れずして言います。これ（ムハンマド）は、あなた方と同じような人間ではないですか。あなた方は目で見ていながら、（かれの）魔術にかかったのですか。4.かれ（ムハンマド）は言いました。わたしの主は、天と地の間にある言葉（のすべて）を知っています。かれは全聴かつ全知なのです。

5.かれら（各人）は言いました。いや、（クルアーンは）夢の寄せ集めです。いや、かれの捏造です。いや、かれは詩人です。（もし真に使徒なら）先祖に伝えられたものと同じような印（奇跡）を、わたしたちに持って来ればいい。6.かれら以前にわれらが滅ぼした町にも、信仰する人はいませんでした。それなのに、かれらは信仰するのでしょうか。

7.あなた（ムハンマド）以前に、われらが啓示を授けて遣わした使徒たちも、人間なのでした。もしあなた方が知らないなら、教え（啓典）を与えられている民（ユダヤ教徒とキリスト教徒）に聞きなさい。8.われらはかれら（使徒たち）を、食物を取らない身体にしたわけではありませんでした。またかれらは永遠に生きることはありませんでした。9.われらはかれらとの約束を果たしました。そしてわれらが望む人たちを救い、掟破りの人たちを滅ぼしたのです。

10.確かにわれらは、あなた方に啓典を啓示しました。その中にはあなた方への諭し（戒め）があります。それでもあなた方は理解しないのですか。11.われらはいかに多くの、不正を行なっていた町を滅ぼして、

その後に別の民を立てたことか。12.それでかれらがわれらの威力を感じると、見なさい。かれらはそれから逃げようとします。13.逃げてはいけません。あなた方は、快楽に溺れたもの（資財など）や、自分たちの住まいに戻りなさい。あなた方は尋問されるのです。14.かれらは言いました。ああ、情けない、本当にわたしたちは不正な人間でした。15.そしてかれらのこの叫び声は、われらがかれらを根こそぎ刈り取り、消滅させるまで止みませんでした。

16.われらは、天と地またその間にあるものを、戯れに創ったのではありません。17.もしわれらが、（子をもうける）気まぐれを求めるならば、われら自身でそうしたでしょう。われらがそうでもしていたのか。18.いいえ、われらが真理を虚偽に投げつけると、その頭を砕きます。見なさい。それ（虚偽）は消滅します。あなた方が（アッラーに同位者を）主張することこそ災いです。

19.諸天と地のすべての者は、かれに属します。またかれの側近にいる者（天使）は、かれに仕えて、高慢でもなく、疲れも知りません。20.かれらは毎日毎晩、（アッラーを）賛美し、休むことを知りません。

21.それともかれら（多神教徒）は、（死者を）甦らすことのできる神々を、地上で得たのでしょうか。22.もしそれら、（天地）の間にアッラー以外の神々がいたなら、それらは破滅していたことでしょう。だから、かれらが主張するものの（はるか）上におられ、玉座の主であるアッラーを賛美しなさい。23.かれは、かれが行なうことについて尋問されません。一方、かれらこそ尋問されるのです。

24.それともかれらは、かれの他に神々を得たのか。（ムハンマドよ）言いなさい。あなた方（多神教徒）の（神々がいるという）証拠を持ってきなさい。これ（クルアーン）はわたしと一緒にいる人びとへの啓典であり、またわたし以前の世代への啓典なのです。ところがかれらの多くは、この真理を認識せず、背き去ります。25.あなた以前にもわれらは、わた

しの他に神はいない、だからわたしに仕えなさいと、かれ（使徒）に啓示しない限りは、いかなる使徒も遣わしませんでした。

26.かれら（多神教徒）は言いました。慈悲深き方は、子をもうけられましたと。かれに賛美あれと。そうではなく（天使はアッラーの娘ではなく）、栄誉ある僕なのです。27.かれら（天使たち）は、かれより先に話すこともなく、またかれの命令によって行動するだけです。28.かれは、かれら（天使たち）の前にあるものも、後にあるものも知っています。そしてかれがお許しになった者を除いて、かれらが執り成しすることはできません。そしてかれらは、かれに畏怖の念を持つ者なのです。29.もしかれらの中に、本当にわたしは、かれとは別の神であると言う者があれば、その者をわれらは地獄で報います。このようにわれらは、不正を行なう者たちに報いるのです。

30.不信心な人たちは分からないのでしょうか。諸天と地は、一緒に合わさっていましたが、われらはそれらを分け、水からすべての生きものを創ったのです。かれらはそれでも信仰しないのでしょうか。

31.そしてわれらは大地に山々をしっかりと据えました。それ（大地）が、かれら（不信心な人たち）の下で、ぐらつかないようにするために。またわれらはそこ（山々の間）に、広い道を設けました。これにより、かれらは導かれるでしょう。32.さらにわれらは、空を（落下しないよう）守られた屋根としました。それでもかれらは、これらの印から背き去ります。33.かれこそは夜と昼、また太陽と月を創造した方です。それらはすべて、軌道を移動しています。

34.われらはあなた以前から、一人として永遠に生きる者を創造しませんでした。あなたは死ぬのに、かれら（非信者）は永遠に生きるのですか。35.すべての人は死を味わいます。われらは試練として悪と善で、あなた方を試みます。そして（最後は）われらに帰されるのです。

36.不信心な人たちはあなた（ムハンマド）を見ると、こう笑い草にす

るだけです。これがあなた方（多神教徒）の神々について、言及する（論難する）者ですかと。かれらは慈悲深き方の言及（その諭し）を拒否する者なのです。

37.人間は、せっかちに創られました。わたしは（遅れずに）わたしの印を示すので、わたしを急かしてはいけません。38.またかれらは言います。あなた方の言葉が真実なら、この約束（懲罰）が果たされるのはいつですかと。39.もし不信心な人たちが、かれらの顔からも背からも、（地獄の）火を避けることができず、またかれらが（誰からも）助けてもらえない時を知っていたなら（よかったのに）。40.いいえ、それ（懲罰）は突然かれらを襲い、かれらをうろたえさせます。かれらはそれを押し戻せず、猶予もされないでしょう。41.あなた（ムハンマド）以前の使徒たちも、確かに笑い草にされました。でも笑い草にした人は、笑い草にしていたことに取り囲まれるのです。

42.言いなさい。慈悲深き方（の怒り）から、昼夜、誰があなた方を守れるのか。それでもかれらは、主の教えに背くのです。43.それともかれらには、われら（の怒り）から守ってくれる神々があるのか。かれら（神々）は、自分自身も助けられず、（したがって）われらからも守れません。

44.そうではなく、われらがこれらの（不信心な）者やその先祖たちを、享楽させ長生きさせたのです。われらがこの土地（アラビア半島）に来て、端々からそれ（非信者の土地）を切り崩しているのを見ないのですか。それでもかれらが支配者なのですか。

45.言いなさい。わたしは啓示によって、あなた方に警告するだけです。でも耳が聞こえない人は、警告されても、その呼びかけが聞こえません。46.もしあなたの主のひと吹きの苦痛が、かれらに触れるなら、かれらは言います。ああ、情けない。わたしたちは本当に不正をしてきましたと。

47.われらは復活の日のために、公正な秤を設けます。いかなる人も

不当に扱われません。たとえ、からし一粒の重さであっても、われらはそれを（計算に）持ち出します。われらは清算者として十分なのです。

48.確かにわれらはムーサーとハールーンに、識別と光明、それから（アッラーを）意識する人（信者）たちのための教えを授けました。49.（信者は）目に見えないかれらの主を畏れ、かれらは（審判の）時を恐れます。50.そしてこれこそがわれらが降ろし、祝福された啓示（クルアーン）です。あなた方は、それでも拒否するのでしょうか。

51.確かにわれらは随分以前に、イブラーヒームに正しい判断力を授けました。われらはかれについて、最もよく知る者です。52.かれが、かれの父とかれの人びとに（こう）言ったときのことです。あなた方が没頭するこれらの偶像は何ですか。53.かれらは言いました。わたしたちは、わたしたちの先祖が、それらの崇拝者であるのを見ました。54.かれは言いました。あなた方とあなた方の先祖は、明らかに誤っていました。

55.かれらは言いました。あなたは真理をもたらしたのか。それともあなたは（真理を）もてあそんでいるのか。56.かれ（イブラーヒーム）は言いました。とんでもない。あなた方の主は諸天と地の主で、それら（天地）を創造した方です。そしてわたしは、それに対する証人の一人なのです。57.アッラーに誓って、わたしはあなた方が背を向けて去った後、あなた方の偶像たちに策略を企てます。58.そこでかれは、そこに帰って来るであろうと（思って）、かれらのために一体の巨像を除き、それら（偶像）をバラバラに壊しました。

59.（帰ってきて）かれらは言いました。誰がわたしたちの神々を、こんなにしたのでしょうか。実にその人は不正な人です。60.かれらに（こう）言う者がいました。わたしたちはイブラーヒームという若者が、それら（偶像）に言及（論難）するのを聞きました。61.（そこで）かれらに（こう）言う者がいました。それなら、その者を人びとの目の前に連れてきなさい。かれらが目撃できるように。62.（そこで）かれらに（こう）言う者がい

ました。あなたがこれをしたのですか、イブラーヒームよ。63.かれは言いました。いや、この大きいの（巨像）がしたのです。もしそれら（偶像）が話せるなら、聞いてみなさい。

64.するとかれら（人びと）は、自分自身に向かって言いました。本当にあなた方は不正な人たちです。65.その後かれらは、手のひらを返して（言いました）、あなたはこれら（偶像）が話せないのを知っていたのだ。66.かれ（イブラーヒーム）は言いました。あなた方は、アッラーを差し置いて、あなた方に何の益も害ももたらさないものに仕えるのですか。67.何ということだ、あなた方も、あなた方がアッラーを差し置いて仕えるものも（罪を知れ）。あなた方は、まだ理解しないのですか。

68.かれらは言いました。かれを火あぶりにしよう。そしてあなた方の神々の仇を取ろう。もし（事態を正）すというなら。69.われらは言いました。火よ、冷たくなれ。そしてイブラーヒームに、平安あれ。70.かれらは、かれに悪巧みをしようとしましたが、われらは、かれらを最悪の失敗者にしました。

71.われらはかれとルートを救って、すべての世界のために、われらが祝福した地に送りました。72.そしてかれにイスハークと、さらにヤアクーブを贈り物として授け、われらはそれぞれを正しい者にしました。73.そしてわれらはかれらを、われらの命令によって（人びとを）導く指導者にしました。またわれらはかれらに、善行に励み、礼拝の務めを守り、定めの施しをするよう啓示しました。そしてかれらは、われらに仕える者でした。

74.またわれらはルートに判断と知識を授け、破廉恥な行ない（特に男色）をしていた町から、かれを救いました。確かにかれらは、掟破りの邪悪な人びとでした。75.われらはかれ（ルート）を、われらの慈悲の中に入れました。真にかれは正しい者でした。

76.またヌーフを（思い出しなさい）。以前かれが祈ったとき、われら

はかれに応え、かれとかれの家族を、大災害から救いました。77.われらは、われらの印を拒否した人びとから、かれ（ヌーフ）を助けました。本当にかれらは邪悪な人びとでした。そこでわれらは、かれら全員を溺れさせました。

78.またダーウードとスライマーンを（思い出しなさい）。かれらがある耕地について裁決しました。それはある人の羊が夜の間に草を食べたときですが、われらはかれらの裁決の立証者となりました。79.われらはスライマーンに、それを理解させました。そして二人に判断と知識を授けました。またわれらはダーウードに山々や鳥たちを従わせて、共に（アッラーを）賛美させました。（すべては）われらのなせる業でした。80.またわれらは、戦争においてあなた方の身を守るために、かれに甲冑の作り方を教えました。それでもあなた方は感謝しないのですか。

81.またスライマーンには（アッラーがかれに伴わせた）猛威を奮う風があり、われらが祝福する大地に対して、かれ(スライマーン)が出す指令によって吹かせました。われらはすべてのことを知る者です。82.また悪魔たちの中にも（アッラーが従わせたので）、かれ（スライマーン）のために潜水したり、その他の仕事をしている者もいました。われらは、かれらの守護者でした。

83.またアイユーブを（思い出しなさい）。かれはかれの主に祈りました。本当に災厄（病）がわたしに襲いかかりました。そしてあなたは慈悲ある方の中で、最も慈悲深いお方なのです。84.そこでわれらはかれに応えて、その災厄を除きました。またかれに家族と、それに加えて、かれらと共にいた者（亡くなった子供たち）と同じものを授けました。（これは）われらからの慈悲であり、また（アッラーに）仕える人たちに対する戒め（想起）です。

85.またイスマーイール、イドリース、ズー・アルキフルを（思い出しな

さい）。全員がよく耐え忍ぶ人たちでした。86.われらはかれらを、われらの慈悲の中に入れました。真にかれらは正しい人たちでした。

87.またズー・アルヌーンを（思い出しなさい）。かれが怒って出かけ、われらがかれに定めを下すことはないと思っていたとき、（結局）暗闇の中で、かれは（こう）祈りました。あなたの他に神はいません。あなたを賛美します。本当にわたしは不正を行なう人でしたと。88.それでわれらはかれに応えて、かれをその苦難から救いました。このようにわれらは、信者たちを救うのです。

89.またザカリーヤーを（思い出しなさい）。かれが、かれの主に（こう）祈ったときのことです。わたしの主よ、わたしを一人のまま（子供なしで）放って置かないでください。真にあなたは最善の相続者でありますと。90.それでわれらはかれに応えて、かれにヤヒヤーを授け、また妻（の不妊）をかれのために治しました。確かにかれらは、互いに善行に急ぎ、希望と畏怖をもって、われらに祈りました。かれらは、われらに対し（常に）謙虚でした。

91.また自分の貞節を守った女性（マルヤム）を（思い出しなさい）。われらはかの女にわれらの霊魂を吹き込み、かの女とその子（イーサー）を、すべての世界のための印としました。

92.確かにあなた方の共同体は、一つの共同体です。そしてわたしはあなた方の主です。だからわたしに仕えなさい。93.それなのにかれらは自分たちの団結を、かれらの間で切り崩しました。（間もなく）全員われらに帰るのです。94.善行に励む信者は誰でも、かれの努力が拒否されることは決してありません。確かにわれらは、かれのために記録します。

95.われらが滅ぼした町（住人）へは、かれらは戻らないように、禁じられました。96.ヤァジュージュとマァジュージュが（防壁から）解放されて、（非信者が）どの丘であれ勢いよく降りて来るときまでは。97.（これは前兆であり）真実の約束は近いのです。見なさい。不信心な人たちの

目が（地獄の恐怖のために）思わずすわって（こう言うのです）、何と情けない。真にわたしたちは、これ（約束）に留意しませんでした。いいえ、わたしたちは不正を行なう人たちでした。

98.確かにあなた方（非信者）も、アッラーの他にあなた方が仕えるものも、地獄の燃料です。あなた方はそこに行くのです。99.もしこれらが神々だったなら、そこに来ることはなかったでしょう。でも（かれらは）全員、その中に永遠に住むのです。100.かれらはその中でうめき、そこでは（何も）聞こえません。101.確かにわれらから善（楽園）が先に許された人たちは、そこ（地獄）から遠く離されました。102.かれらはそこのわずかな音も聞かないのです。そしてかれらは、自らの精神が望んでいたものを永遠に享受するのです。103.最悪の恐怖（最後の審判）が、かれらを悩ますこともありません。天使たちは出迎えて（言います）。これが約束された、あなた方の（審判の）日です。

104.その日われらは、（書記の天使スィッジルが）記録のために巻物を巻くように、天を巻き上げます。われらは最初の創造をしたように、それを繰り返すことができます。（これは）われらの約束です。確かにわれらは実行するのです。105.われらはその戒め（ムーサーへの十戒）と同様、（ダーウードへの）詩篇の中に、確かにわたしの正しい僕がこの大地を継ぐと記しました。106.間違いなくこの（クルアーン）の中には、（アッラーに）仕える人たちへのお告げがあります。

107.われらがあなた（ムハンマド）を遣わしたのは、すべての世界の慈悲としてだけです。108.言いなさい。わたしに啓示されたのは、あなた方の神は唯一の神であるということです。それであなた方は（唯一の神に）服従しますか。109.もしかれらが背き去るなら、言いなさい。わたしは、あなた方に平等に知らせました。でもわたしはあなた方に約束されたことが、近いか遠いか知りません。110.確かにかれは、公然の言葉も、あなた方が隠すこともご存知です。111.でもわたしは、それ（懲罰ま

での猶予）があなた方への試練であり、（あるいは）一時の享楽であるかどうかは知りません。112.かれは言いました。わたしの主よ、真理によって裁いてください。わたしたちの主は、慈悲深いお方なのです。あなた方（非信者）が口にすることに対して、助けを嘆願いたします。

22. 巡礼章

al-Hajj

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.人びとよ、あなた方の主を意識しなさい。その（審判の）ときの激震は壮絶なものです。2.その日、あなた方は見るでしょう。すべての養母は養育するもの（乳幼児）を忘れ、すべての妊婦はその重荷（胎児）を流すのを。またあなたは酔いしれた人びとを見るが、かれらは酔っていません。そうではなく、アッラーの苦痛が激しいから（そう見えるだけ）です。3.そして人びとの中には、知識もなくアッラーについて議論し、あらゆる反抗的な悪魔に従う人もいます。4.かれ（悪魔）については（こう）書き記されました。誰でもかれを友とする人は、かれはその人を迷い去らせ、（地獄の）火炎の苦痛に導くのですと。

5.人びとよ、たとえあなた方が復活について疑っても、確かにわれらは土からあなた方を創造しました。さらに一滴の液体（精液）から、次に血の塊（胚子）から、次に（人間に）形作られた肉の塊（胎児）と、形作られなかったもの（未熟児）を（創造しました）。あなた方に（アッラーの偉力を）明証するためです。そしてわれらが定めた期限の間、胎内に留まらせて、それから新生児としてあなた方を出生させ、その後あなた方は成人するのです。あなた方の中には（若くして）命を奪われる人も、またよく知っていたことを忘れるほど、老齢に達する人もいます。またあなたは不毛の土地を見るでしょう。でもわれらがそれに水（雨）を降らせると、そ

れは震え膨らんで、すべての種類の生き物が生き生きと成育します。6.これはアッラーこそが、真実だということです。そしてかれは死者に生命を与え、すべてに対して全能なのです。7.その（審判の）ときは来ます。それについて疑いの余地はなく、アッラーは、墓の中の人を復活させるのです。

8.でも人びとの中には、アッラーについて知識もなく導きもなく、また光明の啓典もないまま議論し、9.（高慢に）かれの側面をひねって（そっぽを向いて）、アッラーの道から（人びとを）迷わせようとする人がいます。かれには、現世において恥辱があり、また復活の日には、われらは（地獄の）火の苦痛を味わうようにさせます。10.これはあなたの両手がため込んだもので、アッラーはかれの僕に対し、決して不正をしません。

11.また人びとの中には疑いながら、アッラーに仕える人がいます。かれに善いことが起これば、かれはそれに満足します。でも試練がかれに振りかかると、その顔を背けます（従来通りに戻る）。かれは現世と来世とを失うのです。それは明らかな損失なのです。

12.かれがアッラーの他に祈るもの（偶像）は、かれに害も益も与えません。それは遠く迷い去ったものなのです。13.かれは益より、害に近いものに祈るのです。何と悪い擁護者であり、悪い仲間なのでしょうか。14.アッラーは信仰して善行に励む人たちを、川が下を流れる楽園に入らせます。確かにアッラーは、御望みのまま行なうのです。

15.誰でも現世と来世においてアッラーが、かれ（ムハンマド）を助けないと考えるなら、その人に天へ縄をつなげさせて、（アッラーの助けを）切り離させなさい。それからその方法が、その人が怒るもの（アッラーの助け）を追い払うことができるか、かれに分からせてみなさい。16.このように、われらは明らかな印として、それ（クルアーンの啓示）を降ろしました。そしてアッラーは御望みの人を導きます。

17.真に信仰した人（ムスリム）たち、ユダヤ教徒たち、サービア教徒

たち、キリスト教徒たち、マギ教徒たち、多神教徒たちについては、アッラーは復活の日に、かれらの間を裁決します。確かにアッラーは、すべてのことの立証者なのです。

18.あなた（ムハンマド）は、諸天にあるもの、大地にあるもの、すべてがアッラーにひれ伏すのを見ないのですか。太陽、月、群星、山々、木々、動物たち、多くの人間がいます。ただし（人間の）多くには、苦痛が当然です。またアッラーが屈辱を与える人といえば、その人を尊敬するものはいません。確かにアッラーは御望みのまま行なうのです。

19.これら敵対する両者（信者と非信者）は、かれらの主について議論します。それで信仰を拒否した人には、火の衣服が切り取られ、熱湯が頭上から注がれます。20.腹の中のものも皮膚も、それで溶かされるのです。21.その上、かれらには鉄の鞭（による苦痛）もあります。22.苦しさのため、かれらがそこから出ようとするたびに、その中に押し戻されます。（そこで地獄の）火の苦痛を味わいなさいと（言われるのです）。

23.真にアッラーは、信仰して善行に励む人たちを、川が下を流れる楽園に入らせます。かれらはそこで、黄金の腕輪と真珠で身を飾り、かれらの衣服は絹製です。24.かれらは善良な言葉へと導かれ、あらゆる称賛に価するお方の道に導かれたのです。

25.確かに信仰を拒否し、アッラーの道から（人びとを）妨げる人たち、またそこ（マッカ）の居住者であっても非居住者（外来の砂漠民）であっても、等しく人類のためにわれらが設けた禁忌のあるマスジドから（人びとを）妨げる人たち、それとそこで不正（偶像崇拝）による冒瀆を望む人には、われらは厳しい苦痛を味わうようにさせます。

26.またわれらがイブラーヒームのために、家の位置を定めたときのことです。わたしに何も（神々を）配してはいけません、回巡する人たちのために、また立礼し、屈折礼し、平伏礼する人たちのために、わたしの家を清めなさい（と命じました）。

27.人びとに、巡礼（ハッジ）するよう呼びかけなさい。かれらは歩いてあなたの所にやって来ます。またすべての（遠路のために）痩せたラクダに乗って、あらゆる深い谷間からやって来ます。28.それはかれらが自らのご利益に預かり、かれがかれらに糧として与えた家畜に対して、定められた日々に、アッラーの御名を唱える（犠牲の）ためです。だからあなた方はそれ（犠牲の肉）を食べ、また不遇な人たちや貧乏な人にも食べさせなさい。29.そうしてかれらの汚れを清めさせ、誓いを果たさせ、そして古来の家（カアバ）を回巡させなさい。

30.以上（が定め）です。誰でもアッラーの禁忌（の命令）を尊重する人は、かれの主の御元（来世）がかれにとって最善なのです。それから家畜はあなた方に（明示的に）読み聞かされたものを除いて、合法となりました。だから偶像の汚れから離れ、虚偽の（偶像のための）言葉を避けなさい。

31.アッラーのみを崇めて純正でなければならず、神々をかれに配してはいけません。アッラーに神々を配する人は、まるで空から落ちて、鳥がさらった人のようです。または、風が遠い所に吹き飛ばした人のよう（に無力）です。

32.以上（が定め）です。アッラーの儀礼を尊重する人（にとっては）、それは心の敬虔さからくるものです。33.その（犠牲の家畜）中には、定めの期限（一生涯）の間、あなた方にとっての便益があります。またそれらの（巡礼における）屠畜の場所は、古来の家（カアバ）の近辺なのです。

34.われらはすべての共同体に糧として与えた家畜に対して、かれらがアッラーの御名を唱えるよう儀礼を定めました。真にあなた方の神は、唯一の神です。だからかれに服従しなさい。あなた（ムハンマド）は、謙虚な人たちに吉報を伝えなさい。35.これらの人たちは、アッラーの御名が唱えられると心が畏怖に満ちる人たちであり、かれらを悩ますこと

に耐え忍ぶ人たちで、礼拝の務めを守り、われらが恵んだものから施す人たちです。

36.またラクダ（または牛の犠牲）を、われらはあなた方のために、アッラーの儀礼の一部としました。その中には、あなた方への便益があります。だから（供犠のために家畜が）並んだら、それらに対して、アッラーの御名を唱えなさい。そしてそれらが横に倒れた（屠畜された）なら、あなた方はそれ（犠牲の肉）を食べ、また物乞いしない人と、物乞いする人に食べさせなさい。このように、あなた方が感謝するように、われらはそれら（家畜）をあなた方に従わせました。37.それらの肉や血が、アッラーに達するのではありません。しかしあなた方の敬虔さ（篤信ぶり）が、かれに届くのです。かれがあなた方を導いたことに対して、アッラーの偉大さを賛美するために、かれはそれら（家畜）をあなた方に従わせました。それで善行の人たちに吉報を伝えなさい。

38.誠にアッラーは、信仰する人たちを守ります。誠にアッラーは、忘恩な裏切り者たちを好みません。39.戦闘を仕掛けられた人たちには、かれらが不正を犯されたので、（戦いが）許されました。確かにアッラーは、かれらの勝利を助ける力量があります。40.かれら（信者たち）は正当な理由もなく、自分たちの家から追い出された人たちで、かれらは、わたしたちの主はアッラーです、と言っただけでした。もしアッラーが、ある人びと（非信者たち）を、他の人びと（信者たち）によって抑制しなければ、修道院もキリスト教会もユダヤ教会も、アッラーの御名が多く唱念されているマスジドも、打ち壊されていたことでしょう。確かにアッラーは、かれを助ける人を助けます。真にアッラーは、強力かつ偉力大なのです。

41.かれらは、たとえわれらがこの地上で権勢を与えても、礼拝の務めを守り、定めの喜捨をなし、（人びとに）良識を命じ、邪悪を禁じる人たちです。確かに万事の結末は、アッラーが統括されるのです。

42.たとえかれらが、あなた（ムハンマド）を嘘つき呼ばわりしても、かれら以前、ヌーフの民も、アードもサムードも、（使徒たちを）嘘つき呼ばわりしました。43.またイブラーヒームの民も、ルートの民も、44.マドヤンの住人も。またムーサーも嘘つき呼ばわりされました。それでもわたしは非信者たちに（懲罰の日まで）猶予を与え、その後わたしは、かれらを捕まえました。わたしの拒絶はどれほどであったのか。

45.われらは、どれだけ多くの悪に溺れる町を滅ぼしたことか。それは屋根から潰れ（残骸が残り）ました。また見捨てられた井戸や、そびえ立つ城（の残骸）も。46.かれら（マッカの多神教徒たち）は理解する心と聞く耳を持って、地上を旅しなかったのか。実は、かれらの目が盲目だったのではなく、その胸の中の心が盲目だったのです。

47.かれらはあなた（ムハンマド）に、苦痛（懲罰）を急がせます。でもアッラーはかれの約束を破りません。本当にあなたの主の御元における１日は、あなた方が計算する1,000年のようです。48.わたしは、どれだけ多くの悪に溺れる町を猶予したことか。それからわたしは、それ（町）を捕まえました。結局、わたしに帰り所はあるのです。

49.言いなさい。人びとよ、わたし（ムハンマド）はあなた方のための、明らかな警告者にすぎません。50.信仰して善行に勤しむ人たちには、赦しと気前のよい糧があります。51.でもわれらの印に努めて反抗する人たちは、地獄の火の仲間です。

52.あなた以前に、われらが遣わした使徒や預言者で、かれが（読誦を）望んだときに、悪魔がその望み（読誦）の中に、（誘惑を）投げ入れなかったことはありません。でもアッラーは、悪魔が投げるものを取り除き、アッラーはかれの啓示を確定するのです。真にアッラーは、全知かつ英明です。53.それでかれは、悪魔が投げかけるものを、心に病のある人たちや、かたくなな心の人たちへの試練とします。確かに不正を行なう人たちは、（真理から）遠くかけ離れているのです。54.また知識を与えら

れている人たちは、それ（啓示）があなたの主からの真理であることを知り、それを信じ、かれらの心はそれに謙虚に従います。確かにアッラーは、信仰する人たちをまっすぐな道に導く方です。

55.一方で、不信心な人たちは、突然（審判の）ときが、かれらにやって来るか、災厄の日の苦痛が来るまでは、それに対する疑いを止めません。56.その（審判の）日、（統括の）大権はアッラーのものです。かれは、かれらの間を裁決します。それで、信仰し善行をした人たちは、安楽の楽園に入れられます。57.（他方）不信仰で、われらの印を拒否した人たちには、恥ずべき苦痛があるのです。

58.アッラーの道に移住し、その後（戦いで）殺され、または死んだ人たちには、アッラーは善美な糧を与えます。確かにアッラーこそは、糧を与える最善の方なのです。59.かれは、かれらが喜ぶ入り方で、かれらを（楽園に）入らせます。確かにアッラーは、全知にして寛大な方なのです。

60.（約束は）このようです。また誰でも同害報復をしたのに対して抑圧されるなら、アッラーはかれを助けます。本当にアッラーはよく免じられる方で、よく赦すお方です。

61.（真実は）このようです。なぜならアッラーは夜を昼の中に入らせ、昼を夜の中に入らせる方だからです。確かにアッラーは、全聴かつ全視なのです。62.（真実は）このようです。なぜならアッラーこそ真実であり、かれの他にかれらが祈るものは、偽物だからです。真にアッラーこそ、至高かつ至大です。

63.アッラーが空から水（雨）を降らせ、翌朝には大地が緑になるのを、あなたは見ないのですか。誠にアッラーは、繊細で（何事も）よく知っている方です。64.諸天にあるもの、大地にあるものすべては、かれのものです。アッラーこそは、豊かに満ち足りている方で、称賛されるべき方です。

65.あなた（ムハンマド）は、アッラーが地上のものをあなた方に従わせることや、かれの命令によって航海している船を見ないのですか。またかれは、かれのお許しなくして、空が地上に落ちないように支えているのを見ないのですか。確かにアッラーは、人間に優しく、慈悲深いお方なのです。66.かれこそは、あなた方に生を授けました。それから死を与え、それから甦らせる方です。本当に人間は、忘恩なのです。

67.われらはすべての共同体に、それらが行なう儀礼を設定しました。だからそれに関し、かれら（非信者たち）にあなた（ムハンマド）と議論させないように。（そして）あなたの主に招き入れなさい。確かにあなたは、正しい導きの上にいるのです。68.でもかれらが、あなた方と議論するなら、（こう）言いなさい。アッラーは、あなた方が行なうことを最もよく知っています。69.アッラーは復活の日に、あなた方が仲たがいしたことについて、あなた方を裁決するのです。70.あなたはアッラーが、天と地にあるものを（すべて）知っていることを、知らないのですか。それは（すべて）書板にあり、確かにアッラーにとっては容易なことです。

71.かれらはアッラーを差し置いて、かれが何の権能も与えていないものや、かれらがそれについて何の知識もないものを、崇拝しています。不正を行なう人たちには、援助者はいません。72.われらの明らかな印がかれらに読誦されると、信仰しない人たちの顔に拒絶の色が浮かぶのを、あなた（ムハンマド）は認めるでしょう。かれらは今にも、われらの印を読誦する人に向けて、攻撃しようとしています。言いなさい。わたしはそれよりも悪いものを、あなた方に告げようか。それは（地獄の）火で、アッラーは信仰しない人たちにそれを約束しました。何と悪い先行きか。

73.人びとよ、ひとつの例えをもたらすので、それを聞きなさい。本当にあなた方がアッラーを差し置いて祈るものたちは、たとえかれらが束になっても、一匹のハエも創れません。またそのハエが、かれらから何か

を奪い去っても、それを取り戻すこともできません。求める者（人びと）も、求められる者（偶像）も、全く力がないのです。74.かれらは、アッラーの真の力量が分かっていません。確かにアッラーは強力かつ偉力大なのです。

75.アッラーは、天使たちと人間の中から、使徒たちを選びます。確かにアッラーは全聴で、全視なのです。76.かれは、かれらの前にあるもの（来世）も、かれらの後ろにあるもの（現世）も知っています。そしてアッラーに万物は帰るのです。

77.信仰する人たちよ。屈折礼し、平伏礼して、あなた方の主に仕えなさい。そして善に努めなさい。（そうすれば）あなた方は成功するでしょう。78.アッラーに向けて、誠を尽くして奮闘努力しなさい。かれはあなた方を（信者として）選ばれましたが、この教え（イスラーム）に、あなた方にとっての困難は設けませんでした。あなた方の先祖イブラーヒームの宗旨（と同じ）です。（だから）かれは以前も、この（啓示）においても、あなた方をムスリム（アッラーに従う人）と名づけました。そうして使徒（ムハンマド）は、あなた方の証人となり、あなた方は他の人びとの証人なのです。だから礼拝の務めを守り、定めの施しを行ない、アッラーの庇護を求めなさい。かれは、あなた方の擁護者です。何と優れた擁護者、優れた援助者でしょうか。

23. 信者たち章

al-Mu’minun

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆18部◆信者たちは、確かに勝利を勝ちとるのです。2.かれらは、かれらの礼拝において謙虚であり、3.無駄話を避け、4.定めの施しを行ない、5.自分の貞操を守る人たちです。6.ただし、かれらの配偶者と、かれ

らの右手に所有する者(女性奴隷)は別です。かれらは、責められる人たちではありません。7.でも、法を越えて求める人は、掟破りの人たちです。8.またかれらは、信託324と約束に忠実な人たちで、9.自分たちの礼拝を守る人たちです。10.これらの人こそ相続者として、11.楽園(フィルダウス)325を継ぐ(住む)人たちです。かれらはそこに、永遠に住むでしょう。

12.確かにわれらは、土の精髄から人間を創りました。13.次にわれらは、一滴の液体(精液)として、それを丈夫な場所に置き(着床させ)ました。14.次にわれらは、一滴の液体から、一つの血の塊(胚子)を創り、さらにその血の塊から肉の塊(胎児)を創り、次にわれらは、その肉の塊から骨を創り、さらにわれらは肉でその骨を覆い、その後われらは、それを別の被造物326として育て上げました。アッラーに称賛あれ、最も優れた創造者に。15.その後、あなた方は必ず死にます。16.そして復活の日に、甦るのです。

17.確かにわれらは、あなた方の上に、七つの(天の)道を創りました。われらがその創造について、無関心であったことはありません。18.われらは空から適量の水(雨)を降らせ、それを地中に蓄えさせます。またわれらは、それを無くす力もあります。19.われらはそれ(水)で、あなた方のためにナツメヤシとブドウの園を育てました。その(園の)中には多くの果実があって、あなた方はそれを食べます。20.またシナイ山に生息する1本の(オリーブの)木があって、油が採れ、食べものに味わいを付けます。21.また確かに家畜にも、あなた方への教訓があります。われらはそれらの腹の中にあるものを、あなた方に飲ませます。それらの中には多くの便益があり、あなた方はそれ(家畜の肉)を食べ、22.またそれらに乗ります。船によって運ばれるように。

23.確かにわれらは、ヌーフをかれの民に遣わしました。かれは言いました。わたしの人びとよ、アッラーに仕えなさい。かれの他に、あなた

方に神はいません。あなた方は、かれを意識しないのですか。24.でも不信心な人びとの中の指導者たちは言いました。これはあなた方と同じ人間ではないですか。かれ（ヌーフ）はあなた方の上に（立って）、偉そうに振る舞いたいのでしょう。もしアッラーが望むなら、かれは天使たちを遣わしていたはずです。わたしたちは、先祖からも、こんなことを聞いたことがありません。25.この男は気が狂った人間にすぎません。だから、しばらく待ってみよう。

26.かれ（ヌーフ）は言いました。主よ、どうかお助けください。かれらはわたしを嘘つき呼ばわりします。27.それでわれらは、かれに啓示しました。われらの目の前で、われらの啓示に従って、方舟を作りなさい。われらの命令が届いて、かまど（をひっくり返すように、大地）の水があふれ出たら、すべての雌雄（生き物の各一対）と、あなた（ヌーフ）の家族を乗り込ませなさい。ただし（すでに溺死宣告の）言葉が出された人328を除いて。不正を行なった人たちのために、われらに（赦しを）嘆願してはいけません。かれらは溺れる（定めにある）のです。

28.そしてあなた（ヌーフ）が乗り込んだなら、あなたと、あなたと一緒に乗り込んだ人たちに言いなさい。不正な人たちから、わたしたちを救ったアッラーに賛美あれ。29.言いなさい。主よ、祝福された地点に、わたしを降ろしてください。そしてあなたは、降ろすに当たって最善の方なのです。30.確かにこの中には、さまざまな印がありますが、われらは（人びとを）試しているのです。

31.それから、かれらの後に、われらは別の世代（アードの民やサムードの民）を育てました。32.また、われらはかれらの間に、かれらの中から使徒を遣わして（言いました）。アッラーに仕えなさい。かれの他にあなた方に神はいません。あなた方は（アッラーを）意識しないのですか。33.すると、不信心で来世での（アッラーとの）会見を拒否し、現世の生活で贅沢を与えられていた人たちの中の、指導者たちは言いました。これ

はあなた方と同じ人間ではないですか。かれはあなた方が食べるものを食べ、あなた方が飲むものを飲みます。34.だから、あなた方が自分と同じ人間に従うなら、失敗者になるでしょう。

35.かれは、あなた方が死んで、土と骨になってから甦らされることを、あなた方に約束するのですか。36.あなた方に約束されたことは、何と遠いことか（それは起こり得ません）。37.わたしたちには、現世の生活の他にはないのです。わたしたちは、死んでまた生きる（世代を重ねる）だけで、甦らされることはありません。38.かれは、アッラーについて、嘘を捏造した人間にすぎず、わたしたちは、かれの信者ではありません。

39.かれは言いました。わたしの主よ、どうか助けてください。かれらはわたしを嘘つき呼ばわりします。40.かれは言いました。しばらくしたら、かれらは必ず後悔します。41.それで真理をもって一声（懲罰）がかれらを襲い、われらはかれらを枯れ屑のようにしました。だから、不正を行なう人たちは（慈悲から）遠ざけられるように。

42.それから、かれらの後に、われらは別の世代を育てました。43.どの共同体も、その定められた期限に、先んずることも遅れることもできません。44.そこでわれらは、継続的にわれらの使徒たちを遣わしました。ただし、その使徒がある民へとやって来るたびに、かれらはかれを嘘つき呼ばわりしました。そこで、われらは次々に（非信者の運命の）後を追わせ（滅ぼし）、われらはかれらを（昔の）語り草にしました。だから、信仰しない人は（慈悲から）遠ざかりなさい。

45.また、われらはわれらの数々の印と明らかな権能を授けて、ムーサーとかれの兄ハールーンを遣わしました。46.フィルアウンとかれの指導者たちについては、かれらは高慢で思い上がった人たちでした。47.かれらは言いました。わたしたちと同じ人間にすぎないかれら二人を、（どうして使徒として）信じられようか。しかも、かれらの民はわたしたちにとっての奴隷ではないですか。48.それで、かれらはかれら二人を嘘

つき呼ばわりし、滅ぼされた民となったのです。49.確かに、われらはかれら（イスラーイールの子孫）が正しく導かれるように、ムーサーに啓典（律法）を授けました。

50.また、われらはマルヤムの子（イーサー）と、かれの母（マルヤム）を一つの印329となし、かれら二人を泉の湧き出る安静な丘の上に住まわせました。

51.使徒たちよ、善いものを食べ、（正しく）善い行ないをしなさい。確かに、わたしはあなた方が行なうことを熟知しています。52.誠に、あなた方のこの共同体は、（団結して）一つの共同体なのです。そして、わたしはあなた方の主です。だから、わたしを意識しなさい。

53.それなのに、かれらは自分たちの共同体を、かれらの間で諸党派に切り崩しました。しかも、各派は自分たちのものに満足しています。54.だから、かれらを迷い（深い無知）の中に、しばらく放っておきなさい。55.かれらは（こう）思っているのか。われらがかれらの財産と子供を与えることで、56.われらがかれらのために善を急いでいると。いや、かれらは気づかないのです。

57.（他方）畏怖の念から、かれらの主を恐れる人たち、58.また、かれらの主の啓示を信じる人たち、59.また、かれらの主に（何ものも）配しない人たち、60.また、かれらの主に帰ることを心に畏れ、与えるものを与える人たち、61.これらの人たちが善に急ぎ、その先頭に立つ（先に善を行なう）人たちなのです。62.われらは、誰にもその能力以上の重荷を負わせません。そして、われらには真実を語る書板があるので、かれらは不当に扱われません。

63.ところが、かれら（非信者たち）の心は、これ（クルアーン）をめぐって深い無知の中にあります。また、かれらにはそれ以外にもさまざまな行為があります。64.われらがかれらの中の贅沢な人たちを苦痛で襲うと、やはり、かれらは助けを求めて泣きます。65.（審判の日の）今日、あ

なた方は泣き叫んではいけません。あなた方がわれらから、助けられることはないのです。66.確かに、われらの啓示は、あなた方に何回も読誦されましたが、あなた方は踵を返して逃げ、67.高慢にも、これ（クルアーン）について夜中、暴言を吐いていました。

68.それで、かれらはこの言葉（啓示）を熟考しないのですか。または、かれら（非信者たち）の先祖に来なかったものが、かれらに来たと考えるのですか。69.それとも、かれらへの使徒を認めず、かれ（使徒）を拒否するのですか。70.または、かれは気が狂った人だと言うのですか。そうではありません。かれはかれらに真理をもたらしましたが、かれらの多くは真理を嫌うのです。71.もし真理がかれらの妄欲に従っていたなら、諸天と地とその間のもの（すべて）は退廃していました。それはあり得ません。われらはかれらへの諭しをもたらしましたが、かれらはその諭しから背き去ったのです。

72.または、あなた（ムハンマド）は報酬をかれらに求めるのですか。あなたの主の報酬こそ最善です。かれは糧を与える最善の方なのです。73.まさしくあなたは、まっすぐな道にかれらを招き入れます。74.でも、来世を信じない人たちは、その道から逸れます。

75.もしわれらが、かれらを慈悲に浴させ、かれらから災厄を除いても、かれらは反抗に固執して、さ迷い続けるでしょう。76.確かに、われらはかれらを苦痛で襲いましたが、かれらはかれらの主に帰順せずに、また謙虚にもなりません。77.（それも）われらが激しい苦痛への門をかれらに開くまでのこと。見なさい。かれらはその中で絶望するのです。

78.かれこそは、あなた方のために聴覚と視覚と心を育てた方です。（でも）あなた方はまず感謝しません。79.かれこそは、地上であなた方を増やした方です。そして、あなた方はかれの御元に集められます。80.かれこそは、生命を与え、また死なせる方です。また、かれに夜と昼

の交代（の権能）は属します。それなのに、あなた方は理解しないのですか。

81.いいえ、かれらは（滅亡した）昔の人が言ったのと、同じようなことを言っています。82.かれらは言いました。わたしたちが死んで土と骨になって、本当に復活されるのでしょうか。83.間違いなくわたしたちも、そして以前にはわたしたちの先祖も、これ（復活）を約束されていました。でも、これは昔の物語にすぎません。

84.言いなさい。大地とそこにいるすべての命あるものは、誰のものですか。もし知っているなら。85.かれらはアッラーのものですと、（口先では）言うでしょう。（ムハンマドよ）言いなさい。あなた方はまだ気づかないのですか。86.言いなさい。七つの諸天の主で、偉大な玉座の主は誰なのですか。87.かれらはアッラーと（口先では）言います。言いなさい。あなた方は（アッラーを）意識しないのですか。88.万物の支配権は誰の手にあるのですか。かれは（すべてを）守護し（誰からも）守護されません。もしあなた方が（そういうことを）知っているなら（いいのだが）。89.かれらはアッラーと（口先では）言います。言いなさい。それなら、あなた方はどうして惑わされたのですか。

90.確かに、われらは真実をもたらしました。だから、かれらが嘘つきなのです。91.アッラーは子をもうけません。また、かれには他の神もいません。もしそうであったら、それぞれの神は、かれらが創ったものを独り占めして、互いを支配しようとするでしょう。かれら（多神教徒たち）が配するものの上に、高くおられるアッラーに称賛あれ。92.（アッラーは）目に見えないものと見えるものをすべて知り、かれらの配するものの上に高くおられるのです。

93.言いなさい。わたしの主よ、もしかれら（非信者たち）に約束されたこと（懲罰）を、あなたがわたしに示されるなら、94.わたしの主よ、わ

たしを不正の人びとの中に入れないでください。95.間違いなく、われらはかれらに約束したものを、あなたに示すことができます。

96.善行で悪を撃退しなさい。われらはかれらが配するもの（多神）を熟知しています。97.そして言いなさい。わたしの主よ、悪魔たちの挑発に対してあなたの加護を願います。98.わたしの主よ、かれら（悪魔たち）が、わたしに近づかないようにあなたの加護を願います。

99.かれらの中の一人に死が訪れると、かれは言います。わたしの主よ、わたしを送り返してください。100.わたしが（現世に）やり残してきたものについて、改めますと。いいえ（とんでもないこと）。それはその人の言葉以上ではあり得ません。（というのも）かれらが甦らされる（復活の）日まで、かれらの後ろには（戻れない）壁（バルザフ）があります。101.ラッパが吹かれると、その日かれらの間の関係は途絶えて、もはや互いに尋ね合わないのです。102.それで、（善行の）目方が重い人たちは成功します。103.でも、目方が軽い人たちは自らを破損し、地獄の中に永遠に住むのです。104.火がかれらの顔を焼き、その（苦痛の）中で唇を歪めます。

105.われらの印が、あなた方に何回も読誦されませんでしたか。でも、あなた方はそれらを拒否してきたではないですか。106.かれらは言います。わたしたちの主よ、（妄欲のために）苦境がわたしたちを襲ったせいで、わたしたちはさ迷う人びとなったのです。107.わたしたちの主よ、わたしたちをここから出してください。もしわたしたちが（悪に）返るなら、本当に不正の人びとです。108.かれは言います。行ってしまえ、そしてその（地獄の）中に入っておれ。わたしに話しかけてはならない。109.確かに、われらの僕の一団（信者）は（こう）言いました。わたしたちの主よ、わたしたちは信じます。だから、わたしたちを赦し、慈悲を与えてください。あなたは最もよく慈悲を与える方です。110.でも、あなた方（非信者）はかれらを笑い草にしました。あなた方はかれらを笑ってい

たので、われらの諭し（警告）を忘れたのです。111.真に（審判の）今日、われらはかれらを報いました。なぜなら、かれらは耐え忍んだからです。かれらこそ成功者なのです。

112.かれは言いました。あなた方（非信者）は地上に何年滞在していましたか。113.かれらは言いました。わたしたちは１日か、１日未満滞在していました。記録者（天使）にお尋ねください。114.かれは言いました。あなた方が滞在したのは、ほんのわずかです。あなた方が知っていたならば（良かったのに）。

115.あなた方はわれらが戯れにあなた方を創ったと、考えていたのでしょうか。また、あなた方はわれらの元に帰されないと、考えていたのでしょうか。116.真実の王であるアッラーの、なんと至高であることか。高貴な玉座の主であるかれの他に神はいません。117.何の証拠もない他の神をアッラーと共に祈る人について、かれの清算はかれの主の御元にあるだけです。確かに、非信者たちが成功することはないのです。118.（ムハンマドよ）言いなさい。わたしの主よ、お赦しください、そして、慈悲を与えてください。あなたは最もよく慈悲を与える方なのです。

24. 御光章

al-Nur

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（この）章はわれらが啓示し、義務として定めたものです。あなた方が留意するように、この中に、はっきりと数々の印を啓示しました。2.（信者で）姦淫した女性と男性については、各人を100回鞭で打ちなさい。あなた方がアッラーと最後の日を信じるなら、アッラーの教えに順じて、かれら二人に情けをかけてはいけません。そして信者の一団を、かれら二人の苦痛（処罰）に立ち会わせなさい。3.姦淫した男性は、結婚336す

ることはできません。ただし、姦淫の女性または多神教徒（の女性）は別です。また姦淫した女性も、結婚することはできません。ただし、姦淫の男性または多神教徒（の男性）は別です。このこと（姦淫した男女との結婚）は、信者に禁じられています。

4.貞節な女性を（姦淫の罪で）問責して4名の証人を上げられない人たちには、80回鞭で打ちなさい。かれら（嘘の証人）の証言を受け入れてはいけません。かれらは掟破りの人たちなのです。5.ただし、その後、改心して身を正す人たちは別です。誠にアッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

6.自分の妻を（姦淫の罪で）問責し、自分以外に証人のない人たちについては、各自に自分が真実の証言者であることを、4度アッラーにかけて誓言させなさい。7.そして5度目には、もし自分の言葉が虚偽なら、アッラーの怒りが自分の上に下るようにと。8.一方、かの女からその苦痛（刑罰）を回避させるには、かれ（夫）が嘘つきであることを、4度かの女にアッラーにかけて誓言させ、9.5度目には、もし（夫が）真実の証言者であるなら、アッラーの怒りが自分の上に下るように（と誓言させなさい）。10.もしアッラーの恩恵や慈悲があなた方になく、アッラーはいつもよく赦され、英明な方でなかったなら（すでに懲罰を受けていたでしょう）。

11.確かに、この虚言を広めたのはあなた方の中の一団です。これはあなた方にとって悪ではなく、逆にあなた方にとって善い部分もあります。（なぜなら）かれらは自分で稼いだ罪を負い、中でも大きく関与した者には重大な苦痛が与えられるからです。

12.あなた方がそれ（虚言）を聞いたとき、なぜ男性であれ女性であれ、信者（同士）は自分たちのことを善い方向に考えて、それは明らかに虚言であると言わなかったのですか。13.なぜ、かれらはそれ（虚言）

について4名の証人を挙げなかったのですか。かれらが証人をもたらさないなら、これらの人たちはアッラーの御元において嘘つきとなります。

14.もしアッラーの恩恵や慈悲が、現世と来世であなた方になかったなら、それ（虚言）について、あれこれ口にしたせいで、重大な苦痛があなた方を襲っていたでしょう。15.あなた方が舌先でそれを取り上げたとき、あなた方は、（何が真実か）知らないことを言ったのです。アッラーの御元では重大なことであったにも関わらず、あなた方はそれを軽く見ました。16.あなた方はそれを聞いたとき、なぜ（こう）言わなかったのですか。これはわたしたちが口にすべきことではありません、アッラーに賛美あれ、これは重大な中傷ですと。17.もしあなた方が信者なら、アッラーはこのようなことを繰り返さないようにと諭します。18.アッラーはあなた方のために印を解き明かします。確かにアッラーは、全知であり、英明なのです。

19.信仰する人たちの間に、このみだらな行為（のうわさ）が広まることを好む人たちには、現世でも来世でも厳しい苦痛があります。アッラーはご存知ですが、あなた方は知りません。20.もしアッラーの恩恵や慈悲があなた方になく、アッラーはいつも親切で、慈悲深いお方でなかったなら（懲罰を受けていたでしょう）。

21.信仰する人たちよ、悪魔の歩みに従ってはいけません。もしあなた方が悪魔の歩みに従うなら、かれはみだらな行為と邪悪を、あなた方に命じるでしょう。もしアッラーの恩恵や慈悲があなた方になかったなら、あなた方は誰も清純になれませんでした。でも、アッラーは御望みの人を清めます。アッラーは全聴かつ全知なのです。

22.あなた方の中で、恵まれて権能のある人たちは、その近親や困窮者や、アッラーの道のため移住した人たちのために施さない、と誓ってはいけません。かれら（中傷者）を見逃し、目をつぶってあげなさい。（他

方で）アッラーが、あなた方を赦されることを望まないのですか。真にアッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

23.貞淑で純真な女性の信者を中傷する人たちは、現世でも来世でも、（アッラーに）拒否されます。かれらには重大な苦痛（懲罰）があります。24.その（審判の）日、かれらの舌と手と足は、意に反してかれらが行なってきたことを立証します。25.その日、かれらが受けるべき（善悪の）報いを（すべて）アッラーが支払うと、かれらはアッラーこそが、明らかな真実であることを知るのです。

26.邪悪な女性は邪悪な男性に、また邪悪な男性は邪悪な女性にふさわしい。（他方）善良な女性は善良な男性に、また善良な男性は善良な女性にふさわしい。これら（善男善女）の人たちは、かれら（邪悪な男女）がうわさすることとは無縁です。かれら（善男善女）には、赦しと気前のよい糧があるでしょう。

27.信仰する人たちよ、家の住人の許可を得ずに、また挨拶しないで、自宅以外の家に入ってはいけません。それはあなた方にとって善いことです。きっと覚えておくように。28.たとえその中（家）に誰もいなくても、許可を得るまで、あなた方はその中に入ってはいけません。もし帰るよう言われたときは、帰りなさい。それがより潔白です。アッラーは、あなた方が行なうことを（すべて）ご存知なのです。29.（ただし）誰も住んでいないが役に立つ家（宿舎など）に入っても、あなた方にとって罪ではありません。アッラーは、あなた方が現すことも隠すことも、ご存知なのです。

30.（ムハンマドよ）、信仰する男たちにかれらの視線を低くし（ちらちら見ないで）、貞操を守るように言いなさい。それがかれらにとっては一段と潔白です。アッラーはかれらが行なうことを熟知します。

31.信仰する女たちの視線を低くし、貞節を守るように言いなさい。外に表れるもの以外は、かの女たちの美を目立たせてはいけません。そして覆い布（フムル）341をその胸の上に垂れて、かの女たちの美を目立

たせてはいけません。ただし、自分の夫、父親、夫の父親、自分の息子たち、夫の息子たち、自分の兄弟、兄弟の息子たち、姉妹の息子たち、自分（と同じ信者）の女たち、自分の右手が持つ者（奴隷）、性欲を持たない従者、または女性の体に意識をもたない幼児を除いて。また、かの女たちが隠す美を知らせるため、かの女らの足を（足首飾りで）打ち鳴らしてはいけません。信仰する人たちよ、共にアッラーへと悔い戻りなさい。そうすれば、あなた方は成功するでしょう。

32.あなた方（信者）の中で独身の者、また、あなた方の男性の奴隷と女性の奴隷で、行ないの正しい者は結婚させなさい。もしかれらが貧しいなら、アッラーはかれの恩恵によって、かれらを裕福にします。アッラーは広大にして、すべてをご存知です。33.結婚ができない人たちは、アッラーがかれの恩恵によって、かれらを富ませるまで、（操を守り）抑制させなさい。また、あなた方の右手が持つ者（奴隷）の中で（解放の支払いをして）証書を求める人については、かれらの中に善良さを認めるなら、その証書を与えなさい。そして、アッラーがあなた方に与えた財産から、かれらに（支援を）与えなさい。また、かの女たちが貞節を守りたいと望むなら、現世のはかない財貨を求めるために、あなた方の女性の奴隷に売春を強制してはいけません。（しかし）かの女たちを誰かが強制しても、アッラーは強制された後に、よく赦すお方、慈悲深いお方なのです。34.確かに、われらは（正しい道を）明らかにする啓示と、あなた方より以前に過ぎ去った人びとの事例、及び（アッラーを）意識する人たちへの教訓を啓示しました。

35.アッラーは、諸天と地の光です。かれの光を例えれば、ランプを置いた壁龕のようなものです。ランプはガラスの中にあり、ガラスは輝く星のようです。（そのランプは）祝福されたオリーブの木（の油）で灯されています。（その木は）東方（の産）でもなく西方（の産）でもなく、その油は火がほとんど触れないのに光を放ちます。光の上に光を添えます。アッ

ラーは望みの人を、かれの光に導きます。アッラーは人びとのために、このように例えられます。アッラーは、すべてのことをご存知なのです。

36.アッラーは家々（礼拝所）が高く立派に立てられ、（そこで）かれの御名を唱念するように許され（命じ）ました。朝な夕な、その中でかれを賛美するようにと。37.（また命じられたのは）交易や商売のために、アッラーを念じることや、礼拝の務めを守ることや、定めの施しをすることについて、人びとが惑わされてはならないということ。かれらは心も目も転倒するその（審判の）日を恐れます。38.アッラーはかれらが行なった最善のことについて、報います。またかれの恩恵によって（報奨を）増やします。アッラーは、御望みの人に際限なく糧を与えるのです。

39.一方、不信心な人たちの行ないは、砂漠の中の蜃気楼のようなもので、喉が渇いた人はそれを水と思うけれど、そこへやって来て見いだすのはアッラーだけです。かれはその人を完全に清算します。アッラーは、清算に迅速なのです。40.または（非信者は）、深海の暗黒のようなもので、波がかれらを覆い、その上に波があり、その上を雲が覆っています。暗黒の上に暗黒が重なります。かれが手を伸ばしても、かれはそれ（手）をほとんど見ることができません。アッラーが光を与えていない人には、どんな光もありません。

41.あなたは、諸天と地の中のものや翼を拡げて飛ぶ鳥が、アッラーを賛美342するのを見ないのですか。すべてのものが礼拝と賛美することを心得ています。アッラーはかれらの行なうことを、すべてご存知です。42.諸天と地の大権はアッラーに属し、アッラーに帰り所はあるのです。

43.あなた方はアッラーが雲を送り出し、それらを合わせて積雲にされると、その間から慈雨が降り出すのを見ないのですか。また、かれは空から、そしてその中の山々から雹を降らせます。かれは御望みの人をそれで撃ち、御望みの人をそれから守ります。稲妻の閃きは、ほとんど視

覚を奪おうとします。44.アッラーは夜と昼を次々に交替させます。確かに、これらの中には、見る目を持つ人たちへの教訓があるのです。

45.また、アッラーはすべての生き物を原水343から創りました。それらのあるものは腹ばいで歩き、あるものは２足で歩き、あるものは４足で歩きます。アッラーは御望みのものを創ります。確かに、アッラーは万事に対して全能なのです。46.われらは、数々の明瞭にする啓示の言葉を降ろしました。アッラーは御望みの人を、正しい道に導きます。

47.かれら（偽信者）は言います。わたしたちはアッラーと使徒（ムハンマド）を信じて服従すると。するとその後、かれらの一部は背き去ります。というのも、これらの人びとは（真の）信者ではないからです。48.そして、かれらの間を裁くために、かれらがアッラーと使徒の前に呼び出されると、見なさい。その一部は逃避します。49.もし、かれらが真実と共にあるなら、素直にかれ（ムハンマド）のところにやって来るでしょう。50.かれらの心には病が宿っているのか、または疑いを抱いているのか、またはアッラーとかれの使徒が、かれらを不公平に扱うかもしれないと恐れるのか。いいえ、かれらは不正を行なう人たちなのです。

51.信者たちについては、かれらの間を裁くために、かれらがアッラーと使徒の前に呼び出されると、わたしたちは聞いて従いました、と言うだけでした。このような人たちこそ成功者なのです。52.アッラーとかれの使徒に服従して、（アッラーを）恐れて意識する人、このような人たちこそ勝利者なのです。

53.（一方）かれら（偽信者）は、もしあなた（ムハンマド）が（出征を）命じたなら、出て行くことをアッラーにかけて必死になって誓います。言いなさい。誓わなくてもよい。（通常の）恭順こそ適正です。確かに、アッラーはあなた方が行なうことを、熟知しているのです。54.言いなさい。アッラーに従い、使徒（ムハンマド）に従いなさい。もしあなた方が背き去っても、かれにはかれに負わされた務めがあり、あなた方にはあなた方

に負わされた務めがあるだけです。それで、もしあなた方がかれに従うなら、正しく導かれるでしょう。使徒の責務は、ただ明瞭に（啓示を）伝えることだけなのです。

55.アッラーは、あなた方の中で、信仰して善行に勤しむ人たちに約束しました。かれら以前の人びとに継がせたように、この大地をかれらに継がせることを。そして、かれはかれらのために選んだ宗教を確立し、かれらの恐怖心を安心感に変えます。かれらはわたしに仕え、わたしに何ものをも配しません。そして、その後もなお不信心な人は掟破りなのです。

56.それで、礼拝の務めを守り、定めの施しをして、使徒に従いなさい。そうすれば、あなた方は慈悲に預かるでしょう。57.あなた（ムハンマド）は不信心の人たちが、地上で（アッラーの計画から）逃げられると考えてはいけません。かれらの住まいは（地獄の）火です。何と悪い末路であることか。

58.信仰する人たちよ、あなた方の右手が所有する者（奴隷）と、あなた方で思春期に達していない者は、（入室のとき１日のうち）三つの場合において、あなた方の許可を求めさせなさい。つまり早朝の礼拝の前、昼中に（暑くて）脱衣をしているとき、また夜の礼拝の後です。（これらの）３度は、あなた方のプライバシーのためです。これらの他は（許可を得ないで）互いに行き来しても、あなた方にも、かれらにも罪はありません。このようにアッラーは、あなた方のために印を解き明かします。アッラーは全知にして英明なのです。59.あなた方の子供たちが思春期に達するときは、それまでの大人がそうしてきたように、（いつも）許可を求めさせなさい。このようにアッラーはあなた方のために印を解き明かします。アッラーは全知かつ英明な方です。60.婚姻（性交渉）を望まない閉経後の女性は、その装飾を見せびらかさない限り、外衣を脱いでも責め

られることはありません。でも控え目にするのが、かの女らのために善いのです。アッラーは全聴かつ全知な方です。

61.（信者たちと一緒に食べなくても）盲人に責められることはありません。足の身障者にも責められることはありません。また、病人にも責められることはありません。あなた方（信者たち）について言えば、（次のところで）食べられます。自分の家、自分の父方の家、自分の母方の家、自分の兄弟の家、自分の姉妹の家、自分の父方のおじの家、自分の父方のおばの家、自分の母方のおじの家、自分の母方のおばの家、あなた方が鍵を持っている所（家）、あなた方の友人（の家）。あなた方は一緒に、または別々に食べても責められることはありません。でも、家に入るときは、アッラーから祝福された善い挨拶の言葉で、互いに挨拶しなさい。このように、アッラーはあなた方のために印を解き明かします。あなた方は理解するでしょう。

62.（真の）信者とはアッラーとかれの使徒を信じ、かれらがある集団的な要件で使徒と一緒にいるとき、かれ（ムハンマド）の許可を得るまでは立ち去らない人たちです。実に、あなたに許しを求めた人こそは、アッラーとその使徒を信じる人たちです。それから、かれらが自分の要件であなたに許可を求めたときには、あなたが望む人に許可を与え、かれらのためにアッラーの赦しを請いなさい。確かにアッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。

63.あなた方は使徒（ムハンマド）の呼びかけを、あなた方の互いの呼びかけのようにみなしてはいけません。アッラーはあなた方の中で、こそこそと抜け出す人を知っています。だから、かれの命令に違反する人には試練が襲うか、または厳しい苦痛があることを警戒させなさい。64.確かに、諸天と地のすべてはアッラーのものです。かれはあなた方の状態を知っており、かれの御元にかれらが帰される日、かれらの行

なったことをかれらに知らせます。アッラーはすべてのことをご存知なのです。

25. 識別章

al-Furqan

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.すべての世界への警告とするため、その僕（ムハンマド）に（善・悪や合法・非合法の）識別（クルアーン）を徐々に啓示されたお方（アッラー）に、称賛あれ。2.諸天と地の大権は、かれのものです。かれは子をもうけず、またその大権の共同者もなく、かれはすべてのものを創造し、きっちりと計量します。3.しかしかれら（マッカの多神教徒たち）は、かれの他に神々を奉ります。かれら（神々）は何も創らず、（他方）かれら自らが創られるのであり、（また）自らを害することも益することもできません。さらに、かれらには死も生も復活も、全く手が及びません。

4.不信心な人たちは（こう）言います。これ（クルアーン）は嘘にすぎません。かれ（ムハンマド）がそれ（嘘）を捏造して、他の人がそれを支援しましたと。しかし本当は、かれら（非信者たち）が不正と虚偽をもたらしたのでした。5.またかれらは言います。かれが昔の物語を（自ら）書き取り、朝な夕な、かれにそれ（昔の物語）が、口述されたのですと。6.言いなさい。諸天と地の奥義を知る方（アッラー）がそれを啓示しました。確かに、かれはよく赦すお方で慈悲深いお方なのです。

7.また、かれらは言います。この使徒（ムハンマド）はどうしたことだ、（普通の人と同じで）食べたり、市場を歩いたりしているのか。なぜ、かれに天使が遣わされ、かれと一緒に警告に当たらないのか。8.または、かれには財宝が授けられないのか。または、かれにはかれが（自由に）食べる果樹園がないのかと。不正の人たちは言います。あなた方は魔

術をかけられた人に従っているにすぎません。9.かれら（非信者たち）があなた方のために、どのような事例を持ち出したのかを見なさい。かれらは迷い去ってしまったので、道を見出すことができません。

10.かれに称賛あれ。もしかれが望めば、これらのものより優れたもので、川が下を流れる楽園や宮殿を、あなたに与えることができる方です。11.ところが、かれらは（審判の）ときを嘘呼ばわりします。われらはそのときを嘘呼ばわりする人に、燃え盛る火を用意しました。12.遠く離れた所から見るときも、かれらはその（燃える火の）、怒り狂い唸るような音を聞くのです。13.鎖に繋がれて、かれらがその狭い（地獄の片隅の）場所に投げ込まれるとき、かれらは（まだましだとして自分の）破滅を願い出ます。14.今日になって1回だけの破滅を願ってもだめで、何回にもわたる破滅でも願うがいいでしょう。15.言いなさい。これ（地獄）が良いのか、それとも（アッラーを）意識する人に約束された永遠の楽園か。これ（楽園）はかれらにとっては、報いであり目的地です。16.かれらにはそこ（楽園）に望むものがすべてあり、かれらは永遠に住むのです。これはあなたの主の堅い約束です。

17.かれがかれら（非信者たち）とアッラーの他に、かれらが仕えるものたち（神々）を一緒に召集する（審判の）日、かれは言います。あなた方がわたしの僕を迷い去らせたのか。あるいは、かれらがこの道を（自ら）踏み外したのか。18.かれらは言います。あなたに賛美あれ。あなたの他に擁護者を持つようなことは、わたしたちは絶対にするつもりはありません。しかし、あなたが、かれらとかれらの先祖に（現世での）享楽を与えたので、全員諭し（啓示）を忘れ、滅亡したのです。19.（アッラーは言いました）確かに、かれら（神々）はあなた方が言ったことを（嘘として）拒否しました。だから、あなた方は（苦痛を）避けられず、また助けもありません。あなた方の中で（そのような）不正を行なう人には、誰でもわれらは甚大な苦痛を与えます。

20.あなた（ムハンマド）以前にもわれらは、食べたり、市場を歩いたりしない使徒たちを遣わしたことがありません。そして、われらはその何人かを、互いを試すために創りました。それで、あなた方は耐え忍べるでしょうか。あなたの主は、すべてをお見通しなのです。

21.◆19部◆われらとの会見を望まない人たちは言いました。なぜ天使たちが、わたしたちに遣わされないのですか。または（なぜ）わたしたちは、自分の主を見ることができないのですかと。かれらは実に高慢であり、とても横柄でした。22.かれらが天使たちを見る（最後の）日とは、罪深い人たちにとっては吉報のない日です。かれら（天使たち）は言います。そこには（現世に戻ることが）禁じられた仕切り（障壁）348があると。23.われらはかれら（非信者たち）の行なったことを、塵のようにまき散らします。24.その（最後の）日、楽園の仲間は、もっと良い住まいと、もっと快適な休憩所にいます。

25.その日、諸天と雲は裂けて、降臨する天使たちが続々と遣わされます。26.その日、支配の大権は、当然慈悲深き方のものです。だから、非信者たちにとっては多難の日です。27.その日、不正を行なった人はその手を噛んで言います。もしわたしが、使徒（ムハンマド）と共に（正しい）道を選んでいたなら（よかったのに）。28.何と情けないことか。わたしが、（非信者の）誰それを友としなかったなら（よかったのに）。29.確かに、かれは啓示が来た後に、わたしを迷わせました。悪魔は常に人間を裏切りますと。30.使徒は言います。わたしの主よ、真にわたしの人びとは、このクルアーンを忌むべきものとして拒否します。31.それでわれらはそれぞれの預言者に、罪深き人たちの中から敵をもうけました。でも、指導者や援助者としては、あなたの主がいれば十分です。

32.一方、不信仰な人たちは、こう言います。なぜクルアーンは一度に全てまとめて啓示されないのですかと。こうするのは、われらがあなた（ムハンマド）の心を堅固にするためで、われらは徐々に（啓示を）降ろ

すのです。33.かれらが例え（議論）をあなたに持ってくるたびに、真理と最善の解釈をあなたに与えます。34.その顔を伏せて地獄に集められる人たち、かれらは最悪の状況にあり、最も道に迷った人たちです。

35.確かに、われらはムーサーに啓典を授け、その兄ハールーンを補佐として任命しました。36.われらは言いました。あなた方二人は、われらの印を拒否する民の所に行きなさい。その後、われらはかれら（拒否する民）を完全に破壊しました。37.また、ヌーフの民については、かれらが使徒たちを拒否したとき、われらはかれらを溺れさせて、人びとへの（教訓の）印としました。われらは不正を行なう人たちに、厳しい苦痛を準備しました。38.さらに、アードの民とサムードの民とラッスの民350と、その間の多くの世代です。39.われらはそれぞれの民に（警告の）実例をもたらし、それぞれを完全に破壊しました。40.確かに、かれら（マッカの多神教徒たち）は災いの雨（石）が降った（ルートの民のサドゥームの）町を訪れました。それで、かれらはそれを見なかったのか。いいえ、かれらは復活を望んでいなかったのです。

41.かれらがあなた（ムハンマド）を見るとき、（こう言って）笑い草の的にするだけです。アッラーが使徒として遣わしたのは、この人ですか。42.かれはもう少しで、わたしたちの神々から自分たちを迷わすところでした。もし自分たちが、かれら（神々）にしっかりついていなかったら。でも、かれらは苦痛を見るとき、誰が最も道に迷ったかを知るのです。

43.あなたは自分の妄欲を神（イラーハ）とする人を見ましたか。そうなのに、あなたはかれらの保護者になるつもりなのですか。44.それとも、かれらの多くが耳を傾けて理解するとでも思っているのですか。かれらは家畜のようなものにすぎません。いいえ、かれらはそれよりも道から迷っています。

45.あなたの主がどのように影（夜の帳）を広げたかを、あなたは見

なかったのですか。もしかれが望めば、それを静止させました。さらに、われらは太陽をその（影の動きの）指標としました。46.その後、われらは自身の方へ、ゆっくりそれ（影）を引き寄せ（明るくし）ます。47.かれこそはあなた方のために夜を覆いとし、休息のために睡眠351をもうけ、昼間を復活（のとき）とした方です。48.かれこそはかれの慈悲の前に、吉報の風を吹かせる方です。そして、われらは空から清浄な水（雨）を降らせます。49.それによって、われらは死んだ大地に生命を与え、われらが創った数多くの家畜や人間に飲ませます。

50.かれらが（アッラーに）留意するために、われらはかれらの間にそれ（降雨）を実施しましたが、多くの人びとは感謝もしない（不信心の）ままに、拒むだけでした。51.もしわれらが望めば、どの町にも警告者を遣わしました。52.（ムハンマドよ）だから、非信者に従ってはいけません。かれらに対し、これ（クルアーン）をもって大いに奮闘努力しなさい。

53.かれこそは、二つの海を解き放した方です。一つは甘くて美味く、もう一つは塩辛くて苦い。かれは二つの間に障壁を設けて、通り越せない仕切りとしました。54.かれこそは水から人間を創り、血縁と姻戚（の絆）をもうけました。真にあなたの主は、全能です。

55.ところが、かれらはアッラーを差し置いて、益することも害することもできない者に仕えます。非信者はかれの主に、いつも背を向ける者です。56.われらはあなた（ムハンマド）を吉報の伝達者、また警告者として遣わしたにすぎません。57.言いなさい。わたしはそれについて、あなた方に何の報酬も求めません。ただし、誰でも望む人は（施しをして）、主への道を取りなさい。

58.また、死ぬことのない永生者（アッラー）を信頼して、称賛（の言葉）をもってかれを賛美しなさい。かれはかれの僕たちの罪を、完全に熟知しているのです。59.かれは、諸天と地とその間にあるすべてのものを、6日の間に創造した方で、さらに、かれは玉座の上にいる慈悲深き

方です。だからかれについては、すべてを熟知する者に尋ねなさい352。60.かれら（非信者たち）が慈悲深き方に頭を下げなさいと言われたと、かれらは言います。慈悲深き方とは何ですか。わたしたちはあなた（ムハンマド）が命じるものに頭を下げるのですかと。そして、かれらは（真理からの）逃避を増すばかりです。

61.かれに称賛あれ。かれは天に星座を設け、またその中に灯明（太陽）と照り輝く月を置きました。62.かれこそは（アッラーに）留意して感謝しようとする人のために、夜と昼を交互に設けた方です。

63.慈悲深きお方の僕とは、謙虚に地上を歩く人たちで、無知の人たち（非信者）が話しかけても、かれらは平安あれと応えます。64.また、かれらはかれらの主の御前に平伏礼して、立礼して夜を過ごす人たちです。65.また、かれらはこう言う人たちです。わたしたちの主よ、地獄の苦痛（懲罰）を、わたしたちから遠ざけてください。確かにその苦痛は過酷なもので永遠に続きます。66.実にそれは悪い住まいで、悪い休憩所ですと。67.また、かれらが（金銭を）使うときには浪費をせず、けちでもなく、その間を適正に保つ人たちです。68.また、かれらはアッラーと共に他の神に祈らない人たちです。また、正当な理由がない限り、アッラーが禁じた殺生をしない人たちです。また、姦婬しない人たちです。もちろん、そのようなことをする人は、懲罰を受けます。69.復活の日には、かれへの苦痛（懲罰）は倍加され、その恥辱の中に永遠に住むのです。70.ただし、改心し信仰して善行に励む人は別です。アッラーはかれらの悪行を、善行で置き変えます。アッラーはよく赦すお方で、慈悲深いお方なのです。71.改心して善行に勤しむ人は、確かにアッラーに悔いて戻るのです。

72.また、（慈悲深きお方の僕とは）嘘の証言をしない人たちで、かれらは無駄話をしている側を通るときは、（それに係り合わないで）品位を持って通りすぎるのです。73.また、かれらはかれらの主の印が想起され

ると、耳が聞こえない人や目が見えない人のように振る舞わない人たちです。74.また、かれらは（祈って）こう言う人たちです。わたしたちの主よ、自分たちの目の癒し（心の安らぎ）となる妻たちと子孫たちをわたしたちに与え、わたしたちを（アッラーを）意識する人びとの模範にしてくださいと。

75.これらの人は耐え忍んだことによって、最高の位階（楽園）を授けられます。また、そこで挨拶と平安の祈願で迎えられます。76.その中に永遠に住むのです。その住まいと休息所の何とすばらしいことか。77.（非信者に）言いなさい。もし（アッラーに）あなた方が祈らなくても、わたしの主はあなた方を気にしないでしょう。確かに、あなた方は拒否しました。やがて避けられない（懲罰が）来るのです。

26. 詩人たち章

al-Shu‘ara’

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ター・スィーン・ミーム。

2.これは、明瞭な啓典の諸節（印）です。3.おそらく、あなた（ムハンマド）は、かれら（マッカの多神教徒たち）が信者にならないために、死ぬほど苦悩するのでしょう。4.もしわれらが望めば天から印を啓示するので、かれらの首はそれに恐れ入って、垂れたままになります。5.でも、慈悲深き方から、かれらに新しい啓示がもたらされるたびに、かれらはいつも背き去るだけです。6.かれらは（啓典を）嘘であると拒否します。でも、かれらが笑い草にしてきた知らせ（真実）が、今にかれらに降りかかるのです。

7.かれらはこの大地を見ないのでしょうか。われらがどれだけ多くの、貴い種類のものをその中に育てるかを。8.確かに、その中には一つ

の印（教訓）があります。でも、かれらの多くは信じません。9.真にあなたの主は偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

10.あなたの主が、ムーサーに呼びかけて言ったときです。不正な民の所に行きなさい。11.それはフィルアウンの民です。かれらが（アッラーを）意識しないとはどうしたことか。12.かれは言いました。わたしの主よ、かれらがわたしを嘘つき呼ばわりすることを恐れます。13.わたしの胸は狭まり（苦しくなり）、わたしの舌は縺れます。だから、ハールーンに（エジプトへの随行を説得できる者を）遣わしてください。14.また、かれらはわたし（ムーサー）に（殺人）罪を科しているので353、かれらがわたしを殺害するのを恐れます。

15.かれは言いました。いいえ、とんでもない。あなた方二人はわれらの印を持って行きなさい。確かに、われらはあなた方と共に聞いています。16.だからあなた方二人は、フィルアウンの所に行って言いなさい。わたしたちは、すべての世界の主の使徒です。17.イスラーイールの子孫を、わたしたちと一緒に（エジプトから）出て行かせてくださいと。18.かれ（フィルアウン）は言いました。わたしたちはあなた（ムーサー）が幼少のとき、わたしたちの間で育てたではないか。あなたの生涯の多くの年月を、わたしたちの間ですごしたではないか。19.それなのにあなたはあの行為（殺人）をしました。あなたは忘恩の人です。

20.かれ（ムーサー）は言いました。わたしがそれをしたのは、誤って導かれていたときのことです。21.その後、わたしはあなた方（の報復）が恐ろしくなって、あなた方から逃避しました。でも、わたしの主はわたしに英知を授けて、使徒たちの仲間にしたのです。22.あなた（フィルアウン）がイスラーイールの子孫を奴隷化したのに、あなたがわたし（を見逃して）くれたことは（わたしへの）優遇なのですか。23.フィルアウンは言いました。すべての世界の主とは何なのか。24.かれ（ムーサー）は言いました。諸天と地とその間の、すべてのものの主です。あなた方が（これ

を）確信するなら（よかったのに）。25.かれ（フィルアウン）は取り巻きの者に向かって言いました。あなた方は聞いたか。26.かれは言いました。あなた方の主であり、あなた方の先祖の主でもあります。27.かれは言いました。あなた方に遣わされたこの使徒は、誠に気狂いだ。28.かれは言いました。東と西とその間にあるすべての世界の主です。もしあなた方が理解するなら（よかったのに）。29.かれは言いました。あなたがわたし以外に神をとるなら、わたしはあなたを囚人にするだろう。30.かれは言いました。たとえ、わたしが明白な何かをあなたにもたらしても（囚人にするの）ですか。31.かれは言いました。あなたの言うことが真実なら、それを示してみろ。32.それで（ムーサー）は杖を投げると、見なさい、それは大蛇になりました。33.またかれの手を差し伸べると、見なさい、それは誰が見ても真っ白でした。34.かれ（フィルアウン）は取り巻きの参謀たちに言いました。確かに、これは熟練の魔術師である。35.かれは自分の魔術で、あなた方をこの国から追い出そうとしている。それであなた方はどう助言するのか。

36.かれらは言いました。かれ（ムーサー）とその兄弟を（ここに）留めておいて、町々から（魔術師を）召集する者を遣わしましょう。37.かれらは腕の立つ魔術師全員を、あなたのところに連れて来るでしょう。38.そこで魔術師たちは、某日の決められたときに集められました。39.また民衆に向かっても告げられました。あなた方は集合しますか（しなさい）。40.（そして言いました）もし魔術師たちが勝つなら、わたしたち（民衆）はかれらに従います。41.それから、魔術師たちはフィルアウンのところに来て言いました。わたしたちが勝者となれば、わたしたちには報酬があるでしょうか。42.かれ（フィルアウン）は言いました。当然です。その場合、あなた方は必ず側近となります。

43.ムーサーはかれらに向かって言いました。あなた方が投げようとしているものを投げなさい。44.そこで、かれらは縄と杖を投げて言いま

した。フィルアウンの権勢にかけて、わたしたちは必ず勝利者になります。45.その後、ムーサーが杖を投げると、見なさい。それはかれらが偽造していたものを飲み込みました。46.すると魔術師たちは身を投げ出して平伏し、47.言いました。わたしたちはすべての世界の主を信仰します。48.ムーサーとハールーンの主を。

49.かれ（フィルアウン）は言いました。あなた方は、わたしが許していないのにかれを信じるのか。かれはあなた方に魔術を教えた、あなた方の師匠なのだろう。でもあなた方はすぐに思い知るだろう。わたしはあなた方の両手両足を互い違いに切断し、さらに一人残らず十字架に張りつけよう。50.かれらは言いました。構いません。結局、わたしたちは主の元に帰ります。51.わたしたちは（フィルアウンの民の）最初の信者として、自分たちの主が自分たちの数々の罪を赦すことを望むだけです。

52.われらはムーサーにこう啓示しました。わたしの僕たちと一緒に夜の間に旅立ちなさい。あなた方には必ず追手がかかります。53.その後フィルアウンは町々に使者を遣わし（こう告げさせました）、54.これらの者（イスラーイールの子孫）はほんの少数の群れにすぎません。55.かれらはわたしたちにひどく怒っているでしょうが、56.わたしたちは、警戒を整え軍勢も多いのです。57.それでわれらはかれら（フィルアウンの民）を果樹園や泉から追い出し、58.財宝や栄誉ある地位から追放しました。59.このような次第でした。われらはイスラーイールの子孫たちに、それら（財宝や地位など）を継がせました356。

60.それで、かれら（フィルアウンの軍勢）は日の出のとき、かれらを追って来ました。61.両者が互いに姿が見えるようになると、ムーサーの仲間は言いました。わたしたちは追いつかれるでしょう。62.かれは言いました。決して（追いつかれません）。真にわたしの主はわたしと共におられます。かれはわたしを導くでしょう。63.それで、われらはムーサーに啓示しました。あなたの杖で海を打ちなさい。するとそれ（海）は割れて、そ

れぞれの割れた部分は、巨大な山のようになりました。64.また、われらは他の者（フィルアウンの軍勢）をそこに誘い込みました。65.そして、われらはムーサーとかれと共にいた人たち全員を救いました。66.さらに、われらは他の者を溺れさせました。67.確かに、この中には一つの印（教訓）があります。でも、かれらの多くは信じません。68.真にあなたの主は偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

69.イブラーヒームの物語を、かれら（マッカの多神教徒たち）に語りなさい。70.かれが自分の父と自分の人びとに、こう言ったときのことです。あなた方は何を崇拝するのですか。71.かれらは言いました。わたしたちは偶像を崇拝して、常にこれ（偶像）への奉仕に専念します。72.かれは言いました。あなた方が祈るとき、それらは聞いてくれるのですか。73.また、それらはあなた方を益するのですか、それとも害するのですか。74.かれらは言いました。いいえ、わたしたちの先祖がこうしているのを見ました。

75.かれは言いました。それなら、あなた方が崇拝してきたものについて、あなた方は考えてみたのですか。76.あなた方もその先祖たちも（崇拝しました）。77.確かに、かれら（邪神）はわたし（イブラーヒーム）の敵ですが、すべての世界の主はそうではありません。78.かれはわたしを創ったお方で、かれはわたしを導きます。79.わたしに食料を与え、また飲料を授けるお方です。80.また病気になれば、かれはわたしを癒します。81.かれはわたしを死なせ、それから生き返らせるお方です。82.かれは、審判の日にわたしの罪を赦すことを、わたしが嘆願するお方です。

83.わたしの主よ、英知をわたしに授け、正しい人たちの仲間に入れてください。84.（そして）後世までわたしが語り継がれるようにしてください。85.わたしを安楽の園を継ぐ人としてください。86.そして、わたしの父をお赦しください。確かに、かれは迷った人の仲間でした。87.またかれら（人びと）が復活する日、わたしに恥辱を与えないでくだ

さい。88.その日には、財宝も子供たちも役に立ちません。89.ただし、正しい信心を持ってアッラーの御元に来る人だけは別です。

90.楽園は(アッラーを)意識する人たちに近づけられます。91.地獄の火は邪道に迷った人に現されます。92.かれらは言われます。あなた方がアッラーを差し置いて崇拝していたもの(偶像)は、どこにいるのですか。93.かれら(偶像)はあなた方を助けられるのですか、または、自分自身を助けられるのですか。94.結局、かれら(偶像)も邪道に迷った人たちも、その(地獄)中に投げ込まれます。95.またイブリース(ジンで悪魔)の仲間も皆一緒に。96.かれらはその中で口論して言います。97.アッラーに誓って、確かに、わたしたちは明らかな迷いの中にいました。98.(なぜなら)わたしたちがすべての世界の主を、あなた方(偶像)と等しくしたのですから。99.わたしたちを迷わせたのは、罪作りなものに他なりません。100.今となっては、わたしたちには執り成す者もなく、101.親友もいません。102.わたしたちがもう一度(現世に)返ることができるなら、きっと信者の仲間となるでしょうと。103.確かに、この中には一つの印(教訓)があります。でも、かれらの多くは信じません。104.誠にかれは偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

105.ヌーフの民も使徒たちを信じませんでした。106.かれらの同胞のヌーフが、かれらにこう言ったときのことです。あなた方は(アッラーを)意識しないのですか。107.確かに、わたしはあなた方への誠実な使徒です。108.だから、アッラーを意識して、わたしに従いなさい。109.わたしはこれに対してあなた方に報酬を求めません。わたしの報酬はすべての世界の主から(いただく)だけです。110.だから、アッラーを意識してわたしに従いなさいと。111.かれらは言いました。わたしたちはあなたを信じるものか。低俗な人たちが、あなたに従っているのに。112.かれ(ヌーフ)は言いました。かれらがしてきたことについて、わたしが何を知るでしょうか。113.かれらの清算はわたしの主に属します。もしあなた

方が理解するなら（よかったのに）。114.わたしは信者たちを追い出しません。115.わたしは明白な一人の警告者にすぎません。

116.かれらは言いました。あなたが（教化を）止めないなら、ヌーフよ、あなたは石打ちの刑にされるでしょう。117.かれ（ヌーフ）は言いました。わたしの主よ、わたしの民はわたしを拒否しました。118.だから、わたしとかれらの間を裁決してください。わたしを救い、またわたしと共にいる信者たちを救ってください。119.そこで、われらはかれを救い、また満載した方舟の中で、かれと共にいた人たちを救いました。120.さらに、われらは後に残った人（非信者）たちを溺れさせました。121.確かに、この中には一つの印（教訓）があります。でも、かれらの多くは信じません。122.誠にあなたの主は偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

123.アード（の民）も、使徒たちを嘘つき呼ばわりしました。124.かれらの同胞のフードが、かれらにこう言ったときのことです。あなた方は（アッラーを）意識しないのですか。125.確かに、わたしはあなた方への誠実な使徒です。126.だから、アッラーを意識して、わたしに従いなさい。127.わたしはあなた方に、その報酬を求めません。わたしの報酬はすべての世界の主から（いただく）だけです。128.あなた方はあらゆる高地に、無意味な記念碑を建てるのですか。129.また、あなた方は永遠に生きようとして、堅固な要塞を建てるのですか。130.また、あなた方は武力を行使するとき、暴君のように武力を行使するのですか。131.アッラーを意識して、わたしに従いなさい。132.あなた方が知る（身近な）ものを、あなた方に授けた方（アッラー）を意識しなさい。133.かれは数々の家畜と子供たちをあなた方に授け、134.また果樹園や泉も（授けました）。135.真に、わたしはあなた方に降りかかる絶大な日の苦痛を恐れます。

136.かれらは言いました。あなたが警告しても、あなたが警告者のひとりでなくても、わたしたちにとっては同じことです。137.これは先祖

の慣習にすぎません。138.だから、わたしたちは懲罰されるものではありません。139.結局かれらがかれ（フード）を拒否したので、われらはかれらを滅ぼしました。確かに、この中には一つの印（教訓）があります。でも、かれらの多くは信じません。140.誠にあなたの主は偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

141.サムード（の民）も使徒たちを嘘つき呼ばわりしました。142.かれらの同胞サーリフが、かれらにこう言ったときのことです。あなた方は（アッラーを）意識しないのですか。143.確かに、わたしはあなた方への誠実な使徒です。144.だから、アッラーを意識して、わたしに従いなさい。145.わたしはあなた方に、その報酬を求めません。わたしの報酬はすべての世界の主から（いただく）だけです。146.あなた方はここでいつまでも安全でいられるのですか。147.果樹園や泉、148.穀物畑や立派な実の付いたナツメヤシの園、149.また（岩）山に、あなた方が巧みに彫る家々も（安全なのですか）。150.だから、アッラーを意識して、わたしに従いなさい。151.あなた方は、則を越える人たちの命令に従ってはいけません。152.かれらは地上に腐敗を広げる人たちで、矯正する人たちではありません。

153.かれらは言いました。あなたは魔術をかけられた人にすぎません。154.あなたはわたしたちと同じ人間にすぎません。もしあなたの言うことが真実なら、わたしたちに印（懲罰）をもたらしなさい。155.かれは言いました。ここに一頭の雌ラクダがいます。それ（雌ラクダ）はあなた方同様に、特定の日に水を飲むのです。156.だから、それに害を加えてはいけません。さもないと、絶大な日の苦痛（懲罰）があなた方を襲うでしょう。157.ところが、かれらはその膝の腱を切ったので、朝には後悔することになりました。158.その後、苦痛（懲罰）がかれらを襲ったのです。確かに、この中には一つの印（教訓）があります。でも、かれらの多く

は信じません。159.誠にあなたの主は偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

160.（カナーン地方の町サドゥームの）ルートの民も、使徒たちを嘘つき呼ばわりしました。161.かれらの同胞ルートが、かれらにこう言ったときのことです。あなた方は（アッラーを）意識しないのですか。162.確かに、わたしはあなた方への誠実な使徒です。163.だから、アッラーを意識して、わたしに従いなさい。164.わたしはあなた方に、その報酬を求めません。わたしの報酬はすべての世界の主から（いただく）だけです。165.あなた方は世の中の男性に近づき、166.あなた方の主が、あなた方のために、配偶者（妻）として創ったものを放置するのですか。いや、あなた方は無法な人びとです。

167.かれらは言いました。あなたが（教化を）止めないなら、ルートよ、あなたは追放されるでしょう。168.かれ（ルート）は言いました。わたしはあなた方の行ないを嫌悪する者の一人です。169.わたしの主よ、わたしとわたしの家族を、かれらが行なっていることから救ってください。170.それで、われらはかれとかれの家族全員を救いました。171.ただし、後に残った老女（ルートの妻）は別です。172.さらに、われらは他の者（ルートの民）を滅ぼしました。173.われらは（破壊の）雨を、かれらの上に降らせました。警告されていた人たちに降った雨は最悪でした。174.確かに、この中には一つの印（教訓）があります。でも、かれらの多くは信じません。175.誠にあなたの主は偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

176.（シナイ半島北部マドヤンの）森（アイカ）の人びとも、使徒たちを嘘つき呼ばわりしました。177.シュアイブが、かれらにこう言ったときのことです。あなた方は（アッラーを）意識しないのですか。178.確かに、わたしはあなた方への誠実な使徒です。179.だから、アッラーを意識して、わたしに従いなさい。180.わたしはあなた方に、その報酬を求

めません。わたしの報酬はすべての世界の主から（いただく）だけです。181.目一杯に計量し、人に損をさせてはいけません。182.正確な秤で重さを計りなさい。183.人のものを搾取してはいけません。また腐敗を広げる人となって、地上で悪を犯してはいけません。184.あなた方と前の世代の人たちを創った方を、意識しなさい。

185.かれらは言いました。あなた（シュアイブ）は魔術をかけられた人にすぎません。186.あなたはわたしたちと同じ人間にすぎません。わたしたちは、あなたが嘘つきであると思います。187.もしあなたの言うことが真実なら、空の一部をわたしたちの上に落としてみなさい。188.かれ（シュアイブ）は言いました。わたしの主は、あなた方がすることを最もよく知っているのです。189.でも、かれらはかれを拒否しました。すると、陰の日（ヤウム・アルズッラ）361の苦痛がかれらを襲いました。絶大な日の苦痛でした。190.確かに、この中には一つの印（教訓）があります。でも、かれらの多くは信じません。191.誠にあなたの主は偉力大であり、慈悲深いお方なのです。

192.確かに、それ（クルアーン）はすべての世界の主からの啓示です。193.信頼される魂（天使ジブリール）が、それを降ろしました。194.あなた（ムハンマド）の心の上に。そうすることで、あなたが警告者の一人となるように。195.明瞭なアラビアの言葉で（啓示しました）。196.確かに、それは先祖の幾多の書巻（ズブル）の中にも記されています。197.イスラーイールの子孫の学者たちがそれ（クルアーン）について知っていることは、かれら（マッカの多神教徒たち）にとって一つの印（真実）ではないのですか。

198.もしわれらがこれを非アラブ人に啓示したなら、199.かれがこれを読誦しても、かれらはそれを信じる人たちにはならなかったでしょう。200.このように、われらは罪深い人たちの心の中に、それ（クルアーン）を導き入れたのです。201.それでも、かれらは厳しい苦痛（懲罰）を

見るまでは、それ（クルアーン）を信じないのです。202.そしてそれ（懲罰）は、かれらの気づかないうちに、突然襲いかかるでしょう。203.そのとき、かれらは言います。わたしたちは、猶予されないのですかと。

204.かれらはわれらの苦痛（懲罰）を急がせたいのでしょうか。205.あなたはどう思うのですか、たとえわれらがかれらに幾年も（の現世の生活を）享楽させたとしても、206.その後、かれらに約束されたこと（懲罰）がやって来たなら、207.享楽を与えられたことは、かれらにとって何が良かったというのでしょうか。208.われらは（人びとに）警告者を遣わさないで、いかなる町も滅ぼしたことはありませんでした。209.（警告者は）諭す（約束を思い出させる）ためであり、そしてわれらは不正なことは行ないません。210.悪魔たちがそれ（クルアーン）をもたらすことはありません。211.それはかれらにとって妥当でなく、またかれらにはできません。212.確かに、かれらは啓示を聞くことから遠ざけられています。

213.だから、アッラーと共に、他の神を崇めてはいけません。さもないと、あなたも懲罰される人の仲間となります。214.あなたの近親者に警告しなさい。215.また、あなた（ムハンマド）に従う信者たちには、（親切に）翼を低く垂れてあげなさい。216.もしかれらがあなたに従わないなら言いなさい。あなた方が行なうことは、わたしには無関係ですと。217.そして偉力大かつ慈悲深きお方に、（すべて）依拠しなさい。218.かれはあなたが（礼拝に）立つのを見ており、219.また（頭を床に付けて、周囲が見えない）平伏礼をする人たちの間での、あなたの諸動作を（も見ています）。220.かれは全聴にして全知なのです。

221.わたしがあなた方に告げようか。悪魔たちは誰の上に下るのかを。222.かれらは酷い罪人全員の上に下るのです。223.その人たちは（悪魔に）耳を貸すのであり、かれらの多くは嘘つきです。224.また邪道に迷った人たちが、詩人たちに従います。225.あなたはかれらが、どこの

谷間でもさ迷い歩いているのを見ませんか。226.また、かれらはかれら自身が行なわないことを口にします。227.ただし、信仰して善行に勤しむ人たち、アッラーを多く唱念し、虐待された後には（反論して）自らを守る人たちは別です。不正を行なった人たちは、どんな所に帰るのかをやがて知るでしょう。

27. 蟻章

al-Naml

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ター・スィーン。

これらはクルアーンの諸節で、（真実を）明瞭にする啓典、2.（それは）信者たちへの導きと吉報、3.（一方）かれらは礼拝の務めを守り、定めの施しをなし、かれらこそは来世のあることを確信する人たちです。4.確かに、われらは来世を信じない人たちについて、その行ないが（妄欲により）立派に見えるようにしたので、かれらはさ迷い続けることでしょう。5.かれらは最悪の苦痛が科せられる人たちで、かれらは来世において、真にかれらこそは最大の損失者なのです。6.誠にあなた（ムハンマド）は、英明かつ全知な方（アッラー）の御元から、クルアーンを授かっています。

7.ムーサーがかれの家族に言ったときのことです。確かに、わたしは一点の火を見ました。わたしはそこから、あなた方に（アッラーの）お告げをもたらすでしょう。または、燃え盛るたいまつを持ち帰えることで、あなた方を暖められるかもしれません。8.かれがそこに来ると、こう呼ばれました。火の側にいる者とその周りの者（ムーサーと天使たち）に祝福あれ。すべての世界の主、アッラーに、すべての称賛あれ。

9.ムーサーよ、真にわれらはアッラーであり、偉力大かつ英明なので

す。10.さあ、あなたの杖を投げなさい。でもかれは、それが蛇のように震えているのを見ると、逃げだして振り返りませんでした。ムーサーよ、あなたは恐れてはいけません。誠に使徒たちはわれらの前で恐れないものです。11.もちろん、不正を行なった後、悪を善で置き換える人も（恐れません）。真にわれらはよく赦し、慈悲深いのです。12.また、あなたの手を（衣の）脇の下に入れなさい。何の病気（癩病）でもないのに、それは白くなります。（これは）フィルアウンとかれの民に示す九つの印の（一部）です。確かに、かれらは掟破りの人びとなのです。13.われらの印が目を覚ますようにかれらに届いたとき、かれらは言いました。これは明らかに魔術であると。14.かれらは心の中ではそれを認めながら、不正さと高慢さからこれを否認しました。だから、これら腐敗をもたらす人たちの末路がどうであったかを見なさい。

15.確かに、われらはダーウードとスライマーンに知識を授けました。二人は言いました。信仰する数多くのかれの僕の上に、わたしたちを優遇したアッラーにこそ称賛あれ。16.そして、スライマーンはダーウードを継承してこう言いました。人びとよ、わたし（スライマーン）は（アッラーによって）鳥の言葉を教えられ、またあらゆるものを授けられました。これは、明らかな寵愛です。

17.また、スライマーンのために、ジンと人間と鳥たちの軍隊が動員され、かれらは部隊に編成されました。18.やがて蟻の谷へとやって来たとき、一匹の蟻が言いました。蟻たちよ、自分の住みかに戻りなさい。スライマーンとその軍隊が、気づかずにあなた方を踏み潰さないように。19.すると、かれ（スライマーン）はその言葉に微笑んで言いました。わたしの主よ、わたしと両親に恵みを与えたあなたの恩寵に感謝し、あなたを喜ばせる善行をするように励ましてください。またあなたの慈悲で、わたしをあなたの正しい僕の中に入れてください。

20.またかれ（スライマーン）は、鳥たちを点検して言いました。なぜヤ

ツガシラがいないのですか。それは欠席ですか。21.明らかな理由を持って来ない限り、わたしは激しい苦痛でそれを処罰するか、または殺すでしょう。22.すると間もなくして、それは(やって来て)言いました。わたしは、あなた(スライマーン)が把握していないことを、把握しました。わたしは、サバアから確かな情報を持って来たのです。23.わたしはある婦人が、人びとを治めているのを発見しました。かの女にはあらゆるものが授けられて、立派な王座もあります。24.わたしはかの女とその民が、アッラーを差し置いて、太陽を崇拝しているのを見ました。悪魔がかれらに自分たちの行ないを立派だと思い込ませ、正道からかれらを閉め出しているので、かれらは正しく導かれていないのです。25.(また立派だと思わせたのは)かれらがアッラーを崇拝しないためでもあります。かれは諸天と地の隠されたことを現し、(そして)あなた方が隠すことも現すことも知っておられるのに。26.アッラー、かれの他に神はいません。かれは偉大な玉座の主です。

27.かれ(スライマーン)は言いました。あなた(ヤツガシラ)が真実を語ったのか、または嘘つきなのか、わたしには分かります。28.このわたしの書簡を持って行って、かれらに渡しなさい。そして引き上げて来て、かれらが何と返事するかを見てみなさい。29.かの女(サバアの女王)は言いました。参謀たちよ、わたしの元に丁寧な書簡が届けられました。30.実にそれはスライマーンからのもので、(こう記されています)慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において、31.あなた方はわたしに対して優越感を持たないように。(アッラーに)服従して、わたしの元に来るようにしなさいと。32.かの女は言いました。参謀たちよ、直面するわたしのこの事案について、わたしに助言をください。あなた方が意見を出すまでは、わたしは何も決定しません。33.かれらは言いました。わたしたちは強力で、逞しい武力を持つ民です。命令はあなた次第です。どう命令なさるか、よくお考えください。34.かの女は言いました。確かに、

王たちが町に入ると、かれらはそれを破壊して、その住民の最も高貴な人を（辱めて）最も卑しくします。このように、かれらはするでしょう。35.そこでわたしは、かれらに贈物を届けましょう。そして使者たちが（返事として）持ち帰るものを見ましょう。

36.（サバアの使者が）スライマーンを訪れると、かれは言いました。（何と）あなた方はわたしに財宝を与えようというのですか。しかしアッラーがわたしに与えたものは、かれがあなた方に与えたものよりも優れています。全くあなた方は、自分の贈物に粋がっているだけです。37.かれらの元に帰りなさい。わたし（スライマーン）はかれらが立ち向かえない軍隊でもって臨み、かれらを卑しい人にして、そこ（かれらの土地）から追い出すでしょう。そして、かれらの面目を失わせます。

38.かれ(スライマーン)は言いました。参謀たちよ。あなた方の中、かれらが（アッラーに）服従してわたしの元に来る前に、誰がかの女の王座をわたしに持って来ることができますか。39.すると、ジンの中のイフリート（屈強で悪賢いジン）が言いました。あなたがその場所から立ち上がる前に、わたしはそれ（王座）をあなたに持って参ります。確かに、それについてわたしは有能であり信頼できる者です。40.啓典の知識を持つ者は言いました。瞬きを一度する間に、わたしはそれ（王座）をあなたの元に持って参ります。そしてそれがかれ（スライマーン）の元に置かれたのを見て言いました。これはわたしの主の恩恵で、わたしが感謝するのか、または忘恩なのかを試みるためです。誰でも感謝する人は、自分のために感謝しているのです。忘恩な人がいても、確かに、わたしの主は、最も高貴で豊かな方です。

41.かれ（スライマーン）は言いました。かの女の王座の装いを変えなさい。かの女が導かれているのか、導かれていないのかを試してみましょう。42.そこで、かの女が到着すると（かの女は）尋ねられました。あなたの王座はこのようですか。かの女は言いました。それに似たものです。

すると（スレイマーンが言いました）、わたし（スライマーン）はかの女より以前から知識を与えられ、（アッラーに）服従しています。43.しかし、かの女がアッラーの他に崇めていたもの（太陽崇拝）が、かの女を（真実から）遠ざけました。確かに、かの女は不信心な民のひとりでした。44.（それから）かの女は宮殿に入るように言われました。でも、それを見たとき池だと思い（裾を上げて）かの女は両脛を露出しました。スライマーンは言いました。実はこれはガラス張りの宮殿です。かの女は言いました。わたしの主よ、確かに、わたしは自ら（太陽崇拝の）不正を犯しました。わたしはスライマーンと一緒に、すべての世界の主に服従します。

45.確かに、われらはサムードの民に、かれらの同胞サーリフを遣わしました。アッラーに仕えなさいと（伝えるために）。ところが見なさい。かれらは二派に分かれて論争しました。46.かれは言いました。わたしの人びとよ、なぜあなた方は善よりも前に、悪を急ぐのですか。なぜあなた方はアッラーの赦しを請わないのですか。そうすることで慈悲にあずかれるのに。47.かれらは言いました。わたしたちはあなたとあなたの仲間を、不吉な予兆と見ています。かれは言いました。あなた方の運命（の決定）は、アッラーの御元にあります。いや、あなた方は試みられている民です。

48.この町には9人のならず者がいました。かれらは地上に腐敗を広げて、身を正しませんでした。49.かれらは言いました。かれ（サーリフ）とかれの家族を夜襲するように、アッラーにかけて共に誓おう。それから、かれの近親者370に言おう。わたしたちはかれの家族の殺害は目撃しませんでした。確かに、わたしたちは正直者ですと。50.かれらは悪巧みをしましたが、われらも図りました。でも、かれらは気づきませんでした。51.だから、かれらの悪巧みの末路がどんなものであったのか見なさい。われらは、かれらとかれらの民全員を滅ぼしてしまいました。52.これらは、かれらが不正を行なったために廃墟と化したかれらの住

居跡です。確かに、この中には知識ある人びとへの一つの印（教訓）があります。53.でも、われらは信仰して（アッラーを）意識する人たちを救いました。

54.また、ルートを（を遣わしました）。かれがその民にこう言ったときです。あなた方は（悪と）知りながら、みだらな行為を犯すのですか。55.なぜあなた方は女性たちを差し置いて、情欲をもって男性たちに近づくのですか。いや、あなた方は無知の民です。56.◆20部◆しかし、かれの民の答えは、ただこれだけでした。ルートに従う一団をこの町から追い出せ。確かにかれらは純潔ぶる人たちだ。57.それで、われらはかれとかれの家族を救いました。ただし、かれの妻を除いて。われらはかの女を後方に残る人びとの仲間にしました。58.そして、われらはかれらの上に（石の）雨を降らせました。この雨は警告された人びとにとって、何とも災厄でした。59.（ムハンマドよ）言いなさい。アッラーにすべての称賛あれ。またかれが（預言者として）選んだ僕たちの上に平安あれ。アッラーの方が善いのか、もしくは、かれらが配する神々か。

60.誰が諸天と地を創造したのか。また誰があなた方のために空から雨を降らすのか。それでもって、われらは喜ばしい果樹園を茂らせます。あなた方がその樹木を成長させるのではありません。アッラーの他の神（がそうするの）ですか。いや、かれらは道を外れる（同位者を配する）民なのです。61.誰が大地を堅固な住みかとし、そこに川を設け、また山々をしっかり設け、二つの海（淡水、塩水）の間に障壁を設けたのですか。アッラーの他の神（がそうするの）ですか。いや、かれらの多くは知らないのです。

62.窮地にある人が祈るとき、誰がかれに応え、誰が災厄を除き、誰があなた方を地上の後継者とするのですか。アッラーの他の神（がそうするの）ですか。あなた方は少しも留意しません。63.誰が陸と海の暗黒（深層）の中で、あなた方を導くのですか。また、誰がかれの慈悲（雨）の

前の吉報として、風を送るのですか。アッラーの他の神（がそうするの）ですか。アッラーはかれらが同位に配するもの（偶像）をはるかに超越して、至高なのです。64.誰が創造を始め、さらにそれを繰り返すのですか。また誰が諸天と地からあなた方に糧を与えるのですか。アッラー以外の神（がそうするの）ですか。言いなさい。あなた方が真実を語っているなら、あなた方の証拠を持ってきなさい。

65.言いなさい。諸天と地の中において、アッラーの他に見えない世界を知る方はいません。また、かれらはいつ自分たちが復活するかも知りません。66.いや、かれらの知識は来世に及びません。いや、かれらはそれ（来世）に疑いを抱いています。いや、かれらはそれについて盲目なのです。67.不信心の人たちは言います。わたしたちやわたしたちの先祖が土になってから、本当に（復活して）連れ出されるのですか。68.確かに、わたしたちもわたしたちの先祖も、以前にこれを約束されました。（でも）これは昔の人の物語にすぎないのです。69.言いなさい。地上を旅しなさい。そしてこれら罪深い人たちの末路がどうであったかを観察しなさいと。

70.あなた（ムハンマド）はかれら（マッカの多神教徒たち）について、悲嘆してはいけません。また、かれらが企てることに心を痛めてはいけません。71.かれらは言います。あなた方が真実を語るのなら、この約束（懲罰）はいつですか。72.言いなさい。あなた方が急いで求めているものは、あなた方のすぐ近くに迫っているかもしれません。73.確かに、あなたの主は、人間に対して恩恵を与える方です。でも、かれらの多くは感謝もしていません。74.確かに、あなたの主は、かれらが胸に隠すことも、現すことも知っています。75.そして、諸天と地の中に隠されていて、明瞭な書板の中に（記されて）ないものは何もありません。

76.確かに、このクルアーンは、イスラーイールの子孫が（対立して）議論している多くのことについて語るものです。77.そして、それは信者

たちに対する導きであり慈悲なのです。78.真にあなた（ムハンマド）の主は、かれの決断によってかれらの間を裁決します。かれは偉力大であり全知なのです。79.だから、あなたはアッラーを信頼しなさい。確かに、あなたは明白な真理の（道のり）上にいるのです。80.確かに、あなたは死者に聞かせることはできません。また、聞こえない人たちに呼びかけを、聞かせることもできません。かれらが背を向けて立ち去るときは。81.またあなたは、見えない人たちを迷いから導くことはできません。あなたが聞かせられるのは、われらの印を信じ、服従している人たちだけです。

82.かれらに対してお言葉が実現される（最後の日の）時、われらは大地から一獣を出てこさせ、人間たち（の多く）がわれらの印を信じなかったことを告げるでしょう。83.その日、われらはそれぞれの共同体から、われらの印を虚偽とした一群を集めて列に分けます。84.かれらが来たとき、かれは言いました。あなた方はわれらの印を十分把握できなかったのにそれらを拒否したのですか。あなた方は一体何をしていたのですか。85.そして、かれらが不正を行なったことについて、かれらに対して（裁決の）お言葉が下されるのです。そして、かれらは何も言えなくなるのです。86.われらがかれらの休息のために夜を設け、ものが見えるように昼を設けたことを、かれらは見ないのですか。確かに、この中には信仰する人びとへのいろいろの印があります。

87.ラッパが吹かれる（最後の）日、諸天にいる者も大地にいる者も、恐怖に襲われます。ただし、アッラーが望む者は別として。全員腰を低くしてかれ（の御前）にやってきます。88.あなた（ムハンマド）は山々を見て、堅固であると考えるかもしれません。でも、それは雲が通り過ぎていくように消え去ります。（これは）すべてを完成される、アッラーの御業なのです。確かに、かれはあなた方の行なうことを熟知しています。89.誰でも善と共に来る人は、それよりも善いものが与えられ、その（審判の）

日、恐怖からの心配はないのです。90.誰でも悪と共に来る人は、かれらの顔を下にして地獄の火に投げ込まれます。あなた方がしてきたこと以外に報われることがあるでしょうか。

91.わたし（ムハンマド）はこの町（マッカ）の主に仕えなさいと命じられただけです。かれはそれ（マッカ）を禁忌あるものとし、すべてはかれに属するのです。わたしは服従する人たちの一人であるようにも命じられました。92.またクルアーンを読誦するよう（にも命じられました）。そして、誰でも導きを受け入れる人は、自分自身のために導きを受け入れるのです。一方で、誰でも迷い去った人にはこう言いなさい。わたしは警告者の一人にすぎません。93.またこう言いなさい。アッラーにすべての称賛あれ。かれはあなた方に数々の印を見せるでしょう。すると、あなた方もそれに気づくことになります。あなた方の主は，あなた方の行ないに不注意ではないのです。

28. 物語章

al-Qasas

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ター・スィーン・ミーム。

2.これは、明瞭な啓典の諸節（印）です。3.われらは信仰する人たちのために真実をもって、ムーサーとフィルアウンの物語をあなた（ムハンマド）に読誦しましょう。4.確かに、フィルアウンはこの国において自分を最も高貴とし、その民を諸派に分け、その中の一派を抑圧して男児を殺し、女児は生かしておきました。実にかれは、腐敗を広めた人でした。5.われらは、この国で抑圧されている人たち(イスラーイールの子孫)に恵みを与えようと思い、かれらを（信仰の）指導者とし、（この国の）後継者にしようとしました。6.そして、この国にかれらを確立させて、フィルア

ウンとハーマーンとその軍隊に、かれら(イスラーイールの子孫)からかれら（フィルアウンとハーマーンら）が恐れていたことを見せつけようとしました。

7.そこで、われらはムーサーの母に啓示して言いました。かれ（ムーサー）に乳を飲ませなさい。かれの（身の）上に危険を感じたときは、かれを川に投げ込みなさい。また心配して悲しんではいけません。われらは必ずかれをあなたに返し、かれを使徒のひとりとするでしょう。8.すると、フィルアウンの家族は、（やがて）かれらの敵となり悲しみの種となるかれを拾いあげました。実に、フィルアウンとハーマーンとかれらの軍隊は、罪深い人たちでした。9.フィルアウンの妻は言いました。(拾い上げたムーサーは)わたしとあなたが見て、喜ばしいものです。かれを殺してはいけません。わたしたちの役に立つこともあるでしょう。または養子にしてもよいでしょう。そして、かれらは（その行なっていることの意味に）気付きませんでした。

10.翌朝、ムーサーの母の心は空洞のようになりました。もしわれらがかの女の心を強くして、信者の一人にしなかったなら、かの女は危うくかれのことを打ち明けてしまうところでした。11.そして、かの女は（ムーサーの）姉に、かれ（の後）を追いなさいと言いました。それでかの女（ムーサーの母）は遠くからかれを見守っていたので、かれら（フィルアウンの人びと）は何も気づきませんでした。12.われらは前もって、かれ（ムーサー）に乳母（の乳）を（命令で）禁じておきました。それで、かの女（ムーサーの姉）は言いました。あなた方（フィルアウンの人びと）に、かれ（ムーサー）を養育する家族をお知らせしましょうか。かれらは丁重にかれを世話する人たちです。13.このように、われらはかれ（ムーサー）をその母に返しました。かの女の目は喜びを得て、悲しみも消え失せました。かの女はアッラーの約束が真実であることを知りました。でも、かれらの多くは知りません。14.かれ（ムーサー）が立派に成人したとき、われらはか

れに英知と知識を授けました。このように、われらは善行をなす人に報います。

15.（あるとき）かれは人が注意していない間に町に入り、そこで二人の者が互いに争っているのを見かけました。一人は自分の一派の人（イスラーイールの子孫）で、もう一人はかれの敵側の人（エジプト人）でした。かれの一派の人が敵側の人に対してかれ（ムーサー）に加勢を求めました。そこでムーサーはかれ（敵）を拳で打って、殺してしまいました。かれ（ムーサー）は言いました。これは悪魔の仕業です。確かに、かれは人を惑わす明白な敵です。16.かれ（ムーサー）は言いました。わたしの主よ、実に、わたしは自ら不正を犯しました。どうかわたしをお赦しください。すると、かれはかれを赦しました。誠に、かれはよく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。17.かれは言いました。わたしの主よ、あなたがわたしに恩恵をくださったので、わたしはもう決して罪深い人たちの味方になることはないでしょう。

18.翌朝、かれが町の中で恐れを抱きながら、辺りを警戒しているときのこと。見なさい、前日かれの援助を求めた人が（再び）かれに助けを求めて叫びました。ムーサーはかれに言いました。あなたはよくよく間違いをしでかします。19.それでかれら二人の敵をかれ（ムーサー）が拳で打とうと決めたとき、かれ（敵）は言いました。ムーサーよ、あなたは昨日人を殺したように、わたしも殺そうとするのですか。あなたは地上において暴君になりたいだけです。そして、（世を）正そうとする人たちの一人となることは望まないのでしょう。20.すると、ある人が町の一番はずれから走って来て言いました。ムーサーよ。（フィルアウンの）参謀たちがあなたを殺そうと相談しています。だから（今すぐ）立ち去りなさい。わたしはあなたの誠実な助言者です。21.それで、かれは恐れを抱きながら辺りを警戒して、そこから逃げました。かれは言いました。不正の人びとからわたしをお救いくださいと。

22.かれ（ムーサー）はマドヤンの方に向けて進み、言いました。わたしの主は、わたしを正しい道に導いてくださるかもしれませんと。23.それからマドヤンの水場に来てみると、かれは一群の人びと（羊飼い）が（家畜に）水をやっているのを見ました。そして、かれらの片隅に二人の女性が、後方に控えているのを見ました。かれは言いました。あなた方二人はどうかなされたのですか。かの女ら二人は言いました。わたしたちはその羊飼いたちが（水場から）離れるまで、水をやることができません。そして、わたしたちの父は大変年老いています。24.そこで、かれはかの女ら二人のために（家畜に）水をやり、それから木陰に戻って言いました。わたしの主よ、あなたがわたしに授けるものなら、何であれ善いものを必要としています。25.かの女ら二人の中の一人が、恥ずかしげにかれのところにやって来て言いました。わたしの父があなたをお招きしています。あなたがわたしたちのために、水をやってくれたことへのお礼をしたいそうです。そこで、かれがかれのところにやって来て、（ムーサーは）身の上話をしました。かれ（父）は言いました。心配なさるな。あなたは不正の民から逃れたのです。26.かの女ら二人の中の一人が言いました。わたしの父よ。かれを雇いなさいませ。強健で信用できる人は、雇うのに最善です。27.かれ（父）は言いました。もしあなたが８年間わたしのために働いてくれるなら、わたしは二人の娘の中の一人を、あなたと結婚させたい。もし10年を満了したいなら、それもあなたの自由です。わたしはあなたに無理強いするつもりはありません。もしアッラーが御望みなら、わたしが正しい人間であることがあなたにも分かるでしょう。28.かれ（ムーサー）は言いました。それはわたしとあなたの間（の約束）です。二つの期間のどちらをわたしが満了するにしても、わたしにとって不当ではありません。アッラーはわたしたちが言うことの証人なのです。

29.その後、ムーサーが期間を満了して家族と一緒に（エジプトに）

旅しているとき、トール山の側に一点の火を認めました。かれは家族に言いました。あなた方はここで待っていなさい。わたしは火を認めました。あそこからあなた方にお告げを持って来よう。または、火からたいまつを持って来てあなた方を暖めよう。30.ところが、かれがそこにやって来ると、谷間の右側の祝福された地点にある木から、かれを呼ぶ声がしました。ムーサーよ、真にわれらはすべての世界の主、アッラーであるぞ。31.さあ、あなたの杖を投げなさい。でもかれ（ムーサー）はそれが蛇のように震えているのを見ると、逃げ出して振り返りませんでした。ムーサーよ、近寄りなさい。そして恐れてはいけません。誠にあなたは安全なのです。32.あなたの手を（衣の）脇の下に入れなさい。何の病気（癩病）でもないのに、それは白くなります。恐れに対しては、あなたの手を自分（の両脇）に引き寄せなさい。これらはあなたの主からのフィルアウンとかれの参謀たちに対する二つの証拠です。確かに、かれらは掟破りの人たちなのです。

33.かれ（ムーサー）は言いました。わたしの主よ、わたしはかれらの一人を殺しました。だから、かれらがわたしを殺すのを恐れます。34.ただし、わたしの兄ハールーンはわたしよりも雄弁です。それで、わたしの言葉の正しさを確かめる補佐役として、かれをわたしと一緒に遣わしてください。わたしはかれらがわたしを嘘つき呼ばわりすることを恐れます。35.かれは言いました。われらはあなたの兄をもって、あなたの片腕を強力にします。また、あなた方二人に権威を授けましょう。そうすれば、かれらはあなた方に危害を加えられません。われらの印によって、あなた方二人とあなた方に従う人たちは勝利者となるのです。

36.ムーサーがわれらの明白な印をもってかれらの所に来ると、かれらは言いました。これは捏造された魔術にすぎません。わたしたちは先祖からもこんなことを聞いたことがありません。37.すると、ムーサーは言いました。わたしの主は、誰がかれの御元から導きをもって来たか、ま

た誰が最後に（平安の）住まいを得るかをすべてご存知です。不正を行なう人たちは決して成功しないのです。38.フィルアウンは言いました。参謀たちよ。あなた方のためには、わたし以外の神をわたしは承知していません。だから、ハーマーンよ、わたしのために泥を燃やして（レンガを作り）高殿を築きなさい。ムーサーの神（アッラー）の元に登れるかも知れない。わたしはかれが嘘つきだと思う。

39.かれとかれの軍隊は地上において不当に高慢でした。そして、かれらは決してわれらに帰されないと考えていました。40.だから、われらはかれとかれの軍隊を襲って海に投げ込みました。このように、不正を行なう人の末路がどんなものであったかを見なさい。41.われらはかれらを（地獄の）火に招く先達としました。そして、復活の日に、かれらが助けられることはありません。42.また、われらは現世において、かれらに（アッラーの）拒否を付きまとわせました。復活の日においても、かれらは嫌悪されるのです。43.確かに、昔の多くの世代を滅ぼした後、われらはムーサーに人類のための（真理への）洞察として、また導きと慈悲として、啓典を授けました。きっとかれらは留意するでしょう。

44.われらがムーサーに命令を降ろしたとき、あなた（ムハンマド）は（シナイ山の）西側におらず、また（その）目撃者の一人でもありませんでした。45.でも、われらは（その後）多くの世代をもたらし、かれらに長生きさせました。また、あなた（ムハンマド）がマドヤンの民の間に住んで、かれらにわれらの印を読誦したのではありませんでした。でも、われらは（使徒たちを）遣わしてきました。46.また、われらが（ムーサーを）呼んだとき、あなた（ムハンマド）はシナイ（山）の傍らにいたわけではありませんでした。でも、（あなたもまた）あなたの主からの慈悲として（遣わされたの）です。あなた以前に一人の警告者もやって来なかった（マッカの）民に警告するために。そうすれば、かれらは留意することでしょう。47.もしそうしないなら、かれらの手が先になしたこと（罪）のために、

かれらには災厄が襲いかかるでしょう。そのときになって、かれらは言うのです。わたしたちの主よ、もしあなたが使徒をわたしたちに遣わしていたなら、わたしたちはあなたの印に従い、信仰する人たちとなっていたのにと。48.でも、われらから真理がかれらに届くと、こう言いました。ムーサーに与えられたと同じようなものが、どうしてかれ（ムハンマド）に与えられないのですかと。かれらは以前にも、ムーサーに与えられたものを信じなかったではありませんか。かれらは言いました。二つ（律法とクルアーン）とも魔術で、互いに支え合っています。わたしたちは（どちらも）信じません。

49.言いなさい。それなら、アッラーの御元から導きの啓典で、これら二つよりも優れたものを持ってきなさい。あなた方が真実なら、わたし（ムハンマド）はそれに従います。50.そして、もしかれらがあなたに応えないなら、かれらは自分の妄欲に従っているにすぎないことを知りなさい。アッラーからの導きがなく、自分の妄欲に従う人よりも、道に迷う人がいるでしょうか。誠にアッラーは不正な人びとを導きません。51.確かに、われらはかれら（マッカの人びと）にも言葉を届けました。そうすることで、かれらは留意するでしょう。

52.われらがそれ（クルアーン）以前に啓典を授けた人たちは、それを信じます。53.そして、それがかれら（クルアーン以前の人びと）に読誦されるとかれらは言います。わたしたちはそれを信じます。確かに、それはわたしたちの主から啓示された真理です。わたしたちはそれ以前からムスリム（アッラーに従う人）でしたと。54.これらの人たちには2倍の報奨が与えられます。なぜなら、かれらは耐え忍び、善をもって悪を退け、われらが糧として与えたものから施したからです。55.また、かれらが馬鹿げた話を耳にするとき、かれらは背を向けて（拒否して）言います。わたしたちには、わたしたちの行ないがあり、あなた方には、あなた方の行ないがあります。あなた方の上に平安あれ。わたしたちは無知な人た

ちを相手にしません。56.確かに、あなた（ムハンマド）は誰であれ、自分が好む人を導くことはできません。でも、アッラーは御心のままに導きます。かれは導かれる人を熟知しています。

57.かれら（マッカの人びと）は言います。もしわたしたちが、あなた（ムハンマド）と一緒になってその導きに従うなら、わたしたちはわたしたちの土地から、つまみ出されるでしょうと。われらはかれらのために禁忌のある領域（マッカ）を確立して、われらからの糧として、すべての果実をそこにもたらしたではありませんか。でも、かれらの多くは分からないのです。

58.われらは生活が豪勢で享楽に満ちた多くの町を、どれほど滅ぼしたことでしょうか。そういうところでは、かれら以後、かれらの住居はほとんど誰も住んでおりません。そして、われらこそが、相続者なのです。59.そして、あなたの主は町々をただ滅ぼす方ではありません。かれら（町々の人びと）の中にわれらの印を読誦する使徒を遣わすまでは。また、われらはその人びとが不正な人びとでない限り、町々を滅ぼすことはありません。

60.あなた方に現世の生活で与えられたものは、享楽とその虚飾にすぎません。しかし、アッラーの御元にあるものこそ、善美で永遠なのです。それでも、あなた方は理知を働かせないのですか。61.われらが良い約束（楽園）を結び、それを実見する人と、われらが現世の生活の享楽を与えたが、復活の日には（地獄へと）召集される人とは、同類なのでしょうか。

62.その日、かれはかれらに呼びかけて言います。あなた方が言い張っていた、わたしの同位者（神々）はどこにいるのですか。63.（裁決の）言葉が明らかになった人（非信者）たちは言います。わたしたちの主よ、これらはわたしたちが迷わせた人たちです。（しかし）わたしたちがかれらを迷わせたのは、わたしたち自身も迷っていたからです。（だから）わ

たしたちは、あなたに向かって（かれらとは）縁切りします。かれらはわたしたちを崇拝していたわけではありません。

64.すると（かれらは）言われます。あなた方の同位者（神々）を呼びなさいと。かれらはそれら（神々）を呼ぶが、それらは応えません。かれらは苦痛を目の当たりにするでしょう。もしかれらが導かれていたなら（よかったのに）。65.その（審判の）日、かれはかれら（非信者たち）を呼んで言います。あなた方は使徒たちに何と応えたのですか。66.その日、論証はかれらに曖昧となり、かれらは互いに尋ね合うこともできません。67.でも、改心して信仰し、善行に勤しんだ人は成功者の一人となるでしょう。

68.あなたの主は、御心のものを創り、また選びます。（一方）かれらは選ぶことができません。アッラーに称賛あれ。かれはかれらが同位を配するもの（偶像）のはるか上に高くおられます。69.また、あなたの主は、かれらの胸に隠すことも現すことも知っています。70.かれこそはアッラー、かれの他に神はいません。かれにこの世とあの世におけるすべての称賛があり、裁決もかれにあり、またかれにあなた方は帰されるのです。

71.言いなさい。あなた方は考えましたか。もしアッラーが復活の日まで続く夜を設けたなら、アッラーの他に、どんな神があなた方に光を与えられるのですか。あなた方は聞かないのですか。72.言いなさい。あなた方は考えましたか。もしアッラーが復活の日まで続く昼を設けたなら、アッラーの他に、どんな神があなた方に休息するための夜を与えられるのですか。あなた方は見ないのですか。73.かれの慈悲によって、かれは夜と昼をあなた方のために設け、それであなた方は（夜に）休み、また（昼に）かれの恩恵を求めることができます。（そして）おそらくあなた方は感謝するでしょう。

74.その（審判の）日、かれはかれらを呼んで言います。あなた方が言

い張っていた、わたしの同位者（神々）はどこにいるのですか。75.われらはすべての共同体から、証人を出させて言うでしょう。あなた方の証拠を持って来なさい。そのとき、かれらは真理がアッラーだけのものであることを知ります。そして、かれらが捏造していたものは、かれらから離れ去るのです。

76.確かにカールーンは、ムーサーの民（イスラーイールの子孫）の一人でしたが、かれら（これらの子孫）を抑圧しました。またわれらは、かれ（カールーン）に財宝を与えました。確かにその（宝庫の）鍵は、屈強な男たちの集団をもってしても重かったのです。かれの人びとが、かれに言いました。浮かれていてはいけません。誠にアッラーは、浮かれている人を好まれません。77.またアッラーがあなた（カールーン）に与えられたもので、来世の住まいを請い求め、この世におけるあなたの（妥当な）分け前を忘れてはいけません。そしてアッラーがあなたに善くしてきたように、あなたも善行をしなさい。地上において、腐敗を広げてはいけません。誠にアッラーは、腐敗を広げる人を好まれません。

78.かれ（カールーン）は言いました。これ（財宝）を授かったのは、わたしが持っている知識（能力）のおかげですと。（そう言うということは）アッラーがかれ以前に多くの世代を滅ぼしたことを、かれは知らないのですか。かれら（以前の世代）の中には、力はかれよりも強く、蓄えもより巨額なものもいました。罪深い人たちは、かれらの罪について問い正されないのです。

79.そこで、かれ（カールーン）は身を飾って、人びとの中に出て行きました。現世の生活を望んでいる人たちは言いました。ああ、カールーンに与えられたようなものが、わたしたちにも与えられたならばなあ。実にかれは、すばらしい幸運の持ち主です。80.でも知識を授けられた人たちは言いました。情けないことを言ってはいけません。信仰して善行に励

む人にとって、アッラーの報奨こそ一段と優れています。そしてよく耐え忍ぶ人だけに、それは授けられるのです。

81.その後われらは、かれ(カールーン)とかれの住まいを大地に飲み込ませました。結局、アッラーに対しては、かれを助ける一団もなく、また自分を守ることもできませんでした。82.次の日には、その前日までかれの立場を望んでいた人たちは、言い始めました。ああ、誠にアッラーは、かれが望む僕たちに糧を豊かに、あるいは制限して与えます。もしアッラーの恩寵がなかったなら、かれはわたしたちを大地に飲み込ませていたでしょう。ああ、非信者たちは決して成功しないのです。

83.来世の住まいとは、われらが、地上において優越することや腐敗を望まない人びとのためにもうけるものです。最後(の成功)は(アッラーを)意識する人たちに与えられるのです。84.善行を持って来る人にはそれに優るものを与え、悪行を持って来る人には、かれらがしてきたことに応じてのみ報います。

85.確かに、クルアーンをあなた(ムハンマド)に命じたかれは、あなたを帰る所に戻されます。言いなさい。わたしの主は、誰が導きをもたらし、また誰が明白な迷いの中にいるのかを最もよくご存知です。86.ただあなたの主からの慈悲として、啓典があなたに届けられることは、あなたが予期しなかったことです。だから、決して非信者を支持してはいけません。87.あなたに啓示された後、アッラーの印から(非信者に)あなたを遠ざけさせてはいけません。あなたの主に(人びとを)招きなさい。そして、多神教徒の一人となってはいけません。88.またアッラーと一緒に、他の神に祈ってはいけません。かれの他に神はいません。かれの尊顔の他、すべてのものは消滅します。かれに裁決はあり、またかれにあなた方は帰されるのです。

29. 蜘蛛章

al-'Anqabut

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ミーム。

2.人びとは、わたしたちは信じますと言えば、試みられることはなく、放って置かれると考えるのですか。3.確かに、われらはかれら以前の人びとも試みました。アッラーは誠実な人を知り、またかれは嘘つきも知っています。

4.もしくは悪を行なう人びとは、われらから逃れることができると考えているのですか。かれらがそう判断することこそ災いです。5.アッラーに会うことを切望する人よ、確かに、アッラーの期限はやって来ます。かれは全聴にして全知なのです。6.(アッラーの道において)奮闘努力する人は、自分自身のために奮闘努力しているのです。アッラーは、すべてについて、何一つ求めません。7.われらは信仰して善行に勤しむ人には、かれらの悪行を取り消し、かれらが行なってきた最善のことに報いるのです。

8.われらは人間に、親孝行するよう命じました。ただし、もしかれら(両親)があなたに知識がないものをわたしと同列に配するように強いるなら、かれらに従ってはいけません。わたしにあなた方の帰り所はあります。そのとき、わたしはあなた方の行なってきたことを告げるでしょう。9.信仰して善行に勤しむ人を、われらは必ず正しい人びとの中に入らせるのです。

10.人びとの中には、わたしたちはアッラーを信仰すると言う人がいます。ところが、かれがアッラー(の道)において苦難に会うと、かれは人びとからの試練をまるでアッラーの懲罰のようにみなすのです。でも、も

しあなたの主からの助けが来ると、確かにわたしたちはあなた方（信者たち）と一緒でしたとかれらは言うのです。アッラーはすべての世界の人の胸の中にあるものを、最もよくご存知ではないのでしょうか。11.アッラーは信仰する人たちも、偽信者たちをも知っておられます。

12.不信仰の人たちは信仰する人たちに向かって言いました。わたしたちの道に従いなさい。わたしたちがあなた方の罪を負いましょうと。しかし、かれらは少しも、あなた方の罪を負うことはありません。確かにかれらは嘘つきです。13.一方、かれらは自分の重荷を負い、その他（かれらが迷わせた人）の重荷をも負うでしょう。復活の日には、かれらが捏造していたことについて、必ずかれらは問い正されるのです。

14.確かに、われらはヌーフをかれの民に遣わしました。かれはかれらの間に1,000年より50年少ない間（950年間）留まりました。そして、かれらが不正を行なっている間に、洪水がかれらを襲いました。15.ただし、われらはかれと方舟の仲間とを救い、それをすべての世界のための諭しとしました。

16.また、イブラーヒームがかれの民にこう言ったときのことです。アッラーに仕え、かれを意識しなさい。もしあなた方が理解するなら、それがあなた方のために最も善いのです。17.あなた方はアッラーを差し置いて偶像に仕え、虚偽を作りあげているにすぎません。あなた方がアッラーを差し置いて仕えるもの（偶像）たちは、あなた方に糧を与える力はありません。だから、アッラーから糧を求め、かれに仕え、かれに感謝しなさい。あなた方はかれの御元に帰されるのです。18.もしあなた方が拒否するなら、（警戒しなさい）確かにあなた方以前の諸民族も拒否しました。使徒（の務め）は、ただ明瞭に（啓示を）伝えるだけです。

19.かれらはアッラーがいかに創造を始め、それからそれを繰り返すかを見ないのですか。真にそれはアッラーには容易なことです。20.言いなさい。地上を旅して観察しなさい。かれがいかに創造を始めたかを見

なさい。やがてアッラーは、最後の創造（来世をもたらすこと）をします。確かに、アッラーはすべてのことに全能です。21.かれは御心の人に苦痛を与え、御心の人に慈悲を与えます。そして、かれにあなた方は帰されるのです。22.あなた方は地においても天においても、（アッラーを）妨害する（逃れる）ことはできません。そして、アッラーの他に、あなた方の擁護者も援助者もないのです。23.アッラーの印を信じず、かれとの会見を信じない人は、わたしの慈悲を期待できず、かれらには厳しい苦痛があるのです。

24.かれ（イブラーヒーム）の民の返答はこう言うだけでした。かれを殺すか、または焼きなさい。でも、アッラーはかれを火から救いました。確かに、この中には信仰する人たちへの印があります。25.また、かれは言いました。あなた方がアッラーを差し置いて偶像に仕えるのは、現世の生活を愛して止まないからです。でも復活の日には、あなた方は互いに否認し合い、互いに拒否し合うでしょう。そして、あなた方の住まいは（地獄の）火であり、あなた方にはどんな救助者もありません。26.ルートはかれ（イブラーヒーム）を信じて言いました。わたしはわたしの主へと移り住みます（帰ります）。誠にかれは偉力大かつ英明なのです。27.また、われらはかれ（イブラーヒーム）にイスハークとヤアコーブを授け、その子孫の間に預言者たちと啓典を授けました。またかれには現世の報奨も与えました。確かに、かれは来世においても、正しい人の仲間になるのです。

28.またルートを（遣わしました）。かれはその民に言いました。あなた方はこのような淫らな行為を犯すのですか。あなた方より以前、どの民族もしたことがないのに。29.あなた方は男性に手を出し、道行く人を襲い、あなた方の集会でしてはならない悪行をするのですか。すると、かれの民はこう言うだけでした。あなたが真実を言うのなら、わたしたち

にアッラーの苦痛（懲罰）をもたらしてみなさい。30.かれは言いました。わたしの主よ、腐敗の民からわたしを助けてください。

31.それから、われらの使徒（天使）たちが、（子息誕生の）吉報を持ってイブラーヒームの所に来たとき、こう言いました。わたしたちはこの町の民を滅ぼします。実にこの民は不正を犯す人たちなのです。32.かれ（イブラーヒーム）は言いました。ルートがそこにいます。かれらは言いました。わたしたちは、誰がそこにいるかを（あなたより）よく知っています。わたしたちはかれ（ルート）もかれの家族も必ず救います。ただし、かれの妻を除いて。かの女は後方に残る民の仲間です。33.われらの使徒（天使）たちがルートのところに来たとき、かれはかれら（人びと）に困り果てて、どうしていいか分かりませんでした。かれら（天使）は言いました。心配してはいけません。悲しんではいけません。確かに、わたしたちはあなたとあなたの家族を救います。ただし、あなたの妻を除いて。かの女は後方に残る民の仲間です。34.わたしたちはこの町の民の上に、天から懲罰をもたらすところです。なぜなら、かれらは掟に背いてきたからです。35.われらは理性ある人びとのために、明証となる印としてこれ（ルートの民の廃墟）を残したのです。

36.またマドヤン（の民）には、かれらの同胞シュアイブを（遣わしました）。かれは言いました。わたしの民よ、アッラーに仕え、最後の日（の報奨）を望みなさい。地上で悪を行なって、腐敗を広げてはいけません。37.ところが、かれらはかれ（シュアイブ）を嘘つき呼ばわりしました。すると、大地震がかれらを襲い、翌朝かれらは、家の中にひれ伏して（死んで）いました。

38.また、アードとサムードについても、かれらの住まい（廃墟）からして、あなた方に明らかでしょう。自分たちの行ないが立派であると悪魔がかれらに思わせ、かれらを正道から踏み外させたのです。せっかくかれらは見識を与えられていたのに。

39.また、カールーンとフィルアウンとハーマーンについては、ムーサーが明証をもってかれらの所にやって来ました。かれらは地上で高慢でしたが、かれらはわれらに勝ることはできませんでした。40.それで、われらはかれらの罪によって、かれら全員を襲いました。かれらの中にはわれらが砂嵐を送った者（ルートの民の場合）、一声（で懲罰）が襲いかかった者（サムードの民の場合）、われらが大地に飲み込ませた者（カールーンの場合）、われらが溺れさせた者（ヌーフやフィルアウンの民の場合）がいました。これはアッラーがかれらを損なったのではありません。でも、かれらが自分自身を損なったのです。

41.アッラーを差し置いて、かれらが保護者にするものの例えは、（自ら）家を造る蜘蛛のようなものです。確かに（家の中でも）最も弱い家は、蜘蛛の家なのです。もしかれらが分かるなら（よかったのに）。42.真にアッラーは、かれらがかれを差し置いて祈るものを、すべてご存知です。かれは偉力大であり、英明なのです。43.われらは人類のために、これらの例えを明示するのです。でも、知識ある人の他は、これを理解しません。44.アッラーは真理をもって諸天と大地を創造しました。確かに、その中には信者への印があるのです。

45.この啓典（クルアーン）であなた（ムハンマド）に啓示されたものを読誦しなさい。そして礼拝の務めを守りなさい。確かに礼拝は、淫らな行為と悪行から遠ざけます。アッラーを唱念することこそ、偉大なのです。アッラーは、あなた方が行なうことをすべてご存知です。

46.◆21部◆　また（信者たちは）啓典の民と論争してはいけません。それ（論争）がより良いものでない限りは。ただし、かれら（啓典の民）の中で不正を行なう人たちは別です。それでこう言いなさい。わたしたちは自分たちに啓示されたものを信じ、あなた方に啓示されたものも信じます。わたしたちの神とあなた方の神は、唯一です。わたしたちはかれに服従しますと。

47.このように、われらはあなたに啓典を啓示したのです。それで啓典を与えられた人びとは、この啓典（クルアーン）を信じます。また、これら（マッカの人びと）の中にも、それを信じる人がいます。非信者を除いては、誰もわれらの印を否定しないのです。48.それ（クルアーン）以前に、あなた（ムハンマド）はいかなる啓典も読みませんでした。しかも、あなたの右手でそれを書きもしませんでした。もしそうであったら、虚偽に従う人たちは、疑いを抱いたでしょう。49.いいえ、これ（クルアーン）は知識を与えられた人びとの胸の中において（保持される）明らかな印です。だから、不正な人びとを除いて（誰も）われらの印を否定しません。

50.でも、かれらは言います。なぜかれの主から、かれに印（奇跡）がもたらされないのですか。言いなさい。（すべての）印（奇跡）はアッラーの御元にあるが、わたしは明白な警告者にすぎないのです。51.われらがあなたに啓典（クルアーン）を啓示し、それがかれらに読誦されるということで十分ではないのですか。確かに、その中には信仰する人たちへの慈悲と諭しがあります。52.言いなさい。アッラーはわたしとあなた方との間の立証者として十分です。かれは諸天と地にあるものをすべて知っています。だから、虚偽を信じてアッラーを拒否する人びとは損失者なのです。

53.かれら（非信者）は苦痛（懲罰）を急ぐように、あなた（ムハンマド）に求めます。もし定められた期限がなかったなら、（すでに）苦痛はかれらに届いていたでしょう。しかし（来る時は）まったく気づかない間に、突然かれらを襲うのです。54.かれらは苦痛を急ぐように、あなたに求めます。（急がなくても）必ず地獄が非信者たちを取り囲むのです。55.その日、かれらの上から、また足元から苦痛が襲うとき、かれは言います。あなた方がしてきたことを味わいなさい。

56.信仰するわたしの僕よ、確かに、わたしの大地は広大です。だから、わたしだけに向かって、わたしだけに仕えなさい。57.人は全員、死

を味わいます。それからあなた方は、われらに帰されるのです。58.信仰して善行に勤しむ人びとには、われらは川が下を流れる楽園に住まいを与え、永遠にそこに住まわせます。善行者が得るご褒美は何とすばらしいものでしょうか。59.これらの人はよく耐え忍び、かれらの主に頼り切っています。60.自分の糧を確保できない生きものが、どれだけいることでしょうか。アッラーが、かれらとあなた方に糧を与えます。かれは、全聴かつ全知なのです。

61.もしあなた（ムハンマド）がかれら（非信者）に、誰が諸天と地を創造し、太陽と月を従わせているのですかと問えば、かれらはアッラーだと言います。それならどうして、かれらは惑わされたのでしょうか。62.アッラーはかれの僕の中で、かれが望む人に豊かに糧を与え、また望む人にそれを切り詰めます。誠にアッラーは、すべてのことを熟知しています。63.もしあなたがかれらに、誰が空から水（雨）を降らせ、死の大地に生命を吹き込むのですかと問えば、かれらはアッラーと言います。言いなさい。アッラーにすべての称賛を捧げますと。でも、かれらの多くは理解しないのです。

64.現世の生活は、遊びや戯れにすぎません。そして来世の住まいこそが（真実の）生活です。もしかれらが分かっていたなら（よかったのに）。65.かれらは船に乗っていると、アッラーに至誠の信心を尽くします。でも、かれがかれらを陸に送ると、何とかれらは神々を配するのです。66.だからわれらが与えたものに対して忘恩にさせ、享楽に溺れるにまかせておきなさい。かれらは今に分かるでしょう。

67.かれらはわれらが安全な禁忌のある場所（マッカ）を設けたことを見ないのですか。かれらの周囲では、人びとが略奪されているというのに（マッカが安全なのはアッラーの恩寵）。それでもかれらは虚構（神々）を信じ、アッラーの恩寵に感謝しないのですか。68.アッラーに対して嘘を捏造し、真理が届いたときにそれを拒否する人よりも、不当な人が

いるでしょうか。地獄の中には、非信者たちの住みかがない（と考える）のですか。69.われら（の道）のために奮闘努力する人びとは、われらがわれらの道に導きます。確かに、アッラーは行ないの善い人びと共にいるのです。

30. 東ローマ人章

al-Rum

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ミーム。

2.東ローマ人たちは敗北しました。3.（アラビア半島に）近接する地において。しかし、かれらはその敗北の後（ペルシア帝国を）打倒するでしょう。4.数年の間に。（敗北の）以前も以後も、万事はアッラーに属します。その（東ローマ人たちの勝利の）日、信者たちは喜ぶでしょう。5.アッラーの助けがあったことについて（喜びます）。かれは御望みの人を助けます。かれは偉力大で、慈悲深いお方なのです。6.（勝利は）アッラーの約束です。アッラーは、かれの約束を破りません。でも、ほとんどの人は知らないのです。7.かれらは現世の生活の表面を知るだけで、実にかれらは来世については留意しません。

　8.かれらは自分自身について、よく考えなかったのでしょうか。アッラーは諸天と地、そしてその間にあるすべてのものを、真理（目的）ならびに定められた期限をもってしか創造しませんでした。しかし、人びとの多くはかれらの主との会見を否定するのです。9.かれら（マッカの多神教徒たち）は地上を旅して、かれら以前の人びとの末路がどのようであったかを観察しなかったのですか。かれら（以前の人びと）は、かれら（マッカの多神教徒たち）よりも力において優れ、大地を耕して、かれらの建築よりもっと多く建設していました。そしてかれらの使徒たちが明証を持

って、かれらの所に来たのです。だから、アッラーがかれらを損なったのではありません。かれらが（使徒たちを拒否して）自分自分を損なったのです。10.その後、悪を行なった人びとの末路は、最悪なものでした。かれらはアッラーの印を拒否し、それを笑い草にしていました。

11.アッラーは創造を始め、さらにそれを繰り返し、それからかれに、あなた方は帰されるのです。12.（審判の）ときがやって来る日、罪深い人びとは絶望します。13.そして、かれらの神々（の中）には、かれらのために執り成す者はいません。だから、かれらが自らの神々を信じることはもはやないのです。14.（審判の）時がやって来る日は、かれらが分断される日なのです。15.そのとき、信仰して善行に勤しんだ人びとは、楽園に入ります。16.でも不信仰で、われらの印と来世での（アッラーとの）会見を否定した人びとは、苦痛（懲罰）に立ち会わされます。17.だから、晩を迎えるときと暁を迎えるときに、アッラーを賛美しなさい。18.かれにこそ、諸天と地におけるすべての称賛があるのです。また午後と真昼を迎えるときに（アッラーを賛美しなさい）。

19.かれは死から生をもたらし、生から死をもたらします。また死の大地に生命を吹き込みます。そして、このように、あなた方も（墓から）外へ出される（復活する）のです。20.かれの印の一つは、かれが土からあなた方を創ったことです。だから見なさい。あなた方人間は（地上に）拡散しています。21.また、かれの印の一つは、かれがあなた方のために、あなた方自身から配偶者を創ったことです。あなた方がかの女の元で静穏を得られるように。そして、かれはあなた方の間に愛と慈しみの心をもうけました。確かに、その中には熟考する人びとへの印があるのです。

22.また、かれの印の一つは、諸天と地の創造と、あなた方の言語と肌色の多様性です。確かに、その中には知識ある人たちへの印があるのです。23.またかれの印の一つは、あなた方の夜と昼の睡眠と、かれの恩

恵を求めること（アッラーの糧を得ること）です。確かに、その中には聞く耳を持つ人びとへの印があるのです。24.また、かれの印の一つは、稲妻をあなた方に見せて、恐怖と希望を引き起こし、空から水（雨）を降らせて、死の大地に生命を吹き込むことです。確かに、その中には理性ある人びとへの印があるのです。

25.また、かれの印の一つは、かれの命令によって諸天と地をしっかり存立させていることです。それから、一声かれがあなた方を呼べば、見なさい。大地からあなた方は外へ出るのです。26.諸天と地にあるものはすべてかれに属します。すべてはかれに従順です。27.かれこそは創造を始め、さらにそれを繰り返す方です。それはかれにとって、より容易なことです。そしてかれに、諸天と地における最高の例えは属します。かれは偉力大であり、英明なのです。

28.かれはあなた方に、あなた方自身（の日常生活）から例えを明示します。あなた方は自らの右手が所有する者たち（奴隷）を仲間にして、われらが与えたもの（糧）を等しくするのですか。（あるいはまた）あなた方が互いに恐れるように、かれら（奴隷）を恐れるのですか。このように、われらは理性ある人びとに印を説き明かします。29.いいえ、不正を行なう人びとは、知識もなくかれらの妄欲に従うのです。それでアッラーが迷うに任せたものを、誰が導けるでしょうか。かれらに援助者はないのです。

30.だから、あなたの顔を一心に教えに向けなさい。（その教えは）アッラーが人間に賦与された天性（の宗教）なのです。アッラーの創造したものに変更はありません。それは正しい教えです。でも、ほとんどの人びとは知らないのです。31.かれに向くことです。かれを意識し、礼拝の務めを守り、多神教徒の仲間になってはいけません。32.かれらは宗教を分裂させて分派を作り、各派はかれら自らが持っているものに喜んでいるのです。

33.苦難が人びとを襲うと、かれらはかれに向かって、かれらの主に祈ります。そして、かれがかれからの慈悲をかれらに味わわせると、見なさい。かれらの一部は主に神々を配し、34.われらが与えたものに忘恩となるのです。それなら（現世の生活を）享楽していなさい。やがて、あなた方は知るでしょう。35.もしくは、かれらがかれに神々を配するようにと語る（教える）権威を、われらがかれらに下したのでしょうか。

36.われらが人間に慈悲を味わわせると、かれらはそれに歓喜します。ところが、かれらの手がなしたことのために災厄がかれらを襲うと、見なさい。かれらは絶望してしまうのです。37.かれらは見ないのでしょうか。アッラーが御望みの人に糧を豊かに与え、そして（望みのままに）制限して与えるかを。確かに、その中には信仰する人びとへの印があるのです。38.それで、近親の者に正当な権利を与えなさい。また困窮の人や旅人にも。それはアッラーの尊顔を求める人たちにとって、最も善いことです。これらの人たちこそ（究極の）成功者なのです。39.人の財産を通して利益を増やすために、あなた方が与えた利息は、アッラーの御元では何も増やしません。しかし、アッラーの尊顔を求めてする定めの施し（ザカート）については、その人たちは（利益が）倍増するのです。

40.アッラーこそはあなた方を創造し、糧を与え、それからあなた方を死なせ、さらに生を与えた方です。あなた方の神々の中で、これらの一つでもできるものがいるのですか。かれに賛美あれ。かれはかれらが同位に配するものより、はるか上に高くおられるのです。41.人間の手が稼いできたことのために、陸と海（の至る所）に腐敗が現れています。かれがかれらの行なったこと（に対する報い）の一部をかれらに味わわせるのは、それによって、かれらが（アッラーへと）戻るかもしれないからです。42.言いなさい。地上を旅しなさい。そしてかれら以前の人びとの末路がどうであったかを観察しなさい。かれらのほとんどは多神教徒でした。

43.それでアッラーから逃げられない（審判の）日が来る前に、あなたの顔を正しい教えに向けなさい。その日、かれら（人びと）は分断されます。44.不信心の人は、その不信心の重荷を負います。他方、正しい行ないをした人（信者）は、自分自身のために（善い結果を）準備してきたこととなります。45.つまり、かれは信仰して善行に勤しむ人たちに、かれの恩恵から報いるのです。確かに、かれは信仰を拒否する人びとを好みません。

46.かれの印の一つは、吉報の知らせとして、かれが風を送ることです。また（風は）あなた方にかれの慈悲を体験させるためです。つまり、かれの命令によって（風は）船を進ませ、それによってあなた方は、かれの恩恵を求めること（航海、漁業、貿易など）ができるのです。きっとあなた方は感謝するでしょう。47.確かに、われらはあなた以前にも、使徒たちをかれら（同胞）の民に遣わしました。かれら（使徒たち）はかれら（民）に明証を持ってきたのです。そして、われらは罪を犯した人びとに報復しました。また信仰する人びとを助けるのは、われらの務めでした。

48.アッラーこそは風を送る方で、雲を生起させる方です。それから、かれはかれが望むように空にそれ（雲）を広げて、散りばめると、あなたはその間から出てくる雨を見るのです。かれが御望みの僕にそれ（雨）を降らせると、見なさい。かれらは歓喜します。49.ただし、かれらの上にそれ（雨）が降る前は、確かにかれらは絶望していたのです。50.アッラーの慈悲の跡をよく見なさい。どのようにかれが死の大地に生命を吹き込むのかを。確かに、かれは死人に命を与えます。かれはすべてに対して全能なのです。51.ところがわれらが風を送って、それ（作物）が黄ばむのを見ても、その後かれらは信仰を拒否し続けるのです。52.確かに、あなたは死人に聞かせることはできません。また、耳が聞こえない人が背き去るとき、かれらに掛け声を聞かせることもできません。53.また、あなたは目が見えない人を、過ちから導くこともできません。あなたはわれら

の印を信じて、従う人たち（ムスリム）だけに、聞かせることができるのです。

54.アッラーこそはあなた方を弱いものから創り、弱いものの後に強いもの（成人）にし、さらに強いものとした後に、白髪の弱いもの（老人）にしました。かれは御望みのものを創ります。かれは全知かつ全能なのです。55.（清算の）ときが確立するその（審判の）日、罪深い人たちは（現世もしくは墓の中に）一時しか留まらなかったと誓います。このように、かれらは常に欺かれていたのです。56.でも、知識と信仰を与えられた人たちは言います。あなた方はアッラーの書板（にある定め）に基づいて、復活の日まで留まりました。そして、これが復活の日です。ただし、あなた方は気づきませんでした。57.それでその日、不正を行なった人たちの言い訳は役に立たず、またかれらは、その過ちを説明する（改心してアッラーを喜ばす）ことも求められないのです。

58.確かに、われらは人類のため、このクルアーンの中においてあらゆる例えを明らかにしました。一方で、あなた(ムハンマド)がかれらに印（奇跡）を持ってきても、信仰を拒否する人たちは言うのです。あなた方は虚偽に従う人たちにすぎないと。59.このようにアッラーは、理解しない人たちの心を封じます。60.だから耐え忍びなさい。誠にアッラーの約束は真実です。だからしっかりした信仰心のない人たちに、あなたは失望させられてはいけません。

31. ルクマーン章

Luqman

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ミーム。

2.これ（クルアーン）は英知の啓典の印（諸節）であり、3.善い行ないをする人たちへの、導きと慈悲なのです。4.かれらは礼拝の務めを守り、定めの施しをなし、そしてかれらこそ来世を確信する人たちです。5.これらの人たちはかれらの主の導きの上にあり、かれらこそ成功者なのです。

6.人びとの中には娯楽話を買い込んで、無知にもアッラーの道から（人びとを）迷わせ、それ（クルアーン）を笑い草にする人びとがいます。かれらには、恥ずべき苦痛（懲罰）があります。7.われらの印（諸節）がかれ（非信者）に読誦されると、かれはそれを聞こえないかのように、（また）耳が聞こえない人のように、高慢に背を向けます。かれには、厳しい苦痛を知らせなさい。8.確かに、信仰して善行に勤しむ人には安楽の園があり、9.永遠にその中に住むのです。アッラーの約束は真実です。かれは偉力大かつ英明なのです。

10.かれはあなた方に見える柱もない諸天を創り、大地があなた方をふらつかせないように、どっかりと山々を据えました。そしてそこに、多種多様な生き物を展開しました。また、われらは空から水（雨）を降らせ、地上にあらゆる見事な植物を生育させました。11.これがアッラーの創造です。だからアッラー以外のものが創造したものを、わたしに見せてみなさい。とんでもない。不正な人（非信者）たちは、明らかな迷誤の中にいるのです。

12.確かに、われらはルクマーンにアッラーに感謝するよう英知を授けました。誰でも感謝する人は、そうすることが自分のためになるので

す。忘恩な人に向かって、アッラーは満ち足りておられ、称賛される方なのです。13.さてルクマーンが、かれの息子に諭して言ったときです。息子よ、アッラーに同位者を配してはいけません。同位者を配することは、真に重大な不正なのです。

14.そしてわれらは人々に対して、両親というものについて説きました。その母親は痛みに痛みを重ねてかれ（子）を（腹に）抱え、離乳までに2年かかります。だからわたしとあなたの両親に感謝しなさい。わたしに（最後の）帰り所があるのです。15.ただし、もしかれら（両親）があなたに知識がないもの（啓典に根拠がないもの）を、わたしと同列に配するようにさせるなら、かれらに従ってはいけません。でも（一般には）現世ではかれらに善良にして、わたしへと戻る人の道に従いなさい。わたしこそが、あなた方の帰り所なのです。われらはあなた方が行なってきたことを知らせるでしょう。

16.わたし（ルクマーン）の息子よ、たとえ、からし種一粒の重さであっても、それが岩の中、または諸天の上、または地下にあっても、アッラーはそれを持ち出します。誠にアッラーは、繊細で（何事も）よく知っている方です。17.わたしの息子よ、礼拝の務めを守り、善を勧め悪を禁じ、あなたに降りかかることを耐え忍びなさい。そうすることが望ましいのです。18.他人にあなたの頬を（傲慢に）背けてはならない。また横柄に地上を歩いてはいけません。確かにアッラーは、すべてのうぬぼれた自慢屋を好みません。19.そして穏やかに歩き、あなたの声を低くしなさい。最もぶざまな音は、ロバの鳴き声なのです。

20.あなた方は見ないのですか。アッラーが諸天にあり地にあるすべてのものを、あなた方のために従わせ、外面的にも内面的にもかれの恩恵を十分に与えたことを。人びとの中には知識も導きも光明の啓典もないのに、アッラーについて論争する人がいます。21.アッラーが啓示したものに従いなさい、とかれらに言うと、かれらはこう言い返します。

いいえ、わたしたちは先祖たちのものに従いますと。何と、たとえ悪魔がかれらを、炎の苦痛に招いてもよいのですか。

22.誰でもかれの顔をアッラーに向けて善行に励む人は、堅固な取っ手を握った人で、万事の結末はアッラーにあるのです。23.誰かが信仰しなくても、かれの不信仰があなた（ムハンマド）を悩ましてはいけません。われらにかれらの帰り所はあります。そのときわれらはかれらが行なってきたことを、かれらに知らせるでしょう。確かにアッラーは、（人間が）胸に抱くことをご存知です。24.われらはしばらくかれらに享楽を与え、それから酷い苦痛を強いるのです。

25.あなたがかれらに、誰が諸天と地を創造したのかと問えば、かれらはアッラーと言います。言いなさい。アッラーにすべての称賛あれ。でもかれらの多くは、知らないのです。26.諸天と地のすべてのものはアッラーに属します。確かに、アッラーは豊かに満ち足りている方で、称賛されるべき方です。27.たとえ地上のすべての木がペンで、海（インク）に七つの海を加えても、アッラーの言葉が（書き）尽くされることはありません。真にアッラーは偉力大であり、英明なのです。

28.あなた方の創造も復活も一つの魂（を扱う）にすぎません。誠にアッラーは全聴にして全視なのです。29.あなたは見ないのですか。アッラーが夜を昼に入り込ませ、また昼を夜の中に入り込ませ、太陽と月を従わせて、すべてが定められた期間を動いていることを。誠にアッラーは、あなた方の行なうことをご存知なのです。30.それはアッラーこそが真理だからです。かれを差し置いて、かれらが祈るものは虚偽であり、真にアッラーこそは至高にして至大なのです。

31.あなたは見ないのですか。アッラーの恩恵によって船が海を進むのを。（それは）かれがかれの印をあなた方に示すためです。確かに、その中には辛抱し感謝するすべての人のための数々の印があります。32.大波が大きな影のようにかれら（船乗り）を覆うとき、かれらは至誠

を尽くしてアッラーに祈ります。でも、かれがかれらを無事陸地に運ぶと、かれらの中のある人は（信仰に）あやふやな状態になります。ただし、忘恩の裏切り者でない限り、誰もわれらの印を否定しません。

33.人びとよ、あなた方の主を意識しなさい。父がその子のために役に立たず、子もその父のために役に立たない（最後の）日を恐れなさい。誠にアッラーの約束は真実です。あなた方は現世の生活に欺かれてはいけません。またアッラーのことについて欺く人に、欺かれてはいけません。34.確かに、アッラーだけに（審判の）ときの知識はあります。またかれは雨を降らせ、胎内にあるものをも知っています。でも人間は明日自分が何を稼ぐかを知らず、どこの地で死ぬかも知りません。誠にアッラーは全知で（何事も）お見通しの方なのです。

32. 平伏礼章

al-Sajda

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アリフ・ラーム・ミーム。

2.この啓典（クルアーン）はその中に全く疑いの余地はなく、すべての世界の主から啓示されたものです。3.それなのに、かれらはかれ（ムハンマド）がそれを捏造したと言うのですか。いいえ、それはあなたの主からの真理で、あなた以前に一人の警告者も来なかった（マッカの）民に警告するためのものです。そうすることで、かれらは導かれるでしょう。

4.アッラーこそは６日の間に諸天と地、また、それらの間のすべてのものを創造し、さらにかれはかれ自身を玉座の上に置かれます。あなた方にはかれの他に擁護者はなく、執り成す者もいません。それでも、あなた方は留意しないのですか。5.かれは、天から地までのすべてのものを統制します。それから（復活の日）それ（すべて）は、１日でかれへと昇

ります。その（1日の）長さは、あなた方が計算する1,000年です。6.そのような方は、目に見えない世界と目に見える世界を（すべて）知っている方で、偉力大かつ慈悲深いお方なのです。7.かれこそが創造したすべてを最も善美なものにし、土から人間の創造を始めました。8.さらにかれは、卑しい水（精液）から抽出して、その（人間の）後継者をもうけました。9.さらにかれは、かれ（人間）を形造り、かれの魂をかれに吹き込み、そしてあなた方のために聴覚と視覚と心をもうけました。（それなのに）あなた方はほとんど感謝もしません。

10.かれらは言います。地中に消え去ってから、確かにわたしたちはもう一度、新たに創造されるのでしょうか。いいえ、かれらは主との会見を、信じない人びとなのです。11.言いなさい。あなた方のことを任された死の天使が、あなた方を刈り取って、それからあなた方を主に帰らさせるのです。12.あなた（ムハンマド）が見ていれば（凄さが分かったのに）。罪深い人たちがかれらの主の前で頭を垂れて、主よ、わたしたちは見て、聞いたので、（再び現世に）戻してください、わたしたちは善行に励みます、わたしたちはようやく確信しましたと（言う姿を）。13.もしわれらが望むなら、すべての魂に導きを与えることもできました。しかし、ジン（幽精）と人間を一緒にして地獄を満たすという、わたしの言葉も真実なのです。14.だから（地獄を）味わいなさい。あなた方がこの日の会見を忘れていたので、われらもあなた方を忘れました。あなた方がしてきたことに対する、永遠の苦痛（懲罰）を味わいなさい。15.われらの印を信じる人とは、かれらにそれが述べられると身を投げだして平伏礼をし、かれらの主を称賛（の言葉）をもって賛美して、唱念する人たちです。かれらは高慢ではないからです。16.かれらはその寝床から（夜間）離れて、（地獄の）恐れと（お赦しの）願望を抱いて主に祈り、われらが与えたものから施します。17.かれらが行なってきたことに対する報奨として、

かれらの目の癒しとなる（喜ばせる）隠されたもの（善果）を誰も知りません。

18.では、信者が掟破りと同じでしょうか。かれらは同じではありません。19.信仰して善行に勤しむ人びとは楽園が住まいで、それはかれらがしてきたことへの報奨なのです。20.でも掟破りの住まいは、（地獄の）火です。かれらがそこから出ようとするたびに、その中に引き戻されて、こう言われます。あなた方が否定してきた（地獄の）火の苦痛を味わいなさいと。21.われらは大きい苦痛の前に、手近な苦痛をかれらに味わわせます。そうすることで、かれらは（アッラーへ）戻ってくるかもしれません。22.かれの主の印が諭されたのに、それから背き去る人よりも不正な人がいるでしょうか。確かにわれらは、罪深い人びとに報復するのです。

23.確かに、われらはムーサーに啓典（律法）を授けました。だから、あなた（ムハンマド）はその会見について疑ってはいけません。われらはそれ（律法）をイスラーイールの子孫たちの導きとしました。24.かれらがよく耐え忍び、われらの印を確信したときに、われらはかれらの間から、われらの命令によって（人びとを）導く指導者をもうけました。25.確かにあなたの主は、かれらが意見を異にしていたことについて、復活の日にかれらの間を裁決するのです。26.かれら（非信者たち）に明らかにならなかったのですか。かれら以前にわれらがどれだけ多くの世代を滅ぼしたかについて。かれらはかれら（滅ぼされた世代）の住まい（廃墟）を往来しているのです。確かに、その中には数々の印があります。それでもかれらは聞く耳を持たないのですか。

27.また、われらが水を不毛の地に送り、それで穀物を育成させ、家畜およびかれら（非信者たち）自身が食べるのを見ないのですか。かれらは見る目を持たないのですか。28.かれらは言います。もしあなた方が言うことが真実なら、裁決はいつ来るのですか。29.言いなさい。裁決の

日に信仰しても、不信仰であった人びとには益にならず、またかれらは猶予もされないのです。30.だから、あなたはかれらから離れて待ちなさい。かれらもまた待っているのです。

33. 部族連合章

al-'Ahzab

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.預言者（ムハンマド）よ、アッラーを意識し、非信者や偽信者に従ってはいけません。確かに、アッラーは全知にして英明です。2.主からあなたに啓示されたところに従いなさい。間違いなく、アッラーはあなた方の行なうことを、知り尽くしています。3.アッラーにすべてを託しなさい。確かに、アッラーは保護者として万全なのです。

4.アッラーはどんな男の体にも、二つの心臓はもうけませんでした。また、かれはあなた方が（相手が自分の母親の背中のようだと告げて）ズィハール離婚する妻たちを、あなた方の母親とはしませんでした。さらに、かれはあなた方の養子を、あなた方の実子ともしませんでした。これらは、あなた方が口先だけで言っていたこと（虚偽）です。一方、アッラーは真実を語り、また（正しい）道に導きます。5.かれら（養子）の実父（の姓）で、かれらを呼びなさい。それがアッラーから見て、最も正しいのです。たとえかれらの実父（の姓）が分からなくても、かれらは信仰上のあなた方の兄弟であり友人です。あなた方がそれ（呼び名）について誤ることがあっても、罪はありません。ただし、あなた方がわざとした場合は別です。アッラーはよく赦す方であり、慈悲深いお方なのです。

6.預言者は信者たちにかれら自身よりも近く（愛すべき存在）、またかれの妻たちはかれら（信者たち）の母391です。またアッラーの書板では、実の血縁関係者は（マディーナの）信者（アンサール）や（マッカより

の）移住者（ムハージル）よりも、（相続上）親近です（権利があります）。ただし、あなた方の親友のためには（相続において）親切にしなさい。これは書板に記されていることなのです。

7.また、われらが預言者たちから誓約を取ったときのことです。あなた（ムハンマド）からも、またヌーフ、イブラーヒーム、ムーサー、マルヤムの子イーサーからも（取りました）。われらは厳かにかれらから誓約を取りました。8.なぜなら、かれが正直な人たちからさえも、かれらの正直さを求めるためでした。そして、かれは非信者のためには、厳しい苦痛（懲罰）を備えました。

9.信仰する人たちよ、あなた方に与えられたアッラーの恩恵を思いなさい。大軍（部族連合軍）があなた方に攻め寄せて来たとき、われらはかれらに対し強風と、目に見えぬ軍勢（天使たち）を遣わしました。アッラーは、あなた方が行なうことを洞察しておられます。10.かれら（大軍）があなた方の上から、また下から襲って来たとき、目は反り返り、心臓は喉もとまで突き出て、あなた方はアッラーについていろいろと（悪い）想像をしました。11.こうして信者たちは試みられ、かれらは酷い動揺に揺さぶられました。

12.そのとき、偽信者や心に病の宿っている人たちは言いました。アッラーとその使徒がわたしたちに約束したのは、ただの誤魔化しにすぎないと。13.また、かれらの一団は言いました。ヤスリブ（マディーナ）の民よ、あなた方にはとても対抗できるものではない、引き返しなさいと。また、かれらのある一団は預言者に（戦いからの帰還の）許しを願って言いました。本当にわたしたちの家は（危険に）晒されていますと。かれらは晒されているのではありません。ただ逃亡を望んだだけでした。14.もしかれら（大軍）が四方からそこに侵入して来て、裏切り（棄教）を呼びかけたなら、かれら（偽信者）は必ずこれを受け入れ、（ムスリムの敵となることに）少しもためらうことはなかったでしょう。15.しかも、かれら

は決して背き去らないと、以前アッラーに誓っていたのでした。アッラーとの約束には（必ず）応報があります。16.言いなさい。たとえ死や戦死から免れても、逃亡はあなた方を益しません。あなた方は（現世の）束の間を楽しむだけです。17.言いなさい。もしアッラーがあなた方に災いを望まれ、また慈悲を施そうと望まれたなら、誰がそれを止められるでしょうか。アッラーの他には、かれらの擁護者も援助者もいないのです。

18.確かに、アッラーは知っています。あなた方の中で（戦いの）邪魔をした人たちと、またその同胞に向かって、わたしたち（偽信者）の方に来なさいと誘った人たちを。かれらはほとんど戦いに出ませんでした。19.（偽信者は）あなた方に対して、助力を惜しみます。そしてあなたは、かれら（偽信者）に危険が訪れたとき、瀕死の人のように目玉をぐるりと回して、あなたを凝視するかれらを見たのです。それで危険が去ると、かれらは唇を尖らせてあなた方を痛烈に非難し、良いもの（戦利品）を欲しがりました。これらの人は信者ではありません。だから、アッラーはかれらの行ないを無効にされたのです。それはアッラーには容易なことでした。20.かれら（非信者や偽信者）は、部族連合軍が撤退しなかったと考えているのです。もし部族連合軍が（また）来るなら、かれらは砂漠のアラブ遊牧民の間に身をひそめて（遠くて安全なところから）、あなた方の知らせを聞くことを願っています。たとえ、かれらがあなた方の中にいても、ほとんどの人は戦わないでしょう。

21.誠にアッラーの使徒は、アッラーと最後の日に望みをかける人とアッラーを多く唱念する人にとって、立派な模範でした。22.信者たちは部族連合軍を見たとき言いました。これはアッラーとかれの使徒がわたしたちに約束されたもので、アッラーとかれの使徒は真実を語りましたと。それは、かれらの信心と服従の心をますます深めました。23.信者たちの中には、アッラーと結んだ約束に忠実であった人たちが（多く）いました。そして、ある人はその誓いを果たし（殉教し）、またある人はまだ待

っています。かれらは少しも（その信念を）曲げませんでした。24.（このような試練によって）アッラーは忠実な人びとをその忠実さゆえに報い、またかれが御望みなら、偽信者たちを罰し、あるいはかれらを赦すのです。真に、アッラーはよく赦す方であり、慈悲深いお方なのです。

25.アッラーが不信心な人たちを（砂嵐によって）怒りのうちに撤退させたので、かれらは何も得るものがありませんでした。信者たちには戦いにおいてアッラーがいれば万全です。アッラーは強力にして偉力大な方なのです。26.また、かれはかれら（部族連合軍）を後援した啓典の民を、かれらの砦から追い払い、その心の中に恐怖を投じました。あなた方はある一団を殺し、またある一団を捕虜としました。27.また、かれはかれら（啓典の民）の土地、住宅、財産、またあなた方の未踏の地を、あなた方に継がせました。アッラーは、すべてのことに全能なのです。

28.預言者（ムハンマド）よ、あなたの妻たちに言いなさい。もしあなた方が現世の生活とその虚飾を望むなら、こちらに来なさい。わたしはあなた方に（糧を）提供するので、きっちり別れましょう。29.でも、あなた方がアッラーとかれの使徒、そして来世の住まいを求めるなら、アッラーはあなた方の中で善行に勤しむ者に、偉大な報奨を準備しているのです。30.預言者の妻たちよ、あなた方の中で明らかにみだらな行為を犯した人には、苦痛が倍加されます。アッラーにとって、それは容易なことです。

31.◆22部◆そして、あなた方（妻たち）の中で、アッラーとかれの使徒にしっかり従い善行に励む人には、われらは倍加した報奨を与えます。また、われらはかの女のために気前良い糧を準備しました。32.預言者の妻たちよ、あなた方は（他の）女たちと同じではありません。もしあなた方がアッラーを意識するなら、心に病ある人が欲情をたくましくしないように、（男性と話すときは）言葉を優しくしてはいけません。そして良識に従ってものを言うように。

33.あなた方の家に静かにして、(イスラームより)以前の無知な時代のように華美な飾りをしてはいけません。礼拝の務めを守り、定めの施しをなし、アッラーとかれの使徒に従順でありなさい。この家の人たちよ、アッラーはあなた方から不浄を払い、あなた方が清浄であることを望まれています。34.また、あなた方の家の中でアッラーの印(クルアーン)と英知(スンナ)から読誦されるものに留意しなさい。誠に、アッラーは親切にして、すべてをご存知なのです。

35.ムスリムの男性と女性、信仰する男性と女性、敬虔な男性と女性、正直な男性と女性、忍耐強い男性と女性、謙虚な男性と女性、施しをする男性と女性、斎戒(断食)する男性と女性、貞淑な男性と女性、アッラーを多く唱念する男性と女性。確かに、これらの人のために、アッラーは罪を赦し、偉大な報奨を準備しました。36.信仰する男性も女性も、アッラーとかれの使徒が何かを決めたときには、(自由に)選択すべきではありません。アッラーとかれの使徒に背く人は、明らかに道を誤った人です。

37. アッラーが恩恵を授け、またあなた(ムハンマド)も親切を尽くした人(養子のザイド)に、あなたがこう言ったときのことです。妻(ザイナブ)をあなた(ザイド)自身の元に留め、アッラーを意識しなさいと。あなた(ムハンマド)はアッラーが公にすること(養子ザイドの妻との結婚の意図)を自分の中に隠し、人びとのことを恐れていました。むしろ、あなたはアッラーを畏れるべきでした。それで、ザイドがかの女(ザイナブ)について所要な手続きを済ませ(離婚し)たとき、われらはあなた(ムハンマド)をかの女と結婚させました。こうすることで信者が所要の(離婚)手続きを終えたなら、自分の養子の(元)妻たちでも(結婚が)できることにしたのです。そして、アッラーの命令は完遂されるのです。38.アッラーが命令したことについて、預言者に責めはありません。これはあなた以前の人たち(使徒たち)に関するアッラーの慣行でもありました。アッラー

の命令は、動かせない定めなのです。39.（使徒たちは）アッラーのお告げを伝え、かれを畏れ、またアッラー以外の何ものをも畏れない人たちでした。アッラーは清算者として万全です。40.ムハンマドは、あなた方の男たちの誰の父親でもありません。しかしアッラーの使徒であり、また預言者たちの封印（最後の人）です。アッラーはすべてのことをご存知なのです。

41.信仰する人たちよ、アッラーを常に唱念しなさい。42.朝な夕な、かれを賛美しなさい。43.かれこそは、あなた方を暗黒から光明に連れ出すために、天使たちともどもあなた方を祝福する方です。かれは信者に慈悲深いのです。44.かれらがかれに会う（審判の）日の挨拶は、平安あれ（サラーム）です。かれはかれらのために、気前良い報奨を準備しました。

45.預言者（ムハンマド）よ、確かにわれらはあなたを証人として、また吉報の伝達者および警告者として遣わしました。46.また、かれの許しをもって（人びとを）アッラーに招く人として、光明を行き渡らせる灯明としても（遣わしました）。47.だから、信者たちにアッラーからの偉大な恩寵があるとの吉報を伝えなさい。48.非信者たちや偽信者たちに従ってはいけません。かれらの妨害を意にとめず、ただひたすらアッラーを信頼しなさい。アッラーは保護者として万全なのです。

49.信仰する人たちよ、あなた方が信者の女性と結婚して、かの女に触れる前に離婚する場合は、かの女らについて定めの（待婚）期限を計算することはありません。かの女たちに贈与を与え、また面目を立てて、かの女たちを自由にしなさい（離婚しなさい）。

50.預言者（ムハンマド）よ、われらがあなたの妻として許した人は、あなたが婚資を与えた妻たち、またアッラーがあなたに授けた戦利品のうち、あなたの右手が所有する人（女性の奴隷）、あなたの父方のおじとおばの娘たち、母方のおじとおばの娘たち、あなたと共に移住してき

た人、また信仰する女性で自らを預言者に献上したいという人で、もし預言者がかの女と結婚を欲するなら（許されます）。これはあなただけ（特例）で、他の信者たちには許されません。われらはかれら（信者たち）の妻とその右手が所有する人について、かれらに命令したことを承知しているので、あなたが責められて困ることはないでしょう。アッラーはよく赦す方であり、慈悲深いお方なのです。

51.あなた（ムハンマド）は望むように、かの女たちの中から（自分との結婚を）先送りし、また受け入れてもかまいません。また、あなたが（寝床を共にすることを）退けていた人を欲しても、責めはありません。これはかの女らを悲しませず、あなたがかの女たち全員に与えるもので、かの女たちの目を冷やす（喜ばせる）ためにより適切なのです。アッラーはあなた方が胸に抱くことを知っています。アッラーは全知にして度量が広いのです。52.（これ）以後は、あなたに女性（との結婚）は許されません。また、たとえかの女たちの美貌があなたの気をひいても、妻たちを取り換えることもできません。ただし、あなたの右手が所有する人は別です。アッラーはすべてのことを監視しているのです。

53.信仰する人たちよ、預言者（ムハンマド）の家に入ってはいけません。ただし、あなた方が食事のために（入室の）許しを得て、その（食事の）準備を待つ必要がない場合は別です。でも、あなた方が呼ばれたときは入りなさい。そして食事が終わったなら、立ち去りなさい。世間話に長居してはいけません。このことが預言者に迷惑であっても、預言者はあなた方を（退出させることを）遠慮するでしょう。しかし、アッラーは真実を（告げることを）遠慮されません。また、あなた方がかの女ら（ムハンマドの妻たち）に何ごとでも尋ねるときは、帳の後方からにしなさい。その方があなた方の心、またかの女らの心にとって一番清浄だからです。また、あなた方はアッラーの使徒を、悩ますようなことがあってはいけません。また、あなた方はどんな場合でも、かれ（ムハンマド）の（死）後に、

かれの妻たちと結婚してはいけません。実に、それはアッラーの御元において大罪なのです。54.あなた方が何かを現してもまた隠しても、アッラーはすべてのことをご存知です。

55.（帳がなくても）かの女たち（預言者の妻）が（見られても）罪ではない人は、かの女たちの父とその息子たち、かの女たちの兄弟とその息子たち、かの女たちの姉妹の息子たち、（信者の）女性たちとかの女たちの右手が所有する人たちです。アッラーを意識しなさい。誠に、アッラーはすべてのことの立証者なのです。

56.真に、アッラーと天使たちは預言者（ムハンマド）を祝福します。信仰する人たちよ、あなた方はかれを祝福し、挨拶しなさい。57.確かに、アッラーと使徒を害する人には、アッラーは現世でも来世でも激怒し、かれらのために恥ずべき苦痛を準備しました。58.また、男性の信者と女性の信者を、かれらが稼いできたもの以外によって害する人は、中傷（虚偽）と明白な罪を負ったのです。

59.預言者（ムハンマド）よ、あなたの妻、その娘たち、また信者の女性たちにも、長衣を下まで垂らすように言いなさい。かの女たちが（男性から）知られ、害されないためにもそれがより適切なのです。アッラーはよく赦す方であり、慈悲深いお方なのです。60.もし偽信者、心に病のある人、そして町中でうわさする人たちが止めなければ、われらはあなた（ムハンマド）にかれらを追放させます。そうすれば、かれらはあなたの隣人として、ほとんどいられないのです。61.かれらは拒否され、見つかり次第捕えられ、殺されるでしょう。62.これは昔の過ぎ去った人たちについてのアッラーの慣行で、あなたはアッラーの慣行には何の変更も見いだせません。

63.人びとはあなた（ムハンマド）に（審判の）ときについて尋ねるでしょう。言いなさい。確かに、その知識はアッラーの御元にあります。どうしてあなたに分かるでしょうか。そのときは近いかもしれません。

64.確かに、アッラーは非信者を拒否し、かれらのために烈火を準備しました。65.かれらは永遠にその中に住み、保護者も援助者も見いだせないでしょう。66.その日、かれらの顔は火の中でひっくり返され、かれらは言うのです。ああ、わたしたちはアッラーに従い、また使徒に従えばよかったのに。67.また、かれらは言うでしょう。わたしたちの主よ、確かに、わたしたちは頭領や権力者たちに従っていましたが、かれらがわたしたちを、この（正しい）道から迷わせたのです。68.わたしたちの主よ、かれらの苦痛を2倍にして、完全に拒否してくださいと。

69.信仰する人たちよ、ムーサーを軽蔑した人のようであってはいけません。そして、アッラーはかれらが（ムーサーについて）言った中傷から、かれ（ムーサー）を清めました。アッラーの御元で、かれは高い栄誉を与えられています。70.信仰する人たちよ、アッラーを意識しなさい。そして実直な言葉でものを言いなさい。71.かれはあなた方のためにその行ないを正され、もろもろの罪を赦します。アッラーとかれの使徒に従う人は、確かに偉大な勝利を達成する人なのです。

72.実は、われらは諸天と大地と山々に、信託（命令と禁忌の遵守）を申しつけました。でも、それらはそれ（信託）を担うことを辞退し、またそれについて恐れました。一方、人間はそれを担ったのです。実に、かれ（人間）は不適格で軽はずみでした。73.アッラーは偽信者の男性たちと女性たちや、多神教徒の男性たちと女性たちを処罰します。そして、アッラーは信仰する男性たちと女性たちに慈悲をかけます。アッラーはよく赦す方であり、慈悲深いお方なのです。

34. サバア章

Saba’

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.諸天にあり地にあるもの、すべてを所有されるアッラーに称賛あれ。来世においても、かれにこそすべての称賛はあります。かれは英明にして、すべてお見通しなのです。2.かれは大地に入るもの（水や種子や死体など）、またそれから出るもの（植物や鉱物など）をすべて知り、また天から降りるもの（雨や天使や啓示など）、そしてそこに昇るもの（魂など）すべてを知っています。かれは慈悲深いお方で、よく赦すお方なのです。

3.信仰のない人たちは言います。（審判の）ときは、わたしたちには来ないでしょうと。言いなさい。いいえ。わたしの主に誓って、それは必ずあなた方にやって来ます。かれは目に見えない世界もご存知の方です。諸天においても地においても、わずかな塵の重さも、かれから逃げられるものはありません。またそれより小さいものも、大きいものも、明瞭な書板に記されないものはありません。4.それはかれが信仰して善行をする人たちを報いるためです。これらの人たちにこそ、赦しと気前のいい恵みがあります。5.でも、われらの印を虚しくするのに努める人たち、これらの人たちには厳しい苦痛があるのです。6.知識を授かった人たちなら、あなたの主からあなたに啓示されたものが真理で、それ（真理）が偉力大かつ称賛すべき方（アッラー）の道に導くものであることは分かるでしょう。

7.そして非信者たちは言いました。あなた方が（死んで）粉々にされた後、新たな被造物になる（復活する）などと告げる人（ムハンマド）が誰かを示しましょうか。8.あるいは、かれはアッラーについて嘘を捏造したのですか。それとも気が狂ったのですかと。いいえ。来世を信じない人びとは、苦痛と酷い迷いの中にいるのです。9.かれらはかれらの前後に

ある天と地を見ないのでしょうか。もしわれらが望むなら、われらは大地にかれらを呑み込ませ、または大空の一部をかれらの上に落とすでしょう。真に、その中には改心して（アッラーに）帰る、すべての僕にとっての印があります。10.確かに、われらはダーウードに恩恵を授け(こう言い)ました。山々よ、かれと共に（アッラーを）賛えなさい、また鳥たちも。われらはまた、かれのために鉄を軟らくして（言いました）。11.あなたは鎖よろいを造り、そのつなぎ目を正確に整えなさい、そして善行に勤しむように。実に、わたしはあなた方が行なうことをすべて見ているのです。

12.また、スライマーンには風で、一朝に1ヵ月分を、また一夕に1ヵ月分（の行路）を（旅させました）。また、われらはかれに溶けた銅の泉を湧き出させました。また、かれの主の許しによって、ジン（幽精）をかれの所で働かせ、かれらの中で誰でもわれらの命令に背く者には、激しい火炎の苦痛を味わわせました。13.（この苦痛の恐怖によって）、かれら（ジンたち）はかれ（スライマーン）のために、かれが望む宮殿や彫像や貯水池ほどもある洗面器、固定した大釜を製作しました。（アッラーは言いました）あなた方は働きなさい、ダーウードの一族よ、感謝して働きなさいと。でも、わたしの僕の中で感謝する者はわずかでした。

14.われらがかれ（スライマーン）に死を命じたときも、かれらにその死を知らせたのは、大地の生き物（シロアリ）がかれの杖を食べることの他にありませんでした。それでかれが（遺体になって、もたれていた杖が折れて）倒れると、ジンたちは分かったのでした。もしかれら（ジンたち）が見えない世界（スライマーンが死ぬこと）を知っていたなら、恥辱の苦痛（大釜製作の諸作業など）に服することもなかったことを。

15.確かに、サバアにおいてもかれらの住まいに一つの印がありました。右側と左側に二つの果樹園がありました（アッラーはかれらに言いました）。あなた方の主の糧から食べ、かれに感謝しなさい。土地は豊か

で、主はよく赦しますと。16.ところが、かれらは（アッラーから）背き去ったので、われらはかれらにダムから洪水を送り、その二つの果樹園を苦い果実、タマリスクの茂み、わずかなハマナツメの木（が残るだけ）の園に変えたのでした。17.そのように、われらはかれらが不信心であったために報いました。われらは信仰を拒否する人の他には、報復しないのです。

18.われらはかれら（サバアの民）と、われらが祝福した町との間に、（旅人が）見やすい町々を設け、その道のりを定めました。昼も夜も安全に旅をするようにと。19.それなのにかれらは言いました。わたしたちの主よ、わたしたちの（町と町の）道のりの間隔を遠ざけてください。こうしてかれらは（アッラーの祝福に感謝せず）自らに不正をしました。われらはかれらを完全に粉々にして散らし、（後世の）語り草としました。確かに、この中には忍耐して感謝する人たちへの印があります。

20.実に、かれらについてはイブリース（ジンで悪魔）の想定通りとなりました。（つまり）かれらは一部の信者を除いて（全員）かれに従ったのでした。21.しかし、かれ（イブリース）は、かれらに対して何の権威もありませんでした。われらは来世を信じている人と、それについて疑っている人を識別しようとしたにすぎません。確かに、あなた方の主は、すべてのことを見守っているのです。

22.言いなさい。アッラーを差しおいて、あなた方（非信者）が（神であると）主張していたものたちに祈りなさい。かれら（神々）は、諸天においても地においても、塵の重さ（の力）もありません。また、かれら（神々）はそれら（諸天と地）において何の持ち分もなく、かれらの中にはかれへの助力者もいません。23.かれがお許しになった者を除いては、かれの御元での執り成しは無益です。やがてかれらの（最後の審判についての）恐怖心が消えると（天使たちは）言います。あなた方の主は、何を言

いましたか。かれらは（答えて）真理でしたと言います。かれは至高にして至大の方なのです。

24.言いなさい。諸天と地からあなた方に糧を与えるのは誰なのですか。言いなさい。アッラーなのです。だから、わたしたちか、またはあなた方のどちらかが導かれており、どちらかが明らかに迷っているのです。25.言いなさい。あなた方はわたしたちが犯した罪について問われません。また、わたしたちもあなた方が行なうことについて問われません。26.言いなさい。わたしたちの主は一斉にわたしたちを召集し、真理によってわたしたちを裁きます。かれは全知の裁決者なのです。27.言いなさい。あなた方が同位者としてかれに配するものを、わたしに見せなさいと。いいえ、かれこそはアッラー。偉力大であり英明な方です。

28.われらは全人類への吉報の伝達者また警告者として、あなた（ムハンマド）を遣わしただけです。でも、ほとんどの人びとはそれが分からないのです。29.かれらは言います。あなたの言葉が真実なら、この約束（審判の日）はいつですかと。30.言いなさい。あなた方への約束の日は、あなた方が一刻も遅らせることも、また早めることもできないのですと。

31.信じない人たちは言います。わたしたちはこのクルアーンを信じないし、またそれ以前にあったもの（啓典）も（信じません）。不正な人たちが、かれらの主の御前に立たされるとき、あなた（ムハンマド）は見るのです。かれらが互いに言い合うのを。無力な人たちは傲慢な人たちに言います。あなた方がいなかったら、わたしたちはきっと信者になっていたのに。32.傲慢な人たちは無力な人たちに言います。導きがあなた方に届いた後、わたしたちがあなた方を導きから逸らせたのですか。いいえ、あなた方が罪深い人たちだったのです。33.無力な人たちは傲慢な人たちに言い返します。いいえ、（これは）あなた方がわたしたちに、アッラーを信仰せず、かれに同位者を立てるよう、夜となく昼となく命じる企

てだったのです。かれらは苦痛（懲罰）を見ると、後悔の念を心に隠します。われらは信仰を拒否した人たちに、首かせを掛けます。かれらは自らが行なってきたこと以外（の罪）で、報復されるのでしょうか。

34.われらが町に警告者を遣わすたびに、そこの豪勢な人たちは言うのでした。わたしたちはあなた方と共に遣わされたもの（啓示）を信じる者ではありません。35.また、かれらは言います。わたしたちは多くの財産と子供があるので、苦痛を受けることはありません。36.言いなさい。確かに、わたしの主は、かれが望む人に豊かに糧を与え、また望む人にそれを切り詰めます。でも、ほとんどの人びとは知らないのです。37.あなた方をわれらに近づけるのは、財産でも子供でもありません。信仰して善行に勤しむ人には、かれらが行なったことの倍の報奨があり、かれらは安全な天国の高殿に住むのです。38.またわれらの印（教え）を挫くのに努める人たちは、苦痛（懲罰）に立ち合わせられます。39.言いなさい。確かに、わたしの主は、かれの僕の中からかれが望む人に豊かに糧を与え、また望む人にそれを切り詰めます。かれはあなた方が施したどんなものでも、すべて返します。かれは最善の糧の供与者なのです。

40.かれがかれら（非信者たち）を一斉に召集する日。かれは天使たちに向かって言います。かれら（非信者たち）はあなた方（天使たち）を崇拝していたのですか。41.天使たちは言います。あなたに称賛あれ。あなたがわたしたちの擁護者です。かれらではありません。かれらはジン（幽精）を崇拝していました。かれらの多くは、ジンの信者でした。42.この（審判の）日、あなた方（ジンと非信者）は他の誰かを益し、また害する力を持ちません。われらは不正を行なっていた人（非信者）たちに言います。あなた方が嘘呼ばわりしていた、（地獄の）火の苦痛を味わいなさい。

43.明白なわれらの印が、かれら（非信者たち）に読誦されると、か

れらは言います。これはある男が、あなた方の先祖が崇拝していたものからあなた方を妨げようと望んでいるのです。また、かれらは言います。これは捏造された嘘です。また、真理を拒否した人たちは、それ（真理）がかれらにやって来ると、これは明らかに魔術にすぎないと言うのです。44.われらはかれらが学び得る啓典をかれらに与えなかったし、またあなた（ムハンマド）以前に、どんな警告者もかれらに遣わさなかったのです。45.かれら以前の人びとも（真理を）嘘であるとしました。かれら（マッカの非信者）が得ていたもの（権勢や富など）は、われらがかれら（以前の人びと）に与えたものの10分の１にも達しないほどでした。ところが、かれらはわたしの預言者（ムハンマド）を嘘つき呼ばわりしました。わたしの怒りは何と激しかったことか。

46.言いなさい。わたし（ムハンマド）が一つだけ忠告するのは、あなた方（マッカの非信者）がアッラーの御前に、二人または一人で立ち、よく考えなさいということです。（つまり）あなた方の同胞（ムハンマド）は気狂いではなく、かれは激しい苦痛の前の、あなた方のための警告者にすぎないのです。47.言いなさい。わたしはどんな報酬もあなた方に求めません。それはあなた方のものです。わたしの報酬は、アッラーからいただくだけです。かれはすべてのことを立証する方です。

48.言いなさい。真に、わたしの主は真理を投げかけ、見えない世界を知り尽くしています。49.言いなさい。真理は来ました。そして虚偽は無力なのですと。50.言いなさい。たとえわたしが迷っても、わたし自身（を損なう）だけです。でも導かれるなら、それはわたしの主がわたしに啓示するものによってです。確かに、かれは全聴にして、至近の方なのです。

51.かれら（非信者たち）が恐怖におびえ、逃れる道もなく近い所から捕えられる姿を、あなたが見ていれば（よかったのに）。52.そのときかれらは言います。わたしたちはそれ（真理）を信じますと。でも、遠方（来世）からどのように（現世での導きや改心を）会得できるでしょうか。53.以前

にもかれらはそれ（真理）を信じませんでした。また、目に見えない世界について、遠方から憶測するのでした。54.そして、（審判のときには）かれらとかれらが望むもの（現世で信仰し善行を積むこと）との間は、さえぎられているでしょう。以前、かれらの同類に対して（善悪の識別が）なされたように。誠に、かれらは根深い疑いの中にいるのです。

35. 創造者章

Fatir

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アッラーにすべての称賛あれ。諸天と地の創造者、二対、三対または四対の翼を持つ天使たちを使徒としました。かれは創造において御心のまま数を増します。真に、アッラーはすべてに対して全能です。2.アッラーが人間に与えるどんな慈悲も阻止されることはなく、またかれが阻止したどんなものも、その後にそれを解き放つものはないのです。かれは偉力大であり、英明な方なのです。

3.人びとよ、あなた方に対するアッラーの恩寵を想いなさい。アッラーの他に、空と大地からあなた方に糧を与える創造者がいるのでしょうか。かれの他に神はいないのです。それなのに、あなた方はどうして迷わされているのですか。4.かれらはあなた（ムハンマド）を嘘つきと言うが、あなた以前の使徒たちも嘘つき呼ばわりされました。確かに、すべてのことはアッラーに帰されるのです。

5.人びとよ、アッラーの約束は真実です。だから、現世の生活に欺かれてはいけません。また、アッラーについて欺く者に欺かれてはいけません。6.確かに、悪魔はあなた方の敵です。だから、敵として扱いなさい。かれ（悪魔）はかれらが燃えさかる（地獄の）火の仲間となるように、自分の一派を招いているだけなのです。7.不信仰の人たちには、激しい苦

痛があります。でも、信仰して善行に勤しむ人たちには、赦しと偉大な報奨があるでしょう。

8.（悪魔が）かれの悪行を立派であると思わせ、そうすることで、かれはそれを善とみなしているのでしょうか。誠に、アッラーは望みの人を迷わせ、また望みの人を導きます。だから、かれらのために嘆いて、あなた自身を損なってはいけません。アッラーはかれらが行なうことを知り尽くされています。

9.実に、アッラーこそは風を送る方です。そうすることで雲を起こし、それ（雲）を死んだ土地へと運び、死にはてた大地に命を吹き込みます。復活もまたこのようです。10.誰でも栄誉を願うなら、すべての栄誉はアッラーの元にあるのです。善い言葉はかれの元に登って行き、正しい行ないはそれを高めます。でも、悪事を企む人たちには激しい苦痛（懲罰）があり、それらの企みは無効になるでしょう。11.アッラーは土から、さらに一滴の液体からあなた方を創り、次いであなた方を一組（の男女）としてもうけました。かれの知識によらない限り、妊娠して分娩する女性はないのです。また、書板の中にない限り、長命な人が年齢を重ねることはなく、かれの人生から（年齢が）減らされることもないのです。誠に、それはアッラーにとっては容易なことです。

12.二つの海は、同じではありません。これ（一つ）は甘くて旨く、飲んで心地よい。また、これ（もう一つ）は塩辛くて苦い。そして、そのどちらからも、新鮮な肉を取って食べ、またあなた方が身につける種々の装飾品も採取できます。また、あなたはその（海の）中を、船がさっそうと進むのを見るでしょう。そうすることで、あなた方はかれの恩恵を求め、感謝するかもしれません。13.かれは夜を昼に入り込ませ、また昼を夜に入り込ませ、太陽と月を従わせて、すべてが定められた期間を動いています。これがあなた方の主、アッラーであり、かれに大権は属します。でも、あなた方がかれを差し置いて祈るものたちは、ナツメヤシの薄膜402ほども

何も支配できません。14.あなた方がかれらに祈っても、かれらはあなた方の祈りを聞かず、たとえ聞いたとしても、あなた方に答えません。審判の日に、かれらはあなた方が（神々などをアッラーに）配したこと（シルク）を（自分には関係ないとして）否認するのです。そして、すべてをお見通しの方（アッラー）のようには、誰も（真実を）あなたに知らせることはできません。

15.人びとよ、あなた方はアッラーを必要としています。一方、アッラーは豊かに満ち足りて、称賛すべき方なのです。16.もしかれが望むなら、あなた方を退けて、新しい被造物をもたらします。17.これはアッラーにとって、難しいことではありません。18.荷を負う人は、他人の荷を負うことはできません。もし荷を負わされる人が他人を呼んでも、近親者でさえ、その一部も負うことはできません。あなたが警告できるのは、目に見えないかれらの主を意識し、礼拝の務めを守る人だけです。誰でもその身を清める人は、ただ自分自身のために清めるのです。そして、アッラーに（すべての）帰り所はあります。

19.目が見えない人と目が見える人は、同じではありません。20.暗黒と光明も、21.また影と灼熱も、22.また生と死も（同じではありません）。実に、アッラーはかれが望む人に聞かせます。あなたは墓の中にいる人に聞かせることはできません。23.あなた（ムハンマド）は一人の警告者にすぎないのです。24.真に、われらは吉報の伝達者として、また警告者として、真理を持たせてあなたを遣わしました。（またこれまでも）かれらの間に、一人の警告者が行かなかった民はいないのです。25.たとえかれらがあなたを拒否しても、かれら以前の人たちも拒否されてきたのです。使徒たちは明証と諸書巻と光明を与える啓典と共に、かれらの所にやって来ました。26.それで、わたしは不信心の人たちを捕まえました。わたしの怒りの何と激しかったことか。

27.あなたは見ないのですか。アッラーは大空から雨を降らせます。

それでわれらは色とりどりの果物を実らせ、また山々の層は色とりどりで、白や赤あるいは真っ黒いところもあります。28.また、人間も（野生の）動物も家畜も色とりどりです。アッラーの僕の中で、知識のある人だけが、かれを畏れます。誠に、アッラーは偉力大で、よく赦す方です。

29.確かに、アッラーの啓典を読誦する人、礼拝の務めを守り、われらが授けたものから密かに、また露わに施す人は、衰退のない商売を願っているようなものです。30.かれは十分にかれらに報酬を払い、かれの恩恵から余分に与えるのです。実に、かれはよく赦す方で、よく報われる方なのです。31.われらがあなたに啓示した啓典は真理であって、それ以前のものを確証します。実に、アッラーはかれの僕たちについて知り尽くしている方であり、監視する方なのです。

32.その後、われらは僕の中から選んだ人に、この啓典を継がせました。そして、かれらの中には、自らの魂に不正をなした人も、中間の道をとる人もいました。また、かれらの中には、アッラーの許しのもとに、率先して種々の善行に勤しむ人もいました。それは偉大な恩寵です。33.かれらは永遠の楽園に入ります。その中でかれらは、黄金の腕輪と真珠で身を飾り、かれらの衣装は絹製です。34.かれらは言います。アッラーにすべての称賛あれ。わたしたちから（あらゆる）悲嘆を取り除いてくだされた方。わたしたちの主は、よく赦す方、よく報われる方です。35.かれの恩寵によって、わたしたちは永遠の邸宅に住み、そこで苦労することもなく、また疲れを覚えることもありません。

36.でも、信仰を拒否した人たちに対しては、（地獄の）火があります。かれらには（地獄において）死ぬことも宣告されず、また苦痛も軽減されません。われらはすべての忘恩な人に、このように報いるのです。37.かれらはその中にあって泣き叫びます。わたしたちの主よ、わたしたちを（地獄から）出してください。わたしたちが（これまで）してきたことではなく、きっと善い行ないをします。（アッラーは言います）われらはあな

た方を十分に長生きさせたではありませんか。その間に諭しを受け入れる人が留意するように。そして、警告者があなた方に遣わされました。だから（苦痛を）味わいなさい。不正な人たちには援助者はいないのです。

38.確かに、アッラーは諸天と地の見えない世界をすべてご存知です。かれは（人間が）胸の中に抱くこともすべてご存知です。39.かれこそは、あなた方を地上の後継者とされた方です。誰でも信仰を拒否する人は、その不信心（の責め）は自分にあります。また、非信者たちの不信心は、かれらの主の御元で憎しみを増すだけであり、非信者たちの不信心はただ損失を増すだけなのです。

40.言いなさい。あなた方は、あなた方がアッラーを差し置いて祈る同位者（神々）を見たのですか。大地の何をかれらが創造したのか、または諸天に（その創造でアッラーと）協同の部分があるなら、わたしに見せなさい。それとも、（アッラーに同位者がいるという）明証を示す啓典を、われらがかれらに与えたのですか。いいえ、不正な人たちは、ただ妄想を約束しあっているにすぎません。41.誠に、アッラーは諸天と地が崩れないよう支えます。もしそれら（諸天と地）が崩れるなら、かれの後にそれらを支えられるものはいません。真に、かれは寛大で、よく赦す方です。

42.かれら（非信者たち）はアッラーにかけて、重々しい誓いを立てました。もし警告者が自分たちのところに来るなら、どんな民よりも立派に導かれるのですと。ところが、警告者がかれらの元に来ると、かれらはますます（信仰から）遠ざかるだけで、43.地上で高慢にふるまい、悪事の企みばかりをしていました。そして、悪事の企みは、その当人に振りかかるだけです。だから、かれらは昔の人びとの慣行（破滅）を待つしかありません。それで、あなた（ムハンマド）はアッラーの慣行に変更がないことが分かるでしょう。また、アッラーの慣行に逸脱もないことも分か

るでしょう。44.かれらは地上を旅して、かれら以前の人たちの末路がどうなったかを見なかったのですか。かれら（以前の人たち）は、かれら（マッカの非信者）よりも力が優れていました。諸天にあり地にある何ものも、アッラーを妨害することはできないのです。真に、かれは全知にして全能です。45.もしアッラーが、かれらが稼いできたことによって、人間を罰するなら、かれは地表にはまったく生きもの（人間）を残さなかったでしょう。でも、かれは定めの期限（審判の日）まで、かれらに猶予を与えます。そして、かれらの期限が来るとき、確かに、アッラーはかれの僕たちを監視する方なのです。

36. ヤー・スィーン章

Yasin

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

〈アッラーの記録の書板〉

1.ヤー・スィーン。2.英明なクルアーンにかけて誓います。3.誠に、あなた（ムハンマド）は使徒の一人で、4.まっすぐな道の上にいます。5.偉力大かつ慈悲深いお方の啓示（によって）、6.あなたは、先祖が警告を受けておらず、それで留意していない民に警告するのです。

7.真に（裁決の）言葉はかれらの多くに反して実現しましたが、かれらは信じないのです。8.われらはかれらに首かせをはめると、それが顎まであるので、かれらの頭は上向きになり（真実が見られなくなり）ました。9.また、われらはかれらの前面に障壁を設け、背面にも障壁を設け、さらに、かれらに覆いをしました。それでもう、かれらは見ることができません。10.あなたが警告しても警告しなくても、かれらにとっては同じで、かれらは信じないのです。11.あなたは、この諭し（クルアーン）に従

い、目に見えない慈悲深いお方を畏れる人に警告するだけです。だから、その人に赦しと高貴な報奨の吉報を伝えなさい。

12.確かにわれらは、死者に命を与え、またかれらが（現世で）行なったことや、かれらの足跡を記録します。われらはすべてを、明瞭な記録簿（書板）の中に数え上げるのです。

13.その町の住民（の話）を、例としてかれらに示すとよいでしょう。使徒たちがそこにやって来たときのことを。14.われらが二人の使徒を遣わしたとき、かれら（住民）は二人を嘘つき呼ばわりしました。そこで、われらは第三の者で強化しました。そしてかれら（使徒たち）は言いました。確かに、わたしたちはあなた方に遣わされた者です。15.かれらは言いました。あなた方はわたしたちと同じ人間にすぎません。慈悲深いお方は何も啓示されてはいません。あなた方は嘘をついているだけです。16.かれら（使徒たち）は言いました。わたしたちがあなた方に遣わされた者であることは、わたしたちの主がご存知です。17.わたしたちの務めは明らかな（啓示の）伝達のみです。18.かれら（住民）は言いました。わたしたちにとってあなた方は不吉な兆候です。もし止めないなら、あなた方を石打ちにするでしょう。そして、わたしたちの厳しい苦痛が襲うのです。19.かれら（使徒たち）は言いました。あなた方自身が不吉な兆候なのです。あなた方は諭されているのです。いいえ、あなた方は掟破りの民です。

20.そのとき、町のはずれから一人の男が走って来て言いました。人びとよ、これらの使徒たちに従いなさい。21.あなた方に何の報酬も求めない人に従いなさい。かれらは正しく導かれています。

22.わたしを創った方に仕えないなど、どうしてできるでしょう。あなた方もかれに帰されるのです。23.かれを差しおいて、他の神々を配することができるでしょうか。もし慈悲深いお方がわたしに災いを望むなら、かれら（神々）の執り成しは少しも役に立たず、またわたしを救うことも

できません。24.（そうしたら）わたしは明らかな間違いを犯したことになります。25.わたしは、あなた方の（創造）主を信じます。だからわたしの言うことを聞きなさい。26.かれは楽園に入りなさいと言われました。かれは言いました。人びとが知っていればよかったのに。27.わたしの主がわたしを赦し、栄誉ある者の中に置いたことを。

28.◆23部◆かれの後、われらはかれの民に対して、天から軍勢（天使たち）を遣わしはしませんでした。またそうしようともしませんでした。29.ただ一声叫ぶだけで、かれらは消え失せてしまったのです。30.ああ、哀れな僕たちよ。かれらは使徒が来るたびに笑い草にしていたのです。31.かれらは気づかないのですか。われらがかれら以前に多くの世代を滅ぼし、かれらはもう帰ってこないということを。32.確かに、（審判の日には）一人残らずわれらの前に召集されるのです。

33.かれらへの印の一つには死んだ大地があります。われらがそれ（死んだ大地）に命を与え、穀物をそれから生長させて、それをかれらが食べるのです。34.また、われらはそこ（大地）にナツメヤシやブドウの園を設け、その間に泉を湧き出させるのです。35.かれらはその果実を食べますが、それはかれらの手が作り出したものではありません。それでもかれらは感謝しないのでしょうか。36.かれの栄光を賛美します。かれは大地に生えるもの、かれら自身も、かれらが知らないものも、すべて雌雄に創った方です。

37.また、かれらへの印の一つには夜があります。われらがそれ（夜）から昼を退かせると、見なさい、かれらは真っ暗闇の中にいるのです。38.また、太陽は定められた期間を運行します。これも偉力大かつ全知な方の命令なのです。39.また、月には宿（周期）406を定めました。それはナツメヤシの古枝のように（細い三日月に）なって戻りました。40.太陽が月に追いつくことはなく、夜は昼の先を越すことはできません。そして、すべては軌道を泳いでいるのです。

41.われらがかれら(ヌーフたち)の子孫を、満載した方舟によって運んだことも印の一つです。42.またわれらはかれら（人びと）のために、それ（方舟）と似たような、かれらが乗る物を創りました。43.われらが望むなら、（ヌーフの民のように）かれらを溺れさせることもできます。そうなれば、かれらを助ける者はなく、またかれらは救われないのです。44.ただし、われらの慈悲による束の間の享楽は別として。

45.あなた方の前にあるもの（来世）と、後ろにあるもの（現世）を意識しなさい。そうすれば、あなた方は慈悲にあずかるでしょう、とかれらに言われると、46.かれらの主からの数々の印が届いても、かれらはそれから背き去るのです。47.また、アッラーがあなた方に授けたものから施しなさいと言われると、不信仰な人たちは信仰する人たちに言います。もしアッラーが望むなら、かれがその人を養うはずなのに、どうしてわたしたちが養うべきなのでしょうか。あなた方は明らかに誤っていますと。

48.またかれらは言います。あなた方の言うことが真実なら、この約束（審判）はいつなのですか。49.かれらは一声の叫びを待っているにすぎず、それ（一声の叫び）はかれらが論争している間にかれらを襲うのです。50.そのとき、かれらは遺言することもできず、また家族のところに帰ることもできません。51.そしてラッパが吹かれると、かれらは墓場から（出て）、かれらの主の御元に急ぎます。52.かれらは言います。ああ、情けない。わたしたちを寝所（墓場）から呼び起こしたのは誰でしょう。これは慈悲深いお方が約束したことであり、使徒たちは真実を語りましたと。53.ただ一声の叫びが鳴り響けば、かれらは一人残らずわれらの前に召集されるのです。

54.その（最後の審判の）日、誰も不当な扱いを受けず、あなた方は自分の行なってきたことに対してのみ報いられます。55.確かに楽園の仲間たちは、この日、喜びに忙殺されます。56.かれらはその配偶者たちと、木陰の寝床によりかかります。57.そこでかれらには、果実やかれら

が望むものが何でもあるのです。58.平安あれ、との言葉も、慈悲深い主からあります。

59.罪人たちよ、今日あなた方は離れて控えなさい。60.アーダムの子孫よ、悪魔に仕えてはならないと、わたしはあなた方に命令しませんでしたか。かれ（悪魔）はあなた方の公然の敵です。61.あなた方はわたしに仕えなさい。それこそが正しい道です。62.確かにかれ（悪魔）は、あなた方の大部分を迷わせました。どうしてあなた方は悟らなかったのか。63.これはあなた方に約束されていた地獄です。64.あなた方は信仰を拒否してきたので、今日そこで焼かれなさい。65.その日、われらはかれらの口を封じます。すると、その手がわれらに語り、かれらの足はかれらが稼いできたことを立証するのです。

66.われらが望むなら、かれらの両目を盲目にできます。かれらは道を先んじようとするが、どうして見通すことができるでしょうか。67.われらが望むなら、かれらをその場所で変形することもできます。そうなれば、かれらは進むことも戻ることもできません。68.誰でもわれらが長生きさせる人には、われらは創造を逆転します。それでも、かれらは分からないのでしょうか。69.われらはかれ（ムハンマド）に、詩を教えませんでした。また、かれは詩人にふさわしくありませんでした。これは諭し（啓示）であり、明瞭なクルアーンです。70.（クルアーンは）命ある者に警告を与えるためにあり、（それによって）非信者たちに対する言葉（裁決）が実現されるのです。

71.かれらは見ないのですか。われらがかれらのために、われらの手ずから創った、かれらが所有する家畜を。72.われらはそれら（家畜）をかれらに従わせました。かれらの何人かはそれらに乗り、そして何人かは食べます。73.また、その中には、かれらのために役に立つものや飲み物もあります。それでもかれらは感謝しないのですか。74.かれら（マッカの多神教徒たち）はアッラーを差し置いて他に神々を選び、何とか助けら

れようとします。75.それら（神々）はかれらを助けられず、（逆に）かれらはそれら（神々）のために軍勢を整えているのです。76.（だから）あなたはかれらの言うことで、悲しんではいけません。確かにわれらは、かれらの隠すことも現すことも知っています。

77.人間は考えないのですか。われらは一滴の液体からかれを創ったことを。それなのに見なさい。かれは公然と歯向かっています。78.また、かれはわれらに例えを示す（口論する）けれど、かれ自身の創造のことを忘れています。かれは言います。誰が朽ち果てた骨に命を与えることができるでしょうか。79.言いなさい。最初に創った方が、かれらを生き返らせます。かれはすべての被造物を知り尽くしています。80.かれは緑の木から、あなた方のために火をもうけ、あなた方はそれから火を起こすのです。81.諸天と地を創造したかれが、これらに類するものを創造できないことがあるでしょうか。いいえ、かれこそは全知の創造者です。82.かれが何かを望むと、かれの有れという命令で、それは有るのです。83.その御手ですべてを支配するかれにこそ、すべての賛美あれ。あなた方はかれの御元に帰されるのです。

37. 整列者章

al-Saffat

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.整列する者（天使）たちにかけて。2.また（非信者を）追い立てる者（天使）たち409と、3.諭し（クルアーン）を読み聞かせる者（天使）たちにかけて。4.確かにあなた方の神は唯一で、5.諸天と地、そしてその間にあるすべてのものの主、また日の出をつかさどる主です。

6.真にわれらは、星々で下層の天を飾り、7.（アッラーに）逆らうすべての悪魔に対する守りとしました。8.かれら（悪魔たち）はどこからでも

撃たれ、（アッラーや天使たちの）最高会議を盗聴できません。9.撃退されて、かれらには永久の苦痛があるのです。10.少し盗聴した者があっても、光り輝く炎（流星）が追跡するのです。

11.かれら（マッカの多神教徒たち）に問いなさい。かれら（人間）は強く創られているのか。もしくはわれらが創ったもの（天地や天使などがより強いの）か。確かにわれらは粘り気のある土でかれら（人間）を創ったのです。12. あなた（ムハンマド）は（クルアーンや復活に）驚いているというのに、かれらは笑い草にします。13.警告されても、かれらは警告を受け入れません。14.また、かれらは印を見ても笑い草にするばかり。15.そして、かれらは言います。これは明らかな魔術に違いない。16.わたしたちが死んで、土と骨になってから復活するのでしょうか。17.遠い祖先たちも、そうでしょうかと。18.言いなさい。その通り。そしてあなた方は卑しめられるのですと。

19.それは、ただ一つの叫び声です。そのときかれらは目の当たりにして、20.こう言うのです。ああ情けない、これが審判の日なのかと。21.（アッラーは言われる）これがあなた方が拒否してきた裁決の日です。22.不正な人たちや、それと同類の人たちを集めなさい。またかれらが崇拝していた神々を集めなさい。23.アッラーを差し置いて（崇拝していた神々を）。かれらを地獄の道に連れて行きなさい。24.かれらを待たせておきなさい。かれらは尋問されます。25.あなた方はどうして助け合わないのか。26.いいえ、今日ばかりは、かれらも（審判に）降伏するのです。

27.かれらは互いに近づき尋ね合います。28.かれら（従った人たち）は言います。確かに、あなた方（従われた人たち）は右から来ました。29.かれら（右からの人たち）は言います。いいえ、あなた方は信者ではありませんでした。30.また、わたしたちはあなた方に対する権能もありませんでした。そうではなく、あなた方はすでに反逆の民でした。31.それ

で主の言葉（裁決）がわたしたちに反して実現した今、わたしたちは（苦痛を）味わうのです。32.わたしたちはあなた方を迷わせてきましたが、わたしたち自身も迷っていたのです。33.こうしてその（審判の）日、かれらは共に苦痛を受けます。34.このように、われらは罪深い人たちを処分します。35.確かに、かれらはアッラーの他に神はいませんと告げられると、高慢になったのでした。36.そしてかれらは言います。気狂い詩人のために、わたしたちの神々を捨ててなるものかと。37.いいえ。かれ（ムハンマド）は真理をもたらして（以前の）使徒たちを確証しました。38.確かに、あなた方は厳しい苦痛を味わいます。39.あなた方は自分たちがしてきたことを除いては、（不当に）報復されることはないのです。

40.だがアッラーの忠実な僕たちは別です。41.それらの人には親しんだ糧があり、42.果実もあり、栄誉に浴し、43.安楽の園の中で、44.寝床の上で向かい合います。45.泉からくんだ杯は、かれらに回され、46.真白で、飲む人に美味。47.これは頭痛も酔いも起こさないのです。48.またかれらの側には、大きい目を伏せがちにした乙女がいます。49.かの女らは注意深く守られた卵のようです。

50.やがてかれらは、互いに尋ね合います。51.かれらの一人が言います。わたしに一人の親しい連れがいました。52.かれは言っていました。あなたまで（復活の日を）信じているのですか。53.わたしたちが死んで土と骨になってから、本当に裁かれるのでしょうかと。54.そこでかれ（その一人の信者）は（楽園で）言いました。（地獄を）見下ろしてみましょう。55.そこでかれらが見下ろすと、地獄の火の真ん中にかれ（復活を拒否していた連れ）の姿が見えました。56.かれ（その信者は）は言いました。アッラーにかけて、あなたはもう少しでわたしを破滅させるところでした。57.もしわたしの主の恩寵がなかったなら、わたしは必ず（地獄に）引き立てられた人たちの中にいたでしょう。58.わたしたち（楽園の仲間）は死ぬことはないのですか。59.最初の死だけで、わたしたちが苦痛

を受けることはないのでしょうか。60.実にこれは、大勝利です。61.このようなことのために、誰でも務めるべきです。

62.（アッラーは言う）それ（楽園）は結構な歓待ではないのか。それとも（地獄の）ザックームの木か。63.われらはこの木を、不正を行なう人たちへの試みとしました。64.それは地獄の火の底に生える木で、65.その実は悪魔の頭のよう。66.かれらはそれを食べて、腹はそれで一杯。67.さらにかれらの上には、沸騰する湯を注ぎ足され、68.それから地獄の火に帰り着くのです。69.かれらは先祖の迷っていたのを知りながらも、70.その足跡を急いで追っていました。71.昔の大半の先祖たちも、確かに迷っていました。72.だがわれらは、かれら（同胞）の中から警告者たちを遣わしました。73.見るがいい。警告された人たちの最後がどうであったのかを。74.ただし、アッラーの忠実な僕たちは別なのです。

75.（かつて）ヌーフは、われらに嘆願しました。（それに対してアッラーは）何とすばらしい答え方をしたことか。76.われらは、かれとその家族を大難から救ったのです。77.そしてわれらは、かれの子孫を生き残らせた。78.またわれらはかれのために、後の諸世代の間にこう（言い）残した。79.すべての世界の中で、ヌーフに平安あれと。80.このようにわれらは、正しい行ないの人たちに報います。81.真にかれは、信心深いわれらの僕でした。82.それからわれらは、その他の人たちを溺れさせました。

83.またかれ（ヌーフ）と信教を共にする一派の中に、イブラーヒームがいました。84.かれが正しい信心をもって、かれの主の元にやって来たとき、85.自分の父とその一族に向かって言いました。あなた方が崇拝するものは何ですか。86.アッラーを差しおいて、偽りの神々をあなた方は望むのですか。87.すべての世界の主について、あなた方はどう考えるのですか。

88.そのとき、かれ（イブラーヒーム）は星々を一目見て、89.言いまし

た。わたしは病んでしまった。90.そこで、人びとはかれに背を向けて去りました。91.そのときかれは、かれらの神々(偶像)に向かって言いました。あなた方は食べないのですか。92.あなた方が話さないとはどういうことですか。93.そこでかれはそれら(偶像)を右手で打ちました。94.そのとき人びとは、慌ててかれのところにやって来ました。95.するとかれは言いました。あなた方は自分たちが彫刻したものを崇拝するのですか。96.一方、アッラーは、あなた方を創り、またあなた方が造るものをも(創ります)。97.人びとは言いました。かれのために薪を積み、燃え盛る火の中にかれを投げ込むのだ。98.かれらはかれに企みを巡らせようとしたが、われらはかれらを侮蔑される人たちとしたのでした。99.かれ(イブラーヒーム)は言いました。わたしは主の御元に行くのだ、必ずかれはわたしを導くであろう。100.わたしの主よ、正しい人(息子)をわたしに授けてくださいと。101.それで、われらは寛容な男の子の吉報(懐妊)を伝えました。

102.かれ(イスマーイール)がかれ(イブラーヒーム)と共に働く年頃になったとき、かれは言いました。息子よ、わたしはあなたを犠牲に捧げる夢を見ました。さて、あなたはどう考えますか。かれ(イスマーイール)は言いました。わたしの父よ、あなたは命じられたようにしてください。もしアッラーが望むなら、あなたはわたしが(犠牲になって)耐え忍ぶ者であることはお分かりでしょう。103.そこでかれら両人は服従して、かれ(イブラーヒーム)がかれ(息子)の額を伏せさせたとき、104.われらは告げました。イブラーヒームよ、105.確かに、あなたはあの夢を実践しました。われらは、このように正しい行ないをする人たちに報います。106.確かにこれは、(両名の信心の)明らかな試みでした。107.われらは大きな犠牲(天からの巨大な羊)でそれ(イスマーイールの犠牲)に代え、108.われらはかれのために、後の諸世代の間にこう残しました。109.イブラーヒームに平安あれと。110.このように、われらは正しい

行ないをする人たちに報います。111.真にかれはわれらの信心深い僕でした。112.またわれらは、正しい人の一人で預言者である、イスハークの吉報をかれ（イブラーヒーム）に伝えました。113.そしてわれらは、かれとイスハークを祝福しました。だが、かれらの子孫の中には正しい行ないをする者もあり、また明らかに自らを損なう者もいました。

114.確かにわれらは、ムーサーとハールーンに恩恵を施しました。115.またかれら両人とその民を大難から救い出し、116.われらが助けたために、かれらは（大難を）乗り越えることができました。117.なおわれらはかれら両人に、（物事を）明瞭にする啓典を授け、118.かれら両人を正しい道に導きました。119.われらはかれら両人のために、後の諸世代の間にこう残しました。120.ムーサーとハールーンに平安あれと。121.このようにわれらは、正しい行ないをする人たちに報います。122.真にかれら両人は、われらの信心深い僕でした。

123.確かにイルヤースも、使徒たちの一人でした。124.かれがその民にこう言ったときのことです。あなた方は（アッラーを）意識しないのですか。125.あなた方はバァル神415に祈って、最高の創造主を見捨てるのですか。126.アッラーこそあなた方の主、あなた方の先祖の主ではないのですか。127.だが、かれらはかれ（イルヤース）を嘘つき呼ばわりしました。だから、かれらは必ず（処罰のために）喚問されるでしょう。128.ただし、アッラーの忠実な僕は別です。129.われらはかれのために、後の諸世代の間にこう（言い）残しました。130.イルヤースに平安あれと。131.このようにわれらは、正しい行ないをする人たちに報います。132.真にかれはわれらの信心深い僕でした。

133.ルートも使徒たちの一人でした。134.われらはかれとその家族全員を救いました。135.ただし、後方に残る人たちの仲間となった老婆（妻）の他は。136.そうして、われらは他の人たちを滅ぼしてしまいまし

た。137.あなた方（マッカの多神教徒たち）はかれらの（廃墟の）傍らを通っています。昼や、138.夜に。それでもあなた方は悟らないのか。

139.確かにユーヌスも、使徒たちの一人でした。140.満載の舟にかれが逃れたとき、141.かれは籤を引いて、負けてしまいました。142.それで（自らを海に投げ出すと）大魚がかれを丸飲みにしました。かれは（アッラーの命令に背き）自責に感じる罪を犯していたのです。143.もしかれが（改心してアッラーを）賛美する人でなかったなら、144.人びとが復活する日まで、必ずかれは大魚の腹の中に留まっていたでしょう。145.それでわれらは、荒れ果てた岸辺にかれを投げ出しました。かれは病んでいたのです。146.われらはかれの上に1本のウリ科の木を生育させ（影を作り）ました。147.そして、われらは10万人、またはそれ以上（の民）にかれを（再び）遣わしました。148.すると、かれらが信仰に入ったので、われらはしばしの間、現世の享楽を許しました。

149.かれら（マッカの多神教徒たち）に問いなさい。あなたの主は娘を持ち、かれらは息子を持つというのか。150.それともわれらが天使たちを女に創るのを、かれらは実見したのか。151.いや、かれらの言うことは作りごとです。152.アッラーが御子を持つとは、確かにかれらは嘘つきです。153.かれは息子よりも、娘を選ぶというのか。154.どうしたのか。あなた方（マッカの多神教徒たち）はどう判断するのか。155.あなた方は相変わらず、諭しに留意しないのか。156.それとも、あなた方に明瞭な権能があるのか。157.あなた方の言うことが真実なら、あなた方の啓典を出してみなさい。

158.かれら（マッカの多神教徒たち）は、かれとジン（幽精）は親類であるとしています。しかしジンは、自分たちが必ず（処罰のために）喚問されることを知っています。159.アッラーに称賛あれ。（アッラーは）かれらが配するものから、はるかに超越しています。160.ただしアッラーの忠実な僕たちは別で、そのようなことはしません。161.それであなた方

にしても、あなた方が崇拝するものでも、162.かれに歯向かって（信者たちを）誘惑することができるのでしょうか。163.（ジンに惑わされるのは）燃え盛る地獄の火で焼かれる人たちだけです。164.（天使たちは言います）わたしたちにはおのおの定めの場所がない者はいません。165.わたしたちは整列して、166.（アッラーを）賛美します。

167.また、かれら（非信者たち）はいつも言っていました。168.もしわたしたちが昔の人びとから諭しを得ていたなら、169.わたしたちも、確かにアッラーの忠実な僕だったでしょう。170.ところが、かれらはそれ（クルアーン）を拒否するのです。だが間もなく、かれらは知るでしょう。171.真にわれらの言葉は、われらの僕である使徒たちにすでに下されています。172.確かにかれら（使徒たち）は、必ず助けられるのです。173.確かにわれらの軍勢は、必ず勝利を得るのです。174.あなたは、かれらからしばらくの間遠ざかって、175.かれらを観察しなさい。やがて、かれらは目覚めるでしょう。

176.ところが何と、かれらはわれらの苦痛を急ぎ求めています。177.だがそれ（苦痛）がかれらの広場に下ると、それまで警告を受けていた人たちにとっては、最悪の朝となるでしょう。178.それであなたは、かれらからしばらくの間遠ざかって、179.かれらを観察しなさい。やがて、かれらも目覚めるでしょう。180.賛美あれ。あなたの主、栄光の主は、かれらが並置するものからはるかに超越しています。181.使徒たちに平安あれ。182.そして、すべての世界の主、アッラーに称賛あれ。

38. サード章

Sad

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.サード。

諭しに満ちたクルアーンにかけて。2.いや、信仰のない者たちは、高慢で敵対的です。3.われらはかれら以前に、どんなに多くの世代を滅ぼしたことでしょう。かれらは、もはや逃げ遅れとなってから叫び始めます。

4.またかれらは、自分たちの中から警告者が出たことに驚きます。非信者たちは言います。これ（ムハンマド）は魔術師で、嘘つきだ。5.かれは多くの神々を、ひとつの神にしてしまうのか。これは全くの驚きだ。6.そして、かれらの指導者たちは立ち去りながら、（仲間に言います）行きなさい。そしてあなた方の神々を守り通しなさい。これ（多神教の教え）が、望まれることなのです。7.わたしたちはこれまでの教えで、こんなこと（唯一神教）を聞いたことがありません。これは作り話にすぎません。8.わたしたちの間で、あんな男にだけお告げが下ったと言うのですか。いや、かれらはわたしの諭し（警告）に、疑いを抱いています。いや、かれらはまだわたしの苦痛を味わったことがないのです。

9.それともかれらは、偉力大で恵み多いあなたの主の、慈悲の宝庫を持っているのですか。10.かれらは諸天と地、そしてその間のすべての大権を持っているのですか。それならかれらに（天の玉座まで）綱を登らせなさい。11.そこでは、その諸党派の軍勢は敗北するのです。12.かれら以前にも、ヌーフの民、アード（の民）、および勢力を張ったフィルアウンも、13.またサムード（の民）、ルートの民、および森の人びとも諸党派となり、14.全員が使徒たちを嘘つき呼ばわりし、それでわたしからの苦痛が確実に下ったのです。15.これらの者も、かの一声を待つだけで、それ

には一刻の猶予もないのです。16.かれらは言います。主よ、わたしたちの授かる分を、清算の日以前に急いでくださいと。

17.あなたはかれらの言葉を耐え忍びなさい。そしてわれらの僕である剛腕なダーウードを思いなさい。実にかれは常に（アッラーの御元に）帰りました。18.われらは山々を従わせ、かれと共に朝夕に賛美させ、19.また鳥類も集まって、すべてのものが常に（アッラーの御元に）帰りました。20.そこでわれらはかれの王国を強化し、英知と歯切れの良い話法をかれに授けました。

21.あなたは争議する者の話を聞きましたか。かれらが礼拝室（ミフラーブ）の壁を乗り越えて、22.ダーウードのところに入って来たので、かれは驚きました。かれらは言いました。恐れないでください。これが訴訟の当事者の双方です。一方が他方に不正を働きました。真理によってわたしたちの間を裁いてください。不公平がないように、わたしたちを公正な道に導きください。

23.これは、わたしの兄です。かれは99頭も雌羊を持っており、わたしは1頭しか持っていませんでした。ところがかれは、それも自分に任せなさいと言って、わたしを言い負かしたのです。24.かれ（ダーウード）は言いました。かれ（兄）があなたの羊を取ろうとしたのは、実に不当です。確かに共同で仕事をする者の多くは、互いを不当に扱います。信仰して善行に勤しむ者は別だが、それは稀ですと。（そのとき）ダーウードは、われらがかれを試みたことを悟り、主の赦しを請い、礼拝にひれ伏し、改心して主の御元に帰りました。25.それでわれらは、かれを赦しました。かれはわれらの御元で側近にあり、そこが最善の帰り所なのです。

26.ダーウードよ、われらはあなたを地上の代理者にした。だから人びとを、真理によって裁き、妄欲に従ってアッラーの道を踏みはずしてはいけません。アッラーの道から迷う者は、清算の日を無視したので、激しい苦痛に会うのです。

27.われらは天と地、そしてその間にあるものを、無目的には創りませんでした。それは信仰のない者の憶測です。かれら信仰のない者は、どれほど（地獄の）火を味わうことか。28.われらが信仰して善行に勤しむ者を、地上で腐敗を広める者と同じに扱うでしょうか。われらが（アッラーを）意識する者を、信仰破りの者と同じに扱うでしょうか。29.（クルアーンは）われらがあなたに啓示した祝福された啓典で、かれらがその印を熟慮するためであり、また心ある者たちへの諭しなのです。

30.われらはダーウードにスライマーンを授けました。何と優れた僕でしょう。かれは改心して、常に（アッラーに）帰りました。31.（ある日の）夕暮れ時、俊足の馬がかれに献上されて、32.かれは言いました。確かにわたしは、主を念ずることよりも（夕刻の礼拝を忘れて）、夜の帳が降りるまで、素晴しい物（駿馬）を愛してしまったのです。33.その馬を連れて来なさい。すると、かれは（馬の）足と首を叩いた（切り落とした）のでした419。

34.またわれらはスライマーンを試み、一つの体をかれの王座に投げ込みました。その後かれは（健康を）回復し、35.言いました。主よ、わたしを赦してください。そして、わたしの後には誰も持ち得ないほどの王国をわたしに与えてください。実にあなたは豊かに与える方です。36.そこでわれらは、風をかれに従わせました。それはかれの思うままに、その命令によって望む所に静かに吹きます。37.また悪魔たちも、（その中の）あらゆる大工や潜水夫も、38.その他に鎖に繋がれた者も（スライマーンに従わせ）ました。39.（アッラーは言いました）これ（王国）はわれらの賜物です。だから、あなたが与えようと（与えるのを）控えようと、数えることなく好きにしなさい。40.かれはわれらの元で側近にあり、そこが最善の帰り所なのです。

41.われらの僕、アイユーブを思い起こしなさい。かれは主に向かって、悪魔がわたしを疲労と苦痛で襲うのですと叫びました。42.（アッラ

ーの命令は）あなたの足で（大地を）踏みなさい。そこには冷たい沐浴と飲むための（水）があるでしょう。43.われらは慈悲として、かれに家族とそれに似たものを与え、思慮ある者への教訓としました。44.（アッラーは言いました）一握りの草を手に取って、それで（妻を）打て。あなたの誓いを破ってはならない。われらは、かれがよく耐え忍ぶことを知りました。何と優れた僕ではないか。かれは常に（われらの御元に）帰った。

45.またわれらの僕の、イブラーヒームとイスハークとヤアコーブを思い起こしなさい。（かれらは）強力であり、洞察力もありました。46.われらは、かれらが（来世の）住まいにつき至誠を尽くして念じているので、かれらを信仰専一にしてやりました。47.本当にかれらは、われらの御元において選ばれた優れた者でした。48.またイスマーイールとアルヤサアとズー・アルキフルを思い起こしなさい。かれらは皆、優れた者でした。

49.これは一つの教訓です。本当に（アッラーを）意識する者のためには、幸せな帰り所があります。50.（それは）永遠の楽園であり、その門はかれらのために開かれます。51.その中でかれらは（安楽に寝床に）寄りかかり、たくさんの果実や飲み物が、望み放題です。52.また側には、目を伏せがちな同じ年頃の（女性）がいます。53.これらは清算の日のために、あなた方に約束されるものです。54.本当にこれは、尽きることのない賜物です。

55.（アッラーを意識する者は）このようです。だが反逆者には、悪い帰り所があるでしょう。56.それは地獄です。かれらはそこで焼かれるのです。何と悪い寝所でしょうか。57.（実に）こういうことです。かれらは煮え立つ湯と膿を味わわされ、58.その他これに類する苦痛も受けます。59.これはあなた方と一緒に、やみくもに突き進む一群です。かれらに歓迎の言葉はない。（地獄の）火で焼かれるだけです。60.かれら（地獄の火の仲間）は（かれらの指導者たちに）言います。いや、歓迎されな

いのは、あなた方だ。わたしたちに、これ（地獄の火）を差し向けたのはあなた方だ。何と悪い住まいでしょうか。61.そしてかれらは言います。主よ、わたしたちをここに連れて来た者には、（地獄の）火で倍の苦痛を加えてください。62.かれら（地獄の火の仲間）は言います。わたしたちが悪人と思っていた人びとを見かけないのはどうしたことか。63.わたしたちが笑い草にしていた者（も見かけない）。（わたしたちの）目がかれらを見落としたのか。64.実にこれは実際に起こることで、（このように地獄の）火の仲間は言い合うのです。

65.言いなさい。わたしは警告者にすぎない。唯一の方、征服する方であるアッラーの他には神はない。66.諸天と地、そしてその間のすべての主、偉力大でよく赦す方。67.言いなさい。これは偉大な知らせです。68.だがあなた方は、それから背き去る。69.最高位の者（天使）たちの論議については、わたしは何の知識もない。70.わたしに啓示されたのは、ただわたしが明瞭に警告するためです。

71.あなたの主が、天使たちに、わたしは土から人間を創ると言いました。72.それでわたしがかれ（人間）を形作り、それにわたしの魂を吹き込んだなら、あなた方は跪いてかれに平伏礼しなさい。73.すると天使たちは、皆一斉に平伏礼したが、74.イブリースだけはそうしませんでした。かれは高慢で、信仰を拒む者でした。75.かれは言いました。イブリースよ、わたしが手ずから創ったものに平伏礼することから、何があなたを妨げたのか。あなたは高慢なのか、それとも偉ぶる者なのか。76.かれ（イブリース）は言いました。わたしはかれ（人間）より優れています。あなたは火でわたしを創りましたが、かれは土で創りました。77.かれは言いました。それならあなたは、ここから出て行きなさい、実にあなたは、石で追われる身なのだ。78.そしてわたしの拒否は、あなたに対して審判の日まで続くでしょう。

79.かれ（イブリース）は言いました。主よ、かれら（人間）が復活する

日まで、猶予を願います。80.かれは言いました。それではあなたを猶予しよう。81.定められた時まで。82.かれは言いました。それでは、あなたの剛力にかけて誓います。わたしはかれら（人間）すべての者を誘惑しましょう。83.かれらの中の、あなたの選んだ僕を除いて。84.かれは言いました。それは（アッラーからの）真実である。わたしからは、真実を言うだけだ。85.わたしは、あなたとあなたに従うすべての者で、地獄を満たすことでしょう。

86.言いなさい。わたし（ムハンマド）はこれ（クルアーン）に対し何の報酬もあなた方に求めない。またわたしは、詐欺を図る者ではない。87.これはすべての世界に対する諭しに他ならない。88.（最後の）ときが来たら、あなた方はその知らせ（が真実であること）を、間違いなく知るでしょう。

39. 集団章

al-Zumar

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.この啓典の啓示は、偉力大で英明なアッラーから（下されたもの）です。2.本当にわれらは真理によって、あなたにこの啓典を下しました。それでアッラーに仕え、信心の誠を尽くすように。3.信心の誠を尽くして仕えるのは、アッラーにとっては当然ではないのか。だがかれを差し置いて（他に）保護者を求める者は、わたしたちがかれら（神々）に仕えるのは、ただわたしたちがアッラーの御側に近づくためである（と言います）。本当にアッラーはかれらに異論がある諸点について、必ずその間を裁決します。アッラーは、嘘つきで恩を忘れる者を導きません。

4.アッラーが子を持とうと御望みなら、御自分が創るものの中から、望みの者を選ぶのです。かれに賛美あれ。かれはアッラー、唯一にして

（全世界の）征服者です。5.かれは真理をもって諸天と地を創造し、夜をもって昼を覆い、また昼をもって夜を覆わせ、太陽と月を服従させて、すべてが定められた期間に従って動いています。確かにかれは、偉力大でよく赦すお方です。

6.かれはあなた方を一人の者から創り、それからその配偶者を創り、またかれは（雌雄で合計）８頭の家畜をあなた方に遣わしました。かれはあなた方を母の胎内に創り、三つの暗黒の中において、創造につぐ創造をしました。このように、あなた方の主アッラーに、大権は属します。かれの他に神はないのです。それなのにあなた方はどうして背き去るのか。

7.もしあなた方が信じなくても、アッラーはあなた方を必要としません。だがかれは、僕たちの不信心を喜びはしない。しかし感謝するなら、かれは喜びます。重荷を負う者は、他の者の重荷を負うことはありません。やがてあなた方は、自分の主の御元に帰るのです。そのときかれは、あなた方の（現世における）行ないのすべてをお告げになります。真にかれは（人びとの）胸に抱くことを熟知します。

8.人間は災厄に会えば、主に祈り、改心してかれに戻ります。だがかれが恩恵をかれの御元から授けると、先に祈ったことを忘れて、アッラーに同位者を配し、かれの道から（人びとを）迷わせるのです。言いなさい。あなたは、束の間の不信心（の生活）を享受するがよい。確かにあなたは地獄の火の仲間である。9.いや、夜間も敬虔に平伏礼し、あるいは立って礼拝に打ちこんで、来世に備え、また主の慈悲を請い願う者（と非信者は同じ）なのか。言いなさい。知っている者と、知らない者と同じであろうか。（しかし）諭しを受け入れるのは、思慮ある者だけなのです。

10.（ムハンマドよ）言いなさい。信仰するわたしの僕たちよ、主を意識しなさい。現世において善行をなす者には、善いこと（報奨）があります。

アッラーの大地は広大なのです。よく耐え忍ぶ者は、真に惜しみない報奨を受けます。

11.言いなさい。わたしはアッラーに、信心の誠を尽くして仕えるよう命じられ、12.またわたしはムスリムの先達であるよう命じられているのです。13.言いなさい。わたしがもし、主に背くようなことがあれば、偉大な日の苦痛が恐ろしい。14.言いなさい。わたしはアッラーに、信心の誠を尽くして仕えます。15.かれを差しおいて、あなた方が欲するものに仕えるがいい。言いなさい。誠に失敗者とは、審判の日に、自らの魂とその家族を失う者である。確かにそれは明らかな失敗だ。16.かれらの上には火の覆いがあり、かれらの下にも（火の）床があろう。このようにして、アッラーは、僕に恐怖心を起こさせます。僕たちよ、だからわたしを意識せよと。

17.邪神を避けて崇拝せず、改心して、アッラーの元に帰る者には吉報があるでしょう。だからわたしの僕たちに吉報を伝えなさい。18.お言葉を聞いて、その中の最も良いところに従う者たちに。これらはアッラーが導かれた者であり、これらこそ思慮ある者たちです。

19.だが苦痛のお言葉が下った者はどうか。あなたは（地獄の）火の中の者を、救えるのか。20.（他方）主を意識する者に対しては、館の上に館が建てられた高い建物があり、その下には川が流れています。これはアッラーの約束で、アッラーは決して約束を破らないのです。

21.あなたは見ないのか、アッラーが天から雨を降らし、それを導いて地中の泉とし、それから色とりどりの植物を生やし、やがてそれらが枯れてあなたの目前で黄色になると、それからそれをぼろぼろの屑にします。実にこの中には、思慮ある者への諭しがあります。22.アッラーが胸をイスラームへと開いて従うようにし、主からの御光を受けた者がいます。だから、災いなるかな、アッラーを念じるのに心を固くする（啓示を拒む）者こそ、明らかに迷える者です。

23.アッラーは最も美しい教え（クルアーン）を、互いに似た（一貫した比喩を）繰り返す啓典で啓示しました。主を意識する者は、それによって皮膚は震えます。そのとき、アッラーを唱念すれば皮膚も心も和ぎます。これがアッラーのお導きです。かれは御心に適う者を導きます。だがアッラーが迷うに任せた者には、導き手はないのです。

24.それで審判の日のひどい懲罰を、顔に受けて守るしかない者はどうでしょう。不正な者に対しては言われるでしょう。あなた方が稼いだものを味わえ。25.かれら以前の者も（啓示を）拒否しました。それで思いがけないところから、懲罰がかれらに下りました。26.アッラーは現世の生活において、かれらに屈辱を味わわせます。だが来世における懲罰は更に大きい。ああ、かれらがそれを知っていたならば。

27.またわれらはあらゆる比喩を人びとのために、このクルアーンの中で提示しました。かれらが諭しを受け入れればよいと思って。28.少しも曲がったところのない、アラビア語のクルアーンであり、恐らくかれらは（アッラーを）意識するでしょう。29.アッラーは一つの比喩を提示します。多くの互いに争う主人に侍る者と、一人の主人に忠実に仕えている者、この二人は比べてみて同じでしょうか。アッラーに称賛あれ。だが、かれらの多くは分からないのです。30.確かにあなたは死ぬこととなるのです。かれらもまた死ぬのです。31.それから審判の日に、あなた方は主の御前で言い争います。

32.◆24部◆アッラーについて嘘をつき、また自分のもとに真理が来ると、それを拒否する者以上に不正な者があるでしょうか。地獄には、不信心な者への住まいがないとでも言うのか。33.だが真理をもたらす者、またそれ（真理）を確認（して支持）する者、これらは（アッラーを）意識する者です。34.かれらはアッラーの御元で、何でも望むものが得られるでしょう。これは善行をなす者への報奨です。35.それでアッラーは、か

れらが行なった最悪のもの427は放免し、かれらが行なった最善のものについて報奨を与えるのです。

36.アッラーはその僕にとって、万全ではないでしょうか。だがかれらはかれ以外（の神々）をもって、あなたを脅そうとするのです。アッラーが迷うに任せた者に、導く者はいません。37.アッラーが導く者を、迷わせる者は誰もいません。アッラーは偉力大で、応報の主ではないですか。

38.もしあなたがかれらに、諸天と地を創ったのは誰かと問えば、かれらは必ずアッラーと言うでしょう。言いなさい。それならあなた方は考えないのか。アッラーの他にあなた方の祈るもの（邪神）たちを。もしアッラーがわたしに対し災厄を御望みなら、かれら（邪神）はかれの災厄を除くことができるのか。または、かれがわたしに対し慈悲を御望みなら、かれら（邪神）はかれの慈悲を抑えることができるのか。言いなさい。わたしには、アッラーで十分です。信頼しようとする者は、かれを信頼すると。39.言いなさい。わたしの人びとよ、あなた方は好きなように行なえ。わたしもそうする。やがてあなた方は知るでしょう。40.誰に恥ずべき（現世の）苦痛が来るのか、また誰に永遠の苦痛が下るのかを。41.われらは人びとのため、真理によってあなたに啓典を下しました。それで誰でも導きを受ける者は自分を益し、また誰でも迷う者は自分を損なうだけです。あなたはかれらの後見人ではありません。

42.アッラーはかれら（人間）が死ぬとその魂を召集し、また死なない者も睡眠の間に（魂を召集し）、かれは死の宣告をした者の魂をそのまま（戻さずに）引き留め、その他のものは定められた時刻に送り返します。真にこの中には、熟慮する者への種々の印があるのです。

43.かれらはアッラー以外に、執り成す者を求めるのか。言いなさい。かれら（邪神たち）には何の力もなく、また何も理解しないではないか。44.言いなさい。執り成しのすべては、アッラーに属するのです。諸天と地の大権はかれのものです。やがてあなた方は、かれの元に帰され

るのです。45.アッラーだけが言及されると、来世を信じない者たちの心は嫌気を覚えます。だがかれではなく、他（の神々）が述べられると、見よ、かれらは喜ぶのです。46.（祈って）言いなさい。おおアッラーよ、諸天と地の創造者、目に見える世界と目に見えない世界を知っているお方、あなたは、僕たちの間で意見を異にすることについて、お裁きになります。47.もし悪を行なう者が、地上のすべてのものに加えて、なおそれに類するものを所有するなら（倍持っているとすれば）、審判の日における苦痛の困難から逃れる身代金にしようと思うのでしょう。そのときかれらが思い及ばなかったことが、アッラーからかれらに示されるでしょう。48.かれらはその稼いださまざまな悪事に出合い、笑い草にしていたものが、かれらを取り囲むでしょう。

49.人は災厄に会うと、われらに祈ります。だがわれらがそれを恩恵に変えると、実は自分の知識によっていたと言うのです。いや、これも一つの試みです。だがかれらの多くは理解していない。50.かれら以前の者も、このように言っていました。だがかれらの稼いだものは、益するところなどなかったのでした。51.そしてかれらが稼いだ悪（の報い）が、かれらを襲ったのです。これらの不正を行なった者は、かれらが稼いだ悪（の報い）にやがて直面します。かれらは、逃れられないのです。52.かれらは、アッラーが御望みの者に糧を広げ、あるいは制限して与えることを知らないのか。実にこの中には、信仰する民への印があります。53.則を越えて、自らを害したわたしの僕たちに言いなさい。それでもアッラーの慈悲に対して、絶望してはならない。アッラーは、確かにすべての罪を赦されます。かれはよく赦すお方、慈悲深いお方なのです。54.あなた方は懲罰が来る前に、主に改心して帰り、かれに服従しなさい。その後では、あなた方は助からない。

55.あなた方が気づかない中、突然懲罰がやって来る前に、主からあなた方に下された最も善い（教え）に従え。56.心でこのように言わな

いように。ああ情ない、わたしはアッラーの側（自分の義務）を怠っていた。本当にわたしは嘲笑者の一人であった。57.または、もしアッラーがわたしを導いていたなら、わたしは必ず（アッラーを）意識していたものを。58.また懲罰を見たとき、わたしがもう一度（現世に）帰れるなら、わたしは必ず善い行ないをする者の一人になるでしょうと。59.いやそうではない。確かにわたしの印は下ったのです。だがあなた方はそれを拒否した。そして、高慢で不信心な一人となったのだ。60.審判の日、あなたはアッラーに対し虚偽を語った者たちを見るでしょう。かれらの顔は黒くなっています。地獄には高慢な者の住まいがないと言うのでしょうか。61.だがアッラーは、アッラーを意識した者を安全な避難場所に救います。かれらは災厄に会うこともなく、憂いもないのです。

62.アッラーは、すべてのものの創造者であり、またすべてのものの管理者です。63.諸天と地の鍵は、かれのものです。アッラーの印を拒否した者こそ、失敗者なのです。64.言いなさい。あなた方（多神教徒）は、アッラーを差し置いて他に仕えるよう、わたしに命じるのか、無知な者たちよ。65.すでにあなた（ムハンマド）には、啓示が降ろされました。あなた以前の者たちにしたように。もしあなたが（邪神をアッラーに）配したなら、（現世における）あなたの行ないは虚しいものになり、必ず失敗者となるでしょう。66.いや、アッラーに仕えて、感謝する者となりなさい。

67.かれらは、アッラーの真の力量を分かっていません。審判の日において、かれは大地のすべてを一握りにし、その右手に諸天を巻くでしょう。かれに称賛あれ。かれは、かれらが配するものの、はるか上に高くおられます。68.ラッパが吹かれると、諸天にあるもの、また地上にあるものも、アッラーが御望みになる者の他は気絶します。次にラッパが吹かれると、見よ、かれらは起き上って見回します。69.そのとき大地は、主の御光で輝き、（行状の）記録が置かれ、預言者たちと証人たちが連れ出され、公正な判決がかれらの間に宣告されて、（少しも）不当な扱いは

されません。70.人びとは、その行なったことに対して、十分に報いられるでしょう。かれは、かれらの行なったすべてを最もよく知っておられます。

71.非信者は集団（ズマル）をなして地獄に駆られ、かれらがそこに到着すると、地獄の諸門は開かれます。そして門番が言います。あなた方（の同胞）から使徒は、来なかったのですか。（そして）主からの印をあなた方のために読誦し、またあなた方のこの会見の日のことを警告しなかったのですか（と問う）。かれらは（答えて）言います。その通りです。しかし非信者に対する苦痛（懲罰）の言葉が、現実のものとなるのですと。72.かれらは言われます。あなた方は地獄の門を入れ。永遠にその中に住みなさい。何と哀れなことよ、高慢な者の住まいとは。

73.またかれらの主を意識したものは、集団をなして楽園に連れられて行きます。かれらがそこに到着した時、楽園の諸門は開かれるのです。そしてその門番は、あなた方に平安あれ、あなた方は立派であった、ここにお入りなさい、永遠の住まいに、と言います。74.かれらは言います。アッラーに称賛あれ。かれはわたしたちへの約束を果たし、わたしたちに大地を継がせ、この楽園の中では、好きなところに住まわせてくださいます。何と結構なことよ、（善行を）実行してきた者への報奨は。75.あなたは見るでしょう、天使たちが八方から玉座を囲んで、主を称えて賛美するのを。人びとの間は公正に裁かれ、すべての世界の主、アッラーにこそすべての称讃あれと、唱えられるのです。

40. 赦すお方章

Ghafir

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ハー・ミーム。

2.この啓典は、偉力大な全知のアッラーから降ろされたものです。3.罪を赦すお方であり、改心を受け入れるお方で、（他方）苦痛を与えるときは激しく、（また）恵みは豊かな方です。かれの他に神はなく、誰でもその行き先はかれの御元です。

4.不信心な人以外は、誰もアッラーの印について議論しないのです。だから（ムハンマド）、かれら（不信仰な人）が諸都市を往来する（商売する）のに、惑わされてはいけません。5.かれら以前にもヌーフの民がいて、その後の人びとも（預言者を）嘘つき呼ばわりしました。そしてこれら（不信心）の者たちは、かれらの預言者に対して企てて、かれらを捕まえては無駄な議論を持ち掛け、それで真理を非難しました。そこでわたしはかれらを捕えたのです。わたしの与えた苦痛は何と厳しかったことよ。6.このように、あなた方の主のお言葉は、不信心の者たちの上に現実となります。確かにかれらは（地獄の）火の住民です。

7.（主の）玉座を担う者たち、またそれを取り囲む人たちは、主を称賛をもって賛美し、かれを信奉し、信じる人のために御赦しを請いながら（言います）。主よ、あなたの慈悲と知識は、すべてのものの上にあまねく及びます。改心してあなたの道に従う者たちを赦し、かれらを地獄の火の苦痛から御守りください。8.主よ、あなたがかれらに御約束なされた永遠の楽園に、かれらを入れてあげてください。またかれらの先祖、配偶者と子孫の中の正しい者を。真にあなたは、偉力大で英明です。9.かれらを悪から御守りください。その日、あなたが諸悪から御守り下

された者は、確かにあなたの慈悲に浴した者であり、それは偉大な勝利なのです。

10.確かに不信心の者たちは、（次のように）言われるでしょう。あなた方の互いの嫌悪よりも、アッラーからのあなた方への嫌悪ははるかに大きい。（というのも）あなた方は、信仰に呼び掛けられたのに、拒否したからです。11.かれらは言うでしょう。主よ、あなたはわたしたちを二度死なせ、二度甦らせました。今わたしたちは、罪を認めました。何とか脱出する道はないですか。12.（回答は）そんなことになったのは、唯一のアッラーを信奉するようにとの呼びかけを拒否して、かれに同位者が配されるときには、（それらを）信じたから。裁決は、至高にして至大なアッラーのものなのです。

13.かれこそは種々の印をあなた方に示し、あなた方のために天から御恵みを下される方です。だが、改心して（主に）帰る人だけが、留意するのです。14.それであなた方は、アッラーだけに至誠の信心を尽くして、かれに祈りなさい。たとえ非信者たちが忌み嫌っても。15.かれは至高の位階におられる玉座の主。かれは僕の中、お望みの者に、命令により魂（啓示）を遣わし、（人びとに）会見の日を警告なされます。16.この日、かれらが（墓から）放出されるとき、何事もアッラーに隠しだてはできません。その日（万事差配の）大権は、誰にあるのか。唯一なるお方で征服者である、アッラーのもの。17.その日、各人は稼いだことによって報いられる、（応報上）不正のない日です。誠にアッラーは、清算に迅速なのです。

18.だからあなたは、近づいているその日について、かれらに警告しなさい。そのときかれらの心臓は喉元に上がってふさぎ、息を止めるでしょう。悪行の者には一人の友もなく、執り成す者がいたにしても、（聞いてもらって）取り上げられることはない。19.（アッラーは）盗み見る目も、胸に隠すことをも、すべて知っております。20.アッラーは、真理によって

御裁きになります。だがかれの他にかれらが祈るもの（偶像など）たちは、何も裁くことはできません。実にアッラーは、全聴にして、すべてを洞察されています。

21.かれらは地上を旅して、かれら以前の者の最後がどうだったかを見てこなかったのでしょうか。かれらは、これら（マッカの多神教徒）よりも有力で、地上に残す遺跡においても優れていました。しかしアッラーは、かれらをその罪のために、破壊したのです。そのときアッラーから、かれらを守れる人は一人もいませんでした。22.つまりかれらの使徒たちが何回も明証をもたらしたのに、かれらはそれを拒否したので、アッラーはかれらを破壊したのでした。誠にかれは強力で、激しい苦痛を与えます。

23.先にわれらは、われらの印と明らかな権威をもってムーサーを遣わしました。24.フィルアウンとハーマーンとカールーンに。だがかれらは、（ムーサーは）嘘つきの魔術師だと言いました。25.かれがわれらの元から真理をもたらしたのに、かれらはかれと共に信仰している人の男児を殺し、女児を生かしておけと言いました。だが非信者の企みは、失敗に終わる他ないのです。

26.フィルアウンは言いました。ムーサーを殺すことは、わたしに任せなさい。そしてかれには、かれの主に祈らせておけばよい。かれがあなた方の宗教を変えて、国内に災厄を引き起こしはしないかと、わたしは心配でなりません。27.ムーサーは言いました。確かにわたしは、清算の日を信じないすべての高慢な人に対して、わたしの主、また、あなた方の主（の守護）に祈るのです。

28.フィルアウンの一族の中で、ひそかに信仰している一人の信者が言いました。あなた方の主からの明証をもたらして、わたしの主はアッラーであると言っただけで、人一人を殺そうとするのですか。もしその人が嘘つきであれば、その嘘はその人の身の上に降りかかり、その人が真

実を言っているのならば、その人が警告することの一部分があなた方の身の上に降りかかるでしょう。真にアッラーは、法外な嘘つきを導きません。29.わたしの人びと（フィルアウンの一族でひそかに信仰する人）よ、今、主権はあなた方のものであり、あなた方はこの地上の主人です。だがアッラーの剛力が下ると、誰がわたしたちを救えるでしょうか。（これに対し）フィルアウンは言いました。わたしは（自分の）考えるところを、あなた方に言うだけです。また（それが）あなた方を、正しい道に導くのです。

30.そこでその信仰する人は言いました。人びとよ、わたしは、（預言者を拒否した）人びとの（運命の）日のようなものが、あなた方に（下るのが）恐ろしいのです。31.またヌーフ、アード、サムードの民と、その後の諸民族を襲ったような運命を（恐れます）。真にアッラーは、その僕に対し不正をお望みになりません。32.人びとよ、わたしはあなた方のために、あなた方が互いに呼び合う日を恐れます。33.その日あなた方は、背を向けて逃げるでしょう。しかしアッラーからあなた方を守る人はいません。アッラーが迷うに任せられる人には、導き手はいないのです。

34.本当に以前ユースフが明証をもたらしたときも、かれがもたらしたものについて、あなた方は疑いを抱いて止みませんでした。かれが死んだとき、あなた方は、かれの後にアッラーは使徒を遣わさないだろうと言いました。このようにアッラーは、法外な懐疑者を、迷うに任せられます。35.何の権威も与えられないのにアッラーの印について言い争う者は、アッラーからもまた信者たちからも、ひどく忌み嫌われるでしょう。このようにアッラーは、すべての高慢で横暴な人の心を封じます。

36.フィルアウンは（大臣に命じて）言いました。ハーマーンよ、わたしのために高い塔を建てて、わたしが綱で到達出来るようにしなさい。37.諸天（へ）の綱があればムーサーの神を見るでしょう。どうせ、かれ（ムーサー）は嘘をついているに違いないのだ。このようにフィルアウン

には、自分の悪い行ないが立派に見えて、（正しい）道から締め出されてしまったのでした。フィルアウンの企みは、破滅をもたらすだけでした。

38.例の信仰する人は言いました。人びとよ、わたしに従いなさい。正しい道にあなた方を導きます。39.人びとよ、現世の生活は束の間の享楽にすぎません。本当に来世こそは永遠の住まいです。40.悪事を行なった者は、それと同じ報いをうけます。だが善行をする人は、男でも女でも信者なら全員が楽園に入り、そこで限りない御恵みを与えられます。41.人びとよ、これはどうしたことか。わたしはあなた方を救おうと招くのに、あなた方は地獄の火にわたしを招くとは。42.あなた方は、アッラーを敬わないで、わたしの知らないものをかれと一緒に配するよう勧めます。だがわたしはあなた方を、偉力大でよく赦す方に招くのです。43.間違いもなく、あなた方が祈るようにと、わたしを誘うものは、現世でも来世でも、祈られるに値するものではありません。本当にわたしたちの帰る所はアッラーの御元で、無法の徒は地獄の火の仲間です。44.（フィルアウンたちよ）わたしが言ったことを、やがて思い出すでしょう。だからわたし（自身）のことはアッラーに委ねています。アッラーは僕たちのことを、洞察されています。

45.そこでアッラーは、かれらの企みの災厄から、かれ（ムーサー）を救われ、最悪の苦痛がフィルアウンの一族を取り囲みました。46.かれらは朝な夕なに地獄の火にさらされ、それからそのときが確立される日、フィルアウンの一族を、最も激しい苦痛に投げ込め（と仰せられるでしょう）。

47.かれらは地獄の火の中で互いに口論します。弱者たちは、高慢であった者たちに言います。わたしたちは、あなた方に従っていました。あなた方は地獄の火の一部を、わたしたちから取り除いてくれてもよいではありませんか。48.高慢であった者は（答えて言います）。実はわたしたちは、皆その（地獄の）中にいるのだ。アッラーは僕たちの間を、もう判

決されてしまった。49.そこで、地獄の火の中にいる人たちは、地獄の監視者（天使）に言います。この苦痛が１日（でも）わたしたちから軽くなるよう、あなたの主に嘆願してください。50.かれら（天使）は言います。使徒が、あなた方に明証を持って行かなかったのですか。かれらは（答えて）言います。その通りです。かれら（天使）は言います。それなら祈るがいい、しかし非信者の嘆願は、無駄になるだけです。

51.確かに現世の生活においても、また証人たちが（証に）立つ日においても、われらは必ずわれらの使徒たちと信仰する人たちを助けます。52.その日、悪行をした者たちの弁解は無益で、かれらは拒否されて、悪い住まいがあるだけです。53.われらはムーサーにしっかりと導きを授け、イスラーイールの子孫に、その啓典を継がせました。54.（それは）心ある人への導きであり、諭しです。55.だから耐え忍びなさい。アッラーの約束は真実です。あなたは罪科の赦しを請い願い、朝な夕なに、主を称賛をもって賛美しなさい。

56.何の権威も授かっていないのにアッラーの啓示について論争するのは、とんでもない自信過剰だけを胸の中に抱く者です。だからあなた方は、アッラーの加護を請いなさい。本当にかれは全聴にして、すべてを洞察される方なのです。57.諸天と地の創造は、人間の創造などよりもはるかに偉大です。だが人びとの多くはそれを知りません。58.視覚のある人とない人とは同じではなく、また信仰して善行に勤しむ人と、悪行の者たちとは同じではありません。諭しに留意する人は、あまりいません。59.確かにそのときは、確実に来るのです。それに疑いの余地はありません。だが人びとの多くは信じません。

60.それであなた方の主は、仰せられます。わたしに祈りなさい。わたしはあなた方に答えるであろう。だがわたしに仕えない尊大な人たちは、必ず恥辱まみれで、地獄に落ちるであろうと。61.アッラーこそは、あなた方のために夜を設けて憩いのときとされ、またものが見えるように

昼を設ける方です。アッラーは人間に対し、本当に寵愛深くあられます。だが人びとの多くは感謝しません。62.これこそは、あなた方の主アッラー、すべての世界の創造の主です。かれの他に神はないのです。それなのにどうして、あなた方は迷妄なのですか。63.アッラーの印を否定する人は、このように迷わされます。

64.アッラーはあなた方のために大地を安住の場所とされ、大空を天蓋とされ、また、あなた方に姿を授けて、見事な形に作り、いろいろな善い御恵みを与えられた方です。これが、あなた方の主、アッラーです。すべての世界の主アッラーに、称賛を。65.かれは永生で、かれの他に神はないのです。だからかれに祈り、かれに信心の至誠を尽くしなさい。すべての世界の主アッラーに、称賛を。

66.言ってやるがいい。わたしはあなた方が、アッラーを差し置いて崇拝するものに、仕えることを禁じられました。主からの明証が、わたしに下され、すべての世界の主に、服従するよう命じられたのです。67.かれこそは、土からあなた方を創り、次いで一滴（の精液）から、次いで一塊（の血）にして、そして幼児としてあなた方を出生させ、それから成熟させ、それから老いさせる方です。あなた方の中には早くに死ぬ者もいるが、（そうでない人が）既定の時期にまで達せられるということは、あなた方が（事態を）よく理解するためです。68.かれこそは生を授け、また死を授ける方。かれが一事を決められれば、それに対し、有れ、と言われる、そうすると、すなわち有るのです。

69.あなた方はアッラーの啓示について、議論する人を見なかったのですか。かれらは何と（信仰から）離されたことでしょう。70.これらは啓典を虚偽であるとし、またわれらが遣わした使徒たちのもたらすものを虚偽であるとする人。やがてかれらは思い知るでしょう。71.首かせがはめられ、また鎖が巻かれ、かれらが引き回されるとき、72.沸騰する湯の中に、それから地獄の火の中に（投げ込まれ）熱せられるとき、73.そのと

き、かれらに言われます。あなた方が崇拝していた神々は、どこにいるのか。74.アッラーを差し置いていたのか。かれらは（答えて）言いました。かれら（神々）は、わたしたちを置き去りにしました。いや、わたしたちが以前祈っていたのは、何でもなかったのですと。このようにアッラーは不信心の者を迷うに任せます。75.それもあなた方が地上で、不当に享楽して、満足気であったためです。76.あなた方は地獄の門を入り、その中で永遠に住め。何と高慢の者の住まいの酷いことか。

77.あなた方は耐え忍びなさい。真にアッラーの約束は、確かです。われらがかれら（非信者）に（現世で）約束した一端を、あなたに示すこともあるでしょう。またはあなたを（その前に）召すことも。だがどちらにしても、かれらはわれらの元に帰されるものなのです。

78.われらはあなた以前にも、使徒たちを遣わしました。そのある人についてはあなたに語り、またある人については語っていません。だがどの使徒も、アッラーの御許しによる他、印をもたらすことはないのです。そしてアッラーの大命が下れば、真理にもとづいて裁かれます。そのとき、虚偽に従った者たちは滅びるのです。

79.アッラーは、あなた方のために家畜を創った方で、あなた方はそれを乗用に、あるいは食用に用います。80.それらには、あなた方のためにさまざまな便益があり、あなた方の胸に抱く望みもそれらによって満たし、またその背や船によってあなた方は運ばれます。81.そしてわれらは種々の印を、（絶えず）あなた方に示します。一体アッラーの印のどれを、あなた方は否定するのでしょうか。

82.かれらは地上を旅して、観察しなかったのでしょうか。かれら以前の者の結末がどうであったかを。かれら（滅ぼされた民）は、これら（マッカの多神教徒）よりも多数で、力も優れ、地上の遺跡も多い。それでも、かれらの稼いだことは、何の役にも立たなかったのです。83.かれらの使徒たちが種々の明証をもってかれらのところに来たとき、かれらは自ら

が持っている知識を（正しいものとして）喜ばしく思いました。そしてかれら（マッカの多神教徒）の嘲笑していたことが、かれら（自身）を取り囲んでしまったのです。84.それからかれらは、われらの苦痛を見るときになると、わたしたちは唯一であるアッラーを信じます、そしてかれに並べて配していたものを拒否しますと言います。85.しかしわれらの苦痛を見てからの信仰は、かれらの役には立たないのです。（これは）アッラーの僕に対してなされた、かれの（いつもの）慣行です。そして、非信者たちは滅び去ったのです。

41. 解説された章

Fussilat

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1. ハー・ミーム。

2.（これは）慈悲あまねく、慈悲深いお方からの啓示です。3.印(しるし)が詳細に解説された啓典、理解ある民へのアラビア語のクルアーンで、4.吉報と警告（を伝えるもの）です。だがかれらの多くは、背き去って聞こうとはしないのです。5.そしてかれらは言います。わたしたちの心は、あなた（ムハンマド）が招くことに対して覆われて、またわたしたちの耳は聞こえず、しかもわたしたちとあなたの間には幕がかかっている。そこであなたは自分の（望みの）ことを行なえ。わたしたちも自分の（望みの）ことを行なうのだと。

6.言ってやるがいい。わたしは、あなた方と同じ人間にすぎないのです。ただ、あなた方の神は、唯一の神であることがわたしに啓示されました。だからかれに向かってまっすぐに向かい、またかれにお赦しを請いなさい。多神教徒こそ災いであり、7.かれらは定めの施しを行なわず、何

とかれらは来世を否定する人。8.確かに真に信仰して善行に務める人には、尽きることのない報奨があります。

9.言ってやるがいい。あなた方は、2日間で大地を創られたかれを、どうして信じないのでしょうか。しかもかれに同位者を立てるのですか。かれこそは、すべての世界の主です。10.かれは、そこに（山々を）どっしりと置いて大地を祝福なされ、（大地創造の2日間を含む）4日間で、その中のすべての求めるもの（の必要）に応じて、お恵みを定めました。11.さらにかれはまだ煙であった天に向かい、天地に対して、両者は好むと好まざるとに関わらず、（アッラーに）来たれ（姿を現せ）と言いました。そこでそれら（天地）は、わたしたちは喜んで参りますと言いました。12.こうしてかれは、2日の間に七層の天として完成させました。そしてそれぞれの天に命令を下し、一番下の天を、われらは照明で飾り、（悪魔に対する）防護しました。これは、偉力大で全知なる方のお図らいなのです。

13.それでもかれらが、背き去るならば言ってやるがいい。あなたたちに、アード（の民）とサムード（の民）が（襲われた）雷のような雷を警告すると。14.そのとき使徒たちは、かれらの前から、また後ろからかれらのところにやって来て、アッラーの他に何ものにも仕えてはならないと告げました。かれらは言いました。わたしたちの主がお望みならば、必ず天使を遣わしたはずだ。だからあなた方が持って来たもの（啓示）を、わたしたちは信じない。

15.アードについては、不当にも地上で高慢になり、誰が、わたしたちよりも強力かなどと言っていました。かれらを創ったアッラーこそ、かれらより強力だということを考えないのでしょうか。しかもわれらの印を拒否するとは。16.だからわれらは、悲惨な数日間、強風をかれらに送って、現世の生活において屈辱の苦痛を味わわせました。だが来世の苦痛はさらに屈辱を加え、また誰にもかれらは助けられないのです。17.ま

たわれらはサムードを、導きました。だがかれらは導かれるよりも、目が見えない方を好みました。それで、かれらが稼いでいたもののために、侮辱的な苦痛の雷がかれらを襲ったのです。18.だが、われらは信仰して（アッラーを）意識する人は救いました。

19.その日、アッラーの敵は地獄の火へと集められ、列に並ばされます。20.そこにかれらが来ると、その耳や目や皮膚は、かれらの行なってきたことを、かれらに反して証言します。21.するとかれらは、その皮膚に向かって言います。なぜわたしたちに反して証言をするのか。それら（皮膚）は言います、あらゆるものが語れるようにされたアッラーが、わたしたちに語らせるのです。かれは最初にあなた方を創り、そしてかれの御元に帰らせるのですと。22.また、あなた方は、自分の耳や目や皮膚が、あなた方に反するような証言など出来ない（と思い）、自分を隠すこともしませんでした。あなた方は自分のしていたことについて、アッラーはよく知らないと考えていました。23.だからあなた方の主について考えていたことが、あなた方を破滅に落とし入れ、あなた方は失敗者となったのです。24.そこでかれらが耐え忍ぶとしても、地獄の火がかれらの住まいであり、またかれらが（赦しを）お願いしても、そのような願いは受け入れられないのです。

25.われらは、かれらに仲間（としての悪魔）をあてがっておいたので、かれら以前（現世）のことも以後（来世）のことも、かれらには立派に見えるようにしました。そうしたら、かれら以前に過ぎ去ったジンと人間の諸世代に下された言葉通りに、かれらに現実となったのです。実にかれらは敗北者となったのです。

26.非信者は言います。クルアーンに耳を傾けないで、その（読誦）中に馬鹿げた無駄話をしまくりなさい。そうすれば、あなた方は優勢に立てるでしょう。27.そこでわれらは、不信心な人に激しい苦痛を味わわせ、かれらの最悪な行ないに応報します。28.それはアッラーの敵への報

いで、それは地獄の火です。その中が、かれらのための永遠の住まいです。われらの印を拒否していたことに対する報いなのです。

29.すると不信心の者は言います。主よ、ジンと人間の中で、わたしたちを迷わせた者に会わせてください。わたしたちの足下に踏みつけて、卑しい中でも最低な人にしてやりますと。30.（一方）確かにわたしたちの主はアッラーですと言って、まっすぐに（アッラーに）向かう者たち。かれらには天使が降りてきて、恐れてはならない、また悲しんではならない、あなた方に約束されている楽園への吉報に喜びなさい（と言うのです）。31.わたしたちは現世の生活においても、また来世においても、あなた方の擁護者です。そこ(来世)ではあなた方は望むものを得て、そこではあなた方の求めるものが得られるのです。

33.人びとをアッラーの元に呼び、善行を施し、確かにわたしはムスリムですと言う者ほど、美しい言葉を語る人があるでしょうか。34.善と悪とは同じではありません。（悪に対して）一層善行で悪を追い払いなさい。そうすれば、互いの間に敵意がある人でも、親しい友のようになります。35.だがよく耐え忍ぶ者たちの他には、それは成し遂げられないでしょう。格別幸運な人たちの他には、それを成し遂げられないでしょう。36.それからもし、悪魔からの悪のそそのかしがあなたの心に触れたならば、アッラーのご加護を求めなさい。真にかれは全聴にして全知です。

37.かれの印の中には夜と昼、また太陽と月がある。それで太陽にも月にも、ひれ伏すようなことをしてはならない。それら（両方）を創られた、アッラーにひれ伏しなさい。あなた方が本当にかれに仕えるのであれば。38.たとえかれら（非信者）が高慢であっても、主の御元にいる人たちは、夜も昼もかれを賛美し、手を緩めることはありません。

39.かれの印の一つを、あなたは荒れ果てた大地に見ます。われらがその上に雨を降らせると、震えだし、盛り上がります。確かにそれに生命

を与えた方は、まさに死者を甦らせる方です。かれは、あらゆることに全能です。40.われらの印の曲解者は、われらから隠れられません。地獄の火に投げ込まれる人となるのがよいのか、それとも審判の日に安心して来られる人となるのがよいのか。あなた方が好む通りにしなさい。確かにかれは、あなた方の行なうことを洞察されます。

41.諭し（クルアーン）がかれらの元に来たとき、それを拒否した者は。本当にそれ（クルアーン）は偉大な啓典であり、42.虚偽は前からも後ろからも近づくこともなく、英明で称賛すべき方からの啓示なのです。43.　あなたに言われたことは、あなた以前の使徒たちが言ったことと同じです。本当にあなたの主は、赦しの主であるとともに、厳しい罰の主です。

44.われらがクルアーンを外国語で下したならば、かれらはきっと、なぜその諸節がはっきり解説されていないのですか、（また）何とアラブ人（の使徒）に外国語（の啓示）なのですかと言うでしょう。言ってやるがいい。それは信仰する人にとっては導きであり、癒しです。だが信じない者には、その耳の中は空洞で、またそれについて視覚はないのです。かれらは、遠い所から呼びかけられる（ようなも）のです。

45.われらは確かにムーサーに啓典を授けましたが、それについて異論が起こりました。もしあなたの主からの（猶予の）言葉が前もって下されていなかったならば、かれらの間のことは（すでに）裁決されていたでしょう。かれらはそれ（啓典）について、根深い疑いを抱いているのです。46.善行をする人は自分を益し、悪行をする人は自分を損ないます。あなた方の主は、その僕を不正に取り扱われません。

47.◆25部◆（審判の）時に関する知識は、かれだけがお持ちです。かれが知らないで、一つの果実もその皮から出てくるものはありません。また女性が子を宿すことも、分娩することもありません。その日、かれはかれら（多神教徒）に尋ねます。わたしの同僚としたもの（偶像）は、

どこにいるのかと。かれらは言います。あなたに申し上げますが、わたしたちの中で見た者はおりませんと。48.かれらが先に拝していたものたちは、かれらを捨てて隠れてしまい、そこでかれらは逃げ場もないと分かるのです。

49.人間は善(幸福)を祈って、疲れることを知りません。だが悪(不幸)に見舞われると、落胆し絶望するのです。50.かれが不幸に会った後、われらの慈悲を味わわせると、かれらは必ず言います。これはわたしのもの(自力)だ、(審判の)ときが来るとは考えられない、また主に帰されても、わたしはかれの元で褒美をもらうのだと。だがわれらはこれら不信心の者に対し、その行なったことを示し、必ず酷い苦痛を味わわせます。

51.われらが人間に恩恵を与えれば、かれらは背を向けて遠ざかります。だが一度不幸に会えば長々と祈るものです。52.(ムハンマドよ)言ってやるがいい。あなた方には見えないのか、それ(クルアーン)はアッラーからのものであるのに、あなた方は信じないのか、遠く離れ去って分裂する人ほど、酷く迷った者があろうか。

53.われらは、われらの印が真理であることが、かれらに明白になるまで、空の彼方において、またかれら自身の中においても、見せ示すのです。真にあなた方の主はすべてのことの立証者ですが、そのことだけでも十分ではないでしょうか。54.ああ、かれらは主との会見について疑っているのでしょうか。確かにかれこそは、すべてのものを取り囲む方であるというのに。

42. 協議章

al-Shura

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ハー・ミーム。2.アイン・スィーン・カーフ。

3.このように（アッラーは）あなた（ムハンマド）と、あなた以前の者たちに啓示します。アッラーは偉力大で英明です。4.諸天にあり地にあるすべてのものは、かれのものです。かれは至高にして偉大です。5.諸天はその上の方から（アッラーの偉大さのために）ばらばらに裂けんばかりになり、天使たちは主を称賛をもって賛美し、地上のもののために赦しを請い願うのです。ああ、確かにアッラーこそは、よく赦すお方で慈悲深いお方なのです。6.それでもかれの他に保護者を求める人がいますが、アッラーはかれらを監視します。だからあなたは、かれらの保護者ではありません。

7.またこのようにアラビア語でクルアーンをあなたに啓示したのは、あなたが諸都市の母（マッカ）とその周辺の人に警告し、また疑いの余地のない召集の日について警告するためです。（その日）一団は楽園に、また一団は地獄の火の中へ（入ります）。

8.もしアッラーがお望みなら、かれらを一つの共同体にしたでしょう。だがかれは、御心に適う者を慈悲の中に入れ、（一方）悪い行ないの人には、保護者も援助者もいません。9.もしくはかれらは、かれを差し置いて保護者を求めるのでしょうか。だがアッラーこそ保護者であり、また死んだものに生を授ける方、すべてのことに全能なお方です。10.何事によらず、あなた方に異論があったとき、その決定をするのはアッラーです。こうされたのは、わたしの主、アッラーなのです。かれをわたしは信頼し、かれにわたしは改心して帰るのです。

11.諸天と地の創造者。かれはあなた方のために、あなた方の間から夫婦を、また家畜にも雌雄を創りました。このようにして、あなた方を繁殖させます。何もかれに似たものはありません。かれは全聴にして、すべてを見通す方です。12.諸天と地のすべての鍵は、かれに属します。かれは御心に適う人に恵みを広げ、また縮めます。真にかれは、すべてのことを知り尽くすのです。

13.かれがあなた方（人びと）に定めた教えは、ヌーフに命じられたものと同じです。われらはそれをあなた（ムハンマド）に啓示し、またそれをイブラーヒーム、ムーサー、イーサーに対しても命じました。（命じたのは）その教えを打ち立て、その間に分派を作ってはならない（ということ）。あなたが呼び掛けるもの（イスラームの教え）は、多神教徒にとっては重大なのです。アッラーは御心に適う人を自分の方に選び、また改心して（主に）帰る人をかれ（の道）に導きます。

14.（しかし）かれらの間の妬み心によって分派が生じたのは、知識がかれらに下ってからでした。もしあなたの主からの（猶予の）言葉が前もって下されていなかったならば、かれらの間は（すでに）裁決されていたことでしょう。かれらの後にそれ（啓典）を引き継いだ人は、根深い疑いを抱いているのです。

15.だからあなたは命じられたように、（人に）呼び掛け、まっすぐ正しくして、かれらの妄欲に従ってはいけません。そして言ってやるがいい。わたしはアッラーが下した（いずれであれ）啓典を信奉する、わたしはあなた方の間に公正をもたらすよう命じられた、アッラーはわたしたちの主であり、あなた方の主です、わたしたちにはその行ないがあり、またあなた方にもその行ないがあります、わたしたちとあなた方との間に議論はないのです、アッラーはわたしたちを（一緒に）召集するでしょう、かれこそが（わたしたちの）帰る所なのですと。16.かれが（人びとに）応じられるようになってからアッラーについて論争する人は、かれらの主の御

元では無意味で、かれらには（アッラーの）お怒りと、激しい苦痛があるのです。

17.アッラーこそは、真理の啓典と秤を下した方です。そのとき（最後の審判）が近いということを、あなた方に理解させるものは何でしょうか。18.それを信じない人はそれを急がせるが、信仰する人はそれが真理であることを知っていて恐れます。確かにそのときについて論争する人は、遠く迷っている人たちなのです。

19.アッラーはその僕に対してやさしく、御心に適う者に恵みを与えます。かれは、強力で偉力大な方です。20.来世の収穫を願う者にはわれらはその収穫を増し、また現世の収穫を願う者には、われらはそこから（増加のない割り当てだけを）与えます。だがその者には、来世での分け前はありません。

21.それともかれらに仲間（悪魔たち）がいて、アッラーがお許しにならない宗教を、かれらのために定めたのでしょうか。もし決定的な（猶予の）お言葉がなかったならば、かれらのことはとっくに裁かれていたのです。悪い行ないの人は、真に厳しい苦痛を受けるでしょう。22.あなたは不正な人たちが、その稼いだこと（の罪）のために、恐れ戦くのを見るでしょう。（懲罰は）かれらに対して、現実のものになるのです。しかし信仰して善行に勤しむ人は、楽園の庭園にいて、かれらの主の御元から望むところのものが得られます。それこそは、偉大な恩寵です。23.それは信仰して善行に勤しむ僕に対し、アッラーが伝える吉報です。言ってやるがいい。わたしはそれに対して何の報酬もあなた方に求めず、ただ近親（ムハンマドの属するクライシュ族として）の友誼（マワッダ）だけを求める。誰でも善行をする人にはわれらはさらに善いものを与える。真にアッラーはよく赦す方で、よく報われる方であると。

24.それともかれらは、かれ（ムハンマド）はアッラーについて嘘を捏造したと言うのでしょうか。アッラーがお望みならば、あなたの心を封じ

ることができ、またアッラーはそのお言葉によって虚偽を消し、真理を確実にすることもできます。確かにかれは、胸の中に抱くことも知り尽くしています。25.かれこそは、僕たちの改心を受け入れ、さまざまな罪悪を赦し、あなた方の行なうことを知っております。26.かれは信仰して善を行なう人に答えて恩寵を増やすが、非信者に対しては激しい苦痛を科します。

27.もしアッラーが、その僕たちに対し膨大な糧を授けるならば、かれらは地上で傲慢になるでしょう。しかし、かれは望むものを適量下すのです。実にかれはその僕たちを熟知し、監視するお方です。28.かれこそは（人びとが）絶望した後に雨を降らせ、その慈悲を広めるお方。かれは称賛すべき擁護者です。29.諸天と地の創造と、その間に撒き散らされた生き物たちは、かれの種々の印の一部なのです。またかれには、お望みのときに一斉にかれらを召集される権能があります。

30.あなた方に降りかかるどんな不幸も、あなた方の手が稼いだものです。それでもかれは、多くを赦します。31.あなた方は地上において、かれを逃れることはできません。あなた方には、アッラーの他にどんな擁護者も援助者もいないのです。

32.またかれの印の一つは船で、それはちょうど海の中の山のようです。33.もしかれがお望みなら風を静め、それは海面に動かないで止まってしまいます。真にこの中には、よく耐え感謝する人への、種々の印があります。34.またはかれは、かれら（人びと）が自ら稼いだこと（罪）のために、それらを難破させることもできます。だが（その罪の）多くを赦します。35.われらの種々の印について議論する人には、逃れる場もないことを知らしめるためです。

36.あなた方に与えられるすべてのものは、現世の生活における（一時の）享楽（にすぎない）。信仰して主を信頼する人にとっては、アッラーの御元にあるものこそ、最も善であり、はるかに永続するのです。37.（同

様に）大罪やみだらな行為を避ける人、怒っても赦す人、38.また主に答えて礼拝の務めを守る人、互いに事を相談し合う人、われらが授けたものから施す人、39.迫害に会った時、助け合う人（にとっても）。40.悪に対する報いは、それと同害の悪です。だが寛大にして和解する人に対して、アッラーは報酬をくださります。真にかれは不正な人をお好みになりません。41.不当なことをされた人が自衛しても、これらの人に対して責めはありません。42.責められるのは、他人に不正を行ない、また不当な欲望で地上を荒らす人たち、かれらに対しては（アッラー）から厳しい苦痛があるのです。43.だが耐え忍んで赦してやること、それこそ（イスラームの）最善の道というもの。

44.アッラーが迷うに任せる人には、かれ以外に擁護者はないのです。あなた（ムハンマド）は、悪を行なう人が苦痛を見ると、何とか引き返す道はないかと言うのを見るでしょう。45.あなたは、かれらが地獄の火に晒され卑しめられて謙虚になり、そっと眺めているのを見るでしょう。信仰する人は、確かに復活の日に自分自身と従者を失う人は損失者です、と言います。ああ、不正な人は、実に永遠の苦痛を受けます。46.かれらにはアッラーの他に、助ける擁護者はいません。アッラーが迷うに任せる人には、（まっすぐな）道はないのです。

47.避けられない日が、アッラーからあなた方の元にやって来る前に、あなた方の主（の呼びかけ）に答えなさい。その日あなた方には避難所もなく、（自分の罪を）否認する余地もないのです。48.もしかれらが背き去っても、われらはかれらへの見張り人として、あなたを遣わしたわけではない。あなた（の務め）は（啓示の）伝達だけです。人間はわれらが恵みを味わわせると、それにより大喜びします。ところが、自分の手が犯した行ないのために不幸に悩まされると、間違いなく恩を忘れます。

49.諸天と地の大権は、アッラーのものです。かれは御心のままに創

られるのです。かれは、お望みの人に女児を授け、またお望みの人に男児を授けられます。50.また男と女を混ぜて（授け）、またお望みの人を不妊になされます。確かにかれは全知にして強力です。

51.アッラーが、人間に（直接）語りかけられることはありません。啓示によるか、帳の陰からか、または使徒を遣わすかして、かれの許しの下で、かれはそのお望みを明かします。確かにかれは、至高にして英明であります。52.このようにわれらは、われらの命令によって、魂（クルアーン）をあなたに下しました。あなたは、啓典が何であるのか、また信仰がどんなものかを知りませんでした。しかしわれらはこれ（クルアーン）を、われらの僕の中からわれらの望む人を導くための光としました。あなたは、それによってまっすぐな道に導くのです。53.諸天にあり地にあるすべてのものを所有するアッラーの道へ。見よ、本当にすべてはアッラー（の御元）に帰って行く。

43. 金の装飾章

al-Zukhruf

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ハー・ミーム。

2.明解にする啓典にかけて。3.確かにわれらは、それをアラビア語のクルアーンとしました。あなた方が理解するために。4.それはわれらの元の（諸啓典の）母体の中にあり、崇高で英知に溢れています。

5.あなた方が法外な民であるからといって、われらはこの諭し（クルアーン）をあなた方から取り去ることができるでしょうか。6.われらはどれほど多くの預言者を、昔の民に遣わしたことでしょうか。7.だが預言者が来るたびに、かれらは馬鹿にしなかったことはなかったのです。8.そ

れでわれらはかれら（マッカの非信者）よりも強い者を滅ぼしましたが、昔の人（強い者）の先例はすでに述べた通りです。

9.もしあなたがかれらに向かって、諸天と地を創造したのは誰ですかと問えば、（滅ぼされた後になるが）かれらは必ず、偉力大で全知な方が創造されましたと言います。10.かれはあなた方のため、大地を平らにし、その中に道を設けました。あなた方が正しく導かれるように。11.また天から適量の雨を降らせ、それで死んだ大地を甦らせるお方です。またそのように、あなた方は（甦らされて墓場から）出されるのです。12.かれはあらゆる種類のものを創造し、またあなた方のために、舟と家畜を乗物として創りました。13.あなた方がその背に安全に乗るために、そしてそれに乗るとき、あなた方の主の恩恵を念じて（こう）言うために。かれを賛美します、これらをわたしたちに服従させるお方、これはわたしたちにはできなかったことです、14.確かにわたしたちは、主に必ず帰るのですと。

15.それなのにかれら（マッカの多神教徒）は、かれの僕（天使）を、かれの一部（子孫）としています。本当に人間は忘恩なのです。16.それともかれが創ったものから娘を取り、あなた方には男児を選んだと言うのですか。17.そしてかれら（マッカの多神教徒）の一人に、慈悲深いお方に当てがわれたもの（娘）と同じもの（女児の誕生）が知らされると、かれの顔はずっと暗くなり、悲嘆にくれてしまう。18.（かれの女児は）飾って大事に育てられるが、明確な論争もできない。19.（それなのに）慈悲深いお方の僕である天使たちを女性（娘）とするのか。かれら（天使）の創造を見たとでもいうのか。かれら（多神教徒）の証言は記録され（審判の日に）問われるでしょう。

20.かれらは、慈悲深いお方がお望みなら、わたしたちは決してかれら（神々）を崇めませんでしたと言います。かれらはそれについて何の知識もなく、ただ臆測するだけなのです。21.それともこれより前にわれ

らが授けた啓典があり、かれらはそれを固く守っているのでしょうか。22.いや、かれらは言う。わたしたちは、先祖が一つの（伝統の）道を踏んでいたのを見ました。そしてわたしたちは、その足跡の上に導かれているのです。23.同じように、われらがあなた以前にも町に警告者を遣わすたびに、その地の（腐敗した）富裕な人たちは、わたしたちは先祖が一つの道を踏んでいたのを見て、その足跡を踏んでいるのですと言いました。24.かれ（ムハンマド）は言いました。あなた方の先祖が従っていたというものよりも、わたしが良い導きをもたらしているにもかかわらず（先祖に従うの）か。かれらは言いました。あなたが遣わされて届けたものを、わたしたちは信じません。25.それでわれらは、かれらに報復しました。見よ、信仰を拒否した者の最後がどうだったかを。

26.イブラーヒームが、その父とその人びとにこう言ったときのことを思い起こしなさい。真にわたしは、あなた方が崇拝するものを拒絶します。27.わたしをお創りになり、わたしを必ずお導きくださる方にだけ（仕えます）。28.かれはそれを、子孫への永遠の言葉として残した。多分かれらが（アッラーに）帰ることを願って（そうしました）。29.いや、わたしは、真理と（事物を）明瞭にする使徒が来るまで、これらの者やその先祖を楽しませました。30.だが真理がかれらのところに来ると、これは魔術です、わたしたちは、決して信じませんと言う。

31.またかれらは、このクルアーンは、なぜ（少なくとも）二つの町のいずれか一方の有力者に下されなかったのでしょうかと言います。32.かれらは主の慈悲を分配するのでしょうか。われらは、現世の暮らしに必要な物を、あなた方に分配し、またある人を他の者より上に地位を上げて、ある人を他に服させるのです。あなたの主の慈悲は、かれらが蓄積したものより、はるかに素晴らしいのです。33.人間が一つの（不信心な）共同体とならないならば、われらは慈悲深いお方を信じない者のために、その家には銀の屋根、それに登るのに（銀の）階段を設け、34.そ

の家には（銀の）扉、またかれらが寄りかかる（銀の）寝床も（設けたでしょう）。35.（さらには）金の装飾も（施したでしょう）。しかしこれらのすべては、現世の生活の享楽にすぎません。あなたの主の御元の来世こそが、（アッラーを）意識する人のためのものです。

36.慈悲深いお方の諭しに目をそらす者には、われらは悪魔を振り当てます。それは、かれにとり、離れ難い友となるでしょう。37.こうして（悪魔は正しい）道からかれらを拒み、しかもかれらは、自分は（正しく）導かれているものと思い込んでいるのです。38.われらの元にやって来るときになって、かれは（同僚の悪魔に）わたしとあなた（悪魔）の間に、東西の隔たりがあったならばと言うのです。ああ何と悪い友（を持ったこと）よ。39.そんな（悪魔の友がいる）ことは、あなた方に役に立たないのだ。不正を行なったからには、一緒にあなた方は苦痛を受けるのだ。

40.あなたは耳を傾けない者に、聞かせることができるでしょうか。また視覚のない者や明らかに迷いや過ちの中にいる人を、導くことができるでしょうか。41.そこで（懲罰の前に）、あなた（ムハンマド）を召し上げるとしても、われらは（来世で）かれらに報復しましょう。42.またはかれらに約束したこと（懲罰）を、あなたに見せることもできます。確かにわれらは、かれらを圧倒しているのです。43.それであなたに啓示したものを、しっかりと守りなさい。真にあなたは、正しい道を辿っているのです。44.これはあなたにとっても、またあなたの人びとにとっても（正しい）諭しです。やがてあなた方は、尋ねられるでしょう。45.あなた以前にわれらが遣わした、われらの使徒たちに問いなさい。われらは、慈悲深いお方の他に仕えるべき神々を設けたのでしょうかと。

46.確かにわたしは、ムーサーにさまざまな印を持たせて、フィルアウンとその指導者たちに遣わしました。かれは言いました。わたしは、本当にすべての世界の主の使徒です。47.ところが、われらは種々の印を現したのに、見よ。かれらはそれを笑ったのです。48.それでわれらが次々に

かれらに示した印は、どれもそれ以前のものより、立派なものでした。そして苦痛をもってかれらを懲らしめました。多分かれらは(アッラーの元に)帰るでしょう。49.そのときかれらは言いました。魔術師よ、主があなた(ムーサー)と結ばれた約束によって、わたしたちのために祈ってください。わたしたちは、真に導きを受け入れるでしょう。50.だが、われらがかれらから苦痛を取り除くと、同時にかれらはその約束を破ってしまったのです。

51.そしてフィルアウンはその民に呼びかけて言いました。わたしの民よ、エジプトの国とこれら足下を流れる幾多の川は、わたしのものではないのですか。あなた方は分からないのですか。52.またわたしは、この卑しい、明瞭に言えない者(ムーサー)よりも、優れているのではないですか。53.なぜ黄金の腕環がかれ(ムーサー)に授けられないのですか。またなぜ天使たちが付き添って、かれと一緒に遣わされないのですか。54.このようにかれはその民を扇動し、民はかれに従いました。本当にかれらは、アッラーの掟に背く無法者でした。55.こうしてかれらはわれらを怒らせたので、われらはかれらに報復し、すべてを溺れさせ、56.かれらを過去の民とし、後世の者のための事例(戒め)としました。

57.マルヤムの子(イーサー)のことが、一例として取り上げられると、あなた(ムハンマド)の人びとはそれをあざ笑い、騒ぎたてます。58.そしてかれら(マッカの多神教徒)は、わたしたちの神々が優るのか、それともかれかと問い正します。かれらがかれ(イーサー)のことを言うのは、ただあなたに議論をふっかけるためだけです。いやはや、かれらは論争好きの民なのです。59.かれは、われらの恩恵を施した僕にすぎません。そしてわれらはかれを、イスラーイールの子孫(ユダヤ教徒)に対する(印の)例としました。60.そしてもしわれらが望むなら、あなた方の中から天使として、次々に地上を継がすこともできます。61.本当にこれ(クルアーン)は、(審判の)ときの印の一つです。だからそれ(時)について疑

ってはいけません。そしてわたしに従いなさい。これこそ、正しい道なのです。62.悪魔にあなた方を（アッラーの道から）妨げさせてはいけません。真にかれは、あなた方の明白な敵です。

63.イーサーがさまざまな明証をもってやって来たとき言いました。わたしは英知をあなた方にもたらし、あなた方が言い争うことのいくつかの部分を、あなた方のために説き明かすためです。それでアッラーを意識し、わたしに従いなさい。64.確かにアッラーこそはわたしの主であり、またあなた方の主です。かれに仕えなさい。これこそ正しい道なのです。65.だが、かれらの間の諸派は仲たがいしました。これら悪を行なう者たちに、厳しい日の苦痛の災いあれ。

66.かれらは意識しないときに突然やって来る、（審判の）あのときを、ただ待っているのでしょうか。67.その日（アッラーを）意識する人を除いては、（親しい）友も互いに敵となるでしょう。68.わたしの僕よ、その日あなた方（マッカの多神教徒）には恐れもなく、また悲しむこともない。69.われらの印を信じて（われらに）服従していた者よ、70.あなた方、そしてあなた方の配偶者も、歓喜のうちに楽園に入りなさい。71.かれらには数々の黄金の皿や杯が次々に回され、（楽園の）中には各自の望むもの、また目を喜ばすものがあり、あなた方は永遠にそこに住むのです。72.これがあなた方の行なったことに対し、あなた方に継がせられた楽園です。73.そこにはあなた方のために豊富な果実があり、それをあなた方は食べます。

74.罪を犯した者は、地獄の苦痛の中に永遠に住むのです。75.（苦痛は）かれらのために軽減されず、その中で絶望します。76.われらがかれらに不正を働いたのではなく、かれら自身が不正を働く者だったのです。77.かれらは、マーリクよ、あなたの主に頼んでわたしたちの始末を付けてくださいと叫ぶ。しかしかれは、あなた方は留まっていろと言います。78.われらは確かにあなた方に真理を届けました。だがあなた方の

多くは、それを嫌悪したのでした。79.また、かれらは（使徒に対し）企みをしたつもりだろうが、われらこそ（かれらに対して）図るのです。80.それともかれらは、われらがかれらの秘密や相談を、聞かないとでも思うのでしょうか。いや、われらの使徒たち（天使）は、かれらの傍らで記録しているのです。

81.言ってやるがいい。もし慈悲深いお方が子を持たれるなら、このわたし（ムハンマド）がその最初の崇拝者となるでしょう。82.諸天と地の主、玉座の主、かれら（多神教徒たち）の描くものを（超越なされる）主に賛美あれ。83.それであなた方は、約束されたかれらの日に至るまで、かれらを好むままに戯れに放置しておくがいい。

84.かれこそは天における神、また地における神であり、英明にして全知なのです。85.諸天と地の大権、そしてその間のすべてのものが帰属する方、かれに祝福を。またかれの御元にだけ（審判の）時の知識はあり、かれの御元にあなた方は帰されるのです。

86.かれの他にかれらが祈るものは、執り成しをする力はない。ただ真理を認めて、証言する人は別です。87.もしあなたがかれらに、誰がかれらを創ったのですかと問えば、必ずアッラーと言う。それなのにかれらはどうして（真理から）迷い去るのでしょうか。88.かれ（ムハンマド）は言いました。主よ、これらの者は本当に不信心の民です。89.（それを聞いてアッラーは言いました）、かれらから離れて去りなさい、だが平安あれと言いなさい。やがてかれらも知るでしょう。

44. 煙霧章

al-Dukhan

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ハー・ミーム。

2.明瞭にするこの啓典にかけて。3.われらは祝福された夜にこれを下したが、実はわれらはずっと警告を送っていたのです。4.その（夜）中には、あらゆる英知について、明確にされます。5.われらの御元からの命令です。われらが（預言者を）遣り続けるのは、6.あなたの主からの慈悲なのです。確かにかれは、全聴にして全知で、7.諸天と地、そしてその間のすべてのものの主です。もしあなた方（の信仰）が確かならば（分かるはずです）。8.かれの他に神はなく、かれは生を授け、死を授けます。あなた方の主、またあなた方の先祖の主です。9.それなのにかれらは、真剣に受け止めていません。10.待っていなさい、天が明瞭な煙霧を起こす日まで。11.（それが）人びとを包むと（かれらは言う）これは厳しい苦痛です。12.主よ、わたしたちからこの苦痛を取り払ってください。真に信仰いたします。13.（突然にこう言っても）どうして、かれらに諭し（真の信心）があるでしょうか。かれらに明瞭な使徒が確かに来ましたが、14.かれらはかれ（使徒）から背き去って、他人に入れ知恵された者だと言い、気の狂った者だと軽蔑したではないですか。15.またはわれらがしばらくの間苦痛を解除すると、あなた方は必ず（不信心に）戻ります。16.そしてわれらが猛襲する日、まさにわれらは報復します。

　17.確かにかれら以前にも、われらはフィルアウンの民を試みました。そのときかれらに高貴な使徒（ムーサー）が来て、18.（言いました）アッラーの僕たち（イスラーイールの子孫）をわたしに返しなさい。わたしは、あなた方の所にやって来た誠実な使徒です。19.アッラーに対し

て、高慢であってはいけません。真にわたしは明白な権威をもって、あなた方の所にやって来たのです。20.あなた方が（わたしを）石打ちにするなら、わたしの主とあなた方の主に、救いを求めます。21.もしあなた方が、わたしを信じないならば、わたしには構わないでください。

22.そこで、かれ（ムーサー）は主に祈りました。これらは罪深い人びとです。23.（主のお答えは）あなたは夜の間に、わたしの僕と共に旅立ちなさい。そうすると、必ずあなた方に追っ手がかかるでしょう。24.そして海を（渡った後）分けたままにしておこう。かれら軍隊は、溺れてしまうことでしょう。25.かれらは、いかに多くの園と泉を残したか。26.また穀物の畑と高貴な住まい、27.またかれらがそこで享受していた良い物を（残したか）。28.（かれらの終わりは）こうでした。そしてわれらは、他の民に（それらを）継がせました。29.かれらのために、天も地も涙は流さず、かれらに猶予も与えられませんでした。

30.われらは、イスラーイールの子孫を屈辱の苦痛から救い、31.フィルアウンから（救い出しました）。実にかれは、高圧的で無法者でした。32.われらは知った上で、かれら（イスラーイールの子孫）を諸民族の上に選びました。33.そして明白な試練を含む、数々の印を与えました。

34.さてこれら（マッカの多神教徒）は（愚かにも）言います。35.わたしたちは、一度死ねば、それだけです、復活されない、36.もしあなた方（の言葉）が真実なら、わたしたちの先祖を連れ戻してみなさいと。37.かれらはトッバウの民や、それ以前の者などより優れているのか。われらはかれら（諸民族）を滅ぼしたのです。真にかれらは罪を犯した者でした。

38.われらは諸天と地、そしてその間にあるすべてのものを、戯れに創ったのではないのです。39.まさに諸天と地とその間のすべてのものは、真理によって創りました。だが、かれらの多くは理解しないのです。40.確かに決定の日は、すべてのものに定められた日です。41.その

日、友はその友のために何も役立たず、またかれらは援助も得られません。42.だがアッラーの御慈悲を授かった者たちは別です。実にかれは偉力大で、慈悲深いのです。

43.ザックームの木こそは、44.罪ある人の食料です。45.溶けた銅のように腹の中で沸騰し、46.熱湯がにえくりかえるように。47.（アッラーが天使に命じて言います）かれ（罪ある人）を捕らえ、燃えさかる地獄の火の中に引きずり込め。48.それから、かれの頭の上に、沸騰する湯の苦痛を浴びせよ。49.あなたは味わうがいい。実にあなたは（現世で自称）偉大で尊貴な人でした。50.これ（地獄の応報）こそあなた方が、疑っていたものです。

51.（他方、アッラーを）意識する人は、安泰な所にいます。52.園と泉の間に、53.絹や錦を着て、互いに向かい合って。54.こうして、われらは大きい目の（美しい）乙女たちを、かれらの配偶者にするでしょう。55.かれらはそこで平安に、あらゆる果実を求めます。56.最初（現世で）の死の他に、そこ（来世）で（再び）死を味わうことはなく、燃える地獄の火の責め苦から守られます。57.あなたの主からの恩寵であり、それこそが偉大な勝利なのです。

58.われらはこの（クルアーン）を、あなた（ムハンマド）の言葉（アラビア語）で分かりやすくしました。恐らくかれらは、留意するでしょう。59.だからしばらく待って、様子を見なさい。実はかれら（非信者）の方も、様子を伺っているのだから。

45. ひざまずく一団章

al-Jathiya

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ハー・ミーム。

2.この啓典が降ろされたのは、偉力大で英明なアッラーからです。3.確かに諸天と地には、信者たちへの種々の印があります。4.あなた方の創造、そしてかれが（地上に）撒かれた生き物には、信心堅固な人に対する種々の印があるのです。5.昼と夜との交替、またアッラーが天から下された糧（雨）、それによって死んでいる大地が甦ること、また風向きの変化にも、知性ある人への種々の印があります。6.これらは、われらがあなたに読誦するアッラーの印で、真理（を示すため）です。アッラーとその啓示以外に、どのような話を（かれらは）信じるのでしょうか。

7.すべての罪深い嘘つきたちに、災いあれ。8.アッラーの啓示がかれに読誦されるのを聞いてもなお高慢で、それが聞こえないかのようです。それなら厳しい苦痛をかれに告げなさい。9.かれらは、われらの啓示を少し知ると、それを馬鹿にします。このような人には、恥ずべき苦痛があるのです。10.かれらに迫るのは地獄で、かれらが稼いできたことは、何も役立つことはなく、また擁護者としてアッラー以外に祈ったものも（役に立ちません）。かれらには酷い苦痛があるのです。11.これが導きです。かれらの主の印を拒否する人たちには、最も厳しい苦痛があります。

12.アッラーこそは海をあなた方に従わせた方で、かれの御命令によって、船はそこを航行し、あなた方はかれの恵みを追求します。それであなた方は、感謝するでしょう。13.またかれは、諸天にあり地にあるすべ

のものを、あなた方の用益に従わせます。実にこの中には、熟慮する人への印があります。

14.信仰する人たちに言いなさい。アッラーの日々を望まない者を許しなさい。なぜなら（現世で）かれらが稼いできたことに応じて、アッラーは、かれらに報いるから。15.誰でも善行をする人は自らを益し、悪行をする人は自らを損なう。それからあなた方の主の御元に帰されるのです。

16.確かにわれらは、イスラーイールの子孫に啓典と英知と預言を授け、さまざまな善い恵みを与え、また諸民族よりも寵愛しました。17.またわれらは、かれらに事柄（教え）についての明瞭な証左を与えました。それで知識がかれらの元に来てから、自分たちの間の競争心により、仲たがいをするようになったのです。間違いなくあなたの主は、その仲たがいについて、復活の日に裁かれます。18.その後われらは、あなた（ムハンマド）をその事柄（教え）について、正しい道の上におきました。だからあなたはその（道）に従い、知識のない者の妄欲に従ってはいけません。19.真にかれらは、アッラー（からの苦痛）に対しては、あなたの（守りとしては）役には立ちません。悪を行なう者は、お互い同士が擁護者です。一方（アッラーを）意識する人は、アッラーが擁護者なのです。20.この啓示は、人びとが洞察するためのものであり、導きであり、また信心の堅固な人への慈悲なのです。

21.悪行を犯す者は、信仰して善行に勤しむ人とわれらが同じに扱い、（両者の）生と死が同じだとでも思うのですか。その判断こそ誤算です。22.アッラーは、諸天と地を真理をもって創造されました。（だから）誰でもその行なったことに対して報いられ、不当に扱われることはないのです。

23.あなた（ムハンマド）は、自分の妄欲を神として崇めている人を見ましたか。アッラーは御承知の上でかれを迷うに任せ、耳や心を封じ、

目を覆いました。アッラーの後、誰がかれを導けるでしょう。あなた方は、これでも分からないのですか。

24.かれらは言います。わたしたちには、現世の生活だけです。わたしたちは死んだり生きたりしますが、わたしたちを滅ぼすのは、時の流れだけですと。しかしかれらは、これについて何の知識もなく、ただ臆測するだけです。25.われらの明白な啓示がかれらに読誦されると、かれらの論法はただ、あなたの言葉が本当なら、わたしたちの先祖を連れ戻してくれと言うだけです。26.言ってやるがいい。アッラーが、あなた方に生を授け、それから死なせ、それから復活の日に、あなた方を召集される。それについて疑いはない。だが、人びとの多くは、これを理解しないのだ。

27.諸天と地の大権は、アッラーのものです。そのときが到来する日、誤道に従う者は失敗者となります。28.あなたは、各集団がひざまずく一団となって、すべての集団ごとに自分の記録の所に呼ばれるのを見るでしょう。この日、あなた方が行なってきたことが報いられるのです。29.このわれらの記録こそは、あなた方について真実を語ります。確かにわれらは、あなた方のしたことを書き留めてきたのです。

30.それで信仰し、善行に勤しんだ者は、主はかれらを慈悲の中に入れられます。これは明らかに大勝利です。31.それから非信者に対しては（問われます）。われらの啓示はあなた方に読誦されたが、あなた方は高慢で罪深い人だったではないか。32.そしてアッラーの約束は真実であり、（審判の）時は疑いの余地はないと告げられると、あなた方は言います。その時とは何なのか、わたしたちには分かりません。それは全く臆測にすぎないと思います。だからわたしたちは、しっかりした確信など持てませんと。

33.こうして、かれらの行なったさまざまな悪がかれらに現され、かれらのあざ笑っていたことが、かれらをとり囲むのです。34.そしてこう言わ

れるでしょう。今日われらはあなた方を忘れる。あなた方があなた方のこの日の対面を忘れたように。あなた方の住まいは地獄の火である。あなた方には助ける人はいないのだ。35.それはあなた方がアッラーの印を物笑いし、現世の生活があなた方を欺いたからだ、それで今日はそこから出してもらえず、また（悔い改めてアッラーの）ご満悦を求めることもできないと。

36.諸天の主、大地の主。すべての世界の主、アッラーにすべての称賛を。37.諸天と地における荘厳さは、かれ（だけ）のものです。かれは、偉力大で英明であられます。

46. 砂丘章

al-'Ahqaf

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆26部◆ハー・ミーム。

2.この啓典が降ろされたのは、偉力大で英明なアッラーからです。3.われらは、真理と一定の期限をもってでしか、諸天と地、そしてその間のすべてのものを創造しませんでした。だが信仰しない人は、かれらに警告されたことから背き去るのです。

4.言ってやるがいい。アッラーを差し置いてあなた方が祈るもの（偶像）について考えたのか。かれら（偶像）が大地の何かを創ったのであれば、わたしに見せなさい。また諸天にかれらの持ち分があるのか。もしあなた方が誠実なら、これ以前の啓典もしくは知識の痕跡を、わたしにもたらしなさい。5.アッラー以外のものを祈る人より、もっと誤っている人が他にいるでしょうか。これら（神々）は、復活の日まで答えることはなく、またかれら（神々）は祈りに気付かないのです。6.また人間が（審判

に）集められたとき、かれら（神々）はかれら（祈る人）の敵となり、その崇拝を拒否するのです。

7.われらの明白な印がかれらに読誦されると、信仰しない者はかれらの元に来た真理について言います。これは明らかに魔術だと。8.またかれらは、かれ（ムハンマド）が、それ（クルアーン）を捏造したのだと言います。言ってやるがいい。もしわたしがそれを捏造したとしても、あなた方はわたしをアッラーから（助ける）何の権能も持っていない。かれはあなた方が、それ（クルアーン）について多言することを最もよく知っています。かれはわたしとあなた方の立証者として万全であり、かれはよく赦す方で、慈悲深い方です。

9.言ってやるがいい。わたしは使徒たちの、初めての者ではない。そしてわたしに、またあなた方に、一体何がなされるのかをわたしは知らない。ただ、わたしは啓示されたことに従うだけであり、わたしは明瞭な一人の警告者にすぎない。10.言ってやるがいい。あなた方は考えてみたのか、たとえ（クルアーンが）アッラーの御元から（来た）としても、それをあなた方は拒否するのか。しかもイスラーイールの子孫の一人がそれは同類のものだと証言して信じたのに、あなた方は高慢なままなのか。本当にアッラーは、不正の民をお導きになりません。

11.信じない人（マッカの非信者）は、信仰する人に言います。もしこれ（クルアーン）が良いのであれば、かれら（信者たち）がわたしたちに先んじて（信じ）るはずはないと。またかれら（非信者）はそれに導かれていないので、これは昔の作り話だとも言います。

12.しかしこれ（クルアーン）以前にも導きがあり、慈悲であるムーサーの啓典（律法）がありました。それに、これはアラビア語でそれを確証する啓典で、悪行をなす人への警告であり、また善行に勤しむ人への吉報です。13.確かに、わたしたちの主はアッラーですと言い、その後もまっすぐな道を歩み続ける人には恐れもなく、悲嘆もありません。14.これら

は楽園の住人で、かれらの行ないに対する報奨として、その中に永遠に住むのです。

15.われらは、両親に対し優しくするよう人間に命じました。母は妊娠に苦しみ、出産に苦しみ、妊娠してから離乳まで30ヵ月かかる、それからかれが大人になり、そして40歳にもなると（こう言います）。主よ、わたしと両親にあなたがお恵み下された恩寵に感謝し、あなたを喜ばせる善行をなし、またわたしの子孫も善行をなすようにお助けください。わたしは改心してあなたの御元に帰ります。本当にわたしは、ムスリム（アッラーに従う人）ですと。16.これらの人は、われらがその行ないの中で、最善のものを受け入れ、さまざまな誤った行ないは見逃す人たちで、楽園の住人となるでしょう。これはかれらと結ばれた、真実の約束です。

17.だが自分の両親に言う人がいます。あなた方二人にはうんざりです。わたしが（甦って）墓から出されると、約束できるのですか。わたし以前に幾世代も過ぎ去ったではありませんか。両親はアッラーに嘆願して（言いました）。何と情けない。あなたは信仰しなさい。確かにアッラーのお約束は真実なのです。それに対してかれは、これは昔の物語にすぎないと言うのです。18.これらの人は、以前に滅び去ったジンや人間の諸民族と同様に、かれらの意に反してお言葉（裁き）が示される人たちです。かれらは実際、失敗者です。

19.各人には、その行なったことに応じて種々の段階があります。これはかれが、かれらの行為に対して報いるためで、かれらは決して不当に扱われることはないのです。20.非信者たちは、地獄の火の前にさらされるその日、（こう言われます）。あなた方は現世の生活において、さまざまな良いものを手にして、それらを享受しました。それで今日は、あなた方は地上で真理を無視し、高慢であり、また（アッラーの）掟に背いていたことに対して、恥ずべき苦痛で報いられるのだと。

21.アードの同胞（預言者フード）について述べましょう。かれがかれ

の民を砂の丘で警告しました。確かにかれ以前にも、また以後にも警告者たちが来たのです。（そして言いました）あなた方はアッラーの他には崇めてはならない、真にわたしは、絶大な日の苦痛をあなた方のために恐れると。22.かれらは言いました。あなたは、わたしたちを神々から背かせるために来たのですか、もしあなたの言葉が本当なら、わたしたちに約束しているものをもたらしなさい。23.かれは（答えて）言いました。その（最後の日がいつかという）知識はアッラーに（だけ）あり、わたしは下されたものをあなた方に伝えるだけだ。それにしても、あなた方は、分かろうとしない愚か者だ。

24.そのとき、暗雲がかれらの谷に迫るのを見て人びとは言いました。この雲では、一雨来るぞと。（フードは言う）とんでもない、あれはあなた方が催促したもので、その中の風は厳しい苦痛なのだ。25.それは主の命令により、すべてのものを壊滅し去るのだ。それで朝になると、かれらの（潰された）住居の他、何も見当たりませんでした。われらはこのように、罪を犯した民に報います。

26.われらは、実にあなた方（マッカの住民）にも与えなかった力で、聴覚と視覚と心をかれら（アードの民）に授けました。それでもかれらは、アッラーの印を認めなかったため、その聴覚と視覚と心は、全くかれらを益することなく、かれらは自分がさげすんでいたものに、取り囲まれてしまったのでした。27.本当にわれらはあなた方の周囲の数々の町村を滅ぼし、われらの印を示しました。かれらが（われらに）帰る（ために）。28.アッラーに近づこうと、かれらがかれを差し置いて神として拝したものたちは、なぜかれらを助けなかったのか。いや、それら（偶像）はかれらから離れ去ったのでした。これはかれらの嘘であり捏造でした。

29.われらが、クルアーンを聞きたいというジンの仲間を、あなたに差し向けたときのことを思い起こしなさい。かれらがその場に臨むと、かれらは（互いに）謹んで聴きなさいと言いました。やがてそれが終わ

ると、警告者として（ジンの）その民の所に戻って行き、警告したのです。30.かれらは言いました。わたしの人びとよ、わたしたちはムーサーの後に下された啓典を確かに聞きました。（それは）それ以前に下されたものを確証し、真理と正しい道へと導くものです。31.わたしたちの人びとよ、アッラーに招く者に応えて、かれを信じなさい。かれはあなた方のさまざまな罪を赦し、厳しい苦痛から救います。32.アッラーへと招く者に応えない者は、地上においてかれを挫くことなど出来るはずはないのです。またその人には、かれの他に擁護者はいません。これらの者は明らかに迷いに陥っている人です。

33.かれら（マッカの多神教徒）は、アッラーこそが諸天と地を創造し、それらの創造に疲れることもなく、死者を甦らせることくらいはできると思わないのでしょうか。いや、かれはすべてのことに全能です。34.信仰しない者が、地獄の火の前にさらされる日。（かれらは問われるでしょう）これは真実ではないのかと。かれらは言います、そうです、わたしたちの主に誓って。かれは言います。あなた方は真理を拒否してきたことにつき、苦痛を味わえと。

35.あなた（ムハンマド）は耐え忍びなさい。（従来）使徒たちが、固い決意をしたように耐え忍びなさい。かれら（非信者）のために（懲罰を）急いではならない。かれらに約束されたことを見る日、１日の一時しか過してはいなかったかのように（思うでしょう）。（アッラーからの）警告の御達しです。滅ぼされるのは（アッラーの）掟に背く者たちだけなのです。

47. ムハンマド章

Muhammad

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.信仰しない者、また（人びとを）アッラーの道から妨げる人には、かれはその行ないを迷わせます。2.信仰して善行に勤しむ人、またムハンマドに下されたものを主からの真理として信仰する人には、かれはその悪行を消滅し、状況を良くされます。3.それは信仰しない者が虚偽に従い、信仰する人が主からの真理に従うためです。このようにアッラーは、人びとにかれらの（善悪の）類型を示されます。

4.あなた方が不信心な人と（戦場で）まみえるときは、（かれらの）首を打ちなさい。そしてあなた方がかれらを圧倒するまで、（捕虜には）縄をしっかりかけなさい。その後は戦いが終わるまで、情けを施すか、または身代金を取って（釈放）すればいい。これ（が対処の方法）です。もしアッラーがお望みなら、きっとかれらに勝利していたことでしょう。だがかれ（の意図）は、あなた方を他の人によって試そうというのです。およそアッラーの道のために戦死した者は、決してその行ないが無駄にされることはありません。5.かれは、かれらを導きその状況を良くされ、6.かねて告げられていた楽園に、かれらを入らせます。

7.信仰する人たちよ、あなた方がアッラーに助力すれば、かれはあなた方を助け、あなた方の（立つ）足をしっかりさせます。8.また信仰なき人たちには滅亡があり、（アッラーは）その行ないを迷わせられます。9.それというのも、かれらはアッラーが下されたものを嫌ったためで、かれはその行ないを無効にされます。10.かれらは地上を旅して、かれら以前の不信仰な人たちの最後がどうであったかを見なかったのですか。アッラーはかれらを破壊しました。非信者もこれと同じ（運命）なので

す。11.それはアッラーが、信仰する人の擁護者で、非信者には擁護者がいないためです。

12.アッラーを信じて善行に勤しむ人を、川が下を流れる楽園に入らせます。そして非信者には（現世の生活を）楽しませ、家畜が食べるように食べさせて、（地獄の）火をかれらの住まいとします。13.あなた（ムハンマド）を追放した町（マッカ）よりも、もっと強い多くの都市を、どれだけわれらが滅ぼしたことか。かれらには援助者もなかったのです。

14.それで主からの明証の下にいる人と、自分の悪行を立派なものと考え、妄欲に従う人とが同じでしょうか。15.（アッラーを）意識する人に約束されている楽園の様子です。そこには腐ることのない水をたたえる川、味の変わることのない乳の川、飲む人に快い（美）酒の川、純良な蜜の川があります。またそこでは、すべての種類の果実と、かれらの主からのお赦しを得られます。（このような人たちと）地獄の火の中に永遠に住み、煮えたぎる湯を飲まされて、腸が寸断する人と同じでしょうか。

16.かれらの中には、あなた（ムハンマド）に耳を傾ける人もいます。（しかし）あなたの前を去ると、知識を授かっている人たちに向かって、かれが今言ったことは、一体何ですかと尋ねます。これらの者は、アッラーに心を封じられた人で、自分の妄欲に従う人です。17.しかし導かれている人たちには、（一層の）導きと（アッラーへの）意識の念が授けられます。

18.かれら(偽信者)は、そのとき（最後の審判）を待つほかはありません。それは突然かれらに来るのです。その兆候はすでに下っています。（しかし）それ（とき）が来てから気が付いても、かれらはどうするのでしょうか。19.だから知りなさい。アッラーの他に神はないことを。そしてあなたの罪に対し、また信仰する男たちや信仰する女たちのためにも、お赦しを請いなさい。誠にアッラーは、あなた方の（外の）動きも住居（の平穏）も知っておられます。

20.信仰する人たちは、どうして1章さえ下って来ないのかと言います。ところが断固たる1章が下され、その中で戦闘のことが述べられると、心に病の宿る人たち（偽信者）は、今にも死に臨むような、覆われた（気を失う）眼差しで、あなたを見るでしょう。（かれらにとって）適切なのは、21.服従することと、良識の言葉です。事（戦闘）が決定されるときは、アッラーに誠実であることが、かれらのために善いのです。22.もしあなた方（偽信者）が今、命令に背き去るということは、地上に退廃をもたらし、また血縁の断絶をするつもりなのですか。23.これらはアッラーが拒否した人びとで、耳や目は不自由にされます。

24.かれらはクルアーンを熟読しないのか。それとも心に鍵がかけられているのか。25.本当に導きが明らかにされた後、それから背き去る人は、悪魔がそそのかし、（猶予を）延長した（偽の希望を与えた）のです。26.それはかれら（偽信者）が、アッラーの下されるものを嫌う者（マッカの多神教徒）に向かって、わたしたちは部分的に、あなた方に従いましょうと言ったためです。だがアッラーはかれらの秘密を知っております。27.天使たちがかれらを召し上げて、かれらの顔や背を打ったならどうでしょうか。28.それというのも、かれらがアッラーのお怒りになることばかりを行ない、かれのお喜びになることを嫌ったため、かれがかれらの行ないを虚しくしたのです。

29.それとも心に病を宿す者は、自分たちの（密かな）悪意をアッラーが明るみに出さないとでも考えるのでしょうか。30.もしわれらが欲するなら、かれら（偽信者）をあなたに指し示すこともできるし、あなたはかれらの特徴によっても識別でき、また言葉の調子によっても分かります。実にアッラーは、あなた方の行なうことを知っておられます。

31.われらはあなた方の中、努力し、耐え忍ぶ者たちを区別するために、あなた方を試みるのです。またあなた方の情報（戦闘などでの言動や忠誠心）も確かめます。32.確かに信仰しない人、そして（人びとを）ア

ッラーの道から妨げ、また導きが明らかにされた後、使徒に反抗する人たちがいますが、少しもアッラーを損うことはできません。かれは、かれらの行ないを虚しくなされます。

33.信仰する人たちよ、アッラーに従い、また使徒に従いなさい。あなた方の行ないを、虚しくしてはならない。34.信仰しないで、アッラーの道から（人びとを）妨げ、不信仰のまま死ぬ人を、アッラーは決してお赦しにはなりません。35.だから落胆してはならない。講和を唱えてはならない。あなた方は勝利を得るのです。アッラーは、あなた方と共におられます。決してあなた方の行ないについて（の報奨を）渋ることはありません。

36.この世の生活は、享楽で戯れにすぎない。あなた方が信仰して自分の義務を果たすならば、かれはあなた方に報奨を与えます。あなた方は自身の財産を求められているのではない。37.もしかれがそれ（財産）をあなた方に求め、強要するならば、あなた方は惜しくなり、かれはあなた方の恨み心を暴露されるでしょう。38.見よ、あなた方は、アッラーの道のために（一定の）施しを求められているのです。それなのにあなた方の中には、けちな人がいます。だがけちな人は、自分自身に対してけちっているだけです。アッラーは豊かに満ち足りる方で、あなた方は貧しい人びとです。もしもあなた方が背き去るならば、かれはあなた方以外の民を代わりに立てるでしょう。そしてその人たちは、あなた方と同様ではないでしょう。

48. 勝利章

al-Fath

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.確かにわれらは、明らかな勝利の道をあなたに開きました。2.それ（勝利）はアッラーが、あなた（ムハンマド）のために過去と今後の罪を赦し、またあなたへの恩恵をまっとうし、正しい道に導いて、3.また力強く、あなたを援助しようとするためです。

4.かれこそは、信者たちの心に静穏（サキーナ）を降ろし、かれらの信心を強化された方でした。実に、諸天と地の軍勢はアッラーのものです。アッラーは、全知にして英明です。5.（また勝利は）かれが信仰する男女を、川が下を流れる楽園に入らせ、その中に永遠に住まわせて、かれらのさまざまな罪業を消滅させようとするためです。これこそアッラーの御元では、偉大な成功です。6.また（勝利は）かれが、アッラーについて邪な考えをもつ偽信者や多神教徒の男女を苦しめるためです。これらの者は悪相に囲まれます。アッラーはかれらに激怒され、否定され、かれらのために地獄を準備なされます。何と悪い行き先でしょう。7.諸天と地の軍勢は、アッラーのものです。アッラーは、偉力大で英明です。

8.われらは、実証者、吉報の伝達者また警告者として、あなたを遣わしました。9.それはあなた方が、アッラーとかれの使徒を信じ、またかれを支持し、かれを崇敬し、また朝な夕なにかれを賛美するためです。10.確かにあなたに忠誠を誓う人は、アッラーに忠誠を誓う人です。アッラーの御手が、かれらの手の上に置かれているからです。それでも誓いを破る人は、自分に害をなす人です。また誰でもアッラーとの約束を果たす者に、かれは偉大な報奨を与えます。

11.（出征しないで）後に居残ったアラブ遊牧民たちは、あなたに向かって、わたしたちは、財産や家族のことで手一杯でした、だからわたした

ちのために赦しを祈ってくださいと、かれらは心にもないことを舌の先で言うのです。言ってやるがいい。もしアッラーがあなた方を害しようとお望みになり、または益しようとお望みになれば、あなた方のためにアッラーに向かって、誰が何か出来るというのでしょうか。アッラーは、あなた方の行なうことを知り尽くします。12.いや、使徒（ムハンマド）と信者たちは、決してその家族の元に帰らないとあなた方は考え、それでほっとしてしまったのです。それは邪な考えです。あなた方は腐敗した民なのです。13.誰でもアッラーとかれの使徒を信じないならば、われらはそのような不信心の人に対して、燃えさかる火を準備しました。14.諸天と地の大権はアッラーのものです。かれはお望みの者を赦し、またお望みの者を罰します。確かにアッラーは、よく赦し、慈悲深くあられます。

15.後に居残った人たちは、あなた方が出陣して戦利品が取れるとなると、わたしたちを入れてください、あなた方と一緒に行くと言います。かれらはアッラーのお言葉を変えようと望むのです。言ってやるがいい。あなた方は、わたしたちに決して付いて来てはならない、アッラーが既にそう仰せられたのであると。するとかれら（居残った人たち）は、あなた方がわたしたちを妬んでいると言います。いや、かれらはほとんど理解していないのです。

16.あとに居残ったアラブ遊牧民たちに言ってやるがいい。（そのうちに）あなた方は、強力な民に対して（戦うために）召集されるでしょう。あなた方が戦い抜くか、またはかれらが降伏するかのいずれかです。この命令に従えば、アッラーは立派な報奨をあなた方に与えるでしょう。だがもし以前背いたように背き去るならば、かれは激しい罰をあなた方に加えます。17.ただし、盲人は免除され、足の障害者や病人も同様です。誰でもアッラーとかれの使徒に従う人は、川が下を流れる楽園に入らせるでしょう。しかし誰でも背き去る人には、厳しい罰が下されるでしょう。

18.かれらがあの樹の下であなたに忠誠を誓ったとき、アッラーは信者たちにご満悦でした。かれはかれらの心の中にあるものを知って、かれらに静穏(サキーナ)を下し、速やかな勝利で報いました。19.またかれらの多くの戦利品をもって(報いました)。アッラーは偉力大で英明です。20.アッラーは、あなた方が得ることになる多くの戦利品を約束しました。しかも直ちにそれを果たされ、あなた方に(反抗する)人びとの手を押えられました。それは信仰する人への印であり、またあなた方を正しい道に導くためです。21.またかれはあなた方の力の及ばない戦利品も約束しましたが、アッラーはしっかりとそれらを掌握しています。確かにアッラーは、すべてのことに全能です。

22.不信心な人たちが、あなた方に対して戦ったとしても、かれらはきっと敗走し、かれらには援護者も援助者もいないでしょう。23.これは昔からのアッラーの慣行で、あなたはアッラーの慣行に、少しの変更も見いださないでしょう。24.かれこそは、マッカの谷間であなた方からかれらの手を、また、かれらからあなた方の手を押えられた方であり、その後かれは、あなた方に勝利を与えました。本当にアッラーは、あなた方の行なうことを熟知されます。

25.かれらこそは非信者で、あなた方を禁忌のあるマスジドに入れないようにし、また供物がその犠牲の場に達することを妨げた人たちです。またあなた方が知り合いではない、(非信者と混じり住むマッカの)信者の男女がいなくて、かれらを踏みにじって無意識に罪を犯すことがなかったならば、(アッラーは休戦ではなくて戦闘によるマッカ征服をムハンマドらにさせていただろう)。かれは御心に適う者をその慈悲の中に入れます。もしかれら(信者と非信者)が(はっきりと)分かれていたならば、われらは厳しい苦痛を非信者(だけ)に与えていたでしょう。

26.あのとき不信心な人たちは、心の中に傲慢の念を燃やしていました。(イスラーム以前の)ジャーヒリーヤ時代の無知による傲慢の念で

す。それでアッラーは、使徒と信者たちの上にかれの静穏（サキーナ）を下し、かれらに（アッラーを）意識する（篤信の）言葉を守らせました。これはかれらがその（言葉）にふさわしく、適切だったからです。アッラーはすべてのことを知っておられます。

27.確かにアッラーは、使徒（ムハンマド）のために誠実にかれの夢を実現しました。もしアッラーがお望みなら、必ずあなた方は安心して禁忌のあるマスジドに入り、あなた方の頭を剃り、または刈り込んで（巡礼を全うします）。何も恐れることはないのです。かれはあなた方が知らないことを知っており、そればかりかかれは速やかな勝利をもたらしました。

28.かれこそは、導きと真実の教えをもって、それをすべての（他の）教えの上に示すため、かれの使徒を遣わされたお方。確かにアッラーは立証者として万全です。

29.ムハンマドはアッラーの使徒です。かれと共にいる人たちは非信者たちに対しては手を抜かず、他方お互いの間では友愛に満ちています。あなたは、かれらが頭を下げひれ伏し礼拝して、アッラーからの寵愛とご満悦を求めるのを見るでしょう。かれらの目印は、額にある平伏礼による跡です。（ムーサーの）律法にも、かれらのような例えがあり、（イーサーの）福音にも、かれらのような例えがあります。それは蒔いた種が芽をふき、強くなり太くなり、丈夫な茎をしっかり伸ばして、種を蒔いた人を喜ばせるようなもの。それで（アッラーは）非信者たちを、かれら（信者たちの勝利）によって激怒させるのです。アッラーは、かれらの中で信仰して善行に勤しむ人に、容赦と偉大な報奨を約束したのです。

49. 部屋章

al-Hujurat

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.信仰する人たちよ、あなた方は、アッラーとかれの使徒を御前にして、自分を押し出してはいけません。アッラーを意識しなさい。確かにアッラーは全聴にして全知です。

2.信仰する人たちよ、あなた方の声を預言者の声よりも高く上げてはいけません。またあなた方が互いに大声なほどには、かれに大声で話してはいけません。自分の(善い)行ないが、知らないうちに帳消しにならないために。3.確かにアッラーの使徒の前でその声を抑える人は、アッラーがその心は(アッラーを)意識していることを試みられた者です。かれらには、赦しと偉大な報奨があるでしょう。4.部屋の外から、大声であなた(ムハンマド)を呼ぶ人の多くは、思慮分別のない人です。5.もしかれらの側であなたが出て来るまで、かれらが辛抱するならば、それはかれらのためによいことです。実にアッラーはよく赦す方で、慈悲深い方なのです。

6.信仰する人たちよ、無法者がもたらす情報は、慎重に検討しなさい。これはあなた方が気付かない中に、人びとに害を及ぼすものがあり、その結果行なったことに後悔しないためです。7.あなた方の間には、アッラーの使徒がいることを知りなさい。かれがもし多くの事柄についてあなた方(の誤報)に従っていたなら、あなた方はきっと多くの困難をこうむっていたことでしょう。だがアッラーは、あなた方に信仰を好ましいものとなし、またあなた方の心においてそれを美しいものとして、(他方)不信心と無法と反逆を忌まわしいものとしました。これ(信者)は正しく導かれた人です。8.(それも)アッラーからの寵愛であり、恩寵なのです。アッラーは全知にして英明であられます。

9.もし信者が二つの徒党に分かれて争う場合は、両者の間を調停しなさい。もしかれらの一方が他方に対して私利をむさぼるならば、むさぼる方がアッラーの命令に立ち返るまで戦いなさい。だが立ち返ったならば、正義を旨としてかれらの間を調停し、公平にしなさい。誠にアッラーは公平な人を愛します。10.信者たちは兄弟です。だからあなた方は兄弟双方の間の融和を図り、アッラーを意識しなさい。そうすれば、あなた方は慈悲にあずかるでしょう。

11.信仰する人たちよ、他の人たちを笑い草にしてはいけません。笑い草にされた方が優れているかも知れないのです。他の女性を笑い草にしてもいけません。された女性たちが、それをした女性たちよりも、優れているかも知れないのです。そしてあなた方は互いに中傷してはいけません。また綽名で、罵り合ってはいけません。信仰に入った後から、(そのようなことをして)掟破り呼ばわりされるのは、何という悪態でしょうか。それでも改心しない人は不正の徒です。

12.信仰する人たちよ、何としても邪推するのは避けなさい。それには罪になるものもあります。また互いにスパイ行為をし、また陰口してはいけません。誰が死んだ兄弟の肉を食べるのを好むでしょうか。いいえ、あなた方はそれを忌み嫌うはずです。アッラーを意識しなさい。アッラーは改心を受け入れる方であり、慈悲深い方です。

13.人びとよ、われらは一人の男と一人の女からあなた方を創り、さまざまな種族と部族に分けました。それはあなた方が、互いに知り合いになるためです。アッラーの御元で最も貴い人は、あなた方の中、最も(アッラーを)意識する人です。確かにアッラーは、全知にして、あらゆることに通暁しています。

14.アラブ遊牧民たちは、わたしたちは信仰しますと言います。(ムハンマドよ)言ってやるがいい。あなた方はまだ信じてはいない、だから、わたしたちは服従しましたと言いなさい、信仰が、あなた方の心の中に

入ってはいないからです。もしあなた方が、アッラーとかれの使徒に従うなら、かれはあなた方の行ない（の報奨）を、少しも軽減されることはありません。確かにアッラーはよく赦す方で、慈悲深い方なのです。15.信者とは、一途にアッラーとかれの使徒を信じる人たちで、疑いを持つことなく、アッラーの道のために、財産と命とを捧げて奮闘努力する人です。これらの人こそ（嘘のない）誠実な人たちです。

　16.言ってやるがいい。あなた方は自分の宗教を、アッラーに教えようというのですか。アッラーは諸天と地にあるすべてのものを知っておられます。アッラーはすべてのことを、熟知しておられます。17.かれらはイスラームに帰依したことで、あなた（ムハンマド）に対して恩を売ったと思っています。言ってやるがいい。あなた方の帰依でわたしに恩を施したことにはならない。アッラーはあなた方を信仰に導くことで、あなた方に恩を施しているのです。もしあなた方が誠実（に帰依するの）なら。18.間違いなくアッラーは、諸天と地の見えない深奥を知っておられます。アッラーは、あなた方の所業をよく洞察しておられるのです。

50. カーフ章

Qaf

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.カーフ。

栄光に満ちたクルアーンにかけて誓う。2.いや、かれらは自分たちの間から一人の警告者が現れたことに驚き、そこで不信心な人たちは言います。これは全く不可解なことである。3.わたしたちが死んで塵になっても（また生き返るの）か。そのような戻り方はあり得ないと。4.われらは大地が、かれら（の埋葬された遺体）から何を取り去るかを、よく知って

います。またわれらの手元には、記録の帳簿があります。5.ところが真理が訪れたとき、それを虚偽としたので、かれらは混乱に陥ったのです。

6.かれらは頭上の天空を見ないのでしょうか。われらがいかにそれを創造し、いかにそれを飾ったことか。そしてそれには、少しの裂け目もないことを。7.また、われらは大地をうち広げ、その上にずっしり山々を据え、その中にあらゆる種類のすばらしい草木を生い茂らせることを。8.（それらは）改心して（アッラーの御元に）帰るすべての僕にとっての、教訓であり示唆です。9.さらにわれらは、恵みの雨を天から降らせて、庭園や収穫の穀物を豊かに生長させ、10.またびっしりと実を付けた背の高いナツメヤシの木を、11.（アッラーの）僕たちの食料として（生育させる）。またそれ（雨）で、われらは死んだ大地を蘇らせることを。出所（墓からの復活）にしても同じことです。

12.かれら以前にも、嘘つき呼ばわりした人がいました。ヌーフの民も、ラッスの民も、サムードの民も、13.またアードの民も、フィルアウンも、ルートの同胞も、14.森の人びとも、トッバウの民も皆、使徒たちを嘘つき呼ばわりしました。だからわたしの警告は現実となったのです。15.われらが最初の創造で疲れてしまったというのですか。いや、かれらは新たな創造（復活）について、疑っているのです。

16.確かにわれらは人間を創ったのです。そしてわれらはその魂が、その人にささやくことも知っています。われらは頸静脈よりも、その人に近いのです。17.そして座った二人の受け取り手（天使）が、（その人の）右側と左側で（行状記録を）受け取るとき、18.人がまだ一言も言わないのに、監視し（その記録は）用意ができているのです。

19.それから死の苦痛465が、真実をもたらすが、それはあなたが避けてきたものです。20.そしてラッパが吹かれます。これはあの警告された日です。21.そして全員が、追いたてる者と証言者（両者とも天使）に伴われて来ます。22.（そのとき、言われるのは）あなたは、この（審判の

日）について注意しなかった。われらは今日、あなたから覆いを取り除くので、あなたの視覚は鋭敏であると。23.かれの同行の伴侶は言います。これでわたしの用意はできました。24.（アッラーは言われる）あなた方二人で、不信仰で頑迷な人全員を地獄に投げ込みなさい。25.善への道を妨げた人、掟を破った人、（真理に）疑いを抱かせた人、26.アッラーと同位の他の神を立てた人、あなた方は、そんな人を激しい苦痛の中に投げ込みなさい。27.かれの相棒（悪魔）は言います。主よ、わたしがかれを背かせたのではありません。だがかれが（自ら）はるかに遠く、迷い込んでいたのです。28.かれは仰せられます。わたしの前で議論してはならない。わたしはすでに警告を発しておいた。29.わたしは言ったことは変えない。またわたしに従う者たちに対しては、絶対に不正ではないのだ。

30.その日われらが地獄に、満員になったかと問うと、もういないのですか（いくらでも入れる）と答えが来ます。31.（アッラーを）意識する人には、楽園が近づけられます。もう遠くありません。32.これは常に（アッラーに）戻り、（アッラーのことを）心に念じていたすべての人のために約束されたもので、33.目には見えないが慈悲深い方を畏れ、改心した心を持って来た人たちのためのものです。34.（アッラーの声が聞こえます）、安んじてそこに入りなさい。これは永遠の日なのですと。35.かれらのためには、そこに欲しいものは何でもあり、またわれらからは、さらに追加があるでしょう。

36.われらは、もっと勇猛で各地を巡り歩いた、かれら（マッカの多神教徒）以前のいかに多くの世代を滅ぼしたことでしょうか。どこに逃げ場所があったというのでしょうか。37.真にこの中には、心ある人や注意深く耳を傾ける人への示唆があります。38.われらは諸天と地、またその間にあるすべてのものを6日の間に創造しました。しかしわれらは少しの疲れも感じなかったのです。39.それであなた（ムハンマド）はかれらの言

うことを耐え忍び、あなたの主を称賛（の言葉）で賛美しなさい。太陽が昇る前と沈む前に。40.また夜も、かれを賛美しなさい、また平伏礼の終わりにも。

41.すぐ近くから、呼び出し人が呼ぶ日には、よく聞いていなさい。42.その日、かれらは実際に大きな叫び声（ラッパの一吹き）を聞くでしょう。それは（墓場から）出る日です。43.われらこそは、生と死を授けるのです。そして最後の帰り先は、われらです。44.その（最後の）日、大地はかれら（の所）から裂け、かれらに急いで出てこさせます。これが召集で、われらにとっては容易なことです。

45.われらはかれらの言うことは、よく知っています。あなたはかれらに強制してはいけません。わたしの警告を恐れる人たちを、クルアーンによって諭すのです。

51. 撒き散らすもの章

al-Dhariyat

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.広く遠く撒き散らすもの（風）にかけて、2.重く（雨を）運ぶもの（雲）にかけて、3.楽々と走るもの（船）にかけて、4.御命に従って（雨を）降り分けるもの（天使たち）にかけて。5.あなた方に約束されたことは真実で、6.間違いなく審判は下ります。7.いろいろな軌道のある天にかけて（誓います）。8.あなた方は、言うことがまちまちですが、9.それ（最後の審判）から背く人は、（真実から）背き去る人です。

10.嘘つき者はいなくなれ。11.かれらは間違っているのに気づかない人、12.かれらは、審判の日はいつですかと尋ねます。13.（それは）かれらが、地獄の火で罰せられる日。14.（言ってやるがいい）あなた方は責め苦を味わえ。これこそあなた方が、早くにと願っていたものであ

る。15.だが(アッラーを)意識する人は、楽園と泉のあるところに(住み)、16.主がかれらに与えられる物を授かります。確かにかれらは、以前善行に勤しんでいました。17.かれらは、夜間でも少しだけ眠り、18.また夜明けには、お赦しを祈っていました。19.またかれらの財産には、乞う人や、乞う手段も持たない人たちの権利がある(含まれている)と考えて(施しをして)いました。

20.地上には信心深い人たちへの種々の印があり、21.またあなた方自身の中にもあります。それがあなた方には見えないのですか。22.天には、あなた方への糧と、あなた方に約束されたもの(楽園と永遠の至福)があります。23.それで天と地の主にかけて(誓います)。あなた方が語っているこれらのことは、確かに真実なのです。

24.あなた(ムハンマド)は、イブラーヒームの気高い賓客たちの物語を聞いたでしょうか。25.かれらはかれ(イブラーヒーム)の家に入って、平安あれと言ったとき、かれも、平安あれ、見知らぬ方々よ、と答えました。26.それでかれは早速家族の方へ行き、肥えた子牛(の肉)を持って来て、27.それをかれらの前に置き、言いました。あなた方は、召し上がりませんか。28.かれは、かれら(賓客)が薄気味悪くなり、心配になりました。かれらは恐れないでと告げ、やがて、かれに賢い息子が授かるであろうとの、吉報を伝えました。29.すると、かれの妻(サラ)は声をあげて進み出て、(驚きと戸惑いから)顔を打って、わたしは老婆で不妊です、と言いました。30.かれらは言いました。そうですか、(だが)あなたの主は、英明にして全知で、そのように言われたのです。

31.◆27部◆かれ(イブラーヒーム)は言いました。それで、あなた方のご用件は何ですか、遣わされた方々よ。32.かれらは言いました。わたしたちは罪深い民に遣わされたのです、33.泥の礫をかれらの上に降らすために、34.(その礫は)したい放題な人に対するもので、主の御元で烙印が押されていますと。35.それから、われらは、そこにいた信者たち

を（救うために）立ち去らせようとしました。36.しかし、われらがその（町の）中で見いだしたムスリムの家は、ただの一軒（サドゥームの町の預言者ルート）だけでした。37.われらは厳しい苦痛を恐れる人のために、一つの印として（その一軒を）、（破壊の後も）そこに残しました。

38.またムーサーにも（印がありました）。われらが明らかな権威を授けて、かれをフィルアウンに遣わしました。39.かれ（フィルアウン）はその支持者たちと共に背を向けて、この者（ムーサー）は魔術師か、それとも気狂いだと言いました。40.それでわれらは、かれとその軍勢を捕まえて海に投げ込みました。本当にかれは、責められるべき人でした。41.またアード（の民）にも（印がありました）。われらは命を絶つような風を、かれらに送りました。42.それは向かって来るものを、すべて塵芥にしました。43.またサムード（の民）にも（印がありました）。しばらくは（あなた方の生）を楽しめと言われました。44.しかし、かれらは主の命令に背いたので、落雷がかれらを襲いました。それはただ見ているほかない状況でした。45.最早かれらは起き上がることも出来ず、まして防御は出来ませんでした。46.以前にも、ヌーフの民を（滅ぼしました）。実際かれらは無法の民でした。

47.われらは偉力をもって天を建立し、（それを）拡張しました。48.またわれらは、大地を広げました。何と見事に広げたことでしょう。49.またわれらは、すべてのものを両性に創ったのです。あなた方は気付けばいいのですが。50.それであなた方は、早々にアッラーの庇護の下に赴きなさい。わたしはかれからあなた方に遣わされた、明瞭な警告者です。51.それでアッラーと一緒に他の神を立ててはならない。確かにわたしは、かれからあなた方に遣わされた明瞭な警告者です。

52.同様にかれら以前の人に使徒がやって来るたびに、魔術師か、または気狂いだと言いました。53.かれらはそれを互いに伝えて来たのでしょうか。いや、かれらは横暴な民なのです。54.それで、かれらを避けて

去りなさい。あなた（ムハンマド）は（かれらの行ないに対して）責められることはないのです。55.だが諭しなさい。説諭は信者たちを益します。

56.ジンと人間を創ったのは、わたしに仕えさせるため。57.わたしはかれらに糧を求めず、また扶養されることも求めません。58.アッラーこそは、糧を授ける方であり、偉力の持ち主で、堅固です。59.不正の徒の罪は、かれらの先達の罪と同様でしょう。だからわたしを急がせなくてもいいのです。60.約束された日（の真実）について、不信心を唱える人に、災いあれ。

52. 山章

al-Tur

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.かの（シナイの）山にかけて、2.整然と書き記された啓典にかけて、3.巻かれていない羊皮紙に、4.不断に詣でられる家（カアバ殿）にかけて、5.高く掲げられた天上（天空）にかけて、6.溢れる大洋にかけて。7.間違いなく主の苦痛は必ず下ります。8.それは防ぎようがないのです。9.その日、空はゆらゆらと揺れ、10.また山々は揺ぎ動くでしょう。11.その日、（真理を）嘘つき呼ばわりした人に災いあれ。12.虚しい事に戯れてばかりいた人たちに。13.かれらが地獄の火の中に突き落とされるその日、14.これこそは、あなた方が嘘であるとしていた地獄の火です。15.これでも魔術なのか。それともあなた方は見えないのか。16.あなた方はそこで焼かれるがいい。あなた方がそれを耐え忍んでも、忍ばなくても同じこと。あなた方は行なったことに、報いられるだけなのです。

17.（アッラーを）意識した人たちは、必ず楽園の喜びの中におり、18.主がかれらに与えるものに歓喜し、また主が地獄の火の苦痛からか

れらを守られたことを喜んでいます。19.楽しんで食べ、かつ飲みなさい。これもあなた方の（善い）行ないのためです。20.かれらは並べられたソファーに寄りかかり、われらは瞳が大きい美しい目の乙女たちを、かれらの配偶者にします。

21.信仰する人たち、またかれらに従った信心深い子孫の人たち、われらは、それらの人を（楽園において）一緒にします。またかれらのすべての行為に対し、少しも（報奨を）軽減しないでしょう。誰もがその稼いだものを預けているようなものです。22.またわれらは果物、肉、その他、かれらが望むものを与えました。23.かれらはそこで互いに杯を回しあうでしょう。そこでは虚しい話にふけることなく、悪事も行なわれません。24.かれらの周囲には、秘められた真珠のようなかれらの子供が巡って回ります。25.かれらは互いに近寄って、尋ね合い、26.言いました。以前、わたしたちは家族と共にいても、いつも（アッラーの苦痛を）恐れていました。27.だがアッラーは、わたしたちにお恵みを与えられ、熱風の苦痛からお守りくださった。28.以前からわたしたちは、かれに祈っていたのです。実にかれは最善な方で、慈悲深い方です。

29.（ムハンマドよ）さあ、かれら（非信者たち）に諭しなさい。主の恩恵によって、あなたは占い師でも気狂いでもないのです。30.それともまたは、かれらは言います。（ムハンマドは）ただの詩人だ、かれの運勢が逆転するのを待とうと。31.言ってやるがいい。じっと待っているがいい。わたしもあなた方と共にじっと待ちましょう。32.それともまたは、一体かれらの（低い）知能がこう命じたのか。それともまたは、かれらは無法な民なのか。33.それともまたは、かれがこれを偽作したと言うのか。いや、かれらは信じていないのです。34.もし、かれらの言うことが本当なら、これと同じようなお告げをもって来させるがいい。

35.それともまたは、かれらは無から創られたのか。それともまたは、かれら自身が創造者なのか。36.それともまたは、かれらが諸天と地を

創造したのか。いや、かれらには信仰がないのです。37.それともまたは、かれらはあなたの主のさまざまな宝物を持っているのか。それともまたは、（事物の）管理者なのか。38.それともまたは、かれらには梯子があって、それで（天に登りアッラーの秘密を）聞くことが出来るのか。（もしそうなら）聞いたという人に、明確な権威（証拠）を持って来させるがいい。39.それともまたは、あなた方には息子があって、かれには娘があるというのか。

40.それともまたは、あなた（ムハンマド）がかれらに報酬を求め、それでかれらは負債の重荷を負っている（そのため入信しない）というのか。41.それともまたは、目に見えない世界のことがすっかり分かっていて、それを書き留めているというのか。42.それともまたは、（ムハンマドに対して）悪巧みを巡らすつもりか。だが背信者たちこそ、悪巧みにかかってしまう。43.それともまたは、かれらはアッラー以外に神があるというのか。アッラーに賛美あれ、かれは並置されるものの上に、はるかに高くあるのです。

44.たとえ天の一角が落ちるのを見ても、かれらは積み重なった雲だと言うでしょう。45.かれらが卒倒させられる（審判の）日まで、放っておきなさい。46.その日、かれらの悪巧みは、何の益もなく、結局かれらは助けられないでしょう。47.実に不正な人には、この他にも苦痛があります。だが、かれらの多くは気付かないのです。

48.それで主の裁きを耐え忍んで待ちなさい。確かにわれらはあなたを見守っています。そしてあなたが立つとき（礼拝時）には、主を称賛をもって賛美しなさい。49.夜中に、また星々が退くときにも、かれを賛美しなさい。

53. 星章

al-Najm

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.沈みゆく星にかけて（誓う）。2.あなた方の同僚（ムハンマド）は、迷っていないし、（道を）間違ってもいません。3.また気ままに、話しているのでもありません。4.それはかれに降ろされた、啓示に他なりません。5.かれに伝えた者（天使ジブリール）は強力で、6.優れた判断力の持主です。真っすぐに立って、7.かれは地平の最も高い所にいて、8.それから降りて来て、近づきました。9.およそ弓二つ、それよりも近い距離でした。10.そしてかれの僕（ムハンマド）に、かれの啓示を降ろしました。11.その心は、見たことを偽りません。12.かれ（ムハンマド）が見たことについて、あなた方はかれと論争するのですか。13.確かにかれが、再度かれ（天使ジブリール）を見たのは、14.一番奥にあるスィドラの木の傍で、15.その側に最後の住まいの楽園があり、16.そのとき（天使または鳥の群れの）覆いで、スィドラの木が覆われていました。17.（ムハンマドの）視線は（その覆いから）逸れることはなく、（命令を超えて）見すぎることもありません。18.かれは確かに、主の最大の印のいくつかを見たのです。

19.（非信者よ）アルラートとアルウッザー（女性神）を何であると考えるのか。20.それから第３番目のマナート（女性神）を。21.あなた方には男子があり、かれには女子があるというのか。22.それでは、不当な分け方でしょう。23.それらは、あなた方や先祖たちが（偶像神に）付けた名称にすぎない。アッラーは何の権威も、それらに下されなかった。かれら（非信者）は、虚しい臆測や妄欲に従っているにすぎない。すでに主からの導きが、かれらに来ているのに。24.およそ人間は、欲しいものは何でも手に入るのか。25.いや、来世も現世も、アッラーのものです。

26.諸天にどれほど天使がいても、アッラーが望み、そのご満悦にあ

ずかる人に対するお許しが出た後でなければ、かれら（天使）の執り成しは何の役にも立ちません。27.実に来世を信じない人は、天使に女性の名を付けたりします。28.かれらは（その根拠となる）知識もなく、臆測に従うだけです。だが真理に対しては、臆測など何の役にも立たない。29.それであなたはわたしの諭しに背を向ける人、またこの世の生活しか望まない人から遠ざかりなさい。30.これがかれらの知識の分量なのです。真に主は、かれの道から迷っている人を、最もよく知っております。またかれは、導きに従っている人を最もよく知っております。

31.諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーのものです。だから悪行の徒にはその行ないに応じて報い、また善行の徒には最善のもので報います。32.小さい誤ちは別として、大罪やみだらな行為を避ける人には、主の容赦は本当に広大です。かれは大地から創り出されたときのあなた方について、また、あなた方が母の胎内に潜む胎児だったときのあなた方について、最もよく知っています。だから、あなた方は自分が清浄（敬虔）だとうぬぼれてはいけません。かれは（アッラーを）意識する人を、最もよく知っています。

33.あなた（ムハンマド）は（真理から）背き去る者を見ましたか。34.わずかに施しをしては、止めてしまいます。35.そんな人に目に見えない世界の知識があって、それで（来世が）見えるというのですか。36.それとも、ムーサーの書にあることが、告げられたことはないのでしょうか。37.また（約束を）完全に果たしたイブラーヒームのことも。38.（その書には次のようにある）他人の重荷を負うことはありません。39.人間は、その努力したもの以外、何も得ることはできません。40.その努力は、やがて見てもらえるのです。41.やがて報奨は、十分に報いられます。42.確かにあなたの最終地点の主に向かうのです。43.かれこそは、笑わせ泣かせるお方、44.また死なせ、生かすお方です。45.確かにかれは、男と女の両性を創りました。46.それも一滴の精液を吹き込むことで。

47.二度目の創造（復活）も、かれの業。48.かれこそは富と財産を与えるお方。49.また狼星（シリウス）の主もこのお方。

50.かれは昔、アードを滅ぼし、51.またサムードも、一人残さず滅ぼしました。52.それ以前にヌーフの民も。確かにかれらは、非常に不正で横暴の輩でした。53.またかれは（サドゥームのように）諸都市を破壊しました。54.そしてかれはそれを覆うもの（石の雨）で覆いました。55.一体主のどのお恵みに、あなた方は異論を抱くのですか。

56.この警告は昔の警告と同様です。57.（審判のときは）近くに迫っています。58.それはアッラーの他、誰も明らかにできません。59.あなた方はこの話に驚くのですか。60.あなた方は笑い草にしても、涙しないのでしょうか。61.あなた方は不注意なのでしょうか。62.アッラーに平伏礼し、（かれに）仕えなさい。

54. 月章

al-Qamar

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.その時は近づき、月は割れ裂けました。2.かれらは印を見ても、背き去って、これはまた魔術だと言うのです。3.かれらは虚偽であるとし、自分の妄欲に従ってきました。だが一切の事柄は、清算されるでしょう。4.これまで（破滅した人びとについてのさまざまな戒めや）警告の知らせが、かれらに来ました。5.それは完全な英知でした。だが警告は役立たなかったのです。6.だからあなたは、かれらから遠ざかりなさい。召集者（天使）が忌み嫌うところへ、（非信者を）呼び出す日に。7.かれらは目を伏せて、あたかも散らばるバッタのように墓場から出て来て、8.召集者の方に急ぐ。非信者たちは言います。これは苦渋の日だと。

9.かれら以前に、ヌーフの民も否定しました。（そして）われらの僕（ヌ

ーフ）を否定し気狂いだと言い、かれは追放されました。10.それでかれは主に、わたしは打ちひしがれました、どうかお助けくださいと祈りました。11.それでわれらは、天の諸門を開き、水を注ぎ降らせました。12.またわれらは大地に幾多の泉を噴出させたので、天命によって水は合流し（洪水が起き）ました。13.しかしわれらは板と釘で造ったもの（方舟）に、かれを乗せました。14.われらが見守る中でそれ（方舟）は進みました。これが（人びとから）退けられた人（ヌーフ）への報いです。15.われらはこれを一つの印として残しました。さて、誰か悟る人はいますか。16.さあわたしの（与える）苦痛と警告とはどうであったか。17.実にわれらは、クルアーンから教訓を学ぶのを易しくしました。さて、誰か悟る人はいますか。

18.アード（の民）も否定しました。それでわたしの苦痛と警告とはどうであったか。19.われらは災厄の続く日に、かれらに対し烈風を送りました。20.すると人間は、ナツメヤシの幹が根こそぎ抜かれたように、一掃されました。21.わたしの苦痛と警告はどうであったか。22.誠にわれらは、クルアーンから教訓を学ぶのを易しくしました。さて、誰か悟る人はいますか。

23.サムード（の民もまた）警告を否定しました。24.そしてかれらは言いました。何と、（預言者サーリフは）わたしたちの中の一介の人間ではないのか。どうしてこんな人に従うのか。それこそ迷いの道で、気狂い沙汰だ。25.わたしたちの間でかれ（だけ）に啓示が下されたのか。いや、かれはひどい大嘘つきだ。26.（アッラーは言います）かれらは明日知るでしょう。誰がひどい大嘘つきであるかを。27.われらは、かれらを試みるため雌ラクダを送りましょう。あなたはかれらを見守り、我慢強くしなさい。28.そしてかれらに水を分配し、順番に飲むよう伝えなさい。29.だがかれらは仲間を呼び寄せ、その男は（剣を）手にとると、膝の腱を切ってしまいました。30.そのときのわたしの（与える）苦痛と警告とが

どうであったか。31.われらは、かれらに向かって一声を送ると、かれらは家畜の囲いに使われる枯れ木のようになりました。32.実にわれらは、クルアーンから教訓を学ぶのを易しくしました。さて、誰か悟る人はいますか。

33.ルートの民も警告を否定しました。34.われらは砂石の嵐をかれらに送りました。ルートの家族だけは別で、明け方にかれらを救い、35.われらからの恩恵としました。このようにわれらは感謝する人に報いるのです。36.（ルートは）われらの懲罰をかれらに警告しましたが、かれらはその警告について疑問視しました。37.そしてかれの賓客（天使）たちを、かれから引き離そうとしたので、われらはかれらの目を潰しました。さあ、わたしの苦痛と警告を味わえ。38.あくる朝、限りのない苦痛がかれらに下りました。39.さあ、わたしの苦痛と警告を味わえ。40.誠にわれらは、クルアーンから教訓を学ぶのを易しくしました。さて、誰か悟る人はいますか。

41.確かにフィルアウンの一族にも、警告が届きました。42.（だが）われらの種々の印をすべて否定しました。それでわれらは、偉力大で権能ある方がする一掴みで、かれらを捕まえました。

43.あなた方の非信者（クライシュ族）が、（以前の）これらの人びとよりも優れているのでしょうか。それとも啓典の中にあなた方のための赦免があるのでしょうか。44.それともかれらは、自分たちは立派な軍勢で、勝利を得るのだとでも言うのでしょうか。45.やがてこれらの軍勢は敗れ去り、背を向けて逃げ去るでしょう。46.いや（審判の）ときは、かれらに約束された日程です。しかもそれは、非常に厳しく苦いものです。47.真にこれらの罪人は、迷妄と狂気のうちにあるのです。48.火の中で顔を（下に）付けて引きずられるその日、かれらは、地獄の感触を味わえ（と言われるでしょう）。

49.真にわれらはすべての事物を、適正な分量に創造しました。50.ま

たわれらの命令は、ただ一瞥のような一つの命令だけです483。51.われらはこれまで、あなた方（マッカの多神教徒）の同類を滅ぼしました。さて、誰か悟る人はいますか。52.かれらのすべての所業は、帳簿に記録されています。53.大小すべてのことが、書き留められています。54.間違いなく、（アッラーを）意識する人は、庭園と川に囲まれて、55.全能の王者の御元で、真実の居間（楽園）に（住んで）います。

55. 慈悲あまねくお方章

al-Rahman

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.慈悲あまねくお方が、2.このクルアーンを教えました。3.人間を創り、4.言い方を教えました484。5.太陽と月は、計られた軌道に従い、6.草も木もひれ伏します。7.かれは天を高く掲げ、秤を設けました。8.あなた方が秤の平衡を失わないためです。9.計量は公正を旨とし、秤を少なめにしてはいけません。

10.また大地を命あるもののために設けました。11.そこには果実があり、サヤに入ったナツメヤシ、12.殻籾のある穀物と、（その他の）香る植物。13.それであなた方（人間とジン）は、主の恩恵のどれを否定するのか。14.（かれは）陶土のような乾いた土から人間を創り、15.また無煙の火の炎からジン（幽精）を創りました。16.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。17.（アッラーは）二つ（太陽と月）の東（登り口）の主であり、また二つの西（沈み口）の主です。18.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。19.かれは二つの海（淡水と塩水）を放ちます。20.両者の間には障壁があり、一方が他方へ乗り越えることはありません。21.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。22.両海は、真珠とサンゴを産します。23.それであなた方は、主の恩

恵のどれを否定するのか。24.海上で高山のような建造物である船は、かれのものです。25.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。

26.地上にあるすべてのものは、消滅します。27.だが威厳と栄誉の持ち主である、あなたの主の尊顔は、残ります。28.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。29.諸天と地のすべてのものは、かれに向かって請い求めます。(だから)かれには、毎日すべきことがあります。30.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。

31.あなた方(人間とジンの)二つの重い群衆よ、われらはあなた方のため、(清算に)着手するでしょう。32.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。33.ジンと人間の衆よ、もしあなた方が、諸天と地の領域から遠くに越えられるなら、越えてみなさい。(われらの)権能がなくては、越えることはできません。34.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。35.あなた方(邪な両者)に対して、燃え盛る火の炎と煙が浴びせられるでしょう。あなた方には、援助もないでしょう。36.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。

37.大空が裂けて、赤革のようなバラ色になるとき。38.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。39.その日人間もジンも、(今さら)その罪について問われることはないでしょう。40.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。41.罪を犯した者はすぐわかる特徴があり、かれらは額と足を捕えられるでしょう。42.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。43.これは罪を犯した者が、嘘であると言い張った地獄です。44.かれらはそれ(地獄の火)と、煮え立つ湯の間をさ迷う。45.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。

46.だが主の(審判の座の)前に立つことを畏れてきた者のためには、二つの楽園があるでしょう。47.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。48.枝を張る2本の木があるもの(楽園)。49.それであ

なた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。50.それら（二つの楽園）の中には、二つの泉が涌き出ています。51.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。52.それら（二つの園）の中には、すべての果実に雌雄一対あります。53.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。54.かれらは、錦の寝椅子の上に寄りかかり、両方の楽園の果物は近くにあります。55.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。56.そこには人間にもジンにも、これまで触れられていない、眼差しを押さえた乙女たち。57.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。58.かの女たちは、さながらルビーかサンゴのようです。59.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。60.善いことへの報いは、善いことでなくて何であろう。61.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。

62.この二つの（楽園の）他に、もう二つ楽園があります。63.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。64.二つの緑の深いもの（園）。65.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。66.その二つの中には湧き出る泉が、二つあります。67.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。68.その二つの中には種々の果物や、ナツメヤシもザクロもあります。69.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。70.それらの中には（性格の）良い、美しい乙女がいます。71.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。72.黒い瞳の乙女は天幕に（引き籠る）。73.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。74.人間にもジンにも、これまで触れられていません。75.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。76.緑の小布団と美しい絨毯に寄りかかります。77.それであなた方は、主の恩恵のどれを否定するのか。78.威厳と栄誉の持ち主、あなたの主の御名に称賛あれ。

56. 出来事章

al-Waqi‘a

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（あの来るべき）出来事の起こったとき、2.（誰も）それが起こったことを否定できないでしょう。3.（地獄へ）低く下げたり、（天国へ）高く上げたりします。4.大地は強く揺れ動かされ、5.山々は粉砕されて平らになり、6.粉になって飛び散ります。7.そしてあなた方は、三つの組に分けられます。

8.まず右側の人びと。右側の人びとはどういう人たちでしょう。9.また左側の人びと。左側の人びとはどういう人たちでしょう。10.（左右いずれでもない篤信組の）先頭に立つ人は、真っ先を行き、11.かれらは、（アッラーの）近くに寄せられて、12.快適な楽園の中です。13.昔からの人が多く、14.後世の人は少数です。15.立派な布の寝椅子の上で、16.互いに向き合って、その上で寄り掛かります。17.永遠に若く保たれる少年たちが、かれらの間を巡り、18.コップや水差し、そして泉からの杯（を持っています）。19.（それを飲んで）頭痛も覚えず、酔うこともないのです。20.また果実は、かれらの選ぶに任せ、21.鳥の肉もかれらの好みのままです。22.黒い瞳の美しい目の女性は、23.秘蔵の真珠のようです。24.（以上のことは）かれらのそれまでの行ないに対する報奨です。25.そこでは、無益な言葉や、罪作りなことも聞くことはないのです。26.ただ平安を、平安を、と言われるだけです。

27.右側の人びと、右側の人びとはどういう人たちでしょう。28.刺のないナツメの木、29.群れなすアカシアの木（の所に住み）、30.長く伸びる木陰と、31.絶え間ない水の間で、32.豊かな果物が、33.絶えることなく、禁じられることもなく。34.高く上げられた寝床の中に（着きます）。35.われらは、かの女（天女）たちを特別に創り、36.処女にしました。

37.愛らしい、同じ年配の者です。38.右側の人びとのためです。39.昔の者は大勢いますが、40.後世の者も多くいます。

41.左側の人びと、左側の人びとはどういう人たちでしょう。42.焦がすような風と、煮える湯の中（に住み）、43.黒煙の影で、44.涼しくもなく、爽やかさもありません。45.以前かれらは贅沢して、46.大罪をいつも犯していました。47.そしていつも言っていました。わたしたちは死んでから、土砂と骨になり、（それから）本当に復活させられるのでしょうか。48.わたしたちの古い先祖もそうですかと。49.言ってやるがいい。昔の者も後世の人も、50.必ず一緒に召集されるのだ。定められた日の定時に。51.そのときあなた方は、迷う人で、（真理を）否定した人、52.必ずあなた方はザックームの木から食べ、53.それで腹は一杯となる。54.その上煮え立つ湯を飲むのは、55.喉が乾いたラクダのよう。56.これが審判の日の、かれらの境遇なのです。

57.われらはあなた方を創ったが、あなた方は真実を信じようとしないのか。58.あなた方は、あなた方の出すもの（精液）について考えたか。59.それを創ったのはあなた方なのか、あるいはわれらがその創造者なのか。60.われらは、あなた方に死を定めた。われらの先を越す（そして死を止める）ことはできず、61.（もし望まれるならアッラーは）あなた方に同類の者を取り換え、またはあなた方が知らないものに、あなた方を創（り変え）るのだ。62.あなた方は確かに最初の創造を知っているのに、どうして（復活に）気を留めないのか。63.あなた方は自分が蒔くもの（種）のことを考えたのか。64.あなた方がそれを育てるのか、それともわれらが育てるのか。65.もしわれらが望んで、それ（収穫物）を屑にしてしまうと、あなた方は困惑するだろう。66.わたしたちは損失を課せられた、67.いや、わたしたちは奪われた（と言って）。68.またあなた方の飲む水について考えたか。69.あなた方が雨雲から降らせるのか、それともわれらが降らせるのか。70.われらがもし欲するなら、それを塩辛くする

ことができるのだ。あなた方は感謝しないのか。71.あなた方は自分が灯す火について考えたか。72.その(灯すための)木をあなた方が創ったのか、それともわれらが創ったのか。73.われらはそれを教訓とし、また灯を使用する人のために創ったのだ。74.だから偉大なあなたの主の御名で賛美しなさい。

75.わたしは、星々の居場所にかけて誓います。76.それは実に偉大な誓いです、あなた方も知っているならば。77.(誓うのは)間違いなく、これは高貴(で読み物として最良)なクルアーンで、78.守られた書板の中にあり、79.清められた者以外は、触れることができなくて、80.すべての世界の主からの啓示です。81.これは、あなた方が軽んじるような教えなのか。82.またあなた方は糧を得ておきながら、否定できるのか。

83.そしてあなた方は、(臨終の人の魂が)喉元に達するとき、84.見守るばかりなのか。85.われらはあなた方よりも、かれ(臨終の人)に近いのだが、あなた方には見えていない。86.あなた方がもし(来世の裁きに)縛られないというのなら、あなた方はなぜ、87.それ(魂)を呼び戻さないのか。もしあなた方が、真実(を語っているの)ならば。88.もしかれが、(アッラー)に近づけられた人であるなら、89.(かれには)休息と喜悦、そして快適な楽園があります。90.もしかれが、右側の人びとであるならば、91.あなたに平安あれ、と右側の人びとから(挨拶されます)。92.もしかれが、否定し迷った人であるならば、93.煮え立つ湯に浸けられ、94.地獄の火で焼かれます。95.まさにこれこそは、確かな真理なのです。96.だから偉大なあなたの主の御名で賛美しなさい。

57. 鉄章

al-Hadid

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーを賛美します。実にかれは偉力大で英明です。2.諸天と地の大権は、かれのものです。かれは生を授け、また死を授けます。かれはすべてについて全能です。3.かれは最初の方であり、また最後の方で、外在する方であり、また内在する方です。かれはすべての事物を熟知します。4.かれは諸天と地を６日間で創造し、それから玉座に鎮座したお方です。かれは大地に入るもの（水や種子や死体など）、またそれから出るもの（植物や鉱物など）をすべて知り、また天から降りるもの（雨や天使や啓示など）、そしてそこに昇るもの（魂など）を知り尽くします。あなた方がどこにいようとも、かれはあなた方と共におります。アッラーはあなた方が行なうすべてのことを洞察します。5.諸天と地の大権は、かれのものです。（一切の）事物は、アッラーの御元に帰ります。6.かれは夜を昼の中に没入させ、また昼を夜の中に没入させます。また胸に秘めることをすべて熟知します。

7.アッラーとかれの使徒を信じ、かれがあなた方に信託させたものの中から施しなさい。あなた方の中で信仰して施す人たち、かれらには偉大な報奨があるでしょう。8.どうしてあなた方は、アッラーを信仰しないのですか。使徒は、あなた方の主を信仰するよう呼びかけています。もしあなた方が信者なら、かれは既にあなた方の誓約を受け入れたのです。9.かれこそは、あなた方を暗黒から光明に出すために、かれの僕に対して明瞭な印を下した方です。アッラーは、あなた方に親切で慈悲深いのです。10.どうしてあなた方は、アッラーの道のため施さないのですか。確かに諸天と地の遺産の相続は、アッラーに属します。あなた方の中、（マッカ奪還の）勝利の前から（財を）施して戦った人は、後から施し

て戦った人よりも高い地位にあり、（かれらは）同じではありません。だがアッラーは、すべての人に善（き報奨）を約束しました。アッラーは、あなた方が行なうすべてのことを知り尽くします。

11.アッラーに良い貸し付けをする人は、誰でしょうか。かれはそれを倍にされ、気前のよい報奨を授けるでしょう。12.あなた（ムハンマド）が、信者の男女が手にした光を、かれらの先と右側に見る（審判の）日、（かれらはこう言われます）今日、あなた方への吉報があります。（吉報とは）川が下を流れる楽園のことで、永遠にその中に住むのです。それは、真に偉大な勝利なのです。13.その日、偽信者の男女は、信者たちに言うでしょう。わたしたちを待ってくれ、あなた方から光を借りたい。（だがかれらは）言われるでしょう。後ろに引き返せ、そして光を請い求めなさいと。そこでかれらの間に壁が設けられます。そこに一つの門があるが、その内側には慈悲が、その外側には苦痛があるのです。14.かれら（偽信者）は、わたしたちは、あなた方と（現世において）一緒ではなかったのですかと叫ぶでしょう。かれら（信者たち）は言います。そうです、だがあなた方は自分の誘惑に負け、（信者たちの敗北を）待ち伏せし、疑いを抱き、誤った望みに欺かれているうちに、アッラーの命令がやって来たのです。錯誤させる者（悪魔）が、アッラーについてあなた方をだましたのです。15.今日となっては、あなた方の身代金は受け入れられないでしょう。また非信者たちも同じこと。あなた方の住まいは（地獄の）火なのです。それがあなた方の所属する所で、何と悲惨な行き所でしょう。

16.信仰する人たちにはアッラーの教説と啓示された真理に、その心を謙虚にするときがまだやって来ないのですか。以前に啓典を授けられた人たちのようになってはいけません。かれらは（改心することなく）猶予されたので、心が頑なになりました。かれらの多くは掟破りの人たちです。17.あなた方は、一度死んだ大地をアッラーが甦らせることを知り

なさい。われらは種々の印をあなた方のために明示したので、恐らくあなた方は理解するでしょう。

18.定めの施しをする男女は、アッラーに善い貸し付けをする人であり、かれはそれを倍にされ、気前のよい報奨を与えるでしょう。19.アッラーとかれの使徒たちを信じる人たち、これらの人たちは誠実な人たちであり、主の前で（真理の）証言をする人たちです。かれらには報奨と光明があるでしょう。だが信じない人たちやわれらの種々の印を否定する人たち、これらの人たちは（地獄の）火の住人でしょう。

20.あなた方の現世の生活は、遊びや戯れであり、また虚飾と互いの自己顕示であり、財産と子女の多さの張り合いだということを知りなさい。例えれば慈雨のようなもので、苗が生長して農夫を喜ばせたかと思うと、やがてそれは枯れて黄色に変わり、次いで枯屑になるのをあなた方は見るでしょう。だが来世においては（不正の徒に）激しい苦痛があり、また（正義の徒には）アッラーからお赦しと満悦があるでしょう。真に現世の生活は、欺瞞の享楽です494。21.あなた方は主からのお赦しと、天地の広さほどの広大な楽園のために競いなさい。それはアッラーと使徒たちを信じる人のために準備されています。これはアッラーの寵愛で、御心に適う人にそれを授けます。確かにアッラーは、偉大な寵愛の持ち主です。

22.地上において、またあなた方の身の上において起こるどのような災厄も、一つとしてわれらがそれをもたらす前に、書板に記されていないものはありません。それはアッラーには容易なことです。23.それはあなた方が失ったものに悲しまず、与えられたものに喜びすぎないためです。アッラーは、自惚れの強い自慢気な人を好まれません。24.こういう人たちは物惜しみし、また人びとにも物惜しみするように言います。（アッラーから）背き去る人がいても、アッラーは自存するお方であり、賛美すべきお方です。

25.確かにわれらは明証をもってわれらの使徒たちを遣わし、またかれらと共に啓典と秤を下しました。それで人びとが正義を守るようにするためです。またわれらは鉄を下しました。それには偉大な力があり、また人間のために種々の便益を提供します。それはかれを見ることはできなくても、誰がかれとかれの使徒を支持するかを知るためです。真にアッラーは、強力で偉力大なお方です。

26.われらは以前、ヌーフとイブラーヒームを遣わしました。またわれらは両者の子孫にも、預言を授かる能力と啓典を授けました。かれらの中、導かれた人もいましたが、多くの人はアッラーの掟に背く人たちでした。27.それからわれらの（他の）使徒たちをかれらの足跡に従わせ、さらにマルヤムの子イーサーを遣わし福音を授け、またかれらに従う人の心に博愛と慈悲を持たせました。だが修道院制は、かれらが自分で作ったもので、われらはそれを定めてはいません。それはアッラーの満悦を得るためでした。だがかれらは、きっちりと守るべきことを遵守していませんでした。それでもわれらは、かれらの中の信仰する人には報奨を与えました。だがかれらの多くは、アッラーの掟に背く人たちでした。

28.信仰する人たちよ、アッラーを意識し、かれの使徒を信じなさい。かれはあなた方に倍の慈悲を授け、また光明をあなた方のために設け、それで（正しい道を）歩ませ、またあなた方を赦します。真にアッラーはよく赦す慈悲深いお方なのです。29.アッラーの寵愛はかれらにはどうしようもできず、また寵愛はアッラーの手中にあることを啓典の民は知るべきです。かれの御心に適う人に、それを授けます。実にアッラーは偉大な寵愛の持ち主なのです。

58. 争議章

al-Mujadala

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆28部◆アッラーは、自分の夫についてあなた（ムハンマド）に争いを訴え、またアッラーに不平を申し立てる女性の言葉をお聞きになりました。アッラーは、あなた方二人（夫妻）の言い分をお聞きになりました。実にアッラーは全聴にして全視です。

2.あなた方の中にズィハール離婚によって、その妻を遠ざける人がいます。しかしかの女たちはかれらの母ではなく、母はかれらを生んだ者以外にはないのです。実にかれらの言うことは悪質で、虚偽の言葉です。（しかし）アッラーはよく免じ、よく赦します。3.ズィハール離婚をしたが、後にその言ったことを撤回するときは、二人が互に触れる前に、一人の奴隷を解放しなければいけません。これは、あなた方に諭されたことです。アッラーは、あなた方が行なうことを知り尽くします。4.しかし（解放する奴隷を）見つけられない人は、二人が互いに触れる前に、2ヵ月続けて斎戒（断食）しなさい。それもできない人は、60人の貧者に食を与えなさい。これは、あなた方がアッラーとかれの使徒を信じるためのアッラーの掟です。非信者に対しては厳しい苦痛があるでしょう。

5.確かにアッラーとかれの使徒を拒否する人は、かれら以前の人たちが、卑しめられたように卑しめられます。わたしは明らかな印を下しました。だから非信者に対しては恥辱的な苦痛があります。6.その日、アッラーはかれらを一斉に甦らせて、かれらが行なったことを知らせます。かれらはそれを忘れてしまったが、アッラーはそれを記録してきました。アッラーはすべてのことの立証者なのです。

7.あなたは、諸天と地のすべてをアッラーが知っていることを理解しないのか。三人で密談をしてもかれは常に四人目におり、五人のときも

その六人目に常におります。それより少くてもまた多くても、かれらがどこにいようとも、かれはかれらと共におります。そして審判の日には、かれはかれらが行なったことを告げるのです。確かにアッラーはすべてのことを熟知します。8.あなたは密談を禁じられた人たちが、その後禁じられたことに返っているのを見なかったのですか。かれらは罪と敵意と使徒（ムハンマド）への反逆心で、密議したのではないでしょうか。またかれらがあなたの所に来たとき、アッラーがあなたに対してなされなかった言葉で挨拶しておいて、かれらの内々では、どうしてアッラーはわたしたちの言うことを罰さないのか、と言いました。かれらには地獄で十分なのです。かれらはその中で焼かれます。何と悪い行き先でしょう。

9.信仰する人たちよ、あなた方が密議をするときは、罪と敵意と使徒（ムハンマド）への反逆心でしてはいけません。善意と（アッラーへの）意識をもって相談しなさい。アッラーを意識しなさい。かれの御元に、あなた方は集められるのです。10.（それ以外の）密談は悪魔のものにすぎず、信仰する人たちを悲嘆させるもの。しかしアッラーのお許しがない限り、少しもかれら（信者たち）を害することはできません。だから信者たちには、アッラーへの全幅の信頼を寄せさせなさい。

11.信仰する人たちよ、集会で互いに席を空けなさいと言われたときは、直ぐ席を譲りなさい。アッラーはあなた方のために空席を与えます。また立ち上がるよう言われたときは、直ぐ立ち上がりなさい。アッラーはあなた方の中、信仰する人や、知識を授けられた人に多くの位階を上げます。アッラーは、あなた方が行なう一切を知り尽くします。

12.信仰する人たちよ、あなた方が使徒に私的な相談をするときは、その前にまず施しをしなさい。それはあなた方のためにより良く、またより潔癖なことです。もしできなくても、実にアッラーはよく赦す慈悲深いお方です。13.あなた方は、（ムハンマドに）私的な相談を始める前に施しをすることを恐れたのですか。もしそれ（施し）をしないのに、アッラー

があなた方の改心を赦した場合は、(少なくとも) 礼拝の務めを守り、定めの施しをし、アッラーとかれの使徒に従いなさい。アッラーはあなた方が行なう一切を知り尽くします。

14.あなたは、アッラーの怒りを被った人びと (ユダヤ教徒) に従う人 (偽信者) を見ないのですか。かれら (偽信者) はあなた方 (の仲間) でもなく、またかれら (ユダヤ教徒) でもないのです。かれらは知っていながら、偽りに誓いをたてます。15.アッラーはかれらのため、激しい苦痛を準備しました。実にかれらのしてきたことの悪いことか。16.かれらは誓いを (悪行の) 隠れ家とし、アッラーの道から (人びとを) 妨げるのです。かれらは恥ずべき苦痛を受けます。

17.かれらの財産も子女も、アッラーに対しては、少しも役立ちません。かれらは (地獄の) 火の仲間です。永遠にその中に住むでしょう。18.アッラーがかれら全員を復活させる日、かれらは (今) あなた方 (信者たち) に誓うように、かれに誓う。かれらは (それで) 来世でも何とかなると思っています。いやとんでもない、かれらは真に嘘つきなのです。19.悪魔がかれらを乗っ取り、アッラーを唱えることを忘れさせました。(だから) かれらは悪魔の側に立つ者です。確かに悪魔の側に立つ者こそ、損失者なのです。20.アッラーとかれの使徒に反抗する人は、最も軽蔑される人の仲間です。21.アッラーは、わたしは必ず勝つ、(そして) わたしとわたしの使徒たちも (必ず勝つ) と定めました。実にアッラーは、強力で偉力大なお方です。

22.あなたはアッラーと最後の日を信じる民が、アッラーとかれの使徒に反抗する (戦いを挑む) 人と友誼を結ぶのを見ることはないでしょう。たとえかれら (反抗する人たち) がかれら (信者たち) の父や、子、兄弟や一族であっても。かれはこれらの人たちの心の中に信仰を書き留め、かれの霊魂によって強めます。また川が下を流れる楽園に入らせ、永遠にその中に住まわせます。アッラーはかれらに満悦され、かれらも

かれに喜悦します。これらはアッラーの側に立つ者です。確かにアッラーの側に立つ者こそ、成功者なのです。

59. 集結章

al-Hashr

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.諸天と地のすべてのものは、アッラーを賛美します。かれは偉力大で英明です。2.かれこそは、啓典の民の中の不信心な人たち（ユダヤ教徒のナディール族）を最初に集結させて、かれらの住まいから追い出した方です。あなた方はかれらが退去するとは考えませんでした。一方でかれらは、その砦だけでアッラー（の攻撃）を防げると思っていました。だがアッラーはかれらの予期しなかった方面から襲い、かれらの心をパニックに陥れると、かれらは信者たちと一緒になって、自らの手で（追放前に）その住まいを破壊してしまいました。洞察する人たちよ、教訓としなさい。

3.アッラーは、たとえかれらに対して追放を定めなくても、必ず現世においてかれらを懲らしめます。また来世においては（地獄の）火の苦痛があります。4.それはかれら（非信者たち）が、アッラーとかれの使徒に反抗したためです。誰でもアッラーに反抗するなら、間違いなくアッラーは懲罰に激しいのです。5.あなた方が、（ナディール族の）ナツメヤシの木を切り倒しても、またその根の上に立たせておいても、それはアッラーのお許しによるもので、アッラーの掟に背く人たちを卑しめるためです。

6.またアッラーが、かれらからかれの使徒（ムハンマド）に与えた物については、あなた方が馬やラクダを急ぎ駆りたてる必要はありませんでした。アッラーは、かれが望む人たちに対して、かれの使徒に（指導の）権限を与えるのです。実にアッラーは、すべてのことに全能です。7.アッ

ラーが（敵の）町の民から得て使徒に与えた物は、アッラーのものであり、またかれの使徒や近親者、孤児、貧者、旅人のものです。それはあなた方の中の、富裕な人の間だけで持ち回しにしないためです。また使徒（ムハンマド）があなた方に与える物を受け取り、あなた方に禁じる物は避けなさい。アッラーを意識しなさい。真にアッラーは罰に厳しいのです。8.（戦利品は）貧困な移住者たち（ムハージルーン）のものです。かれらは自分の家と財産から追われて、アッラーの寵愛と満悦を求めて、アッラーとかれの使徒を支援しています。これらの人こそ、誠実な人です。

9.そして以前から（マディーナに）家を持っていて信仰を受け入れた人たち（アンサール）は、かれらのもとに移住した人を愛護し、またかれらに与えられたもの（戦利品）に対しても、心の中でも欲しがることもなく、自分自身に先んじて（移住者に）与えます。たとえ自分は窮乏していても。自分の貪欲をよく押えた人たち、これらこそ成功者です。10.かれら（移住者）の後に来た人たちは言います。わたしたちの主よ、わたしたちと、わたしたち以前に信仰に入った兄弟たちを、お赦しください、そして信仰している人に対する恨み心を、わたしたちの胸の中に持たせないでください、わたしたちの主よ、確かにあなたは、親切で慈悲深くありますと。

11.あなた（ムハンマド）は、偽信者たちが啓典の民の中の不信心な人たち（ユダヤ教徒のナディール族など）に、こう言うのを見ていないのですか。もしあなた方が追放されるなら、わたしたちも一緒に出て行くでしょう。あなた方のことに関しては、（信者の）誰にも決して従わないでしょう。もしあなた方が攻撃されるならば、わたしたちは必ず助けるでしょうと。だがアッラーは、かれらが真に嘘つきであることを立証します。12.もしかれら（ナディール族）が追放されても、かれら（偽信者）は、決して一緒に出て行かないでしょう。もしかれらが攻められても、決して

助けないでしょう。もし助けるとしても、かれら（偽信者）は必ず背を向けて逃げるので、結局かれら（ナディール族）は何の助けも得られないでしょう。

13.かれら（ナディール族と偽信者）の胸の中では、あなた方（信者）の方がアッラーよりも、ずっと恐ろしいのです。これはかれらが、何も分からない民のためです。14.かれらが一緒でも、しっかり防御された町とか防壁の陰でない限りは、あなた方（信者たち）と戦わないでしょう。かれらの中の敵対心には強いものがあります。あなたはかれらが団結していると思うかもしれませんが、その心はばらばらです。これはかれらが、理性のない民だからです。

15.かれら以前の例えとしては、つい先頃、自分の行ないの悪い結果を味わった、連中（バドルの戦いの多神教徒など）のようです。（来世においても）かれらには厳しい苦痛があるでしょう。16.（偽信者はまるで）人に向かって信仰を捨てなさいと言う悪魔のようです。（その人が）一度不信心になると、わたし（悪魔）はあなたと関わりはない、本当はすべての世界の主、アッラーが恐ろしいと言います。17.それで両者（悪魔と偽信者）は最後に（地獄の）火に陥ることになり、かれらはその中に永遠に住むのです。これが、不正の徒への応報です。

18.信仰する人たちよ、アッラーを意識しなさい。明日のために各自が何を提供したか考えさせなさい。そしてアッラーを意識しなさい。確かにアッラーは、あなた方が行なうことを知り尽くします。19.あなた方は、アッラーを忘れた人のようであってはいけません。（そうすると）かれは、かれら自身を忘れさせるのです。これらの人はアッラーの掟に不服従の人たちです。20.（地獄の）火の住人と楽園の住人とは、比べようもありません。楽園の住人こそ勝利者なのです。

21.もしわれらがこのクルアーンを山に下したなら、それはきっと従順になり、アッラーを恐れて粉々に砕けるのを見たでしょう。こんな例え

を、われらが人間に示すのは、恐らくかれらが熟考するだろうと思うからです。22.かれこそは、アッラーで、かれの他に神はいません。かれは目に見えない世界と目に見える世界を知り、慈悲あまねく慈悲深いお方です。23.かれこそは、アッラーで、かれの他に神はいません。王者、清浄者、平安を与えるお方、安全と信仰を与えるお方、統制するお方、偉力大なお方、制圧者であり、偉大なお方です。アッラーに賛美あれ。（多神教徒が）同列に並置するものよりも、はるか上に（おられます）。24.かれこそは、アッラーです。創造の主、造化の主、形態を授ける（主であり）、最も美しい御名はかれのものです。諸天と地のすべてのものは、かれを賛美します。誠にかれは偉力大で英明です。

60. 試問される女性章

al-Mumtahana

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.信仰する人たち（マディーナの信者）よ、わたしの敵であり、またあなた方の敵である人（マッカの多神教徒）に友誼を示して、同盟者としてはいけません。かれらはあなた方に届いた真実（クルアーン）を拒否しており、あなた方の主、アッラーを信仰しているために、使徒とあなた方を、かれらは追放するのです。もしあなた方が、わたしの喜びを望み、わたしの道のために奮闘努力するならば（同盟者としてはならない）。あなた方はかれらに好意を寄せる（内通する）が、わたしはあなた方の隠すことも、現すことも知っています。あなた方の中でこのようなことをする人は、確かに正しい道から迷い去った人なのです。2.かれらはもし、あなた方より優利に立てば、あなた方の敵となり、かれらの手と舌とを悪意をもってあなた方に伸して、あなた方が不信心になることを望んでいるのです。3.復活の日においては、あなた方の親族もまた子女も、あなた方

を益しないでしょう。かれはあなた方を仕分けます。アッラーはあなた方が行なうことをすべて洞察します。

4.イブラーヒームやかれと共にいた人たちには、あなた方のための良い手本があります。かれらが自分の人びとに言ったときのことでした。わたしたちは、あなた方とあなた方がアッラーに代えて崇拝するものとは、何の関りもありません。あなた方を拒否します。わたしたちとあなた方の間には、あなた方がアッラーだけを信じるようになるまで、永遠の敵意と憎悪があるばかりです（と言いました）。ただしイブラーヒームは父親にこう言いました。わたしはアッラーからあなたを守ることはできないでしょうが、あなたのために赦しを祈ります。（祈って）わたしたちの主よ、わたしたちはあなたに帰依し、あなたに改心します。あなたの御元にわたしたちの帰り所はあるのです。5.わたしたちの主よ、わたしたちを非信者による試練に晒さないでください。わたしたちの主よ、わたしたちを赦したまえ。あなたは偉力大で英明です。6.確かにアッラーと最後の日を望んでいる人にとって、これ（以上の話）は良い手本です。たとえ背き去る人があっても、実にアッラーは自足され、称賛されるべきお方なのです。7.アッラーはあなた方とあなた方が敵意を持つ人たちとの間に、好意の念を起こさせることもあるでしょう。アッラーは全能で、またアッラーはよく赦す、慈悲深いお方なのです。

8.アッラーは、信教上のことであなた方と戦いを交えず、またあなた方を家から追放しなかった人たちに、親切で公正にすることは禁じません。実にアッラーは、公正な人をお好みになります。9.ただしアッラーは、次のような人をあなた方に禁じます。信教上のことであなた方と戦いを交える人、またあなた方を家から追放した人、さらにあなた方を追放するのに助力した人たちです。誰でもそういう人たちを同盟者とする人は、不正の人です。

10.信仰する人たちよ、女性の信者があなた方のところに逃げて来た

ときは、かの女たちを試問しなさい。かの女たちの信仰については、アッラーが最もよく知っております。もしかの女たちが信者であることが、あなた方に分かったならば、非信者のところに戻してはいけません。かの女たちは、かれら（非信者）には合法（の妻）ではなく、またかれらもかの女たちにとっては合法（の夫）ではないのです。しかしかれら（非信者）が（婚資として）贈ったものは返してやりなさい。あなた方が、かの女たちに婚資を与えるならば、かの女を娶っても、あなた方（信者）に罪はありません。そして不信心な女との絆を、固持してはいけません。あなた方が（婚資として）贈ったものの返還を（非信者のかの女の夫から）求めてもよい。またかれら（非信者の元夫）が贈ったものについては、その返還の要求を（信者の夫に対して求めさせればよい）。これはアッラーの裁決です。かれはあなた方の間を裁かれます。アッラーは全知にして英明です。11.もしあなた方の妻たちの何人かが非信者のところに去り、あなた方が報復した（戦利品を得た）なら、妻に去られた人たちに（その戦利品の中から）、婚資として贈ったものと同額を与えなさい。こうしてあなた方が信奉する、アッラーを意識しなさい。

12.預言者よ、あなたのところへ女性の信者がやって来て、あなたに対し次のように誓うとしよう。アッラーの他は何ものも同位に配しません、盗みをしません、姦淫もしません、自分の子供を殺しません、また自分の手や足の間で捏造した（子供の父親が誰かということについての）嘘は申しません、また常識的なことで、あなたに背くことはありませんと。（そう誓えば）かの女たちの誓約を受け入れ、かの女たちのために罪を赦されるようアッラーに祈りなさい。真にアッラーはよく赦す慈悲深いお方なのです。

13.信仰する人たちよ、アッラーが怒った人を同盟者としてはいけません。非信者が墓場の仲間について（救われないだろうと）絶望しているのと同じように、かれらは来世について絶望しているのです。

61. 戦列章

al-Saff

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1. 諸天と地にあるすべてのものは、アッラーを賛美します。かれは、偉力大で英明な方です。2.信仰する人たちよ、あなた方はどうして口にしながら、実行しないのですか。3.口にしておいて実行しないのは、アッラーが非常に嫌われます。4.アッラーがお好みになる人は、堅固な建造物のように、戦列を組んでかれの道のために戦う人たちです。

5.ムーサーがその人びとに言ったときのこと。人びとよ、どうしてあなた方はわたしを苦しめるのか。わたしが、あなた方に(遣わされた)アッラーの使徒であることを、知っているでしょう。こうして人びとが道を踏みはずしたとき、アッラーはかれらの心の道を踏みはずしました。アッラーは、掟に背く人を導きません。

6.マルヤムの子イーサーが、こう言ったときのこと。イスラーイールの子孫たちよ、確かにわたしは、あなた方へのアッラーの使徒で、わたしより以前の律法を確証し、また、わたしの後に使徒が来るという吉報をもたらします。その名前は、アハマドです。しかしかれ(アハマド)が明証をもって現れたとき、かれらは、これは明らかに魔術であると言いました。7.イスラーム(アッラーに従うこと)へと呼びかけられていながら、アッラーについて虚偽を捏造する人以上に、悪を行なう人がいるでしょうか。アッラーは不正の民を導きません。8.かれらはアッラーの光を、口で消そうと望んでいます。だがアッラーはたとえ非信者たちが嫌おうとも、その光を全うします。9.かれこそは、導きと真実の宗教(イスラーム)を持たせて、自分の使徒を遣わした方で、たとえ多神教徒たちが嫌悪しようとも、それをすべての宗教の上に高く掲げるのです。

10.信仰する人たちよ、わたしは厳しい苦痛から救われる、ある取引

をあなた方に示しましょうか。11.それはあなた方がアッラーとかれの使徒を信じ、あなた方の財産と命をもって、アッラーの道に奮闘努力することです。もし分かるならば、それはあなた方のためにより善いのです。12.かれはあなた方のさまざまな罪は赦し、川が下を流れる楽園に入れて、永遠の楽園における快適な邸宅に住まわすのです。それは偉大な勝利です。13.またあなた方が好む、他(の恩恵)も与えます。アッラーのお助けと、近々の大躍進です。だからこの吉報を信者たちに伝えなさい。

14.信仰する人たちよ、あなた方はアッラーの支援者になりなさい。マルヤムの子イーサーが、その弟子たちに次のように尋ねました。誰がアッラーのために、わたしを支援するのですか。弟子たちは、わたしたちがアッラーの支援者ですと言いました。その際イスラーイールの子孫たちの一団は信仰し、ある一団は背を向けました。それでわれらは、信仰した人たちを助けて、かれらの敵に対抗させました。こうしてかれらが、表に出る(勝利する)こととなったのです。

62. 合同礼拝章

al-Jum‘a

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーを賛美します。王者であり、清浄者、偉力大で英明な方です。2.かれこそが、書のない者(多神教徒のアラブ人)の間に、かれらの中から使徒を遣わし、印を読み聞かせて、かれらを啓蒙し、啓典と英知を教えた方です。明らかに以前は、かれらは邪道にありました。3.そしてこれから、かれらの後を追う者たちに対しても(同様です)。かれは偉力大で英明であられます。4.これがアッラ

ーの恩寵で、かれの御心に適う人に、これを与えます。アッラーは偉大な恩寵の主なのです。

5.律法を背負わされて、その後それを果たさない人を例えれば、書物を運ぶロバのようなものです。アッラーの啓示に背く民の、この例えの何と劣悪なことでしょう。アッラーは不正の人びとを導きにはなりません。6.言ってやるがいい。ユダヤ教を信奉する人よ、あなた方だけがアッラーに親しいと言いはり、それが真実であるとするなら（楽園に入れるので）死を請いなさい。7.だがかれらは、その手で今まで犯したことのため、決して死を請わないでしょう。アッラーは不正を行なう人たちを、真に熟知します。8.言ってやるがいい。あなた方が逃れようとする死は、必ずあなた方を見舞うのです。それから、目に見えない世界と目に見える世界を知っている方に送り帰され、あなた方がしてきたことすべてを、かれが知らせるのです。

9.信仰する人たちよ、合同礼拝の日の、礼拝の呼びかけが唱えられたならば、アッラーを念じることに急ぎ、商売から離れなさい。もしあなた方が分かっているならば、それがあなた方のために最も善いのです。10.礼拝が終わったならば、あなた方は方々に散り、アッラーの恩寵を求め、アッラーを多く唱念しなさい。そうすればあなた方は栄えるでしょう。11.しかしかれらは商いや遊び事を見かけると、あなたを（説教台に）立ったままにして、そちらに飛び散ります。言ってやるがいい。アッラーのご褒美は、遊戯や取引よりも善いのだ、そしてアッラーは最善の糧の供給者だと。

63. 偽信者たち章

al-Munafiqun

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.偽信者たちがあなた（ムハンマド）のところにやって来ると、わたしたちは、あなたがアッラーの使徒であることを証言すると（口先で）言います。アッラーは、あなたが確かにかれの使徒であることを知っています。またアッラーは、偽信者たちが真に嘘言の徒であることを証言します。2.かれらはその（アッラーへの）誓いを隠れ蓑として、アッラーの道から（人びとを）妨げているのです。間違いなくかれらが行なうことは極悪です。3.それは、かれらが一度信仰して、それから不信心になったためで、かれらの心は封じられ、そのため何も分からなくなりました。

4.あなたがかれらを見ると、かれらの（立派な）体つきに驚くでしょう。かれらが語れば、あなたはそれに耳を傾けるでしょう。だがかれらは、壁に寄りかかった材木のようなものです。かれらはどの叫び声であっても、（呵責の念から）自分たちが責められていると思うのです。しかし、かれらこそが敵なので用心しなさい。アッラーよ、かれらを滅亡させてください。何と、かれらは（道から）はずれたことでしょう。5.かれらに、こちらへ来なさい、アッラーの使徒があなた方のためにお赦しを祈るであろうと言うと、あなた（ムハンマド）はかれらが頭を傾け、傲慢に背を向けて去るのを見るでしょう。6.あなたがかれらのためにお赦しを祈っても、また祈らなくても、かれらにとって同じです。アッラーは、決してかれらをお赦しになりません。真にアッラーは、掟に背く人たちを導かないのです。

7.かれら（偽信者）はアッラーの使徒と共にいる（移住者）に施しをするな、どうせかれらは、ばらばらになるからと言う人たちです。諸天と地の財宝はアッラーのものです。偽信者たちはそれを理解しません。8.かれら（偽信者）は、わたしたち（信者）が（部族との戦いから）マディーナ

の町に帰れば、そこの有力者（偽信者）は、無力な人（移住者）を必ず追い払うと言います。およそ偉力は、アッラーと使徒、そしてその信者たちにあります。だが偽信者たちは知らないのです。

9.信仰する人たちよ、あなた方の財産や子女に心を奪われて、アッラーを念じることを疎かにしてはいけません。そうする人は、損失をこうむる人です。10.死があなた方にやって来る前に、われらが与えたものから施しなさい。（偽信者は）主よ、なぜあなたは、しばらくの間の猶予を与えてくれないのですか、そうすればわたしは定めの施しをして、正しい人になるのにと言います。11.アッラーはどの魂にも、その定めのときがやって来たら猶予を与えないのです。アッラーは、あなた方が行なうことを知り尽くしております。

64. 互いに無視する章

al-Taghabun

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.諸天にあり地にあるすべてのものは、アッラーを賛美します。大権はかれのものであり、称賛もまたかれのものです。かれは万能です。2.かれこそは、あなた方を創ったお方です。ところがあなた方には非信者も、また信者もいます。アッラーは、あなた方が行なうことをすべて洞察します。3.真理のために諸天と地を創造し、あなた方を形作って、美しい姿にしました。またかれに、帰り所があるのです。4.かれは諸天と地におけるすべてのものを知り、あなた方の隠すものも、現すものも知っています。とにかく、アッラーは、胸の中のことも知っています。

5.以前に信仰を否定した人たちの知らせが、あなた方に達しなかったのでしょうか。かれらは悪行の結果を味わい、また厳しい苦痛を受けました。6.というのは使徒たちがさまざまな明証をもってかれらのもと

に来たのに、人間がわたしたちを導くのでしょうかと言ったためです。それでかれらは信じず、背き去りました。アッラーは、かれらを必要としません。アッラーは豊かで、称賛されるべき方です。

7.不信心な人たちは、復活はありえないと主張します。言ってやるがいい。いいえ、主に誓って言うが、あなた方は必ず復活させられるのです。それからあなた方が行なったことを、必ず知らされるのです。それはアッラーにとっては容易なことです。8.だからアッラーとかれの使徒（ムハンマド）、そしてわれらが下した光明を信じなさい。確かにアッラーはあなた方が行なったことを知り尽くします。9.かれがあなた方を召集する集合の日は、互いに無視する日です。誰でも、アッラーを信じて、善行に励んだ人からは、様々な罪を消去して、かれを川が下を流れる楽園に入れ、永遠にその中に住まわせるのです。これは大いなる勝利です。10.だが信仰を拒否して、われらの印を嘘であるとした人は（地獄の）火の住人で、その中に永遠に住むのです。何と悪い行き先でしょう。

11.どんな災厄も、アッラーのお許しなく起きることはありません。誰でもアッラーを信仰する人は、その心を導かれるのです。実にアッラーは、すべてのことに熟知しています。12.それでアッラーに従いなさい。また使徒に従いなさい。たとえあなた方が背き去っても、われらの使徒の務めは、ただ（教えを）明瞭に伝達することです。13.アッラー、かれの他に神はないのです。だから信者には、アッラーに全幅の信頼を寄せさせなさい。

14.信仰する人たちよ、あなた方の妻や子供の中にも、あなた方に対する敵がいます。だからかれらに用心しなさい。もしあなた方がかれらを免じ、大目に見て許すならば（それもよい）。アッラーは、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。15.あなた方の財産や子女は、一つの試練にすぎません。アッラー、かれの御元に偉大な報奨があるのです。16.だから力を尽くしてアッラーを意識して、聞き、そして従い、また施し

なさい。（それは）あなた方自身のために善いでしょう。また自分の貪欲さをまぬがれる人は、勝利者なのです。17.あなた方がもしアッラーに善い貸し付けをするならば、かれはあなた方のためにそれを何倍にも増加し、あなた方をお赦し下さるでしょう。アッラーは善行に喜ばれ、それに報いるお方であり、寛大なお方なのです。18.また（アッラーは）目に見える世界と目に見えない世界をも知っており、偉力大で英明なのです。

65. 離婚章

al-Talaq

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.預言者よ、あなた方が妻を離婚する際は、定められた期間に離婚することとし、その期間を計算しなさい。あなた方の主アッラーを意識しなさい。かの女たちに明らかにみだらな行為がない限り、（離婚後、再婚が可能となるまでの期間満了以前に）家から追い出してはいけません。また（かの女たちを自分で）出て行かせてはいけません。これらはアッラーの掟です。アッラーの掟に背く人は、確かに自分自身を損なう人です。あなたは知らないが、アッラーはこの後で、新しい事態を引き起こす（妻とのよりを戻す）かも知れないのです。2.その（離婚後、再婚が可能となるまでの）期間が満了したときは、良識をもって留めるか、または良識をもって別れなさい。そしてあなた方の中から公正な二人の証人を立て、アッラーに対して証言させなさい。これは、アッラーと最後の日を信じる人への諭しです。またアッラーを意識する人には、かれは（解決の）出口を与えるのです。3.かれが思いつかないところから、恵みが与えられます。アッラーに信頼を寄せる人には、かれは万全です。そしてアッラーは、必ずその意向を実現します。アッラーはすべてのことに、ある（妥当な）分量を定めるのです。

4.あなた方の妻の中、月経の望みのない人について、もし疑いを抱くならば（離婚後、再婚が可能となるまでの）定めの期間は3ヵ月です。（まだ）月経のない人についても（同様です）。妊娠している人の場合、その期間はかの女が荷をおろすまでとなります。アッラーを意識する人には、かれは物事を容易にされます。5.これはアッラーが、あなた方に下された命令です。アッラーを意識する人には、かれはかれの罪悪を消し、かれに対する報奨を増大します。

6.かの女たち（離婚した女性たち）を、あなた方の暮らしている所であなた方の力に応じて住まわせなさい。かの女たちを圧迫して、困らせてはいけません。もし妊娠しているならば、出産するまでかの女たちのために支出しなさい。もしかの女たちが授乳する場合は、その経費を与え、あなた方の間で良識をもって相談しなさい。あなた方の話がまとまらなければ、かれのために他の女に授乳させなさい。7.豊かな人には、その豊かさに応じて支払わせなさい。また資力の限られた人には、アッラーがかれに与えたものの中から支払わせなさい。アッラーは、誰にもかれが与えた以上のものを課しません。真にアッラーは、困難の後に容易さを授けます。

8.どんなに多くの町が、主とかれの使徒たちの命令に背いたことでしょう。それでわれらは厳しく清算し、惨い苦痛を与えました。9.こうして（かれらは）その行ないの悪い結果を味わい、最後には滅亡したのです。10.アッラーはかれらのために、激しい苦痛を用意しました。だから信仰し、心ある人びとよ、アッラーを意識しなさい。アッラーは、確かにあなた方に啓典（クルアーン）を下し、11.使徒を（遣わしました）。かれがアッラーの印をあなた方に読誦し、明瞭に解明するのは、信仰して正しい行ないをする人を、暗黒の深みから光明の中に導き出すためです。およそアッラーを信仰して正しい行ないに励む人は、かれがかれを川が下

を流れる楽園に入れ、永遠にその中に住むのです。実にアッラーは、かれらのためによい糧を下さるのです。

12.アッラーこそは、七層の諸天と同様（の数）の大地を創造した方です。その命令はそれらの間から下って来ます。それは、真にアッラーはすべてのことに全能で、またアッラーはすべてをご承知だということを、あなた方に周知させるためなのです。

66. 禁止章

al-Tahrim

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.預言者よ、アッラーがあなたのために合法としていることを、どうしてあなたの妻たちの機嫌をとるために、自分自身に禁止するのですか。アッラーはよく赦すお方であり、慈悲深いお方です。2.（人びとよ）アッラーは、あなた方に（そのような正しくない）誓いを解消するよう、義務付けました。アッラーはあなた方の擁護者であり、全知にして英明です。

3.預言者が妻の一人（ハフサ）にある秘密を打ち明けました。ところがかの女はそれを（アーイシャに）漏らしたので、アッラーはそのことをかれ（預言者）に知らせました。かれはその一部分を（ハフサに）知らせましたが、それ以外の部分は避けました。それでかれが、かの女（ハフサ）に（どうして漏らしたのかと）詰問すると、かの女（ハフサ）は、誰があなたにそれを知らせたのですかと尋ねました。かれは言いました。何もかもご存知の方（アッラー）が、わたしに告げましたと。4.もし（これら二人の妻が）アッラーに改心するならば（よかったのに）、あなた方二人の心は誤道にありました。（しかし）もし共同してかれ（預言者）に対抗するならば、アッラーはかれの擁護者で、またジブリールや正しい信者たち、さらに天使たちも全員支持者なのです。5.もしかれがあなた方を離婚す

るならば、かれはあなた方よりも、よい妻たちを代わりにかれに授けるでしょう。(その妻たちは)アッラーに服従し、信仰心篤く、献身的で、悔い改め、崇拝行為を捧げ、斎戒(断食)をして、(また)再婚者か処女でしょう。

6.信仰する人たちよ、人間と石を燃料とする(地獄の)火からあなた方自身とその家族を守りなさい。そこには荒々しくて激しい天使たちがいて、かれらはアッラーが命じられたことに背かず、命じられたように実行します。7.非信者たちよ、今日は弁解してはならない。あなた方は、自らが行なってきたことについて応報を受けるだけなのです。

8.信仰する人たちよ、心から改心してアッラーに帰りなさい。主は、あなた方のさまざまな悪を払い、川が下を流れる楽園に入らせるかもしれない。その日アッラーは、預言者やかれと共に信じる人たちを、辱しめることはしない。かれらの光は、両手の間(前方)とその右側に閃くでしょう。かれらは(祈って)言います。主よ、わたしたちのために、光を完全にして、わたしたちをお赦しください。あなたはすべてのことに全能であられます。

9.預言者よ、非信者と偽信者に対し、奮闘尽力しなさい。またかれらに対し手ごわくあるように。かれらの住まいは地獄です。何と悪い行き先でしょうか。10.アッラーは不信心な人たちのために、実例を示しました。ヌーフの妻とルートの妻で、両人は二人の正しいわれらの僕の下にいました。かの女たちは、かれら(夫)を欺いたので、かれらはアッラーの御元からはかの女ら二人のためには何(の支援)も得られず、どうすることもできませんでした。そして両名は、(他に)入る人と一緒に(地獄の)火に入れ、と命じられました。

11.またアッラーは、信仰する人たちのために実例を示しました。フィルアウンの妻はこう言いました。主よ、楽園の中のあなたのお側に、わたしのために家を建ててください。そしてフィルアウンとその行ないからわ

たしを救い、不正の人びとからわたしをお救いください。12.またイムラーンの娘マルヤムは自分の貞節を守りました。われらは（かの女の体内に）、われらの魂を吹き込みました。かの女は、主のお言葉とその啓典を真実として受け入れた、献身的な女性でした。

67. 大権章

al-Mulk

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆29部◆大権を保持されるお方に、称賛あれ。かれはすべてのことに万能です。2.死と生を創られたお方ですが、それはあなた方の、誰が優れた行ないをする人なのかを試みるためです。かれは偉力大で、よく赦されるお方です。3.重なる七つの諸天を創られたお方。慈悲あまねく方の創造には、少しの不均衡もないことを見るでしょう。そして再び目を向けなさい。あなたは何か欠陥を見るでしょうか。4.さらに二度、視線を当てるといいでしょう。見る目は、ただ弱々しく疲れて戻って来るだけなのです。

5.われらは灯明で最下層の天を飾り、悪魔たちに対する石つぶてとし、またかれらのために猛火の苦痛を準備しました。6.かれらの主を信じない人には、地獄の苦痛があります。何と悪い行き先でしょう。7.かれらがその中に投げ込まれるとき、それ（地獄）が沸騰して、うめき声（のような音）を聞くでしょう。8.激しい怒りのようです。一団がその中に投げ込まれるたびに、そこの監視者はかれらに、あなた方に警告者はやって来なかったのですかと尋ねます。9.かれらは言います。そうです、確かに一人の警告者が、わたしたちのところにやって来ました。だがわたしたちは嘘つきとして、アッラーは何（の啓示）も下されない、あなた方（警告者）は大変な過ちをしていると言ったのです。10.かれらは言います。わた

したちがよく聞き、頭を働かせていたならば、猛火の住人にはならなかったでしょう。11.こうしてかれらは自分の罪を認めます。猛火の住人は、（アッラーの容赦から）立ち去ってしまえ。

12.まさに目に見えない主を畏れる人には、容赦と偉大な報奨があるでしょう。13.あなた方が言葉を隠しても、またそれを表わしても、かれは胸の中を知っておられます。14.かれが創造したのだから、どうして知らないことがあるでしょうか。かれは、繊細にして知り尽くします。

15.かれこそは、大地をあなた方に平伏させた方です。だからどこであれ往来し、かれの与えた糧を食べなさい。そして（復活のときには）かれに召されるのです。16.天のお方が、大地が揺り動かして、あなた方をそれに呑み込ませないだろうと安心しているのですか。17.またあなた方は天のお方が、強風で石の雨をあなた方に叩きつけることはないと安心しているのですか。やがてあなた方は、警告を知るでしょう。18.確かにあなた方以前の人たちも、（警告を）嘘つき呼ばわりしました。それで（アッラーの）怒りはいかばかりだったでしょうか。

19.かれらは上空の鳥を見ないのでしょうか。翼を広げ、またそれを畳みます。慈悲あまねく方の他、誰がそれらを（空中に）維持できましょうか。真にかれは、すべてのことを鳥瞰します。20.慈悲あまねく方を差し置いて、あなた方を助ける兵力となるのは、誰でしょうか。非信者は、妄想しているだけです。21.もしかれがお恵みを止れば、あなた方に恵むのは誰でしょうか。いや、かれらは高慢さと（真実を）避けることに固執しているのです。

22.一体全体、顔を伏せて歩く人と、まっすぐな道の上を正面向いて歩く人と、どちらがよく導かれるのでしょうか。23.言ってやるがいい。かれこそがあなた方を創り、あなた方のために聴覚、視覚、そして心を賦与した方です。何とあなた方はわずかしか感謝しないのでしょう。24.言って

やるがいい。かれこそはあなた方を地上に行き渡らせた方であり、あなた方はかれの御元に集められるのです。

25.かれら(非信者)はもしあなた方の言葉が真実なら、この約束はいつ(果たされる)であろうかと言います。26.言ってやるがいい。それを知るのは、アッラーだけです。わたしは明白な警告者にすぎないのです。27.間近にそれ(最後の日)を見るとき、非信者たちの顔は曇ります。そしてこれがあなた方の(来ないと)主張していたものだと告げられます。28.言ってやるがいい。もしアッラーが、わたしやわたしと一緒の人を滅ぼしたとしても、また慈悲を与えたとしても、非信者を厳しい苦痛から救うのは誰か、あなた方は考えてみないのか。29.言ってやるがいい。かれは慈悲あまねく方であり、わたしたちはかれを信じ、かれに頼り切るのです。やがてあなた方は、明らかな過誤の中にいるのは誰かを知るでしょう。30.言ってやるがいい。あなた方は考えないのか。もしある朝、あなた方の水が地下に沈んでいたなら、湧き出る水をあなた方にもたらすのは、一体誰なのでしょうか。

68. 筆章

al-Qalam

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ヌーン。

筆にかけて、またかれらが書いたものにかけて誓います。2.主の恩寵のお陰で、あなた(ムハンマド)は気狂い(ジンがついた人)ではありません。3.いや、あなたには尽きない報奨があるでしょう。4.そしてあなたは、立派な徳性を備えています。5.やがてあなたは見るでしょう、かれらもまた見るでしょう、6.あなた方の中、気が触れた者は誰かということを。

7.真にあなたの主は、道から迷い去った者を最もよく知っており、また導かれている人を最もよく知っています。

8.だからあなたは（真実を）嘘呼ばわりする人に、服従してはいけません。9.かれらはあなたの妥協を望み、そうなればかれらも妥協したいのです。10.あなたは、いつも軽蔑すべき誓いを立てる人にも従ってはいけません。11.中傷し、悪口を言い歩く者、12.善事を妨げ、掟に背く罪深い者、13.粗野な人、そして素性の卑しい者（に従わないように）。14.財産と子息たちがあるので、15.かれにわれらの印が読誦されると、それは昔の作り話だと言います。16.やがてわれらは、その鼻に烙印を押すでしょう。

17.かれらと同じく、われらはある（果樹）園の持ち主を試みました。かれらが早朝に収穫することを誓ったとき、18.（アッラーが御望みならば、という）例外を付けませんでした。19.それでかれらが眠っている間に、あなたの主からの巡り合わせ（天罰）がそれ（果樹園）を襲ったのです。20.そこで朝には、それは摘み取られた後で、黒い焦土のようになりました。21.（一方）早朝かれらは互いに叫びました、22.もし収穫するのなら畑に急ごうと。23.そこでかれらは小さい声で囁き合って、出かけました。24.今日は一人の貧乏人も、あそこ（果樹園）に入らせてはならないぞと、25.かれらは強く心に決めて、朝早く出発しました。26.だがかれらが畑を見たとき、言いました。わたしたちは、道を誤っていた、27.本当にわたしたちは（収穫物を）奪われたのだと。28.かれらの中、一番中庸（賢明）な人が言いました。あなた方は（主を）賛美するようにと、わたしが言ったでしょう。29.かれらは、わたしたちの主を賛美します、確かにわたしたちは不正な人でした、と言いました。30.そこでかれらは、互いに責め合いながら、向き合いました。31.かれらは言いました。ああ嘆かわしい、わたしたちは本当に横暴なことをしました。32.主はこれの代わりに、もっと良いもの（果樹園）を与えられるかもしれない。わたしたちは、

望みを持って主に向かいます。33.こういったことが（現世の）苦痛です。だが来世の苦痛はさらに大きなものでしょう。それがかれらに分かっていればいいのだが。

34.確かにアッラーを意識する人には、主のところに安楽の楽園があるでしょう。35.われらは信じて従う者たちを、罪人と同じに扱うでしょうか。36.あなた方はどうしたのですか、どう判断するのですか。37.それともあなた方には、学びの啓典があって、38.そこではあなた方が選択するものは、何でも与えられるとなっているのですか。39.それともあなた方には、あなた方が判定するものは何でも与えられるという、審判の日まで有効なわれらの誓約があるのですか。40.（ムハンマドよ）かれらの誰がそれを保証できるのかと、かれらに問いなさい。41.それともかれらには、（主と同列に）配するものがあるのでしょうか。かれらが正しいのなら、その配するものを連れて来させなさい。

42.脛があらわにされる（事態逼迫の）日、かれらは（服従して）ひれ伏すように求められますが、かれらには（現世の日々は過ぎたので）出来ないでしょう。43.かれらは目を伏せ、屈辱を被るでしょう。問題のなかった（現世の）ときにひれ伏すよう、確かにかれらは呼びかけられていました（しかし否定しました）。44.そこでわたしと、この啓示を虚偽であるとする人を、放っておきなさい。われらはかれらが気づかないところから、一歩一歩（苦痛に）導くので、45.（しばらくは）かれらを猶予するでしょう。実にわたしの計画はしっかりしているのです。

46.それともあなたがかれらに報酬を求め、かれらは重い負債を背負うことになったのでしょうか。47.また（あり得ないことだが）、かれらには目に見えない世界（の知識）があり、それでかれらは（自分の言うことを書板に）書いているのでしょうか。48.忍耐して、あなたの主の裁きを待ちなさい。苦悩のあまり叫び声を挙げた、大魚の友（ユーヌス）のようであってはいけません。49.主からの恩恵がかれに達しなかったならば、

かれは不毛の地に捨てられて、罪を負わされたでしょう。50.だが主はかれを選び、正しい人たちの仲間とされました。51.非信者はクルアーンを聞くとき、その（物凄い）眼差しで、あなたを倒れんばかりにします。そしてかれらは、かれは気狂いだと言います。52.だが、この（クルアーン）は、すべての世界への諭しに他ならないのです。

69. 不可避な時章

al-Haqqa

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.不可避なとき、2.不可避なときとは何でしょう。3.不可避なときが何であるかを、あなたに教えるものは何でしょうか。4.サムードとアード（の民）は、大打撃（最後の日）は虚偽であるとしました。5.それでサムードは、大規模な災厄によって滅ぼされました。6.またアードは、強風によって滅ぼされました。7.アッラーはその強風を、かれらに対し連続７夜８日にわたり吹き付けられ、そのため空洞になったナツメヤシの木の幹のように、その民がそこに倒れているのを、あなたは見ることができたでしょう。8.あなたは今、かれらの残っているものを見つけられるでしょうか。9.またフィルアウンやかれ以前の者、そして転覆された諸都市（の民）も、罪を犯していました。10.かれらは主の使徒に背いたので、かれはますます（強く）捕獲しました。11.大洪水が襲ったとき、われらが方舟であなた方を運んだのは、12.それをあなた方への教訓とし、鋭い耳がそれを聞き留めるためです。

　13.そこでラッパが一度吹かれたとき、14.大地や山々は持ち上げられ、一撃で粉々に砕かれ、15.その日、その出来事が起こるのです。16.またその日、大空は裂けるため、天は脆弱です。17.またその日、天使たちは（天の）端々におり、八人（の天使）がかれらの上に、あなたの主の玉座

を担います。18.そしてその日あなた方全員が（審判のため）外にさらされ、何一つとして隠せるものはないのです。

19.それで右手に帳簿を渡される人（信者）は言います。ここであなた方（天使）はわたしの帳簿を読んでください。20.わたしの清算があることは、分かっていました。21.こうしてかれは快適な生活に浸り、22.高い果樹園の中では、23.たわわになった果実が手近にあります。24.あなた方は、過ぎ去った日（現世）にしたこと（善行）のために、喜んで食べたり飲んだりするように（と言われます）。25.だが左手に帳簿を渡される人は言います。ああ、わたしの帳簿が渡されなければ、26.自分の清算を知らずにすんだのに。27.ああ、それ（死）で最後だったなら（よかったのに）。28.財産は、わたしに役立たなかったし、29.権勢はわたしから消滅してしまった。30.（そこでアッラーの命令が下ります）かれを捕まえて、縛れ。31.それから地獄の火で、かれを焼け。32.また70腕尺の長さの鎖で、かれを巻け。33.かれは、偉大なアッラーを信じず、34.また貧しい人を養うことにも熱心ではありませんでした。35.それでこの日かれは、そこに親友はなく、36.また、汚物の他に食べ物はありません。37.それを食べるのは、罪人だけなのです。

38.わたしは、あなた方が見るものにおいて誓い、39.またあなた方に見えないものにおいて誓います。40.実にこれ（クルアーン）は、高貴な使徒の（伝える）言葉で、41.詩人の言葉ではありません。だがあなた方は、少ししか信じていません。42.また、占い師の言葉でもないのです。しかしあなた方は、少ししか気に留めていないのです。43.（これは）すべての世界の主から下された啓示です。44.もしかれ（使徒）が、われらに反して何かの言葉を捏造するなら、45.われらは必ずかれの右手を捕まえ、46.かれの頚動脈を必ず切るでしょう。47.あなた方の中、誰一人、かれを守れないのです。48.間違いなくこれは、主を意識する人への諭しです。49.わたしはあなた方の中に、これを嘘呼ばわりする人がいることを

知っています。50.真にこれ（クルアーン）は、非信者にとっては悲嘆でしょう。51.だがそれは、誠に確かな真実です。52.（ムハンマドよ）だから絶大な、あなたの主の御名において賛美しなさい。

70. 階段章

al-Maʻarij

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.ある人が、来るべき苦痛について尋ねました。2.非信者は、それを防ぐことはできません。3.階段の主、アッラーからのものなのです。4.天使たちや（清）魂（天使ジブリール）は、１日にしてかれの元に登ります。その（１日の）長さは、５万年です。5.だからあなたは、立派に耐え忍びなさい。6.かれらは、それ（苦痛の日）を遠いと言うが、7.われらは、それが近いと言うのです。8.（最後の日）天が溶けた銅のようになり、9.山々は、ふわふわした羊毛のようになり、10.誰も親友を尋ねる（暇のある）人はいません。11.かれらは互いに見合わせるほど近いのに。罪人はその日、自分の罪を償うために、自分の子孫から犠牲を出してもいいと思うでしょう。12.その妻や兄弟、13.かれをかくまった近親者、14.そして自分が助かるなら、地上の誰であれ（お供えとして差し出すでしょう）。

15.いいえ、それは断じていけません。実にかの（地獄の）炎は、16.頭の皮を剥ぎ取ります。17.（真実に）背を向けて去っていった者を、呼び返します。18.また蓄積し、隠して財産を持つ者も。19.人間は、気ぜわしく創られているのです。20.悪いことに出会うと嘆き、21.良いことに出会えば、けちけちします。22.だが礼拝する人はそうではなく、23.いつも礼拝をしている人、24.また自分の財産に施しに回す分があり、25.物乞いや窮乏する人のために（施す者）、26.審判の日を真実とする人、27.また主の苦痛を恐れる人も。28.確かに主の苦痛から（逃れて）、安全な人は

いないのです。29.また自分の陰部（貞操）を守る人、30.その妻や右手の所有する人（女の奴隷）だけ（を求める人）の場合は別で、かれらは罪に問われません。31.しかしこれ以外に求める人は、境界を越えた者です。32.信託されたことや約束を守る人、33.証言に当たり正直な人、34.また礼拝を厳守する人。35.これらの者は楽園の中で、栄誉を授かります。

36.非信者たちが、今あなたの方に急いでいるのは何事でしょうか。37.右からまた左から、群になっています。38.かれらは皆、安楽の楽園に入れられる野望を持っているのでしょうか。39.いや、決して出来ないことです。われらは、かれらが知っているもの（精液）から、かれらを創ったのです。

40.いや、わたしは東と西の主にかけて誓います。われらにとっては可能なのは、41.かれらよりも優れた（他の）者をもって、かれらに替えることです。われらは、先を越されることはないのです。42.だからあなた（ムハンマド）は、かれらを（虚栄に）浸らせ、戯れに任せるのでよいのです。かれらが約束されている、その日が来るまで。43.かれらが墓から慌ただしく出て来る日。それはまるで（現世で）かれらが旗印へと大勢で急いでいるようです。44.かれらは目を伏せ、恥辱を被るでしょう。これがかれらに約束されている、あの日なのです。

71. ヌーフ章

Nuh

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.われらはヌーフをその民に遣わし、厳しい苦痛があなたの民に下る前に、あなたはかれらに警告しなさい（と命じた）。2.かれは言いました。わたしの人びとよ、わたしはあなた方への明瞭な警告者です。3.あなた方はアッラーに仕え、かれを意識し、わたしに従いなさい。4.かれは

あなた方の罪を赦し、定められた期限まで、あなた方（の処分）を猶予されます。しかしアッラーの定められる期限が来たら、もう猶予されません。それをあなた方が分かっているならいいのだが。5.かれ（ヌーフ）は言いました。主よ、わたしは昼夜を問わず、人びとに呼びかけました。6.だが呼びかけをすればするほど、（正道からの）逃避を増すばかりです。7.あなたがかれらを御赦しになるようにと、わたしがかれらに呼び掛けると、かれらは指を耳に入れて、自分の衣で（頭を）被ってかたくなで高慢になります。8.それでわたしは、声高にかれらに呼びかけました。9.ときには公然と、またときには密かにかれらに、10.わたしは言いました。あなた方の主の御赦しを願いなさい。真にかれは、よく御赦しになります。11.かれは、あなた方の上に豊かに雨を降らせ、12.あなた方の財産や子女を増やし、またあなた方のために、幾多の果樹園や河川を設けられます。13.あなた方はどうしたのか、アッラーの荘厳さを畏れないとは。14.かれは実際順序よく段階を追って、あなた方を創られました。15.あなた方は、どうやってアッラーが七天を一層また一層と、創られたかを考えてみなかったのですか。16.また月をその中の明りとされ、太陽を灯明とされたかを。17.アッラーはあなた方を植物のように土から育てられ、18.それからそこ（大地）に戻され、そしてまた起き上がらせるのです。19.アッラーがあなた方のために大地を展開されたので、20.あなた方が広い大道を辿れるのです。

21.ヌーフは言いました。主よ、かれらはわたしに背きました。自分の財産と子女とで、破滅を助長する人にだけ従いました。22.そして大変邪悪な企みをしました。23.かれらは言います。あなた方は自分たちの神々を捨てるな。ワッドもスワーウも、またヤグースもヤウークもナスルも、捨ててはならない。24.かれらは既に多くの者を迷わせました。（主よ）不正な人たちには、破滅（ダラール）の他には与えないでください。25.かれ

らはさまざまな罪のために溺れさせられ、また地獄の火に送られ、アッラーの他にはどんな支援者も得られませんでした。

26.ヌーフは（祈って）言いました。主よ、不信心な人を誰一人として地上の住人として残さないでください。27.もしあなたがかれらを残されれば、かれらは必ずあなたに仕える人を迷わせ、また罪人や不信心な人以外には生まないでしょう。28.主よ、わたしとわたしの両親をお赦しください。また信者としてわたしの家に入る人、また信仰する男女をお赦しください。そして不正な人たちには、滅亡の他には与えないでください。

72. ジン章

al-Jinn

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（ムハンマドよ、人びとに）言いなさい。一団のジンが（クルアーンを）聞いて、（以下のように）言ったとわたしに啓示されました。わたしたち（ジン）は、確かに驚くべき読誦を聞きましたと。2.正しい道への導きです。だからわたしたちは信仰し、主に類する何ものも配しません。3.わたしたちの主の栄光は高くあり、かれは妻を娶らず、子も持たれません。4.わたしたちの中の愚かな人が、アッラーに対し途方もない嘘をいろいろ話していました。5.しかしわたしたち（ジン）は、人間もジンも、アッラーについて嘘をつくとは考えていませんでした。6.確かにジンに擁護を求めた人たちもいました。しかしそれでジンたちは、ますます（自信過剰で）ひどくなったのでした。7.かれらもあなた方（人間）が考えたように、アッラーは、何者も復活されないと考えていました。8.わたしたち（ジン）は、天に触れようとしたが、これは強力な護衛（天使）と流星で一杯になっているのを見ました。9.わたしたちは（次に起こるのは何かと）聞き耳を

立てて、そこに坐っていました。だが今聞く者は、見張りのための流星が待ち構えているのを見るだけです。10.（だから）わたしたちは、主が地上の者に対して悪を望まれているのか、または、かれらを正しい道に導くことを望まれているのか、分からないのです。11.わたしたちの中には正しい者もいるが、それほどでない者もいて、さまざまな道に従っています。12.だがわたしたちは、地上においてアッラーを無力にさせることは出来ないし、また無力にしておいて逃避することも出来ないと思っています。13.わたしたち（ジン）は導きを聞いて、直ちにそれを信仰しました。そして主を信じる人は、（報奨で）損をして、酷い目にあう恐れはないのです。14.わたしたち（ジン）の中には、（アッラーに）従う者もあれば、また正道からはずれる人もいます。従った者は、正道を追い求めるが、15.正道からはずれる人は、地獄の薪となるでしょう。

16.もしかれら（マッカの非信者）が正道につくならば、われらは必ず豊かな飲み水をかれらに与えます。17.われらはそれによってかれらを試みるのです。だが主の啓示から逸れる人は、らせん状の（いや増す）苦痛の道を歩むことになります。18.礼拝所は、アッラーのため（だけ）です。そこでアッラーと一緒にして、他の者に祈ってはいけません。19.アッラーの僕（ムハンマド）が、かれに祈るために立ったとき、かれら（ジン）はどっともつれるようになって（よく読誦を聞くために）押し寄せました。20.言ってやるがいい。わたし（ムハンマド）は、わたしの主に祈り、何ものもかれと同位に配しません。21.言ってやるがいい。わたしには、あなた方を害する力も、正しく導く力もないのです。22.言ってやるがいい。誰もアッラーからわたしを守ることは出来ないし、またかれの他に、避難所を見出すことも出来ない。23.（わたしムハンマドは）アッラーからの御告げを伝えるにすぎない。それでアッラーとかれの使徒に従わない者には、地獄の火があり、永遠にその中に住むでしょう。

24.かれらは、約束されたことを見るときになって、誰が最も頼りない

助力か、また誰が最も少数かを知るでしょう。25.言ってやるがいい。わたしは、あなた方に約束されたことが近いのか、それともわたしの主が先々にそのための時期を設定されたのかを知らない。26.目に見えない世界を知っている方（アッラー）、かれはその秘密を明かされない。27.ただかれが気に入った使徒は別です。それで、かれは、前からも後ろからも護衛して、（使徒を）赴かせられました。28.それはかれらが、主の御告げを伝えたかどうかをかれが知るためです。またかれらのすべてを知って、それぞれ計算に数え上げるためです。

73. 衣をまとう者章

al-Muzzammil

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.頭から衣をおおう者（ムハンマド）よ、2.夜間中、（礼拝のために）起きていなさい、少しを除いて、3.夜間の半分、またそれよりも少なく、4.あるいは、少し多くして。そしてゆっくり明瞭に、クルアーンを読みなさい。5.やがてわたしは、重大な言葉をあなたに下すでしょう。

6.確かに夜間（の礼拝）は印象が強く、言葉を直截にします。7.実際あなたは、昼間は長時間多忙です。8.そこで（夜は）あなたの主の御名を唱え、かれに尽くすことに没頭しなさい。9.東と西の主で、かれの他に神はないのです。それでかれを、保護者としなさい。10.かれら（マッカの多神教徒）の言うことを耐え忍び、かれらをうまく避けなさい。11.そしてわたしに、現世の富を得て嘘呼ばわりする人たちを任せて、しばらくの間かれらに猶与を与えなさい。12.わたしの手元には鎖や地獄の火もあり、13.喉につかえる食物や厳しい苦痛があります。14.その日、大地や山々は震動します。そして山々は崩れて、砂の堆積になるでしょう。

15.わたしは、あなた方の証人とするために、使徒をあなた方に遣わ

しました。以前フィルアウンに使徒を送ったように。16.だがフィルアウンはかれの使徒に従わなかったので、わたしはかれを強烈に捕らえ（罰し）ました。17.もしあなた方が依然として（アッラーを）否定するなら、子供までが（恐怖のあまり）白髪になる日、あなた方はいかにして自分を守れるのでしょうか。18.その日、天は裂け散るでしょう。かれの約束は、必ずまっとうされるのです。19.これは諭しです。そこで、望む人には主への道を取らせなさい。

20.主は、あなたが夜間の３分の２近く、または２分の１、または３分の１を、（礼拝に）立つことを知っています。またあなたと一諸にいる人たちも同様です。アッラーは、夜と昼を仕切られます。（しかし）かれはあなた方がそれを計れないことを知っており、（夜通し礼拝に立てなくても）あなた方を赦されます。だからあなた方は（夜の礼拝時は）、クルアーンのやさしいところを読みなさい。かれは、あなた方の中で病める人もいれば、またある人はアッラーの恩恵を求めて各地を旅し、ある人はアッラーの道のために戦っていることを知っています。だからそれのやさしいところを読みなさい。礼拝の務めを守り、定めの施しをなし、アッラーに良い貸し付けをしなさい。あなた方が、自分のために行なうどのような善いことも、アッラーの御元ではそれがもっと善くなり、もっと大きな報奨になっているのを見いだすでしょう。あなた方はアッラーの御赦しを請い求めなさい。真にアッラーは、よく赦すお方であり、慈悲深いお方なのです。

74. 包まる者章

al-Muddaththir

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（衣に）包まる者よ、2.立ち上がり、警告しなさい。3.あなたの主の偉大さを、賛えなさい。4.そしてあなたの衣（自身）を清浄にしなさい。5.不浄を避けなさい。6.圧倒されて弱気になるではない。7.あなたの主のために、耐え忍びなさい。

8.ラッパが吹かれるとき、9.その日は苦難の日。10.（その日は）非信者たちにとり、容易ではない。11.わたしが創った（あの）一人は、わたしに任せなさい。12.わたしは、かれに多くの財産を与え、13.その側近くに息子たちを授け、14.すべてかれにとって、順調になるようにしました。15.それでもかれは、わたしがもっと増やすよう望むのです。16.それは断じて許されません。かれは、わたしの印に対し頑迷でした。17.やがてわたしは、螺旋状の（いや増す）苦痛でかれを悩ますでしょう。

18.かれは思案し、企みました。19.殺されろ。ひどい企みだ。20.もう一度言うが、殺されろ。ひどい企みだ。21.そのとき、かれは（クルアーンに）目をやり、22.眉をひそめ、苦々しい顔をして、23.それから、背を向けて高慢にしたのです。24.かれは、これは昔からの魔術にすぎないと言いました。25.これは人間の言葉でしかないのだと。

26.やがてわたしは地獄の火で、かれを焼きましょう。27.地獄の火が何であるかを、あなたに教えるものは何なのか。28.それは何ものも残さず、また何ものも放置しないのです。29.人間を焼き尽くすのです。30.その上には19（名の天使がいます）。31.われらが地獄の火の監視者としたのは、天使たちだけでした。またその数を（19に）したのは、不信心の者への試みなのです。啓典を授けられた者たちを確信させ、また信じる人の信仰を深め、また啓典を授けられた者や信者たちが疑いを残

さないためです。（他方）心に病のある人や非信者たちには、アッラーはこの数の事例で何を望まれるのでしょうかと言わせるためです。このようにアッラーは、御自分の望みの者を迷わせ、また望みの者を導かれるのです。そしてかれの他、誰も主の軍勢のことを知りません。確かに、これは人間に対する諭しに他なりません。

32.そうです、月にかけて、33.退こうとする、夜にかけて、34.また輝こうとする、暁にかけて。35.それ（地獄の火）は大きな（印の）一つで、36.人間への警告です。37.あなた方の中、前に進むことを望む人、また後に残ることを願う者への（警告です）。38.人は皆、その行なったことについて、（アッラーへの）人質なのです。39.右側の仲間は別です。40.（かれらは）楽園の中にいて、互いに尋ねるでしょう。41.罪を犯した者たちについて、42.何があなた方を地獄の火に導いたのですかと。43.かれらは言います。わたしたちは礼拝を捧げていませんでした。44.わたしたちはまた、貧しい人たちに施しをしませんでした。45.わたしたちは（妄言の）連中と共に耽り、46.いつも審判の日を否定していました。47.遂に確実なものが、わたしたちにやって来ました。48.執り成す者の執り成しも、かれらに役立たつことはないでしょう。

49.一体、警告から背き去るとは、どうしたのでしょう。50.かれらは恐怖に陥ったロバで、51.ライオンから逃げているようでした。52.実はかれらは、それぞれに書巻が授けられ、開かれることを望んでいます。53.いや断じてそうではない。かれらは来世を恐れていないのです。54.いや、これ（クルアーン）は正に警告であり、諭しです。55.だから誰でも欲する人は、それに気づかせなさい。56.だがアッラーが望まれる人の他は、気づかないでしょう。かれこそは意識されて然るべきお方で、よく赦されるお方です。

75. 復活章

al-Qiyama

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.わたしは、復活の日にかけて誓います。2.また、自分を責める魂にかけて誓います。3.人は、われらがその骨を集めないと考えるのでしょうか。4.いや実は、われらはかれの指先まで整えることが出来るのです。5.だが人は、先々のことを否定したがるのです。6.かれは、復活の日はいつですかと尋ねるのです。7.目が眩み、8.月は欠け出し、9.太陽と月は合わせられます。10.その日、人はどこに逃げようかと言います。11.いや、いや、決して逃げられないのです。12.あなたの主の御元にしか、その日に戻るところはないのです。13.その日、人はすでに行なったことと、後にやり残したことについて知らされるでしょう。14.いや、人は自分自身に対し明白な証人なのです。15.たとえいろいろ弁解を並べても。

16.(アッラーからの啓示で)あなたの舌を動かすのに、急いではいけません。17.それを集め、それを読ませるのは、われらの仕事です。18.それでわれらがそれを読んだときは、その読誦に従いなさい。19.それを解き明かすのも、われらの仕事です。

20.いや、あなた方は移ろいやすい現世を愛して、21.来世を無視します。22.その日、ある人たちの顔は輝き、23.かれらの主を仰ぎ見ます。24.またその日、ある人たちの顔は暗く、25.背骨がどうかされてしまうこと(ひどい災厄)に、気づくのです。26.実際のところ、(魂が)鎖骨に届くとき、27.言うでしょう、誰か呪文(で解決)できないものかと。28.その人は、最後の離別(のとき)と悟るでしょう。29.(埋葬時のように)一つの脚は他方の脚に重ねられ、30.その日かれは、主の下に行かせられます。

31.(それでも)かれは真実を受け入れず、また礼拝もあげません。32.それどころか、真実を否定し、背き去り、33.自慢げに大手を振っ

て、家族のところに帰って行きました。34.あなた（多神教徒）に（復活の日は）近く、それからまた近くなる。35.そしてさらに、あなたに近くなり、さらに近くなるのだ。36.人は、放免されると思うのですか。37.（初めは）かれは放出された、一滴の精液ではなかったのですか。38.それから一塊の血となり、さらに（アッラーが）形作り整えられ、39.かれは、人を男と女の両性にされたのではなかったでしょうか。40.それでもかれには、死者を復活させる能力がないのでしょうか。

76. 人間章

al-'Insan

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.人間には、何ものとも言えない時期があったのではないでしょうか。2.われらは（男女の）混合された一滴（の精液）から、試すために人間を創造し、聴覚と視覚を与えました。3.そしてわれらは人間を正しい道に導いたが、感謝するものと不信心なものとがいます。

4.非信者には、われらは鎖と首かせと燃えさかる火を準備しました。5.信者の善行者は、樟脳を混ぜた（飲み物の）杯から飲むでしょう。6.アッラーの僕たちが飲む泉で、それはかれらの望み通り、こんこんと湧き出させます。7.かれらは誓いを実施し、他方で災厄の広がる日を恐れています。8.またかれらは、かれへの敬愛から、貧者と孤児と捕虜に食物を与えます。9.（そして言います）わたしたちは、アッラーの尊顔（喜び）のためにあなた方を養いますが、あなた方からは報いも感謝も望みません。10.わたしたちは、主の眉をひそめたお怒りの日を恐れます。11.それでアッラーは、その日の災厄からかれらを守り、輝きと喜悦を与えられます。12.かれらが忍従したので、かれは楽園と絹（の衣）でかれらに報われます。13.その（楽園の）中で、寝椅子の上にゆったりと身を伸

ばし、太陽（の熱射）も（肌刺す）寒さも覚えません。14.木陰はかれらの上を覆い、（果実の）房は手近く垂れ下っています。15.銀の皿と光るガラスの杯が回され、16.杯は銀で作り上げられて、望みの量がそれに満たされます。17.生姜を混ぜた飲物を与えられるでしょう。18.そこにはサルサビールと名付けられた泉があります。19.また（年を取らない）永遠の少年たちがかれらの間を行き来し、あなたがこの少年を見ると、撒き散らされた真珠かと思うことでしょう。20.見回すと、安楽と豊かな富を見ることでしょう。21.かれらは緑色の絹と錦の服を着て、銀の腕輪で飾られ、主はかれらに清浄な飲物を与えます。22.（そして言われるのは、）実にこれはあなた方に対する報奨です。あなた方の尽力が（アッラーによって）受け入られたのです。

23.まさしくわれらが、徐々にあなたにクルアーンを下しました。24.だからあなたの主の審判を、耐え忍んで待ちなさい。またかれらの中の罪ある人や、非信者に従ってはいけません。25.朝な夕なに、あなたの主の御名を唱えなさい。26.そして夜の一時にはかれに平伏礼し、長夜の間はかれを賛美しなさい。27.実にこれらの者は、移りやすい現世を愛し、重大な日を背後に捨て去ります。28.われらがかれを創り、その整体を堅く繋ぎ止めたのです。われらが欲するならば、かれらと類似の他のものでおき替えることも出来るのです。29.確かにこれは、一つの諭しです。だから誰でも望む人には、かれの主への道を取らせなさい。30.だがアッラーが御望みにならなければ、あなた方は欲することもできない。アッラーは全知にして英明です。31.かれは、御心に適う者をかれの慈悲に浴させ、また不正の人たちに対しては厳しい苦痛を備えられるのです。

77. 送られるもの章

al-Mursalat

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.次々に送られるもの（風）にかけて、2.（それは）荒れ狂うもの、3.方々に（雨を）撒き散らすもの（それ）にかけて、4.（真偽を）しっかり区別するもの（クルアーン）にかけて、5.そして投げかける者（天使たち）にかけて、6.（アッラーからの）説諭と警告として。7.（マッカの非信者よ）あなた方に約束されたことは、間違いなく起こるのです。

8.星々が消されるとき、9.天が裂け散るとき、10.山々が粉砕されるとき、11.使徒たちに（証言の）時刻が定められるとき、12.（これらは）いつの日まで猶予されたのですか。13.裁きの日までです。14.裁きの日が何であるかを、あなたに教えるものは何でしょうか。15.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。16.われらは（悪行のために）前代の者を滅ぼさなかったでしょうか。17.その後われらは、後代の者にかれらを継がせたのではないでしょうか。18.このようにわれらは罪人を処分します。19.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。

20.われらはあなた方を卑しい水から創ったのではないでしょうか。21.われらはそれを、安全な宿所（子宮）に置きました、22.定められた時期まで。23.われらはそう定めたのです。われらは、何と善い決定者でしょう。24.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。25.われらは、大地を大きな入れ物としませんでしたか、26.生存者と死者（を受け入れるために）。27.その上に山々を高くそびえさせ、また甘い水をあなた方に飲ませたのではないでしょうか。28.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。

29.（アッラーは仰せられる）行け、あなた方が嘘であると言ってき

た所（地獄）へ。30.行け、三つの枝（の煙）の下に。31.それらは影にもならず、また燃え盛る炎に対しては無益でしょう。32.またそれらは大樹の幹のような火花を吐き、33.黄褐色の銅のようです。34.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。35.それは話しも出来ない日であり、36.また申し開きも、かれらに許されないのです。37.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。38.それは裁きの日であり、われらはあなた方とその以前の者たちを集めます。39.あなた方に何か策があるのなら、わたしに（今）企むとよいでしょう。40.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。

41.しかし主を意識する人は、間違いなく（涼しい）影と泉の間にいるでしょう。42.かれらが望む、すべての果実（を得て）。43.心から食べて飲め、あなた方（の善い）行ないに対して。44.このようにわれらは、善行の者たちに報いるのです。45.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。46.（あなた方不正の者よ）少しは食べて、楽しむのがいいでしょう。実際あなた方は罪深い者です。47.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。48.かれらは、（礼をして頭を下げる）屈折礼をしなさいと言われても、そうしないのです。49.（真実を）嘘であるとした者たちには、その日は哀れなものです。50.これ（クルアーン）の後に、どんな啓示をかれらは信じるのでしょうか。

78. 知らせ章

al-Naba’

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.◆30部◆かれら（マッカの非信者たち）は、何について尋ね合っているのでしょうか。2.重大な知らせ（復活と審判）についてです。3.それについて、かれらは意見を異にしています。4.いや、かれらはいずれ知るでしょ

う。5.いや、いや、かれらはいずれ知るでしょう。6.われらは大地を、寝床にしたのではないか。7.また山々を、（大地の安定のための）杭にしたではないか。8.われらはあなた方を両性に創り、9.また休息のためにあなた方の睡眠を、10.覆いのために夜を、11.生計のために昼を設けたではないか。12.それからわれらは、あなた方の上に堅固な七層（の天）を設けて、13.光り輝く灯明（太陽）を置き、14.われらは雲から豊かに雨を降らせ、15.それによって穀物や植物を生えさせ、16.立派な園をもたらしたのではないか。17.確かに裁きの日は定められていて、

18.その日、ラッパが吹かれると、あなた方は群をなして出て来ます。19.天は数々の門のように開かれて、20.山々は動かされて、蜃気楼のようになります。21.実に地獄は待ち伏せ場所で、22.圧制者たちが帰る所、23.かれらは何時までもその中に住むのです。24.そこで涼しさも味わえず、飲物もなく、25.煮え湯と膿しかないのです。26.（かれらに）ふさわしい報いです。27.本当にかれらは、清算を恐れていませんでした。28.またかれらはわれらの印を、全く嘘であるとしました。29.われらは一切のことを、天の帳簿に記しています。30.だから味わえ、われらは苦痛ばかりを増やしてやろう。

31.確かに主を意識する人には、勝利の場所があります。32.庭園やブドウ園、33.同年齢で胸の膨れた乙女たち、34.またなみなみと溢れる杯。35.そこでは馬鹿げた無駄話や偽りは聞きません。36.これらはあなたの主からの報奨であり、清算された（十分な）贈り物なのです。37.（それらは）諸天と地、そしてその間のすべてのものの主である、慈悲深いお方からです。誰もかれに語ることはできません。38.清魂（ジブリール）と天使たちが整列して立つ日。慈悲深いお方から許しを得られ、また正しいことを言う者以外には、口はきけません。39.それは真実の日です。だから誰でも望む人は、主の御元に戻るのがよいでしょう。40.確かにわれらは、苦痛が近いとあなた方に警告しました。その日、誰でも自分の両

手が以前にしたことを見るでしょう。非信者は言います、ああ、われらは土くれであったならば。

79. 引き抜く者章

al-Nazi‘at

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（非信者の魂を）手荒く引き抜く者（天使）にかけて、2.（信者の魂を）そっと引き出す者にかけて、3.（魂を持って空中を）なめらかに泳ぐ者にかけて、4.急いで先行く者にかけて、5.（アッラーの）命令を処理する者にかけて。6.（最初のラッパで）振動するその日、7.次のラッパが続きます。8.その日、（非信者の）心はおののき震え、9.目は伏せられます。10.かれらは言います。何と、わたしたちは復帰させられるのか、11.朽ち果てた骨になってしまったのに。12.かれらは言います。そんな復帰は、うまく行かないだろう。13.（しかし）ただ一吹きだけで、14.かれらは地上に現れます。

15.ムーサーの話は、あなたに届きましたか。16.主がトゥワーの聖なる谷に、かれを呼ばれたときを思い出しなさい。17.（アッラーは言われました）あなたはフィルアウンのところに行きなさい。実にかれは横暴な人です。18.そして（かれに）言ってやるがいい。あなたは清められたくないのですか。19.わたしはあなたを、主のところに導きましょう。そうすればあなたは（アッラーを）畏れるでしょう。20.（ムーサーは）最大の印を、かれ（フィルアウン）に示しました。21.だが、かれはそれを拒否して、従いませんでした。22.背を向けて、急いで去ったのです。23.かれ（フィルアウン）は、（その民を）集め宣言して、24.言ったのです。わたしはあなた方の最高の主です。25.そこでアッラーはかれを懲しめ、来世と現世の生

活において罰せられました。26.確かにこの中には、(主を)畏れる人への一つの教訓があります。

27.どちらが難しいと思いますか。かれがあなた方を創られたことか、あるいは天を建てられたことか、28.それをかれは高く掲げ、それから整え、29.夜を暗くなされ、また朝の明るさを現出され、30.その後、大地を延べ広げ、31.そこから水と牧場を現れさせ、32.また山々をしっかり据え付けられ、33.(それらを)あなた方と家畜が享受するものとされました。

34.そこで大災難(最後の審判)が到来すると、35.その日、人びとは(現世で)努力したことを思い出し、36.また地獄の火は誰でも見ることができます。37.その時、横暴を働いていた者、38.またこの世の生活を好んでいた者は、39.間違いなく地獄の火が住まいとなるのです。40.だが主のところに立つことを恐れた者、また妄欲に対し心を抑えた者は、41.間違いなく楽園が住まいとなるでしょう。42.かれらはその時間(最後の審判)について、何時錨を下す(到来する)のかと、あなた(ムハンマド)に問います。43.あなたは告げられません。44.その終末は、あなたの主だけがご存知なのです。45.あなたは、それを畏れる人への警告者にすぎないのです。46.かれらがそれを見る日、(現世や墓の中に)いたのは、一夕か一朝にすぎなかったように思えるのです。

80. 眉をひそめて章

ʻAbasa

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.(ムハンマドは)眉をひそめ、顔を背けました。2.目の見えない人がやって来たからです。3.かれは(信仰して)清められるかも知れないことを、あなたに何が教えてくれるでしょうか。4.または諭しを受け入れて、その

教えはかれを益するかもしれないことを。5.だが満ち足りた者に、6.あなたは応じます。7.かれが自ら清めなくても、あなたに責めはないというのに。8.他方（信仰を）求めてあなたのところに頑張ってやって来た者で、9.畏敬の念を持っているのに、10.あなたはその人を軽んじてしまったのです。11.いや、いや、間違いなく、これ（クルアーン）は諭しなのです。12.誰でも望む人が学べる、諭しなのです。13.それは高貴な書巻にあり、14.至高にして清浄なもの、15.（それを記した）書記たちは、16.気高く敬虔です。17.（真実を拒否する）人に死を。かれは何と不信心なのでしょう。18.かれは何から、かれを創られたのでしょうか。19.それは、一滴からです。かれは、かれを創り、それから形を造られ、20.（胎内からの）かれの道を容易にされ、21.やがてかれを死なせて墓場に埋め、22.それからお望みのときに、かれを甦らせます。23.いや、かれの命令を、（非信者は）果たしませんでした。24.人間に、自分の食物について考えさせましょう。25.われらは、水を豊かに注ぎ、26.次いで大地を切れ切れに裂いて、27.そこに成長させるものには、穀物、28.またブドウや新鮮な野菜、29.オリーブやナツメヤシの木、30.茂った庭園、31.果物や牧草（がある）。32.あなた方とその家畜が享受するためです。

33.やがて（復活の）耳をつんざく叫び声がして、34.人が自分の兄弟から逃れる日、35.自分の母や父や、36.自分の妻や子供たちから（逃れる日）。37.その日誰も自分のことで手一杯です。38.（ある人たちの）顔は、その日輝き、39.笑い、かつ喜ぶ。40.だが（ある人たちの）顔は、その日埃にまみれ、41.暗黒が顔を覆います。42.これらの者こそ、不信心な人で、背いてきた者たちです。

81. 巻き上げる章

al-Takwir

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.太陽が巻き上げられるとき、2.星々が流れ落ちるとき、3.山々が動かされるとき、4.妊娠して10ヵ月の雌駱駝が破棄されるとき、5.さまざまな野獣が集まるとき、6.大洋が沸きたち、溢れるとき、7.それぞれの魂が（肉体と）組み合わされるとき、8.生き埋めにされた（女児が）9.どんな罪で殺されたかと問われるとき、10.(天の)書巻が、開かれるとき、11.天が剥ぎ取られるとき、12.そして地獄が炎を上げるとき、13.楽園が近づくとき、14.（その時）人は、行なったその（すべての）所業を知るのです。

15.わたしは誓う、（軌道の後ろに）隠れるものに（諸星）。16.走り、そして沈むものに、17.降ろされる夜にかけて、18.息づく朝にかけて。19.確かにこれ（クルアーン）は、高貴な使徒（ジブリール）の（アッラーからの）言葉。20.（ジブリールは）力があり、玉座の主の御前で座につき、21.従われ、そして信頼される。22.（マッカの人たちよ）あなた方の伴侶（ムハンマド）は、気狂いではありません。23.かれは、明るい地平線上に、確かにかれ（ジブリール）を見ました。24.かれは見えないところからのもの（啓示）を出し惜しみません。25.それ（クルアーン）は、（石で打たれて）追放された悪魔の言葉でもありません。26.それなのにあなた方は、どこへ行くのですか。27.これ（クルアーン）は、全世界に向けた教説に他なりません。28.それはあなた方の中、誰でも正道を歩みたいと望む人のためのものです。29.だが全存在の主、アッラーが御望みでない限り、あなた方はそれを望むこともできません。

82. 裂ける章

al-Infitar

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.天が分裂するとき、2.星々が散らされるとき、3.大洋が溢れ出されるとき、4.墓場が暴かれるとき、5.それぞれの人は、既にしたことと、後にし残したことを知っています。6.人間よ、何があなたを気高い主から惑わせたのでしょうか。7.かれはあなたを創造し、形を与え、均整を取り、8.どのような形態であれ、かれの御心のままにあなたを組み立てられたのです。9.なのに、あなた方は審判を嘘であると言うのです。10.実際のところ、あなた方の上には監視者（天使）たちがいて、11.かれらは高貴な記録者として、12.あなた方の所業を知っています。13.敬虔な人は、必ず安楽の中にいます。14.背く者は、きっと火の中にいて、15.審判の日、かれらはそこで焼かれ、16.そこから、逃れられません。17.審判の日が何であるかを、あなたに教えるのは何でしょうか。18.一体、審判の日が何であるのかを、あなたに教えるは何でしょうか。19.その日、どの人も他の人のために（役立つ）ものではありません。その日、命令は、アッラー次第なのです。

83. 量を減らす者章

al-Mutaffifin

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.災いあれ、量を減らす者に。2.かれらは人から計量して受け取るときは、目一杯に取り、3.（相手のものの）計測や重量のときは、損させる人たちです。4.これらの者は、復活させられることを考えないのでしょう

か、5.偉大なる日に。6.その日、人間はすべての世界の主の御前に立つのです。7.いや（断じていけない）、背く者の記録は、スィッジーン（悪行録）の中にあります。8.スィッジーンが何かを、あなたに理解させるものは何でしょうか。9.それは明瞭な記録表。10.災いあれ、その日、嘘であると言ってきた者たちよ、11.審判の日を、嘘であると言ってきた者たちこそは。12.これを嘘であると言ってきた者は、罪ある違法者に他なりません。13.われらの印が、かれらに読誦されたとき、かれらは、昔の物語だと言いました。14.いや（断じてそうではない）、かれらの取ってきた行状で、その心が錆ついたのです。15.いや、まさにかれらは、その日、主（の光）に対して、覆われるでしょう。16.次にかれらは、地獄できっと焼かれるでしょう。17.そこで、これが、あなた方が嘘であると言ってきたことですと、告げられるのです。

18.一方、敬虔な人の記録は、イッリーユーン（善行録）の中にあります。19.イッリーユーンが何であるかを、あなたに教えるものは何でしょうか。20.それは明瞭な記録表。21.（主の）側近者たちが、それを立証します。22.敬虔な人は、必ず安楽の中におり、23.かれらは寝床の上から見渡すでしょう。24.あなたはかれらの顔に安楽の輝きを見ることでしょう。25.かれらには、封印された最良の芳香飲料（ラヒーク）が出されます。26.その封印は麝香（ミスク）です。これを求め競争する人には、競争させなさい。27.それにはタスニーム（の水）が混ぜられます。28.（アッラーに）近い者たちは、その（タスニームの）泉から飲みます。29.罪ある人たちは、信仰する人を笑い飛ばしていました。30.そしてかれら（信者）がその傍をすぎると、（非信者は）互いに目をやり、31.家族のところへ帰ると笑い種にしました。32.かれらはかれら（信者）を見かけると、これらの者は迷っていると言いました。33.だがかれらは、かれら（信者）の監視者として遣わされたのではありません。34.しかし今日この日には、信仰

する人は非信者たちを笑い、35.かれらは寝床から見渡します。36.（そして言います）非信者たちは、その行ないの報いを受けたのでしょうか。

84. 割れる章

al-Inshiqaq

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.天が割れて、2.その主（の命）を聞き、それに従うとき、3.大地が広げられ、4.その中のものが投げ出されて空洞になり、5.その主（の命）を聞き、それに従うとき。6.おお人間よ、確かにあなたは、主の御元へと尽力する人で、必ずかれに会うでしょう。7.そのとき右手にその書（記録）を渡される人は、8.その計算は、問題なく行なわれ、9.喜んで自分の家族のところに帰るでしょう。10.だが背後から書（記録）を渡される人は、11.死を叫び求めながら、12.燃える炎で焼かれるでしょう。13.かれは自分の家族とともに、嬉々として暮らしていました。14.かれは（主に）帰らないと思っていました。15.いやいや（帰るのです）、それどころか、主はいつもかれをお見通しだったのです。16.そこでわたしは、落日の夕映えにかけて誓います。17.夜と、それが包むものにかけて、18.また満ちる月にかけて。19.あなた方は、必ず一段階から次の段階に登るでしょう。20.それでも、かれらが信じないのはどういう訳でしょうか。21.クルアーンがかれらに読唱されても、かれらは頭を下げてひれ伏そうとしないのは、どういう訳でしょうか。22.いやそれどころか、非信者は（クルアーンを）拒否します。23.だがアッラーは、かれらが胸に秘めることを熟知なされます。24.それであなたは、厳しい苦痛のあることを、（アッラーからの）知らせとして、かれらに伝えなさい。25.いやいや、信仰して善行に努める人は別であり、かれらには絶えることのない報奨があるでしょう。

85. 星座章

al-Buruj

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（アッラーの誓い）星座のある天にかけて、2.約束された日（最後の日）にかけて、3.証言するものと、証言されるものとにかけて。4.堀の造作者は呪われた、5.火に薪をくべたのだ。6.見なさい、かれらはそこに座り（燃える様子を見ていました）。7.（だから今は）信者に対して行なったことについて、かれらが証言されるのです。8.かれら（信者）を迫害したのは、偉力大で賛美されるべきアッラーを信仰していたからに他なりません。9.かれに、諸天と地の大権は属しています。アッラーはすべてのことの証言者なのです。10.信仰する男女を迫害しておいて改心しなかった者には、地獄の苦痛があり、また火の苦痛があるでしょう。11.信仰して善行に励んだ者には、川が下を流れる楽園があるでしょう。これは偉大な勝利です。12.真にあなたの主の襲撃は、厳しいものです。13.かれこそは創造され、またそれを繰り返されるお方です。14.かれは、よく赦され、慈恵多きお方。15.栄光の玉座の持ち主。16.かれは御望みのことを、成就されるのです。17.軍勢の物語が、あなたに届きましたか、18.フィルアウンとサムード（族の）。19.それでも何と、非信者たちは（真理を）嘘であるとしています。20.アッラーは、背後からかれらをとり囲まれます。21.いや、これは、栄光に満ちたクルアーンで、22.（アッラーの下で）保存された板に（銘記されています）。

86. 夜訪ねる者章

al-Tariq

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.天と夜訪れる者にかけて。2.夜訪れる者が何かを、あなたに教えるものは何でしょうか。3.閃光を発する星です。4.すべての魂の上には、監視者がいます。5.人間は、何から創られたかを考えさせなさい。6.かれは噴出する水から創られ、7.かれ(人間)は脊髄と肋骨の間から出てきます。8.確かにかれは、かれを(新たな生命に)引き戻すことが可能なのです。9.隠されたことが暴露される日、10.(人間には)力もなく、誰の助けもないのです。11.戻るもの(雨や季節)のある天にかけて、12.裂け目のある大地にかけて。13.間違いなく、これは決定的なお言葉、14.それは戯れごとではありません。15.確かにかれらは、陰謀を企んでいます。16.わたしもまた、企みをめぐらします。17.だから非信者たちをゆっくりさせて、かれらに時間を与えましょう。

87. 至高章

al-'A 'la

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.あなたの主、至高の方の御名を賛美しなさい。2.　かれは創造し、整えられ、3.　またかれは定められ、導かれ、4.　牧場に(緑を)出されるお方。5.　それから、(それを)浅黒い枯れた屑にされます。6.われらは、あなたに読誦させるようにしましょう。それであなたは忘れないでしょう。7.アッラーが御望みにならない限りは。実にかれは、現されたものと隠れたものを知っております。8.われらは、あなたを(物事の)容易さへ、

容易にするでしょう。9.だから諭しなさい、諭しは役立つだろう。10.主を畏れる人は、諭しに注意を払うでしょう。11.だが最も邪悪な人は、それを無視するでしょう。12.かれ（邪悪な人）は最大の火で焼かれるでしょう。13.その中で、死にも、生きもしないのです。14.だが自ら清めた者は必ず栄え、15.かれの主の御名を唱え、礼拝を守る人も（必ず栄えます）。16.しかしあなた方は、現世の生活を好んでいます、17.来世がもっと良く、もっと永遠なものなのに。18.これは確かに、昔の書巻にあり、19.イブラーヒームやムーサーの書巻にもあります。

88. 覆いかぶさるもの章

al-Ghashiya

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.覆いかぶさるものの話は、あなたに達しましたか。2.その日、顔はうなだれ、3.苦役に疲れ切って、4.燃えさかる火で焼かれ、5.熱湯の湧き水から飲まされるのです。6.かれらには苦い茨の他に食物はなく、7.それでは栄養にもならず、飢えも癒せません。8.その日（他の者たちの）顔は和やかで、9.その努力から喜悦に満ち、10.高い楽園の中で、11.つまらないことは聞きません。12.そこには、流れ出る泉があり、13.高く上げられた寝台があり、14.杯が備えられ、15.小布団が並べられ、16.敷物が広げられています。17.かれらは雨雲がどうやって創られたかを考えてみないのでしょうか。18.また天がどうやって高く掲げられたのか、19.また山々がどうやって据え付けられたのか、20.また大地がどうやって広げられたのか、ということを。21.だからあなた（ムハンマド）は一人の説諭者に他ならないということを、（人びとに）教えなさい。22.かれらのための、支配者ではありません。23.だが誰でも、背を向けて信仰を拒否するなら、24.アッラーは最大の苦痛で苦しめられます。25.確かにわれらのところ

に、かれらは戻って来るのです。26.そして確かにわれらが、かれらを清算するのです。

89. 暁章

al-Fajr

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.暁にかけて、2.（巡礼月初めの）10の夜にかけて、3.偶数にかけて、奇数にかけて、4.去り行く夜にかけて。5.この中に、理知的で自制する人の誓いがあるのではないでしょうか。6.あなたは主が、アード（の民）をどのように処分されたかを考えないのですか、7.高い円柱の並び立つイラム（の都）のことを。8.このようなものは、どの国においても造られたことはなかったのです。9.また谷間の岩を彫ったサムード（の民）や、10.杭の持ち主といわれるフィルアウン。11.これらは、その国における横暴な人たちで、12.その地に腐敗を広めました。13.それであなたの主は、苦痛の鞭をかれらに浴びせられました。14.真にあなたの主は、（いつも）監視しています。15.さて人間は、主が栄誉とお恵みによって試されたとき、主はわたしに栄誉を与えられましたと言う。16.だがかれを試み、お恵みを厳しめにされると、主はわたしを軽く見られたと言う。17.それでは断じていけません。いえ、あなた方は孤児を大切にしていない。18.また貧者を食べさせるよう、互いに勧めていない。19.そしてあなた方は遺産をむさぼり、20.むやみやたらに財産を愛している。21.それでは断じていけません。大地が徹底的に打ち砕かれるとき、22.主は、列なす天使と共にお出ましになります。23.またその日、地獄が運ばれて来るので、その日、人は反省することになるでしょう。しかし反省しても、かれに役立つのでしょうか。24.かれは、ああ、わたしの（今度の）生のために、（善行を）前もってしておけばよかったのにと言うでしょう。25.その日（アッラ

ーは)、他の誰もできないほどの苦痛を与えられ、26.また誰もできないほどに縛りつけられます。27.(善行をしてきた者よ)おお、安寧の魂よ、28.(あなたは)喜悦し、(わたしの)満悦にあずかりながら、あなたの主に帰りなさい。29.あなたは、わたしに従う人たちの中に入りなさい。30.あなたは、わたしの楽園に入りなさい。

90. 町章

al-Balad

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.わたしは、この町にかけて誓います、2.あなた(ムハンマド)は、この町の住民です。3.親と子孫にかけて(誓います)、4.確かにわれらは人間を、苦難(カバド)の中に創りました。5.かれ(人間)は、何も自分を支配するものはないと考えるのか。6.かれは大変な財産をつぶしたと言う。7.(しかし)かれは、誰もかれを見ていないと考えるのか。8.われらは、かれのために両目を創ったのではないか、9.また一つの舌と二つの唇を。10.また(善と悪の)二つの道をかれに指し示した。11.だがかれは、険しい山道を取ろうとはしない。12.険しい山道がどんなものかを、あなたに教えるのは何か。13.(それは)奴隷を解放し、14.または飢えの日には食物を提供し、15.近親の孤児を、16.または、埃まみれの貧者を(助けること)。17.それから信仰する人になって、互いに忍耐を勧めあい、互いに慈愛を勧めあう人になることです。18.これらは右手の者たちです。19.だがわれらの印を信じないのは、左手の者たちです。20.かれらの上には、覆う(地獄の)火があるのです。

91. 太陽章

al-Shams

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.太陽とその早朝にかけて、2.それ（太陽）に続く月にかけて、3.太陽の輝きを現す昼にかけて、4.それを包み隠す夜にかけて、5.天とそれを建てた方にかけて、6.大地とそれを広げた方にかけて、7.魂とそれを形成した方にかけて、8.そしてそれに背信と篤信を授けた方にかけて。9.それ（魂）を清める者は確かに成功し、10.それを汚す者は滅びます。11.サムード（の民）はその不遜さから、（預言者を）嘘つきだとしたのは、12.かれらの中の最も性悪な人が（使徒に対抗するために）派遣された時。13.アッラーの使徒（サーリフ）はかれらに、これはアッラーの雌ラクダだから、飲み水を取らせてやりなさいと言いました。14.だがかれらはかれを嘘つきとして、その足の腱を切りました。そこでかれらの主はその罪のためにかれらを滅ぼし、鎮圧されました。15.かれは、こういう報い方に躊躇されないのです。

92. 夜章

al-Lail

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.覆い隠す夜にかけて、2.明るくなる昼にかけて、3.雌雄を創造されたことにかけて。4.あなた方の尽力は、実に多様です。5.（だから）施しをして、（アッラーを）意識する人や、6.また最善を真実と考える人には、7.われらはかれを（物事の）一番の容易さへ、容易にするでしょう。8.他方けちで、自惚れている人や、9.最善を嘘だとする人には、10.われらはか

れを（物事の）一番の難しさへ、容易にするでしょう。11.かれが転び落ちるときには、その財産はかれに役立ちません。12.確かにわれらが導かざるを得ず、13.また確かに、来世も現世も、われらのものです。14.だからわたしは燃え盛る火について、あなた方に警告しました。15.最も邪悪な人しか、それで焼かれることはありません。16.それは（最善を）嘘であるとして、背を向けた者なのです。17.だが最も篤信な人はそれから逃れさせ、18.その人は、その財産を施すことで、自らを清めます。19.かれは（施しに当たり）誰に対しても、返済すべき恩義はなく、20.ただ至高の主の尊顔を、請い願っただけです。21.やがてかれは、間違いなく満悦するでしょう。

93. 朝章

al-Duha

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.朝にかけて、2.静まる夜にかけて。3.主はあなた（ムハンマド）を見捨てられないし、また嫌われてもおりません。4.来世には、あなたにとって現世より、もっと良いものがあり、5.やがて主はあなたに（多くを）授けられて、あなたは満足するに違いない。6.かれは、あなたを孤児で見いだされ、庇護されたではないか、7.かれは、あなたがさ迷っているのを見つけて、導かれ、8.またあなたが貧しいのを見つけて、裕福にされたではないか。9.だから孤児を虐げてはいけません。10.（また）請う者を拒んではいけません。11.そしてあなたの主の恩恵についてこそ、語りなさい。

94. 胸を広げる章

al-Sharh

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.われらは、あなた（ムハンマド）の胸を安堵させたのではないでしょうか。2.あなたの重荷を降ろしたのではないでしょうか。3.それは、あなたの背中に押し付けられていました。4.またわれらは、あなたの評判を高めたのではないでしょうか。5.だから苦あれば楽ありで、6.確かに苦あれば楽ありです。7.それで仕事を終えたら、次に取り掛かり、8.そして、あなたの主に（何かにつけて願い）求めるのです。

95. 無花果章

al-Tin

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.無花果とオリーブにかけて、2.シナイ山にかけて、3.また平安なこの町（マッカ）にかけて。4.確かにわれらは、人間を最も素晴らしい姿に創りました。5.それからわれらは、かれを最低な中でも最低に戻しました。6.（ただし）信仰して善行に努める人は別であり、かれらに対しては尽きない報奨があるのです。7.ところがまだ（これらの明証の後に）最後の日について、おまえ（ムハンマド）が嘘をついていると、何が言わせるのか。8.本当にアッラーは、最高の審判者ではないのか。

96. 凝血章

al-‘Alaq

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.読め、創造なされるあなたの主の御名において。2.一つの凝血から、人間を創られました。3.読め、あなたの主は最も高貴で、4.筆によって教えられました。5.人間が知らないことを教えられました。6.いや、人間が則を越えるのは、7.自ら満ち足りたと考えるためです。8.真に、あなたの主に戻るものなのです。9.あなたは見ましたか、阻止する人を、10.一人の僕（ムハンマド）が礼拝を捧げているのを。11.あなたは、かれ（阻止する人）が導き（の道に）あると思うのですか、12.篤信を勧めていると思うのですか、13.（それとも真理を）嘘であるとして背を向けたと思いますか。14.かれは、アッラーが（すべてを）見ていることを知らないのでしょうか。15.いやいや断じてそうではない。もしかれが止めないならば、われらは額を（地につけて）引っ張るでしょう、16.嘘つきで、誤った（者の）額で。17.そしてかれに、その仲間を召集させてあげなさい。18.われらは地獄の見張りを召集するでしょう。19.いやいや、あなたはかれに従ってはいけません。ひれ伏して（主に）近づくように。

97. 天命章

al-Qadr

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.確かにわれらは、天命の夜にこれ（クルアーン）を下しました。2.天命の夜が何であるかを、あなたに教えるものは何ですか。3.天命の夜は、1,000の月々よりも善いのです。4.その夜には天使たちと清魂（天使

ジブリール）は、主からのお許しにより、任務のたびに幾度も降下します。5.（その夜は）暁の明けるまで、平安です。

98. 明証章

al-Bayyina

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.啓典の民と多神教徒たちで不信心な人は、かれらに明証が来るまで、（それに）離反しようとはしませんでした。2.アッラーからの使徒が、清浄な書巻（クルアーン）を、読んで聞かせるまでは。3.そこには、真正な諸節があります。4.（多神教徒より責任が重大な）啓典を授かっている人たちが分裂したのは、明証がかれらに来てから後のことでした。5.かれらの命じられたことは、ただアッラーに仕え、ひたすらにかれに純粋の信心を尽くし、礼拝の務めを守り、定めの施しをしなさいというだけのことでした。これこそ真正の教えなのです。6.啓典の民と多神教徒たちで不信心な人は、地獄の火の中に永遠に住みます。これらは、被造物の中で最悪の者です。7.だが信仰して善行に励む人たちは、被造物の中で最善の者です。8.かれらへの主からの報奨は、川が下を流れる永遠の楽園です。そして永久にその中に住みます。アッラーはかれらに満悦され、かれらもかれに喜悦します。これらは主を畏れる人に対するものなのです。

99. 地震章

al-Zalzala

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.大地が激しく揺れ、2.大地がその重荷を投げ出し、3.それは何事が起こっているのかと人が言うとき、4.その日（大地は）すべての情報を語る

が、5.（それは）あなたの主が、命じられたところに従ってです。6.その日、人びとはさまざまな集団となって出て来て、かれらの行なったことを見せつけられます。7.原子ひと粒ほどの重さでも、善を行なった者はそれを見るのです。8.原子ひと粒ほどの重さでも、悪を行なった者はそれを見るのです。

100. 進撃する馬章

al-‘Adiyat

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.吐く息荒く進撃する（馬）にかけて、2.（ひづめで）火花を散らし、3.暁に急襲して、4.砂塵を撒き散らし、5.（敵の）軍勢のただ中に突入するときにかけて。6.実際のところ人間は、自分の主に対し恩知らずです。7.それについて、かれは証人です。8.また富を強く愛します。9.かれは墓の中のものが、掘り出されるときのことを知らないのでしょうか、10.また胸の中にあるものが、暴き出されるときのことを。11.本当にかれらの主は、その日、かれらについてすべてを知り尽くされるのです。

101. 大打撃章

al-Qari‘a

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.大打撃（最後の審判）、2.大打撃とは何でしょう。3.大打撃が何であるかを、あなたに教えてくれるのは何でしょうか。4.その日、人びとは飛び散った蛾のようになり、5.また山々は梳かれた羊毛のようになってしまう。6.その人の秤が（善行で）重いのなら、7.かれは喜びに満ちた暮らしをするでしょう。8.だがその人の秤が軽いならば、9.かれの最後の住ま

いは、底なしの地獄です。10.それが何であるかを、あなたに教えるものは何でしょうか。11.灼熱の火です。

102. 数の競い合い章

al-Takathur

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.あなた方が、（財や子供など）多いことを競い合い、道を外れて、2.墓を訪れることとなる。3.いや、やがてあなた方は知るでしょう。4.いや、いや、やがてあなた方は知るでしょう。5.いや、あなた方に確かな知識があるならば、6.あなた方は必ず地獄の火を見るでしょう。7.そのときあなた方は、それを確かな目で見るでしょう。8.その日あなた方は、（あなた方の）快楽について必ず問われるでしょう。

103. 時間章

al-'Asr

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.時間にかけて（誓います）。2.人間は、確かに破滅の途次にあります。3.ただし、信仰し善行に努め、互いに真理を勧めあい、また忍耐を勧めあう者たちを除いては。

104. 中傷者たち章

al-Humaza

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.災いあれ。悪口や中傷をするすべての者に、2.財を集めて、計算する人に。3.かれはその財が、永久に生かしてくれると考えている。4.とんでもない、かれは必ず粉砕窯の中に投げ込まれる。5.粉砕窯が何かを、あなたに教えてくれるのは、何でしょうか。6.（それは）焚きつけられたアッラーの火で、7.心臓まで登ってきます。8.それはかれらの上に被さり、9.高い支柱のようです。

105. 象章

al-Fil

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.あなたの主は、象の軍勢をどう措置されたか、見なかったのですか。2.かれは、かれらの計略を、迷いと過ち（失敗）にされたのではないか。3.かれらの上に、群れなす鳥を遣わし、4.焼き土の小石をかれらに投げ付けて、5.かれらを食い荒らされた穂のようにされました。

106. クライシュ族章

Quraish

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.クライシュ族の安全（契約）のため、2.かれらの冬と夏の旅の安全のため。3.かれらに、この家（カアバ）の主を奉らせるよう。4.（アッラーは）かれらの飢えには食物を与え、かれらの恐怖には安全を与えられるお方。

107. 慈善章

al-Ma‘un

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.あなた（ムハンマド）は、最後の審判を否定する人を見ましたか。2.それは、孤児を追いやり、3.貧者に食物を与えることを勧めない者です。4.災いあれ。礼拝しながら、5.自分の礼拝に気もそぞろ、6.また人にこれ見よがしに礼拝し、7.慈善を妨げる人に。

108. 豊潤章

al-Kawthar

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.確かにわたしはあなた（ムハンマド）に、豊潤に授けました。2.さあ、あなたの主に礼拝し、犠牲を捧げなさい。3.あなたを憎む人こそは、（将来の世代を）最も断たれるでしょう。

109. 非信者たち章

al-Kafirun

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（ムハンマドよ）言いなさい。おお非信者たちよ、2.わたしは、あなた方が仕えるものには仕えません。3.あなた方は、わたしが仕えるものには仕えません。4.（また）あなた方が仕えてきたものに、わたしは仕えません。5.あなた方は、わたしが仕えるものには仕えません。6.あなた方には、あなた方の宗教があり、わたしには、わたしの宗教があるのです。

110. 援助章

al-Nasr

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アッラーの援助が来て勝利し、2.人びとが群れなしてアッラーの教えに入るのを見るときは、3.あなたの主を称賛をもって賛美し、また御赦しを請うように。真にかれはよく赦す方です。

111. シュロ章

al-Masad

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.アブー・ラハブの両手は滅びよ、そしてかれも滅びるがよい。2.かれの資産も、稼(かせ)いだものも、かれのために役立たない。3.いずれかれは、火の炎（ラハブ）で焼かれるのだ。4.かれの妻は薪を運ぶ人、5.首にはシュロの縄をかけて。

112. 純正章

al-'Ikhlas

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（ムハンマドよ）言いなさい、かれ、アッラーは、唯一な方。2.アッラーは永遠で、3.産むこともなければ、産んでもらったわけでもない。4.かれに対等なものは、何もないのです。

113. 黎明章

al-Falaq

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（ムハンマドよ）言いなさい、黎明の主に、わたしは助けを求めます、2.かれが創られるものの悪から、3.降りゆく夜のとばりの悪から、4.結び目に息を吹きかける（女呪術師の）悪から、5.また、嫉妬する人の嫉妬の悪から。

114. 人びと章

al-Nas

慈悲あまねく、慈悲深いアッラーの御名において

1.（ムハンマドよ）言いなさい、人びとの主に、わたしは助けを求めます。2.人びとの支配者よ、3.人びとの神よ。4.（助けを求めるのは）こそこそ隠れ、つぶやく者の悪から、5.それは人びとの胸につぶやく者で、6.ジンであろうと、人びとであろうと。